大正十五年十月廿五日第三種郵便物認可　編輯發行人　萩野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和十九年　九月一日(金)　第三一六六號

同盟通信『海外電報』

目クソ鼻クソを笑ふといふが印度政策に關する米英兩國の啀み合ひはガンジー翁が回印兩教徒の和協案や國民政府組織案を提出して以來、愈々本格的な泥試合に發展したやうだチヤンドラー上院議員の論調等讀んでゐると全く喧嘩腰だ「米國に駐在する英國の或る高官——恐らくハリフアツクス卿だらう——に會つたところ、印度政策について米國上院がとかくの批評をするのは全く餘計なお節介だ（ナン・ノブ・セネツ・ビズネス）とぬかした、尤も東亞反攻作戰については英國は大して兵力を出してゐないが、印度が内亂狀態に陷つたら反樞軸軍全體の作戰が齟齬を來たすではないか」と極めつけてゐる、所が英國人も負けてゐない、「デーリー・スケツチ」紙にキヤンデダスといふ筆名で時事解説を受持つてゐる覆面子は印度政策の攻撃も結構だがお國の黒人はどうして呉れますか、フイラデルフイヤの運輸罷業には四つの自由がどう適用されるのでせうと竹篦返へしをやつてゐる、ベンゴール州の飢饉をニューヨークの週刊「ライフ」誌が寫眞入りでデカデカと報道したり、會議派領袖の釋放を要求する決議案を英國大使に突き付けたり、ヤンキーの傍若無人な遣り口には外柔内剛の英國紳士諸君も窃に切齒扼腕してゐるに違ひない、拓相オリヴアー・スタンレーがオツクスフオード大學での演説で印度政策に關する米國のお節介を排撃して物議を醸して以來、印度政策に關する米英兩國の葛藤は殆ど數へ切れぬ位だが、歐洲侵寇作戰がある程度進捗した結果か、英國人が何時までも處女の如く大人しくはしてゐない點が面白い、戰爭が決戰段階に入るとともに同床異夢の茶番劇は續々「反樞軸座」に上演されよう

【目　次】

【米　泥試合再開……一九八七
對印皮革輸出でも閉着……〃
【米　國】獨に新たな革命的活力……一九八八
ハンガリア内閣の性格……〃
「重慶をいびる者」……一九八九
衡陽失陷の影響を認む……〃
海軍長官歸國……〃
日本の抵抗增大せん……一九九〇
空母の現勢力を誇稱……〃
戰時動員長官辭職か……〃
アルミニウム生産削減……〃
大統領選擧演説……〃
【米　洲】タイムズ特派員を取調べ……〃
【英　國】チヤーチル歸還……〃
【濠　洲】國民投票の結果……〃
【ドイツ】我等飽くまで戰ひ拔かん……一九九一
戰ひ拔け、そして待て……〃
【北　歐】英軍の連絡機墜落……〃
【東南歐】ルーマニア裏切の内幕……一九九二
【西　亞】イラン内閣總辭職……〃
【軍事情報】獨の新ロケット機ME二六二……〃
【特　輯】近代戰の花形ロケット兵器……一九九三—一九九六

ラジユプタナ州の水害

（リスボン三十日發）ニューデリー來電＝ラジユプタナ州南部のグジヤラト地方は數年來見ない大洪水に遭ひ、各河川が氾濫して附近一帶は水に浸り、田畑及び印度住民の家屋に大損害を生じたといはれる

昭和十九年 九月 一日(金)
第三一六六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米、英泥試合再開

英紙フイリツプス問題に米を逆攻撃

(リスボン三十日發)歐洲侵攻反樞軸軍の米人外交顧問フイリツプスが英國の對印政策を攻撃したとの理由で米本國に召還された事實は、米英兩國間の重大政治問題化し、米國新聞記者ドルー・ピヤーソンの素破抜き記事に引續き上院議員チヤンドラーの議會における英國爆撃演説にまで發展したが、これに對しては英國側もだまつてはゐず、ロンドン來電によると三十日の「デイリー・スケツチ」紙は政治評論家キヤンデイダスの署名記事を發表、逆に米國の黑人問題をとりあげ、米國の獨善主義を痛烈に攻撃した、論文要旨次の通り

× ×

米國民が米英兩國の緊密な提携關係の維持を希望するならば、米國の指導者階級が何も知らぬ癖に英國の對印政策を大袈裟に攻撃するやうなひとりよがりはやめて貰ひたい、彼等は自分達が一體何を話してゐるのか一向御存じないのであり、チヤンドラーの上院における演説などはその好適例だ、彼は大統領ルーズヴエルトに印度の現狀につき完全な眞相を明らかにした報告を出すやう要求したが、かかる要求は無作法、不適切であり、單に米國民の對英反感に油を注ぐ結果を招來するのみであらう、チヤンドラーは更に印度は內亂の巷と化するかも知れないと述べたが、もし內亂が起るにしてもこれは英國の罪ではない、印度における治安を維持することこそ、英國が自ら引受けた役割なのである、印度人はたしかに印度が米國に支配されるより英國により統治される現狀の方を選ぶに相違ない、何故なら印度人は最近フイラデルフイアで起つた交通罷業のやうな事件が米國內で頻發してゐる事實をちやんと知つてゐるからだこの交通罷業の原因はフイラデルフイア市當局が數名の黑人勞働者を雇傭せんとしたのに對して白人勞働者が反對した結果であり、英國の印度政策攻撃では君子面をする米國に、かかる事件が發生してゐることを想起しよう、米國における黑人問題こそ世界の重大問題であり確かに戰後の世界再建の重大議題となるべきものだ、反樞軸側に參加した有色人種は民族解放を說ききかされ、そのために戰つてゐるのだと信じてゐる、しからば彼等の協力によつて反樞軸側が勝利を得た場合には、われわれは彼らに何を與へんとするのであるか、白人は彼ら有色人種に對し「お前達は勝利のためにわれわれに非常な助力を與へた、然しお前達は勝利の果實を分け合ふことは出來ない」といはうと主張するので、白人がかかる考へ方をもつてゐるとするならば反樞軸側が例へ戰爭に勝つたとしてもこれに加擔した有色人種は完全に敗北したといはなければならない、更に長い目でみれば白人達も結局戰爭に負けたといふことになる、何故なら有色人種達は白人のかかる無法な主張に對し彼等の人種的劣等の地位を從順に甘受することを拒否するに違ひないからである、かくて最も恐る可き戰爭卽ち白色人種對非白色人種間の戰ひの種が蒔かれることにならう

對印皮革輸出でも悶着

(リスボン三十日發)ニユーヨーク來電=三十日の「ジヤーナル・オヴ・コマース」紙は米國の對印皮革輸出問題につき次の通り報じてゐる

× ×

米國政府筋の洩らすところによると商務省當局は近くワシントンの英國大使館に對して印度における米國皮革ベルトの輸入禁止措置を撤廢するやう要求することとならうといはれる、印度政廳は口先だけではかかることはないといつてゐるが、政廳當局が米國の皮革ベルトに對する輸入許可證を發給してゐないことは事實であり、米英合同生產資源委員會もこの問題につき未だ何等の決定に到達してゐない、今回商務省が英國當局に申入れを行ふこととなつたのも英國が米國商品に對し印度市場を閉鎖してゐる事實につき、最近米國の輸出貿易業者及び議會方面でこれに對する米國政府の方針を明らかにせよとの要求が昂まつたためと解される、米國側の見解では英國政府は皮革類の如き比較的重要でない商品の輸入禁止問題で米英兩國關係の惡化するやうなことは希望しないに相違ないから、多分米國の要求を容れるだらうとみてゐる、英本國市場における皮革製品の供給が必ずしも十分でないこと並びに英國皮革工業の原料が大部分米國が經濟制裁を加へんと躍起となつてゐる國から來てゐる事實も、この問題をめぐつて米國の對英猜疑心を深める原因となつてゐる

昭和十九年 九月 一日(金)
第三一六六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

新たな革命的活力

獨政府勝利の信念を吐露

(ベルリン三十日江尻特派員發)ドイツ軍の精鋭親衛師團に從軍してゐる報道班員ヨアヒム・フェルナウ君は二十九日「勝利は目前に在り」と題する前線報道において兩軍の決戰が愈々目前に迫つたことを述べ、ドイツ軍が秋まで各戰線で頑張れば戰爭の完遂期して待つべき旨を强調した、ドイツ各紙は二十九日の夕刊並びに三十日の朝刊紙上に同君の記事を一齊に掲げ、またドイツ政府並びに軍當局も三十日D・N・B通信社を通じ、戰局の前途につき次の通り全幅の確信を披瀝した

× × ×

世界大戰は正に第六年目に入らうとして諸國民の抗爭と理念の戰ひとは正に最高潮に達した、兩軍は今や決戰の信號を出した、反樞軸軍は東西南三正面から攻勢により、ドイツ國民は勞働力と軍需資源の熱狂的根こそぎ動員によつて

一、反樞軸軍が注ぎ込んでゐる戰力は正に巨人的であり、ドイツ軍が各戰線において重大な敗退を喫したことは事實である、しかし冷靜な計算をするならばドイツ國民は滿五年前に比べて、獨り自國本來の國境線を支配してゐるばかりでなく、約十萬平方粁の「前哨分野」とボーランド、バルト三國、デンマーク、オランダ、ベルギー各國並びにフランス國內の一斑における人口を保持してゐるではないか、加ふるにフインランド、ハンガリア、スロヴアキア、クロアチヤ各國並びにイタリア國の大半は依然ドイツ軍の潛在戰力として嚴存してゐる

以上の領域を綜合すれば一億以上の人口を擁してゐるが故にドイツ軍の戰力は開戰當時に比し依然として二倍に達してゐるといへよう

一、しかし戰局の現狀を判斷するに當つて更に重要なのは他の要因である、勿論反樞軸軍は右要因の歷史的意義を充分認識せず乃至認識しようともしない、他の要因とは何ぞ、反樞軸軍は目前の勝利に醉つてドイツ國民を墮落した民主主義各國と同視しようとしてゐるが、ナチ・ドイツ國民は今や新な革命的活力をもつて戰爭を開始しようとしてゐるのである

一、戰ひの歸趨は未だ決してゐない、反樞軸軍は全力を傾注して僅に戰局の主導權を維持してゐるが中立國における具眼の人士は却つてドイツ國民の底力に瞠目してゐるではないか、ドイツ本國の前哨分野にはドイツ軍が著々集結し、新鋭師團は續々前線に繰り出してゐる、各新兵器の使用はすでに始まつた、戰爭が特に第六年目に入らうとして戰ひは今や反樞軸軍の攻勢とドイツ軍が反樞軸軍を一定の戰線に釘付出來るかどうかの競爭となつてゐる、しかしドイツ軍の新鋭地上兵力、空軍師團並びに新祕密兵器は必ずや反樞軸軍に甚大な打擊を與へ、戰爭が決して一九四四年九月乃至十月に終らぬことが實證されよう

一、既に反樞軸軍が如何なる場合においても、ドイツ本土乃至中部歐洲に戰ひを持ちきたすことが出來ない、戰ひの潮が、ドイツ軍に有利に轉換することは必至である、しかも日本本土の戰ひが未だ始まつてゐないことは戰局の判斷の上に極めて重要である、反樞軸軍が歐洲の長期戰で疲勞困憊するならば、日本に對する戰ひは更に一層の長期を必要としよう、その結果反樞軸陣營內の政治的發展が反樞軸軍の作戰計畫に重大な支障を與へるに違ひない、日獨兩國民は開戰の當初から今度の戰爭が民族興亡の戰ひなることを十分承知してゐる、兩國民の戰意と士氣とが極めて旺盛な所以である

ハンガリア内閣の性格

(ブダペスト三十日小田特派員發)ハンガリア軍切つての名將ゲザ・ラカトス上級大將は攝政ホルテイ提督の要請に基き、二十九日夜新內閣を組織したが、首相の閱歷並びに閣僚の顏觸れから新內閣があくまでドイツ政府と共同戰線を張り祖國の防衞に邁進することは明かである、首相はモートデル元帥のもとにハンガリア第一軍の司令官として殊勳を樹て騎士鐵十字章を授與されてゐる、新外相ヘンヤイ元帥もハンガリア政界知名の士、文化相ラコウスキー氏はベトーレン伯を首班とする內閣の內相であつた、產業相チボール・グユライ氏は元ブダペスト商工會議所の理事長である

昭和十九年 九月 一日(金)
第三一六六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米 國】

「重慶をいびる者」

＝女流評論家重慶擁護＝

(リスボン二十九日發)極東通をもつて自認する女流評論家フリーダ・アトレーは「アメリカン・マーキュリー」誌の九月號に「重慶をいびる者」と題する一文を寄稿、重慶獨裁政權を盲目的に擁護して次の通り述べてゐる

× × × ×

不幸にして一般の米國人は他の遊星からの旅人よりもアジア的諸關係を判斷する力に惠まれてゐない、重慶が民主々義國でないのはいふまでもない、米國の公私人が重慶を訪れて幻滅の悲哀を感ずるのは夢を抱いて訪れたためだ、重慶には幾多の香しからぬ不埒でむきつけな事實が見出されるが、最惡の事實を認めた後に、重慶の戰爭努力における困難の一つは重慶がドイツやソ聯のやうな意味の全體主義國家でないことをさとらねばならない

蔣介石は重慶諸力を對日戰に結集するために、あらゆる政治、社會的諸勢力の間に自らを持して行かねばならず、左右兩派の承認する指導者たる貫祿を維持して行かねばならぬのだ、しかるに彼は左右兩派から攻擊の矢を浴びるばかりでなく、國民黨の領袖からは德義に缺けてゐるといつて屢屢面皮を剝がされてゐる、重慶人は重慶情勢に關して建設的な批評や知的な分析を決して嫌がりはしない、國民黨部內の民主々義、自由主義分子の力を强化するためには從來以上に親身の批評をしてやることであり、重慶政權の軍事、經濟的諸困難を無視した批評や共產黨の主張や「傳說」を無批判的に信ずことは何等の實も齎らさない、現在米國が重慶を單に批判のために批判したり共產軍の宣傳を鵜呑みにしたりするのは最も惡いことだ何故ならばウオレスが國共兩派の和解するのに成功したかどうか、或ひはワシントンが重慶に援助する必要を再確認したかどうか、近い將來一般に知る機會を與へられないだらうからだ

衡陽失陷の影響を認む

(ストツクホルム三十日齋藤特派員發)米週刊誌「タイム」の八月二十八日號は「忘れられた戰ひ＝支那戰線」と題する記事を揭載、米軍の對日反攻作戰に及ぼす衡陽失陷の重大影響を認めて次の通り述べてゐる

× × × ×

支那戰線における大戰闘は重慶軍の敗北に終つた、六週間に亘る攻圍戰の後、粵漢線の要衝衡陽は日本軍の手中に歸した、陷落數時間前に日本軍の重圍下に惡戰苦闘を續げた衡陽守備隊司令から「恐らくはこれが最後の報告とならん」といふ悲壯な無電が屆いた

しかし衡陽の失陷は重慶に一物をも齎らさぬわけではない、衡陽の抗戰によつて日本軍の作戰は遲延せしめられ、米軍航空部隊は重慶空軍と協力して北方から進擊する日本軍と廣東北方四十哩の地點で立往生をした日本軍の連絡遮斷に努めた、重慶軍は日本軍が粵漢線を完全に制壓するため飽くまで作戰を押し進め、支那の兩斷を策してゐると確信してゐたし、また以上の日本軍の作戰が重慶に與へる大脅威を外部の者が全然理解してゐないと考へてゐた

だが理解してゐた者が二人ゐた、スチルウエルとシエンノートだ、シエンノートは米第十四航空部隊と米支混成空軍の全力を傾けて重慶地上軍の掩護に努めた、何故ならば粵漢線を繞る戰は重慶地上軍ばかりでなく、米軍航空兵力の生死を賭けた戰ひだからだ、萬一日本軍が粵漢線全域を押へて暇に任せて東支を掃蕩したならば、シエンノートは廣西、福建、浙江三省の重要空軍基地を悉く喪ふこととならう、またもし米軍が支那海岸に近い飛行場を喪ふならば、ニミツツ、マツカーサー兩軍の支那大陸を目指す西進作戰は測り知れぬほどの困難に陷らう

海軍長官歸國

(リスボン二十九日發)ワシントン來電＝海軍長官フオレスタルは歐洲各戰域を視察中だつたが二十九日ワシントンに歸還した

昭和十九年 九月 一日(金)
第三一六六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

日本の抵抗增大せん

(リスボン三十日發)ワシントン來電によれば海軍航空作戰部次長中將オーブレー・フイツチは海軍航空部隊設立三十一周年記念日の三十日、ラジオを通じて演說を行ひ、太平洋戰の長期且つ困難なことを次の通り强調した

太平洋戰の前途は長期且つ極めて困難なものとならう、余は太平洋戰が早く濟むとは考へてゐない、最前線部隊と日本本土とをへだてる距離は依然として尨大であり、米軍が北方及び西方へ進めば進むほど日本軍の抵抗は增大しよう、從つてわれわれは東京への道を辿りつくまでに今までよりも更に大きな犧牲を拂はねばならぬことを覺悟しなければなるまい

空母の現勢力を誇稱

(リスボン二十九日發)ワシントン來電=海軍航空作戰次長オーブレー・フイツチは二十九日次の通り言明した

現に就役中乃至就役せんとしてゐるものを含めると海軍の空母勢力は現在大體百隻である、このうちにはエセツクス級空母十四隻、巡洋艦から改裝されたインデペンデンス級空母九隻がある、今年に入つてから就役した空母の數は七十隻以上に達するが「戰艦型空母」とも稱すべき四萬五千トンの巨大空母は建造計畫三隻のうち二隻の建造がすでに開始された

戰時動員長官辭職か

(リスボン二十九日發)ワシントン來電=戰時生產局次長ウイルソンの辭職以後米國戰時諸機關の首腦部間には深刻な動搖の色が見られるが共和黨上院議員フアーガソンは二十九日次の通り言明した

確實な筋から聞いたところによると戰時動員局長官バーンズは近く辭職し、その後には現戰時生產局長官ネルソンが就任することとなる模樣だ、この更迭は大統領の特使として重慶に赴いたネルソンが歸米後行はれる豫定で、バーンズは辭職後政府の重要地位には就任せず全く野に下る筈といはれる

アルミニウム生產削減

(リスボン二十九日發)ワシントン來電=戰時生產局は二十九日アルミニウムの生產月三千萬封度を削減する旨發表した、この結果今後のアルミニウム生產高は七月月產高の約半分に減少することとなる筈である

大統領選擧演說

(リスボン二十九日發)ワシントン來電=大統領ルーズヴエルトは二十九日の新聞記者團會見で、九月二十三日民主黨大統領候補として第一回の選擧演說を行ふことになつた旨發表した

【米洲】

紐育タイムズ特派員を取調べ

(リスボン二十九日發)ブエノスアイレス來電=「ニユーヨーク・タイムズ」紙のブエノスアイレス特派員アーノルド・コーテは副大統領兼陸相ペロン大佐の演說を不正確に報道したといふ廉で二十八日アルゼンチン官憲により逮捕されたが、ロイター電報は夕刻に至り釋放されたと報じてゐる

【英國】

チヤーチル歸還

(ストツクホルム二十九日發)ロンドン來電=首相チヤーチルは十數日に亘るイタリア戰線の視察を終へ二十九日夕刻英國に歸還した

【濠洲】

國民投票の結果

(リスボン二十九日發)キヤンベラ來電=濠洲政府は戰後再建のため十四ケ條からなる非常大權を要求した憲法修正案をめぐり、去る十九日全濠洲にわたる國民投票を行つて慘敗を喫したが、その投票結果の詳細は次の通りである

全投票數	四、四八二、〇〇〇
憲法修正反對	一、七三三、九七八
憲法修正贊成	一、五〇六、八四六

但し右のうちには國外に派遣されてゐる濠洲將兵の投票は含まれてゐない

昭和十九年九月一日(金)
第三一六九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【ドイツ】

我等飽く迄戰ひ抜かん

(ベルリン二十九日發)著名ラジオ軍事評論家クルト・デイトマール中將は二十九日夕の戰況放送においてドイツの直面する危機を率直に認めると共に飽くまで戰ひ抜くドイツ國民の鐵の意志を披瀝した、要旨次の通り

世界は再び一切の精神的物質的手段をもつて戰はれる長期戰の重荷を負ふに至つた、技術は今次戰爭を一段と激化せしめ、道義的拘束は既に舞臺裏に退いてゐる、以上は總力戰を唱導する一部の意圖するやうに戰爭を短期に終結せしめるには不十分だ、何故なれば、敵も味方も技術と組織の向上を期して互ひに競つてゐるからだもしも敵が勤勞民衆の生存權を認めるならば、これ以上戰爭を續けて世界を苦惱せしめる必要は全くない、しかしながら敵が戰爭目的を主張し理性と良識が破壞への意志にとつて代らぬ限り、戰ひは續けられよう、戰局の動きは敵をしてドイツの打倒近しといふ希望を抱かしめるであらう、現在の事態は以上の希望が叶へられるかの觀を呈してゐる、ドイツは過去二ケ月間に今次戰爭以來數年間の果實の大部分を喪つた、ドイツはフランスの大半を放棄して今やフランス西北部及び東部及び南部海岸の重要地帶で激戰が展開されてゐる

同方面では機動戰が展開され、種々の點で一九四〇年の戰局を思はせるものがある、當時ドイツが新兵器の活用で贏ち得たものを、敵は數的優勢で獲得してゐる、東部戰線においては數週間前ドイツ本土を脅した危險は目下のところ斐除されてゐるやうだ、以上の事態はドイツがルーマニアの裏切りによつて生じた事態をも克服出來るといふ確信を抱かせるものだ、ルーマニアの事態はあらゆる點でドイツにとり歡迎出來ぬものだといふことを殊更に否定するには當るまい、ドイツの生存權を認めさせる爲にはまづ敵の破壞への意志を挫くことだ、われわれは戰爭の完遂以外に道がないことを知つてゐる、われわれにとつては生か死の何れかがあるだけだ

戰ひ抜け、そして待て

ベルグラード放送局獨軍を激勵

(ベルリン二十九日發)ベルグラード來電=ベルグラード放送局は二十九日ルーマニア駐屯ドイツ軍に呼びかけ次の通り放送したといはれる

陰謀者たちの裏切り政權はアントネスコ元帥を退けた後反樞軸軍との休戰條約に調印してドイツ國民に戰を宣し、遂に盟約を破棄した、心ある兵士は皆三年間の戰爭において實證され、兩國多數兵士の血もて彩られた戰友愛に對するかかる裏切り行爲を肯定してゐない、だが今や情勢の變化を考慮に入れることは必要であり、この叛逆によつて困難を增した爭鬪に直面するためにはあらゆる手段を盡さなければならなくなつた、從つてルーマニア領內の各部隊は前線のドイツ軍部隊に對しその戰區における行動の自由を害はぬやう留意しなければならない、降伏のごときは問題ではない、ルーマニア軍の部隊並びに個々の兵士にして敵に對し抗戰する意志なき限りこれに遭遇せる場合には必らず武裝を解除し、抵抗すれば攻擊を加へなければならない、誠心には誠心をもつて報ひよ、だが裏切者に對しては死に至るまで戰はなければならない戰友が既設新陣地に轉進するために戰ふのを容易ならしめることは兵士の本分である、兵士各人は新鋭のドイツ軍が來て解放されるまで、そしてルーマニア國內に秩序が回復するまで自己の位置に止まらなければならない

【北歐】

英軍の連絡機墜落 (ストツクホルム二十九日發)英軍連絡機は二十八日夜ストツクホルムから英本土への途次、スエーデン西部のリツドケーピン附近で墜落死者十一名負傷者四名を出した

昭和十九年 九月 一日(金)
第 三 一 六 六 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【東 南 歐】

ルーマニア裏切の内幕

(ストツクホルム二十九日發)二十九日のストツクホルム各紙はイスタンブール或ひはロンドンからの電報によりルーマニア裏切分子の暗躍に關し次の通り報じてゐる

× × × ×

「スヴエンスカ・ダグブラデツト」紙アンカラ電=ルーマニアにおける情勢の變化は既に數ケ月前ルーマニアのスチルベイ太公及び少し遲れて政治家ウイシーノがトルコに赴きルーマニア國内反政府派のためにアンカラで講和の可能性を檢討した頃から始まつてゐた、この最初の企圖が失敗に終つた理由は

一、ドイツとの盟約を破棄するのを肯じなかつたアントネスコ元帥の頑強な反對

一、ドイツが領内にゐる間にドイツと手を切つたりすればイタリアの悲劇を繰返すかもしれないといふ國内一般の不安

だともいへよう

だがもつとも大きな理由は「多數ルーマニア政治家の反ソ的態度」だつたが、この連中も四月のモロトフ聲明以來は態度がぐらつき始めたものだ

「モルゲン・チドニンゲン」紙イスタンブール電=英國の陸軍中佐ガードン・ド・チヤスタレンは本年二月祕密の使命をもつて空路ルーマニアに潜入し、今度國王ミハイの飛行機でトルコに逃げ出した男だが、アントネスコ元帥逮捕問題についてこの男が語るところによるとアントネスコ元帥は國王の面を冒して強硬に對ソ戰爭續行を主張し說服に力めたにも拘らず、國王は既に二月以來反樞軸國と交涉する氣になつてゐたと答へたといふ元帥が更に言葉を返すと國王は親衛兵を呼んで元帥を引渡し、他の閣僚も宮廷に呼びよせて同じく逮捕して了つた、それまで他の英國將校と共に監禁されてゐたド・チヤスタレン中佐はそれから釋放されてトルコに赴いたといふわけである

「スヴエンスカ・ダグブラデツト」紙掲載「サンデー・タイムズ」紙記事=元ロンドン駐劄ルーマニア公使チリアの言によれば、國王ミハイが最初に樞軸と絶緣する機會を得たのはイタリアの脫落直後だつたといはれる、當時國王は密使を派遣して國王自身少數のルーマニア政治家と共に國土を離れた方が良いかどうかを問ひ合せた、密使は反樞軸の一國及び數名の亡命政治家と談合した結果、國王に對して時機の熟した場合、直ちに行動を起し得るやうルーマニア領内に踏み止まつて貰ひたいと復命した

次に情勢が急激な發展を示したのは昨冬ベネシユがモスクワに赴いた時だ、ベネシユはルーマニアの政治家たちに代つてモスクワにルーマニア問題を持ち込んだがルーマニアの不意のクーデターは反樞軸國を吃驚せしめた、軍事的な準備をするために決行については豫じめ知らせるといふ約束だつたからだ

「グーゲンス・ニヘタイ」紙ロンドン電=ルーマニアの使節團は既に反樞軸諸國との交涉のためにテヘランに在る、ソ聯は近いうちにルーマニアとの正式協定を申出るだらうから、それにいつでも應ずるといふ用意なのだ

【西 亞】

イラン内閣總辭職 (リスボン三十日發)テヘラン來電=モハメツド・エス・サイドを首班とするイラン内閣は二十九日總辭職した

【軍事情報】

獨の新ロケツト機 ME二六二 (リスボン二十九日發)ロンドンからのロイター電報によれば二十八日フランス上空で擊墜されたドイツ機の中に双發噴射推進式航空機があつたが、これはメツサーシユミツトME二六二型なることが確認されたといはれる、ME二六二型は恐らくME一六三型から發達したものとみられてゐるが、ME一六三型の快速さへ米人飛行士の舌を捲かしたのだから、新型機の威力は大したものだらうといはれてゐる、但し未だその性能については詳細は一切判明してゐない

昭和十九年 九月 一日(金)
第三一六六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

近代戰の花形
ロケット兵器

歐洲においても東亞においても、敵は物量を恃んで必死の攻勢を續けてゐる、だが彼らの恃む物量とは西歐の物質文明を傾けて動員したものであり、物に關する限り質的にみても決して侮ることは出來ない、特に米國がその有する科學陣を悉く動かして次々に繰り出す新鋭兵器は、その量における壓倒的優勢により並々ならぬ效果を發揮しつつある、太平洋における空母機動部隊、歐洲における戰略爆撃隊、或ひは大空挺軍團等がその代表的なものだ、そして今敵が頻りに宣傳し、今後戰場に重要な役割を演じようとしてゐるのがロケット兵器である、現在ロケット兵器としては

一、ロケット彈 (Rocket Projectile)
一、噴射推進航空機 (Jet-Propelled aircraft)
一、流星彈 (V一號)

の三種を擧げることが出來る、ここでは以上三種のロケット兵器について若干の新しい資料を提供してこの新兵器分野の現狀を展望したい

ロケット彈

ロケット彈は現在野戰においては對空射撃及び對戰車攻撃、航空戰においては直協兵器或ひは船舶攻撃兵器として盛に使用されてゐる、ドイツ軍のパンツアーシュレック、パンツアーフアウストや米軍のバズーカ砲等が陸上のロケット砲であり、航空機では米軍のサンダーボルトその他大型戰闘機、英軍のタイフーン等がロケット發射裝置を有し、兩翼下面に計八個のロケット彈を裝備してゐる、ロケット彈の長所は發射に際し强衝撃を伴はないことで、そのためにこそ航空機より大口徑彈を發射したり、ロケット砲を一人の兵が擔つて歩いたりすることも可能なのである、缺點とされてゐた精度の點も最近は向上したらしく、米國の海軍は本年度は昨年に比し二倍の火藥を使用する中その增加分は悉くロケット彈製造に充てる豫定といふ、ロケット彈が如何なるものであるかについては六月十六日附「ニューヨーク・タイムズ」紙に次のやうな記事がある

五十封度ロケット彈は從來祕密兵器として侵攻戰線その他で效果的に使用されてゐたが、六月十五日初めてその內容が發表された、その威力は陸軍の有名な一〇五粍砲彈に匹敵する、操作やロケット彈發射の原理はバズーカ砲と同じだが、このロケット砲は輕砲架を使用し、射程及び破壞力はバズーカ砲より遙かに優れてゐる、上陸用舟艇や水陸兩用「ダック」戰車などから發射すれば上陸作戰において敵の水際防禦施設に對し、物凄いロケット彈幕を蔽せることもできるわけだ、發射力の關係で從來不可能だつた航空機或ひは小舟艇からの齊射も可能になつた高性能炸藥や化學藥品を充塡する他、場合によつては作戰行動を敵にみせないための煙幕を張るのにも使用して效果的である

この記事によつてもわかる通り野戰重砲級の威力を持つ砲彈が、輕砲架や航空機から發射できるといふことは大進歩であり、歩兵部隊の火力を增大して戰術的に相當大きな變化を齎してゐるにちがひない、但しこの種の兵器が反樞軸軍の獨占でないことは勿論だ、また米國海軍長官フオレスタルは航空次長ゲーツを帶同して六月上旬東部海岸の海軍實驗施設や軍需工場を巡視したが、この時隨行した「ニューヨーク・タイムズ」紙の記者は「軍機の關係上はつきりしたことはいへないが」と斷つて次の通り報告してゐる

海軍は航空機及び船舶で今後大いにロケットを使用するためにロケット改良の可能性を研究してゐる、ロケット彈を裝備したアヴエンジヤー雷撃機は最近大西洋で潛水艦を撃沈してゐるし上陸地點攻撃に歩兵上陸用舟艇(LCI)程度の舟艇が使用されてゐる

パチユクセントの海軍航空基地には、他にもロケット彈を裝備した海軍機が澤山あつた、ロケット彈の大きさはいろいろあるが、目標に對しては非常な效果を示すといふ、大型のものになると同口徑の火砲から發射する砲彈より威力がある、海軍の飛行士は目方の割合に爆破力があるといつてロケット彈を歡迎し、精度の問題は飛行技術及び照準器の改良によつて解決されると考へてゐるやうだ

新聞記者のパチユクセント基地見學は今度が最初だが、同基地ではストーズ大佐指揮の下に航空機の試驗並びに技術的問題の研究が一切行はれてゐる、同時にここには兩洋の海軍空輸部隊本部がある

この記事をみても米國海軍のロケット砲彈に對する力瘤の入れ方が分るではないか

噴射推進式航空機

歐洲の上空ではドイツ軍のメツサーシユミツトMe一六三噴射推進戰鬪機が八百粁時の高速をもつて活躍してゐるといはれる、俗にロケット飛行機といふが噴射推進發動機は普通のロケットとは少し違ふ、卽ち後者は燃料と一緒に粉末または液體の酸素源を有するが噴射推進發動機は例外なく大氣を吸入して燃料を供給する裝置になつてゐる米國でもジエネラル・エレクトリツク社設計の噴射推進式タービン發動機が大量生産に入つたといはれるが、米國の噴射推進式航空機については前に引用したパチユクセント基地見學記の中に次のやうな興呼深い一節がある

この基地では新型噴射推進式航空機の試驗を實見した、普通燃料によつて空中を矢のやうに飛ぶ斬新な「プロペラなき航空機」だ「スウイツシユ」(譯註シユーツと水を切る音)といふ名だが、まだある程度未解決の問題はあるにしてもその驚異的な水平速度と上昇速度と全體的な縱舵性によつてその名の應はしきことを實證してゐる、海軍は噴射推進原理のさらに一步進んだ應用を研究してゐるが、ラムゼー少將もこの點は樂觀してゐる

もう一つ公開されたのは滿載した海軍爆撃機の離艦にロケツトを利用する裝置だ、飛行機に裝備されたロケツトは爆撃機が發動機の唸りを立てながら走り出すと同時に噴射を始める、滿載の爆撃機は、ロケツトの推進力によつて殆んど信じられないほどの短時間で空中に浮き上つた要するに積載量を增しながら離艦距離の小さくなる點に進步がある、また日獨兩國は近く航空機の對潛水艦攻撃新裝備に吃驚するだらうが、これについてはそれ以上一言もいふことは出來ない(註 ついでにいふと、この新裝備とはロケット砲の一種かもしれない、最近米國海軍省は大西洋で航空機のロケット彈により潛水艦を擊沈した旨發表してゐる)

流星彈とV二號

以上いはゆるロケット航空機の實用的價値は今後の戰場において實證されるだらうから、これ以上論ずることを止めて、最後に問題のドイツ軍新兵器流星彈卽ちV一號だが、これの構造についてはすでにドイツ側からも敵側からも發表されてゐるからここではあまり觸れないことにする、ただ形狀においては魚雷を胴體とせるグライダーの如く、推進機がロケツトでなく空氣取入式噴射推進裝置であり、飛距離からみれば噴射推進式發動機といふほど精巧なものではないらしい、一回の使用で自爆してしまふ兵器としてみれば、簡單且つ廉價なことこそ新兵器たる必須條件だといはなければなるまい、とにかく流星彈については論じられるだけ既に論じつくされてゐる、お蔭でロケツトに對する關心が極めて一般的になつて一九二八年初頭にベルリンの競馬場でフリツツ・フオン・オーペルがロケツト式自動車の可能性を公開實驗したことから彼の自ら操縱したロケツト軌條車が一九二八年六月には時速百八十哩を出すに至つたこと、一九二九年にはフランクフルト附近でロケツト飛行機まで飛ばすやうになつたことなど盛んに紹介された

次に引用するのは實は孫引きで誠に申譯ないが「サイエンス・イン・リヴユー」誌によるとウイリー・レイ著「ロケツト」にはこんなことがかかれてゐるといはれる

一九三一年と三二年の兩度に亘つて、ウイトン大學のオイゲン・ゼンガー博士は酸素含有燃料油を使つてロケツト實驗を行つたが、その結果の燃燒時間は極めて長く、普通十二分から十五分ぐらゐ持續し、特に長いのは半時間にも及んだロケツトがある

十三年前でさへかうだつたとすれば、現在までの進歩を考慮すると流星彈はそれが如何に完全なロケツト式ではないにしても相當長距離の飛翔が可能なることは明らかだ、V一號を生んだ直接の卵ともいふべきはドイツ軍がアンチオ上陸作戰に際し反樞軸艦船集團を攻撃し、或ひはベルリン空襲の爆撃機編隊を破るために使用したロケツト式グライダー爆撃で、流星彈出現當時には同じ兵器の大型のものだと感違ひした人が多かつたやうだ

發射についてはすでにドイツでは實況映畫まで公開されてゐるといふが、まだ十分納得し得る程度の發表はない、ただその基地の構造については敵側當局の發表がベルリン電報によつて紹介されたことがあるが、これもあまり詳細ではなかつたそこで次に六月三十日附「サンデータイムズ」紙の記事を譯出紹介しよう、これは同紙記者の實地調査の記錄だ

三種ある報復兵器基地＝記者はシエルブール地區にある流星彈その他の基地らしきものを訪問する機會を得た、調査によつて多くのことが明かにはなつたが、決してその構造や操作法のすべてを知り得たといふわけではなく、エカルドルヴイル及びゾツトヴアストの二大建造計畫をみるとドイツ軍がさらに別な新兵器を出さうとしてゐたことも考へられる、報復兵器の發射臺には大たい三種あり、バンタム級、ミドル級、ヘヴイー級とでも分けることが出來よう、バンタム級基地は疑ひもなく流星彈用で、構造も敷地も小さく簡單だ、シエルブール西方三哩半のサン・マルタン・ル・ヴアーストで記者のみたのが典型的なものだとすれば、長さ二十碼乃至二十五碼、高さ僅か十二呎ぐらゐ、コンクリートの側面と屋根を三つ宛組み合せた曲線隧道が一つか二つあるだけだ、そこから低いコンクリート建築物まで道が通じてゐるが、恐らくこの建物の中で操縱裝置を取りつけるのだらう、建物に接して發射臺がある、サン・マルタン・ル・ヴアーストのは平坦な地上を四十乃至五十碼直線に軌道が敷かれてゐるにすぎない、發射臺には屋根もなく、最初二十碼ほどは厚さ三呎のコンクリート製側壁で防護され後端三乃至四呎の高さから前端約十呎の高さへと上り坂になつてゐる、兩壁の間隔は十五呎ある、施設は全部森の中に建造され、十分な僞裝が施されてゐる

ミドル級に屬する遙かに大きく精密な構築物はシエルブール西北西方エカルドルヴイルにみられる、まだ完成までは仲々の作りかけらしいが、遙かに進歩したもので、完全な防空發射臺にする設計だといふことが分る、この非常に堅固な施設は全然爆撃を喰つたことがないらしいが、これは大型流星彈の基地とも思はれるし、或ひは何か別な兵器の基地かもしれない

シエルブール東方八哩のゾツトヴアストにあるヘヴイー級大構築物となると、いよいよ出でていよいよ奇々怪々だ、ここでは果樹園と畑の眞中に何か大きな建築計畫の跡がある、土地のフランス人の言によれば、反樞軸軍の占領當時までに既に十八ケ月乃至二年の間工事が進められてゐたといはれる、それにも拘らず設計はまだ甚だ不完全でそれをみただけでは計畫完成時の姿は曖昧な想像しかできさうもない、この設計は鑿込式基地だ、第一の鑿込は底の平地まで横巾百呎で十八呎下り第二段はそこから更に約二十二呎掘り下げられてゐて、横巾約五十呎ある上に一部はコンクリート壁になつてゐる、西端に始まる非常に頑丈な補强コンクリート作りの部分は既製鑿込部の約三分の一に達し、これにより上部のコンクリート面は巾百五十呎に近く、地下隧道は横約二十四呎、高さ二十二呎で、頭上には十八呎のコンクリートを頂いてゐる

昭和十九年九月一日(金)
第三一六六號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

一見設計の中心をなすこの部分がどの程度迄掘進められる豫定だつたかは見當がつかない、他には長さ各二百碼のコンクリート滑走路が二本あり地下の通路や部屋を有する構築物もある、とにかくこの大がかりな土木事業の目的は臆測の種といふほかはない、但しドイツ軍が恐らくは二十萬トンに上る鋼材とコンクリートを費やし五百人位の勞力を三年近くも使つてまで、果して流星彈基地の建造計畫に着手したかどうかは疑問で、バンタム級の發射基地だつたら、十分の一の時間、三分の一の物資で六十ケ所位は作れるにちがひないのである

右「サンデータイムズ」紙の記事はまだV二號の出現があまり騒がれてゐなかつた頃に書かれたのだが、それでも示唆するところが多い、V二號はドイツ軍當局度々の言明にも拘らず依然姿を現はさず反樞軸側は徒らに揣摩臆測して恐怖を深刻にしてゐるだけだ、V二號についてはスエーデンの「スヴェンスカ・ダグブラデツト」紙八月十四日のベルリン特電が次の通り報じてゐる

V二號とは如何なる兵器か=ドイツはV二號による攻撃の準備は全く完了してゐるが、戰術的に最善の時機を待つてゐるのだ、新報復兵器はV一號の變型ではあるが、どこか全然ちがふところがある、ドイツ空軍の專賣といふべき噴射推進式ロケツト爆彈(流星彈)と異り、V二號は海陸空を問はずドイツ軍戰鬪兵力のあらゆる部門に使用することが出來る、特派員がドイツ外務當局から聞いたところによると、V二號は目標物までの距離には縛られない、海上の船舶からでも使用し得る既にこの兵器は生産中であり、陸海空三軍の司令官たちによつて生産が進められてゐるといはれるドイツ當局は「ロンドン地區を含む南イングランドに對するV一號の攻撃は、近く一層大規模に行はれることになつてゐる」と述べてゐる、生産の切換重點は爆彈製造の大增産にあるといはれてゐる

V二號に關する觀測は、その極めて大型だといふ點では各方面とも一致、特に九十トン乃至百二十トンといふ重量の八割以上が燃料として使用されるといふ點に注目を惹いてゐる、その發射基地についてもオランダその他多數の地點が擧げられてゐるが、いづれも確報ではなく、反樞軸側が空中偵察などによりここがおかしいと思ふやうな場所は片つぱしから爆撃してゐるのが眞相だらう、ロイター電或ひはAP電がドイツのラジオ放送だといつてV二號は操縱士が目標地區上空で落下傘により飛び出す方法により既に使用され始めたと報じてゐる、それではV一號に比して決して新兵器と稱し得るとは思はれないが、「空の一人乘魚雷」といふ意味で全く可能性がないとは斷言し得ない、それもドイツ軍當局ではいまだ沈默を守つてゐるのだから、敵側の完全な逆宣傳かもしれない

また英國空軍省は每日のやうに流星彈基地の爆撃や流星彈擊墜を發表してゐるが、その效果はあまり大したこともない模樣で、ロンドン連日の被害が立派な證明だ、發射基地を知つてゐても爆撃では基地を破壞し得ないのか、或ひは全く見當ちがひの爆撃を行つてゐるのか、それともまた爆撃のニュースそのものが純然たる宣傳なのか分らないが、流星彈が六月十五日の攻撃開始以來殆んど休む間もなく南イングランドに落下を續けてゐることだけは嚴然たる事實である、ただその發表がどんなものかを紹介する意味で、八月二十三日の「エクスチエンジ・テレグラフ」社ロンドン電(チユーリツヒ支局發)を揭げることにしよう

ロケツト彈で攻撃=流星彈に對する戰鬪にはロケツト彈發射航空機が出動して戰果を擧げてゐるソンム地區およびアベヴイル附近の流星彈基地は恐らくは空爆のためであらうが、僅かの活動しか示してゐない、或ひは兩基地が反樞軸軍の手に落ちることを惧れて、ドイツ軍自身の命令によつて破壞されたとも考へられないことはない、その他パリ東方二十五粁のイスルアダムにある流星彈の重要集積庫も間もなく占領されるものとみられてゐる

大正十五年十月廿五日第三種郵便物認可　昭和十九年九月二日(土)　第三一六七號

同盟通信

『海外電報』

(202)

編輯發行人　荻野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

戰局が重大化すると氣持までが消極的になつて、ともすれば敵の強い點、有利な點ばかりが目につくやうになる、これが強くなると恐ろしい敗戰主義にまで發展するのだ、われわれが正面の敵として取組んでゐる米國が侮るべからざる強大國であることは戰爭をはじめる前から十分わかつてゐた筈だし、戰爭の或る過程においては敵がその尨大な物量にものをいはせて大反攻を試みて來ることも十分覺悟してゐた筈である、されば大東亞戰の現段階は來るべきものが來たに過ぎず今さら驚きあはてるには及ばない

名前は忘れたがある有名な歐洲人が初めて米國に渡つた時その第一印象をたづねられて「一言にして評すれば米國は矛盾の國 Land of Contrast である」といつたさうだ、正に米國は矛盾に滿ち滿ちた國であり、天國と地獄とが同居してゐる國である、ニューヨークの摩天樓だけを見た者が、同じ米國の南部地方にゆくとシヤツクと稱する雨露さへも凌げないやうな堀立小屋のあることを想像し得るだらうか

近代戰はいふまでもなく國家の總力をあげての戰ひである、されば一國の持つ弱味も强味も遺憾なくその戰力の上に現はれて來る、米國の持つ矛盾が戰力の上に顯現して來るのは當然だ、この觀點からすれば現在の戰局の段階は米國の持つ最も强い點が最大の限度にまで發揮された時だといひ得る、物量による敵の大反攻これである、しかしそのかげには依然として米國の弱點が包藏されてゐることを見逃してはならない、そしてこの弱點は戰局が米國の意志通りに展開しない時、卽ち戰爭が長期化する時、これまた最大の限度にまで表面化して來るであらう



【目　次】

祖國を防衞せん……一九九七
ドイツ公使館を占領……〃
羅使節モスクワ着……〃
イラク内閣改造……〃
亡命希政權また改造……〃
亡命希副首相辭職……〃
反樞軸陣容整備……一九九八
モントゴメリー元帥に上る……〃
ブラドレー昇格……〃
歐洲反樞軸軍新政治顧問……〃
ネルソン、モスクワ着……〃
ソ聯再び洪を恫喝……〃
ソヴエト公使勃首相と會見……〃
獨、一切の劇場を閉鎖……〃
「B・B・Z」紙戰時停刊……〃
【米　國】
英軍の印緬作戰を攻撃……一九九九
海軍の現有勢力……〃
勃の休戰申入れを發表……〃
軍需勞働者の離業激增……二〇〇〇
【米　洲】
亞國前大統領軟禁さる……〃
【重慶政權】
ソ聯への友好的意思表示……〃
【反樞軸陣營】
米英首腦近く會談せん……二〇〇一
【濠　洲】
首相、對日戰强化を豪語……〃
【英　國】
流星彈に對策なし……〃
【北　歐】
芬、羅土兩國との連絡停止……〃
芬前藏相外交委員に……〃
【北　阿】
ブルガリア代表カイロに到着……〃
【印　度】
ガンジー、ジンナー近く會見……〃
【東南歐】
洪新内閣の戰爭施策……二〇〇二
勃軍占領地域から引揚……〃
【軍事情報】
ドイツ空軍の新銳機……〃
P47「サンダーボルト」の武裝……〃
【特　輯】
米國軍需生産の轉換(上)……二〇〇三―二〇〇五

昭和十九年九月二日(土)
第三一六七號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

ボルシエヴイズムに對し
祖國を防衛せん

(ベルリン三十一日發)D・N・Bがルーマニア國境線からとして報道するところによればルーマニア鐵衛團の首領ホリア・シマ氏は三十日ルーマニア軍に對し次の通り訴へたと傳へられる

ドイツ軍は勝利を目指して今や全力を展開しつつあり、歐洲戰爭の歸趨は未だ決定してゐないドイツ國民の決意には些の搖ぎなく裏切り分子が叛逆行爲を正當づけやうとして擧げた理由の如きは、ユダヤ的フリーメーソンがルーマニア人に對する憎惡をその背後に蔽ひ隱さうとする「表玄關」に過ぎない、ミハイ一世の裏切り行爲はルーマニア國民を殺すに等しいからルーマニア軍將兵が裏切り政權の命令に從ふ理由は毫もない、ボルシエヴイズムに對し祖國を防衛し祖國の將來のために戰ふこととそルーマニア軍の任務である、ルーマニア國民が今日において國內の均衡を回復するため全力を結集しなければルーマニア國民從來の努力は悉く水泡に歸さう、ルーマニア將兵は最後の一人に至るまで裏切り政權の打倒に全力を傾注しなければならない、ルーマニア軍に對する軍命令は「ボルシエヴイズムに對しルーマニア國を守れ」との一語に盡きよう

ドイツ公使館を占領

(ベルリン三十一日發)ルーマニア國內の情勢につきドイツ外務省當局は三十一日次の通り言明した

ルーマニア國內の情勢は依然混沌としてゐる、ブカレスト駐劄ドイツ公使館の消息も一切分らない、館員の一人が自動車で國境を通りハンガリア領に入つた後電報を打つて來たが、今までのところこれが唯一つの確報だ、右館員の夫人はルーマニアの裏切り軍のために射殺されたのだが、同人は夫人の遺骸と令孃とを車に乘せて脫出したわけだ、同人の電報によればブカレストのドイツ公使館は裏切り軍のために取圍まれ恐らく占領されたらうといふ、ハンゼン將軍が當時ドイツ公使フオン、キリンゲル氏と一緒にゐたことだけは判つてゐるが、反樞軸宣傳機關の傳へるやうにハンゼン將軍が逮捕されたのかどうかは判らない

羅使節 (モスクワ三十一日發)ルーマニア使節團はソヴエト政府と休戰交涉のため三十一日午前モスクワに到着した、使節團の顏觸次の通り

スチルベイ太公、司法大臣パルトラスカヌ、內務大臣代理デマカヌ、陸軍中將フオクスサニアヌ

イラク內閣改造

(リスボン三十一日發)ハムデイ・エル・パチヤチを首相とするイラク內閣は三十日總辭職したが同首相は再組閣を委囑され卽日組閣を完了した、なほ閣僚の顏觸次の通り

首相　ハムデイ・エル・パチヤチ
外相　マルシヤト・エル・オマリ
藏相兼供給相　シヤバ
法相　アーメツド・ババン
通信相兼公共事業相　アブドル・エル・アスリ
文相　イブラヒム・アキフ
社會事業相　モハメツト・ハツサン

亡命希政權また改造

(リスボン三十一日發)カイロ來電=亡命ギリシヤ政權副首相ヴエニゼロス、無任所相レンデス、海相キロナスの辭職に伴ひ、首相パパンドレオは次の通り後任を決定した

副首相　セミストクレス・ソフオリス
無任所相　サコポロス
海相　ケルミス

亡命希副首相辭職 (リスボン三十一日發)カイロ來電=亡命ギリシヤ政權副首相ヴエニゼロスは閣僚數名と共に三十日辭職したが、辭職の理由としては同政權首相パパンドレオが過般ローマにおいて英國首相チヤーチルと會見の結果取極めた協定に關し閣內の意見が分裂したためといはれる

昭和十九年九月二日(土)
第三一六七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

反樞軸軍陣容整備

(リスボン三十一日發)アイゼンハワー司令部三十一日の發表によれば、現在フランスにおける反樞軸軍の指揮系統は次の通りである

第二十一集團軍　モントゴメリー
司令官
英第二軍司令　デンプシー
加第一軍司令　クリアラー
第十二集團軍　ブラドレー
司令官
米第一軍司令　ホツヂス
米第三軍司令　パツトン

モントゴメリーとブラドレーは對等の地位にあるが、これは最初よりの案であり、昇格とか格下げとかの問題ではないと稱してゐる、なほ南フランスより北進するパツチ麾下の米第七軍は戰線が連絡した曉にはアイゼンハワーの傘下に統合されるとみられる

モントゴメリー元帥に上る

(リスボン三十一日發)ロンドン來電=英國陸軍省は三十日夜陸軍大將サー・バーナード・L・モントゴメリーが元帥に進級した旨發表した、發表は米軍司令官ブラドレーの地位に關するアイゼンハワー司令部の發表より數時間後に行はれた、英國で參謀總長の經歷なき元帥はモントゴメリーをもつて嚆矢とする

ブラドレー昇格

(リスボン三十一日發)ロンドン來電=反樞軸軍最高司令部は米軍司令官オマル・ブラドレーが現在集團軍司令官としてモントゴメリーと對等の地位にある旨正式發表した

歐洲反樞軸軍新政治顧問

(リスボン三十一日發)ワシントン來電=米國務省は三十一日次の通り發表した

地中海方面反樞軸軍政治顧問ロバート・マーフイは最近歸米したウイリアム・フイリツピスの後任としてアイゼンハワーの下に、歐洲侵攻反樞軸軍政治顧問に任命された、マーフイは大使の資格をもつて專ら對獨問題の處理に當る筈である

なほ前政治顧問フイリツプスは彼が英國の印度政策を攻撃した廉で最近米國に召還され、現に米英兩國間の泥試合の種となつてゐる

ネルソン モスクワ着

(モスクワ三十一日發)大統領ルーズヴエルトの特使として重慶に派遣された戰時生産局長官ネルソン並びに陸軍少將パトリツク・ハーレーは三十日空路モスクワに到着した

ソ聯再び洪を憫喝

(ストツクホルム三十日發)ソヴエト政府は三十日夜のモスクワ放送をもつて再びハンガリアに對し、もしも直ちに戰線から離脫してドイツとの關係を斷たぬ限り、ハンガリアの運命は保障し難いと恫喝したといはれる

ソヴエト公使勃首相と會見

(リスボン三十一日發)ソフイヤ來電=ブルガリア首相バクリアノワ氏は三十一日午後ソフイア駐劄ソ聯代理公使ジオルゲヴイチ・ヤコウレフ氏を招致會談を遂げた

獨、一切の劇場を閉鎖

(ベルリン三十一日發)ドイツ國内の劇場は根こそぎ動員令に基き八月三十一日から戰時中閉鎖されるに至つた、週刊「ダス・ライヒ」誌は右劇場の閉鎖に關聯しドイツ國内の劇場數につき次の通り述べてゐる

國立並びに市立劇場　三百軒、俳優歌手、踊り子樂士、その他の傭人四萬二千名
私立劇場　四十軒、要員千九百四十三名
地區劇場　三十軒、要員一千名
農民劇場　十八軒、要員二百名

「B・B・Z」紙戰時停刊

(ベルリン三十一日發)ドイツ政府の「根こそぎ」動員令に基き「ベルリーナ・ベルゼン・ツアイツング」紙は八月三十一日から戰時中獨立紙としての刊行を停止、九月一日から「ドイチエ・アルゲマイネ・ツアイツング」紙に合流することになつた

昭和十九年九月二日(土)
第三一六七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米國】

英軍の印緬作戰を攻撃

=新聞記者素つ破ぬく=

(リスボン三十日發)ニューヨーク來電=素つ破抜き記事で有名な新聞記者トルー・ピヤソンは三十日の「デーリー・ミラー」紙上に再び印緬作戰に關する暴露記事を掲載、この方面における英國軍の無能振りを攻撃して次の通り述べた

今から約一年前カナダのケベツクで開催された米英會談においてチヤーチルとルーズヴエルトは日本に對する主要作戰の一つとしてビルマを奪回し、支那を經て日本本土に到る作戰計畫を發表した、しかるに米國軍に割當てられた對日作戰は作戰計畫以上の進捗を示したにも拘らず英國軍の擔當した印緬作戰のみは何等の進展も示さなかつた、何故印緬作戰が進捗しないかとの理由については米國軍事專門家は印度における國內事情がその原因だといつてゐる、このことに關しては蔣介石がかつてルーズヴエルトに對し英國人への忠告を依賴した手紙を送つたことがある、この手紙は今まで一度も發表されたことがないが一九四二年四月二十八日重慶政權外交部長宋子文から當時の國務次官ウエルズに手交されたものでその內容要旨次の通りである

× × ×

印度の民衆は過去久しきに亘り米國が正義と平等とのために起ち上ることを要望してゐる、余の個人的見解によれば印度民衆當面の目標は英國の桎梏を逃れて國家的自由を確保せんとするにあり、その目的貫徹のために英印問題につき米國が公平な第三者として乘出すことを希望してゐる、印度民衆のかかる要望が達成されないならば彼等は凡ゆる反樞軸國に對して英國に對すると同樣の反感を抱くに至るべく、この悲劇において犧牲となるのは一國のみに止まらない英國がその帝國としての聲威を確保し、その權益を維持せんとするならば宜しく勇氣、忍耐、決意を示すべきである、英國がかかる勇氣を示さず現狀を放任し印度に反英運動が勃發するならばこの運動はその他の英領各地にも波及すべく、英帝國全體は正に收拾すべからざる混亂の巷と化すだらう、英國の壓迫が强いほどこれに對する反動は大きい、余は米國が英國に對して印度民衆が求めてゐるところは人類の福祉と反樞軸陣營の名譽のために妥當にして滿足な解決以外に何物もないことを忠告するやう希望する

海軍の現有勢力

(リスボン三十日發)ワシントン來電=海軍長官フオレスタルは三十日海軍の現有勢力につき次の通り發表した

過去五ケ年間にあらゆる型の海軍艦艇六萬五千隻その總トン數九百萬トンを建造した、この內三十六パーセントは軍艦、二十二パーセントは上陸用舟艇、殘りが補助艦艇その他である、軍艦の範疇に入る艦艇の總數は一千百五十隻で開戰前海軍の戰鬪用艦艇總隻數は三百八十三隻だつたから開戰以來約三倍となつたわけである、海軍はこの五年間に五萬七千機の飛行機を入手したが、これは戰前の海軍航空隊勢力の二十倍に當る、一方海軍兵員勢力も戰前の十五萬二千から三百五十萬に增加した、しかしながら海軍はこの現有勢力のみをもつて決して滿足するものでなく、將來の作戰が成功するか否かは今後海軍が急速に攻撃用舟艇或ひは貨物輸送船の如き緊急兵器を入手できるかどうかにかかつてゐる、海軍はまた今後一年以內に三萬機の飛行機を必要とするが、その九十三パーセントまでは戰鬪用飛行機である

勃の休戰申入れを發表

(リスボン三十日發)ワシントン來電によれば米國務長官ハルは二十九日ブルガリア政府が休戰問題につき反樞軸諸國政府に交涉を申込んできた旨發表したといはれる、但しベルリン電報は右に關しドイツ政府當局は一切言明を差控へてゐる旨報じてゐる

昭和十九年九月二日(土)
第三一六七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

軍需勞働者の離業激增

(リスボン三十日發)軍需勞働者は最近平和熱に浮かされて、軍需工場を離れる者が激增してゐると傳へられるが去る二十一日の週刊誌「タイム」は右につき次の通り報じてゐる

米國では新たな人口の大移動が始まつた、數千數萬に上る勞働者が太平洋岸の軍需工場を見棄てて東部の平和産業にその職場を求めるべく、洪水の如く大西洋岸に向ひつつあるのがこれである、一方飛行機工場の勞働者や造船工などが再び生れ故郷の町や農村に復歸してゐるが、これこそ米國民の間に最近特に强まつてきた戰爭はもう殆んど終つたのだといふ樂觀論の生きた證據だらう、當局の推定によるとロサンジエルスでは過去數ケ月にわたり、平均一月に七千名もの勞働者が何處かへ行つてしまふさうだ、この數はサンフランシスコで四千名、ポートランドとシヤトルとでは一萬五千五百名となつてゐる、これは決して勞働者が不要になつたわけではなく、西部の軍需工場は一層多くの人手を必要としてゐるのだ、例へばポートランドのカイザー造船所では一萬一千五百名の造船工を必要としてゐるし、また西北地區の製材業も七千名を必要としてゐる、歐洲戰爭が終れば東部地方の軍需工業は或ひは相當の人手を減らしていいかも知れないが、對日戰續行のために米國の戰爭努力の中心は西部に移る結果、太平洋岸の軍需産業は却つて一層多くの勞働者を必要としよう

【米洲】

亞國前大統領軟禁さる

(リスボン三十日發)ブエノスアイレス來電=アルゼンチン陸軍省は、三十日昨年六月の同國革命の指導者でフアレル現大統領が就任するまでアルゼンチン大統領だつたアルツーロ・ラウソンを逮捕し、これを自邸内に軟禁した、この理由はラウソンが、去る二十四日反樞軸軍のパリ突入を祝してブエノスアイレス市内で示威運動を指導したためである

【重慶政權】

ソ聯への友好的意思表示

(リスボン三十日發)重慶政府の新疆省政府主席更迭問題につきA・P通信及び「ユユーヨーク・タイムズ」紙の各重慶特派員は次の通り報道してゐる

A・P通信報道

重慶政府が新疆省の政府主席を替へたのはソ聯に對する友好的意志表示であるがこれは蔣介石の國民黨が一九二七年南京に政權を樹立して以來支那における最も重要な省政府主席の更迭である、前主席盛世才は長年にわたつて新疆省に半獨立的地位を占めてゐたもので、彼を强制的に取除けたのは重慶政府が新疆省に强力な地歩を强化したことを意味するものである

盛世才の政策、特にソ聯國籍人に對する方策は重慶とソ聯の關係を損ふ重大な脅威を與へてゐた、ソ聯が支配する外蒙古政府は曾て盛世才の部隊が外蒙古に越境したことを非難し、かかることが再び發生した場合には、强力な軍事行動に出ると恫喝したことがある、新任の主席吳忠信は、重慶からの命令を履行する忠實な國民黨出身官吏としての立場をとるであらう

「ニユーヨーク・タイムズ」紙報道

盛世才の辭職は重慶とソ聯の關係を改善するものと一般に考へられてゐる、古い型の軍閥の一人である盛世才は一九三三年以來向ふ氣の强い獨往心をもつて新疆省を統治し、これが重慶で次第に不評を買つてゐた、十一年前盛世才は新疆省の資源を開發するためソ聯と協定を結び、この結果同省の重要地たる廸化はソ聯人技術家の活躍により油井開發その他工業、醫學、農業の各事業をもつて長年の間、支那よりも寧ろ一層ソ聯的色彩を帶びてゐたが、その後政策的に逆轉し一九四二年四月重慶政府に對して助力を要請し、蔣介石への完全な忠誠を宣言したのであつた、しかし最近彼と重慶政府との關係は對ソ問題から惡化し今回の罷免となつたもので、これによつて重慶はソ聯との間に橫はる刺戟の一因を除去した

昭和十九年九月二日(土)
第三一六七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

米英首腦近く會談せん

(リスボン三十日發)米國大統領ルーズヴエルトと英國首相チヤーチルとの會談接近が各方面から傳へられてゐるが、三十日のBBCは右に關し次の通り放送した

チヤールはルーズヴエルトと、ドイツに對する對策および今後の對日作戰强化を協議するため近く會談することとならう、政界消息筋の意見によるとチヤーチルは近く戰時內閣に對し彼のイタリア戰域視察並びにユーゴーのチトーその他との會談結果を報告する筈だが、それが終つて間もなく英國を離れることとならう

一方ワシントン電報もルーズヴエルトが二十九日の新聞記者團會見で「チヤーチルとは近いうちに會ふことになつてゐる」と言明したことを傳へてゐる、兩者の會談場所についてはパリ說が有力である

【濠洲】

首相、對日戰强化を豪語

(リスボン三十日發)キヤンベラ來電=首相カーチンは三十日下院に臨み戰爭遂行方針並びに對內政策に關する報告演說を行つたが、特に對日戰の强化を呼號して次の通り述べた

歐洲戰爭が終了しても日本は今までに示したと同樣の頑强さと決意とをもつて戰爭を繼續するだらう、しかしながら反樞軸軍はドイツは勿論日本に對しても兩國が國內を再編成して新たな戰力を養ふやうな暇を與へないだらう、敵に對する攻擊は一刻の休みもなく續けられなければならぬ、これについては過去數週間以來反樞軸軍最高首腦が對日戰の强化に關し廣汎な分野に亘り考慮を加へてゐることは濠洲として喜びに堪へない

【英國】

流星彈に對策なし

(ストツクホルム三十日發)ロンドン來電=ドイツ軍は二十九日夜も引續きロンドン地區を含むイングランド南部に流星彈を浴びせ損害と死傷を與へたが、數彈の一齊射を行つたらしく群をなして飛んでいくのが認められた、流星彈攻擊の激化に鑑み英國保健相ウイリンクは去る二十五日重ねてロンドン市民に警告、流星彈による被害は今後も益々增大するであらうと述べたが「タイムズ」紙は二十九日の紙上で次の通り報じてゐる

大ロンドン地區で絕對に必要な仕事に從事してゐる勞働者達は過去十週間來あらゆる困難をおかして不眠不休の活躍を續けてゐるが既に多數の死者並びに重傷者を出してゐる、ロンドン市が蒙つた物質的損害は特に著しい

【北歐】

芬、羅土兩國との連絡停止

(ベルリン三十日發)ヘルシンキ來電=フインランド遞信省はルーマニア、トルコ兩國との電信並びに郵便連絡を停止した旨三十日發表した

芬前藏相外交委員に

(ベルリン三十日發)ヘルシンキ來電=最近フインランド藏相を辭任せるワイノ・タンネル氏は三十日政府外交委員に任命された

【北阿】

ブルガリア代表カイロに到着

(リスボン三十日發)カイロ來電=ストイ・モシヤノフ氏を首班とするブルガリア代表團は三十日空路カイロに到着した、三十一日英國代表モイン、米國代表マクヴエーと會見する豫定である

【印度】

ガンジー、ジンナー近く會見

(リスボン三十日發)ボンベー來電=印度國民運動の指導者ガンジー翁と囘教聯盟のジンナーとの會見はジンナーの病氣で延期されてゐたが、三十日に至りジンナーはガンジー翁に書面で「九月七日以後ならばいつでも會見できる」旨を申し送つた

昭和十九年九月二日(土)
第三一六七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【東南歐】

洪新内閣の戰爭施策

(ブダペスト三十日發)ハンガリア新首相ラカトス上級大將は二十九日夜組閣完了とともに初閣議を召集し次の通り難局打開の決意を表明した

余は飽くまで攝政に忠誠を致し且つ祖國の運命について重大懸念を禁じえないため今回重任をお受けした、東部戰線に轉戰すること十三ケ月この宿命的時局に際してハンガリア國の戰爭努力はいまだ十分調和がとれてをらず前線、銃後との團結が足りないことを痛感した、かかる事態は根本的に叩きなほす必要があり、苟も不安の原因となるごとき事態は悉く一掃しなければならない、秩序と規律とを攪亂しようとする企圖に對しては嚴罰を以て臨む方針である

なほ閣議の結果ハンガリア政府は三十日次の施政方針を發表した

一、ハンガリア國境線防衛のため戰爭を繼續する

一、如何なる事態に立ち至るとも國内の治安を維持する

一、現在の生産規模を維持し、出來ればさらに增產を圖る

勃軍占領地域から引揚げ

(リスボン三十日發)三十日のソフィア報道によれば、ギリシヤ、ユーゴにおけるブルガリア軍は本國政府の訓令により占領地域から本國へ引揚げ中といはれる

【軍事情報】

ドイツ空軍の新鋭機

‖酒井特派員ベルリン卅日發‖

飛行機の構造と性能は今次大戰の經過において飛躍的に進歩した、しかも各國は戰鬪目的と國民性を考慮して新型飛行機の製作に狂奔してゐるがデル・アドラー紙最近號は寫眞入りでドイツ空軍の新鋭メツサーシユミツト二一〇號及びハインケル一七七號を紹介してゐる

メツサーシユミツト工場は先に一〇九型戰鬪機や驅逐機を製作して新機軸を出したが、今回新たにメツサーシユミツト二一〇型戰鬪驅逐機を製作すでに前線に、國土防衛に反樞軸軍の四發重爆を邀撃して多大の戰果を擧げてゐる

メツサーシユミツト二一〇號は姉妹機メツサーシユミツト一一〇號に比べて外形が異る點は方向舵が二枚から一枚に變つたこと、操縱席の前半が短くなり新たに〇〇サンチの火砲二門が發動機内側の附根に据付けられた點である、勿論操縱席前方の火砲配置は從前通りであり、これに通信士が操作する胴體兩側の廻轉機銃二門を合はせると非常な攻撃火力を發揮する、また發動機後方の主翼は上下に抽出式の急降下用ブレーキが裝置され、最高速力を調節する仕掛けになつてゐる、胴體の長さは十一・二米、翼巾十六・四米で、發動機はDB六〇一型の液冷モーター二臺を備へ快速を發揮する點、戰鬪驅逐機の名稱にふさはしく反樞軸軍の雷撃機にとつては全くの强敵だ

次にいま一つの新型はハインケル一七七重爆だが胴體は二〇・三米、翼幅は三十一米に達し搭乘員は六名、フオツケウルフ二〇〇型と並んでドイツ新鋭重爆機の花形だ、一見巨大な蜻蛉を思はせるハインケル一七七の特徴は著しく前方に突出した操縱席が警戒員に十分な視野を與へること、且つ車輪が双子式で合計四個あり、發着に際しての安定度を增す點だが、特に目立つことは後方に硝子張りの射手席が設けられてゐることだ、さらに操縱席と胴體中央部には廻轉式機銃が裝備されてゐる、發動機は双發だが二重配置の理由で四發同樣な威力を發揮し、四翅プロペラ二基を廻轉させる

P47「サンダーボルト」の武裝

P47「サンダーボルト」(リスボン三十日發)八月二十一日附「マンチエスター・ガーデイアン」紙は現在フランスでロケツト彈を放つて活躍してゐるリパブリツクP47「サンダーボルト」の武裝に關し次の通り報じてゐる

P47の兩翼下面に裝備されてゐるロケツト彈の數は發表されてゐないが、五百瓩爆彈二個を搭載することも出來るし、五〇粍口徑機銃八挺のための彈藥六千四百發も積む

昭和十九年九月二日(土)
第三一六七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

米國軍需産業の轉換 (上)

木下秀夫

幕の切り替へ

七月二十四日の米國週刊誌「タイム」の曰く、米國の舞臺裏では今幕の切り替へ準備に大童であるそして米國民も次の舞臺の幕開きをかたづをのんで見守つてゐる、次の幕の外題は「平和への移り變り」だ

最近米國方面から傳へられる報道の少くとも半分近くまでは戰後問題に關するものである、戰爭關係の報道も勿論少くないが、常に新たなことを求めんとする報道の中心はすでに戰爭を一歩とび越えて、その後にくるもの、卽ち戰後問題に集中された形である、このことは、結局米國民の關心の重點が早くも現實の戰局の推移を離れて、戰後問題に移つたことを物語るものであるが、この觀點からすれば、米國における「平和への移り變り」の芝居はもはや舞臺裏の準備だけではなく、現にその幕が切つて落されたともいひえよう

米國で目下騒がれてゐる戰後問題は、これを二つに分けることができる、一つは戰後の國際機構問題であり、對外政策の範疇に入る、現在ワシントン郊外のダンバートン・オークスでは「戰後安全保障會議」と銘うつて、米英ソ三國會議が開かれ、これに續いて米英重慶會議も開かれることとなつてゐるが、この種の會議はすでに早くも昨年初頭の反樞軸食糧會議を皮切りとして、反樞軸救濟復興會議、勞働會議、通貨會議などがこれに續き、今また戰後安全保障會議が開かれるに至つたこれらの會議の提唱國が悉く米國であり、その開催地も全部米國であることは注目に値すべく、米國當局がしきりに宣傳するごとく、米國の用意周到さを示すものといへばいへるが、國民の關心を常に新たなものに惹きつけて、民意の沈滯、弛緩を防がんとする意圖が極めて多分に含まれてゐることをも見逃してはなるまい

對内的戰後問題

米國の直面する戰後問題を大別した今一つはここに述べんとする軍需産業の平和民需産業への轉換問題であり、これは對内政策の範疇に入る、われわれの常識をもつてすれば、戰局の最終的結果もわからない戰爭の眞最中において、しかも國家總力の結集を必要とする近代戰のさなかにあつて軍需産業の平和産業への切り替へが問題となり、現に一部の民需生産が再開されるに至つたといふことは、まことに奇怪な現象といはなければならない、この場合においても、米國當局の宣傳するごとく、米國の用意周到さ乃至は尨大な生産力を有する米國の餘裕綽々ぶりを示すものといへばいへるが、これはどこまでも問題の一面のみを捉へたに過ぎず、その全貌を説明したものでは決してない

何故ならば、この軍需産業の轉換問題こそ、その一面において、米國の包藏する最大の弱點をはしなくも露呈したものに他ならないからだ、卽ち米國の直面しつつある戰後問題は、その自發的意志によつて取りあげられた積極的なものではなく、却つて各種の事情により、やむなく取りあげざるを得なかつたといふ消極的な面を多分に持つてゐる、各種の事情のうちには國民の戰局樂觀およびこれに伴ふ民意の弛緩、焦燥がある、戰後の經濟混亂を豫想する資本家の憂慮がある、失業の大洪水に脅える勞働者の恐怖がある、戰後問題就中軍需産業轉換問題が、決して米國の餘裕ばかりを示すものでなく、むしろ米國に强制された問題であるとの性質を多分に持つてゐるのは、これがためである

軍需産業轉換問題が、かかる背景を持つて生れてきた關係上、この問題をめぐつて表面化してくる現象も、頗る複雜であり、相矛盾した様相を呈する、いはば米國の矛盾ないしは二重性格がこの問題をめぐつても表面化してきたのであつて、米國の消極面と積極面が同時に顯著な對立をみせて露呈されてゐる、われわれはこの兩面を正確によみとらなければならない

昭和十九年九月二日(土)
第三一六七號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

以下、米國からの最近の情報に基いて、戰爭の渦中において今や米國最大の問題となつてゐる軍需産業の切りかへ乃至民需生産の一部再開問題を檢討し、あはせてこの問題をめぐつての米國最近の國内動向をみよう

× × ×

戰局の樂觀

米國民の間では戰爭の前途に關して最近賭の大流行であることが報ぜられる、しかしこの賭は、戰爭にどちらが勝つかでなく、戰爭がいつ終るかの賭である、米國民にとつては、今度の戰爭が彼等の壓倒的勝利に終ることは既定の事實であつて賭の對象にはなり得ない、しかも戰爭が極めて短期間に終るといふ見方が壓倒的で、一報道によれば歐洲戰爭に關する限り、十月一日までに終るとするのが十五對百で、いかに先走つた米國民でも戰爭が今後一、二ケ月のうちに終るといふやうな極端に甘い考へを持つてゐる者はいまだ少ないことを示してゐるが、これが本年末までとなると五十對五十と、米國民の半分までは今年中に歐洲戰爭が片付くとの意見を持つてゐることが示されてゐる、この報道はフランス本土における戰局が現在ほど重大化せず、バルカン情勢も急轉回しない前に傳へられたものだから、今日ではこの賭の比率は更に樂觀論者に有利となつてゐるだらう

この賭の一事が萬事を物語つてゐるのであり、米國民の間には今や滔々たる戰局樂觀論が、みなぎり流れてゐる、左に掲げるのは米國の週刊雜誌「ネーション」の七月十七日號が「眞夏氣分」といふ題下で、米國民の樂觀氣分を紹介したものである

正しいにせよ、間違つてゐるにせよ、米國民は今や彼等の眼前に示された色々な現象によつて少くとも歐洲における戰爭が終るのは、數ケ月の問題だと確信するに至つた、戰爭の困難を忘れたわけではない、また彼等の兄弟や子供達が現に熾烈な戰鬪に從事し、ある者は前線で死んでゆきつつあることをも忘れたわけではない、しかし戰爭が終りに近づいたことを示すのは、毎日の新聞の記事ばかりではない、あそこの會社、こつちの工場が頻りに軍需生産を削減し、操業の短縮を行つてゐるのを現に見せつけられてゐるのだ、かくて社會の全體が新たなる樂觀主義の匂ひをかぐに至つてゐる

ワシントンからは舊約聖書のやうなお說教が放送されるが、國民は歐洲戰爭に關する限り、これが最後の夏だと思ひこんでゐる、見やうによつては、今年の夏はもうすつかり戰前の平和時代の夏と殆んど變りがないやうにまでなつた、物資不足や割當制などはまだ解消したわけではないが、一時はあれほど騷がれたこれらの問題も、今では一般市民の日常話題の對象にはなり得なくなつた、「ニューヨーク・タイムズ」紙が最近發表した最も賣行きのいい本(ベスト・セラーズ)のうち、小說では十四のなかで僅か二、小說以外では十六のなかで僅か四が戰爭を扱つたものに過ぎなかつた

興業や流行歌の大當りも、血なまぐさい戰爭物はあとを絶ち、末梢的な享樂物のみとなつた、ニューヨークのルウイゾーン・スタジアムでは最近オスカー・レヴアントが一九二四年の大當り「ラプソデイー・イン・ブルー」を演じたがこれをきかんものと集まつた群集は無慮二萬一千、二年來の大入り記錄だつた

平和氣構へ熱

米國における平和氣構へ熱を示す今一つの報道を紹介しよう、これは英國新聞「ニューズ・クロニクル」の八月三日の報道であるカンサス・シテイの商人達は最近街頭に面した店の窓々に木製の覆ひをかけ始めた、空襲を恐れての措置ではない、休戰の日に熱狂した群集によつて窓硝子が破壞されるのを防ぐためだこれは市民の個人的對策に過ぎないが、ニューヨークやフイラデルフイアの大都市では、市當局が戰爭終結の日の混亂に備へて、各飮食店に酒類販賣の制限令を出すやら、集會の制限措置を準備するやらしてゐることが傳へられる

昭和十九年九月二日(土)
第三一六七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

用意周到といへばそれまでだが、これなどは當局までが一般市民の樂觀論のなかにまきこまれてゐる例といつていいだらう

この傾向は全米的である、極く最近の報道は、太平洋岸の海軍基地サン・デイエゴの町で、ドイツとの休戰成立を知らせるサイレンが鳴りひびき歐洲戰の終結を今日か明日かと待つてゐた市民はさてこそとばかり狂喜、亂舞し、全市は一時祝勝の坩堝と化したが、間もなく電氣の故障でサイレンがひとりでに鳴り出したものとわかり、全市の興奮も忽ちにして火の消えたやうに消滅してしまつたといふ悲喜劇をも傳へてゐる

軍需生産に影響

一般市民がかかる氣持になつてゐる以上、これが國民の戰爭努力の上にも深刻な作用をおよぼすのは當然である、最近全米にわたり再び勞働罷業の波が押寄せてゐること、罷業に至らぬまでも缺勤、怠業等が激增し、軍需生産に至大な影響を與へてゐることの報ぜられるのもこの現はれであり左は米國週刊誌「タイム」の七月十七日の報道である

軍需生産當局の惱みの種は、最近軍需勞働者で平和産業に鞍がへする者が目立つてふえてきたことである、これは軍需勞働者が、軍需生産の終りに近づいたことを知り、將來の安定を確保するため續々平和産業に就職口を求めるからだワシントン當局は、戰爭の前途はまだ長いと頻りに强調してゐるかも知れないが、現實主義的な米國の勞働者達は、政府の言葉を信じて間もなく仕事から放り出されるやうな愚を敢てすべきでないとの建前をとつてゐるやうだ、要するに米國市民は極めて賢明にも、彼等自身の「轉換」は戰爭の終結をも待たず、今直ちに實行に移してゐるといふことが出來る

この結果は軍需産業における由々しき生産減退となつて現はれ始めてゐる、例へば鐵鋼の生産高は先週には全生産能力の九十四パーセント・三にまで減少した、原因は人手不足で、現に製鋼業は約五萬の新規勞働者を必要としてゐる、西部の鐵道業は過去二十一年來の最も甚しい貨車不足に惱み、全交通機能が麻痺狀態に陷らんとさへしてゐる、鐵道業が現在必要としてゐる勞働者は九萬に達する、軍需産業の轉換問題をめぐつて政府首腦者間に非常な論爭の種となつてゐるのはこの勞働者不足の點である

樂觀論に警告

米國民の戰局の前途にたいするかかる早まつた樂觀にたいして、政府當局が深憂してゐることは斷るまでもあるまい、政府當局が戰局の有利を誇大に宣傳する一方では、戰爭の前途にたいして屢屢國民に警告を發しなければならぬといふ矛盾した態度を示してゐるのもこれがためだが、前述したネーション誌のいはゆる「ワシントンからの舊約聖書のやうなお說教」がこれである、ただ、米國民の戰局樂觀を憂へてゐるのは政府當局ばかりではない、卽ち、八月二日の「ワシントン・ポスト」紙は次のやうな記事を揭げて、あまりに行き過ぎた樂觀論に警告を發してゐる

米國民は戰爭はもう終つたのだと勝手にきめこんでしまつた、緊急軍需品の生産は減退し、前線の必要を賄ひ得ない狀態となつた、軍需勞働者は平和産業に職場をみつけるために、何千何萬となく職場を離れつつあり、一方資本家は自分の工場の平和産業への轉換のことばかり考へてゐる

ドイツの軍需生産力は依然として恐るべきものあり、今一年、否數ケ月の時を與へただけでも戰局の大勢を逆轉せしめ英國及び歐洲の大部分を荒野にしてしまふ程の武器を生産し得ることは決して考へられぬことではない、陸軍補給本部長ソマーヴイルは米國の軍需生産を卽刻增加しなければならぬと警告してゐる、行き過ぎた樂觀論こそ危險極まるものである、米國民は各自の職場にふみとどまるべきだ、昨年十一月には二十六億四千萬弗を示した軍需生産額も、本年七月になると二十三億三千五百萬弗に減少してしまつた

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年九月四日(月)　第三一六九號

同盟通信 海外電報 (203)

編輯發行人　兵頭伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人同盟通信社

當面の焦點

英誌「十九世紀とその後」は東歐洲を制するものは歐洲を制すと喝破してゐるが、その東歐洲の支配權は既に事實上ソヴエト聯邦の手中に歸して了つた、もつともこの問題については昨年末のテヘラン會談においてチヤーチルはスターリンに全面的に讓歩したといはれこの意味では、ソヴエト聯邦の東歐洲に對する支配權はテヘラン會談でその基礎を確立したともいへよう、しかしチヤーチルの屈服とルーズヴエルトの默認は別として今やソヴエトは强大な武力を背景として歐洲に不動の地歩を占めるに至つた、赤軍のワラキア平原突入を機會にブルガリア、ハンガリアに對するソヴエトの壓力は加重し、舊ユーゴースラヴイア領においてはチトー軍の動きが活潑化しスロヴアキアも既に赤軍勢力が進出してゐるといふのがバルカンの現狀だ、アルジエー、イタリアに設定した政治的橋頭堡と相俟つてソヴエト勢力は早くも中歐に迄進出しようとしてゐる、米誌「サタデーイヴニングポスト」の傳へるところによればルーズヴエルトは米英ソ三國による世界制覇を夢想し、三頭政治におけるソヴエトの協力を購ふためにテヘランにおいて東歐問題國境問題をあつさり看過したのだといはれるしかしながらルーズヴエルトもチヤーチルもソヴエト勢力の歐洲浸潤について大きな誤算をしてゐなかつたであらうか

空軍と機甲部隊の優勢を恃む米英軍の攻勢には從來の作戰に見られない奔放さがあるがこれを詳細に檢討するならば四年前のドイツ軍と異なり、攻める米英軍に一種の焦躁感がつき纏つてゐることは否めない、この焦躁感の背景をなすものは一には米英兩國民の忍耐の限度が目前に迫つてゐることであらうが、他の有力な原因がソヴエトの歐洲進出にあることは明かだ

【目　次】

勃內閣總辭職……二〇〇六
勃首相挂冠の辯……〃
米英兩國との交涉も中斷……〃
勃軍占領地域から引揚……〃
ワルソー蜂起問題紛糾……〃
波政權の和協覺書を發表……〃
フイリツプス問題重大化……二〇〇七
英國公使の引揚げを要求……〃
衞國政府閣議を開く……〃
ガ翁ジンナー會談九日から……〃
ヴエルダン撤收……二〇〇八
ドイツ軍新兵器か……〃
獨長距離砲猛威を振ふ……〃
ドイツ軍の綜合戰果……〃
ポーランド叛軍の處分……〃
獨軍スロヴアキア進駐の意義……二〇〇九
【東　南　歐】
戰局と政局今まさに重大……二〇〇九―二〇一〇
クロアチア內閣改造……二〇一〇
土勃兩國間の國境閉鎖……〃
【フランス】
勃も公使引揚げ……〃
【米　國】
對中南米貿易制限緩和……二〇一一
動員解除法案下院通過……〃
炭坑罷業擴大……〃
軍需生產の遲滯を警告……〃
【友邦軸陣營】
米軍軍需品の莫大なる損耗……〃
【ドイツ】持て！磐石の信念……二〇一二
スロヴアキア國內の叛亂鎭定……〃
ナチ黨に防空の任務……〃
殺人的電波兵器出現か……二〇一三
【ソ　聯】
モロトフ・羅代表と會見……〃
【北　歐】
瑞典海軍明年度豫算案……〃
【ヴアチカン】
アトリーも法王に謁見……〃
【重慶政權】
ペルーとの公館昇格……〃
【軍事情報】
P61「闇夜の寡婦」……〃
V一號は取外し自在……〃
【特　輯】
米國軍需生產の轉換(中)……二〇一四―二〇一六

昭和十九年九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

勃内閣總辭職

(ベルリン一日發)ソフイヤ來電=バグリアノフ將軍を首班とするブルガリア内閣は一日總辭職した

勃首相挂冠の辯

(ベルリン二日發)ソフイヤ來電=ブルガリア首相バグリアノフ將軍は一日正午ソフイヤ放送局を通じ次の通り宣言を朗讀した

ブルガリア政府はソヴエト聯邦との戰爭回避に努力した、以上の目的を達成するためにブルガリア國内における自國軍以外の軍隊の武裝解除を命令し、更に數日前ブルガリア軍占領部隊に對し撤退を命令し、撤退は着々實施されてゐる以上新情勢の結果ブルガリア政府は總辭職するに決定した、政府はここに辭職するが新内閣の成立まで國政を見るであらう

米英兩國との交渉も中斷

(リスボン一日發)ストイ・モシヤノフ氏などのブルガリア代表は八月三十一日カイロに到着、一日米英兩國代表と會見し「會談は順調に進捗してゐる」旨發表されたが、カイロ來電によれば一日夜に至り内閣總辭職の報道を入れて交渉は中斷されるに至つたと傳へられる

勃軍占領地域から引揚げ

(リスボン三十日發)三十日のソフイア報道によれば、ギリシヤ、ユーゴーにおけるブルガリア軍は本國政府の訓令により占領地域から本國へ引揚中といはれる

ワルソー蜂起問題紛糾

(ストツクホルム三十一日發)ワルソーにおけるポーランド遊擊隊はドイツ軍のため殲滅の運命に陷つたが、英國外交評論家ウアーノン・バートレツトが「ニユーズ・クロニクル」紙上でワルソーの蜂起は事前にソ聯に對して通告されてゐたのだが、蜂起の時期をあやまつたためソ聯の援助を受けることが出來なかつたのだと素破抜いた結果、俄然問題は表面化するに至つた、ロンドン來電によれば、亡命ポーランド政權首相ミコライチクは三十一日記者團に對して聲明を發表、バートレツトの素破抜き記事を肯定して次の通り言明したといはれる

ポーランド政權はワルソー蜂起計畫をロンドンの反樞軸合同參謀本部に提出、同本部は計畫を檢討した上モスクワに通告した、余がモスクワを訪問した際、スターリン議長は赤軍にワルソー蜂起を援助させると確約したが約束は實現されなかつた、赤軍は八月六日にワルソーを占領する積りだつたやうだ

波政權の和協覺書を發表

(ストツクホルム三十一日發)ロンドン來電によれば亡命ポーランド政權首相ミコライチクは三十一日記者團に對し、ソ波和協交渉に關する覺書をソヴエト政府に送達した旨發表したといはれるが覺書中の和協方式は次の通り

一、ポーランド農民黨、民主黨、國家民主黨、基督教勞働黨、ポーランド勞働黨(共産系)の各政黨代表からなる新政權を組織し、英國政府の例に倣つて戰時内閣を設置すること

一、軍司令官の大部分はポーランド軍人たるべきこと

一、一九三五年の憲法復活は議會召集まで留保すること

一、政權と同等の地位を占める新國民會議を設置し國民會議は臨時議會としての機能をもつこと

一、ソ波關係を調整し、國境問題を解決するため交渉を行ふこと

ミコライチクは覺書の内容を發表した後次の通り言明したといはれる

余はポーランドの獨立と主權を確保し、ソヴエトとの友好關係を樹立することを念願して以上の覺書を起草した、この覺書がソヴエト政府及び米英兩國政府によつて支持され、われわれをして將來の利益のために、過去を忘れしめることを切に希望する、またポーランド國民解放委員會(ヘウム政權)が余の提案に贊同するならば、余はワルソーに赴いて細目の交渉に入る積りだ

昭和十九年九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

フイリツプス問題重大化

(リスボン一日發)ニユーヨーク來電=フイリツプスの召還問題は遂に米英兩國間の重大政治問題化し、二十八日の民主黨上院議員チヤンドラーの英國印度政策の攻撃演説に引續き一日には共和黨下院議員ジョンソンの對英報復決議案の上程にまで發展したが、米國各紙もこの問題を重視、たとへば一日の「ジヤーナル・アメリカン」紙ワシントン特派員は次の通り報道してゐる

上下兩院はフイリツプス問題を重大な政治問題として取りあげんとしてゐる、これは最近のドルー・ピヤーソンの暴露記事、チヤンドラーの演説等で刺戟された結果であることは勿論だが上下兩院議員の間ではフイリツプス問題をもつて英國の米國內政問題への干渉であると見做してゐる向もあり、議會がその調査に乘出すべきだとの要求も行はれてゐる

一方フイリツプスの後任として、ロバート・マーフイが反樞軸軍政治顧問に任命されたことに對しても國內に反對論あり、「ニューヨーク・ヘラルド・トリビユーン」紙は一日の社說に次の通り論じてゐる

米國のフランスに對する政策は失敗續きだつたが、マーフイの任命によつて、また新らしい失敗の記錄をつくつた、米英兩國關係に重大な波紋を描いたフイリツプス辭職の眞相はまだ明らかではないがマーフイの任命に至つては米國民に一層大きな謎を提供した、何故ならマーフイは米國對佛政策の失敗に重大な責任を持つ人物であり、對佛政策が益々重大となつた今日、ルーズヴエルトが選りに選つてかかる人物を任命したことは諒解に苦しむが、マーフイはルーズヴエルトと個人的に密接な關係にあるとみられる人物である、ルーズヴエルトは從來もその人事行政で自分に親しい者を重要な地位につけ、これが彼の最大の弱點といはれる位だが、米國はこの不明瞭な人事で今まで大きな犧牲を拂つてきた上、今また重大な外交政策で再び新しい犧牲を負はされようとしてゐる

英國公使の引揚げを要求

(リスボン一日發)ワシントン來電=反樞軸軍附米人政治顧問フイリツプスが英國の印度政策を攻撃した理由で英國政府から排斥を食ひ、遂に米國に引揚げた事件は米英兩國間の重大な政治問題と化するに至つたが、共和黨下院議員カルヴイン・ジョンソンは一日これに對する米國の報復を主張次の決議案を議會に提出した

英國政府がフイリツプスを「不同意人物」としてロンドンからの引揚げを要求した以上、米國政府としても當然これに對する報復措置に出るべきだ、差當り政府はワシントン駐劄の英國公使キヤンベル及び印度公使シヤンカール・バヤラを「不同意人物」として米國から引揚げることを要求すべきだ、フイリツプスの指摘した如く印度問題紛糾の責任はすべて英國政府にあり英國が現在の如き印度政策を續ける限り、印緬方面における反樞軸軍の作戰にも重大な支障を與へよう

一方ワシントン駐劄英國大使ハリファツクスは、フイリツプス召還問題が米國政界の重大問題化したのに周章狼狽して一日左の釋明聲明を發表したフイリツプスの米國召還が英國政府の要求によつて行はれたとの印象が、米國內で深まつてゐるのは遺憾である、フイリツプスの場合は勿論英國政府は今までに一度も英國に派遣された米國使臣に對してその退去を要求したことはない

葡政府閣議を開く

(リスボン一日發)ポルトガル政府は八月三十一日夜首相サラザール博士司會のもとに閣議を開催した、但し內容については何等公報がない

ガ翁、ジンナー會談九日から

(リスボン一日發)ワルダ來電=ガンジー翁は九日午後ボンベイにおいて回教聯盟のジンナー氏と會見、パキスタンを骨子とする回印兩教徒の和協案につき協議するに決定した

昭和十九年 九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ヴエルダン撤收

＝總統大本營一日公報＝

北佛戰線

フランス北部戰線においてはドイツ軍は反樞軸軍の強力な壓迫により、ソンム方面に向け東北方に更に撤收した、激戰の後反樞軸軍はアミアンを占據、更に東北方並びに北方に進擊、ドイツ軍は反擊を加へてゐる、ラオン・ルテル地區から北方に對する壓迫も續行されてゐるが反樞軸軍はシヤロン・スール・マルヌから東方への出擊を續けてアルゴンヌ南方を通過、廣汎な正面にわたつて進出した、特にヴエルダン地區の戰鬪は苛烈を極めドイツ軍は三十一日午後同地區から撤收した

東部戰線

東部戰線においてはドイツ軍は今や東部カルパチヤ山系からフインランド灣に至る連續する戰線に亘り赤軍の夏季攻擊を阻止し得るに至つた、過去數日間赤軍は強硬出擊によつて新に行動の自由を得ようと企圖したが、ドイツ軍歩兵部隊の強靱な防戰と機甲兵團の果敢な反擊によつて悉く失敗に歸した、八月中同方面の戰鬪においてドイツ軍は赤軍戰車四千二百輛以上、砲五千門以上を破壞乃至鹵獲し、捕虜約一萬三千を得た

ドイツ軍新兵器か

(ベルリン一日發)前線報道によればフランス北岸におけるドイツ軍長距離砲座は一日拂曉數時間にわたつてイングランド南部を砲擊したといはれるが、ドイツ軍當局では右砲擊につき「砲擊は極めて大型の砲彈を使用、單にイングランド南部の諸港灣だけでなく、イングランド南部の交通路並びに軍事中心を目標としてゐる」旨言明した、今回の砲擊がドイツ軍新兵器の發動か否かについては當局は言明を差控へてゐるが「戰史初めての大規模な長距離砲擊である」と附言した

獨長距離砲猛威を振ふ

(ストツクホルム一日發)ブーローニユ付近のドイツ軍長距離砲の一齊攻擊に關聯しドーヴアーからのユーピー電報は「イングランド東南部は開戰以來空前の長期且つ最も破壞的な砲擊を受け、數都市は甚大な損害を蒙つた」と報道し、更にロンドンからのユーピー電報もまた「廣汎な地域が砲擊を受けたがドイツ軍の攻擊は惡質である」と悲鳴を上げてゐる

ドイツ軍の綜合戰果

(ベルリン一日發)總統大本營は反樞軸艦隊に對するドイツ軍八月中の綜合戰果に關し一日正午次の通り發表した

△擊沈

貨物船及び輸送船　四十五隻
合　計　二六二、五〇〇トン
補助航空母艦一隻、巡洋艦二隻、驅逐艦二十三隻、コルヴエツト艦二隻、潛水艦二隻、モーターボート十三隻、快速艇一隻、哨戒艇十一隻

△大破

貨物船及び輸送船　二十八隻
合　計　二六二、〇〇〇トン
戰艦二隻、重巡及び輕巡五隻、驅逐艦十四隻、コルヴエツト艦一隻、快進艇三隻、モーターボート六隻

ポーランド叛軍の處分

(ベルリン三十一日發)英國外務省は亡命ポーランド政權の下に動員されてゐるポーランド叛軍は反樞軸軍の一部であり、ドイツ軍當局が叛軍將兵を正規兵として取扱はないならばドイツ政府は戰時國際法違反なる旨發表したが、ドイツ政府當局は三十一日次の通り言明した

一、ポーランド領土はドイツ政府の統治下にあり陸戰に關する國際法規慣例はポーランド叛軍には適用されない

一、ポーランド領土を單にドイツ軍の占領地域と看做してもポーランド叛軍の地位には何等變りはない、鎭定に歸した後方の占領地の住民は占領軍に對し、いかなる形式においても武裝抵抗する權利はない、占領軍に對する攪亂行爲により叛逆分子は戰爭法規の外におかれるから叛逆罪の廉で處斷して差支へない

昭和十九年九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

獨軍スロヴアキア進駐の意義

(ブダペスト三十日小田特派員發)ドイツ軍は去る三月十九日のハンガリア國内への進駐と同樣な形式でスロヴアキア國内に進駐したが、ドイツ軍としてはカルパチア山脈の自然要塞を利して最後の強力な防衛線を布かうとする決心とみられる、プルツエミスル方面からクラカウを狙ふ赤軍は最近大規模な行動を準備してゐるといはれるが、ドイツ軍は主要な工業地帶上シレジア地方を死守するため防衛線を固めつつあり、スロヴアキアへの進駐、またハンガリア駐屯軍の强化などにより、スロヴアキア國境からトランシルヴアニアまでのカルパチア山脈に鐵條の防衛線を布き、山脈越しにハンガリア平原からドイツ本土を狙ふ赤軍を喰ひ止める方針であらう、赤軍は屢々スロヴアキア及びハンガリア北部に落下傘部隊を降下させてゐるので、後方攪亂によるスロヴアキア國内の動搖を未然に防ぐとともにハンガリア國内の動搖を牽制するところにドイツ軍進駐の狙ひがあらう

ハンガリア進駐と時を同じうして二十九日ラカトス上級大將を首班とする新内閣が生れ、戰爭繼續、國内統一、生産擴充の三點を强調して國境防衛に全力を傾ける態勢を示した、新首相ラカトス大將は東部戰線のハンガリア軍總參謀長カルパチア防衛軍總司令官として國軍の衆望を一身にあつめてをり、且つ攝政ホルテイ提督の信任も厚いといはれるが、特にドイツ系とはいへぬまでも反共の傾向は極めて强く、北トランシルヴアニア出身の閣僚二名が入つてゐる點、外相にヘニエイ中將を起用した點等からも新内閣の性格を窺ふことが出來よう

【東南歐】

戰局と政局今まさに重大

(ブダペスト三十一日小田特派員發)歐洲戰爭の現段階を決定する最大の要素は時間である、この際貴重な時を稼がうとするドイツ軍と一擧に押しまくつてドイツ軍に立直る餘地を與へまいとする反樞軸軍との鬪爭こそ今全戰線を支配する第一の命題である、トルコ政府の斷交から動き始めた東南歐洲の情勢はルーマニア政府の裏切り後一週間の現在正に沸騰點に近付いてゐるが、ドイツ軍現在の防衛態勢全般からみればドナウ河以南を一時放棄することも考へられるしドイツ軍も現實にこの對策を練つてゐるといはれる、しかし以上の對策のためにも出來る限り時を稼ぐ必要あり、目下あらゆる點で反樞軸軍の政戰兩略を阻害する工作に出てゐる、これに對し米英ソ三國が遮二無二東南歐洲をドイツ軍から切り離し時を移さず八方からドイツ本國を押し潰さうと焦慮してゐる

東南歐洲に對する反樞軸軍の攻撃企圖は豫想以上に熾烈である、就中ルーマニア國に入つた赤軍が早くも開始したハンガリアに對する執拗な攻撃振りは單にルーマニア占據だけに甘んじないソヴエト政府の意圖を示し米英兩國がブルガリア政府に軍隊の通過、鐵道の提供を要求してゐるのも單にソヴエト政府との競爭からとみることは出來ない、東南歐洲も最早政治工作の舞臺から漸く軍事行動の場面に入つたといへよう、現に東南歐洲に對する反樞軸空軍の爆撃も威嚇本位を止め約一月半前から軍需工場、精油所など直接ドイツ軍の防衛力に響く對象を一つ一つ組織的に狙つてゐる、以上の見地から次に羅、勃、洪三國の現狀を檢討しよう

一、ルーマニア

軍事的に依然大混亂を來たしてゐるため裏切り政權も國民政府もいまだ歸趨は判然してゐない、赤軍は全面的に進撃を續行し、西部のハンガリア領土トランシルヴアニア地方は特殊及び山岳部隊がギメス、パスギトツパスの二通路の國境軍を攻撃し、ドナウ溪谷の縱貫鐵道を確保しようとしてゐる、中央はブサウに迫りプロエスチ油田を脅威し、東部はドナウ三角洲の北半を占據しようとしてゐる、ドイツ軍はプロエスチ油田を含む地方からルーマニア西部をカルパチア山脈とドナウ河を結ぶ線に據り防衛する方針と解されるが、プロエスチ油田も最前線となれば採油も殆んど出來ず、同地死守によつて無駄な兵力の損耗を避け右防衛戰にも相當彈力を持たせようとしてゐる

昭和十九年九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

二、ハンガリア

イスタンブール情報によれば米英兩國は近くルーマニア國内の空軍基地を利用する意圖あり、ブカレストへ赴く軍事政治使節團は現にイスタンブールで待機してゐるといはれる

ハンガリア政府はルーマニア政府の裏切りにつき公式に聲明してゐないが、各新聞は二十八日に至り一齊にルーマニア政府の裏切りを攻撃し共同防衛の態度を明らかにした、政治的にはいろいろ複雜微妙な情勢もあるが二十九日に至りラカトス大將を首班とする新内閣が成立、祖國防衛戰線の繼續を宣言して國内和平派の蠢動を抑制してゐるドイツ政府も以上の情勢を重視して把握力の强化に努め、ドイツ軍幹部、外交官等頻りにベルリンブダペスト間を往來してゐる、問題はドイツ政府がどれだけ武器兵力を注ぎ込んで北東南のハンガリア國境防衛を强化するかである、更にイスタンブール情報によればソ羅兩國間の休戰條件が全く米英兩國の利害を無視してゐる點からみて、米英兩國は自軍によつてハンガリア領土を占據することを策し、このためにもブルガリア政府に軍隊の通過を要求し、既にハンガリア占領委員會を米國はカイロに英國はナポリに設定したと傳へられる

三、ブルガリア

ブルガリア元首相ムシヤノフ氏が米英兩國と和平交涉のためアンカラへ赴いたことはD・N・Bも認めてゐるが、ムシヤノフ氏は既にソフイヤへ歸着、攝政と内閣の間に重要會議が續けられてゐるといはれる、但し和平條件についてソヴエト政府と米英兩國との間に相當喰ひ違ひがあり、米英兩國は未だ最後的な條件を提示するに至つてゐない樣子だが、最大の問題は常にブルガリア政府が中立を希望し外國軍隊の駐屯通過を拒否するに對し米英兩國が飽くまで軍事施設、鐵道港灣の提供、軍隊の通過權を要求してゐる點だ、ソフイア駐劄ドイツ公使ベツケル氏がベルリンから歸任、ブルガリア政府と交涉してゐるといはれるがブルガリア政府が完全に中立化するならばドイツ政府としても反對せず、自國軍の撤收にも同意するのではないかとみられてゐる、しかし米英兩國がバルカン全體をソヴエト政府に讓る意圖のないことは漸次明瞭となつてをりトルコ、ギリシヤ兩國はもとよりブルガリア、舊ユーゴースラビヤ領土にも勢力を張らうとし西亞軍をトルコから、またはギリシヤ領、黑海方面から上陸させようと盛に準備してゐると傳へられる、「タイムズ」紙など英國新聞界がブルガリア交通線の重大性を說き中立宣言だけでは和平條件とならずと叫んでゐる點から推しても、米英兩國は强引に軍隊通過の要求を押し切る肚と見られる

クロアチア内閣改造

（ベルリン三十一日發）アグラム來電＝クロアチア國家主席、アンテ・バヴエリツチ氏は三十一日内閣の一部を改造、内相ムラデン・ロルコヴイチ博士、陸相アンテ・ボキチ氏、保安長官ミルチン・ユルチツチ博士、アグラム警視總監イユジツプ・ヴラコヴイチ博士を罷免した、新閣僚の顏觸れ左の通り

内　相　陸軍大佐マテ・ブルコヴイツチ氏
陸　相　海軍中將ステインフエル氏
交通相　イエジツプ・ルマンドチツチ博士
保安長官　エリチ・リサク氏
アグラム警視總監　イヴアンキリン氏
なほクロアチア軍最高司令チヤンチ中將も同時に罷免され陸相が海軍中將の資格で兼任する

土勃兩國間の國境閉鎖

（ブダペスト三十一日發）トルコ、ブルガリア兩國は三十一日兩國の國境を閉鎖し、國境地帶の交通も悉く停止されたのでトルコ駐劄のドイツ外交官等も一時歸國が延期されることとならう

【フランス】

勃も公使引揚げ

（リスボン三十一日發）ソフイア來電＝フランス國内情勢の變化に鑑みブルガリア政府はヴイシー駐劄公使スイニノフ氏を召還した旨三十日發表した

昭和十九年九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米國】

對中南米貿易制限緩和

(リスボン三十一日發)ロンドン來電=二十三日附「フアイナンシヤル・タイムズ」紙は米國政府が中南米諸國に對する輸出手續を緩和してゐる旨次の通り報道してゐる

米國外國經濟院は九月一日以降輸出業者は中米諸國向の輸出には貨物許可證並びに船積み優先權の取得を要しない旨發表したが、引續きアルゼンチンを除く南米諸國向の一萬封度以下の貨物に對しても積荷制限を緩和する旨の發表を行ふものとみられる

以上に關し外國經濟院當局は「最近カリブ海並びに南米諸港に對する海運狀況は著るしく改善された」と述べる以外、理由を明らかにしないが、新規則によれば輸出業者は戰時海運局から船腹の優先割當を受けずに直接船會社と交渉を行ふことができることとなる、卽ち政府の統制緩和により一般に貨物の積出を促進すると共に貿易事業を民間業者の手に返さうとする一措置と解される、現在戰鬪地域における船腹の需要は依然衰へてゐないが一方、中南米諸國からの戰略物資に對する米國の需要もまた極めて旺盛なことが指摘されてゐる、また新規則の發表內容に徵すれば相當數の船舶がここ數ケ月間に中南米航路に就航してゐたことが分る

動員解除法案下院通過

(リスボン三十一日發)ワシントン來電=下院は三十一日動員解除法案を可決、上院案との相違點修正のため上、下兩院協議會に廻付した、下院案は戰後の失業補償を州の補償金制度にのみ限定し、聯邦政府による補償金支出制度を否決してゐる

炭坑罷業擴大

(リスボン三十一日發)ニューヨーク來電=ペンシルヴアニア州中部の炭田地帶にまた炭坑夫の罷業が發生漸次擴大の傾向にあつたが三十一日にはさらに四炭坑の坑夫が新たに罷業に參加、この結果操業を中止した炭坑は十七に上つた、勞資間の調停に乘出してゐた戰時勞働局も匙を投げ出した形であり結局大統領の炭坑接收令の發動となるだらうとみられる、一方その他軍需産業における勞働罷業も依然としてあとを絶たず、三十日にはルーズヴエルトは約二千五百名の勞働者罷業により操業不能となつてゐたウエスト・ヴアージニア州ハンチングトンの「國際ニツケル會社」工場を政府の手に接收した

軍需生産の遲滯を警告

(リスボン三十一日發)ワシントン來電=陸軍次官パターソンは三十一日次の警告を發した

米國の軍需生産は澁滯の傾向いよいよ顯著となり、前線からの要求を滿たし得ぬ程度にまでなつた、陸軍は各種兵器の增產を必要としてゐるが、就中重火器の如きは過去六ケ月の生產實績より今後六ケ月間に四十五パーセントの增產を實現しなければならぬ、この目標は軍需生產關係者の異常な努力によつてのみ達成されよう

【反樞軸陣營】

米軍軍需品の莫大なる損耗

(リスボン三十一日發)ワシントン來電=歐洲侵攻反樞軸軍總司令官アイゼンハワーは三十一日陸軍補給本部長ソマーヴイルに第二戰線における米國軍の軍需品消耗狀況に關する報告を送つたが、その要旨次の通り

フランス本土に上陸した米國軍は完全な裝備を有する軍隊だつたにも拘らず上陸以來最初の七十日間にその損耗のため九百臺の戰車を補給しなければならなかつた、一方地上部隊の作戰を掩護した空軍はこの期間に三千機を喪つた、この空軍が消費したガソリンの量は四千四百萬ガロン、投下した爆彈は五萬五千トンに達した、以上の數字には英國軍の損耗量は一切含まれてゐないので反樞軸軍全體としての損耗は驚くべき莫大なものとならう

昭和十九年 九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【ドイツ】

持て一磐石の信念

＝ゲ總力動員統監激勵＝

(ベルリン三十一日發)總力動員統監ゲツベルス博士は週刊「ダス・ライヒ」誌上で「磐石の信念」と題し次の通り述べてゐる

× × × ×

反樞軸軍は今や全力を擧げて今年中に戰爭を終結せしめんと必死になつてゐる、反樞軸軍の占める技術的優勢は一朝一石に凌駕し得るものではなく、ドイツ國民が現情勢に伴ふありとあらゆる困難を克服するためにはその總力を傾けることが肝要だ、しかしながらドイツ軍が漸次立直りつつあることは疑問の餘地なく、遠からずして戰局はドイツ軍に有利に展開しよう

國家の總力を戰爭努力へ

われわれとて新兵器のみに賴つて戰局の轉回を望んでゐるわけではない、戰爭が國民生活全面に瀰らす根本問題の把握、克服に努むべきであり、物心いづれの面をも輕視することは許されない、現代戰の勝敗は士氣の如何によつて決まるといふ獨斷は戰爭技術第一主義と同樣の謬論だといふべきであらう、戰爭を遂行するには技術と士氣との調和を圖り、究極において全國民の努力を無爲に終らせないやうにしなければならない、いつの日か歷史家は現大戰の各段階においてドイツ軍が技術によつてドイツ國民の士氣昂揚に努め、戰爭技術の分野に、現に痛感されてゐる新らしい刺戟を瀰らすに成功したことを必ずや認めるであらう、現在の大闘爭はドイツ國の在亡を決する戰であり國家の總力を戰爭努力に傾注するは明瞭なる論理的歸結だ

問題はいかにせば總力が最も有效に活用されるかである、ドイツ軍の士氣は明らかに經濟力を凌駕してゐる、今後の努力は主として軍隊の量と質及び自由に使用し得る武器等の物質力を向上し、再びドイツ軍の士氣とその水準を等しからしむるために集中されなければならない、過去四週間には大きな期待に應へるに足る再組織が完了した、この改革は國民から結局更に多くの犧牲を要求するが、すべては勝利のためであり、これこそ勝利へ通じる唯一の道なのである

究極の勝利我にあり

國防軍の銃後に對する豫備兵力の要求も十分に充された、究極における勝利の鍵が悉くわが掌中にあることを、われわれは最後までドイツ國民に對して說き示さう、現在の問題は戰局がどうなつてゐるかではなくわれわれが如何に戰つてゐるかにある、負擔の大きさや心勞に疲れて弱音を吐いてはならない

戰爭が長くなれば重荷や心配は增すばかりだ、しかし反樞軸軍とても永遠に戰爭を續けるわけには行くまい、去年の冬恐怖爆擊によつてドイツ國民の士氣沮喪を企てたやうに今年の夏から秋へかけては大規模な作戰を展開してドイツ軍を屈服せしめようとしてゐる、しかしながら恐怖爆擊が何等目的を達しなかつたごとく、敵の企圖は再び失敗に歸するだらう、時局が逼迫し、負擔が大きくなるに從つて戰爭に對するわれわれの抵抗力も愈愈增さなければならない、自己及び自己の力に自信を持ち、日々の職務を定める本分の命ずるところに忠實でなければならない、そしてこそ最後の勝利はわれわれのものだ、ドイツ軍が敗戰の姿を曝すごときことは有りえない、ドイツ國民はいかなることにも驚かない覺悟が出來てゐる、反樞軸軍が如何に脅迫を繰返さうともわれわれドイツ國民磐石の信念をゆるがすことは絶對に不可能なのである

スロヴアキア國内の叛亂鎭定

(ベルリン三十一日發)ドイツ外務省筋ではスロヴアキア國内の情勢につき三十一日次の通り述べた

スロヴアキア國内ではソヴエト政府の手先きが不安を醸成し、パルチザン運動を惹き起した結果スロヴアキア軍の一部も參加するに至つたしかしドイツ政府は大統領ヨゼフ・テイソ博士の要請に基き直に兵力を派遣したので、事態は改善されるに至つた、二十四時間内に秩序は完全に回復するに至らう

ナチ黨に防空の任務

(ベルリン三十一日發)ヒトラー總統は三十一日民防空をナチ黨に委囑した

昭和十九年 九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

殺人的電波兵器出現か

＝反樞軸側戰々兢々＝

(ストツクホルム三十一日發)ドイツ軍當局の新兵器に關する自信に滿ちた言明についてストツクホルムの軍事消息筋の間では次のやうな觀測が行はれてゐる

新兵器は恐らく電波兵器かまたは他の周波兵器だと考へられる、これは航空機の發動機を停止させるとか、發動機を爆發させるとか、或ひは航空機の搭載爆彈を爆發させるといふやうな力があるにちがひない、一九四〇年にドイツ軍がフランス領内に進擊する直前、ドイツ軍が何か電波兵器を使つてドイツ領内に飛來せるフランス飛行機を擊墜したといふ噂があつた

當時「タイムズ」紙は各國における電波兵器の研究を展望し、この種兵器は七十五米以上の高度では效果を發揮し得ないと斷じたが、今度のドイツ軍新兵器は高空でも效力を失はないやうなものだらう、もしさうだとすれば反樞軸軍は空軍を使ふことができなくなつてドイツ空軍の獨り天下になつて了ふ、ドイツ軍の言明通り戰局全般に變化を及ぼすのも易々たるものだ、それに若しこの新兵器によつて發動機を停め得るならば、戰車を立往生させることもできるだらう、さうした場合反樞軸軍の蒙る打擊は測り知ることができない

【ソ 聯】

モロトフ、羅代表と會見

(モスクワ一日發)ソヴエト外務人民委員モロトフ氏は三十一日ルーマニア休戰委員長パトラスカヌ他委員二名と會見を遂げた

【北 歐】

瑞典海軍明年度豫算案

(ストツクホルム一日發)スエーデン國防軍は一九四五年—四六年度における海軍豫算一億四千五百九十一萬八千百クローネを政府に提出したがその主なる內譯次の通り

△建艦費五千八百六十萬クローネ、軍艦保全費一千八百四十五萬クローネ、大砲その他資材購入費一千二百八萬クローネ、艦隊訓練費二千二十萬クローネ、沿岸砲臺費三十四萬クローネ、機雷敷設費三十二萬五千クローネ

【ヴアチカン】

アトリーも法王に謁見

(リスボン三十一日發)ヴアチカン來電＝英國副首相アトリーは三十日ローマ法王ピオ十二世を訪問會談を遂げた

【重慶政權】

ベルーとの公館昇格

(リスボン一日發)重慶來電＝重慶政權外交部は三十一日重慶ベルー兩國は相互に公使館を大使館に昇格した旨發表した

【軍事情報】

P61「闇夜の寡婦」

(ストツクホルム三十一日發)二十四日附のタイムズ紙によると米第九航空部隊司令部は「闇夜の寡婦」P61夜間戰鬪機がフランスの基地から出擊歐洲における米軍地上部隊の掩護作戰に參加してゐる旨二十二日發表した、これは双尾双發の夜間戰鬪機で今までに製作された最大の戰鬪機の一つである、同機はノースロツプ飛行機會社で製作されプラット・アンド・ホイトニー發動機二基を備へ、裝備は二十粍砲で乘員三名は特製の防彈ガラスと裝甲板で被はれ翼幅六十六呎、全長は四十九呎六吋で主として夜間戰鬪のために設計されてゐる

V一號は取外し自在

(ベルリン三十一日發)ドイツ軍當局は三十一日次の通り言明した

ドイツ軍のV一號報復兵器は固定した發射基地に制限されず機動戰にも適應し得る、反樞軸軍がフランス領の一部を占領するに當りV一號の發射基地と推定したトーチカや塹壕からドイツ軍は既に機械全部を取外した、反樞軸軍は僅にV一號の殼を發見しただけで、機械の祕密となつてゐる心臟部を摑み得なかつた

昭和十九年九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

米國軍需産業の轉換 (中)

木下秀夫

米國の惡夢

米國民の戰局の前途に對する早まつた樂觀とともに、米國軍需産業轉換問題の背景をなすものに戰後の社會的、經濟的混亂に對する米國民の恐怖がある、これこそ、平和到來の近きを信じて、數數のとらぬ狸の皮算用に耽る米國民をして、なほ且つ將來に對する桃色の夢ばかりに有頂天になりきることを許さない米國を脅やかす惡夢である、米國民の全體が多かれ少なかれこの惡夢にとり憑かれてゐることは事實だが、特に戰後の經濟的動搖に敏感なのは企業者と勞働階級とだらう

スエーデン著名の經濟學者グナール・ミールダル教授は去る三月、ストツクホルムの「全國經濟クラブ」で、戰後米國が直面すべき恐るべき經濟的困難を指摘した講演を行つたが、これはその後小冊子となつて刊行された、しかるに最近の米國からの報道は、この小冊子が米國内で非常な賣行きを示し、政府當局もこの論文を重視して、その内容の檢討を行つてゐることを傳へてゐる、ミールダル教授の指摘した米國戰後の經濟的困難は次の三點であつた

一、戰爭終了後、米國は殆んど收拾すべからざる經濟的混亂の渦中に投ぜられよう、この混亂は戰爭、特に對日戰が豫期しないやうな時期に終つた時に特に甚しいであらう

一、戰後に米國内では恐るべき大規模な失業が發生しよう、政府の對策如何によつては、經濟的危機を幾分かは先にのばすことも出來るかも知れないが、結局その危機は免れ得ないだらう、この經濟不況は、前大戰後ないしは一九二九—三二年の經濟不況とは比較にならぬほど激しいものとならう

一、政府は統制經濟を戰後も繼續し、政府の經濟活動刺戟政策によつて、好況の維持に努力するだらうが、これに對しては米國内において政府の經濟關與に眞向から反對する勢力があり、これまた、米國が將來において直面しなければならぬ國内的惱みである

失業の洪水

米國が戰後に直面すべき社會的、經濟的困難を指摘してゐるのは第三國人ばかりではなく、米國人の間でも戰後の危機に對する警告が頻りに發せられてゐる、民主黨上院議員キルゴアは、軍需産業轉換法案提案者の一人だが、彼は最近議會において次の見解を發表してゐる

今にして、戰爭終了後の對策を整へておかなければ、米國は恐るべき混亂狀態に陷るだらう、余の推定では、戰爭終了後六ケ月以内に、米國の失業者は六百萬、一年以内に一千二百萬となり、二年目には一千八百萬にも達しよう、聯邦政府は失業補償金の支出によつて一般の購買力を維持、これによつて不況の襲來を防がなければならぬ

米國の陸海軍總兵力は現在、約一千百萬に達してゐる、一旦戰爭が終ればこの尨大な兵力の大部分は新たなる勞働力として米國の勞働市場に歸つて來るだらう、一方軍需生産に從事してゐる男女勞働者の數は、推定の基準によつて大いに異なるが大體四千五百萬見當とされてゐる、この軍需勞働者の大部分も、戰爭終了と共に新たに米國の勞働市場に解放されよう、戰後に米國が未曾有の失業者の洪水に襲はれることは必至の形勢にあり、勞働者が將來の彼等の地位について極度に神經過敏となつてゐるのは當然である、現に軍需勞働者の多數が、差當つては收入の多い軍需工場を見棄てて、收入は少ないが前途に安定性のある民需産業に鞍がへしつつあるのも、この勞働階級の不安を物語つてゐる

轉換の困難性

かくて米國が戰後において異常な困難を經驗しなければならぬであらうことは、既に十目の一致するところである、政府當局者がしきりに「米國

昭和十九年九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

は戰爭で敵を撃破すると共に、戰後問題でも勝利を收めなければならぬ」と強調してゐるのも、その對象は戰後國際機構の樹立におかれてゐると同時に、國内的な戰後收拾策でも誤りを犯してはならぬことを意味したものだ、しかしながら戰後の困難がいかに認識されようとも、この困難をいかにして解決するか、戰時の非常態勢から平和時の平常態勢への切りかへをいかに支障なく圓滿に取り運ぶかは自ら別問題である、左に紹介するのは軍需産業轉換の困難性を指摘した六月十八日附の「ニューヨーク・タイムズ」紙の報道である

先週の議會に、米國軍需産業の動員解除問題が提起された、戰時動員局長官バーンズは上院の委員會に臨んで、議會が戰後立法、なかんづく産業轉換法につき至急行動に出ることを要請した、彼は軍需生産の創滅が一部では早くも失業問題を起してゐる事實を指摘、戰爭の終了と共に軍需生産が全的に操業を停止する時に備へて、具體策樹立の必要を強調した

軍需産業の轉換問題は緊急を要すると共に、非常な困難を伴ふ大事業である、その目標は未曾有の大規模な軍需生産に動員されてゐる米國の産業を圓滿に平和産業に切りかへ、しかも戰時中に上昇した就業及び收入をできるだけ維持するにある開戰以來、米國におけるこの就業および收入の增加は正に驚くべきものがあつた、二千億弗に上る戰費の撒布によつて、就業勞働者數は過去四ケ年間に四千五百萬から六千五百萬に增加した、一方國民所得も一九四〇年には七百七十億弗だつたのが現在では略々その倍に達してゐる

生産第一主義から採算主義へ

就業および國民所得のかかる激增を招來した原因の一部が、戰時生産においては採算の如きは無視されて、專ら生産第一主義がとられたためであることは明瞭である、しかるに産業が平和態勢に復歸すると共に、企業經營の上には再び採算主義が復活してくるが、この場合に軍需工場のうちでは直ちに經營困難となるものが多數發生しよう

更に政府の融資で建設された多くの非常時産業の清算といふ困難な問題もある、軍需産業においては生産第一主義がとられる結果、最終の收支決算の如きは現實の生産が行はれてから數ケ月後になつて、漸く行はれるといふやうな有樣である、そしてある場合には、再協議法の適用によつて、資材及び勞働力に支拂つた原價が法外に高過ぎるとの理由で、決算のやり直しが行はれるやうなこともあるが、この結果企業者は現在自分の經營狀態がどうなつてゐるか、はつきり知ることができないといふ奇妙な立場に往々にしておかれる、同樣の困難は多數の下請業者を有する軍需産業家も直面するであらうが、この下請業者も、更に資材の供給者との間に契約を持つてゐることを考慮すれば、この問題は益々複雜、困難な樣相を呈する

軍需契約の取消しに當つては、以上の複雜なつながりを十分考慮する必要があり、その措置をあやまれば、一方では不當な利益を得る者がでるに對し、他方では非常な損失を蒙る者も發生しよう

最後に、そして多分最も困難な問題は軍需勞働者の始末である、軍需勞働者のうちには戰爭がすめば、勞働戰線から完全に退場する者もあらう、しかし大部分の者は産業の轉換に當つても、失業期間をできるだけ少くして、依然就業を欲するだらう、經濟學者の意見では、恐るべき經濟の沈滯を避けるためには、就業及び國民の購買力を一九四〇年の水準以上に維持する必要があるといはれる、産業の轉換に少しでも澁滯が起れば、この水準維持は直ちに脅威を受けることとならう

軍需契約の解除

軍需生産から民需生産への前提をなす陸海軍による軍需注文の取消しは既に昨年下半期頃から開始された、しかしその當時における發注の取消しは戰局の推移に伴ふ軍需生産計畫の變更によるものであつて、一部の軍需品に對する生産に削減が加へられる一方では、新たに緊急兵器となつたものに對しては非常な大增産が行はれた、これは戰時生産局から毎月發表される米國の戰費の上からも容易に推察し得るのであつて、陸海軍の軍需解約高は昨年下半期中だけでも數百億弗の巨額に達

昭和十九年九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

したにも拘らず、全體の戰費は依然として上昇線を描き、米國の軍需生産が總體としては未だ衰へないことを示した、さればこの當時における軍需契約は、たとへその後にくる産業轉換の前觸れをなしたとはいへ、これをもつて軍需生産から民需生産への轉換が現實に行はれはじめたとみることはできない

現在、卽ち軍需契約の解除はその量においても或ひはその規模においても益々增大し、一方民需生産の一部は既に再開された今日においても、この傾向は依然として著しい、例へば、陸軍省は八月十一日大規模な飛行機生産計畫の變更を發表しC46輸送機、B24リベレーター重爆撃機、P47サンダーボルト戰鬪機等重要機種の生産中止ないし生産削減を斷行したが、これは「戰局の推移に鑑み、比較的に重要性を失つた機種の減産を行ひ、超重爆撃機の生産に重點をおくため」であつて、B29超空の要塞機、B32超重爆撃機などの大增産が行はれることとなつてゐる、海軍でも最近飛行機、潛水艦、魚雷等の生産削減を發表してゐるが海軍はこれと同時に刻下の緊急兵器として航空母艦、巡洋艦、攻撃用舟艇、彈藥、ロケツト砲、高射砲、前線基地用機械、高オクタン價ガソリン等をあげ、一部海軍兵器の減産は他の緊急兵器增産のためであつて、決して海軍々需生産の削減ではないことを強調してゐる

陸海軍當局がその軍需解約、兵器減産にあたつて申合せたやうにこれ等が決して軍需生産全體としての減少でないことを強調してゐるのは、一方では國民の戰意弛緩を恐れての警告であり、他方豫算分取り主義の現はれでもあるが、陸海軍のかかる主張にも拘らず、米國の軍需生産が既に最頂點を過ぎ、徐々ながらも減少傾向に傾いたこと、換言すれば軍需生産に削減が加へられ、民需生産の增加が行はれる傾向に向ひつつあることは否定出來ない事實である、卽ち産業轉換の第一步は既に開始されたのであり、このことは軍需生産の削減と平行して、一部民需生産の再開が斷行されたことによつて明らかだ

民需生産の再開

戰時生産局長官ネルソンは八月十五日を期して一部民需品生産の再開許可の指令を發した、その指令の內容は大體次の通りである

一、製造業者は民需品七十九品目に限り、從來製造の禁止されてゐたものはその生産再開の、また從來少量ながら製造の許可されてゐたものはその生産增加の許可申請をなし得る

一、戰時生産局地方支部はこの許可申請に對し、その民需品製造に要する勞働力ないし資材が軍需生産に必要ならずと認めた場合に限り許可を與ふ

一、民需生産の再開を欲する業者は更にこれに要する勞働力の使用につき、戰時人的資源委員會の許可をも得る必要がある、右に關しては地域的勞働力の需給狀態を調査するため、人的資源委員會、戰時生産局その他軍需生産關係機關による特別地域委員會を設置す

一、製造業者は戰時生産局及び國防工場會社が過剩資材と認定したもののうちから、民需生産に必要な工作機械、器具、鑄型等を購入し得る、さらに軍需生産に支障を與へない限り、これら資材製造の發注をもなし得る

右によつても明らかであるやうに、これは決して全面的な民需生産の再開ではなく、あくまでもごく限られた民需品の生産再開である、米國新聞はその再開許可が地域的に行はれるところから「地點的（スポツト）轉換主義」ないしは、業界全體に許可が與へられずに過剩勞働力及び資材を擁し軍需生産に支障をきたさない工場乃至會社のみに許可が與へられるところから「跛行（スタガー）轉換制度」と呼んでゐるが、これによつて米國民待望の軍需産業轉換工作が、折角その緖についたにも拘らず、その方式がかかる部分的なものであつたため、却つて後述するやうな困難な問題を提供するに至つてゐる

米國新聞が評する如く「懸案の轉換問題はこれにより正式にその扉が開かれた、しかし開かれたといつても僅か數吋に過ぎない」、部分的なものであるかも知れないが、とにかく戰爭のまつ最中においてかかる措置が遂にとられたといふことは注目すべきことだらう

昭和十九年九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

決戰の歐洲局面と戰局

——歐洲支局座談會——

ベルリン 江尻 進
ストツクホルム 齋藤正躬
チユーリツヒ 堀口瑞典
マドリード 小島亮一
フランス 菊池守
リスボン 佐藤重雄
ブダペスト 小田善一
本田良介

江尻ベルリン支局長 歐洲戰局は地域的にみれば今や最終段階に入り、反樞軸陣營は年内に作戰が終るだらうと宣傳につとめ、作戰と併行して謀略宣傳に躍起となつてゐる、目標は第一にドイツ國民にたいする反ナチ宣傳であり、第二に前戰將兵にたいする厭戰氣分の醸成であり、第三には中立國の懐柔である、但しドイツ國民に對する宣傳は七・二〇事件に徹しても明かな通り到底齒が立たない、前大戰當時とちがひドイツ政府の指導力に格段の相違があり、國民の信賴も強く、日常生活で接觸するドイツ國民は外觀から想像もできぬ位眞劍だ、以上決戰の段階において開戰五周年を迎へるに當り歐洲各支局の僚友を動員して國際電話乃至電報による座談會を催した、中立各國に對する反樞軸陣營の壓迫が强化されるとともに檢閲は愈々嚴重となり、いささか隔靴搔痒の感を免れないが「敵を知り己を知る」資料として座談會の内容を打電する

金で釣る宣傳工作

ストツクホルム支局

僅かに殘された世界の情報中心の一つとして開戰以來ストツクホルムが出してきた敵味方の情報は相當量にのぼり、ストツクホルムに對する反樞軸の宣傳謀略は最近益々激化するに至つた、大體スカンディナヴィア半島に對する英國の謀略宣傳は既に戰前からのことで新聞、ラジオ、映畫その他文化一般に亘つて廣汎な宣傳戰を續け、效果も次第にあがつてきてゐることはスエーデンの一般國民特に青年層の間の英國熱に徴しても明らかだスエーデンの一青年からきいた話だが戰前ドイツに旅行するまではドイツには食糧も着物もなく國を擧げて飛行機と大砲の製作に熱中し、藝術も學問も徹底的に戰爭のために捧げられ、大衆は極度に壓迫され國民の大多數は反ナチ的傾向を帶びてゐると信じてゐたが、事實は全く違ひ、合理的なナチ政治の下に國民が十分生活を樂しんでゐる狀態をみて、一驚を喫したと語つた、この話などは英國民の周到な宣傳の實例として面白いと思ふがこれが戰爭勃發後益々强化されてきたことはいふまでもない

反樞軸報道、新聞を占領

新聞通信の面からみるとまづスエーデン代表通信社たるチドニンガルナス・テレグラムビユローの通信内容は大部分がロイター通信社とタイアツブの電報によつて占められ、D・N・Bのニュースはどうしても對抗できない狀態だ、また米國のニュースはスエーデンの有力新聞「アフトン・ブラデツト」紙と特約を結んでをり「アフトン・チドニンゲン」紙も今年からA・Pと契約を結んで兩紙の殆んど全部が米英兩國のニュースを掲げ、各新聞社の特派員も米英兩國系に多く、新聞は殆んど反樞軸宣傳に蹂躙されてゐるといつてもよからう、この傾向に拍車をかけたのが、一九四三年あたりから始められた實際には輸入できぬ米國製自動車とか、映畫とかの廣告と引換へに巨額の弗を渡す政策で、これはスエーデン新聞を完全に金縛りにしてゐる實情だ、またラジオの面でも宣傳が盛んでスエーデンの外國ラジオ放送回數はB・B・Cをもつて第一とし、英語普及の程度からみてその影響は相當强いらしい、その上この頃ではB・B・Cはスエーデン語放送までやつて宣傳に努めてゐる、その他アトランチツク・ラジオ等が歐洲全土に亘り、ドイツの誹謗中傷を續けてゐるが、これもなかなか馬鹿にできぬ數の聽衆を持つてゐるやうだ、さらに英國の新聞、雜誌は飛行便でできるだけ早く送らしてをり、英國の「エコノミスト」誌米國の「タイム」誌「リーダース・ダイジエスト」誌が英文のままストツクホルムで印刷發行されてゐる、市街の中心地には英國の出版物をみせるためのビユーローがあり、いろいろな新聞雜誌を自由に讀ませてゐるなど、なかなか細かいところまで手を伸ばしてゐる

昭和十九年 九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

あくどい日本中傷映畫

しかし一番手取り早く宣傳效果を擧げてゐるのは映畫で、ニュース映畫は勿論ドイツからも來てゐるが、パラマウント社その他の米國物が量の上で斷然優勢で、藝術映畫に至つては全く壓倒的な米國の獨占だ、日・獨兩國の中傷映畫が一流館を片端から占領してゐる、ドイツ映畫も勿論來るがこれは一流館では上映されず、何んといつても受身の形だ、日本映畫は現物が來ないので手の下しやうもなく僅かに「燃える大空」「ハワイ、マレー沖海戰」の招待上映をやつたに過ぎず、謀略の面になると正面からでないだけに判斷もむつかしいが、反樞軸の陣容は相當手びろくドイツの國情を調査するための人員は百人に垂んとし各種の情報を手に入れてをり、この外廓を構成する人員は新聞、通信社員を含めてこれまた百人を越えるであらう、米英兩國の公使館は前にいつた宣傳戰の優勢を背景とする謀略戰本部の觀を呈し猛烈な活動を展開してゐる、謀略の第一目標は勿論ドイツで、過般スエーデン政府のドイツ向け輸出禁止問題にしてもスエーデン政府にたいする交涉よりも寧ろスエーデン實業界に直接壓迫の手を伸べそのやりくちは無遠慮とも何んとも形容の出來ない位であつた、また歐州各國からの亡命者に對する働きかけも至れり盡せりで陸、海、空三軍の兵士、並びに幹部となり得るものは極力吸收して戰場に送る一方、ノルウエー、デンマーク各國等の亡命者を通じてそれぞれ故國にドイツ反對行動を組織させるなどの手段に訴へてゐる、ドイツ政府の宣傳謀略については立入つてはいへないが、宣傳面では概して受け太刀で、一般的にいつて反樞軸軍の宣傳が優勢なことは認めざるを得ない

ただ多年の準備と地理的有利さを持つ英國が一流の老獪な方法で印刷物、映畫等により徐々に效果を擧げてゐるのに反し戰爭勃發後急激に働きかけて來た米國の宣傳はヤンキー式の厚顏さのためにスエーデン議會の顰蹙を買つてゐるのは面白い雜誌でいつても「エコノミスト」誌が老獪ぶりをみせて知識階級の讀者を摑んでゐるのに反して、「タイム」誌は餘り重視されず、映畫に至つてはスエーデンとしては餘り關心のない日本中傷宣傳を無理矢理に押しつけられるので一部からは嫌はれる傾向さへみられるが、ただ一般民衆層にこれらの映畫が植ゑつける感情を他からどうにも出來ないのには憤激に驅られる

有名無實の戰後組織

チユーリツヒ支局

反樞軸の政治謀略の一つとしては戰後の新秩序平和維持機構を檢討しようといふダンバートン・オークスの會議を擧げることが出來よう、これは現在の戰爭を遂行するためには犧牲が必要なことを國民に呑み込ませねばならぬといふルーズヴエルトの要求に基くと考へられ、また前大戰當時の「戰爭を終らせるための戰爭」といふ標語が不成功に終つた歷史を繰り返さず、米英兩國の國民と同樣戰爭に飽き飽きしてゐる歐洲諸國民に、彼等の計畫が「次の戰爭から世界を救ふ」理想的な計畫であると思ひ込ませようとする狙ひだ、しかしたれにでも次の疑問が頭に浮かぶ

一、かかる平和保障組織がどの國を相手に作られねばならぬかといふのは米英兩國の計畫では日獨兩國は戰後長期にわたつて占領されるはづだから、將來平和を長い間脅かすことはないはづではないか

一、米國の頭痛の種はアルゼンチンだと稱してゐるが、それならばダンバートン・オークスの會議にはソヴエト代表の代りにブラジル代表が參加してしかるべきではないか

一、英國の安全は地理的に完全にフランスに依存してゐるわけだが、何故ド・ゴールが會議に招待されてゐないのか

昭和十九年九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

一、ソヴエト政府が隣接國をいはゆる「自發的聯邦參加」の形式で併合する場合米英兩國は有效な「制裁」手段をとるかどうか

これらの疑問に對して何らの解答が呈示されてゐないこと及びダンバートン・オークス會議は本當に建設的ではなく、宣傳價値のみを狙つたものだといふことができよう

ソ聯の鼻息を窺ふ

ベルリン支局

反樞軸陣營の謀略戰の奥の手は傀儡政權を打ち立てることとゲリラ戰を挑みドイツ軍の背後を脅かすことだ、傀儡政權はポーランドの沒落以來數多く樹てられたが何れも米英ソ三國の利害對立に禍され存在を全うしたことのないのはポーランドフランス、ユーゴースラヴイヤ各國亡命政權の實例に徵しても明かだ、反樞軸軍はドイツ軍を打倒するための一方針として各民族を利用してゐたに過ぎないから、利用するだけ利用すれば何時でも放りだすことはいふまでもない、この點大東亞戰に現れたやうな、大理想に結ばれてゐる帝國の政策とは本質的に異なり、米英ソ三國の間には元來一致した理想なく、この點口にこそださぬが米英兩國の議者が大東亞の行き方に非常な敬意を拂つてゐることは確實な情報によつて確認されてゐる

ストツクホルム支局

ユーゴースラヴイヤのチトー將軍の場合でもボノミを首班とするイタリア裏切り政權の場合でも英國の庇護を受けてゐる亡命政權は結局ソヴエト政府の糸を引く亡命政權に壓倒されてしまひ、米英兩國政府は口に亡命政權を庇護すると稱しながらソヴエト政府乃至はその意志の下にある亡命政權のいひなりになつてゐるのはすでに周知の事實で、歐洲に關する限り米英兩國がソヴエト政府の前に發言權を失つたことはいよいよ明白になつてゐるが、この事實をさらに明瞭に示したのはポーランド政權の問題だ

ポーランドを狙ふクレムリン

赤軍がドイツ領ポーランドに侵入すると同時にモスクワは突如英國政府には豫告なしにヴアンダワーンレフスカヤ女史を筆頭とする赤色ポーランド人からなるポーランド國民解放委員會(ヘウム政權)が成立したと發表、ソヴエト政府との間に廣汎な條約が成立したことを報じた、即ちソヴエト政府はヘウム政權をポーランドにおける唯一の正統政府として認め、ロンドンの亡命政權は全然無視された形でミコライチク首相は慌ててモスクワに飛びヘウム政權と話をつけ、結局ヘウム政權と協力、ポーランドの開發に當ることに妥協がついたといはれるが、英國の歐洲覇權の夢が赤軍の實力の前に後退の一途を辿りつつあることは以上の經緯で疑ひを容れない

亡命政權を見殺し

リスボン支局

ポーランド問題に關してはスターリン議長が今の所亡命政權とヘウム政權との兩天秤をかけて亡命政權にも相當の色氣を示してゐるやうだが、いづれはヘウム政權の大衆的基礎を强化して亡命政權を無視するだらう、ワルシヤワにおけるパルチザン蜂起も亡命政權がその成功を足場にソヴエト政府との驅引の餘地を多くしようとした苦肉の策だが、これを契機に法王廳が反共産主義宣傳を積極化した結果、中立筋ではローマに愚圖ついてゐたチヤーチルがルーズヴエルトと會つて法王と會見、ポーランド問題を中心に反共策動を始めるのではないかとの觀測まで流布されるに至つた

欺かれた伊國民

ローマのボノミ政權が財政難で手も足も出ず、辭職說が傳へられてゐるが以上の情勢に乘じて社會黨とならんで共産黨の勢力が國民の間に浸透してゐることは明白な事實だ、米英兩國はバドリオを擔いでボノミを倒し、八十四歲のオルランドを首相に、バドリオを陸相にして新政府を作り、王黨勢力の强化で左翼派をくひ止めようと策動したが共産、社會兩黨が合同委員會を結成、王黨、新ファシスト反對の統一戰線を固めたので失敗した米英兩國の政界には裏切り政權の休戰條約の緩和を要求する聲が高く、米英兩國の政策の失敗でソヴエト政府の勢力は著々地中海に進出してゐる

昭和十九年九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

缺乏よりの自由なし

ベルリン支局

反軸樞軍がくれば言論、結社、信仰の自由の他に「缺乏よりの自由」が與へられるといふ宣傳を信じてゐた反樞軸占領下のイタリア國民の失望は非常に大きいが、反樞軸軍は北へ北へと戰線を伸ばして行つた結果、兵站の補給に手一ぱいで民需などかまつてゐられないといふのが實情である、殊に八月中旬ステファニ通信社が暴露した米英兩國とバドリオ政權との間の休戰協定の內には「反樞軸軍は休戰後イタリア國內の民需には責任を負はず」との一項があるが、反樞軸軍がきて、軍の輸送に餘裕ができればと期待してゐたイタリア國民も反樞軸軍が休戰の最初からイタリア國民の食糧問題などかまつてくれる意思のなかつたことを知り休戰するまでは「フアツシヨの壓政よりの解放」「自由の回復」などの好餌で釣つておきながら、休戰してみると我不關焉といつた反樞軸の利己的な遣り口に可成り憤激してゐる樣子だ

バルカン再び擾亂の巷

ブダペスト支局

東南歐洲諸國は常に大國間の爭闘に蹂躙されてゐるが、現在ほど微妙な情勢におかれたことはない、詳細に傳へることはむづかしいが反樞軸軍とドイツ軍との軍政兩略に挾まれて一つ間違へば自國を戰場化するばかりでなく地圖から抹殺される重大危機に際會し、各國ともあらゆる事態に備へて自己保存の機會を摑まへようと焦慮してゐる、局面を微妙化する特殊問題として歷史的な各國間の國境問題があらゆる點に作用してゐることも見逃せない、政治的な動きが獨土兩國の斷交後特に目立ち始めたのは爭へぬが、各國の情勢を一言に盡せば次の通りだ

一、ハンガリアは赤軍に對する國土防衞戰にドイツ軍と協力善戰してゐる、ドイツ本國防衞の一環としてハンガリア政府に對するドイツ軍の制壓力は衰へず、ソヴエト政府の工作も未だ問題とならない

一、ルーマニア國王ミハイ一世を中心とする一派の裏切りは、ドイツ政府の虛を衝いて實現したが、舊來の功利的外交施策が一層ひどくなることは差當つて豫想される、いづれにしてもルーマニア政府の沒落はバルカンの動きに對する先驅である

一、ブルガリアは獨ソ兩國の戰爭に對する中立、トルコの隣邦といふ特殊條件と地理的關係からドイツ軍制壓力の破綻を狙ふ反樞軸陣營の謀略が集中されてをり、こゝ一、二週間が最も警戒を要する

クレムリンの勢力圈

東南歐洲諸國にドイツ政府は別として英ソ兩國のどちらを選ぶかときけば答へは樣々であらう、ルーマニア、ハンガリア兩國は英國、ブルガリア政府はソヴエト聯邦、舊ユーゴースラヴイアはいろいろだらうが、まづソヴエト聯邦と答へるだらう、東南歐洲における英米ソ三國の利害は依然錯綜衝突してをり、テヘラン會議でどれだけの諒解ができたか甚だ怪しいが、消息筋は米英兩國がトルコ、ギリシヤ兩國を勢力圈に收めて地中海の番犬とし、ブルガリア、ユーゴースラヴイヤ兩國をソヴエト系中間地區、ルーマニア、ハンガリア兩國をソヴエト政府の勢力圈に分割したとみてゐる事實米英兩國の謀略宣傳ぶりは最近多少變つてきた、從來ルーマニア、ハンガリア、ブルガリア三國に對しては米英兩國政府との和平論を說いてきたのが、最近ではチヤーチルの演說にみるやうにルーマニア、ハンガリア兩國に對してソヴエト政府との和平を勸告してをり、ブルガリアもまづソヴエト政府に委せる態度をとつてゐる、米國は英ソ兩國關係への介入を避け、最近は對バルカン謀略にもさほどの熱意を示してゐない

トルコの參戰を期待

英國のトルコ抱込み政策は依然激しく、ユーゴースラヴイヤの場合と異り、ギリシヤの共產パルチザン對亡命政權の紛爭には亡命政權を支持してゐるのも英國と亡命政權との狎れ合ひの結果だ

昭和十九年九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

但し英國の對バルカン謀略機關の動きをみると英國はハンガリア、ユーゴースラヴイアなども出來れば自國陣營に引込みたいらしい、ソヴエト政府の動きは全然米英兩國の意圖を無視するかの如く獨自の立場からトルコ政府に强壓を加へ、ドイツ政府との斷交をも何等評價してゐない、勿論ソヴエト政府とチトーとの關係は益々緊密化してをりルーマニア、ハンガリア兩國内でも共産宣傳に努め、モスクワ放送は以上の國にパルチザンに對する特別指導放送を開始政治謀略を推進してゐるかくてソヴエト政府は先づルーマニア政府に對する和平謀略に成功、トルコ政府がドイツ政府と斷交した後の情勢を利用してブルガリア政府に謀略工作を集中し、米英土三國も側面から援助してソフイアに二重、三重の壓迫を加へてゐる現狀だ

トルコ政府がドイツ政府と斷交した後、ソ土兩國の關係惡化は目立ち、英國政府が改善に懸命だが、ソヴエト政府はトルコ政府が何等反樞軸軍に貢獻しないとの建前をとり、トルコ政府の求める國境の保障を與へず、英國も困惑してゐる有樣だソ土兩國關係の發展如何ではトルコ政府の參戰が再び問題となるだらう

次に戰禍から離れた西亞の動向を一口にいへば米國に對する人氣の失墜、英國勢力の減退とソヴエト政府の進出であらう、米國は同地方に大資本を投じてその人氣は一時英ソ兩國を凌いでゐたが最近、頓に人氣が落ちてゐる、その理由は第一にパレスチナ地方のユダヤ國建設を米國が極力支援してゐること、第二に石油利權の獨占を狙ふ他、空軍の根據地建設などに永久的施設をするなど、英國に代る米國の帝國主義的野望が露骨になつたためとみられる、英國の沒落振りは加速度的だがソヴエト政府は米英兩國の落目につけこんでユダヤ人擁護の態度を捨て、パレスチナ地方のユダヤ國建設に反對のジエスチユアを示し、またシリアレバノン兩國を米英兩國に先立つて承認するなどアラビア人の意を迎へる效果的な手を着々打ち、短時日に牢固なる地步を占め、將に米英兩國を凌がうとしてゐる、エヂプトを初めアラビア各國は今度の戰爭により確實に獨立を攝むことと、パレスチナ問題解決を二命題としてソヴエト政府今後の出方を警戒しながら、先づ英國相手の政治鬪爭に全力を擧げてゐる

フランス本國をどうするか

マドリード支局

フランスに對する米英兩國殊に米國の方針は勝てば官軍主義で先づ戰ひに勝つことを主眼とし、軍事工作卽ちマキ團の組織などに努力してゐるが、政治工作はラジオ放送による宣傳以上には出なかつた、アルジエー政權のフランス國内における人氣はいまだ決定的でない、ド・ゴールは今のところドイツ軍が最初パリーに入城した當時と同じやうにフランス國内で大變な歡迎を受けてゐるが、若しドイツ軍が何處かで抵抗を始め、そのため反樞軸軍による不當の占領が永引けば事態は餘程變つてきよう、元來フランス國内に殘り敗殘被占領の苦勞を味つた國民の大多數にとつてド・ゴールはやはり脫走兵に過ぎず、一味が反樞軸軍の指揮下に占領行政を擔當するとすれば、今までの不平不滿が爆發し、重大な事態が釀成されるかも知れない、この意味で米英兩國政府がいまだ亡命政權を承認しない事實は仲々意味深長だ、また最近まで左翼に傾いてゐたド・ゴールが急に米英兩國に近付き始めたことも注目に値しよう

これに對して舊人民戰線派とソヴエト政府が如何に策應するかは、地中海を繞り英ソ兩國の關係が漸く微妙になつた今日興味が深い、ソヴエト政府は米英兩國のやうにフランス本國に對し直接政治工作に出でず、反對に共産黨を通じドイツ占領下のフランス民衆に對し常に働きかけてをり、獨立したパルチザン軍を率ゐてゐることは、今後フランス國内の情勢を檢討する上に見逃し得ぬ事實である

昭和十九年 九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

米對ド・ゴールの確執

フランス支局

ド・ゴール政權が將來どう發展するかはド・ゴール一派とその他のフランス政治勢力との關係の問題だ、米國のド・ゴール政權に對する態度殊に國務長官ハルの個人的感情はド・ゴールに對し酷く冷いやうだ、ルーズヴエルトが「フランスの將來のことを考へる前にフランス領の大部分が解放されねばならない」とのべ、アイゼンハワーも「フランスは自由を獲得した後でフランス自身その代表と政府を選ぶべきだ」とのべてゐるやうに米國政府はド・ゴール政權をフランス臨時政府として公式には認めてゐない、ド・ゴールが自國の權利と信じてゐるところを確保するため頑强な態度を示してゐるのが米國の御意に召さぬやうだ、ド・ゴールはフランスの權利擁護のために既成事實の結成を急いだやうで、米國の勢力範圍下にあるサン・ピエール・エミクロン島を占領したり、ダルラン・クラーク協定を破棄したり米英兩國と充分に話しをつけずにノルマンデイ地方のバイユーに政府委員を派遣したり、殊にアルジエー委員會を一方的に臨時政府と稱したのもこのためだ、またド・ゴールの性格そのものが相當獨裁的性質を持つてゐることが米英兩國人の好みに合はないやうだし、英米兩國に亡命してゐる他のフランス人にも好かれてゐないやうだ、殊に米國上院の外交委員會などはド・ゴール反對の旗頭だ、チヤーチルは米國に比べると稍々ド・ゴールと和協的のやうだがド・ゴールがフランス國內の反樞軸系のすべてだとは考へてゐないだらう、所がド・ゴールが米國の勢力圈內の島を占領した事實はハルの個人的感情を痛く刺戟、寧ろド・ゴール以外のフランス政治家との話し合ひを積極的に希望してゐる樣子だ、殊にアフリカ大陸に一時地步を占めた米國は經濟開發特に空路の獲得のために躍起となつてゐるが、これがアルジエー委員會の希望と衝突しこの邊にド・ゴール政權の惱みがある

首鼠兩端のヴイシー政權

處で今度の戰爭で表面一番曖昧な態度を示してゐたのは、なんといつてもペタン元帥のヴイシー政權だ、ペタン元帥の政策の根幹はフランス內にとどまつてゐて、敗戰の國民と苦難を共にしながら武器の代りに舌一枚、紙と筆とをもつてどうにか國土防衞を全うしようといふ處にあつた、だからドイツ軍の占領下にあつてはドイツ軍の御機嫌を成る可く損ねないやうにし、それかといつて餘りドイツに接近し過ぎて米英兩國から全く見離されることも極度に警戒して來た樣だ、そのためにペタン元帥はラヴアル首相の政策を百パーセント支持する譯でもなくまたド・ゴールの反樞軸政策を百パーセント否定してゐる譯でもなかつた、彼の眞意圖が奈邊にあるかを推察することは危險だが少くともペタン元帥にとつてはラヴアル首相はドイツ局長、ド・ゴールは英國局長といふところだらう

マキ戰術とマキ匪團

マドリード支局

フランス國內のゲリラ戰は豫想以上に五月蠅やうだが、反樞軸軍の一應の戰果より今迄日和見してゐた分子が多數マキ匪團に參加したためだ、マキ匪團の本據はローヌ河兩岸の山地で舊フランス軍將兵を中心とし、ドイツ本國の强制勞働を忌避した靑年が加はり最近は落下傘で武器、食料、資金等の供給を受けてゐる、マキ匪團の傾向には二通りある、一つは反樞軸軍の命令下に屬する叛亂軍で政治的色彩は殆んどなく、專ら軍事活動に從事してゐる、もう一つは共產系で政治的暗殺及び鐵道破壞等のいはゆる妨害工作に當つてゐる、上陸作戰前におけるマキ匪團の數は三千五百といはれてゐたが、現在は前に述べた理由で更に增加したと思はれる、反樞軸軍占領治下の生活狀態はまだよくわからないが問題はこれから反樞軸軍の占領地域が擴つた場合に不十分な交通組織のもとで多くの都市に食料を供給出來るかどうかだ

昭和十九年九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

殊に花と香水以外には何も出來ないフランス南部では占領が長引けばイタリア南部同樣の狀態がおこり反樞軸軍の占領地政策は破綻を來すだらう住民の反樞軸に對する感情は今のところ惡からう筈がないが、これも占領の期間次第で長引くといろいろ不平も出て來るしまた反樞軸空軍の都市盲爆に對する反感は相當根強いから、やがて形勢逆轉の時が來ると思はれる

本格的組織をもつマキ匪團

フランス支局

今度の戰爭で特色を示したのがマキ戰術だ、支那戰線の匪賊戰術と同樣で、パルチザン戰術の流れを汲んでゐる、支那ではブリユツヘル將軍が黃甫軍官學校で遊擊戰術を傳授し、東部戰線でもいはゆるパルチザン・クリーグが出て來たが、反樞軸軍はノルマンデイ地方に上陸した直後、ケーニツヒ將軍をフランス國內軍司令官に任命し公然ゲリラ戰術の組織化に乘り出した、マキ匪團は本格的組織を持ち階級組織も確然とし秩序も嚴正といはれ、情報、連絡、行動の三部門に分れ、行動隊はパルチザンを模倣して諸種の行動、暗殺、鐵道破壞、サボタージユその他の匪賊行動を擔當、この他に一九四〇年六月の休戰協定後祕密裡に舊フランス正規軍の一部により組織された祕密部隊があり一番上に最高國民委員會が設置されてゐる

中立國の動き

ベルリン支局

次に中立諸國の動向だが、この點はそれぞれ自國の利害關係に微妙な影響を及ぼすだけに各國の檢閱が最も目を光らせてをり、委曲を盡くすことが出來ない、しかしドイツ政府としては終局においては大ドイツ圈領內に立てこもつても飽くまで頑張り通すだけの覺悟と準備を進めてゐるから、今となつては中立國がどう動くかにはそれほど重大な關心をおいてゐない

日和見の中立國政策

ストツクホルム支局

開戰以來スエーデン政府の政策はいふまでもなく中立政策だ、しかし中立國と雖も交戰國に對して完全な中立を維持することは難しい、從つてここにスエーデン政府中立の浮動とギユンター外相獨自の中立論の根據がある、要するにスエーデン政府は情勢次第でどちらにも動き得るが、思ひ切つて參戰はしないだらう、その理由は

一、スエーデンで最も重要な鐵、機械工業がドイツの石炭に依存してゐるのでドイツが石炭を輸出する限り反樞軸陣營に加擔出來ない

一、米英兩國がいくら戰後處理案を揭げて威嚇してもスエーデン工業のために石炭を輸出出來ずまた機械を購入することもできない

點だ、今一つ面白いのはソヴエト聯邦との關係だスエーデンはドイツや米英兩國よりも赤軍の侵入が一番恐ろしく、なんとかしてフインランドを獨立の立場におき、直接ソヴエト聯邦と境を接するのを避けたい、といつて自力で赤軍と戰ふ力はない、そこで一ケ年前からソヴエト政府との接近策を講じ新聞は表面完全な報道の自由を主張しながら政府は極力ソヴエト聯邦を刺戟しないやうに新聞を抑へてゐる、赤軍の爆擊機がストツクホルムに爆彈を落しても一應の抗議だけで泣寢入りするまた新たにソヴエト友の會をつくつたり、兒童の救濟基金を集めて送つたりしてゐる、結局スエーデン政府は開戰以來の瓢箪鯰式な中立をのらりくらりと續けて行くほかはあるまい、反樞軸軍が優勢とみれば日獨兩國に對する壓迫位は當然豫想できるが、恐らく最後まで中立を續けるだらう

フインランドの動向

次にフインランドだがこの間の政變については米國あたりでは政變卽ち和平、または和平のための政變といふ解釋を下した樣だが、フインランドを知らざるも甚だしい、國內社會民主黨の一部に和平派があることは事實だが、フインランドが食糧の四割をドイツに仰いでをり、北部にドイツ軍が駐屯してゐる事實は和平派にとつても明瞭な障得だ、この解決ができない以上早急な平和などはあり得ない、殊に米芬兩國の斷交以來和平の實現は益々困難となつた、ソヴエト政府の條件が事實

昭和十九年 九月四日(月)
第三一六九號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

無條件降伏に異ならず、賴む米國政府もクレムリンに對しては無力とわかつて以來、ドイツ政府と共に最後まで戰ふほか道はなくなつたといふのが一般の常識だ、赤軍のカレリヤ攻撃に對するフインランド軍の應戰は頗る熾烈で赤軍は二十四萬の犧牲を出して遂に攻撃を斷念した位だ

戰ふ芬國民

スエーデンに較べるとフインランドは全くひどい人的資源の面からみれば、既に動員力の限界を突破してゐるので生産力は農工業共に相當影響を受けてゐる、一九四二年に較べ四三、四四の兩年は作柄が良かつたので、幾分食糧狀態は良くなつてゐるが、食糧輸入はドイツにのみ賴つてゐるのだから、スエーデンとは較べものにならない、ヘルシンキの街頭でみる衣類などはよれよれの服と紙の靴、それも不足勝ちで全くこれでよくやつてゐるなあと考へさせられる、夏の間は爆撃がないので幾分よいとしても每日偵察機に脅かされて警報はひつきりなし、ナルヴア戰線の砲聲が海を越えてヘルシンキに殷々と聞えて來る狀態だから國民は全く戰爭の中にゐるといふ必死の自覺で生きてゐる、ただ賴母しいのは死活の危機にあるフインランド人が少しも動ぜず全く自己を棄て部署を守り續けてゐる姿だ

今のところ前線が安定してゐるので政變直後の緊張も手傳つて落着きがみられるがバルト戰線の向背が直接影響するのはこの國で、この秋などは空前の危機に直面する慮れがあるのだが、それにも拘はらず外國に傳へられるやうな安つぽい動搖はみられない

戰史を劃する獨新兵器

ベルリン支局

今後の戰局に全面的影響を及ぼす一つの要素としては新兵器及び改良兵器の出現が期待されるがこの點中立國筋ではどうみてゐるだらうか

チユーリツヒ支局

ロケツト爆彈の出現は今次大戰の齎らした新しい貢獻で戰史に一時代を劃するといへよう、V一號の出現は航空機に基礎を置く國防安全感の基礎觀念を根底から覆したといふ意味で正に革命的だといへる、理論的にはロケツト爆彈の發展を妨げるものはないわけで渡洋攻撃も可能であり、眞珠灣奇襲が二義的の意義しか持たぬ時代が來るだらう、ロケツト砲は既に飛行機砲、高射砲、對戰車砲にも利用され非常な威力を發揮してをり、ロケツト飛行機が歐洲戰場に登場する日も餘り遠くはあるまい、前大戰にロケツト砲同樣の革命的役割を演じた戰車も今度の大戰では特に速力重量において飛躍的な發展を遂げてゐる、「エクスチエンジ・テレグラフ」の報道によれば、ドイツの「虎」戰車「豹」戰車の混血兒ともいふべき「虎大王」と稱する重量六十七トン、備砲八十八粍機關砲二門を備へた重戰車がノルマンデイ戰線に現はれたといふが、戰車の全長は七米半、巾三米、高さ三米、裝甲十五粍といはれる、これに對し米軍はシヤーマン戰車をもつて對抗してゐるが、重量は五十三トン、最高速力三十八粁、備砲百二十五粍榴彈砲の他に機關砲三門、臼砲、自動機關銃を備へてゐる

新兵器の意義

ベルリン支局

ドイツの新兵器については外國の情報は重量二十トンのロケツト砲飛行機、數百米の範圍内に威力を發揮する火焰放射器、ロケツト式の快速戰鬪機、完全に機構を變へた新式潛水艦等種々の說を傳へてゐるが、以上の說が果して當つてゐるかどうかは具體的には指摘出來ない、しかしドイツ軍當局がなほ多數の新兵器を準備してゐると言明してゐるから、V一號について證明されたやうに遠からず必ず新兵器が出現すると期待してよからうもつとも從來の戰史によると一定の戰場に用ゐる人的物的の綜合戰力の比重が戰爭の大勢を決定し二、三の新兵器の出現は大勢を覆へすに足りないといふのが定說になつてゐるが、ドイツ軍の意圖は新兵器により反樞軸軍の既成兵器の威力をゼロにし米英兩國が營々三ケ年を費して造り上げた物的優越を覆へさうといふにある

即ちV一號についてみるとドイツ軍は反樞軸空軍が如何に優勢でも、また如何に惡天候が續いても悠々としてロンドンに對し、空爆と同樣の效果を恒久的に擧げ得ることとなり、優に數千數萬の空軍と同じ威力を發揮してゐる、從つて英國が折角整備した國內防空用の戰鬪機、高射砲等は殆んど全部無駄になつてしまつた、新しい對抗兵器を考案し、整備するには相當期間を要するが、反樞軸軍が次から次へとドイツ軍新兵器を無力化し效果を減殺してもドイツ軍を叩き潰すことは出來ない、この現實を悟らせるのがドイツ軍の目的だ

獨萬全の戰略態勢

もつとも反樞軸空軍の絕對的優勢が續く限り、ドイツ國內工業が打擊を受けるのは免れないのでドイツ軍としてはなんらかの對抗措置を講じなければならない、消極的な對策の一つとしては、地下その他への工場の疎開が擧げられる、目下大規模に實施されてゐるが、積極的な對策としては大空軍の復活等が强行されてゐる、更に「根こそぎ動員」によつて捻出された勞働力を振向けて營々として新兵器の生產に努めてゐる、ドイツ軍當局が目下ドイツ軍作戰主目標は時間を稼ぐにあるといつてゐるのは全くこの意味だ、從つてドイツ軍がフランス全土を拋棄して前大戰と同じやうに、西は北フランスから西部要塞、南はアルプス、カルパチヤ山脈、東はポーランドから東プロイセンを繋ぐ小さな地域に戰線を縮少し、ドイツ軍目下の最大の弱點である絕對兵力の不足を徹底的に補ひ、反樞軸軍の進擊をがつちりと食ひ止めるといふやうな作戰を採るやうになつても敢て驚くにはあたらない

ドイツ軍最高指導部の目的は肉を切らせておいて最後には骨までぶつた切らうといふにあり、これに最も必要な國民の團結については何ら不安がない、歐洲戰局の前途を光明をもつて注視したい

(了)

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年九月五日(火)　第三一七〇號

同盟通信

海外電報

(204)

發行人　荻野伊八　印刷人　同盟通信社

東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

【目　次】

芬邊に休戰、首相聲明に努む……二〇一七
ドイツ軍撤收の用意あり……〃
重大な犧牲を要求……〃
ブルガリア內閣の顏觸れ……〃
スロヴアキア軍司令罷免……〃
【友樞軸陣營】
戰後機構案を解剖す……二〇一八―一九
ソ聯の歐洲支配を恐る……二〇一九
ル・チ會談の中心議題は對日戰……〃
勃との休戰交涉中止……〃
東南アジア軍の內訌を暴露……二〇二〇
英の機密電報を米暴露……〃
【英　國】
政界、ソ波紛爭憂慮……〃
大戰以來の人的損害百萬突破……二〇二一
空軍少將成都へ……〃
【米　國】
在米印度人の反英運動……〃
陸軍の死傷……〃
海軍の損害……〃
盛世才の罷免を重視……二〇二二
大統領勞働祭布告……〃
對外貿易制限緩和……〃
ゴム生產局廢止……〃
政府軍需工場處分……〃
軍需工場でまた罷業……〃
軍需產業勞働力依然不足……〃
勞働罷業件數激增……二〇二三
【米　洲】
エ國、フアランヘ黨員彈壓……〃
エ國、米との電信協定廢棄……〃
曇、英蘭會社接收問題解決か……〃
【カナダ】
國民黨ケベック州內閣を組織……〃
【東南歐】
勃新內閣成立……〃
セルビア、獨との協力を强調……〃
【トルコ】
獨外交官を軟禁……〃
【フランス】
傀儡政權代表事務を引繼ぐ……〃
【北　歐】
洪新首相戰爭完遂を强調……二〇二四
洪供給相死去……〃
芬政界緊張す……〃
芬首相重大演說……〃
【ヴアチカン】
法王の記念演說……〃
【イタリア】
裏切り將官を裁判……〃
閣議を開催……〃
【特　輯】
數字から見た戰時下の米國(中)……二〇二五―二六



一九三九年九月三日獨英兩國が交戰狀態にはいつてから滿五年を經過したが、この間歐洲の天地には目まぐるしい變化が生じた、空軍と機甲部隊の精銳を縱橫に驅使して瞬く間に白蘭佛の三國を席捲したドイツ軍の前面にソヴエートといふ巨人が現はれるに及び戰爭の潮は逆流するに至つた、赤軍が目下躍起の攻勢を續けてゐるワルシヤワは勿論、アイゼンハワー麾下の反樞軸軍が猪突猛進してゐる北フランス、ベルギーの戰野もまた嘗てはドイツ軍の鐵蹄下に蹂躙されたところである

更にアラス、アミアン、セダン、ヴエルダン等の北フランスの諸都邑は、單に今次大戰だけでなく第一次大戰においても死鬪が展開された想出の地であり、たとへきたるべき大反擊のため止むを得ざる後退であるとはいへドイツ軍將兵にとつてみすみすこれらの要衝を敵手に委ねることは忍び難いに違ひない、しかしドイツ軍司令部がこの忍び難いのを敢て忍んでゐるところにむしろわれわれはドイツの依然たる勝利への自信をみることが出來る

一九一八年三月二十一日から前後五回に亘つて强行されたルーデンドルフ攻勢が所期の目的を達成するに至らず、却つて同年七月十八日からのフオツシユ反擊を誘致したため、ドイツ軍陣營には頓に憂色が漂ひ、ヴエルダン以西の戰線短縮についてルーデンドルフとプロシヤ皇太子の間に異見を生ずるに至つたことは周知の事實である、當時大膽な戰線整理が行はれてゐたならばとは後年軍事專門家の齊しく發する嘆聲であるが、況して機動戰を本領とする今次大戰において撤收作戰の有する意義には遙かに積極的なものが含まれてゐる

昭和十九年九月五日(火)
第三一七〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

芬遂に休戰
首相釋明に努む

(ベルリン三日發)ヘルシンキからのD・N・B電報によればフインランド首相ハクゼル氏は三日の演説で次の通り述べたと傳へられる

× × ×

フインランド國會は二日祕密會を開催、ソヴエト聯邦との友好關係回復の問題を討議した、最近軍事上、政治上の情勢が著しい變化を遂げたためフインランド政府は周到な用意の後八月二十五日ストツクホルムにおけるソヴエト使臣に近づき、ソヴエト政府において休戰並びに和平條件に關する交涉のためフインランド代表を引見する用意があるか否かを訊ねた、八月二十九日に至りソヴエト政府の回答を接受したが、右回答についてはソヴエト政府において、英國政府と協議し米國政府の同意をえてゐる、回答内容は次の通り

フインランド政府はドイツ政府との關係を斷絶し、且つドイツ政府に對し二週間以内にフインランド領土からドイツ軍の撤收を要求すること以上の豫備條件が履行されるとともに、ソヴエト政府は休戰條件並びに和平條件をともに討議するためモスクワにおいてフインランド代表を引見する用意あり

以上の回答を接受し、フインランド政府はソヴエト政府との合意に到達するため措置を講じなければならないとの確信を固めた、國會は右決定を承認し、政府信認案を可決した、フインランド政府が單獨和平條約を締結してはならぬとの前内閣の決定に基づく獨芬兩國の關係は余の考へでは爾後の事態によつて既に效力を喪失したと解される、更に以上の決定は前大統領が個人の名において下したところで、獨芬兩國間の協定は國會に付議されず、從つてこの種條約に關する國家の公式要求に合致してゐない

以上の理由により獨芬兩國間の協定は大統領の更迭以後新大統領に對しては拘束力がない、しかし右協定に基きドイツ政府がフインランド政府に與へた軍事上の援助は戰線安定の上に非常に役立つたことは認めざるを得ない、ソヴエト政府の主張するであらう條件は全然知られてをらず、今回フインランド政府が採つた道程に潜む豫想外の危險を輕視してはならない、國民の一部は今回の措置に餘りに多くの期待を繋ぎ、他面一部には國會今回の決定を十分うけ容れることが出來ぬ分子もあるが、四圍の情勢に鑑み、擧國一致大統領マンネルハイム元帥と政府と國會とを支持されるよう要請する

ドイツ軍撤收の用意あり

(ストツクホルム三日發)ヘルシンキ駐劄ドイツ公使フオン・ブリユヘル氏は一日フインランド外相カール・エンケル氏と會見し、ドイツ政府は九月十五日までにドイツ軍をフインランド領土から撤收する用意ある旨通告したと傳へられる

重大な犧牲を要求

(ベルリン三日發)D・N・Bのヘルシンキ電報によれば、フインランド各紙はソヴエト政府との休戰和平交涉開始に關する決定につき全國民の理解を要望し

今回決定された道程はフインランド國民に重大な犧牲を要求するだらうと警告してゐる

ブルガリア内閣の顔觸れ

(ベルリン三日發)ソフイア來電=コンスタンチン・ムラヴイエフ氏を首班とするブルガリア新内閣は二日成立したが、その後發表された顔觸れ次の通り

法相 パヴロフ
藏相兼經濟相 ギルギノフ
農相 陸軍少將スヴロフ
公共事業相 ダスカロフ

スロヴアキア軍司令罷免

(ベルリン三日發)ブラチスラヴア來電=スロヴアキア政府の公表によればスロヴアキア大統領テイソ博士は二日スロヴアキア軍參謀總長チヤトロシユ將軍を罷免したといはれる

昭和十九年 九月 五日(火)
第 三 一 七 〇 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

戰後機構案を解剖す

(リスボン二日本田特派員發) 米英ソ三國代表は去る二十一日以來ワシントン郊外ダンバートン・オークスで平和機構會談を開始した、開始後二週間乃至三週間の後ソヴエト代表が退場し、重慶代表が參加し、會談で出來た原則を基礎に、さらに本格的な會議が近く開催される豫定といはれる

美名の下に小國を瞞着

前大戰には慌てて媾和條約を締結しその運用を誤まつたが、今度は今から專門家が寄つて十分に案を練り再び戰爭が起らぬやう平和を保障する機構を作り上げるといふ米英兩國の意圖が、新平和機構の美名の下に世界制覇を恒久化せんとするにあるのはいふまでもない、然もその反面には組織を準備することによつて、ともすれば戰後の大國支配に怯える小國をも瞞着し、彼等をして現在の戰爭遂行により積極的に協力させようといふ政治的謀略をも兼ねてゐるところに今後の會談の頗る微妙且つ困難な役割があるわけで、各代表の聲明米英兩國新聞界の情報から綜合するとその組織が舊聯盟同樣世界理事會、國際司法裁判所などからなることはほぼ疑ひない、問題は舊聯盟の苦い經驗に鑑み侵略の場合には實際に武力を發動し得る仕組にせねばならぬことを各國代表が强調してゐる點で、しかも專ら實力を保持する米英ソ三國並びに重慶政權が武力行使に當るといふ

他方聯盟が軍縮を頻りに云々して戰爭が恰も世界から消滅するやうな幻想を抱かせたのと反對に新機構では剝き出しに武力の確保、戰勝國による武力行使が中心となつてゐるのは大きな違ひであらう、勿論去る十月のモスクワ會談以來國際機構は大小を問はず各國の主權平等の原則に立たねばならぬと盛んにいはれてゐるが、この平等も舊聯盟式の一律平等ではなく實力に比例したそれであると各代表間に諒解されてをり、總會は諮問會に過ぎず實際の決定、執行は理事會これに當り決定も全會一致の要なく、常任理事國たる米英ソ三國並びに重慶政權の意見一致あれば後は小國委員の相當な反對があつても制裁を强行出來るといふのが全體の空氣だ

武力については國際警察案は實現出來ぬといふので問題にならず、主眼は列國がそれぞれ利害關係ある地域を責任分擔し、侵略行爲ある場合は理事會の決定の下に管轄地區內で武力を發動するといふ案が有力だ、「ニューヨーク・タイムズ」紙によれば英國政府はそのために統合參謀本部の設置を提唱してゐるといはれる、また制裁をより效果的決定的にするために國際空軍を創設する案をソヴエト政府が强く主張し、米英兩國も同意してゐるが、現在の米軍第二十航空隊を構成するB29がその母體となるといはれてゐる

そこで會談の問題となる點は理事會、機構決議樣式などの外に米英ソ三國と重慶政權共同の侵略阻止地域を分轄するに地域をどう分けるか、しかしその結果强國が世界を勢力範圍に分けて支配することとならうといふ小國の不滿を緩和する方途如何だ、さらに聯盟の失敗に鑑み新機構では世界經濟方面の國際機關を一應分離し、新機構を全く侵略阻止だけの政治機關にするといふ傾向が强いが、しからば國際協力の指導精神を新機構は何によつて發揚するか、舊聯盟の失敗は機構上の缺點によるが、寧ろ大國の利己的態度にあつたことは米英兩國も率直に認めるところ、しからば新機構は列國が利己的にならぬ保障を何によつてするか等等の問題が提起される譯だ、新機構では大國はその武力で小國を制裁することが出來るが、大國の侵略慾を抑へることは出來ないとサンデー・タイムス紙は指摘してゐる

ソ聯の大國中心主義露骨

さらにもつと大きな問題は大東亞で重慶政權を四强國の一つに祭り上げたは良いが、同政權はこと五、六十年で支那を統一して强大な兵力を持つ近代國家には到底なれぬといふのが極東通の一致した意見である、一方ソヴエト政府は東亞に對しては嚴正な中立を守つてゐるので、重慶政權を會談に入れたところでいふところの新聯盟案は大東亞に關する限り所詮幽靈的に終らざるをえない、戰後遲かれ早かれ社會機構の異なる米英兩國とソヴエト聯邦との對立となり、新聯盟も結局は强國による武裝平和の擬裝に過ぎないことが指摘されてゐる

昭和十九年九月五日(火)
第三一七〇號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

ソヴエト政府としては對チエツコスロヴアキアユーゴースラヴイア、ポーランド政策にみられるやうに着々東南歐洲における地盤を固め、一方平和會議では米英ソ三國の緊密な提携こそ新機構の基礎でなければならぬと大國中心の最も露骨な態度に出てゐる、また新機構の實現に助力はするが出來ればそこから三國間の軍事同盟の實質的效果を狙つてゐるやうに窺はれる、制裁案についてもソヴエト政府は強國による地域分擔の主張を持し米英兩國案との調和如何が會談の主要題目だ

米國の難點

最後にもう一つ平和機構案の難所とされるのは米國上院の問題であり、舊聯盟の時のやうに上院の反對があれば折角つくつても米國は新機構に加入出來ぬことになる、そこで國務長官ハルは開會演説で新機構に輿論の支持の必要を強調し、また會談中政府を代表して上下兩院と終始連絡し、共和黨とは大統領候補デユウイの外交顧問デユルスと再三會見するなど、平和機構問題を政爭の圈外に置き、國民的支持を得ようと奔走してゐる、ルーズヴエルトも近くウイルキーと會見することになつてをり現在米國内の空氣は孤立派も影を潜め國際會議に積極的參加を要望する意見が壓倒的だが、問題はその内容であり、第一にはサムナー・ウエルズが主張し、デユウイが駄目を押したやうに國際協力の精神を無視し、小國を壓迫するやうな強國の軍事同盟案に反對だといふ自由派の意見で、第二には平和機構による武力行使には異議を唱へ、新機構が超國家的な存在となり、その指令下に大統領が上院の承認を得ずに勝手に兵力を動かす案には絶對反對だといふ孤立派、保守派の根强い意見である、殊に後者が米國代表の頭痛の種となつてゐるやうだ

ウイルキーは大統領に兵力使用の全權を與へるべきだと孤立派攻撃に乘り出し、一方折衷案として平和機構の米國代表に議會代表を入れる案等も出てゐるが、上院には英領その他の太平、大西兩洋の島嶼を米國が領有するといふ蟲の良い案も出てをり、これが非常に英國人の神經を刺戟してゐるので本會議もまだ幾多の波瀾を免れまい

ソ聯の歐洲支配を恐る

‖元駐佛米大使指摘す‖

(リスボン一日發)ニューヨーク來電によれば元駐佛米國大使で現在もルーズヴエルトの外交顧問役をつとめてゐるウイリアム・ビユリツトはライフ誌上にソ聯の戰後歐洲支配を指摘して一文を寄稿したといはれる、論文要旨は次の通りで、イタリア人を表面に出してはゐるが、その實彼自身の對ソ觀を表明したと見られ、彼の如き人物がかかる論文を發表したことは注目される

イタリア人は今後の戰爭で歐洲はベルリンの支配から脱することが出來るかも知れないが、その代りに今度はモスクワの隷下に入るのではないかと恐れてゐる、イタリア人は更に米英兩國があらゆる歐洲諸國の獨立のために强い態度をとらず、ソ聯の强引政策に屈伏した結果、第三次大戰避け難しとの見解をも持ち、結局ソ聯が歐洲を支配するに至るだらうとみてゐる、彼等の見解によれば英國は今度の戰爭で勝つたにしても「疲れたる勝利者」にしか過ぎず、獨力をもつてしては到底以上の脅威を防衛できまいといふのだ

ル・チ會談の中心議題は對日戰

(リスボン二日發)ルーズヴエルトとチヤーチルがパリかケベツクのいづれかで極く近い將來會談することはもはや決定的とみられるに至つた、ワシントンからのU・P電によればワシントンの外交消息筋は次の見解を洩したといはれる

ルーズヴエルトとチヤーチルは反樞軸作戰指導部首腦を加へ純軍略上の問題につき協議する筈だ、協議の内容については種々の見解が行はれてゐるが、ルーズヴエルトが最近太平洋戰域を巡歷したことと、會議にスターリン議長が參加しないところからみても對日戰が中心となるものとみられる

勃との休戰交渉中止

(リスボン二日發)カイロ來電‖ブルガリア政府代表とのカイロの米英兩國代表は一日「ブグリアノフ内閣の總辭職に鑑みブルガリアと米英兩國との休戰交渉は一時停止された」と發表した

昭和十九年 九月五日(火)
第三一七〇號

同盟通信

海外電報 (第三種郵便物認可)

東南アジア軍の內訌を暴露

(ストツクホルム二日發)反樞軸軍政治顧問フイリツプスの米國召還を契機として米英兩國の泥試合劇は再び華々しく開幕した形だが、ロンドン來電によれば英國の週刊雜誌「トリビユーン」誌は二日東南アジア反樞軸軍內部におけるマウントバツテンとスチルウエルとの內訌を暴露した次の一文を掲げた

× × × ×

マウントバツテンの下に東亞戰域に作戰中の米國軍を代表して副司令官の地位にあるスチルウエルは、米國の將來が政治的にも經濟的にも支那と密接不離の關係にあることを最も固く信じてゐる人間である、さらに彼は印度に對しても強い同情を寄せ、これ等の感情に支配されて英國軍との共同作戰は二の次にしてゐる有樣だ、例へば過去六ケ月間に東南アジア反樞軸軍司令部では屢々作戰首腦部の會議が開かれたがスチルウエルが出席したのはたつた二回に過ぎず、英印軍の間では彼は「喧嘩好き」の始末におへない人物との定評さへある位だ

米國はしきりに印緬作戰における英國軍の無能を攻擊するが、この作戰の一部を分擔したスチルウエルの戰鬪ぶりはどうであつたか、彼のレド公路打開作戰については最近マウントバツテンが私怨を棄ててその勇敢さを賞讃したし、また米國宣傳機關も頻りにスチルウエル軍の戰果なるものを大袈裟に書きたててはゐるが、實際のところを御披露に及ぶと、彼は實に一萬二千にも達する大軍をもつてビルマ北部にあつた極く少數の日本軍を攻擊、しかも二ケ月の長きにわたつても何等の戰果もあげえず、漸く重慶軍の來援をえて前進が出來たといふだらしない有樣だつた

英の機密電報を米、暴露

(リスボン二日發)ワシントン來電=反樞軸軍の米人政治顧問フイリツプスが英國政府の要求に基づいて米國に召還された事件は上院議員チヤンドラーがその事實を暴露したのに續きワシントン駐劄英國大使ハリフアツクスがかかる事實なしと否定、更に米國務省までも否定聲明を發表するに至つたが、これに對しチヤンドラーは二日英國政府の機密電報を披露して彼の主張が確實な根據に基づいてゐることを明らかにした、彼が發表した機密電報は印度政廳の某英國高官から英本國の印度事務相宛に發せられたもので、明らかにフイリツプスが英國の「不同意人物」であることを明記してゐる、これによつて英國大使ハリフアツクスの否定聲明こそ僞であつたことが證明されたが、チヤンドラーの發表に對し英國大使館は何等の反駁をも行はず相當狼狽の色をみせてゐる

【英 國】

政界、ソ波紛爭を憂慮

(チユーリツヒ二日堀口特派員發)ポーランドの歸屬を繞るソヴエト政府、ヘウム政權對ロンドンの亡命ポーランド政權の反目抗爭はワルソー蜂起問題を契機として最高潮に達したが、ミコライチク政權が東部ポーランドの喪失を不可避と觀念しクレムリンとの和解を求めてゐただけにソヴエト政府がワルソー蜂起を見殺しにしたことはソ波紛爭解決の最後の藁を見逃したこととなり、もはや兩者間の握手は絕望されるに至つた、ポーランドにおける東ポーランド人は少數民族をなすため、ミコライチク政權としても萬已むを得ぬ場合はカーゾン線以東を放棄することに覺悟を極めた模樣だが、ワルソー蜂起に對するソ聯の態度には承服しかねるものがあり、更に以上の問題を繞つて米英兩國對ソ聯間の深刻な對立にまで發展する惧れが多分にある

英國政界は米英ソ三國が歐洲戰の現段階において宿命の對立を再び表面化することは歐洲の將來を危殆に瀕せしめるものとみて憂慮の眉を顰めてゐるが、問題は三國政府がどうして事件をかくまで激化させるに任せたかといふことだ、タイムズ紙も事態の成行を危惧して最近の社說で次の通り論じてゐる

ソ波紛爭は歐洲戰の終末を遲らせるばかりでなく世界の恒久平和を毒するものだ、米英ソ三國間に相互信賴がない限りポーランドの存在は不可能であるばかりでなく、戰後の歐洲平和を維持することも不可能だ

昭和十九年 九月五日(火)
第三一七〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

大戰以來の人的損害百萬突破

(ストツクホルム二日發)ロンドン來電=政府は二日今次世界大戰開始以來本年八月三十一日に至る五ケ年間に蒙つた人的損害の累計を發表した、この損害は英本國をはじめ各自治領、及び植民地を含む全英帝國の人的損害だがその內容次の通り

△兵員損害 九二五、九六三
その內譯
戰死(戰傷死を含む) 二四二、九九五
行方不明 八〇、六〇三
戰傷 三一一、五〇〇
俘虜 二九〇、八六五
△船舶乘組員損害 三三、五七三
その內譯
死亡者(行方不明の乘員を含む)二九、三八一
俘虜 四、一九二
△英本國內における空爆による市民死傷者 一三二、〇九二
その內譯
死者 五六、一九五
負傷者 七五、八九七

卽ち開戰以來英帝國の受けた人的損害の總數は實に百萬を超えてゐる

空軍少將成都へ

(リスボン二日發)八月二十八日附「オブザーヴア」紙によれば空軍少將マクニース・フオスターは重慶空軍の訓育を援助し、且つ成都の航空士官學校の教育を引受けることとなり、最近英國を出發、支那に向つたといはれる

【米國】

在米印度人の反英運動

(リスボン二日發)ニューヨーク來電=歐洲侵攻反樞軸軍政治顧問フイリップスの召還をめぐつて米國內では再び英國の印度政策に對する反對運動が展開されるに至つたが、この氣運に乘じて米國にある印度人達は米國の輿論に訴へて彼等の目的を達成すべく猛烈な反英運動を開始した、米國には印度人の結社として「自由印度國民委員會」なるものがあるが、この委員會は今週その機關誌として「印度の聲」なる雜誌を新たに刊行したがその卷頭言で

印度の組織的な聲が是非ワシントンできかれるやうにしなければならぬ、われわれの叫びは公式な聲ではないが、印度民衆の悲痛な要求を最も忠實に傳へる聲である

と述べ、印度獨立運動が米國の朝野に積極的な働きかけを行ふことを示唆した、自由印度國民委員會には南加大學の印度人敎授フツセイン、著述家シング、シユリツドハラン等著名な印度人が參加してゐるが、ネールの妹も近く米國を訪問して反英運動に參加する豫定といはれてゐる

陸軍の死傷

(リスボン二日發)ワシントン來電=陸軍次官パターソンの發表によると西部戰線の熾烈化を反映して八月十三日現在までの陸軍兵員損害は八月六日現在に比し二萬三千二百四十九名增加、開戰以來の合計は二十八萬四千八百三十八名に達したが內譯次の通り

△陸軍 二八四、八三八名
その內譯
戰死 五三、一〇一名
戰傷 一四二、六八六名
行方不明 四四、六四三名
俘虜 四四、四〇八名

更に八月十五日フランス南部上陸作戰開始以來八月二十四日までのリヴイエラ戰線における米軍の兵員損害は次の通り

戰死及び行方不明 一、二四七名
戰傷 五、〇九〇名
合計 六、三三七名

海軍の損害

(リスボン二日發)ワシントン來電=海軍長官フオレスタルは開戰以來二日現在までの海軍兵員損害を次の通り發表した

△合計 五九、〇二八名
△內譯
戰死 二三、六七六名
戰傷 二一、二四二名
行方不明 九、六四四名
俘虜 四、四六六名

昭和十九年 九月 五日(火)
第三一七〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

盛世才の罷免を重視

(リスボン二日發)ニューヨークのヘラルド・トリビューン紙は重慶政府が新疆省政府主席盛世才を罷免した事件を重視し、一日の紙上で次の通り論じてゐる

中央アジアの奥地で一省政府主席がその地位を失つたが、この出來事は英國が抱いてゐる將來の世界平和への關心からは遙かに遠ざけられてゐる、しかし重慶からの電報で明白なことは盛世才の辭職は强制されたもので、これまで滿足に行つてゐなかつたソ聯と重慶の關係を改善するためだつたといふことだ、今回の辭職はソ聯と重慶との間に一層の親善關係が生れることを示唆してゐる、これは東洋における來るべき時代への最も重大な事件となるかも知れない

大統領勞働祭布告

(リスボン二日發)ワシントン來電=大統領ルーズヴエルトは四日の勞働祭を前に二日勞働者に對し次の布告を發した

歐洲及び太平洋戰線において反樞軸軍が現在の地位を獲得出來たのは實に米國の勞働者、資本家並びに農民のおかげである、しかしながらわれわれの前途にはまだ最も激しい戰鬪と最も大きな事業とが控へてをり、これを達成するためには益々多くの物資を必要とする、われわれの直面する仕事は勝利をうることにあるが、これを出來るだけ早く達成するためには男女の勞働力を最大限に利用しなければならぬ、また勝利の後にも戰時態勢から平和態勢に復歸するといふ大事業が控へてゐるのであり、この事業遂行に當つても勞働者諸君の全的協力を要望する

對外貿易制限緩和

(リスボン二日發)ワシントン來電=外國經濟院は一日次の通り發表した

左記各地向け輸出に對しては從來實施してゐた貿易制限を緩和し、輸出貿易業者は十月一日以後直接外國經濟院に對して輸出許可證の發給を要求し得ることとなつた

ソヴエト聯邦、英本國、濠洲、南阿聯邦、ニユージーランド、印度、ニユーフアウンドランドその他英領各地、ベルギー領コンゴ、マダガスカル、カメルーン、赤道アフリカ、佛領西印度諸島、佛領ギニア等佛領各地、蘭領西印度、グリーンランド等

なほ外國經濟院は中南米諸國向輸出に對しても同樣の緩和措置を講じ、これは旣に九月一日から實施してゐる

ゴム生産局廢止

(リスボン二日發)ワシントン來電=白堊館當局は二日次の通り發表した

大統領ルーズヴエルトは二日正式にゴム生産局を廢止した、從來ゴム生産局の行つてゐた事業は今後戰時生産局が繼承することとなつた

なほ米國は日米開戰とともに東亞からの天然ゴムの供給が全く杜絶した結果、人造ゴムの生産に乘り出し、ゴム生産局を新設して人造ゴム製造事業に當らせてゐた

政府軍需工場處分

(リスボン二日發)ワシントン來電=戰時動員局長官バーンズは二日政府所有軍需工場の處分につき具體策を決定するため政府の軍需關係機關代表者から成る特別委員會が任命されたが政府はこれら軍需工場を戰爭終了後民間に拂下げて民需生産に當り得るやう取計ふ方針である旨發表した

軍需工場でまた罷業

(リスボン二日發)ニユーヨーク來電=クリーヴランド黑鉛靑銅會社勞働者約六千名は三十一日から一齊に罷業を開始した、同社は超空の要塞機B29用の球軸受け製造に當つてゐるが、罷業の結果その製造は事實上停止した

軍需産業勞働力依然不足

(リスボン二日發)ワシントン來電=戰時情報局は一日軍需産業と勞働力とに關する報告を發表したが、そのうちで次の通り述べてゐる

軍需産業はなほ三十萬の新規勞働者を必要としてゐる、現在勞働力不足に惱んでゐる部門は自動車タイヤ、大型自動車、重火器、彈藥、信號兵器、船舶修理を含む造船、製材、食糧製造、飛行機等を含む十三の軍需産業である

昭和十九年九月五日(火)
第三一七〇號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

勞働罷業件數激增

(リスボン二日發)ワシントン來電=勞働省は一日、本年一月以降七月末までの勞働罷業狀況に關する統計數字を發表したが、右によれば罷業件數は三千三十五件、罷業參加勞働者數百萬、一人平均四日間の罷業を行つてゐるので喪失勞働日數は四百萬日となつてゐる

【米洲】

エ國、フアランヘ黨員彈壓

(リスボン二日發)キトー來電=エクアドル憲法議會は同國銀行界の大立者アルテイハスの全財産沒收を決定した、沒收の理由はアルテイハスがスペインのフアランヘ黨員と結びついてエクアドル政府の顚覆を圖つたといふにあるが、一方警察當局は財界の有力者コルドーヴエス及びドイツ市民でキトーにおいて手廣く商賣を經營してゐるヴオルフなる人物を一日逮捕した

エ國、米との電信協定廢棄

(リスボン二日發)キトー來電=エクアドル交通相モンテロは二日次の通り發表したエクアドル政府は一九三〇年米國との間に締結された電報協定は米國政府のエクアドルに對する干涉であり、エクアドルの體面に拘はると認め、右協定を廢棄するに決定した

墨、英蘭會社接收問題解決か

(リスボン二日發)メキシコシテイ來電=大統領マヌエル・カマチヨは議會において二日次の通り述べた政府が一九三八年國內の英國並びにオランダ石油會社の所有權を接收して以來、兩國との間には紛爭を生じてゐたが、この問題も數週間內には解決の段取りとならう

【カナダ】

國民黨ケベツク州內閣を組織

(リスボン一日發)ケベツク來電=最近ケベツク州の選擧で國民黨が勞働黨に勝つた結果、一日國民黨首領モーリス・デユープレスイスがケベツク州の新內閣を組織した

【東南歐】

勃新內閣成立

(ベルリン二日發)ソフイア來電=バクリヤノフ內閣瓦壞の後を承けてブルガリアの新內閣はコンスタンチン・ムラヴイエフ氏を首班として二日成立した、新內閣の主なる顏ぶれは次の通りだが、大部分ブルガリア政界の左翼分子で占められてゐるのが注目される

首相兼外相　コンスタンチン・ムラヴイエフ
無任所相　ニコラ・ムシヤノフ
　デイミター・ドシドレフ
　スタナフ・ブロフ
內相兼保健相　ヴエーギル・デイモフ
(臨時交通相をも兼任)

セルビア、獨との協力を強調

(ベルリン二日發)ベルグラード來電=セルビア首相ネジツチ氏は一日ラジオを通じてセルビア國民に對し、要旨次のごとき演說を行つた

わが國とセルビア國內駐屯ドイツ軍との協力は大成功を納めてゐる、獨立後セルビアは生存してゐるのであり、今後も生存を續けるだらう、セルビアこそはバルカン半島においてボルシエヴイズム打倒の戰ひの旗手である

【トルコ】

獨外交官を軟禁

(リスボン二日發)アンカラ來電=政府は二日午後十二時をもつて國內に居殘つてゐるドイツ外交官全部をドイツ大使館並びにアンカラ及びイスタンブールのドイツ領事館內に軟禁するに決定した旨二日發表した

【フランス】

傀儡政權代表事務を引き繼ぐ

(チューリツヒ一日發)ド・ゴールを首班とするフランス臨時政府はジヤン・ベルジエを今回ベルン駐劄大使に任命したが、同人は三十一日ヴイシー政權の大使フランソワ・パール提督から事務の引繼をうけた

昭和十九年 九月五日(火)
第三一七〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【北歐】

洪新首相戰爭完遂を强調

(ブダペスト二日發)ハンガリア新首相ラカトス上級大將は就任後ハンガリア國民に對し一日新政府の政策を闡明、次の布告を行つた

ハンガリア新政府は戰時の諸要求に卽應し最大の努力をもつて國內戰線の整理に盡力する、ハンガリア國民の生存を脅かす諸種の危險は國民が前線將兵の英雄的努力を支持するため日夜刻苦勉勵することによつて克服されよう、新政府は利用し得るあらゆる人的資源を全面的に戰爭努力に動員する積りだ、ドイツ軍はハンガリア軍に對し有效適切な援助を與へ、ハンガリア軍の祖國防衞を容易ならしめるだらう、一時的な挫折乃至撤收が若干地域においてみられやうとも國土防衞に最大の犧牲を辭せぬハンガリア國民の決意は微動だもしない、生死を賭した今次戰爭は如何なる犧牲も大きすぎるといふことはない、戰爭の負擔は全國民の各階層を通じ平等に配分されねばならない、戰爭中は如何なる贅澤も許さるべきでなく、一人の有閑人もあつてはならない、勞働時間は最大限に延長されることとならう、銃後國民は須らく彼らの拂ふ犧牲が前線將兵のそれといささかも劣るものでないことを自覺すべきだ、余はハンガリア國民が全戰時施策を成功に導くためあらゆる努力を傾注することを希望して止まない

洪供給相死去

(ブダペスト二日發)ハンガリア供給相ステファン・ロソンツイ氏は一日逝去した、享年六十一歲

芬政界緊張す

(ストツクホルム二日發)ヘルシンキ來電=フインランド國會の外交政策委員會は一日外交情勢に關する政府の報告を聽取したが、更に來る六日開會豫定のフインランド國會は二日突如召集された、フインランド政府は國會に對し政治情勢に關する聲明を發表するはずである、またフインランド政府は一日夜半バルチツク海にあるフインランド全船舶に對し最寄りのフインランド乃至中立國の港灣に避難するやうにとの命令を發した

芬首相重大演說

(ベルリン二日發)ヘルシンキ來電によればフインランド首相ハクゼル氏は二日午後十時ラジオを通じて演說を行ふ旨發表されたが、右演說中において何らかの重大發表があるとみられる

【ヴアチカン】

基督教徒の任務

法王の記念演說

(リスボン一日發)ヴアチカン市來電=ローマ法王ピオ十二世は第二次歐洲大戰勃發五周年記念日に際し、ラジオを通じて三十二分に亘り全世界に呼びかけたが演說の要旨次の通り

今日人類は不幸の深淵に立つてゐる、しかし人人は最早旣往を追想して悲嘆に暮れず、極力この凄まじい物心兩面の大變動の原因を突きとめようとしてゐる、その結果世界はかかる凄慘な悲劇が如何なる形においても二度と繰り返されないよう出來得る限りの豫防策を講じようと考へるに至つた、今や歷史といふ時計の針は人類にとつて偉大且つ決定的な新らしい時を指してゐる、今次大戰の後には將來の社會組織といふ問題が殘され、そのために烈しい鬪爭が引き起されよう、しかしながら基督教徒には國家間の平和及び國交の改善、基督教教義の遂行のために偉大且つ高邁な務めが與へられてゐる

【イタリア】

裏切り將官を裁判

(ベルリン二日發)ミラノ來電=政府は一九四三年九月八日のバドリオの裏切り降伏に關聯し來る九月中旬これに關係した將官一同に對する裁判を開始するに決定した旨二日發表した

閣議を開催

(ベルリン二日發)ミラノ來電=政府はムツソリーニ首相出席の下に二日閣議を開催、種々の方策を檢討可決した

昭和十九年九月五日(火)
第三一七〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

數字から見た 戰時下の米國 (中)

「ウオールストリート・ジヤーナル」紙所載

軍需生産高稍々減少(五月五日附)

戰時生産局の發表によれば米國內各工場の軍需生産高は四月に至り幾分減少を示したが、緊急必需品については殆んど落度なく生産を完了したといはれる、生産品目は總數六百五十二品目で、一九四三年四月の五百四十七品目より增加してゐるが、一九四四年三月の六百六十七品目に比べればやや減少を示してゐる

工作機械の需要益々增加

戰時生産局は工業界に對し、新設の重砲兵科その他の計畫から生ずる需要を滿たすために、米國政府は今後も從來と同じ量の、或ひはそれ以上の工作機械を海外に送らねばならないと通告した、最近の調査によれば、一九四四年の積出し見積り高は約四億八千五百萬ドルだといはれるが、戰時生産局では恐らく六億ドルを越へるだらうと推定してゐる

工場裝置の擴張計畫略々完了(六月十二日附)

戰時生産局發表—豫算百五十六億ドルを基礎に政府が企圖した工場施設擴張計畫は、四月三十日で實質的に終了、建築は九十パーセント、機械並びに裝置の運搬は九十五パーセント方完了した、現在までの經費は總計百三億ドルに上つてゐる、戰爭狀態及び政策に變りがなければ、一九四四年末には百三十五億五千萬ドルに達する見込だが、一九四二年に比し二十七パーセント、一九四三年に比して四十六パーセントの減少を示す譯である

必需品目の合計減少(六月十四日附)

米國商務省四月下旬發表—四月における國內全製造工場の資產目錄は合計百億ドルで、一九四三年九月の最高記錄に比し五億ドル方減少してゐるが、そのうち原料並びに未製品は七十七億ドルで六ケ月前に比べて六億ドルの減少を示してゐる

軍需工業が既に最高潮に達してゐるので、必需品目は今後需要の減少及び使用法の改善に伴ひ、少くなることは考へられるが多くはなるまい、生産者が十分注意して、生産品目が刻下の必要量を餘り越さないやうに努めれば、それだけ契約が滿期に達した時或ひは解消された場合に、餘剩物品が少くてすむ譯である

貿易額增加(六月九日附)

米國商務省は一九四四年四月及び第一四半期の商品輸出入額を、一九四三年度と比較して次の數字を發表した (單位百萬ドル)

一、四月輸出額

一九四四年	一、一九二、〇三三
一九四三年	九七九、一六六

一、同輸入額

一九四四年	三五九、四〇二
一九四三年	二五七、五八九

一、第一四半期輸出額

一九四四年	四、五二七、六五五
一九四三年	三、四一六、八九二

一、同輸入額

一九四四年	一、三三〇、五九四
一九四三年	九六九、五四四

戰車の輸出一週二百三十臺(六月七日附)

外國經濟院總裁レオ・クローリー七日發表—米國政府は一月一日から四月一日までに反樞軸各國に對し、戰車三千輛、對戰車車輛、貨物自動車、ヂープその他の軍用自動車九萬輛、卽ち平均一週間に戰車二百三十輛、その他の軍用車六千九百輛を輸出した、內大半は英國に送られたが、東亞、太平洋戰線、東部戰線、並びに地中海戰線へ向けて積出した量も少くない、一九四一年三月十一日武器貸與法が成立してから一九四四年四月一日までに米國は戰車六萬一千輛、その他の軍用自動車二百二十萬輛を生產、內五分の三は米國軍に、殘りはその他の反樞軸軍に送つた

昭和十九年 九月五日(火)
第三一七〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

鋼鐵の需要激増（六月十七日附）

ノルマンデイ上陸作戰開始以來、米國における鋼鐵の需要が頓に增加したため、生産も積出しも間に合はず、多數商會の注文帳は一杯になつて新らしく注文を受ける餘地もなく、民間の一般消費に間に合はないばかりか、往々軍需工業界に對する鋼鐵の配給さへ、指令なしでは滯り勝ちな有樣である

倉庫に入るはずの鋼條は大部分彈丸の製造に使はれ、形鋼は悉く造船所その他の軍事關係に廻はされ、半製品さへ引張り凧だといふ、厚鋼鈑は需要が供給を十パーセント方上廻り、配給は遲れるばかりである、更に人手不足のため屑鐵工場でも一定量しか取扱つてをらず、會社によつては屑鐵製品の目錄を削減するに至つたといはれる、しかし銑鐵はまだまだ澤山あり、平爐混合法によれば銑鐵からも鋼鐵を作ることが出來るから屑鐵の不足は意に介する必要はない、もつとも平爐法によると製造費が嵩張るが、軍隊に鋼鐵を供給するためとおもへば費用等問題ではない

一方鋼鐵補充の一助として、ピツツバーグのナショナル・チューブ會社では一九四三年十二月鋼需要の減少に伴ひ最初の全面的鋼鐵業の切替へを實施して、爾後使用を中止してゐた第一熔鑛爐を今回三割擴張して再び點火した

自動車工業（七月二十四日附）

米國の自動車工業界は、資材の配給が完了して萬端の準備が整ふまでは自動車の製造を開始しない旨先週言明した、表向きには「自動車を製造し度いのは山々だが、軍需生産に忙殺され自動車までは手が廻らない」と稱してゐるが、眞の理由は戰時生産局が過般自動車工業に對し資材配給上の便宜を與へる旨立案したにも拘はらず、結局計畫倒れに終つてゐるためだといはれる、戰時生産局の許可を得なければ資材は入手出來ないが、どんな資材をどれ位、何時配給されるのか豫め見透しがついてゐなければ、自動車工業界としても仕事にとりかかることは出來ない

過般ワシントンで關係當局が非公式に會談した折、九大自動車會社の代表は戰時生産局代表に對し、戰時生産局は軍需工業の切替へと共に旅客列車の生産を始める旨約束したが、依然何等の切替へさへも實施されてゐないではないかと詰め寄り代表の一人は、「切替へどころか軍用品の注文は刻々增加するばかりだ」と不平を述べたといふ、今後一年間の自動車生産見積り高二百十五萬輛の製造も、今のところ全く覺束ないが、萬事は歐洲戰局の推移いかんによつて決定されよう

生産局は更に新型自動車の模型を作つて實驗してみてはどうかと提案した、しかし平和産業への全面的切替へ及び新型生産計畫の基調である設計並びに製圖の方面で、一番人手が不足してゐる實狀に鑑み、自動車業界も二の足を踏んでゐる樣子で、根本的な新型設計等といふ大規模且つ長期間を必要とする仕事は暫らく差し控へて、先づ一九四二年型の製作にかかりたいとの意向をもらした以上會談の經過からみても分るやうに、自動車工業は未だ平和産業への復舊問題で採めてをり、自動車業界は、軍需生産の場合はいざ知らず、平和産業に切替へた後は出來るだけ政府の統制を受け度くないとの態度を示してゐることは明らかだ、現に自動車會社では當局よりも遙かに先走つた復舊計畫を立ててゐる、なほ自動車業界は戰時生産局に對し、工作機械の配給を要求し、自動車工業で最も切實に必要を感じてゐる工作機械を配給してくれれば復舊工作の四分の三は完成したも同然だと申したててゐる

生活費更に增加（八月一日附）

「デーリー・テレグラフ」紙所載

米國勞働長官パーキンス女史談話——米國主要都市における生活費は一九四三年六月現在に比し五パーセント、一九三九年當時に比しては二七・二パーセント方增加してゐる、戰爭が經濟生活全般に及ぼした影響としては、右數字のほかに品物の質が低下したこと、廉價品が市場から姿を消したこと、住宅及び外食の點で種々の變更を餘儀なくされたこと等々を擧げることが出來よう

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年九月六日(水)　第三一七一號

同盟通信 海外電報 (205)

發行人　秩父宮伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　株式會社　同盟通信社

フランス國境を突破した反樞軸軍の進撃は加速度的な飛躍を示し、特に舊ベルギー領に入つた英加米三軍は忽ち全土を席捲し、ドウーエー方面より侵入した英軍は早くも首都ブリユツセルを三日午後通過、疾風のごとくアントワープを襲ひ、DNB通信社の報道も四日朝アントワープ地區における激戰を報じてゐる、更に目覺しい前進はホツヂス麾下の米第一軍で、これは一九四〇年のドイツ軍進攻路を逆にセダン關門よりミューズ溪谷を急進してルクセンブルグ、ドイツ、フランス三國の相接する三角點に迫つてゐるといはれる、北佛平原の機動戰において花形的存在だつたパットンの米第三軍はどうしてゐるか、その消息は反樞軸陣營内でも明かにされず、ただルクセンブルグよりナンシーに至る六十哩の正面をもつて、無防備の舊マジノ線を突破したとだけ報ぜられてゐる、彼らが急進撃の意圖は明かだ、ドイツ軍に新陣地構築の餘裕を與へず、その後衛に踵を接してドイツの心臟部深く匕首を貫き通さうといふのである、ドイツ軍急速調の撤退はたとへ僅かにせよ陣容立直しの時を稼ぐにある、十分な豫備兵力がない以上、踏止つて豫備兵力のために時を稼ぐといふ戰法は存在しえない、ブレストその他小據點の奮戰も、今は戰略的には餘り大きな意義をもつとはいへぬ、反樞軸軍の補給とドイツ軍の輸送、兩者の競爭が直接現在の戰況を支配する

戰況は第四次元に沿つて動いてゐる、しかも物理學の場合とことなり、戰局の第四次元運動は絶對的ではない、時は相對する兩軍の努力の差によつて動き、精神力がこれを修正する、その決定的な運動が表面に出るのは極めて近い將來であらう



大學 書庫

小兒麻痺猖獗

（リスボン四日發）ワシントン來電＝最近米國内においては小兒麻痺病が猖獗を極め、患者數は一九一六年の流行に次ぐといはれる、メトロポリタン生命保險會社のルイス・ダビン博士の言によれば、現在までに報告せられた患者數は五千名を超えてゐるといはれる、このうち四千名は六月初旬來の發病者で、この流行は未だ峠に達せず、本月中には一萬四千名を超えるものと豫想される

【目　次】

反樞軸軍大規模作戰失敗……二〇二七
國境線に敵を邀ふ……〃
白國境全線激鬪……〃
フイリツプス問題重大化……二〇二八
在英國民會議派も參加……〃
スロヴアキア「旋風」の經緯……〃
フインランド國會の表決……〃
ソ　聯
芬政府との交涉經過を公表……二〇二九
芬政府獨に逍躡を手交……〃
【ド　イ　ツ】
國内の地下軍需工場……〃
ライン地方疎開……〃
【反樞軸陣營】
難問山積の米英首腦會談……二〇三〇
對日戰が主題か……〃
ネルソン重慶へ向ふ……〃
白國内軍總指揮官任命……二〇三一
亡命蘭軍司令官任命……〃
【東　南　歐】
洪政府も娛樂禁止……〃
洪新首相盟邦に親電……〃
【イベリア】
ポルトガル内閣一部改造か……〃
【軍事情報】
反樞軸軍の新燒夷彈……〃
ドイツ軍のコンクリート船……〃
双子飛行機南英攻撃……〃
マラリヤ豫防劑DDT……〃
【特　輯】
米國軍需産業の轉換（下）……二〇三二―二〇三四
米英兩國の戰費の源泉……二〇三五
コンクリート艀舟の大量生産……二〇三六

昭和十九年九月六日(水)
第三一七一號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

反樞軸軍

大規模作戰失敗

(ベルリン四日發)ドイツ軍當局は西部戰線の全般的戰況に關し四日次の通り言明した

アイゼンハワー攻勢の作戰目標は今やその重要戰區のすべてにおいて明かにされるに至つた、特にカナダ第一軍の作戰行動は反樞軸軍最高司令部の意圖を明瞭ならしめてゐる、モントゴメリー麾下の英軍部隊が海岸に近接して徐々にドイツ軍の移動に追躡してゐるのに對し、カナダ軍は二隊をもつてアミアン、アルベール、アラス等を經て北方に進擊、全線を北に進めてパ・ド・カレー駐屯ドイツ軍の後衛部隊を衝くべき命令を受けてゐる模樣だ

この作戰においてカナダ軍は、その直接右翼に位置する米軍の支援にかなり依存してゐる、この米軍はヴアランシエンヌ、モーブージュの線よりブリユツセル方面に進路をとり、四日既にその先鋒はアントワープ地區シエルド河口に達した、この作戰の重要性を過小に評價することは許されない、それにも拘らず反樞軸軍最高司令部がこの地區よりむしろ米軍の南翼——即ちパリ南方を素通りして直接東進しロングイ、ツール間において過去四十八時間決戰を挑んでゐる戰鬪部隊——にあることは多くの事實により證明される、佛獨國境に對する作戰計畫は勿論ライン上流並びにザール國境地方の西部戰線を寸斷することによつてドイツ軍に致命的打擊を與へ、ドイツ西部並びに西南部への米軍機械化部隊の進路を開拓するにある

米第三軍の司令官パツトンは最初に受けた命令——即ち大規模作戰によるこの進擊の實現——を完遂し得なかつた、ドイツ軍後衛部隊の抵抗が反樞軸軍司令部の豫想以上に激しく且つ效果的だつたからだ、敵は輸送機、輸送滑空機等を大量動員してゐるにも拘はらず、補給は必ずしも要求を滿足せしめてゐないらしい、これらの事實が周知の「內線作戰の有利」と相俟つて效果を發揮し、決して戰線の短縮充實による防禦力のみを獎らすものでないことは必らずや近い將來において明かに示されるであらう

必勝の信念を以て

國境線に敵を邀ふ

(ベルリン四日發)ドイツ新聞長官代理ヘルムート・ズンダーマン氏は四日の「アングリフ」紙上に「萬事は用意にあり」と題する論文を發表、次の通り述べてゐる

× × ×

過去二年間に亘り東西兩戰線に攻擊態勢をとつてきた反樞軸軍はいまやドイツ國境に迫るに至つた、獨りドイツ國ばかりでなくドイツ國民を鏖殺しようとする企圖は歷然たり、ドイツ國を地圖の上から抹殺し、男女の別なくドイツ國民を苦役奴隷として全世界にバラ撒かうとしてゐる、自由は勿論精神力までも奪ひ去り、シベリヤの鑛山、アフリカの地獄で、或ひは濠洲、アラスカの曠野で體力を消耗させようとしてゐる、ドイツ國民は現在自存自衞のために全國民の自由と生命のために鬪つてゐるが、かかる戰爭においては如何なる事態が持上らうとも、休戰といふことは斷じて成り立たない、總べてを賭しての戰ひにおいては全國民は如何なる犧牲をも惜しんではならない、ドイツ軍各師團と各聯隊とは過去五ケ年にわたり英雄的戰鬪を續けて、銃後國民を守り、ために銃後は今まで最大の試煉を免れたが、働く國內戰線の燃える心と固い拳とがドイツ軍とともに前線に立ち向ふとき、何れの戰線においても戰爭は全く新らしい樣相を呈するであらう

ドイツ人は英國民を鏖殺にしたり、米國を征服したりするために勝利を望んでゐるのではない自由に生きんがために勝たなければならないのである、勝利は軍の戰術と戰略といふ常套手段によつてもたらされるか、或ひは自由を最高の理想としてゐるドイツ國民一人一人の努力によつてもたらされるか知らないが、ドイツ國民はあくまで勝ち拔くであらう、ドイツ國民はかうした心構へをもつて今まさに國境線に迫つた戰爭に臨んでゐる

白國境全線激鬪 (ベルリン四日發)總統大本營四日發表＝アラス西北方のドイツ軍は熾烈なる敵の攻擊に鑑み北方に數粁撤退した、モンス北方地區では敵戰車部隊との間に激戰が進展中である

昭和十九年 九月六日(水)
第三一七一號
同盟通信 海外電報
(檢閲濟)

フイリツプス問題重大化

(リスボン四日發)ワシントン來電＝歐洲侵攻反樞軸軍政治顧問フイリツプスの米國召還問題をめぐる米英兩國の葛藤は、米國議會でも既に重大な政治問題となり、下院外交委員會にはワシントン駐劄の英國公使キヤンベル、印度代表バイパイの米國退却を要求する決議案が提出されてゐるほどだが、印度代表バイパイは四日國務長官ハルを訪問して會談した、ハルは會談後

バイパイは印度代表としてでなく個人的に訪問したので私的問題を話しあつたに過ぎないとのみ述べたが、フイリツプス問題が意外な展開を示したのに驚いてその對策を協議したことは確實とみられる、一方フイリツプス問題が米英間の重大な政治問題化する口火を切つた上院議員チヤンドラーは、英國大使ハリフアツクスがフイリツプスの召還は英國政府の要求によつたものではないと否定聲明を出したのに對し、去る二日その聲明を根本的に覆がへす英國政府の機密電報を暴露して一般を驚かせた、この電報は印度政廳外務長官オラフ・カロエから英本國の印度事務相に送られた機密電報で、チヤンドラーがかかる電報を如何にして入手したかは明らかでないが、電文の內容は次の通りである

印度政廳はフイリツプスを米國大統領特使として再び印度に迎へることは出來ない、卽ち印度政廳はフイリツプスを外交使臣として「不同意人物」と見做してゐる、ワシントンの英國大使館はフイリツプスの召還につき米國政府と交涉されたい、フイリツプスが印度問題で抱いてゐる意見は友好國の外交使臣が抱くべきやうな意見ではない

チヤンドラーはこの電文を發表すると共に、さらに一九四三年五月十四日附でフイリツプスがルーズヴエルトに宛てた書翰をも所持してゐると言明これは適當な時期をみて發表する豫定だと述べた

在英國民會議派も參加

(リスボン四日發)ワシントン來電＝共和黨下院議員ジョンソンはフイリツプス召還の報復措置として米國政府もワシントン駐劄の英國公使及び印度代表の引揚げを要求すべきだとの決議案を提出これは既に下院外交委員會の審議に付託されてゐるが、この機運に乘じて米國內にある印度人はこの時とばかり猛烈な反英運動を展開、これと呼應して英國にある印度人も運動を起したもののごとく、在英印度國民會議派委員長シールは四日ジョンソンに左の挨拶を送り、彼の議會における奮鬪を要請した

貴下は印度人の聲を眞に代辯する者である、印度人の意向を眞に代表し得るものは印度人による組織、卽ち國民會議派の代表でなければならぬ、米國政府は英國政府の反對などは無視して再びフイリツプスを大統領特使としてニユーデリーに派遣すべきである

スロヴアキア「旋風」の經緯

(ベルリン四日發)ブラチスラウ來電＝スロヴアキア大統領テイソ博士は二日夜の放送演說で國內における叛亂の經緯につき次の通り說明した

今回の事件は恰も旋風の如くスロヴアキア人民の敵が實際に如何なる目的を抱き如何なる手段に訴へようとしたかを白日の下に暴露した、政府は着々と將來の安全を保證するため機宜の對策を講じてゐる、大ドイツ國はスロヴアキア國の擁護者としてスロヴアキア國防衞の軍事部面を擔當しスロヴアキア國民は以上ドイツ軍の援助を賴りにしてゐる、スロヴアキア軍は更生の途上にあり、一九三九年當時の國內政策が復活することとならう、中途半端な政策は到底時局の要求に應ずることは出來ない、スロヴアキア國民は一人の例外もなく國家のためにそれぞれの職域において十分任務を果さなければならない

フインランド國會の表決

(ストツクホルム四日發)「アフトンブラデツド」紙の報道によれば二日フインランド國會の祕密會においてソヴエト政府との休戰案が表決に付された際、贊成百十三票反對四十三票で遂に同案は可決されたと傳へられる

昭和十九年九月六日（水）
第三一七一號
同盟通信
海外電報
（第三種郵便物認可）

【ソ　聯】

芬政府との交渉經過を公表

（モスクワ三日發）ソヴエト外務人民委員部は三日次の通り發表した

ストツクホルム駐剳フインランド公使グリーペンベルグ博士は八月二十五日ソヴエト公使コロンタイ女史に近付きソヴエト政府に對し休戰條件の提示を要請、ソヴエト政府は右要請に對し次の通り回答した

ドイツ軍が二週間以内にフインランド領内から撤退しなければフインランド軍はドイツ軍の武裝を解除し俘虜として反樞軸軍に引渡すこと、ドイツ軍の武裝解除については赤軍はフインランド軍に協力する用意あり、フインランド政府が以上の豫備條件を履行した時、初めてソヴエト政府はモスクワにおいてフインランド代表と會見、休戰若しくは和平、或ひは双方に關する交渉を開始するであらう

以上の回答については既に英國政府と協議し、米國政府の贊同を得た旨ソヴエト政府はグリーペンベルグ博士に通達した、これに對しフインランド大統領マンネルハイム元帥はソヴエト政府に對する通牒においてソヴエト政府の提示した豫備條件に應ふるまでもなく、フインランド政府はフインランド「南部」からドイツ軍の撤收を要求する方針なる旨を述べ、更に南部戰線における戰鬪行爲を停止し、同地駐屯のフインランド軍は一九四〇年ソ芬兩國の國境線に撤退、同地區の赤軍を同線に進駐させる旨申入れた、グリーペンベルグ博士はソヴエト政府の要求したドイツ政府との斷交宣言はフインランド大統領の通牒に對するソヴエト政府の回答接受と同時に行ふ旨聲明し、北部駐屯ドイツ軍の武裝解除に關しては、フインランド軍も參酌するに吝かでないが、特に赤軍最高司令部の與へる援助と協同についてはモスクワにおいて協定したいとの希望を申入れた、これに對しソヴエト政府はフインランド政府が以上の豫備條件を履行することをあくまで主張し、その場合においてのみ、ソヴエト政府はソ芬兩國の國境における戰鬪行爲を停止する旨言明した、ソヴエト政府はその他の諸問題はすべて休戰交渉の際に解決されるであらうとの所見を開陳した

【北　歐】

芬政府獨に通牒を手交

（ストツクホルム三日發）ヘルシンキ來電＝フインランド政府は三日次の通り發表したフインランド外相カルル・エンケル氏は二日、ヘルシンキ駐剳ドイツ公使ヴイツペルト・フオン・ブリユツヘル博士に對し通牒を手交した、通牒の内容は「獨芬兩國間の斷交並びにフインランド領土からのドイツ軍撤收に關するフインランド國會の決定に照應する」ものである

【ド　イ　ツ】

國内の地下軍需工場

（ベルリン樽井特派員一日發）反樞軸空軍が最初からドイツ軍需工場を集中爆撃してゐたら、それこそドイツ軍はとつくに戰爭中止の破目に陷つてゐたであらうことは既に一般常識となつてゐるが反樞軸空軍が愚かにもテロ爆撃に道草を喰つてゐる間に、シュペアー軍需相は逸早く重要軍需工場を發見され難い森林山間に疎開させ生産戰力維持を圖つた

現在ドイツ國内では地下工場なる言葉は軍事祕密工場と同義語として使はれてゐるが、工場といつても新たに隧道を掘る手間をかけずに「ベルリーナー・イルストリート・ツアイツング」誌の最近號に發表された地下工場の寫眞をみると加里鹽發掘用地下坑道を利用したのが多い、元來ドイツは加里生産では世界の五〇パーセントを占め、加里採掘の地下坑道は中部ドイツ一帶に散在してゐる、地下二百米乃至千米の岩層は厚さ數十米の岩鹽と加里からなつてゐて坑道内は純白の岩鹽が皎皎と照らされ實に奇觀を呈してゐる、ここに換氣照明裝置を施して工作機械を並べると世界中で一番安全な地下軍需工場が完成するわけである、如何に巨大な爆彈でもかかる地下三百米の工場にとつては何等の脅威にもならぬ

ライン地方疎開

（ベルリン二日發）ライン地方からの報道によれば、アルサス・ローレン地區マジノ要塞線内の一般住民は全部疎開せしめられつつあるといはれる

昭和十九年九月六日(水)
第三一七一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

難問山積の米英首腦會談

(リスボン三日發)近く豫想されるルーズヴエルト、チヤーチル會談について早くも米英兩國では諸種の臆測を加へてゐるが、對日戰における米英兩軍の協力問題が主要議題となることは殆んど決定的とみられ、ワシントンからのU・P電は右について次の通り報じてゐる

歐洲戰域からアジア戰域へ米英陸海空軍を輸送する計畫についての基礎工事が今度の會談で作り上げられると期待される、來るべき會談でとり上げられる戰略問題の一つは日本を無條件降伏させるために必要な陸海空軍間における比率決定の問題であらう、海軍論者のいふところによれば、米海軍に英海軍の一部を加へそれに米英兩國の空軍をもつてすれば、日本を擊破することができるといはれ、更に他の見解を持するものは支那本土乃至は臺灣に據點を確保して後日本陸軍と一戰を交へることが肝腎だと述べてゐる

更に重慶援助についてもルーズヴエルト、チヤーチル間に協議が結ばれるとみられる、ルーズヴエルトは過般重慶へ赴いたウオレスの報告に基いて戰時生産局長ドナルド・ネルソン並びに軍事使節パトリツク・ハーレイを重慶へ派遣し、重慶援助の下調査をさせてゐるが、ルーズヴエルトが他日重慶が强力となり得るとの樂觀論を抱いてゐるのに對して、チヤーチルはむしろ悲觀的見解を有してゐるといはれる、從つてこの問題について兩者間に討議が行はれ重慶の對インフレ策援助、その他經濟、農業問題解決に對して米國の行ひつつあるいろいろの努力が檢討されると豫想される

更にワシントンの消息筋ではフイリツプス問題と關聯して米英兩國とインドとの關係も協議題目となるものと觀測してゐる、右筋の述べるところによれば英國の印度政策に對するフイリツプスの辛辣な批評に關聯して米國内で反樞軸國の戰爭目的或ひは大西洋憲章に關する議論が再燃し、またインド戰線に對する英國の軍事的政治的諸政策について長い間燻つてゐた米當局の不滿も恐らく表面化するものと見られてゐる

フイリツプスの報告は一九四三年五月十四日即ちケベツク會談より三ケ月前に書かれたものであるが、ケベツク會談に決定されたビルマ攻勢はその後一年を經過してもいまだ實現されず、英印間の政治的行詰りも依然たる狀態である、しかもフイリツプスがインドの政治情勢は對日戰への努力を水泡に歸せしめる惧れがあると警告してゐる點は軍部内でも可成りの注目を惹いてゐるやうだ

對日戰が主題か

(リスボン三日發)ロンドン來電によれば三日の英紙「ニユーズ・クロニクル」はルーズヴエルトチヤーチル會談において次の三問題が優先的に協議されることにならうと報じてゐる

一、西歐戰線においてドイツ軍が崩潰した場合の對策

一、日本に對する最後的攻擊についての諸計畫

一、ポーランド問題

さらに來るべき米英兩國首腦會談と關聯して米國民の間には英國の對日戰への全面的參加に關しチヤーチルから何らかの言質をえたいとの空氣が支配的だといはれ、ロンドンからのU・P電のごときは希望的觀測を交へ次の通り報じてゐる

英空軍の大半をアジアへ廻送するとの英國の計畫は對日戰の終了を早めることにならう、右計畫によれば歐洲戰のために集結された空軍は對日戰へ參加してゐる英空軍の勢力が對獨戰に振り向けられてゐる空軍勢力と匹敵し更にそれを凌駕するまで漸次アジアへ移されるであらうといはれる

ネルソン重慶へ向ふ

(ストツクホルム三日發)モスクワ來電=米國の戰時生産局長ドナルド・ネルソン並びに陸軍少將パトリツク・ハーレーはルーズヴエルトの特使として重慶へ赴く途次モスクワに立寄つたが、三日モスクワを出發、經濟問題協議のため重慶へ向つた

昭和十九年九月六日(水)
第三一七一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

白國內軍總指揮官任命

（リスボン四日發）三日のBBC放送によればアイゼンハワー司令部は少將イヴアン・ジエラルドをベルギー國內軍總指揮官に任命した旨發表したといはれる

亡命蘭軍司令官任命

（リスボン三日發）歐洲侵攻反樞軸軍最高司令部は三日夜オランダのベルンハルド大公がアイゼンハワー麾下オランダ國內軍司令官に任命された旨發表した

【東南歐】

洪政府も娛樂禁止

（ブダペスト三日發）ハンガリア政府は根こそぎ動員の方針に基き、三日布告をもつて國內の娛樂機關、音樂會館、酒場及び同類似の諸施設を悉く閉鎖、同時に飮食店における音樂伴奏をも禁止した、かくて生ずる勞働力は一切軍需工場に振り向けられる

洪首相盟邦に親電

（ブダペスト二日發）ハンガリア新首相ラカトス上級大將は就任に當り、小磯首相並びにヒトラー總統に對し鄭重な挨拶の親電を寄せた一方新外相ヘンニエイ元帥も重光外相、リツベントロツプ獨外相並びにマツツオリーニ伊外務次官宛それぞれ親電を送つた

【イベリア】

ポルトガル內閣一部改造か

（リスボン三日發）ポルトガル首相サラザール博士は四日愈々內閣の一部改造を斷行し樞要な椅子には軍部出身の閣僚が任命されよう、米官報「デイアリオ・デ・マンハ」紙はポルトガル國內の士氣昂揚並びに政治、經濟、社會各方面の組織强化のために內閣の改造が必要なる旨を强調してゐる

【軍事情報】

反樞軸軍の新燒夷彈

（リスボン二日發）八月二十三日附「タイムズ」紙によれば英國航空生產省は新型燒夷彈の採用に關し次の通り發表したといはれる

新燒夷彈は既にドイツ工業地帶にたいする數回の空襲でその威力を實證した、重量は約三十封度、大きさは長さ二十一吋、直徑五吋半で主な內容物はメタンの加壓ガソリン溶液だ、落下は落下傘で調節して加速度を減ずるやうになつてゐる、發火すると尾部から幅二呎長さ十五呎の炎を吐き出し發火は地上に觸れた瞬間擊鐵が雷管を衝き雷管から出る火花によつて中央管內の導火藥が發火する、導火藥はテルミツトに點火し、その熱によつて爆彈の內部の壓力が高まり壓力が十分高くなるとガソリンは噴出孔から落下傘室を通つて噴流となつて吐き出されるが、その時隙間から噴き出すテルミツトの炎によつて點火するのであつて火炎の噴射は二分間續く

ドイツ軍のコンクリート船

（ベルリン二日發）「フエルキツシヤー・ベオバハター」紙は二十九日の紙上に「卵殼船」の寫眞を揭げてゐるが、排水量一千トンのコンクリート船で、步兵部隊の輸送に用ゐられる、造船には熟練工の手を必要としない、裏返しの位置で建造され、船體の仕上げは電氣研磨機により逆のまま進水させ、船體は水中で正位置に返す

双子飛行機南英攻擊

（リスボン二日發）ロンドンからのA・P電報によれば二日英國空軍省並びに內務省は「一日夜双子飛行機の下部機と信ぜられる敵機二機が英國に向け發出された」旨發表したといはれ各通信社はドイツ軍の新兵器V二號現はると騷ぎ立ててゐるが、ユンカース八八とメツサーシユミツト一〇九を組み合せた双子飛行機は既に一ケ月前にフランス上空で活躍してをり、特に新兵器と稱すべきではない、U・P電報によれば爆發するユンカース爆擊機の方には四千封度乃至八千封度の炸藥が搭載されてゐるといはれる

マラリヤ豫防劑DDT

（リスボン二日發）「デーリー・テレグラフ」紙記事によれば、米軍のマラリヤ豫防藥はデイクロール・デイフエキール・トリクロールエタン（DDT）といふ殺蟲劑で、これを沼澤地に撒布しまたは衣服に振りかければ蚊が全然よりつかないのだといふ、ただしこれは米軍の發明ではなく、七十年前にスイスの化學者が發明し、東部戰線でドイツ軍が使用してゐるのを知つて急に採用するに至つたのだといはれる

昭和十九年九月六日(水)
第三一七一號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

特輯

米國軍需産業の轉換(下)

木下秀夫

議會の轉換法案

政府の産業轉換工作と併行して議會でも各種の轉換法案が審議されてゐる、その第一は「軍需契約解約法」だが、これは既に去る六月末に上下兩院を通過して立法化してゐる、この法律は軍需注文の取消しによつて不當の損害をうける軍需會社を保護せんとするもので、その内容骨子次の通り

一、政府からの軍需注文をうけてゐる會社はその契約の取消しがあつた場合に發注政府機關と解約條件につき交渉を行ひ得る、この交渉において成立した條件は最終的とす

一、發注取消しの際に契約軍需品が完成してゐる時は政府はその全額、契約軍需品がいまだ半製品ないし全然製造の開始されてゐない時は政府は半製品ないし資材に對し九十パーセントまでの損失補償を行ふ

一、但し會計檢査院長は右解約條件に對し審査權及び不正の疑ひある時は否決權を有す

一方、目下議會で審議中の轉換法案には二つある、その一つは民主黨上院議員ジョージ提案の「動員解除法」案だが、これは專ら戰後に豫想される失業對策をその内容としたもので、既に上院を通過して下院の審議に付されてゐる

今一つは「軍需餘剩資産拂下げ法」案だが、これには上院案、下院案の二つがある、この法案はその名の示す如く戰爭の終了と共に不要となる尨大な軍需品並びに政府資本によつて建設された軍需工場の民間への拂下げを規定せんとする法案である、しかして將來民間に拂下げらるべき軍需餘剩資産の額については各種の見積りあり五、六百億弗から多きは一千億弗に達するといふ推定も行はれてゐるが、八月十五日の「フアイナンシヤル・ニューズ」紙はこれにつき次の通り報じてゐる

米國政府に屬する餘剩軍需資産の額は五百億弗ないし六百億弗に達すると推定されるが、その約半分は原料資材および船舶である、殘りの半分が銃砲彈藥その他の武器で、この武器のうち半分が民需品として利用可能であり、民間拂下げの對象とならう、これら餘剩資産のうち百五十億弗は衣料品その他の纖維類、自動車、食糧工作機械等で、問題なく民需品として利用可能のものである、更にこれらのうち半分は海外にあり、その大部分はそのまま海外で處分されよう、かくて結局國内市場で賣捌かるべきものは六十億弗見當と推定されるが、戰前の米國における月平均小賣高が約四十億弗に達してゐたことを考慮すれば、この額はあまり大きな額とはいへない

轉換をめぐる相剋

去る八月二十四日、戰時生産局首席次長チャールス・ウイルソンが「生産局長ネルソンおよびその一派の余に對する人身攻撃によつて、余はその職責を完了し得ない」との書翰を大統領にたてきつけて辭職してしまつた、續いて二十八日には生産局次長シドニー・ワインバーグも「生産局の内部は卑劣なデマ宣傳をとばす陰謀家の巢窟となつてゐる」との聲明を發表してこれまたウイルソンのあとを追つた、開戰以來、米國政府機關の最も著しい特色の一つとなつた殿中騒動「ワシントン戰爭」といふ成語まで生むに至つた政府部内の相剋が再び開幕したやうだ

ウイルソン、ワインバーグ共に直接轉換問題には觸れてゐないが彼らの辭職原因がこれと密接な關係にあることは明らかだ、ウイルソンは陸海軍當局の支持を得て、ネルソンの民需生産一部再開には强硬に反對してゐたのであり、生産局部内は轉換即時斷行派と、その反對派の二派に分裂して深刻な抗爭を續けてゐることが屢々報道されてゐたからである、しかも右生産局首腦辭職直前にも同局では二名の重要局員が轉換問題で辭職してゐる、左は八月二十一日の週間誌「タイム」の報道要旨である

昭和十九年九月六日(水)
第三一七一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

戰時生産局の動搖

また恒例の「ワシントン戰爭」が始まつたが、今度の戰爭では戰時生産局長官ネルソンがその中心人物として登場した、ネルソン自身もこの相剋が政府機關相互間の「想定」の相違からきたことを認めてゐるが、喧嘩の主役は陸軍省と戰時生産局とであり、陸軍側がラダール、大型トラツク、爆彈などの由々しき不足を指摘し、產業轉換問題など云々すべき時でないと主張するのに對して、生産局側の一部は軍需生産はすでに峠を越えたとなし、平和到來に備へて産業の戰時態勢を再編成すべき時機がきたと主張してゐる、この喧嘩では先週まづ生産局側に二人の犧牲者がでた、いづれも少壯の經濟學者で、生産局では專ら調査、統計方面を擔當してゐたルイス・バツシとアーヴイング・カプランドとがこれである

彼等兩名は最近ネルソンの命を受け、產業轉換問題と關聯して軍需生産の進行狀況に關する報告を作成したが、彼等はその報告において二、三の例外的な項目は除き、陸軍の武器、軍需品の手持高はありあまるほど潤澤であるとの結論を下した例へば彼等の報告によると

(一)小火器の手持高は今後數ケ年
(二)火砲發射安定器、彈藥は一年
(三)一般兵器は九ケ月の消費を賄ひ得るだけの量に達してゐる

この報告をみた陸軍當局は激怒して報告の數ケ所に訂正を加へることを要求、生産局も折れて訂正に同意した結果、バツシとカプランドとは辭職した、この一戰ではたしかに陸軍が勝つた

戰時生産局の二人の統計學者は將來の作戰計畫については何等の知識も持たないのだから陸軍の作戰的需要に口を挿む資格のないことは明らかだしかしながら一方では陸軍が厖大な軍需品の手持を抱へてゐる事實を報告する權利のあることも明らかである

前の戰では生産局が負けたが、次の一戰では今度はネルソンの方に凱歌が上つた、卽ち、陸海軍當局の反對があり、動員局長官バーンズの裁定によつて、その實施の時期は五週間も遲れたが、(なほ前述した八月十五日の民需生産再開は、當初の豫定では七月一日から實施されることとなつてゐた)とにかくネルソンの主張が通つて、雀の涙ほどではあるが先週から民需生産の再開が實行に移された

轉換問題をめぐる戰の戰線は畫然としてゐる、軍部は浮はついた戰局樂觀論を戒め國民の士氣を引締めることによつて軍需生産を維持すべきだとの強硬な態度を示してゐるに對し、生産局の轉換派は戰爭から平和への切りかへを最も圓滑に行ひこれによつて國民全體特に軍需勞働者に安心を與へなければ軍需生産は却つて意外な支障を受けることとならうと主張する、兩者の立場のいづれが正しいかは一先づおき、この兩者がその戰をあくまで戰ひ拔かんとしてゐることはほぼ明らかだ

議會における鬪爭

轉換問題をめぐるワシントン戰爭は政府部內の相剋のみにとどまらない、議會內部および議會對政府の鬪爭となつても現はれてゐるが、右については次の二報道を揭げよう

英國新聞マンチエスター・ガーデイアン紙ニューヨーク八月十八日特電

米國の議會では進步派と保守派との間にお馴染みの爭ひがまた起つてゐる、爭點は戰爭終結に伴ふ動員解除問題および軍需產業の平和產業への轉換問題だ、進步派は戰後に當然豫想される失業者に對して出來るだけの救濟措置を講じ、しかもこれは聯邦政府の費用によつて賄はるべきだと主張してゐる、これに對し保守派は失業保償金の如きは比較的少くし、しかも聯邦費でなく各州の費用から捻出さるべきだと主張するこの爭ひでは保守派が旣に上院で勝利を收めたが、下院でも同樣保守派に凱歌のあがる形勢が濃厚である、保守派は資本家、特に南部の實業家の利益を代表してゐる

英國新聞デイリー・テレグラフ紙ワシントン八月十四日特電

先週の議會の動きをみるに、米國戰時經濟の平和態勢への切りかへにおいても決定權を持つのは政府に非ずしてむしろ議會であることが明らかである

昭和十九年九月六日(水)
第三一七一號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

即ち上院には動員解除法案として、キルゴア議員の戰後の失業救濟を專ら聯邦政府の手に委ねんとする法案と、ジョージ議員のこれを州政府によつて行はんとする法案との二つが上程されてゐたが、上院の民主黨保守派は共和黨議員と提携、五十五票對十九票をもつてキルゴア案を否決し、ジョージ案を可決した、キルゴア案は政府の意を受けて提案された法案であり、政府は再び動員解除問題でも議會に敗れたわけである、下院の政府派はジョージ案に對する下院の審議において上院の決定を覆がへさうとするだらうが、下院の大勢も上院同樣政府に不利である、ジョージ案は現在の戰時動員局をそのまま動員解除局に再編成し、現存の戰後對策機關は悉くこのうちへ吸收、合併することを規定、戰時態勢の平時への移行は動員解除局長官がその責任者となるが、解除局長官の下には諮問委員會を設置、これには資本、勞働、農業、一般を代表する四名の委員を任命し、長官を補佐することとなつてゐる

なほ下院は八月三十一日に豫想通りジョージ案に若干の修正を加へてこれを可決した

企業家の競爭

産業轉換問題をめぐる相剋は前述した政府內部乃至は政府對議會の爭ひのみにとどまらない、民間の軍需產業資本家の間にも顯著な對立がみられる、これは結局、企業家の戰後に對する不安をその背景とするものであつて、軍需勞働者がしきりに平和產業への轉業をあせると同樣、資本家の間にも出來るだけ早く平和產業への切りかへを完了して、戰後の競爭に有利な地位を確保せんとする焦慮から發生してきてゐる

八月十五日の民需生產の一部再開措置が、前述した如く地域的、跛行的であつたことはこの資本家間の懸念、嫉視に油を注ぐやうな結果を生じた即ち、この方法によるときは資材、勞力に餘裕のあるものから逐次民需生產に移つてゆくため、現在尨大な軍需注文を受け、戰爭遂行に最も寄與してゐる企業家が後にとり殘され、軍需生產において比較的閑散なものが逸早く企業の再轉換を行つて、戰後の競爭で有利な地位を占めることができる、一方地域的には太平洋戰と歐洲戰との推移を睨みあはせて、東部地方の軍需產業が一足早く產業の轉換に着手し得るに對し、太平洋岸の軍需產業は對日戰續行のため、何日までも軍需生產に忙殺されて、戰後の競爭にとり殘されるのではないかとの不安が西部企業家の間に強いやうだ、右に關しては英國のエコノミスト誌が次の通り報道してゐる

平和產業への切り替へにできるだけ早く手をつけようとする企業者間の競爭は軍需產業轉換における一つの重大な難點となつてゐる、特に長い歷史を持ち、戰前に廣い販路を持つてゐた企業家達の間には、軍需から民需への切り替へのどさくさに紛れて新企業家が慧星の如く現はれ彼等が長年にわたつて培つてきた市場が蠶食、蹂躙されるのではないかとの不安が強い、例へば開戰以來非常な事業の擴張を行つて、軍需產業の花形役者となつたかのヘンリー・カイザーがその多角的經營の故に、フオードとかジエネラル・モーターズとか從來の自動車會社がまだ軍需生產に忙殺されてゐる間に、資材、勞力に餘裕を得て民需用自動車製造に乘り出し、前記諸會社が戰前に有してゐた市場を橫取りしてしまふのではないかとの不安などこれである、しかもカイザーが自動車工業に對して並々ならぬ關心を示してゐるところからみて、この不安は單に杞憂ないし嫉視としてのみ片附け去ることの出來ぬものを持つてゐる

これに對してネルソンは戰後の完全雇傭を達成し、旁々一般消費者の利益のためにも、全企業が一齊に民需生產を開始しうる時期まで產業の轉換を繰延ばすことは出來ない相談であり、一部の企業家がある程度の犧牲を受けるのは避け難いことだと主張してゐるが、ネルソンのいふ「犧牲を受ける企業家」がそのまま泣寢入りで引込むとは思はれない

昭和十九年 九月六日(水)
第三一七一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米英兩國の戰費の源泉

＝エコノミスト誌八月十二日號＝

「サーヴエイ・オブ・カレント・ビジネス」誌四月號はミルトン・ギルバートとジョージ・ジヤスチが米國の國民所得について毎年發表する論文を揭載してゐる、この論文の中の主な數字を拾ふと次のやうになる（單位十億弗）

	當該年における弗貨の價値で表現した米國の純國民所得		一九三九年における弗貨の價値で表現した米國の國家生産總額	
一九三九	七〇・八		八八・六	
一九四〇	七七・六		九七・一	
一九四一	九六・九		一一九・六	
一九四二	（脫落）		一五二・一	
一九四三	一四七・九		一八六・五	

一九四三年の英國純國民所得は八・一七（十億ポンド）國家生産總額は九・八〇（十億ポンド）であつた、二つの數字はいづれも當該年におけるポンド貨の價値を基準としたものだが、本誌（エコノミスト）の推計によれば一九四三年の英國國家生産總額は一九三八年の物價を基準とすると六・七九（十億ポンド）となる

都合の惡いことには一ポンド四ドルといふ公式爲替レートが現實の經濟情勢を正確に反映してゐると假定すべき根據は乏しい、精々いひ得るのはもしこの假定を正しいとするならば一九四三年の米國純國民所得は三七（十億磅）となるといふに止る、この數字を英國純國民所得と對比すると絕對額では四・七倍、國民一人當りでは一・六五倍である、もつと正確な比較を行はうとするならば兩國の戰時における生産額の增加を對照する外ない、貨幣價値の低落による影響を修正し實際の生産額を基礎として計算すると一九三九年から一九四三年の間における米國國家生産總額の增加は實に七十五パーセントに達してゐる、一方英國の國家生産總額は本誌（エコノミスト）の推計したところによると、一九三八年から一九四三年の間に——米國の數字が四年間をとつてゐるのに對しこれは五年間である——二二・一四パーセント增加したに過ぎない、兩國の生産增加率の間の差違が何に起因するかは明かであらう、原因は封鎖、燈火管制、爆撃、米國よりも强度の勞務動員等である、更に戰前米國の所有してゐた失業者といふ過剩人的資源が英國よりも多かつた事實も一部の原因をなしてゐる、しかし米國の生産增加率が現代經濟の一驚異であることは認めねばなるまい、この生産增加のお蔭で米國國民は國內消費を削減することなしに尨大な軍需を充し得た、國內消費は寧ろ逐年增加してゐる、次の數字はすべて戰前の物價を基準としたものだが、この間の事情を示してゐる

米國（單位十億ドル）

	政府支出	國內消費	民間投資	國家生産
一九三八	○・八四	四・一四	○・五九	五・五七
一九四三	三・八四	三・二七	△○・三三	六・七八

以上の數字に基き米英兩國が戰爭努力の源泉をどこに求めたかについて興味ある比較を行ふことが出來る、この場合戰爭努力とは戰前と一九四三年の政府支出を比較した增加を指すのである

米國の戰爭努力の源泉並びに百分率（單位十億ドル、△印はマイナス）

	國家生産の增加	國內消費の減少	民間投資の減少並びに回收	戰費の增加
	六六・七	△九・一	九・一	六六・七
	一〇〇%	△一三・六%	一三・六%	一〇〇%

英國の戰爭努力の源泉並びに百分率（單位十億磅）

	國家生産の增加	國內消費の減少	民間投資の減少並びに回收	戰費の增加
	一二・四	○・八七	○・九二	三・〇〇
	四〇・三%	二九・〇%	三〇・七%	一〇〇%

注目すべきは米國の國家生産總額の增加が政府支出の增加と丁度同額であり、民間投資の減少並びに回收は單に國內消費の增加によつて必要となつたといふ事實である、一方英國においては國家生産の增加、國內消費の減少、投資の回收の三者が略々均等に戰爭努力への貢獻を行つてゐる、この點における經驗の相違が戰後に起る多くの問題の核心となるであらう

コンクリート艀舟の大量生産

（ストツクホルム三日發）ニューヨーク來電＝最近の「ジヤーナル・オヴ・コンマース」紙は米國におけるコンクリート製艀舟の建造方法を次の通り報道してゐる

今次大戰中、米國內でコンクリート製艀舟が多數建造され、增大する一方の需要を充たしてゐるがコンクリート船は鋼鐵を喰ふ心配もなく、造船所の熟練工を煩はす必要もない、その造船法は組立流れ生産として知られるものの好適例である

この貨物用艀舟は遠隔各地で造られた部分品を造船所に持つてきて組立てるのだが、組立てる前にコンクリートを型に入れ電氣を通じ高速度で震動させる、コンクリート板はできるだけ標準型、卽ち長さ七呎、幅三呎、厚さ二吋の大きさにすることが望ましいが、船首、船尾の特殊な型狀のために變型の板も若干は造られる、このコンクリート板が補强用として使用する鋼鐵は比較的少く、その鋼鐵の末端はコンクリートで接合するために突出してゐる、また內龍骨、甲板、肋骨、艙口緣材も造船所內で補强コンクリートによつて造られすべて接合され平均した同質的な强さの船體になる、以上の部分品製作過程にも造船所の仕事にも熟練した技術は殆んど必要とされず、接合にも少量の接合劑を當てて押へる接合工員が數名必要なだけだ

前大戰當時、コンクリートを用ひる船舶及び艀舟の建造技術が高度の熟練並びに鋼鐵、木材を必要とした結果、幾多の反對があつたが、今回の建造法が考案されるに及びかかる反對は影を潛めた例へば流れ作業の造船臺が三十七臺あつて、全能力を發揮すれば一週間におよそ十隻の艀舟を生産することが出來て、一ケ月には大體三十七臺全部が出來上ることになる、かくて建造された艀舟は長さ八十四呎、甲板の幅二十二呎六吋、底部の幅十九呎六吋、高さは內龍骨のところで底から甲板の緣まで九呎一吋、中央部で九呎九吋、大艙口の大きさは縱四十七呎七吋、幅十六呎である

裸船體の重量は百二十八トン、重量トンは普通のコンクリート材料なら二百トン、輕コンクリートなら二百十トンである、補强用に使用される鋼鐵は僅か一二・二五トンに過ぎない

一隻は百七十四個の部分品で組み立てられるが船首及び船尾の波切りの下部を除けば部分品はすべて造船所以外の場所で製作してから持ち込まれるのである、最初の艀舟が初めて建造されたのは一九四〇年五月であり、從つてここの造船工は既に三ケ年以上の經驗を持つてゐることになる

かうして生産された艀舟は河口や內地水路の艀舟に豫想される面倒な要求にも十分應じ得た、今までのところ建造時間最短記錄は一造船臺で一隻が進水してから次が進水するまで七十四勞働時間である、艀舟の兩側は楡材の防濕材で保護されてゐるから曳行中絕えず受ける衝擊に十分耐えることができる、艀舟の中でも特に運河乃至比較的狹い河川に使用される艀舟は舵とか舵柄を有するがテムズ河下流で使用される艀舟の場合は舵の代りに水受け板を使用する型に決定した、この水受け板は既に數年來鋼鐵製艀舟に使はれてゐるがコンクリート製艀舟でもこれで十分間に合ふ、コンクリート製艀舟は機重機で水面に浮べられるがその光景自身船體構造の强さを立派に示してゐる、進水後艀舟はすべて强度並びに耐水性の檢査を受けるがその方法は船體を殆んど眞橫になるまで傾けてみたり、船體が殆んど水面下に浸るまで水を入れてみたりする、耐水性を證明する事實としては從來通り船底に排水裝置が施されてゐるが、これが使用される場合は、艙口が開いてゐる際に豪雨に見舞はれたやうな場合に限ることを指摘すれば十分だらう

極く些細な手落から時折生ずる僅かな水漏れなどはセメントの應急處理で簡單に直つてしまふ

大正十五年十月廿九日第三種郵便物認可　昭和十九年九月七日(木)　第三一七二號

同盟通信 海外電報 (206)

編輯發行人　萩野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　株式會社　同盟通信社

八月二十一日からワシントン郊外のダンバートン・オークスで開かれた米英ソ三國の戰後安全保障會議は既に二週間の協議を終へて第三週目に入つてゐる

會議が果してどの程度の進捗ぶりを示してゐるかは知る術もないが、表面的には少くとも若干の進捗を示し、三國代表は第一週目の終りに原則的に意見の一致をみたと稱して戰後安全機構案の大綱なるものを發表した、この大綱によればその主要組織をなす總會、理事會といひ、乃至は國際司法裁判所といひ前の聯盟組織と大同小異、これが彼等のしきりに宣傳した國際新機構かと疑ひたくなる程のものである、ただこれは國際機構の屋臺骨だけに過ぎず、ルーズヴエルトにいはせると、

「この機構にこれから愈々齒が入れられるのだ」といふが、その「齒」が新國際機構に與へらるべき武力であることは斷るまでもあるまい



反樞軸側が目論見つつある國際機構が、舊聯盟體制と最も異なるのはこの武力使用の點にある、彼らはこれによつて舊聯盟最大の缺陷を是正せんと企圖してゐるのであり、この點こそが新機構の最も肝腎なところであらうしかるにこの一番肝腎な點が、最も問題となる可能性を藏してゐるのであつて、三國會談が第一週目までは寄合世帶としては驚く程圓滑な進行をしめして、機構案の大綱決定にまでこぎつけたにも拘らず、その後は武力使用の點で三國間に相當困難な交涉の續けられてゐることが報ぜられる、國際機構に武力を附することは、それによつてある程度各獨立國の主權が制限を受けることを意味するのであり、三國が如何なる決定を下すか、ここが一番の觀物であらう

【目　次】

ソ聯遂にブルガリアに宣戰を布告……二〇三七
宣戰の通牒を手交……〃
和協的演說も水泡……〃
勃新首相の外交政策……〃
スロヴアキア內閣更迭……〃
國際的反響を憂慮……二〇三八
大島大使總統と會見……〃
瑞典が利益代表……〃
羅、洪と斷交……〃
トルコ人民黨大會……〃
クロアチア參謀總長任命……〃
赤軍、東南歐洲の制壓を急ぐ……二〇三九
【英　國】
波首相と數次の會見……〃
トルコ駐剳大使更迭……〃
【友樞軸陣營】
ワルソー蜂起軍降伏……二〇四〇
蜂起軍見殺しはソ聯の意圖……〃
ソ聯、飽く迄抗辯……〃
【ド　イ　ツ】
芬の前途暗澹……二〇四一
【イタリア】
突軍參謀長罷免……〃
【北　歐】
停戰命令を公布……〃
【ソ　聯】
芬首相の演說に不滿……〃
【米　國】
海軍戰艦建造再開……〃
【特　輯】
米英兩國の戰爭目的とソ聯……二〇四二―二〇四五
米國官有軍需工場の處分……二〇四五―二〇四六

ドイツとの捕虜交換

（ストツクホルム四日發）スエーデン赤十字社は三日米・英・加三國の捕虜並びに抑留者二千六百三十五名がドイツ政府との交換協定により九月七日ドイツからの連絡船でトレボルグに到着する旨發表した

昭和十九年九月七日(木)
第三一七二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ソ聯遂に ブルガリアに宣戰を布告

(モスクワ五日發)ソヴエト政府は五日ブルガリアに對し宣戰を布告した

宣戰の通牒を手交

(モスクワ五日發)ソヴエト外務人民委員モロトフ氏は五日午後七時ブルガリア公使スタメノフ氏に對し次の通牒を手交した

ブルガリア政府は過去三年間に亘りソヴエト聯邦に對するドイツ軍の戰ひを積極的に支援した最近における軍事上政治上の新情勢に鑑み、ブルガリア政府はルーマニア、フインランド兩國と同樣ドイツ政府との關係を斷絶すべきなのにも拘らず、いはゆる中立政策を遂行してドイツ軍に基地を提供し直接ドイツ軍に援助を與へてゐる、ソヴエト政府においては以上ブルガリア政府の政策を現實にドイツ軍の陣營においてソヴエト聯邦に對し戰爭を遂行してゐると解するほかはない

この理由によりソヴエト政府はブルガリア政府との關係を維持することは出來ず、ここに同國との一切の關係を斷絶する、既にブルガリア政府はソヴエト聯邦と戰爭狀態にあつたから、ソヴエト政府は單にブルガリア政府がソヴエト聯邦と戰爭狀態にあることを宣言するばかりでなく、今後はソヴエト聯邦もまたブルガリア國と戰爭狀態に入ることをここに宣言する

和協的演說も水泡

(ベルリン五日發)ブルガリアに對するソヴエト政府の宣戰布告はモスクワ放送並びにロイテル電報で直ちにベルリンに傳へられたが、ドイツ外務省當局では五日夜次の通り言明した

ブルガリア首相は頻りに民主主義原則の實施を強調したが米英兩國政府はソヴエト政府に對して何らの發言權もなく、ブルガリア政府のためにモスクワの考慮を要請する實力がない、更にブルガリア政府は頻りにソヴエト聯邦との同胞關係を強調して來たが、ソヴエト政府今回の措置でいはゆる同胞關係の正體が明らかになつたわけだ

勃新首相の外交政策

(ベルリン五日發)D・N・Bのソフイヤ電報によればブルガリア新首相ムラヴイエフ氏は五日放送演說で外交政策を闡明したが、要旨次の通りと傳へられる

一、ブルガリア國會はブルガリアの參戰に重要な責任を有するのでこれを解散する、外交分野においてブルガリアは無條件中立を目的とする

一、以上の方針に基づいてブルガリア國内におけるドイツ軍當局とドイツ軍の兵力裝備はとり扱はれる、これらの措置にドイツが反對するならば新ブルガリア政府はドイツとの國交を斷絶する、三國同盟はブルガリアに關する限り最早存在せず、反共協定は中止される、政府は米英兩國との和平回復に相應する一切の措置を承認する

一、ブルガリアはまたトルコとの關係を開くべく努力し、さらに一切の隣接國家との友好關係を復活すべく努めるであらう

一、新政府の主要な願望はロシアとの善隣關係樹立にあり、すでにこの關係は存在してをり、さらに今後親密な友好關係に發展するであらう

スロヴアキア内閣更迭

(ベルリン五日發)ブラチスラウ來電=ヴオイテチ・トウカ教授を首班とするスロヴアキア内閣は五日午後總辭職を決行、大統領ヨセフ・テイソ博士は直ちに次の後繼内閣を任命した

首相兼外相兼法相　ステフアン・テイソ博士
内相　アレクサンデル・マチ(留任)
國防相　ステフアン・ハジツク
藏相　ミクラシユ・プルシンスキー博士(留任)
文相　アラダール・コーシス博士
經濟相　ゲイツア・メドリキー博士(留任)
交通相　ルドウイツヒ・レドナル技師

なほ新首相ステフアン・テイソ博士は大統領の親戚關係にあたり今日までブラチスラウ大審院長の椅子にあつた、ハジツク國防相は國會議員、ブラチスラウ州知事、コーシス文相はスロヴアキア人民黨書記長「スロヴアツク」紙の主幹である

昭和十九年 九月七日(木)
第三一七二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

チヤンドラー強硬
國際的反響を憂慮

(ストツクホルム五日發)ロンドン來電=フイリツプスの召還問題は米國内の反英論者が絶好の機會とばかり騒ぎ出したため、意外な重大展開を見せるに至つたが、五日のロイター通信はこの問題につき次の通り報じてゐる

× × × ×

米國の上院議員は彼の言動が國際的に如何なる影響を及ぼすかは毫も意に介しないかの如く、フイリツプスが米國に歸還したのは英國政府のせいだと一人できめてかかつて、しきりに英國を彈駁罵倒してゐる、事實、米國内ではフイリツプスが英國の印度政策を批判して大統領ルーズヴエルトに送つた報告、および印度政廳外務長官カースがフイリツプスの英國追出しを勸告して印度事務相に送つたと稱する電文が全米の新聞に一齊に掲載されたため、フイリツプス問題に對して大きな關心が寄せられるに至つた

米國は從來も印度問題については相當の關心を寄せてきたが、今回ほど印度に對する米國の關心と干渉とが赤裸々の形において米國民の前にぶちまかれたことはない、この問題が米英兩國相互の猜疑心だけに限られてゐたならば、事件は戰局の發展その他新事件の發生で次第に忘れ去られて行つたかも知れないが、英國政府の機密電報の内容が漏洩してゐる以上、單なる外交的措置のみでは事態を圓滿におさめることは出來まい、チヤンドラーは印度問題こそ米國が斷乎たる態度をとるべき問題だと力み返つてゐるが、彼が何故こんなに強い態度をとるかについては、彼の背後に「米國印度聯盟」なる組織のあることを忘れてはならない、最近この印度聯盟には多くの著名な米國人が參加してその勢力は侮るべからざるものとなつたが、今後この組織は印度問題について熾烈な運動を展開する可能性がある

米國の反英論者はフイリツプス問題をもつて、英國の米國に對する内政干渉だと主張してゐるが内政干渉問題は近く開催を豫想されるチヤーチルルーズヴエルト會談に關してもこれが取上げられてゐる、卽ち、ニユーヨーク・サン紙の著名な評論家シコルスキーは兩者の會談は十一月の大統領選擧の後まで延期した方がよからうと提唱、その理由として兩者がもし選擧前に會見すれば、米國の反ルーズヴエルト派はこれをもつて彼の選擧運動だと宣傳すべく、延いて反英論者にチヤーチルの米國大統領選擧に對する干渉だとの口實を與へることとならうと述べてゐる

瑞典が利益代表

(ベルリン五日發 ドイツ外務省當局は五日スエーデン政府がフインランド國内におけるドイツ政府の利益を代表する旨言明した

羅、洪と交斷

(ベルリン五日發)ドイツ當局筋の言明によればルーマニア、ハンガリア間の國交は斷絶されたといはれる

トルコ人民黨大會

(リスボン五日發)アンカラ來電=トルコ人民黨は五日午後七時大會を開催、首相サラジョグル氏は獨土兩國の斷交後における政治情勢の進展に關し報告した

クロアチア參謀總長任命

(ベルリン五日發)ザグレル來電=クロアチア政府は五日トミスラフ・セルチツク大將を武裝軍參謀總長に、イボ・ヘレンチツク大佐を民軍參謀長に夫々任命した

大島大使總統と會見

(ベルリン五日發)總統大本營は五日次の通り發表した

ヒトラー總統は四日大島日本大使と會見した、總統及び大使は長時間にわたり日獨兩國民の共同戰爭に關する現實的諸問題について會談を遂げた、これより先、大島大使と相當時間誠意ある會談を遂げたフオン・リツベントロツプ外相も右會談に出席した

昭和十九年九月七日(木)
第三一七二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

赤軍、東南歐洲の制壓を急ぐ

(ブダペスト小田特派員四日發)ソヴエト聯邦はルーマニヤ國内の資源を完全に占領して東南歐洲の急速な制壓を完成しようとの意圖で、最近における情勢の推移は次の通り

スロヴアキア

スロヴアキア國内のパルチザン蜂起は明らかに赤軍の進擊と呼應する工作で、以上の情勢を觀破し進駐したドイツ軍のため制壓されつつあるが、相當多方面に出沒してをり、簡單には片づかぬ樣子で、タルノフ、サンボル方面で增援部隊を待つてゐた赤軍は近くクラカウ方面とスロヴアキア國内進擊を目指して大規模な攻勢をとるだらうとの觀測が次第に强い

ハンガリア

ハンガリアに對しては國内の左傾分子の非力及びトランシルヴアニア北部地區の歸屬問題のためソヴエト政府の政治工作は餘り利き目がないが、北部のスラブ民族ルテニア人を中心に國内にパルチザンを蜂起させるため依然努力してゐる、しかし大體は力で押へようとしてをり、サンボル方面赤軍の一部が南下し或ひはスロヴアキア國内に侵入した後左折してハンガリア平原に入るかも知れない、一方ルーマニア國内からトランシルヴアニア北部への侵入作戰もカルパチア山系越えの不利にも拘らず執拗に繼續されてをり、さらにブカレストに達した赤軍はトランシルヴアニア山系南側をドナウ河沿ひに西進し始めた樣子で約三百粁長驅してセルビア領に達すれば直ちに東南歐洲の穀倉バナト方面から南部ハンガリアを脅威することとなる、チトー麾下の遊擊軍最近のセルビア、ルーマニア國境附近における動きも赤軍に策應してゐる樣子だ

以上赤軍の西進を阻止するルーマニア國内のドイツ軍はクロンシユタツト(ブラクフ)ヘルマンシユタツト(シビウ)アラドを中心に高峻なトランシルヴアニア南部通路の要點を占めるルーマニア軍の抵抗があり行動を束縛され、苦戰を覺悟せねばならぬ情勢だ、逆に赤軍には右ルーマニア軍との連絡によりトランシルヴアニア南部からハンガリア平原に下る作戰の可能性もあるわけだ

ブルガリア

ブルガリアに對してはドブルジヤ及びブカレストからの一部南下部隊がギウルギウに達したため赤軍の兩部隊が、ブルガリア國境に達してゐる、右赤軍がその間にブルガリア國内に入るかどうかについては異論があるが、現在ソヴエト言論機關がブルガリア政府のいはゆる中立を攻擊し始めた情勢から見て何らかの口實の下に若干の部隊を進駐させるのではないかと見られる、米軍並びに英軍も盛にブルガリア國内侵攻の機會を狙つてゐるから、牽制手段としても赤軍が早急にブルガリア國内の基地を占據する可能性が大きい、赤軍がどれだけの兵力を同方面へ割き得るかは疑問だが、相當兵力の侵入が實現されればソフイアからセルビアへの進擊もあり、ギリシヤ、舊ユーゴースラヴイア方面のドイツ軍は容易ならぬ苦境に立たう

赤軍のブルガリア國内侵入に關しては、最近動き始めた黒海艦隊の動靜も警戒を要するが、ブルガリア、トルコ兩國は赤軍南下の前に動搖を示しブルガリア政府は目下米英兩國との和平を焦りながら、政治的に赤軍の侵入を防がうとしてをり、ブルガリア政府の動向を繞つて東南歐洲の軍事情勢も急速な展開を示し始めた

【英國】

波首相と數次の會見

(リスボン四日發)「エクスチエンヂ・テレグラフ」社の報道によればチヤーチルは一二兩日に亘り亡命波首相ミコライチク並びに外相ローメルと數回に亘り會談したといはれる

トルコ駐劄大使更迭

(ストツクホルム四日發)ロンドン來電=英國政府は四日次の通り發表したアンカラ駐劄大使 サー・ヒユー・ナツチブル・ヒユーゲツセン
任ブラツセル駐劄大使兼ルクセンブルグ駐劄特命全權公使
元外務次官補 サー・モーリス・ドウラモンド・ピーターソン
任アンカラ駐劄大使

昭和十九年 九月七日(木)
第三一七二號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

ワルソー蜂起軍降伏

(ストツクホルム四日發)ロンドンからのUP電報によれば、ワルソー蜂起軍司令官ポールは四日麾下ポーランド軍部隊に對し抗戰停止を命ずるとともに

ワルソー舊市街地區におけるポーランド軍の抵抗は三十四日間にわたる激戰の後、多大の損害を蒙つて壓倒的優勢なドイツ軍のために擊破されたと悲壯な公報を發表、ワルソー市外に布陣する赤軍からは完全に見殺され刀折れ矢盡きて遂に降伏の已むなきに至つた經緯を明かにしたといはれる他方ロンドンからのロイター電報によればロンドンの亡命政權側のポーランド軍司令官ソスンコウスキー將軍は四日「ポーランド國民軍」に向つて軍布告を發し

ワルソーのポーランド民衆は孤立無援のまま放置され果は見殺しにされた、このことは反樞軸軍が尨大な兵力を擁してゐる事實と睨み合せると、ポーランド人にとつて解き得ぬ奇怪至極な悲劇的謎だ、一ケ月間にワルソー上空で二十七機の飛行機を喪失したことは各種飛行機一萬を有する反樞軸軍にとつてあまりにも僅少な犧牲であり「英國の戰」においてポーランド空軍が英本國防衛のため全航空兵力の四十パーセント以上を犧牲に供したことと比べればなんたる違ひであらうか、もしもワルソーの民衆が彼らの家庭の廢墟の下で斃れねばならず、反樞軸諸國の無關心で冷たい仕打のため大量虐殺の犧牲となるならば全世界の良心は靑史未曾有の恐るべき罪を負はされることにならうと述べ、米英ソ三國の首吊りの足を引張るやうな遣り口を痛烈に非難したと傳へられる

蜂起軍見殺しはソ聯の意圖

(ベルリン四日發)ドイツ外務當局はワルソーにおけるポーランド蜂起軍の抗戰停止に關し四日記者團に對し次の通り言明した

ワルソーにおけるポーランド蜂起軍がドイツ軍に降伏した事實は蜂起軍が英ソ兩國に身柄を引渡すよりも寧ろドイツ軍に引渡す方が安全と考へたと見做される點で意味深重だ、ワルソー蜂起軍の降伏は軍事的よりも政治的にみて重要である、米英ソ三國はポーランド內の遊擊活動に援助を與へると確約したが、實際はワルソー蜂起を見殺しにした、補給物資を運んできた反樞軸の飛行機はソ聯領土に着陸することを許されなかつたし、ソ聯は蜂起軍を孤立無援に陷らしめてドイツ軍のなすままに任せ、ポーランド軍の若干を抹殺しようと圖つたのだ、しかしながらこれはソ聯の誤算だ、降伏したポーランド軍はソ聯の意圖した運命に陷らず、ドイツ軍により正式に捕虜として取扱はれるであらう

ソ聯、飽く迄抗辯

(ストツクホルム四日發)ソ聯がワルソー蜂起を見殺しにした結果遂に降伏のやむなきに至つたとの報道は英國言論界に深刻な衝動を與へ、各紙一齊に筆陣を張つてソ聯の遣り口を非難してゐるが特に左翼系の週刊誌「トリビユーン」は九月四日號で同問題をとり上げて次の如く論じてゐる

ワルソーのポーランド軍に對するクレムリンの取扱ひは、昨日の敵たるルーマニア軍とフインランド軍に對する取扱ひと鋭い對照をなす、米英兩國政府がポーランド國內軍を承認したことがモスクワを刺戟したに相違ない、以上の問題については米英兩國とソ聯との間に明確な意見の對立があることは今や隱れもない事實だ

他方「プラウダ」紙は依然ワルソー悲劇の責はソ聯にないと抗辯、四日の紙上で再び次の通り述べてゐる

ロンドンの亡命政權は事前ソヴエト政府に通告してワルソー方面の赤軍と連絡もとらずに蜂起を命じ、事態が急迫するに至つて火のつくやうに助け舟を求めてゐる、またソ聯が補給物資を運んできた反樞軸軍飛行機に着陸を許さなかつたといつて非難するが、ワルソー附近に着陸場が一個所もないのは周知の事實ではないか

昭和十九年 九月七日(木)
第三一七二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【ドイツ】

芬の前途暗澹

(ベルリン四日發)ドイツは獨芬斷交の影響並びにドイツ側の對應措置に關しては完全な沈默を守り成行を靜觀する態度を持してゐるが、ドイツ外務當局はフインランド首相ハクゼル氏の演說に關し四日次の通り論じてゐる

フインランド新首相ハクゼル氏は三日の演說においてあたかもドイツ政府がフインランドに對し無關心であり、武力による兩國間の協力は單に物質的基礎の上に立つかのごとき表現を用ひたが、ドイツ國民は終始フインランド國民を正直かつ忠實な盟友と考へ、獨芬兩國の關係が決して物質的支持によつてのみ結ばるべきでないと思惟してゐた、以上は一九一七年—一八年當時既に明示されたところだ、一九四〇年十一月赤軍がフインランドに對し攻擊を開始した當時ドイツ政府がモロトフ外務人民委員に抗議を提出した如き、ドイツ政府のフインランドに對する誠意の表はれに他ならない、ハクゼル首相はリチ前大統領が二ケ月前ドイツ政府との間に締結した協定は個人的取決めの性質を帶びてゐると述べたが、いやしくも一國の元首たる限りリチ前大統領はかかる條約の締結に全權能を有してゐる筈だ、言論の自由を有するフインランド國民が當時右條約に對してなん等の異論を唱へなかつた點に徵すれば、ドイツ政府の援助が欣然と受け容れられたとみるのが至當だ

ソ聯がフインランドに對しいかなる條件を提示するか全くわからない現在、ドイツ政府はフインランドが既に暗い將來に足を踏み出したと考へざるを得ない、今後フインランドは全く自己犧牲を覺悟しなければならぬこととならう

【イタリア】

空軍參謀長罷免

(ベルリン四日發)ミラノ來電=イタリア軍司令部は四日次の通り發表した

空軍參謀長テサーリ大將は四日罷免された、後任については目下銓衡を進めてゐる

【北歐】

停戰命令を公布

(ベルリン四日發)ストツクホルムからのDNB電報によればフインランド大統領マンネルハイム元帥は前線のフインランド軍に對し四日午前八時を以て戰鬪行爲を停止するやう命令したと傳へられる

【ソ聯】

芬首相の演說に不滿

(モスクワ四日發)ソヴエト政府は四日タス通信を通じてハクゼルが二日行つた演說に對し不滿の意を表明次の通り聲明した

ソヴエト政府はハクゼル首相がドイツに對して徒らに遺憾の意を表明するだけで、ソ聯の提示した休戰の必須前提條件たるドイツ軍のフインランド國外驅逐と、ドイツとの關係斷絕を明確に言明しなかつたことを不滿とする

【米國】

海軍戰艦建造再開

(リスボン四日發)ワシントン來電=上院海軍委員長ウオルシュは四日次の通り言明した

四萬五千トン級戰艦ケンタツキーは他の緊急を要する軍艦建造のため建造の中途で船臺から取外されてゐたが、最近再びその建造が開始されてゐる、一方同級の戰艦イリノイの建造も最近開始したが、これが進水すれば四萬五千トン級戰艦は全部完成することとならう

米國は開戰前四萬五千トンのアイオワ級戰艦六隻即ち、アイオワ、ニユージヤーシー、ミズーリーウイスコンシン、イリノイ、ケンタツキーを建造中だつたが、開戰後空母その他の緊急艦種を建造するため、竣工間近のアイオワ、ニユージヤーシー、ミズーリー、ウイスコンシン四艦の建造を續行し、ケンタツキー、イリノイ兩艦の建造は中止した、なほ前記四戰艦は既に進水乃至就役してゐる

昭和十九年九月七日(木)
第三一七二號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

特輯

米英兩國の戰爭目的とソ聯

奥畑稔

米英兩國の戰爭目的とソヴエトとの關係を考察するに當り先づ留意しなければならないのは昨年末のテヘラン會談であらう、テヘラン會談後の米英軍のフランス侵攻その他により、米英ソ三國の關係には多少の變更があつたものと推測されるが何といつても三國關係の基調を確立したのはテヘラン會談である、米國で最も讀者の多いといはれる「サタデー・イヴニング・ポスト」誌に掲げられた一論文によつて、右會談におけるスターリンチヤーチル、ルーズヴエルト三者の立場を窺つて見よう、同誌はルーズヴエルトがスターリン議長に讓歩した結果チヤーチルも已むを得ず彼獨自の政策を變更するに至つた經緯を述べた後、次の通り報じてゐる

われわれの與國である英ソ兩國が現實的にはつきりした諒解に達してゐるにも拘らず、米國政府は依然ヨーロツパ問題の解決策に對する承認を手控へてゐる、ルーズヴエルトが現在米國の公式態度を明瞭にしない理由として二つの點があげられる、一つは力によつて獲得された地域の不承認主義といふすでにルーズヴエルト政權以前から存在するある固定觀念に捉はれてゐること及び他の一つは來るべき選擧を考慮する必要からきてゐるのである、一方チヤーチルもテヘラン會談で餘りにソヴエトに讓歩しすぎたといふ理由で下院において猛烈に攻撃されその爲に彼の政治的基礎、特に保守黨内におけるその地位がぐらついてきてゐる、英國においては東歐洲におけるロシアの政策が英帝國を驅つて對抗措置をとらしめ、英國のドイツに對する無條件降伏の態度を變へるところまで行くべきであるとする感情が增大してをり、しかもかういふ立場をとる英國人は西歐諸國における可成の支持をも保障されてゐる有樣である、ルーズヴエルトは事態のかかる發展を冷靜に見守りながら自分の計畫が一切の障害を克復して行くものと確信を抱いてゐる、彼は依然ロシアが戰後の世界において協力するであらうとの見透しに一切を賭け、米國は英ソ兩國間を一方から他方へと動きながら均衡をとる役目を果せると考へてゐる

ウイルソンとルーズヴエルト

假りに歐洲戰が終了しても太平洋戰が繼續されることはいふまでもなく、ここに米國の大きな惱みがある譯だ、日ソ兩國間に嚴存する中立關係を無視して米國が何とかしてソヴエトを太平洋戰に誘ひ込まうとしてゐることは周知の事實だが、同時にソヴエトが歐洲において米國の讓歩を遠慮なく奪ひ去りながら東亞においては米國に對しそつぽを向いてゐることも事實だ、米誌の報道は米國は日本を擊破するためばかりでなく、歐洲におけるよりも一層直接的に關係のある東亞の戰後問題解決のためにも英ソ兩國の助力を必要とするといひ、右兩國の援助がない限りカイロ會談で僭越にも重慶に對して與へた「强力且つ獨立の地位」の公約を實現せしめることは不可能だと悲鳴をあげてゐる有樣だ、かくてサタデー・イヴニング・ポスト誌は更に次の通り述べてゐる

來るべき戰後の世界の本當の性格は第一次大戰におけるよりも一層早く明らかとなるであらうソヴエトが戰後の會議まで問題の解決を遷延するのに同意しないが故に今回は戰後の諸計畫は一層早く全貌を現はすであらう、かくてルーズヴエルトは一九二一年ヴエルサイユ會議當時のウイルソンの位置にも比せられるべきところに到達したわけだ、ウイルソンと同樣に、ルーズヴエルトは世界の安全保障に關する希望をただ一つの中心的考への上においてゐるが、これは第一次大戰におけるウイルソンの場合と同樣戰爭の進展それ自身によつて形づくられてきたものだ、ウイルソンとルーズヴエルトは性格、氣質、背景において異つてゐるとはいへ同じく一つの著るしい特徴を示してゐる、何れも大博奕打ちであり、米國並びに世界平和の將來をただ一つの考へに賭けてゐる

一九一九年ウイルソンは彼の十四ケ條を携へてパリーに赴いたが、彼が一切を解決すべく當てにしてゐた國際聯盟案を他國の政治家達に受け入れさせるために十四ケ條を次から次へと削り去りすべてを抛棄して了つた、しかるにルーズヴエルトは國際聯盟に替る考へを案出するに至つた、ウイルソンが米國民を國際聯盟に委ねた如くルトズヴエルトは彼が權力を有する限り總てを米英ソ三國の連衡に基礎づけられた世界組織に委ねようとしてゐる、更にまたウイルソンが彼の十四ケ條を有耶無耶にした如くルーズヴエルトは大西洋憲章を危殆に瀕せしめたのだ

ルーズヴエルトの構想する米英ソ三國に依る世界處理案に對しては米國は勿論反樞軸諸國において既に猛烈な反對が起つてゐることに注意しなければならない、一部では集團保障に對する三國夫々の計畫が互ひに對立してゐる以上、三國の連衡は有害だといひ、また他の方面では米英ソ三國は經濟的、政治的原則の上で根本的に異つてゐるが故に右の如き計畫の實現は不可能だとしてゐるやうだ、更にかかる反對論者を二別すれば第一は理想主義者であり彼らは國際的妥協のために原則を犧牲にすることに反對してゐる、第二は實際派で彼らは「一體われわれは三頭政治における英ソ兩國の協力の代償として要求された代價を支拂ふ餘力があるのか」と反駁してゐるありさまで、この點が來るべき大統領選擧において投票者が兩者のうちいづれを決定するかの場合に最も肝腎な問題とならう

米國民の不安

一九四〇年の大統領選擧において參戰問題が投票者の最大の關心を集めたと同樣に今秋の選擧においてルーズヴエルトが抱く戰後問題に對する構想が死活的重要性を有することは火をみるより明らかだ、米國の女流評論家ドロシー・トンプソンは本年初頭早くもソヴエトの歐洲問題に對する積極性について米國民の抱く不安を代辯して

米英兩國はドイツ並びに歐洲に對して或る種の具體案を持つてゐるのではあるが、一般に公表を差控へようとするためか、或ひは全く何らの具體案をも持つてゐないために、チヤーチルのいふ如く戰爭終了前に敵に對していかなる約束も與へないといふやうな束縛されざる自由の立場を必要とするのであらうか、米英兩國の立場がそのいづれであるにせよソヴエトが具體案を有してゐることだけは確實だ、しかもソヴエトは一つに止まらず數個の案をさへ用意してゐる若し米英兩國が前もつて何らの具體案もなく歐洲に入り、ソヴエトが明確な案を持つてくるならば米英兩國は全然用意なしで、事態に直面しなければならないことになる

と述べてゐる、更にニユーヨーク・タイムズ紙のワシントン支局長アーサー・フロツクも同樣の見解を次の如き言葉をもつて表現してゐる

ルーズヴエルトは一九四〇年、第三期大統領戰に出馬した時、選擧戰によつて米國の再軍備工作が非常に遲延してゐるため、已むなく國民に對して米國が戰爭に捲き込まれるやうなことは極力避けるとの保證を與へねばならなかつた、これが戰爭に突入した際の米國民の心理的無準備に非常に大きな作用を及ぼした、今日第四期大統領戰に對する政治的顧慮から米國の外交政策が曖昧な狀態に放置されてゐるとしたら、將來これによつて米國がうける犧牲は一層大きなものとならう

ドロシー・トンプソン及びアーサー・クロツクが心配してゐた米國の外交政策はサタデー・イヴニング・ポスト誌の報道によればテヘラン會談當時既に朧げながらもその輪廓を示してゐたことになるが、しかしルーズヴエルトの考へる三頭政治により米國民の不安は一掃されたであらうか、三度びイヴニング・ポスト誌の述べるところを聞かう

米國民にとつて米英ソの三頭政治は將來における世界平和、または或る種の國家組合の基礎と看做されるに至つた、しかしこれは米國民を全く不慣れな困難な役割に追ひ込むものだ、米國史上いまだ嘗て米國が勢力の均衡した世界の平衡輪として行動するやうに國民に準備させたことはなかつた、また米國政府の組織はこのやうな役割の遂行を容易ならしめるやうには作られてゐない

最近の數ケ月間における緊張は三國關係の再調整の困難を反映するものだ、かかる世界の形態はフオレスト・デーヴイスがルーズヴエルトの大きな計畫をわれわれの眼の前に明らかにした時よりずつと以前に現はれ始めてゐたのであつて幾多の事件と米國の與國（英ソ兩國）の明確に限定された目的の壓力により事態の發展の趨勢を廢れ果てた標語や時代遲れの諸原則の背後に蔽ひ隱すことは愈々困難となつて來た、何れにしろわれわれが大統領の大きな計畫を來るべき選擧の前に檢討する機會を持つてゐることはよいことだ、何故ならば假令右の計畫が將來の福祉のためにならうとも廣汎な諒解と承認とがない限りそれを實現させることは出來ないからだ、また米國民が既にこの計畫のために支拂はれた代價を正しく評價しない限り或ひはこの計畫が必要とする新規の支拂ひが果してそれに價ひするかどうかといふ點について說得されない限りこの計畫は達成され得ない

英國は何の爲に戰ふ

歐洲否世界における勢力均衡の上にうち建てた英聯邦の保存のために英國が血と汗の一滴まで流してゐることはいふまでもない、英誌エコノミストは最近號において英國は第一次大戰當時より一層非歐洲的となつたと述べ、チヤーチルはロイド・ジョージ、アスキスより非歐洲的である點を指摘してゐるが、英國が戰前の勢力を維持するためには少くも非歐洲的では許されない、ルーズヴエルトが構想してゐるといはれる三頭政治の狙ひが奈邊にあるか直ちに明かではないが、この三頭政治において英國の占める地位が他の二國に比し著しく見劣りのすることは既に英國內で認めてゐるところだ、ルーズヴエルトと同樣に南阿聯邦の首相ヤン・スマツツ將軍も米英ソ三國の協力による世界支配を夢想し、これがため英國の地位を强化しなければならぬと說いてゐる、昨年十一月二十五日彼が英帝國議員會議の席上において行つた演說は英帝國並びに英聯邦の將來に對する相當大膽な「私案」であるが、この中において彼は米ソ兩國といふ强大な勢力に拮抗するためには西歐諸國と英本國との間に聯邦を作るほかないとの意見を吐いてゐる、事實、スマツツのいふごとく英國の勢力は假りに全聯邦を併せても米ソ兩國には及ばず、況して今日のごとき落目の情況にあつてこの兩國に對抗するには西歐聯邦のごときものでも形作るほかないであらう（勿論英國が戰後に殘るものと假定しての話だ）非歐洲的になりつつあるといはれる英國はこの意味においてあくまで歐洲的となるほか存續の可能性がないことになる

苦しい英國の內情

名目上だけでも三頭政治の一役を演ずることが出來るかどうかは今後に俟つほかないとして、英國の世帶がどのやうな內情にあるかを一瞥してみよう、ブレトン・ウツヅの反樞軸通貨會議でケーンズは英國の外債が三十億磅に上る事實を暴露し英國民を驚嘆させたが、これは第一次大戰後英國が米國に對して有してゐた戰債四十六億弗の三倍に當る、しかも前大戰の戰債を米國に對して支拂へなかつたことを思へば英國の臺所がどのやうな有樣にあるか改めていふまでもあるまい、絕好の市場としてソヴエト聯邦に目をつけ、ソヴエトとの貿易擴充に懸命となつてゐる英國の姿は形容の言葉がないほどだ、しかも强敵米國は早くもソヴエト市場に觸手を延ばしてをり、勢ひ貿易戰を展開しなければなるまい、然し一面英國はあくまで米國に依存しなければ存續し得ない實情にあり、貿易戰の勝敗もまた明瞭だ、英紙ファイナンシアル・タイムズの八月八日の報道によつて英國の米國に對する經濟的依存の實情を見よう、卽ち同紙のニユーヨーク特派員はいふ

× × ×

歐洲戰の終了後も英國に對する武器貸與法に基く援助は恐らく繼續されるだらうとの全米製造業者組合機關週報の報道について、外國經濟院當局ではドイツの敗北後武器貸與法に基いて英帝國に輸送さるべき物資の量を決定するため恐らく今週會議が行はれるだらうと言明してゐる、英國政府ではいまだ公式には米國政府との間に武器貸與法を將來どうするかについて問題を提起してはゐないが、全米製造業者組合機關週報の報道によれば、戰後國內經濟を支持するために英國へ貸與物資の輸送を繼續する計畫が現在協議されてゐるといはれる

昭和十九年 九月七日(木)
第三一七二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

右の報道によれば英國當局では歐洲戰後も貸與法を延長することを主張し、米國の首腦部に對してこのやうな措置は英國の經濟情勢の惡化を阻止するためには絶對に必要だと述べたといはれる

さらに英帝國は通常四十萬弗に上る食糧を年々輸入し、これに對し海外投資から八億弗、海運から四乃至五億弗、輸出及び保險、銀行、交通、航空などの雜業務から二十五億弗を支拂つてゐたのだが、今次戰爭が始つてから英帝國の輸出は著るしく低下してゐる、英國政府は米當局に對してこの點に關する實際の數字を知らせてゐないが、非公式の算定によれば對獨戰が終了した後には戰前の六十乃至七十五パーセント程度になるだらうと見られてゐる、しかし英國の生産がその輸出を戰前の水準にまで引き上げるためには相當の時間を必要とするであらうし、また英國は今次大戰において日本の共榮圈確立によつて海外投資の五十パーセントをなくしてゐる、もつとも英國ではこれらについては一切秘密を守つてゐるので以上の數字は勿論公式のものではない、しかも米當局では英國が在米資産の三分一以上を既になくしたとみてゐる、戰後英國は七洋の女王たる地位を維持することは不可能であり、從つて海運業からの收入も戰前の水準以下とならう、恐らく米國がその保有船舶の大半を讓渡しない限り、英國がかつての地位を再び獲得するには長い月日を要しよう、英國の最大の惱みは戰後の初期において英國の工場が再建され、その輸出が再び戰前の水準になるまでいかにして切り拔けるかにある、かくして英國が欲し、米當局が考へてゐることは英國が必要とするものと、英國が輸出、投資その他からの收入をもつて購入し得るものとの差額を貸與することなのである

米國官有軍需工場の處分

米國政府は開戰以來多數の軍需工場を政府資金によつて建設した、これらの工場は政府機關が自ら運營してゐるものもあるが、その大部分は戰時中民間企業家に貸しつけられ委託經營となつてゐる、後述するバーンズの書翰が指摘する如く、これら官有軍需工場に政府の投資した金額は百五十億弗の巨額に上り、これに働く勞働者の數は數百萬人に達すると推定される、米國の軍需生産において政府所有工場の果たしてゐる役割は想像以上に大きい、從つて米國の軍需産業の平和産業への再轉換が重大な問題となると共に官有工場の處分もその一環として大きな問題を提供するに至つてゐる

米國戰時動員局長官バーンズは去る二日これ等官有工場の戰後處分案を研究するため、軍需産業關係機關の代表者からなる特別委員會の設立を發表した、左はその時白堊館から發表された聲明およびバーンズが關係機關に送つた書翰の內容である

白堊館の聲明

戰時生産局長官ジエームス・バーンズは二日、政府所有の軍需諸工場が戰爭遂行上陸海軍にとつて不要となるに伴ひ、これら工場の處分につき統制ある計畫を樹立するため政府關係機關による特別委員會を任命した、この委員會は次の諸機關の代表者から成る、戰時生産局、國防工場會社、過剩軍需資産局、戰時人的資源委員會、またその他の政府機關も必要に應じ適宜委員會に出席することとならう

バーンズはこれ等の政府機關に對して二日、右委員會の目的の大綱を示した次の書翰を送つた

バーンズの書翰

余の意見では戰時から平時への過渡期における失業問題は官有工場でも當然起ることが豫想される、推定によるとこれ等の官有諸工場では數百萬に上る勞働者が働いてをり、一方これらに對する政府の投資額は百五十億弗以上に上るだらう、これら工場は政府が所有してゐる以上、民需産業に轉換し得るものは出來るだけ多くの民間に拂下げその更生をはかるため適當な計畫を樹立することが政府の責任である

昭和十九年九月七日(木)
第三一七二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

政府はこれ等官有工場の一つ一つにつきその特殊の事情を考慮して、これ等工場における軍需生産の終結、これに伴ふ生産の切りかへ及び失業防止につき具體案を作成しなければならない、勿論陸海軍としてはこれ等工場の一部は戰爭終了後と雖も米國々防機構の一部として依然軍需工場として殘存せしむるであらう、陸海軍當局は至急これ等殘存せしむべき工場の表を作成して人的資源委員會に提出すべきである、陸海軍の計畫がわからなければ、人的資源委員會は軍需生産を停止する工場につき、その勞働者の失業を防止するため轉業その他適當な案をたてることができない、軍需生産の停止せしめられる工場が、その工場以外には勞働者を收容する如き産業のない地域にある場合は軍需生産の中止には特に愼重な考慮を拂ふ必要あり、その時期、方法には萬遺憾なきを期して恒久的な失業者を抱えこんだ所謂「幽靈町」の如きを出現させてはならない

陸海軍が戰後において軍需工場として存置するを欲しない工場に對しても直ちに遲滯なく調査を開始すべきである、これ等工場の運營に當つてゐる多くの民間企業家のうちには早くも、これを民需生産に轉換せしむべき計畫をたててゐる、政府當局はこれ等企業家の計畫を聽取すべく、彼等の計畫を實現するために積極的な協力を與へなければならぬ、しかして民需産業に轉換する場合、現在の勞働者全部をそのまま引續き雇傭し得るならば結構だが、若し若干の勞働者を解雇しなければならぬやうな場合には人的資源委員會はこれ等解雇される勞働者の失業對策をたてねばならぬこととならう

これ等官有工場の經營に當つてゐる民間企業家で民需産業への轉換につき何等の計畫もたててゐないか、乃至は計畫を持つてゐてもその計畫の內容が實情に卽せずと認めた時は政府の責任當局は彼らに代つて適當な措置を講ずべく、十分採算のとれるやうな方法をもつてこれら工場の民需生産への轉換をはからなければならない、卽ち、工業技術家を派遣して工場の狀態を點檢せしむべく、如何なる民需生産に轉換するのが最も有利であるかを決定すべきである、この調査が完了した後、政府當局は民間企業家を招聘して、工場を賣却するにせよ或ひはその經營を委託するにせよ、民需生産轉換計畫の具體化を要請し、同時にこの計畫の實施に必要な技術的援助を與ふべきである

軍需工場利用委員會

余が以上に述べ來つたところを實行に移すために、余は戰時生産局、國防工場會社、過剩軍需資産局および戰時人的資源委員會の政府四機關に對して次に揭げる諸任務を擔當すべき代表者を指名するよう要請する

一、各機關により指名された代表者は「軍需工場利用委員會」を組織す、委員會は自らその委員長を決定すべく、また特殊の問題が發生する度にこの問題に關係ありと見做されるその他の政府機關に對して特別の代表者を指名するよう要請し、この特別代表者は委員會に出席して、その問題についての意見を開陳する

二、右委員會は官有工場が軍需生産を停止して民需生産に轉換する場合に出來るだけ早く工場設備の再利用を實現するに努むべく、この際政府各機關は委員會に對して統一ある協力を與ふ

三、委員會は每週少くとも二回づつ會合す、この會合では軍需生産を停止したにも拘らずいまだ民需生産を開始してゐない官有工場の狀態を檢討すべく、これ等工場の轉換を促進するあらゆる方法を研究す

四、各委員は彼等が代表する機關の名において行動をとり得る、委員會は官有工場における轉換工作の進捗狀況につき一月に二回、戰時動員局長官に對して報告を行ふ

五、委員會は官有工場の急速なる利用および最大限の使用に必要な措置を實行する權限を有す、但し、この措置の實行にあたつては軍需注文の取消し、過剩軍需資産の處分、産業の再轉換等の任務に從事してゐるその他政府機關の活動との衝突を避ける必要がある

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年九月八日(金)　第三一七三號
編輯發行人　萩野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人同盟通信社

同盟通信 海外電報 (207)

米英兩國の泥試合は今にはじまつたことではない、第二次世界大戰の勃發によつて、兩國は樞軸國擊破といふ共同の利害關係の下に野合的結合はとげたものの、双方共に名にし負ふ我利々々亡者の寄合からなる國家であるだけに、琴瑟相和する關係をながく維持することなどは思ひも寄らず、屢々内輪喧嘩をやつて米英提携の内實が如何に醜い關係をもつて結ばれてゐるかを天下に曝け出して來たのである

米英兩國泥試合の舞臺は廣い、何故なら彼等の利害關係が一致してゐるのは日獨擊破といふ一點のみで、その他の分野においては兩國の利害は正に對蹠的だからである、これは兩國が共に戰後の世界に覇を唱へんとする野望を抱いてゐる以上當然のことだが、米英泥仕合で最も多く舞臺に上つて來たのは印度であつた、今度の米國大統領特使フイリツプスの召還問題をめぐる葛藤もその背景は印度におかれてゐる、印度問題が英國政治最大の癌であることはここに斷るまでもないが、印度問題に對する米國のおちよつかいは英國の一番痛いところにふれることを意味し、英國側でもこの問題では一寸した干渉にも青筋たてて怒り出すのである、このことは同時に英帝國の最も重大な一環をなす印度が今や米英兩國勢力の角逐場と化してゐることをも意味する

米英兩國が戰爭の眞最中においてもかかる泥試合を繰返してゐるといふことは、表面的にはあくまでも固い提携を裝ひながらその内實は案外に脆いものであることを示唆するものではあるまいか、戰局の推移に伴つて兩國關係の動向に至大の關心を拂ふ必要があるのはこれが故である

【目　次】

印度政策で米英對立……二〇四七
米英首腦會談ケベックで……〃
ハンガリア、武力防衛を決意……〃
伊傀儡政權ベルン公使召還……〃
米使節、蔣介石と會談……二〇四八
ソ聯、休戰申入れを默殺か……〃
亡命政權八方塞がり……〃
亞首相重大演說……〃
【北　歐】
芬國會和平交涉につき審議……二〇四九
芬和平使節六日出發……〃
芬國會、政府を信任……〃
赤軍停戰協定を無視……〃
瑞典國會、十月開催の豫定……〃
【東　南　歐】
勃、ソ聯に和議申し入れ……〃
羅前副首相をオデツサへ護送……〃
【イベリア】
葡新内閣顏觸れ……〃
【反樞軸陣營】
駐英米大使館員のスパイ事件……二〇五〇
ド・ゴールの前途多難……〃
ド・ゴール政府の初閣議……〃
【ドイツ】
ゲーリング元帥、ム統帥と會見……〃
西部戰線の戰果……〃
【スイス】
國防軍を動員……〃
【米　國】
對ソ屈從外交を攻擊……二〇五一
フイリツプス問題を更に論攻……〃
炭坑罷業擴大……〃
第二十航空隊參謀長更迭……〃
早くもパリ駐劄大使を選任……〃
八月中造船高……二〇五二
上半期經濟活動……〃
大型輸送船進水……〃
【米　洲】
亞陸相失業問題を憂慮……〃
【英　國】
流星彈攻擊再開……〃
米國への逆貸與狀況……〃
【ソ　聯】
アゼルバイジヤン外相任命……〃
【特　輯】
反樞軸軍の空中攻勢……二〇五三―二〇五六

昭和十九年 九月 八日(金)
第三一七三號

同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

印度政策で米英對立

(リスボン六日發)英國の印度政策と關聯しフイリツプス問題はいよいよ重大化した樣子だ、ワシントン來電によれば共和黨選出下院議員エルヴイン・ジョンソンが最近印度に卽時獨立を與へよとの言明をしたのに對し、英議員レジナルド・パーブリツクは五日のニューヨーク・タイムズ紙上に反駁論文を發表して米國の印度問題介入を猛烈に非難したといはれるが、さらに六日ジョンソンはロイター特派員を通じ次の回答文を與へたといはれる

× × ×

パーブリツクが印度は戰後の獨立を約束されてゐると述べた時、彼が英國政府の代辯をしてゐることを余は希望する、大西洋憲章が實際に適用される場合に印度民衆が英國政府に對して關心を拂つて貰ひたいと思ふことに近いものだ、フイリツプスはルーズヴエルトに對する歷史的書翰において最も烈しい言葉をもつてこの約束の實現を勸說してゐるが、以上のことはフイリツプスにとつて初耳であり、またフイリツプスに先立ち大統領の特使として印度に赴き、英國政府に對して印度國民に對する獨立の約束を與へるやう勸奬したことは余にとつても初耳である

更にパーブリツクの聲明は一億三千萬の米國民は勿論三億五千萬の印度人にとつても初耳である余は彼の聲明が彼が書いた論文中における他の聲明よりも正しいことを希望する、英國が對日戰において象徵的役割しか果さないだらうといつたのはフイリツプスであつて余ではない、余はまたパーブリツクはニューギニア戰において頂點に達した對日戰を事實上開始し、遂行したのは濠洲軍の將兵であると率直に述べてゐるが、彼がこの言明以上に正直であることを望む、パーブリツクは印度軍の戰鬪能力に關してもアイゼンハワーの言葉を引用してゐるが、余は印度軍將兵と肩を並べて戰つてをり、アイゼンハワー以上に印度軍將兵を知るよい地位にある、しかも、余はアイゼンハワーと同列の地位にあるべきスチルウエルの言葉を聞く方がよいと思ふ、フイリツプスの報告によればスチルウエルは傭兵である印度軍の地位についての不安を表明して、特に印度軍將兵の士氣の上らない點を憂慮してゐる、右に使用した「傭兵」といふ言葉はフイリツプスの報告からとつたもので、余は印度軍の戰鬪精神を輕侮するものとして使用したのではない

なほ附言すれば余は今回の問題については上院議員アルバート・チヤンドラー及びワシントンにおける種々の印度人筋と密接な接觸を有してゐる

米英首魁會談 ケベツクで

(リスボン六日發)チヤーチル、ルーズヴエルトの會談についてはかねてからいろいろの臆測が下されてゐたが、オツタワ來電によれば同會談は近くケベツクで開催されるに決定したといはれる、兩人は國賓としての待遇をうけ、カナダ首相マツケンジー・キングも會談に正式參加する可能性は濃いが、中心議題に關してチヤーチルとルーズヴエルトが二人だけで協議することとならう

ハンガリア武力防衞を決意

(ブダペスト六日發)ハンガリア政府は六日夜次の聲明を發表した

ルーマニア軍は國境線十八ケ所に亘りハンガリア領土に攻擊を加へた、ハンガリア軍最高司令部はあく迄隱忍自重ルーマニア軍の挑戰を耐え忍んできたが、遂に何等挑發を受けぬのにルーマニア軍が攻擊を加へるのに對しては必要に應じ武力を以て國境線を防衞するようハンガリア軍に命令を出すの已むなきに至つた、重ねていふがハンガリア政府はルーマニアを初めすべての隣邦と友好關係を維持することを希望してゐるが、ルーマニア國指導層の行動によつて右政策は遂行出來ぬこととなつた

伊傀儡政權 ベルン公使召還

(リスボン六日發)ローマ來電=イタリア傀儡政權は六日ベルン駐劄イタリア公使マギストリデイスに對し歸國を命じた、後任についてはまだ何も發表されてゐない

昭和十九年 九月 八日(金)
第三一七三號
同盟通信 海外電報 (檢閱濟)

米使節

蔣介石と會談

(リスボン六日發)重慶來電=米國大統領ルーズヴエルトの經濟、軍事特使として重慶に派遣された戰時生産局長官ネルソン、陸軍少將ハーレーの兩名は六日午後二時四十分途中まで出迎へた印緬支派遣米軍司令官スチルウエルと同道して空路重慶に到着した、兩名は直ちに蔣介石を訪問して會談を開始したが、ネルソンは主として經濟問題につき、ハーレーは軍事問題につき對日戰强化の爲米國の對重慶援助の積極化を協議する筈である、蔣介石は五日夜ラジオを通じて重慶民衆に對し

重慶は今や支那事變勃發以來最惡の事態に直面してゐる

と警告を發したが、支那戰線における日本軍の進擊により重慶政權は蔣介石の認めた如く開戰以來最大の困難な狀態に追ひこまれてをり、この時にあたり米國から來着した經濟、軍事使節に對しては非常な期待が寄せられてゐる、ネルソン、ハーレー當面の問題は如何にして米國の對蔣軍事援助を一刻も早く積極化して崩壞の一步手前にある重慶政權を救ふかにあるが、兩名の重慶滯在は相當長期にわたる模樣で、その間彼等は重慶各地をも視察して戰後再建に對する米國の經濟的援助についても交涉するものとみられる

現在までに米國の有力者で重慶を訪問した者はウイルキー、ウオレスなどをはじめ相當の數に上るが、彼等の訪問が多分に儀禮的性質を持つたに對し、今回のネルソン、ハーレーは少くとも相當具體的な提案を用意してゐる模樣で、それだけに彼らの重慶訪問は從來の儀禮的訪問があまり眼にみえた結果を生まなかつたのに對し最も具體的な結果を生み出すだらうと豫想されてゐる

ソ聯、休戰申入れを默殺か

(ストツクホルム六日發)ソヴエト政府が宣戰を布告した後僅か六時間ブルガリア政府は特に代表をソフイヤ駐劄ソヴエト公使館に派遣、休戰を懇請したが、モスクワ來電によればソヴエト各紙は一切右報道を掲載してゐないといはれ、ソヴエト政府が飽くまで既定方針で押し切り休戰申入れを默殺するのではないかとの觀測が有力である、一方D・N・Bの報道によれば赤軍は六日拂曉ブルガリア國境線を突破、現在海岸地帶並びに國境線附近でブルガリア防衛軍との間に激戰が展開されてゐると傳へられる

亡命政權八方塞がり

(ストツクホルム六日發)亡命ポーランド政權は首相ミコライチクがモスクワを訪問した結果に基き、最後の和協方式を盛つた覺書をソヴエト政府に提出したが、モスクワからのタス電報は右覺書につき六日次の通り報道してゐる

ソヴエト政府は亡命ポーランド政權の覺書をヘウム政權に移牒した、覺書に取上げられてゐる諸問題はポーランド人同志が解決すべき事柄だが、亡命政權が一九三五年の非民主主義憲法を政權改組の基礎として主張してゐるため和協は困難である

以上タス電報に徵すればソヴエト政府は最早亡命政權を相手にしない方針ではないかと解されるが一方ロンドンからのロイター電報によれば亡命ポーランド軍ソスンコフスキーがワルソー蜂起軍に對する英空軍の援助不足を非難、特に所謂「英本土の戰」に際し、亡命ポーランド人飛行士が英空軍に參加して多數の犧牲を出したのを引合ひに出し數字を上げて比較したことは、英國政界で重大な物議を釀し、亡命政權は結局八方塞がりのまま抹殺される形勢だ

亞首相重大演說

(リスボン六日發)ブエノスアイレス來電=アルゼンチン政府は首相フアーレル將軍が七日アルゼンチンの對外關係について演說する旨六日發表した、政界は同演說を非常に重大視してゐる

昭和十九年九月八日(金)
第三一七三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【北　歐】

芬國會和平交涉につき審議

（ストツクホルム五日發）ヘルシンキ來電＝フインランド國會は四日夜二回にわたり秘密會を開催し、モスクワへ派遣する代表の選任につき討議したが、秘密會後フインランド政府は次の公報を發表した

四日の秘密會でハクゼル首相は二日の聲明を更に詳細にわたり説明し、ソヴエト政府との和平交渉に關する政府の施策につき報告した

芬和平使節六日出發

（ストツクホルム六日發）ヘルシンキ來電によればフインランド和平使節の一行は六日中にモスクワへ向け出發する豫定と傳へられるがその顔觸れは次の通り

首　相　ハクゼル
國防相　ワルデレ・エンケル大將
陸軍參謀總長　ハインリツヒス大將

同使節團一行には外務省總務局長ヒニネン、同法律顧問カストルン、經濟顧問グロンブロムの三名が隨行する筈である

芬國會、政府を信任

（ストツクホルム五日發）ヘルシンキ來電＝フインランド國會四日夜の秘密會終了後フインランド政府は次の公報を發表した

四日夜の秘密會においてハクゼル首相は二日の政府聲明を敷衍し、且つ和平交渉に關するある種の措置について報告した、憲法に基き右の問題が他の秘密會に付議された後國會は滿場一致で政府を信任した

赤軍停戰協定を無視

（ストツクホルム五日發）ヘルシンキ來電によればフインランド戰線の赤軍は四日午前八時と定められたソ芬兩國間の協定による停戰時間を無視し、翌五日午前八時に至つて漸く砲火を收めたといはれるが、軍當局は五日次のやうな聲明を發表、赤軍の協定違反に抗議したといはれるフインランド軍は四日七時を期して一切の戰鬪行爲を停止した、しかるに赤軍は戰線の大部分において依然砲撃を繼續、歩兵部隊もまた活動を熄めなかつた、フインランド將校團は戰線の各地で赤軍司令部を訪問、協定違反に對して抗議を申入れた、赤軍は五日八時に至つて戰鬪を中止した

瑞典國會、十月開催の豫定

（ストツクホルム五日發）スエーデン國會は「一般外交情勢」檢討のため十月臨時議會を開催するに決定した

【東南歐】

勃、ソ聯に和議申入れ

（ベルリン六日發）六日のソフイア放送によればブルガリア外務省總務局長サラヴオフ氏及び政治局長イヴアン・アルターノフ氏は六日ソフイア駐劄ソヴエト公使キルサーノフ氏を訪問、ブルガリア政府はソヴエト政府に對して休戰協定の締結を乞ふ旨申入れたといはれる

羅前副首相をオデツサへ護送

（リスボン五日發）アンカラ來電によればルーマニアの前副首相ミハイ・アントネスコ並びに前陸相パンタジは、去る二日赤軍及びルーマニア警察隊によつて逮捕されオデツサへ護送されたといはれる

【イベリア】

葡新内閣顔觸れ

（リスボン五日發）ポルトガル内閣の再組閣は五日夜完了したが、新閣僚の顔觸れは次の通り

首相兼外相　アントニオ・デ・オリヴエイラ・サラザール
藏　相　コスタ・レイテ・ルムブラレス
陸　相　（留任）
　フエルナンド・サントス・コスタ大佐（前國務次官）
内　相　ニルホ・ボテルホ・モニス
法　相　マヌコル・カヴアレイロ・フエレイラ
海　相　アメリカオ・トマス
公共事業相　アベレウ・カンセラ
植民相　マルセロ・ガエタノ（現ポルトガル青年團長）
文　相　カエイロ・デマタ（現ヴイシー駐劄ポルトガル公使）
經濟相　クインス・スピコ・ピント

昭和十九年九月八日(金)
第三一七三號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

駐英米大使館員のスパイ事件

(リスボン五日發)ニューヨーク來電＝英國政府は先にロンドン駐在元米國大使館員ケントなる人物をスパイ行爲の廉で逮捕し七年間の禁錮刑に處したが、右事件の關係者の一人たる前駐英大使ケネデイは五日ケントの通報によつて英國の軍機が悉くドイツ側に漏洩してゐたといふ驚くべき事件をはじめて暴露し次の通り發表したケントの活動によつてドイツ軍は大戰勃發直後から一九四〇年の大體半ば頃まで英國の戰爭における地位を「正確かつ完全に」知ることができた、卽ちチヤーチルは當時海相として英國の人的資源、陸海軍の準備狀況、軍の配備等を詳しく說明した機密情報を米國大統領ルーズヴエルトに送つた、しかるにケントが逮捕された後彼が實に一千五百にわたる文書をうつしとり右の情報を全部ドイツに送つてゐたことが判明した、ケントのドイツに對する情報の提供は當時まだ中立國だつたイタリアの駐英大使館を通じてなされたが、ケントは更に米國政府の暗號電報記號をもドイツにしらせてゐたことが判明したため、ダンケルクからフランス降伏の時にかけ數週間の間は米國の外交機關は秘密情報の打電が不可能な狀態におかれた

ド・ゴールの前途多難

(ストツクホルム五日發)ド・ゴールはすでにパリにその本據を移し、フランス臨時政府を樹立してフランスの元首氣取りだが、反樞軸國のド・ゴール政府に對する態度は未だ依然として積極的ならず、その前途にはなほ多くの困難が豫想されてゐるが、ロンドン來電によれば英國週刊新聞「オヴザーヴアー」紙は右につき次の通り報じてゐるといはれる

ド・ゴール政權がパリに移つた後も、米英兩國政府はフランスで總選擧が行はれフランス國民の民意が判明するまでは、ド・ゴール政權の承認は差控へる方針にあるやうだ、一方フランス國民も同政權に對してはあまり熱意を持つてゐないやうに見受けられる、これに加へてド・ゴールのフランス國民指導者層に對する勢力も決して強いとはいへない、ド・ゴール政權は多分この二週間以內に內部の改組が行はれよう、この改組では現在の外相マシグリーが辭職して、フランスのゲリラ派の指導者ジョルジユ・デイドウがその後任に就くこととならう、マシグリーは英國政府の承認を待つてロンドン駐劄大使に任命されるだらう

ド・ゴール政府の初閣議

(リスボン五日發)パリー來電＝フランス臨時政府は「四日夜ド・ゴール司令官の下に初閣議を行つた」旨五日朝發表した

【ドイツ】

ゲーリング元帥ム統帥と會見

(チユーリツヒ五日發)スイス通信のキアツソ電報によれば、ゲーリング空相は四日ムソリーニ統帥の本部を訪問、軍事問題に關し統帥並びにイタリア戰線ドイツ軍司令官ケツセルリング元帥と會談したといはれる

西部戰線の戰果

(ベルリン五日發)軍當局はノルマンデイ上陸作戰開始以來三箇月間における戰果に關し、五日次の通り發表したドイツ海軍並びに空軍は反樞軸軍の頑强な抵抗を冒して作戰を續け次の戰果を收めた

軍艦
戰艦大破　三隻、巡洋艦擊沈　九隻、大破　三
十隻、驅逐艦擊沈　五十五隻、大破　四十九隻
快速艇擊沈　三十九隻、大破　十八隻
總計　二百三隻
輸送船並びに貨物船
擊沈　百二十九隻、合計　六十八萬八千百トン
大破　百四隻、合計　七十萬トン

【スイス】

國防軍を動員

(チユーリツヒ五日發)ベルン來電＝政府は軍總司令官の指示により國境防備軍を一部動員するに決定した

昭和十九年 九月 八日(金)
第 三 一 七 三 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米 國】

對ソ屈從外交を攻撃

(リスボン五日發)ワシントン來電＝民主黨下院議員ヘルシンスキーは五日の下院において米國政府のソ聯に對する屈從外交を攻撃し次の通り演説した

米國政府當局者はソ聯に對して餘りにも卑屈な態度をとり、ソ聯の要求は悉く御無理御尤もとこれを受諾してゐるが、その間にソ聯は着々と全世界のソヴエト化工作を進めてゐる、現在ダンバートン・オークスで開かれてゐる米英ソ三國會談もその好適例であるが、一體米英兩國は何處までソ聯の要求に讓歩しようとしてゐるのであらうか、ソ聯は歐洲でもアジアでも確實に赤化工作を進めてゐることを忘れてはならぬ

フイリツプス問題を更に論攻

＝ハル陳辯に躍起＝

(リスボン五日發)ワシントン來電＝大統領特派大使フイリツプスが英國政府の要求によつて本國に召還された事件は米英兩國間の困難な外交問題となると共に、國内でも反英論者の活動によつて重大な内政問題と化するに至つたが、國務長官ハルは五日の新聞記者團會見で躍起となつて政府の立場を釋明、次の通り陳辯した

フイリツプスがロンドンから米國に歸還したことについて、行き過ぎた批評が行はれ憂ふべき混亂狀態をひき起したのは遺憾である、フイリツプスの歸國が英國政府の要求によつてなされたとの說が專らだが、これは全く事實無根で、現にフイリツプス自身今年の春にアイゼンハワー司令部の政治顧問は九月までに限定して貰ひたいと國務省に通告して來てゐる

これに對してフイリツプス問題をめぐり、英國攻撃の急先鋒たる上院議員チヤンドラーは五日更にこの事件に關し發言

ルーズヴエルトは余が最近發表したフイリツプスの書翰以外に今一つ彼から印度問題についての報告を受取つてゐる、この報告は第一の書翰より一層激しい言葉をもつて英國の印度政策を攻撃してゐる、ルーズヴエルトはこの際宜しくこの報告をも一般に發表すべきである

と要求、轉じて英國が對日戰に對して本腰を入れてゐない態度をも攻撃して

フイリツプス事件は米國の外交官任命に對する英國の内政干涉といふ問題ばかりでなく、歐洲戰爭が終了した場合、米國は對日戰續行において英國と果して如何なる關係におかれるのかといふ問題をも提起したと述べた

炭坑罷業擴大

(リスボン四日發)ニユーヨーク來電＝ペンシルヴアニア中部地方炭坑に發生した炭坑夫罷業は忽ちにしてペンシルヴアニア全州は勿論ウエスト・ヴアージニア州にも波及して四日には更に九千六百名の炭坑夫が新たに罷業に參加した形勢樂觀を許さず、事態が惡化すれば昨年の炭坑大罷業の再現さへ豫想されてゐるが、ルーズヴエルトは既に十炭坑を政府に接收したのに加へ、四日には更に多數の炭坑を接收した、大統領の炭坑接收は從來罷業が現實に發生してゐるもののみに限られたが、四日の接收命令は勞働者が不穩の形勢を示してゐる炭坑をも含んでゐる

第二十航空隊參謀長更迭

(リスボン五日發)ワシントン來電＝陸軍省は五日、B29「超空の要塞」爆撃機の作戰を指揮する陸軍第二十航空隊參謀長代將ハンセルは海外における新任務につき、その後任に代將ローリス・ノースタツドが任命された旨發表した、ハンセルは辭任にあたり第二十航空隊の作戰につき次の通り語つた

B29が現在までの作戰で受けた損害は高かつたことを認めなければならぬが、今後はこの損害も漸次減少しよう、まだB29の對日攻撃も頻繁に行はれてゐないが、この原因は重慶地區の基地に對する補給が十分でないためである、しかしこの補給の問題も間もなく部分的ながら解決することができよう、結局ここ當分の間はB29を毎日出動させるやうなことは先づできまい

早くもパリ駐剳大使を選任

(リスボン四日發)ワシントン來電＝「ニューヨーク・タイムズ」紙によれば政府はアルゼンチン駐剳米國大使ノーマン・アーマーを新たにパリー駐剳大使に任命する豫定といはれる

同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

八月中造船高

(リスボン五日發)ワシントン來電＝海事委員會は五日次の通り發表した

八月中の造船高は百十一隻、そのトン數合計は百十五萬トンとなつた、これで年初來の造船高は總計一千百九隻、そのトン數一千百萬トン以上に達した

上半期の經濟活動

(リスボン五日發)ワシントン來電＝商務省は五日本年上半期における經濟活動狀況に關し次の數字を發表した

一、生産部は年額にして一千九百六十億弗の新水準に達した

一、國民所得は年額にして一千五百八十億弗、個人貯蓄高は三百六十億弗に達し共に未曾有の記錄となつた

一、一般の消費高も九百五十億弗以上となつた

大型輸送船進水

(リスボン四日發)ワシントン來電＝海軍省は第十隻目の大型輸送船「ウイリヤム・ウイーゲル」號が東部海岸の某地で進水した旨三日發表した、右輸送船は前大戰當時、第五十六步兵旅團司令官並びに第八十八部隊司令官兩名の名に因んで命名された

【米洲】

亞陸相失業問題を憂慮

(リスボン五日發)ブエノスアイレス來電＝アルゼンチン商工會議所は五日會議を開催共産革命の勃發を防ぐための措置に關し協議した席上陸相ペロン大佐はラテン米洲の現狀について

隣接各國の情勢を判斷するに、チリー國内には數年前から活潑な共産主義運動があり、ボリヴイア國内でも更にウルグワイ國内でもソヴエト聯邦の出先きが頻りに共産主義宣傳に從事してゐる、ブラジルもまた同樣の危險に曝されるかも知れない、かかる情勢の裡に國内で失業問題が起るやうなことがあればアルゼンチンは果してどうなるだらうか

と述べ資本家に對し寬大な社會的手段を講ずるやう要請した

【英國】

流星彈攻撃再開

(リスボン五日發)ロンドン來電＝ロンドン地區を含むイングランド南部に對する流星彈攻撃は過去八十六時間中斷してゐたが、五日朝から小規模ながら再開され、内務省は例によつて「損害と死傷とを生じた」旨發表してゐる、恐らくオランダ沿岸の基地から發射されてゐると見られるが、一方「タイムズ」紙は從前の流星彈攻撃に關しイングランド西南部は「ナフタ燒夷彈で火災を生じ消防隊並びに軍隊が過去二十一時間消火に努めてゐるが、火災はいよいよ猛威を揮つてゐる」と報道してゐる

米國への逆貸與狀況

(ストツクホルム四日發)ロンドン來電＝生産省は四日英國政府の米國に對する武器逆貸與狀況に關し次の通り發表した

英國政府は英本國及びその他各地の米軍に對し今日までに少くとも二千二百五十機の飛行機を提供した、英國はさらに五月末までに米軍に對し飛行場を百以上貸與したがこれら飛行場並びに修理場、備品倉庫、兵器庫等に英國政府が支辨した費用は一億一千萬磅にも達する、また英國駐屯米軍航空隊が使用した航空機用及び自動車用ガソリンは悉く英空軍の手持を割いた、一方英國海軍の工場は特に地中海方面において米海軍艦艇多數に修理を施した、以上のほか米軍は英帝國各地から小麥粉、パン、野菜ばかりでなく、英本國において割當制乃至品不足となつてゐるもの、例へば英軍飛行士、病人などに割當てられた生卵百五十萬個までを支給された

【ソ聯】

アゼルバイジヤン外相任命

(ストツクホルム四日發)モスクワ來電＝アゼルバイジヤン共和國最高會議幹部會は四日同共和國外務人民委員にM・I・アリーエフ氏を任命した、アリーエフ氏はそれまでソヴエト聯邦外務人民委員部次長の職にあつた

昭和十九年九月八日(金)
第三一七三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

反樞軸軍の空中攻勢

武井武夫

歐洲における戰局、特にフランスの戰鬪がドイツ軍に不利なることは現在ドイツ軍當局も率直に認める所であるが、その原因については空軍力における反樞軸の壓倒的優勢を根本的な理由として兩者共にまづ指摘してゐる、反樞軸軍は巨大な空軍による戰略爆撃をもつてドイツ國内の生産力を破壞し、航空機工業及び精油所乃至合成油工場を攻撃して空軍力の差を擴げ、更に侵攻に先き立つ戰術攻撃によつて歐洲上空の制空權を確保した、これが侵攻作戰を成功せしめ、その後の大機動戰を可能ならしめたのである、今や東亞においても敵米國は空軍の數的優勢を恃んで戰略的戰術的攻撃をわが日本本土並びに東亞諸地域に集中しつつある、ここに歐洲における彼らの戰法を紹介檢討するのは東亞における彼らの意圖並びにそれが齎らすべき新事態を豫想し、それに備へるための第一歩であり、筆者としては盟邦苦鬪の跡をありのままに傳へ、從來とかく希望的觀測に目を蔽ひ勝ちだつた一面を讀者と共に省みて、敵の企圖を破摧するための貴重な資料たらしめたいのである

敵の戰略爆撃

反樞軸軍の歐洲爆撃が本格的に開始されたのは米軍航空隊が英本國を基地として歐洲上空に出撃するやうになつてからであり、その第一回空襲は一九四二年八月十二日「空の要塞」編隊がルーアン地區の鐵道に十八トンの爆彈を投じた時だ、以後の空中攻勢において米軍航空隊が演じた役割は極めて大きく、八月十九日附「マンチエスター・ガーデイアン」紙記事によると第八航空隊のみで

出撃回數(延)　三〇一、〇〇〇回
内、B17及びB24　一六二、〇〇〇回
P51P38P47　一三九、〇〇〇回
投下爆彈(燒夷彈共)　三〇〇、〇〇〇瓲
一月以來一分平均　一、六〇〇封度
喪失機數
爆撃機　二、九〇〇機
戰鬪機　二、〇〇〇機
喪失航空要員　三一、〇〇〇名

といはれる、この數字をみても彼らが僅少の損害に尻尾を捲いて引下るものでないことは明かだ、それでは彼らはこのやうな爆撃によつていかなる成果を得たか、その正確な情報は得られる筈もないが、八月二十六日附「タイムズ」紙には米軍戰略爆撃隊と英國空軍省の共同聲明が揭載されてゐるから、それを次に引用しよう

× × ×

歐洲駐屯米軍戰略爆撃隊並びに英空軍の過去三ケ月間に亘るドイツ石油工業に對する爆撃攻勢は貴重なる戰果を得た、英本國、イタリア、ソ聯の基地から晝夜の別なく繰返された攻撃は、七月末においてドイツ並びに衞星國の石油製品產額を攻撃開始前の約四〇%減ぜしめた、ドイツのガソリン生產能力は七月末現在で攻撃前の五五%、潤滑油は推定六二%縮減した、種々の狀況よりみてドイツ軍の生產に大支障を來たしたことは明かで、豫備貯藏油にまで手をつけなければならなくなつてゐる、近距離貯油庫に對する攻撃は直接北フランスのドイツ陸軍並びに空軍の機動性剝奪に貢獻した、その證據は何處にもみられ、たとへば自動車で出發した援軍が徒步で到着したり、空軍部隊が陸軍の油を使用したり陸軍が空軍の油を借用したりしてゐる、これは配給系統が紊れたからだ、しかも車輛や油槽車が戰鬪機の銃爆撃を蒙つたり橋梁を破壞されたりするので、ドイツ軍は油製品を積んだトラックとか列車を目的地まで動かすことが出來ない上に、空中戰も演じなければならぬ恐らくさうした事情があるからこそドイツ軍はブルターニユからロワール溪谷乃至パリ方面への突破を阻止し得ず、結局はファレーズ、カーン地區における全面的後退まで餘儀なくされたのである

石油に對する戰略爆撃の深遠な影響を確かめるのは少し困難だが、ドイツ空軍の俘虜の言によると、現在司令部は戰闘以外に航空用の貴重な油を使ふことを喜ばないため、操縦士の訓練も少くなつたといはれる、その結果空中戰に參加する老練飛行士の數は減じ、訓練不足のために人的損失は增大する、また日常のガソリン使用にも關係してドイツ軍機甲部隊の文書をみると、指揮官は戰闘時においても油類及びガソリンの消費量に關し毎日報告書を作成することを要求されてをり、ガソリン生産者に對し使用量及び需要量を報告しなければならないのである

× × × ×

以上は勿論そつくり敵側の發表であり、誇張されてゐることは當然であらうが、しかも敵の企圖が完全に遂行されれば右の敍述のごとき事態を生ずることは明らかに豫想されることだ、しかしてドイツの場合、或る程度敵の企圖が成功してゐることは遺憾ながら認めなければならないであらう更に反樞軸軍最高司令部は八月二十四日侵攻作戰開始以來七十日間の空軍戰果を發表してゐるが、ドイツ軍に與へたる損害なるものは極めて誇大な數字のやうに感ぜられるし、本稿の目的に直接關係がないから省くとして、敵の執拗な攻撃精神並びに空軍攻勢の規模を知る一助として敵自身の喪失機數に關する發表を次に示さう

米軍第八航空隊	一、〇四一機
同第九航空隊	五六一機
英空軍第二戰術航空隊	五三九機
英空軍沿岸航空隊	八〇機
英空軍爆撃隊	七三八機
計	二、九五九機

侵攻作戰中も敵空軍は戰略爆撃を續行し、一方戰術爆撃は熾烈を極めてドイツ軍を惱ました、だがドイツ軍の發表をみても分る通り、ドイツ空軍もかなり活躍はしてゐるのである、それは日々報道してゐる通りだが、ここには敵側のみたドイツ空軍を紹介しよう、以下は八月二十日附「オブザーヴアー」紙における航空記者フレデリツク・トムリンソンの報告記事だ

ドイツ空軍の現狀

ノルマンデイ作戰の當初にはかなりドイツ軍戰闘機が西方に出撃し、特にパリ方面に多かつた、ところがパリが危くなつて來ると、パリ地區のドイツ空軍部隊はドイツへ轉進を開始した、大たいドイツ空軍は以前から出來るだけ飛行場の數を多くし、航空機をなるべく疎散させる方針だつたから、シヤルトル、オルレアン、或ひはパリ近郊の立派な飛行場を失つたことはドイツ軍にとつて大きな痛手だつた、勿論ドイツ軍はまだセーヌ北岸に多くの良飛行場を有するだらうが、航空機が段段にドイツ本國の中心に移動することは、ちやうど英國が英本國を賭けた戰ひに備へた時のやうに最後の決戰のために航空機を保持しようといふドイツ空軍の希望に適ふことであり、一方危險な西部戰線地區から離れるといふ當然の傾向にも一致する、だが反樞軸空軍が十七日ドイツ空軍夜間戰闘機基地に對して激烈極りなき攻撃を加へたといふ事實は、フランスにおける地上作戰へのドイツ空軍の協力が多少とも力を失つてゐるにも拘らず(ドイツ空軍は舊式陸上機を海上機雷敷設や上陸點夜間爆撃にまで使つてゐる)ドイツが依然恐るべき夜間防空兵力を有することを示してゐる

戰爭の現段階におけるドイツ夜間戰闘機隊の位置は實に奇妙なものだ、戰闘が夜間行はれる上に相手は空中戰をしにくるのではなく地上目標物の爆撃にくるのだから、どうしても夜間戰闘機隊の損害は少ない、從つて空軍の他の部門が漸次弱くなるのに反しその戰力は(航空機生産力の許す限り)維持されるどころか强化される可能性さへある、經驗ある操縦士や乘員は夜間戰闘において物凄く失はれつつある、周知の如くドイツ空軍司令官たちの主要任務はドイツを守ることであつて、夜間戰闘機隊は依然裝備の配給において極めて大きな優先權を有する、事實戰闘機隊の戰力を最高水準に保つために、ドイツは本來なら持てる筈の大型爆撃機隊さへ持たずにゐるほどの犧牲を拂つてをり、工場には双發夜間戰闘機とか爆撃機とかを製作するだけの力がない

昭和十九年 九月八日(金)
第三一七三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

今日ドイツは恐らく夜間戰闘機七百機をいつでも使用し得るだらうが、皮肉なことに爆撃編隊が夜間ドイツ上空に現れない限り何の價値も持たないのである、夜間戰闘機が爆撃機に白晝挑戰したりすれば必ず反樞軸軍護衛戰闘機の好餌となつて了ふ、また如何にドイツ陸軍が空中協力を求めようとも、夜間戰闘機が地上軍に十分な協力を與へることは全く不可能だ、現在の型では双發夜間戰闘機が晝でも夜でもとにかく爆撃することは無理であつて、極めて專門化してゐるために、戰爭が終つても無疵の無用な夜間戰闘機隊が殘るといふことさへ有り得るわけだ、確かに夜間戰闘機基地に對する爆撃は、繼續されればドイツ防空部隊の戰力に大きな影響を及ぼすだらう、これには立派な證據があり、事實ドイツ飛行基地を爆撃してから三十六時間後にステチンを空襲した時には、損傷率はこのバルト海港に對する從來の大規模爆撃に比し四分の一にすぎない、だがドイツ夜間防空陣が著しく弱體化すれば、必らずその後には物凄い爆撃機隊がきて大打撃を與へ、結局はドイツの國內保安をひつくり返すやうなことになる、ドイツはこのことを熟知してゐる、そのためかステチン上空の空中戰において反樞軸軍の損失は少かつたが、それでもやはり夜間ドイツを空襲する場合には相當猛烈な空中戰を演ずる覺悟がなければならない

南佛上陸作戰

八月十五日早朝の南佛リヴイエラ海岸における反樞軸軍の新上陸は北フランスに比しかなり容易に行はれた、これはこの方面におけるドイツ軍の防備が比較的手薄だつたためで、かかる兵力配置はドイツが上陸を豫想しなかつたからではなく、北フランスの戰局よりみて南フランスを死守することが戰略的に意義を失つてきたからであらう、勿論事後に批判することは甚だ容易であり、現にドイツの通信記者のうちには「ドイツ軍は現在のノルマンデイ戰線の敵兵力增强狀態に照し新上陸の可能性が少なくなつたとみて愈々豫備兵力を繰り出した」と論じたものがあつた、それは米軍の大突破作戰が開始される以前だつた

その後情勢は變つてゐる、北フランスの敵が破竹の勢ひで進撃を續けてゐる時に、南フランスで優勢な敵に對し一本調子な抵抗を試みることは徒らに大きな犧牲を提供するにすぎないのだ、早くいへばドイツは南フランスを投げてゐた、上陸に際し或る程度の損害を與へればそれで目的は足りるのだ、戰略的にみれば結末の明瞭な作戰ではあつたが、戰術的にも北フランスの場合とは相當異つた點がみられる

米軍は例によつて正面切つた攻撃法をとつた、それを立證するのは（これも後になれば誰にでも分るのだが）作戰開始前の準備爆撃だつたが、この爆撃についてはチューリツヒの堀口本社特派員は八月十四日發で次の通り打電してゐる

フランス南部リヴイエラ地方リグリア海岸に對する反樞軸空軍の空襲が熾烈化したことは、間もなくアレグザンダーが地中海岸に上陸を企圖するだらうとの信念を益々高めた、第一に爆撃はノルマンデイの侵攻方式を踏襲し無電放送局電探施設、鐵道、橋梁、飛行場等に集中されてゐる、第二にチヤーチルとパターソンとソマーヴイルの三人がローマに會談したことは反樞軸軍の大規模攻勢の間近に迫つてゐることを示唆する、第三にアルノ戰線の膠着はアレグザンダーに正面攻撃をもつてゴシツク線を突破する意思がないことを示してゐる

右のごとくスイス邊りでは早くも上陸地點さへ豫想し得る狀態にあつたのだ、この情勢の下に南フランス上陸作戰は決行された、南フランスでは空挺部隊の活躍が作戰遂行上極めて重要な動力となつてゐる、次に「サンデータイムズ」紙航空記者コルスター、シエフアードの所論を譯出して空挺部隊の運用その他空中作戰に關する敵側の見解を紹介しよう

空挺部隊の新機能

航空作戰並びに協力戰の技術にして北佛において效果的なりしものは南佛においても正に有效であつた、われわれは目的をくらますために大して方法の變化に苦勞する必要もなかつた、變つたといへば空挺部隊の機能であり、從つてその位置だつた、ノルマンデイでは空挺部隊は兩翼を占めたがリヴイエラ海岸では主として海邊地帶を俯瞰し支配する高地を占領した

昭和十九年 九月八日(金)
第三一七三號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

この壓倒的空軍力の顯現は作戰が進展し、ドイツ軍の戰車隊運用能力が減ずるに從つて益々重要性を加へる、今日の反樞軸軍にみるごとき空挺部隊の運用は單なる牽制部隊以上のものを生みだしつつある、空挺部隊には當初の概念に許されてゐた以上の大きな地上機動性を與へることが可能であり、既設陣地を相手にするのでなければ掃蕩部隊としての役割さへ果し得るかもしれない、ノルマンデイ戰線においても示されたるごとく空挺部隊は輕野砲や輕輸送車から輕戰車まで携行することができる、從つて現在ルイス・ブレアトン將軍がブラウニング將軍を副司令として指揮する第一空挺軍團は實に恐るべき大作戰をもなし得ると看做さるべきである、從來戰車は空挺部隊にとつて正面の敵とすべからざる苦手とされてゐたが、敵機甲部隊の脅威は今や英空軍第二戰術航空隊のロケット裝備「タイフーン」機の行動半徑内ならば評價を新たにしなければならなくなつたのである

從つて主力部隊に先行作戰する空挺部隊にとつて現在與へられる空中協力は益々十分であり、開かれる作戰範圍はその結果大いに擴大された、今後主力部隊に先行しての任務は空挺部隊の眞の任務とみなさるべきであつて、特にフランスにおける反樞軸軍の機動力が促進されるにおいては然りだ

制空權の重要性

側面迂回の速度はオルヌ河とクータンスの中間に堅陣を布いたドイツ軍の運命を決した、以後他の包圍手段は、消え行く波紋のごとく捨て去られた、正面が廣くなればなるほど、輸送力も遠く延びなければならない、前進路を地均しするとか側面に間隙を作ることが必要になれば、そのために空挺部隊が起用される、この冒險は歐洲戰場における他の凡ゆる空中邀撃の危險と同樣に、ドイツ軍が國防のために戰闘機大部隊を浮かすといふ問題が解決された曉には當然問題となる、先週來英兩國の重爆撃機より成る大編隊がドイツ西部國境一帶の飛行基地に白晝爆撃を加へたことはこの解決に對する挑戰ともいふべきだ、これはドイツ軍の防空幕を後方に撃退するための作戰だつたが、或る程度の成功を收めたらしい、その後英空軍爆撃隊がキール並びにステチンに夜間爆撃を企てた時には、損失は僅か十六機に過ぎなかつたのである

同日、米軍第八航空隊はドイツ軍のロケット推進式戰闘機と初手合せをしたと報告してゐる、明かにドイツ空軍は切札をだす必要に迫られたのだが、時期の熟さぬうちに新兵器を戰場にだしたことは失敗だつた、ドイツの空中戰は間違ひなく反樞軸軍の手中に移りつつあると斷じてもよからうフランス戰場の上空において制空權が反樞軸軍のものとなつたことには幾多の證據がある、空軍力はノルマンデイ戰線にみられたごとく、交通線の破壞にも、要塞陣地の突破口形成にも、機甲部隊の反撃を粉碎するにも用ひられる、フアレーズとアルジヤンタンの中間ではドイツ軍の撤退を完全に粉碎することはできなかつたが、これは確かに驚くべきことだつた、ドイツ軍撤收作戰の妙を認めノルマンデイ連日の朝霧を考慮に入れるにしても、まだ何か説明の足りないところがある

これについて八月十五日の小さな事件は事情を理解するために幾分の助けとなるにちがひない、當日霧が晴れると共に、戰闘爆撃機隊は廻廊地區から東方リシユー並びにベルネーの方向に走るすべての道路を一齊に攻撃すべく出撃した、そのうちに一小編隊は大移動部隊を發見して無電で增援を呼びながら攻撃を開始したが、增援部隊がこないために戰機を逸し、やつと再捜査に着手したのは六時間後だつたといふ、それにも拘らず當日の戰果としては無裝甲車輛三百臺以上、戰車約三十臺を撃破することができた、ノルマンデイの包圍環を脱出せるドイツ軍は絶好の防空陣地を離れていまだに途上にある、狩出編隊は各處で殘存兵力に攻撃を加へてをり、大規模の掃蕩もいよいよ近く開始される、しかもドイツ空軍は空挺部隊であらうと何であらうと自力によつてそれを妨げるだけの力がないのである

以上シェファードの言は甚だ憎むべきも、またとつてもつて他山の石とするに足るものを多分に含んでゐるといはなければなるまい

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　編輯發行人　荻野伊八　東京都麴町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和十九年　九月　九日(土)
第三一七四號

同盟通信
海外電報
(208)

激動する西部戰線の戰況は混沌として殆んど地圖をみても多くの前線報道を照合しても全戰域の戰鬪狀態を明かにすることはできないくらゐだ、それほど戰線が錯綜してゐる、いやそれほど連絡のない戰鬪が各所に闘はれてゐるのだ、一氣にドイツ國境に殺到した米第一軍並びに第三軍の先鋒部隊も、ここのところちよつと足踏み狀態に陷つた、ドイツ軍抵抗力の增大もある、だが主な原因は後方フランス各地に頑張るドイツ軍小部隊「ハリネズミ」戰術の功績にあらう、ドイツ軍當局が指摘するごとく、これら勇敢な將兵は祖國防衛のために敵中深く打下された貴重な捨石である、ル・アーヴルをみよ、ブレストをみよしかしてパド・カレー地區に奮戰するドイツ軍の精銳を思へ、彼らには血路を開いて生還する希望は全く殘されてゐない、味方の主力部隊は本國に向つて悉く退きつつある、唯一の道は祖國のために時を稼ぎ、任務を果して戰場に屍を曝すことである、だがこの勇戰によつて、ドイツ軍主力は漸く邀擊の態勢を整へたかのやうだ、總統大本營は初めてドゥーブ北岸の反擊戰について發表してゐるが、この戰鬪はフランス西南部からのドイツ第十四軍の撤收作戰に大きな關係がある、DNB軍事評論家クルル博士も述べてゐるやうに、ドイツ軍の大部分は燃料及び輸送手段の缺乏のために徒歩で行進し、しかもマキ匪團の蟠踞する地區を通過しなければならない、これを考へれば第十四軍の撤收作戰の成否にドイツ軍當局がいかに大きな戰略的期待をかけてゐるか理解されやう

ドイツ本土をかけた大決戰はいよいよ始まる、幾多精銳が敵中に身を捨てて戰ひとつた「時」は必らずライン西岸ジークフリード線を敵反樞軸軍の共同墓地と化するであらう



【目　次】

西部戰線で獨軍の抗戰强化……二〇五七
パ・ド・カレー激戰……〃
シエルド河口獨軍反擊……〃
ミユーズ河畔決戰……〃
根こそぎ動員更に徹底……〃
流星彈に關する決算報告……〃
ソ聯の威嚇から對獨斷交……〃
勃政府各國と斷交……〃
獨勃斷交……二〇五八
ドイツ大使急遽歸國……〃
獨芬兩國公使夫々歸國……〃
芬和平使節モスクワ着……〃
カレリア芬住民引揚げ……〃
日本擊破を協議せん……〃
四國會談開催……〃
羅要人悉くオデツサへ……〃
ロンドンの疎開取止め……〃
第三戰術航空部長更迭……〃
【亡命政權】
對英ソ關係惡化に波政權狼狽……二〇五九
ワルシヤワ蜂起軍を繞る紛擾……〃
【米　國】
陸軍一部復員計畫發表……二〇六〇
海軍は復員せず……〃
眞珠灣事件に重ねて駁言……〃
フイリツプス問題で米英對立か……二〇六一
大統領特使を辭任か……〃
戰後機構問題は政爭外……〃
食糧割當一部緩和……〃
【東南歐】
勃、米英との休戰を焦る……〃
勃ラジオ聽取禁止……〃
【北　歐】
瑞典中立維持……〃
【特　輯】
リスボンだより……二〇六二―二〇六六

昭和十九年 九月九日(土)
第三一七四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

西部戰線で
獨軍の抗戰强化
根こそぎ動員更に徹底

(ベルリン七日發)總統大本營は七日正午次の戰況公報を發表した

ドイツ軍は反擊に轉じてアントワープ北方における反樞軸軍の橋頭堡を粉碎した、ルーヴアンセダン地區においては、反樞軸軍は依然として强い壓迫を加へてゐるが、セダン東南においてドイツ軍機甲襲擊隊は奇襲して反樞軸軍の陣營に突入、反樞軸軍を擊退した、ヴエルダン東方ボンタ・モウソン、トウル附近では反樞軸軍の强力な攻擊は失敗に歸した、ボーム・レ・ダムでは反樞軸軍は一時ダウブ河北岸に據點を確保したがドイツ軍は反擊を加へて擊退した

聯合軍の壓力增大
パ・ド・カレー激戰

(ベルリン七日發)ドイツ軍當局言明=パ・ド・カレー地區において英加波聯合軍は北方に對する壓力を增大した、ブーローニュ前面に東南より迫る敵の攻擊はドイツ軍の反擊により挫折、ドイツ海軍沿岸砲臺は敵戰車部隊先鋒並びに主力攻擊陣形を粉粹した、リス河流域の敵は遊擊匪と協力して若干の地域を獲得した

シエルド河口獨軍反擊

(ベルリン七日發)ドイツ軍當局言明=シエルド河口のドイツ機甲部隊は依然衰へざる戰力を實證してアルベール運河を渡河せる英軍を攻擊、メルケムの町に奇襲を敢行して敵橋頭堡を掃滅した

ミユーズ河畔決戰

(ベルリン七日發)ドイツ軍當局言明=ミユーズ南岸地區においてはナムールよりリエージユ方面に進擊する米軍攻擊部隊を邀へて激戰が展開されてゐる、同河上流シヤルルヴイルより東北へ、セダンより東へと突破を企てた米軍戰車部隊の鋭鋒は逐次强化されるドイツ軍の抵抗並びにドイツ戰車部隊の反擊の前に漸く鈍化を示し、二、三の地點で縱深陣地突破に成功したにすぎなかつた

(ベルリン七日發)總力動員統監ゲツベルス博士は七日さらに次の布告を發表した

一、プロイセン財務省は卽日廢止、事務は他の各省において分擔す

一、刊行物の廢刊並びに制限、ドイツ國內における刊行物一千五百種の大半を廢刊する、專門雜誌は各部門一種に限定、學術雜誌は軍需工業並びに戰爭遂行に奉仕する刊行物以外悉く廢刊

一、移動演劇を閉鎖

一、ドイツ赤十字社の解體によつて勞働力を捻出する、ドイツ婦人が赤十字事業に無給で協力してゐる場合でも徵用を免除されない

一、勞働時間の增加にも拘らずドイツ國民が支障なく日常生活を續けて行くことが出來るよう、勤勞市民に特に重要な官衙は每週、一日乃至二日午後九時まで事務を繼續し日曜日も三、四時間執務する、各店舖の營業時間も各地區の必要に應じて勤勞市民に都合のいいよう是正する

一方文相ルスト博士は文敎戰時態勢につき次の通り發表した

一、多數の大學を閉鎖す、今後新たに大學で學業を始めるのは戰傷者に限る

一、公立學校第八級生はすでに大半戰時勤勞に從事してゐるが、健康その他の理由で以上戰時勤務に從事してゐない生徒は疎開學童村の指導に當る

一、學校の疎開に參加せず、從つて差し當り授業を受けない男女生徒も一定の年齡以上は戰時勞働に服す

一、女子大學生は學業の傍らナチ社會事業に協力

流星彈に關する決算報告

(ストツクホルム七日發)ロンドン來電=英國政府の流星彈對策委員長カン・サンデースは七日夜記者團と會見し流星彈による被害につき次の通り述べた

ドイツ軍は八十日間に八千發以上の流星彈を發射、イングランド南部で死者千名以上を出したがうち九十二パーセントまではロンドン地區の犧牲である

昭和十九年九月九日(土)
第三一七四號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

ソ聯の威嚇から 對獨斷交

(ベルリン七日發)ドイツ政府當局は七日ブルガリアの對獨斷交につき次の通り言明した
ブルガリア政府は英米兩國との和平條件を有利にし、ソ聯とも和協するためにドイツとの關係を斷つに至つた、この決定に達したブルガリア政府の閣議の最中ソ聯代理公使は閣議の席にふみ込んで宣戰布告の通牒を突きつけたのである

勃政府各國と斷交

(ベルリン七日發)ソフイヤ來電=ブルガリア政府は七日ドイツ、イタリア、クロアチヤ並びにスロヴアキア各國政府と斷交し、同時にソフイヤ駐劄當該各國使臣に對し右決定を通達した

獨勃斷交

(ベルリン七日發)ドイツ政府當局は七日正午ブルガリアとの外交關係斷絶を發表した

ドイツ大使急遽歸國

(マドリード七日發)ドイツ大使ハンス・デーコフ氏はヒトラー總統からの召電に接し七日マドリードを出發空路ベルリンに向つた

獨芬兩國公使夫々歸國

(ベルリン六日發)ヘルシンキ駐劄公使ヴイペルト・フオン・ブリユツヘル博士は公使館員と共に今週中にヘルシンキを出發、スエーデン經由、歸國の豫定だが、ベルリン駐劄フインランド公使トイヴオ・キヴイメキ博士も館員を引率同經路で歸國する筈である

芬和平使節モスクワ着

(モスクワ七日發)ハクゼル首相を首班とするフインランド和平使節は七日朝空路モスクワに到着した

カレリア芬住民引揚げ

(ストツクホルム六日發)ヘルシンキ來電=フインランド政府は一九四〇年のソ芬兩國間の和平協定による境界線の東に位置するカレリア地區住民に對し引揚げを命じた

日本擊破を協議せん

ルーマニア政府と休戰條件 ルーズヴエルト・チヤーチル・ネルソン會語

(リスボン七日發)重慶來電=六日重慶に到着した米國大統領特使ネルソン、ハーレーの兩名は七日午前重慶駐劄米國大使ガウスに伴はれて蔣介石を訪問、會談した、なほ同日午後米國大使館においてスチルウエル立會の下に新聞記者團と會見、ネルソンは一同を代表して要旨次の通り述べた
われわれの重慶訪問の最大の目的はいかにして最も早く日本を擊破するか、その方法を研究するにある、余は專ら經濟分野において、ハーレーは主として軍事問題につきこの目的達成のため重慶當局と協議することとならう、われわれがいつまで重慶に滯在するか未だ豫定できない

四國會談開催

(モスクワ七日發)ルーマニア政府との休戰條件を檢討するため一兩日內に米英ソ羅四國會談が開催されるに決定した、但し會談の地點は發表されない

羅要人悉くオデツサへ

(リスボン七日發)エキスチエンヂ・テレグラフ社のブカレスト電報によればルーマニア前首相イオン・アントネスコ元帥は前副首相ミハイン・アントネスコ氏並びに前陸相パンタジ陸軍大將と共にオデツサへ護送されたと傳へられる

ロンドンの疎開取止め

(ストツクホルム七日發)ロンドン來電=英國內務省は七日夜次の通り發表した
大ロンドン地區並びにイングランド南部からの疎開を今後取止めるに決定した、但し再び必要が起る場合には疎開に關する一切の手筈は再び實施されよう

第三戰術航空部長更迭

(リスボン六日發)コロンボ來電=東南アジア反樞軸軍司令部は空軍司令部第三戰術航空部長中將ボールドウインは今回辭任し、後任に中將ウイリアム・コリトンを任命した旨六日發表した
コリトンは一九四三年以來英國空軍省の作戰參謀本部次長の地位にあつた

昭和十九年 九月 九日(土)
第三一七四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【亡命政權】

對英ソ關係惡化に波政權狼狽

(ストツクホルム五日發)ポーランド軍總司令官カシミエルス・ソスンコウスキーがワルシヤワ蜂起軍を見殺しにしたと英ソ兩國を痛烈に非難したことは俄然重大問題と化し、對英ソ關係で窮地に陷つてゐる亡命ポーランド政權の立場を一層惡化せしめるに至つた、ロンドン來電によれば亡命政權は五日急遽閣議を開催して善後策を練つた後、首相ミコライチクはイーデン外相を訪問してソスンコウスキーが亡命政權に諮らず獨斷で聲明を發した事實につき陳辯に努めたといはれる

亡命政權側の對策については種々の說が行はれてゐるが、A・P電報によればポーランド軍の命令系統を變更し、ソスンコウスキーを廢して文官よりなる委員會の合議制とすることに決定した模樣で、ミコライチクがイーデンを訪問した際イーデンは

ソスンコウスキーの聲明はソ波關係を改善させようとする英國の努力を水泡に歸せしめるものだ

と言明したと傳へられる

ワルシヤワ蜂起軍を繞る紛擾

(リスボン佐藤特派員七日發)ソ波兩國間の紛爭は亡命ポーランド首相ミエライチクのモスクワ訪問で亡命政權が軟化し、屈辱的妥協の方向に傾いて來たため一應解決を豫想されてゐたが、ここ數日來ワルシヤワ鋒起軍に對する援助をめぐつて事態は急激に惡化し、米英ソ三國の關係は異狀な緊迫を呈するに至つた、亡命政權は七月下旬赤軍のワルシヤワ攻略が切迫したとみるや、米英ソ三國とは事前何等相談なく勝手にワルシヤワ地下軍の司令官ボル將軍に行動開始を指令したが、八月一日暴動開始と共にドイツ軍は、早くも機甲四ケ師をワルシヤワ正面に差し向けて蜂起軍鎭壓に當る一方、赤軍に强力な反擊を加へてワルシヤワ攻略計畫を水泡に歸せしめた

ソヴエト政府は時期早尙な暴動計畫によつて軍事的にワルシヤワ攻略戰が重大齟齬を來たした點を指摘して憤激してゐるばかりでなく、ソスンコウスキー司令官らのソヴエト聯邦反對の工作なることは疑問の餘地がないとみて、その政治的含蓄を極度に重視してゐる、亡命政權筋では赤軍が故意に蜂起軍を見殺しにしたと宣傳に躍起となつてゐるのに對し、「プラウダ」紙はソスンコウスキー一派を軍法會議にかけねばならぬと威嚇し、緊張した應酬を繰返してゐるが、殊にワルシヤワ救援に關する反樞軸軍の計畫が赤軍の非協力で失敗に歸して以來事態は一層惡化した、卽ち暴動をこのまま見殺しにする場合は、二十萬にのぼる蜂起軍はドイツ軍のため殲滅され、ポーランド國民の米英ソ三國に對する深刻な反感を挑發して、忌はしい禍痕を殘すであらうとの懸念から、米英兩國は英空軍をイタリア基地から飛ばしてワルシヤワの蜂起軍に武器を投下、一應地下軍救援の形をとつたが距離の關係で極く少量しか武器空輸が出來ないため、八月中旬米英兩國政府からソヴエト政府に對し、赤軍飛行場の使用許可を申込んだところが、ソヴエト政府はワルシヤワに武器を投下すれば、ドイツ軍の手に入る惧れがあるからとの理由で右申入れを拒否し、亡命政權の提唱するワルシヤワ暴動は軍事的にも政治的にも承認出來ないとの根本態度をいよいよ明白にして來た

ソヴエト政府の出方は米英兩國政府を極度に狼狽させ、ロンドン各紙は兩三日以來種々論評してゐるが、英國政府は米國に交涉經過を發表せず、新聞に對しても問題を社說で刺戟的に取扱はぬやう勸告する等表面愼重かつ冷靜な態度を示してゐる、しかしながらミコライチクが二日に至りラジオを通じてスターリン、ルーズヴエルト、チヤーチルに對しワルシヤワ救援を要請、反樞軸軍も事態の遷延を許さぬ破目に陷つた、一方米英兩國政府は八月三十日共同聲明でワルシヤワ蜂起の地下軍をポーランド正規軍として承認する旨ドイツ政府に通告したが、從來亡命政權から再三正規軍として承認するやう申出があつたにも拘らず、ソヴエト政府に對する思惑からこれを拒否してきた經緯に鑑みても、今回の通告がソヴエト政府を刺戟したことは明らかで「タイムズ」紙が「米英兩國政府は蜂起軍を正規軍として承認したが、この擧に出るに先立つて現在の微妙な事態を十分檢討したであらうか」と反問してゐる

昭和十九年九月九日(土)
第三一七四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米　國】

陸軍一部復員計畫發表

(リスボン六日發)ワシントン來電＝陸軍省は六日陸軍の一部復員計畫につき次の通り發表した

陸軍は歐洲戰が終了するのを待ち一部の動員解除を實施すべくその計畫を完了した、右計畫によれば動員解除は次の四事情を考慮して除隊の優先が決定されることとならう

一、軍隊に召集されてからの期間
二、海外に派遣されてからの期間
三、戰闘における功績
四、子供の有無

動員解除に當つては作戰上の必要が最大の考慮の對象たるべく、從つて對日戰に必要な空軍部隊及び補給部隊の復員は比較的少いこととならう、歐洲戰が終了しても米國は依然として太平洋における戰闘は繼續しなければならないからその復員は最初の中はその速度も遲く、またその範圍も極めて限られたものとならう、一方歐洲戰域で除隊となつた兵員も輸送船並びに輸送機の大部分が太平洋戰域に廻されるため米本土に歸還するまでは相當の長期間を必要としよう

米陸軍の現兵力は大體七百七十萬に達してをり、その中の幾許が歐洲戰の終了と共に除隊になるかは明示されなかつたが、徵兵局長官ハーシェーは歐洲戰終了で動員解除となる兵力は大體百萬から二百萬の間だらうと言明してゐる

海軍は復員せず

(リスボン六日發)ワシントン來電＝米國陸軍は六日歐洲戰の終了と共に一部動員解除を斷行する計畫を發表したが、海軍長官フオレスタルは同日の新聞記者團會見で、海軍には歐洲戰終了後も動員解除計畫なき旨次の通り言明した

對日戰の主役を演じてゐるのが海軍であり、從つて海軍は差當り陸軍の如く動員解除計畫を實施する譯にはゆかない、海軍の現有兵力は三百萬を若干超えてゐるが、議會によつて認められた最大兵力は三百四十萬であり、今後もこの最大兵力に達するまで擴張計畫が續行されよう、海軍としては歐洲戰の終了は却て新しい重大な任務が殖えることを意味し、これは歐洲方面にある軍需資材を太平洋戰域に廻航することである、米國は對日戰の前途を決して樂觀してはならない、太平洋戰域で反樞軸軍が相當の前進を示したことは事實だが、それはその一面日本軍の作戰區域を縮める結果を招來し、日本軍は從來に比しその兵力を集結し得る有利な條件を得るに至つた、しかも日本航空部隊の勢力はその後質的にも量的にも大いに增强され、日米航空部隊の勢力の相違は一時程の大きいものではなくなつた、殊に日本海軍の空母艦載機の性能の向上が著しく、最近は新銳機種が戰場に登場してゐる

反樞軸軍が歐洲戰域においてドイツ軍の戰力との間に格段の相違をつけるまでには二ケ年間を必要としたが、現在の太平洋戰域で直面する最大の事業は日本軍との戰力の相違をドイツ軍との相違と同程度にまで高めるにある

眞珠灣事件に重ねて駁言

(リスボン六日發)ワシントン來電＝日米開戰劈頭の眞珠灣事件に對する軍法會議は議會の要求によつて近く開始されることとなつたが、下院議員ヒユー・スコツトは六日の議會で右に關し再び駁言し次の通り述べた

日米開戰直前に政府當局が海軍の勸告があつたにも拘らずこれを無視して太平洋の防備を手薄にした疑ひが十分にある、されば余は政府が次の諸點を明らかにするやう要求する

一、日米兩國間の風雲が急を告げてゐたにも拘らず太平洋艦隊の主力が眞珠灣に集結されてゐたのは日本を刺戟することを恐れた一部財界人の要求に基いたのではないか

一、一九四一年太平洋水域にあつた海軍機が英國に讓渡されたが、それは對英援助を第一としたハリー・ホプキンスの勸告によつたものではないか

一、英國に對する驅逐艦の讓渡に對し、當時の太平洋艦隊司令長官キムメルは反對したといふが眞相如何

一、ワシントンにおける日米交涉の內容はキムメルに通告されてゐたかどうか、特に十一月廿六日米國政府から日本代表に手交された最後通牒の內容が彼に知らされてゐたかどうか

昭和十九年九月九日(土)
第三一七四號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

フイリツプス問題で米英對立か

(リスボン六日發)ニューヨーク來電=米國の評論家カール・フオン・ウイーガンドは六日の「ジヤーナル・アメリカン」紙上に一文を寄せ、フイリツプス問題に關聯して次の通り論じてゐる

印度及びその獨立問題はルーズヴエルトと生粹の帝國主義者であるチヤーチルとの間における緊密な友好關係にも拘らず、米英兩國間に容易に對立を齎らすことにならう、フイリツプスは親英的であり、ローマ駐劄大使であつた時、英國に對する批判を歡迎しなかつた位である、從つて彼に對する英國の態度はローマ當時のまた國務省在勤當時の彼を知るわれわれにとつていささか驚愕に値するものであつた、しかし米國民は印度については殆んど知識を有しない、彼らは唯ガンジーといふただ一人の印度人の名前を知るに過ぎず、一部のものがネールを知つてゐる程度である、印度獨立の問題は普通に考へられるやうに容易なことではなく、予は印度情勢を研究するため幾度か印度へ赴いたことがあるが、印度は主として現在侵略と稱せられてゐる方法によつて帝國が獲得したものである

一方米國務省はフイリツプスが不同意人物であることを否定してゐるが、彼が印度問題について提出したといふ報告については否定してゐない、この種の報告の有する重要性は、英國がそれに反對してゐるかどうかにではなく、報告の内容が眞實であるかどうかといふ點にある、事實印度の基地から日本に對して極めて不利なしかも明らかに拙劣な戰闘が展開されてゐるが、これはわれわれにとつて重要なことであり、確かにフイリツプスの仕事は右の點を報告することにあつた、もし米國政府がフイリツプスのこの記錄を隱さうとするならば、これを調査し記錄内容を暴露することが議會の任務となるわけである

大統領特使を辭任か

(リスボン六日發)ワシントン來電によればウイリアム・フイリツプスは近く米國へ歸還する豫定だが、歸米後インド派遣ルーズヴエルト特使としての地位を辭するだらうといはれる

戰後機構問題は政爭外

(リスボン六日發)ワシントン來電=共和黨大統領候補デユウイは戰後問題に對する政府の方針を聽取するため、外交顧問デユールスをして過般國務長官ハルと會談せしめたが、六日ハルに要旨左の書翰を送り、戰後國際機構問題は來るべき大統領選擧戰においてもこれを政爭外に置く意向であることを明らかにした

われわれは從來暗默の裡に作戰問題はこれを政爭の圈外に置くことに決めてゐた、しかるにわれわれは戰爭において勝利獲得のために戰ふと同樣平和においても勝利を得るために戰はなければならない、この見地から最近貴下とデユールスとの會談が滿足な結果を得たことは欣快に堪へない

食糧割當一部緩和

(リスボン六日發)ワシントン來電=戰事動員局長官バーンズは六日次の通り發表

戰時食糧局は從來割當制の適用されてゐた相當數の食料品に對し七月十七日以降割當制を撤廢するに決定した、その主な食料品は加工果物、鑵詰野菜等である

【東南歐】

勃、米英との休戰を焦る

(リスボン五日發)ソフイア來電によればソヴエトのブルガリアに對する宣戰の布告に先立ち、四日夜ブルガリア首相ムラヴイエフはブルガリアの完全中立を闡明すると共に、カイロ滯在中の和平使節に對して米英兩國との間に至急和平協定を締結するやう訓令を發したといはれる

勃、ラジオ聽取禁止

(ベルリン六日發)ソフイア來電=ブルガリア内相ヴエーギル・デイモフ氏は六日國民に對し今後内外のラジオ聽取を禁止する旨の布告を發した、同禁止措置の結果國民所有のセットは全部封印されることになつた

【北歐】

瑞典中立維持

(ストツクホルム五日發)スエーデン社會相メラー氏は反樞軸國の所謂「樞軸側戰爭犯罪人」およびキスリング一派の制裁には同意せぬ旨五日夜言明した

昭和十九年九月九日(土)
第三一七四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

リスボンだより

英國人の皮算用を檢討す

佐藤特派員 本田 九月三日發

ハイエナ——山狗の一種らしい——がまだ生きてゐるのに、この奇獸の皮毛を賣つた男が狩りの最中死んで了つたといふ諺がある、取らぬ狸の皮算用といふほどの意味だらうが、いま米英兩國で話題の中心になつてゐる戰後經營夢物語に英國首相チヤーチルはこの諺をひいて三斗の冷水を浴びせてゐる、しかし開戰以來滿五年今流星彈の洗禮を受けて華人の形容を借りれば「屍は亙港の岸を塡め、血は長城の窟に滿つ」といふ慘狀を呈してゐる實情で、英國人を慰めるのは戰爭が終つた日の夢物語以外にはあり得ない、ロンドン各紙が夢物語に連日紙幅を割く所以であらう

保險料に現れたロンドンの夢

「フアイナンシヤル・ニユーズ」紙の八月五日號にこんな記事が載つてゐる

ロンドンのシテイ(財界)で一體何時まで戰爭が續くとみてゐるかを示す材料としてロイヅ保險會社での最近の相場をあげよう、歐洲の戰爭が十月三十一日後も續いてゐるとの考へでそれまでに戰爭がすむ場合の危險について保險をつけようとしたところ、百磅について六十ギニー(六十三磅)の保險料を拂はされた、卽ち大體十月三十一日までに歐洲戰爭が片つくといふ見透しが三對二で優勢だといふ話だ、戰爭が片つくといふのが六十三、片つかぬといふのが三十七といふ割合である

復員計畫に慌てる勞働相

だから戰爭の短期終結を夢見るのが輿論の趨勢で、產業界はひとつ米國に遲れずに民需工業に切替へたいと焦つてゐるらしい、戰後の貿易のことを考へてせめて商品の見本でも作らせて欲しいといふのだが、英國政府は仲々うんといつてくれない、そこで八月三十一日の「デーリー・メール」紙は「分列行進は本當に必要だらうか」といふ見出しで諷刺畫を揭載してゐる、勞働相サー・アーネスト・ベヴイン、商相ヒユー・ドールトンが指揮してホーム・ガーヅ(護國民軍)を整然と並ばせてゐる、護國民軍は英國產業界を現はしてゐるのだが、啞然たる英國の兩大臣を尻目にかけてカウボイ——勿論米國產業界を象徵してゐる譯だ——が平和克服後の世界市場を現す綺麗な娘さんの手をとつてさつさと立ち去らうとしてゐる漫畫だ

勿論出征兵士の復員が矢釜しい問題になつてゐることはいふまでもない、一週間ばかり前英國の各紙は當局の復員計畫なるものを詳細に報道したので、慌てた勞働相サー・アーネスト・ベヴインは翌日次のやうな聲明をだしてゐる

復員計畫に關する各紙の聲明について余の注意が喚起された、特に或る下院議員の聲明は一般國民に對し當局の言明であるかの誤解を惹起させる惧れあり、すべてこれ等の聲明は當局の意向でもなく不正確で誤解を誘致し、兵士の間に不安と懸念とを惹起することとならう、政府は適當の機會に復員計畫を發表し、出征期間について兵員に十分通達する方針である、以上の發表あるまでこの問題に關する一切の言明は當局の同意がないと看做して頂きたい

米國と張り合ふ護國民軍の縮少

當局はかういふ風に抑へてはゐるものの、滔々たる輿論の大勢を彈壓してしまふことはできない

第一が護國民軍の縮少だ、「ナチオナール・ツアイツング」紙のロンドン特電は八月二十日次の通り報道してゐる

ドイツ政府が根こそぎ動員を斷行したのに英國政府は護國民軍の縮少を企圖してゐる、英國では軍需工業から人的資源が解放されても、民需物資の生產には振り向けられず軍隊に編入されてしまふ、殊に造船工は米英兩國艦隊の任務に服するため動員されて太平洋戰線に派遣されるといふ

米國内では既に幾多民需物資が再び生産され出したので護國民軍の縮少は米國に立ち遲れまいとする努力の現れだ

流星彈には燈火管制も無意味

次が燈火管制の緩和だ、開戰以來英國の燈火管制はドイツ空軍の直接脅威下にあつただけに準備管制警戒管制空襲管制といつた三段構へではなく四六時中警戒管制乃至空襲管制だ、ところが流星彈に對しては燈火管制はまづ無力に近い、そこで緩和論が有力に持上つてゐるわけだ

八月四日の「ニユーズ・クロニクル」紙に曰くスコツトランド、ウエルズ並びにイングランド西北部がまづ第一に燈火管制の緩和される地方だ、人の乘つてゐる飛行機による爆撃の脅威が續いてゐる限り管制をすつかり止めて了ふことはできない、しかし爆撃の危險が少い地區ではあまり嚴重に管制を實施しないこととならう

以上の方針に基づき内相ハーバート・モリソンは八月二十三日護國民軍の各地司令を集めて協議した結果、愈々成案を得て近く覺書を閣議に付議する豫定だ、同じく「ニユーズ・クロニクル」紙の報道によれば、閣議で承認を受ければ九月十七日恰度二重夏季時間が終る頃より大體次の方針で燈火管制が緩和されるといふ

一、一般の民家アパート等については燈火管制緩和の標準を樹てるのが困難だから大した變化はあるまい

一、但し公共團體が統制してゐる燈火即ち停車場だとか、その他バス・街上電車・列車の燈火管制は緩和され、自動車の明りももつと明るくならう

リユートンといふロンドン北郊の町では、早くも街燈の管制緩和を豫想し、歐洲戰爭始まつて以來放つておいたガス燈や電燈の手入れを始めたと傳へられる

衣料切符に英國民失望

街が明るくなるなら隴を得て蜀を望むが人情だ衣料切符――英國人が洒落れでキユーポンと發音する切符をどうしてくれるかといふことが當然問題になつてくる、ところが商相ドールトンは、七月十四日衣料切符は少くとも半年間は現狀維持と聲明して英國民を失望させてしまつた

一九四四年から四五年にかけての衣料配給手帖の切符二十四枚は八月一日から使用できるが、この次のは四五年二月一日以後に發行されよう從つて基本割當は引き續き一ケ月切符四枚で、一九四二年一月一日以降なん等の變りがない

少し話の筋道ははづれるが「エコノミスト」誌が七月十五日號で英國における衣料配給制の經過を傳へてゐるから次に紹介しよう

英國政府が衣料配給制を實施してから丁度三年あまりになるから、今までの切符の發行を一度振りかへつてみる價値があらう、全般的な配給制が實施されたのは一九四一年六月一日で、マーガリンの切符二十六枚を衣料切符に振りかへた、爾後二十枚宛の切符が左の日附に出てゐる

一九四一年八月十八日、一九四二年六月一日、一九四二年十月十二日、一九四三年三月十五日一九四三年九月一日

最後に今の二十四枚の切符が發行されたのが今年の二月一日で六ケ月の期間だ、今後は二月、八月と極つた日取りに出て當初不規則に發行した際のやうなごたごたを避けることとならう、但し二種類の市民には特別配給あり、今後もこの特配は繼續される見込みだ、即ち子供等には一九四一年十一月追加配給あり、年齡と大きさに從つて二十枚から四十枚の切符を貰つてゐる次で一九四二年から四三年にかけて十枚から三十枚までの追加切符が子供達に對して出てゐる他の特配組は各種産業部門の勞務員だ、一九四二年の發行には仕事の型に從つて十、十五、二十五、三十、三十五枚乃至四十五枚の特配切符がこれ等勞務員にでてゐる、割當を多少でも增加できぬことは情ない話だが、一番困つてゐるのは特配を受けてゐる組だから、增加する時が來たら、眞先きに子供等と工業勞務員に對して增加してやらねばならない

昭和十九年九月九日(土)
第三一七四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

空中樓閣の設計

最後に都市復興の文字通りの「空中樓閣」物語だ、ニューヨークの週間「タイムズ」誌の七月二十四日號は復興計畫と勞働黨の立場と次の通り叙述してゐる

ドイツ空軍による大爆撃の最中に英國首相チャーチルは破壊された諸都市が「美しく光り輝き不死鳥のやうに死んだ古い町の灰燼の裡から」立ち上るだらうと約束して英國人を元氣づけたこの約束を具體化した復興法案が議會に上程されたところアーサー・グリーンウツドを首班とする勞働黨は

一、自黨の主義を嚥み下だして了ふか

一、聯立內閣を叩き潰ぶして了ふか

一、拱手傍觀するか

何れかを選ぶ他はなかつた、賢明にも彼等は傍觀無爲策をとつたのである、チヤーチルの言明以來英國の各都市は希望を靑寫眞に描き直すのに忙しかつた、政府はこの靑寫眞とチヤーチル首相の約束とを建物に作り上げる提案を出したわけだ、勞働黨は進退兩難に陷つた、黨としては土地國有政策を選擧民に公約してゐるのに國有問題をすつかり回避し、都市計畫の主要責任を多數の都市その他地方自治體に委ねる法案を突きつけられたわけだ、保守黨は最後の一人に至るまで同案に贊成だ、勞働黨、自由黨並びに無所屬は大資本家の詭計だと右法案を論難してゐる、勞働黨のルウイス・シルヌンは「この法案では全國的計畫の見込みは全然ない」と述べジョン・ダグデールも「地主達は子弟を犧牲に供するより資産を犧牲にするのを嫌つてゐる」と叫んだところ、保守黨のアスター夫人は「何を仰つしやいます! 實に怪しからぬことをいふぢやありませんか」とやり返した、歐洲侵攻作戰の最中に聯立內閣を潰すよりはと考へたのだらう、グリーンウツドとその黨は棄權して了つた、勞働黨出身の閣僚サー・アーネスト・ベヴインは大きな圖體を振りながらグリーンウツドの議席の前にやつて來て、「そんなら君は投票しないのか、エー?」と詰問したが、グリーンウツドは苦が蟲を嚙み潰ぶしたやうな顏つきでぐるり後を向いて二百人近くの黨員を振りかへつた、黨員も同樣苦が蟲を嚙み潰ぶして勞働相に應酬した、勞働黨は再び黨出身の閣僚諸君に叛旗を飜へしたのである

法案は通過したが、勞働黨が坐り込み戰術に徹すれば、同案が今後修正され更に政爭が展開されることは確かだ、「マンチエスター・ガーデアン」紙に曰く「政府は極めて困難な地形の武力偵察を終へた」

國內戰線

「タイムズ」紙は八月十日紙上に「國內戰線」と題する長文の社說を揭げてゐるが、英國內政の現狀を判斷する資料として次に譯述しよう

戰局の進展に鑑み國內復興計畫を用意することが喫緊の急務となつたが、今期議會における復興施策は印象的でないとは決していへない、特に顯著な出來ごとは政府の就業施策に關する討議と全面的就業と能率とを實現するやう國民經濟を導く明確な權限が政府に與へられたこと、四ケ年計畫のうち「五、六の實際的性質の重大施策」の一つを實現する教育法案、醫療厚生法案の提出と主要條項の可決等々で、特に醫療法案についてはその後醫學教育に關するグドエナクの素晴らしい報告書が出てゐる、水道、農村上下水道法案も成立したし、不具廢疾雇傭法案、鮮業復興法案等も採擇された、政府はまた科學、工業上の研究擴充方針を闡明し、戰後における過剩國有財產の處分について施策の一端を示唆した、出征兵士の除隊訓練再教育就業に關する計畫も相當進捗してゐると傳へられる、しかし他の諸點については政府の意向は事態の進展と社會の必要とにひどく遲れて危險な位だ、一例をあげればビヴアリツヂ教授の報告書が出てから既に二十一ケ月を經過したが今頃になつて漸く社會保險、子供助成金、勞務員補償に關する政府自身の提案を說明する報告書が出るところだといふ始末だ、法案提出に先立ち白書を發表することは複雜な提案を一般國民に說明し、提案を最終的に纏める前に豫め來たるべき施策について意見の交換を遂げる方法として寔に有意義である

しかし社會保險制度の場合は一番むづかしいのがどうしても複雜且つ混み入つたものになる實施細目があり、細目の討議は必然的に當該法案の通過後とならう、ところが白書は久しく待望された法案が討議される段階に到達した際に出てしまふわけだ、しかし更に重大なのは都市再建案、もつと大きな土地統制並びにそれと不可分の工業配置の問題について政府の近付き方が如何にもたどたどしい點だ、一九四一、四二年當時の大膽な公約勇しい言葉を想ひ出し、政府がその後如何に退却したか、ウールトン卿が復興相に任命されるまでに何ケ月を無駄に過ごしたかを振りかへつてみれば聯立内閣がこの點で重大な難關に逢著してゐるのを看過出來まい、技術部面においては建築業界に巨人的な再建事業の用意をさせるとか、部分品や裝置の規格統一、建築方法並びに標準の調査、設計と勞力の研究、假住宅の工業等々の部門で色色有意義な仕事が出來てゐるが、技術部面を除けば政府の施策はことごとく斷片的糊塗的で、當面の仕事に餘りに重點を置き過ぎてゐるので特に復興案については長期にわたる困難を徒らに增大するのではないかと懸念される、恒久住宅並びに假住宅建設案が眞先きに議會に提出され、前者は殆んど何等の討議もなしに可決されたが、一時的なバンガロー工場の設置案は非常な論議の焦點となつた、「住宅――暫定施設」法案の討議に當り政府が先づ白書を發表し、技術上その他政府がこの種の特定住宅樣式を選定するに至つた論據を示せば論議はあれ程紛糾しなかつたらうが、全然聲明がなかつたので甲論乙駁、第二讀會は夏季休會までに終了せず、九月末議會の再開後に持越されて了つた、一時的なバンガロー工場の敷地もまだ見付かつてをらず、爆撃を受け流星彈で痛めつけられた諸都市（"Blitzed and blighted, towns"）は當然別だが、いづれの地方自治體も土地政策がきまるまでは最初の二ケ年間に必要な敷地以外は恒久住宅に必要な敷地を入手することは許されてゐない、この問題に關する白書についてはまだ全然討議がなく、政府は專ら地方自治體に廣汎な權限を賦與する都市並びに地方復興法案の審議を主張してゐる、しかし同法案については第二讀會において勞働黨が棄權するといふ重大な措置に出た反對の主要論據は、土地統制に關する白書とは別に乃至は先立つてかかる法案を審議するのは困難だといふにある、要するに土地使用の統制、町村の計畫開發並びに工業配置に關する政府の施策は依然として極めて曖昧かつ斷片的である、當局は各地方の企畫機關が多過ぎるから少くせねばならぬと再三述べてゐる、一九四一年二月リース卿は「復興計畫の原則は國家的施策とし中央の計畫機關は農業並びに工業の開發、運輸などの事項については積極政策を以て進む」旨政府を代表して言明したが、中央と地方各機關との關係、中央でも都市並びに地方計畫局、土地委員會、商務省その他住宅、農業、輸送等の責任各省間の關係は依然明瞭を缺いてゐる、以上は政府が幾多の提案を手持ちしながらこれ等提案の行政上における含意に十分考慮を拂ふのを澁つてゐる一例に過ぎない、萬一政府が常設機關の設置を眞面目に取上げぬならば、全面就業も都市の再建も、保健教育並びに社會保險などに關する十分な厚生施設も期待出來ぬこととならう

皮算用解剖

英國政府の皮算用では年内に歐洲戰爭を片付ける方針だといふ、戰爭は放言によつて決定されず前線と軍需工場とにおいて決定されるのだから勝手な熱を吹かせておいていいが、英國政府の意圖を鮮明にするため八月十九日附の「デーリー・ヘラルド」紙を引用しよう、同紙によれば航空機製作相サー・スタフオード・クリツプスは十八日夜ベルフアストにおける演說で次の通り述べたと傳へられる

内閣の目標は年内にドイツ軍との戰爭を終結させるやう努力するにあり、しかし假りに豫定通り歐洲戰爭が濟んでも英國が戰前の輸出貿易を悉くとりかへし、更に可成りすばやくほぼ五割まで輸出を增大しなければ英國人は戰前の生活標準を維持することが出來ない、民間企業は試驗臺に乘せられようが自身で存續を正當付けるやう實證せねばならない

昭和十九年九月九日(土)
第三一七四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

英國が將來世界工場の一つとして存續するために三つの施策が絶對に必要である、第一經營と勞働との間に努力の協同體(Partnership of Effort)が確立されねばならない、第二に英國の工場を再建再施設しなければならない、第三に企業經營は專門職能化されねばならない、輸出の增加を必要とする理由は三つだ、第一に戰前の生產標準を維持すること、第二に英國の國際的地位に確固たる基礎を與へること、第三に教育保健住宅等の標準を向上させることである以上の苛酷な要求に應ずるには英國の工業手法を全的に再檢討しなければならない、品質と能率とが目的に如何に新奇且つ異常でも、苟も輸出を增大し逞ましい國內市場の確立に役立つ施策は悉く取入れねばならない、「おやぢの時代にこれで間に合つたのだから自分の時代もこれでいい」といふ考へ方は英國の業界にとつて致命的である

想像力は最も繁殖力に富む動物である、英國人の皮算用は七月十七日附の「ニューズ・ウイーク」誌によれば更に進んで歐洲戰爭後の失業問題に關する取越し苦勞に及んでゐる

歐洲戰爭が濟んだら廣汎な失業が起るだらうといふのが一般の通念だが、業界筋では却て國內勞働力の不足を來たすと見てゐる、既に米英兩國政府間には東亞反攻作戰における英國の工業上における寄與について話合ひが出來てゐるが非公式算定によれば英國は生產力の四割をあげて軍需器材、特に高度裝備の供給を擔當しよう殘り六割が民需物資の生產に振り向けられるわけである、その上英國は國內の復興事業に數十萬の勞働力を必要としよう、しかも過去半年間主として年當の勞務員死亡で英國の勞働力は著しく減少した、しかも青年層は兵役に服するので補充がつかない

勿論この記事はドイツ軍の流星彈攻擊が始まる前に書かれたに違ひないから復興事業についても割合呑氣な御託を並べてゐるが、ロンドンその他イングランド南部で百萬戶以上を叩き潰されては戰後の夢物語に耽けることとも出來ない、景氣のよさうなロンドン各紙の片隅にこんな記事が出てゐる

海岸の避暑地からの報道によればビールよりもコップの不足が甚しく、酒場の客はコップが足りなくなれば彼等が絞り出せる限りの忍耐力を絞り出して早い客が飲み乾すのを待つてゐねばならない、內には氣の利いた(スマートな)奴さんがゐて、早く酒場に出かけて後からきたより少く幸福な客にコップを「賣る」手合まで出てきた

ロイター電報によれば九月一日から各戰線の兵士に十分煙草を供給するため、一般人並びに英國內の兵士に對する煙草の供給量は四パーセント減になつたといふ、つまり二十本について一本宛減る勘定だ

戰後機構案の反對論據

戰後機構案については、英國首相チヤーチルは八月二日の演說でも細目に觸れることを避けたが「ニューヨーク・タイムズ」紙のロンドン特電によればチヤーチルの地域別安全保障案に對しては英國外務省は一人の例外なく反對だといふ、反對の論據は歐洲聯邦案については

フランス本國が海のものとも山のものともつかずしかも聯邦の內一部はロンドンを、一部はモスクワを後楯としたのではごたごたが絕えまいといふ理由だ、第二の極東會議については、重慶政權に權威を與へようとしても、重慶政權が責任を負擔できるのは百年河の淸むを待つに等しいといふ反對論、第三の米洲聯合案に關してはカナダが合衆國の傘下に入るのでは英聯邦に龜裂が入るといふ論據があげられてゐる

「タイムズ」紙八月二十一日號によれば英國の上下兩院議員がサー・ジョン・ワールドローミルンを委員長に戰後政策委員會を結成し、ドイツ處分案なぞ大眞面目で頻りに論議してゐるといはれるが、ハイエナがまだ生きてゐるのに毛皮を賣る男は狩りの最中に殺されるに違ひない

大正十五年十月廿八日第三種郵便物認可　昭和十九年九月十一日(月)　第三一七六號
印刷發行人　荻野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人同盟通信社

同盟通信 海外電報

ルーマニア國王の裏切りを端緒として、歐洲の各小國は相次いで樞軸陣營から落伍して了つた、寡兵よく健闘を續けたフインランド軍然り、嚴正中立を表看板としたブルガリア政府然り、嘗つてゲツベルス博士は今度の戰爭は急行列車で疾走するが如し、途中で飛び下りれば頓死は免れぬと警句を吐いたが强國の間に離合集散を繰り返へし、僅に獨立國の名を維持する諸小國が、戰局の推移に伴つて浮動するのは恐らく必然の趨勢であらう、今回の戰爭で大國民と小國との區別が端的に啓示されたように思ふ、ゲツベルス博士が道破してゐる通り、安易な小徑は滅亡への道であり、大國民の襟度は鐵火の試煉を經て初めて錬成されるのであらう、行くに徑に由らずとは孔夫子の教へる所である、反樞軸宣傳機關が、ドイツ政府動搖説を例の謀略宣傳で流布してゐるのに對し、ドイツ外務省當局は八日「及ぶべからざる愚劣さ」と指摘し、「過去五ケ年にわたるナチ戰爭指導を回想するならば、如何なる事態に立ち至らうとも、ドイツ軍が降伏することはあり得ない、況んや和平條件に關して探りを入れるため要人が某地に赴いたといふ噂の如きは、全く支離滅裂のデマだ、ドイツ國民は斷じて和平を考慮せず、事態を克服するために全力を傾注してゐる」と言明した、勿論歐洲戰爭の現狀がドイツ軍にとつて極度に重大なことはゲツベルス博士自身が率直に認めるところだ、赤軍が東プロイセンに迫り反樞軸軍またジーグフリード線に肉薄し、しかも東南歐洲の盟邦が相次いで背反する現狀はドイツ軍にとつて曾つてみなかつた危機だ、しかもヒトラー總統と側近とが深く必勝の信念を藏して、慘として驕らざる概を示してゐるのは神嚇鬼謀を方寸に祕めてゐるのではなからうか



【目次】

遂に宣戰を布告……二〇六七
宣戰布告の要旨……〃
赤軍勃領土に入る……〃
ブルガリア進駐を發表……〃
ブルガリア政府とも交渉開始……〃
ソヴエト代理公使動く……〃
モスクワで四國會談開く……〃
ソヴエト政治委員羅國へ……〃
オランダ統監對策を協議……〃
反樞軸軍オランダに入らず……〃
衞首相主權の確保を聲明……〃
米大統領重要軍事會談召集……二〇六八
三長官と最後の打合……〃
フオード爆撃機工場に大罷業……〃
ガンジー翁を見張り……〃
亡命白政權ブラッセルに還る……〃
西部戰線、決戰目睫の間……〃
ジーグフリード線總攻撃……〃
【ドイツ】
國民試煉の秋至る……二〇六九
九發明家を表彰……〃
【米國】
デュウイ第一回選擧演説……二〇七〇
ウイルキーの國際機構論……〃
民需生産制限撤廢せん……二〇七一
國際報道自由交換決議案……〃
罷業各地に蔓延……〃
【東南歐】
ソ聯更に强硬要求か……〃
【友樞軸陣營】
米英首腦會談の議題……二〇七二
スエズ管理權問題化……〃
【英國】
軍首腦協議……〃
下院任期延長……〃
【米洲】
亞國を再び誹謗……〃
亞國、攪亂分子を彈壓……〃
【特輯】
世界戰局の現段階（下）……二〇六三―二〇六六

昭和十九年九月十一日(月)
第三一七六號
同盟通信 海外電報 第三種郵便物認可

遂に宣戰を布告

(ベルリン八日發)ソフイヤ來電=ブルガリア政府は八日夜次の通り發表した
政府はドイツに對し宣戰を布告するに決定した同時にブルガリア國内においては戰爭狀態を宣言す

宣戰布告の要旨

(ブダペスト八日發)ソフイア來電=ブルガリア政府は八日夜次の通り發表した
一、ドイツに對し宣戰を布告し、赤軍を同胞國民の軍隊として歡迎す
一、民主政體を復活し、先づ國會を解散す
一、反樞軸系の俘虜を釋放し、ナチ、フアツシヨ系の一切の組織を禁止す
一、國内に戰爭狀態の存在を宣言す
一、州知事その他の更迭を斷行す

赤軍勃領土に入る

(ブダペスト八日發)ソフイヤ放送は八日夜次の通り傳へてゐる
赤軍は八日九時三十分何らの抵抗をも受けずにドブルジヤ地區のブルガリア領土に進駐してゐる

ブルガリア進駐を發表

(モスクワ八日發)軍最高司令部は赤軍がブルガリア國内に進駐した旨八日發表した

ブルガリア政府とも交涉開始

(モスクワ八日發)ソヴエト外務人民委員部は八日夜次の通り發表した
ソヴエト政府は今回休戰交涉開始に關するブルガリア政府の要請を考慮出來ると思惟するに至つた

ソヴエト代理公使動く

(ブダペスト八日發)ソフイヤ駐劄ソヴエト代理公使キルサノフ氏は八日ソフイヤからアンカラに到着したと傳へられる、ソ勃兩國間の休戰交涉に關聯してゐると解される

モスクワで四國會談開く

(ストツクホルム八日發)モスクワ來電=米英ソ三國とルーマニア政府との休戰交涉は八日クレムリンにおいてソヴエト外務人民委員モロトフ氏司會の下に開催され、英國大使クラーク・カー、米國大使ハリマンがそれぞれ代表として出席した

ソヴエト政治委員羅國へ

(リスボン八日發)デーリー・テレグラフ紙の報道によればソヴエト政治委員は續々ブカレストに到着、委員の一人はルーマニア警視廳に、その他の監察委員は各稅務局に配置されたと傳へられる

オランダ統監對策を協議

(ベルリン八日發)ヘーグ來電=オランダ統監セース・インクワルト氏は八日ロツテルダム市長並びに同市司政長官等と會見、次いでオランダ・ナチ黨首領と會見した、西部戰線の戰局緊迫とともにオランダ國内の交通は著しく混雜するに至つたため都市、村落の食糧配給その他につき協議したと傳へられる

反樞軸軍オランダに入らず

(リスボン八日發)亡命オランダ通信社の特派員ロバートキークは八日ブリユツセルから次の通り報道してゐる
反樞軸軍がブレダを占據したとか、英軍がロツテルダム地區に近付いてゐるとかいふ報道が頻りに流布されてゐるが、これらの報道は悉く間違ひで、オランダ領土内には反樞軸軍はまだ一兵も入つてゐない

葡首相、主權の確保を聲明

(リスボン七日發)ポルトガル首相兼外相サラザール博士は七日内閣の改造について次の通り述べた
サントス・コスタ大佐が今回陸相として就任したことは過般來現實に存在してゐる狀態を確認させるものだ、余は將來がポルトガル國民に何事を要求するかを知らぬが、ポルトガル政府は自國の主權と名譽の要求する權益を未だ確保してゐないことを知つてゐる

昭和十九年 九月十一日(月)
第三一七六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米大統領

重要軍事會談召集

(リスボン八日發)ワシントン來電=米國大統領ルーズヴエルトは八日白堊館に參謀總長マーシヤル、海軍作戰部長キング、大統領附總參謀長リーイ、陸軍航空本部長アーノルドの陸海軍首腦を招致して重要軍事會談を開催した、この會談は近く開催さるべきルーズヴエルト、チヤーチル會談の準備といはれる

三長官と最後の打合

(ストツクホルム八日發)「ダゲンス・ニヘター」紙のニユーヨーク電報が八日報ずるところによれば、チヤーチルとの會談を目前に控へたルーズヴエルトは、七日ハル國務、スチムソン陸軍、モーゲンソー財務の三長官を招致、最後の打合せを遂げたといはれる

フオード爆撃機工場に大罷業

(リスボン八日發)デトロイト來電=デトロイト近郊のフオード會社ウイローラン工場の勞働者約二千名は八日罷業を開始、ために米國最大の爆撃機工場の一つに數へられる同工場は全的にその機能を停止し、罷業に參加しないその他勞働者一萬五千名も就業不能となつた

ガンジー翁を見張り

(リスボン八日發)ボンベイ來電=ガンジー翁は愈々明九日回教聯盟のジンナーと會見する豫定だが、數日來ベンゴール州の印度教徒學生團がワルダにおける翁の隱棲を見守り、ジンナーとの會見を斷念させるか乃至パキスタンに基く印度分割を思ひ止らせようとしてゐるが、以上學生團の行動に翁も業を煮やした樣子で八日に至り諸君がかく自分を監視するなら、ジンナーに打電し自分は囚はれてゐると同樣で會見出來ぬ旨申送るほかないと強硬な態度を示した

亡命白政權ブラツセルに還る

(ストツクホルム八日發)ロンドン來電によればヒエルロー首班とする亡命ベルギー政權は八日ロンドンからベルギーに移つたといはれる

西部戰線

決戰目睫の間

(ベルリン八日發)ドイツ軍當局は八日西部戰線の動きについて次の通り述べてゐる

ドイツ軍の離脫作戰は未だ終了せず、また準備された陣地に到達してゐないことは事實で、現在再び燃え上つてゐる一進一退の戰鬪は以上の陣地の前面で展開されてゐるのである、しかし反樞軸軍の補給線の急速な擴大とドイツ軍が兵站基地に愈々接近してゐる事實とは兩軍の戰力の比率に變化を生ぜしめるに至つた、かくて西部戰線におけるドイツ軍の防禦は安定に向つて急速に進んでゐるが、しかしながらこれがために必要な時間は頑強な抗戰によつて獲得しなければならない

北フランス及びフランダース並びにシエルド河下流地區におけるドイツ軍の離脫作戰とアルベール運河及びリエージユの兩側における敵の作戰は、何れもアヴランシユ附近における突破によつて開始されたフランスにおける一聯の大規模な戰鬪の終局的作戰なのである、マルヌにおける敵の壓迫はドイツ軍防禦陣地の側面に對する攻撃の意圖を現はしてをり、モーゼル河西方の戰鬪は一時的に緩慢化した

一方スイス國境地帶における敵の新銳部隊集結の事實からみて同方面では大規模な戰鬪が豫想されるが、この方面において作戰が展開されるにはまだ暫くの餘裕があるやうで、ドイツ第十九軍はその間に十分の展開をなし得るであらう

ジーグフリード線總攻撃

(リスボン四日發)ロンドン來電によればドイツ、フランス國境から二十五哩の距離にあるモーゼル河の橋頭堡から米軍はジーグフリード線に對し大攻勢を開始したと傳へられる、但し反樞軸軍當局は右攻勢開始と同時に報道を禁止し作戰の進展狀況については嚴重に祕密を守つてゐるため、その後の情勢は明らかでない

昭和十九年九月十一日(月)
第三一七六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【ドイツ】

國民試煉の秋至る

(ベルリン七日發)總動員統監ゲツベルス博士は週刊「ダス・ライヒ」誌上で「意志と決意」と題し次の通り述べてゐる

危機特に危機の絶頂に當面しては抵抗を強化するに役立つ兵力を總動員し、不撓不屈斷乎として抗爭するよりほかに打開策はない、軍事的にも政治的にも今次大戰は今年の夏及び秋をもつて最高潮に達した、今や反樞軸軍は物的優勢を傾倒してドイツ國家の防衛線を猛攻突破しようとしてゐる、決定的に重要なことは前線の或る地點でドイツ軍が地域を——たとへ非常に重要な地點であつても——斷念しなければならないかどうかではなく、寧ろ反樞軸軍がドイツ軍の戰力を粉碎できるかどうかだ、ドイツ國民存亡の戰ひを強要する反樞軸軍の企圖が總體的に挫折されれば秋に入るとともに必ずや新生面が開かれよう

英軍も米軍も赤軍も皆極度に焦慮してゐる、反樞軸陣營内には政治的紛擾が持上り、更にドイツ軍の新兵器に對する恐怖、ドイツ軍備及び潛在兵力の增大に對する懸念が大きくなつてゐるから反樞軸軍は一分一秒の時間的餘裕をも持ち合はせてゐない、これに反し今後進展が或る一點に達すればドイツ軍の前には再び成功への機會が開かれよう、故に如何なる困苦にも耐へ忍んでこの一點に達することが刻下の急務である

反樞軸軍は口やかましく宣傳し勝利は最早反樞軸軍の掌中に歸したかの如くドイツ人に信じ込ませて、まだ到底最後の勝利を保障するには足りぬ軍事的成功を支へる心理的、政治的支柱を担ね上げようとしてゐる、今秋の決戰においてすべては決定されよう

ドイツ國民は恐れず騷がず軍事的政治的分野において反樞軸軍の攻撃に立ち向はなければならない、戰の危機はドイツ國民に對する試金石である、一九四〇年夏ドイツ軍が大西洋岸を占領し英本國がドイツ空軍の爆撃下に曝されたとき英國民は試煉に當面した、更に一九四一年秋、モスクワがドイツ軍の掌中に陷らうとしたとき赤軍はあらゆる努力を集結しなければならなかつた、今や反樞軸軍は人的物的の總力を擧げてドイツ軍の防衛線に押し寄せてをり、今や宿命がドイツ國の扉を叩いてゐるうちに、各國が代る代るに決定的危機を體驗し、しかも究極の結果によつていづれの國が危機を克服し得、いづれの國が失敗したかが判明するとき初めて戰爭の歷史的樣相が明らかとなるであらう、そしてその中には恐らく今次大戰の深い歷史的意義が潛んでゐよう、敢闘と勇氣との道はいつも嶮阻且つ甚だしく困難のやうにみえる、しかもその側には一筋の小徑が平行してゐるが、この小徑は最後には破壞に導く道でありながら當初には何らの障碍をも示さないからである、この小徑を行けば救ひはない、名譽も生命も棄て、從つて祖國の將來に多少でも貢獻しようとの希望までも失はれよう

歐洲の將來を賭したこの爭闘から事半ばにして離脫し最大の試煉を回避しようとした國々が悉く裏切りと崩壞の後無殘な事態に當面するに至つたことは、既に身近に體驗したところではないか、一瞬にして怖ろしい惡夢においてさへ起りさうもない現實に直面したのである、今回の大戰においてドイツ國民はあらゆる高度の軍事的勝利並びに戰勝感を味はひまた軍事的失敗及び失望のどん底を體驗した、しかし國民精神の核心が些かも害はれずドイツ國家は依然として健全で運命の最も苛烈な最後的試煉に際しても必要とあれば依然如何なる戰力をも闘爭に注ぎ込むことが出來よう

今や運命の氣まぐれに煩されずに天の命ずる道を歩き續けようではないか、慌てず焦らず立たず固く自らの主義を堅持し、脅威が加はる毎に益益狂信的に主義主張を守り拔かう、祖國の生命が最高の地位を占めてゐるとき、個人の命はいふに足りない、國家の生命の祭壇に必要とあれば個人の命を犧牲に供さねばならない、ドイツ國家はあくまで存續しなければならない、これこそドイツ國民の意思であり決意である

九發明家を表彰 (ベルリン七日發)ヒトラー總統はドイツの發明家九名に對し、ドイツ國民社會にとり極めて重要な發明を完成せる功勞を表彰して、技術最高功勞章たるフリツツ・トツド博士記念金針功勞章を授與した、但しドイツ軍需産業防衛の見地から表彰者の氏名は發表されない

昭和十九年九月十一日(月)
第三一七六號

同盟通信

海外電報
(第三種郵便物認可)

【米國】

デユウイ第一回選擧演說

(リスボン七日發)フイラデルフイア來電=共和黨大統領候補デユウイは七日夜フイラデルフイアにおいて第一回の選擧演說を行ひ、次の通り述べた

反樞軸軍は最後の勝利に向つて着々前進してゐる、反樞軸軍は日獨兩國民に對して生涯忘れることの出來ぬやうな敎訓を與へるだらう、今後の戰爭で米國は再び大戰爭をやれる能力のあることを示した、米國を脅やかす國は徹底的に擊破し得ることを事實をもつて證明したデユウイは次いで國內問題に移り、ルーズヴエルト政權の對內政策を徹底的にこき下して次の通り述べた

ルーズヴエルト政權は今や疲れ果て、喧嘩ばかりをこととする政權となつた、開戰前ニューデイール政策は數々の失敗によつて崩壞の一步手前にあつたが、幸ひにも戰爭が起つたためこの崩壞から救はれた

しかしながらニューデイールの經驗によつて明らかなごとく、ルーズヴエルト政權は最早平和時の米國國政を處理する能力を失つてゐる、その證據には現政權の首腦部は平和時において米國內に數百萬の失業者が存在することは不可避であるとの建前をとつてゐるではないか、戰時體制から平和體制に移る大事業を擔當するものは共和黨政權でなければならぬ

ウイルキーの國際機構論

(リスボン七日發)ニューヨーク來電=米國政界の惑星ウイルキーは七日發行の「コリアース」誌に一文を寄稿「シカゴにおける卑怯」なる題下に民主、共和兩黨の外交綱領を猛烈に攻擊して次の通り述べてゐる

民主、共和兩黨が外交問題について過般シカゴで開かれた全國大會で示したやうな態度を續けるならば、第三次世界大戰の種を蒔いてゐると非難されても仕方があるまい、卽ち兩黨がシカゴ大會で採擇した黨綱領は全く調和し難い矛盾をもつて滿たされ、その內容は徒らに米國民を欺き混亂に陷れ幻滅感を抱かせるに役立つのみである、戰後に永續性ある平和の樹立されることを希望するわれわれの前に提起されてゐる問題は二つある、一つは米國民はあくまでも米國の主權を維持しなければならぬと主張してゐること、他の一つは將來の侵略を防ぎ平和を維持するためには、世界各國は多かれ少なかれ强力な國際機構のうちに融合されなければならぬことこれである、各國が夫々自國の權利と特權とを主張して一步も讓ることがないならば國際機構樹立の如き問題で各國間に協定のできる筈がない、それにも拘らず、われわれはかかる條件の下において國際機構の樹立問題を云云してゐる

それは明瞭なる矛盾である、しかしながらこの矛盾は容易に解決することができるであらう、なぜならわれわれが樹立せんとする機構は平和愛好國による協議機關であり、言葉は違ふかも知れないが、その實質的內容は過去の歷史上に數多くみられる同盟條約と殆んど大差ないからである、勿論かかる國際機構をつくりあげるためには各國の主權の極く一部が犧牲に供されることはやむを得ないことだ、ただわれわれが現實的であるには、將來の戰爭を防止するといふ大の蟲を生かすために、傳統的な主權の小部分を犧牲にするといふ小の蟲を殺す勇氣が必要である、しかもかくしてこそはじめて小國の權益も保障し得るのである

飜つて米國の經濟政策をみるに、口では多角的世界貿易主義を云々しながらも米國の商賣人は他國に對して賣つけることばかりを考へてゐる、米國が輸出するばかりで輸入することがなかつたならば他國は早晩通貨の不足によつて米國品を買ひつけることが出來なくならう、米國が輸出を欲するならば同時に十分な輸入をも行つて國際間の收支を健全な狀態にして保たねばならない、新たな立場から多角的、相互主義の貿易協定締結に乘り出すべきである

昭和十九年九月十一日(月)
第三一七六號
同盟通信
海外電報(第三種郵便物認可)

民需生産制限撤廢せん

(リスボン六日發)ワシントン來電=戰時生産局次長クルーグは六日次の通り發表した

歐洲戰終了と同時に現在實施されてゐる民需生産の制限は小數の例外を除き殆んど全部撤廢されることとならう、例外に屬するものは日本擊破のため絶對に必要な軍需生産に從事してゐる少數の軍需工場である、右につき生産局は既に陸海軍を初め關係機關の承認を得てゐるが、生産局が今回右の決定を行つた目的には二つあり、卽ち

一、日本に對して最終的勝利を得るまで對日戰に必要な軍需生産を依然として繼續すること

一、民需生産機能に出來るだけ廣い活動範圍を保證すること

國際報道自由交換決議案

(リスボン七日發)ワシントン來電=民主黨下院議員フルブライトは七日下院に對して國際間の報道自由交換を勸告した決議案を上程した、フルブライトは決議案上程にあたり提案理由を說明して「今次大戰勃發の一つの原因は國際間に報道の自由交換が行はれてゐなかつたことにある、將來の戰爭を防止するためには各國の報道が自由に世界各國に傳へられることを確實にすることが必要だ」と述べた

罷業各地に蔓延

(リスボン七日發)ニューヨーク來電=東部炭田における炭坑夫の罷業は政府の炭坑接收による强壓にも拘らず各地に蔓延の形勢にありルーズヴェルトは既に大統領令をもつて現在までに十四炭坑を政府の手に接收したが七日には更に新たな接收命令を發しペンシルヴアニア、ウエスト・ヴアージニア兩州に所在する十五炭坑を接收した、勞働罷業は炭礦業のみにとどまらず、その他の軍需産業にも大小規模の罷業が發生しつつあり、クリーヴランドの「黑鉛、靑銅會社」の二工場では約六千名の機械工がすでに一週間以前から罷業を續行中で、ルーズヴェルトは六日この二工場を陸軍の手によつて接收せしめたが、この强壓は罷業を終熄せしめるどころか却つて勞働者を激發し、全米機械工聯盟所屬勞働者六萬五千の總罷業をも誘致せんとする形勢となつた

【東南歐】

ソ聯に强硬要求か

(リスボン十日發)ソフイア來電によればブルガリアの對獨斷交は五日夜行はれ、同日午後六時ソフイア駐劄ドイツ公使ハインツ・ペケルレ氏に對し斷交に關するブルガリア政府の覺書が手交されたといはれる、同政府は右覺書の手交後直ちに閣議を開き新情勢を檢討したが、閣議の最中にソヴエト政府の對勃宣戰の布告が發表され、狼狽したムラヴイエフ政府は徹宵閣議を續け六日朝に至りソヴエトに休戰を申込んだのだといはれる、ソヴエトは依然默殺の態度を持してをりソ勃兩國の關係が今後どう展開するか明らかでない

一方カイロ情報によれば同地に滯在中のブルガリア和平使節は本國政府の態度が決定しないため米英兩國との休戰交涉を停止したまま待機してゐるが、一說によればムラヴイエフは新交涉全員を任命する意向と傳へられる、交涉委員の顏觸れ變更の理由は明かでないが右に關聯してアンカラからのA・P電がカイロ駐劄ソヴエト大使ノヴイコフ氏が最近協議のためモスクワへ歸還し目下歸任の途についてゐる旨報じてゐるのが注目される、右のA・P電によればソヴエト政府はブルガリアが米英兩國と直接交涉せず、ソヴエトを通じて休戰交涉を行ふやう希望し、同時にブルガリア內閣に共產黨員が參加することをも欲してゐるといはれ、アンカラからのN・P電は對獨斷交後ソヴエトは更に次の要求をブルガリアに提出するだらうと報じてゐる

一、ユーゴースラヴイアの遊擊隊にブルガリア領土の通過權を認めること

一、休戰交涉を再開する前にブルガリアはチトー軍と積極的協力をすること

かくてブルガリアの休戰交涉は今後多難を極めると豫想され、一部では攝政府の改組にまで發展するのではないかとみてゐる

昭和十九年九月十一日(八月)
第三一七六號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

米英首腦會談の議題

(ストツクホルム七日發)チヤーチル及びルーズヴエルトは愈々近くカナダのケベツクで會談することとなつた模様だが、七日のU・P通信ロンドン電は兩者の會談で協議さるべき事項として次の諸問題をあげてゐる

一、日本に對する攻撃作戰の强化
二、ドイツを軍事的に撃破する作戰計畫の承認

右作戰計畫は既に歐洲侵攻反樞軸軍司令官アイゼンハワーとその幕僚との間で出來上つてゐるといはれる

三、米英ソ三國の對獨案
四、武器貸與協定適用國の擴張問題
五、ソ波國境問題
六、歐洲諸小國の國境畫定問題
七、戰後侵略防止案
八、全般的な米英兩國提携問題

スエズ管理權問題化

(リスボン六日發)ロンドン來電=「イヴニング・スタンダード」紙は六日スエズ運河問題に關し、次の通り論じてゐる

フランスの解放によつてスエズ運河會社の將來が問題化した、その本社はパリにあるが、一九四〇年以來實權はロンドンに事務所を有する八名の英人取締役に掌握されてゐる、問題の焦點はスエズ運河の管理權がパリに復歸すべきかどうかだ、スエズ運河の大顧客たる英國の船主は管理權がロンドンにあることを喜んでゐる、一般人もスエズ運河は英國で所有した方が自然だとみてゐる、スエズ運河の眞の所有主はエヂプト政府で、スエズ運河會社は九十九年間の租借權を有するだけだ、一九六八年十一月十七日に租借期間が切れると同時にスエズ運河はエヂプト政府に返還される、租借權の延期も考へられるが、エヂプト政府はそれに對して相當大きな代償を要求するだらう、スエズ運河會社の戰前資本の約五十パーセントはフランスが所有し、四十四パーセントは英國(株券の大部分は元首相ヂスレリーの購入したもの)資本の殘餘は歐洲諸國及び米國が所有してゐる

【英國】

軍首腦協議

(リスボン七日發)ロンドン來電=英國陸相グリツグは七日地中海方面軍最高司令官ウイルソン及び西亞軍司令官陸軍大將パジエツトと協議を遂げた

下院任期延長

(ストツクホルム七日發)ロンドン來電=下院は一九三五年十一月選出されたまま任期を延長して現在に及んでゐるが、「デーリー・テレグラフ」紙の報道によれば、政府は任期を更に一年延長するに決定、近く法令を公布する豫定と傳へられる

【米洲】

亞國を再び誹謗

(リスボン七日發)ワシントン來電=米國務長官ハルは七日の新聞記者團會見でアルゼンチンを再び誹謗して次の通り述べた

西半球にファシスト運動の存在することは事實であり、その本據はアルゼンチンに置かれてゐる、ドイツからの逃亡者の入國を拒否する問題では各中立國がそれぞれ態度を明らかにしてゐるが、アルゼンチンのみが未だその態度を曖昧にしてゐるのはけしからぬ、右に關聯してはアルゼンチン國内に既に若干のドイツ人が入りこんでゐるとの說もあるが、米國政府は果してこれが事實か否か調査中である

亞國、攪亂分子を彈壓

(リスボン七日發)ブエノスアイレス來電=アルゼンチン大統領エデルミロ・フアレルは六日放送演說で國内の政情につき、次の通り述べた

アルゼンチン政府は國内の平和を攪亂する企圖に對しては斷乎たる處置をとりあくまで國内の治安を確保する方針である、アルゼンチン軍は一九四三年六月の革命によつて刷新されてゐるから軍の機構は徵動だもせず國内攪亂の企圖は全く無意味である

昭和十九年九月十一日(月)
第三一七六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

世界戰局の現段階 (下)

原子林二郎

決戰前夜の太平洋戰局

ルーマニアの休戰、フインランドの戰線脫落その他幾多の大事件を織り込んで、歐洲戰局は異常な緊迫度に達し、名實共に最後の決戰段階に突入した感を深めてゐるが、それに劣らず太平洋戰局も愈々激化し、彼我間に國運を賭す一大決戰の勃發する機が切迫してゐる、昨年一月のカサブランカ會談以來、米英反樞軸のまづ歐洲戰を片付けて後太平洋戰に全力を傾注するといふ方式が若干の安價な樂觀論を生み、ドイツが仆れぬ限り太平洋戰は決戰段階に突入することがあり得ぬとなし、太平洋戰局はそつち除けでドイツ頑張れと聲援する氣分が一部を支配してゐたが、本年一月のカイロ會談を契機として、米國は東西同時攻勢を呼號して、太平洋戰域で強引の反攻作戰を展開した結果、歐洲戰が片付かうと片付くまいと、ドイツが仆れやうと仆れまいと、太平洋戰局が激化の一途を辿り、遂には最後の決戰段階に遮二無二突入することは、今やなにびとといへども疑ひを容れる餘地がなくなつた

戰略、戰術の決戰段階

米軍のマリアナ侵攻作戰を轉機として、太平洋戰局はただならぬ雲行きを呈し始めるに至り、日本も米國も共に太平洋戰の決戰段階を日にして國民の戰意昂揚に努めてゐるが、一日に決戰段階といつても、これを軍事的にみれば戰術上の決戰段階と戰略上の決戰段階にわけることができる、勿論戰術上の決戰段階は戰略上の決戰段階と有機的に關係し、戰術上の一聯の決戰が統一され止揚されて戰略上の決戰を形成するのはいふまでもないが、單なる戰術上の決戰の累積がそのまま戰略上の決戰になるものではなく、兩者の段階の間には飛躍があり、質的轉換がなければならない、卽ち戰術上の決戰がいかに繼起しようとも、それ自體が戰略上の決戰をなすものではないことは、獨ソ戰の例にもみられるやうに戰術上の成功が屢々戰略上の失敗に終ることでも明瞭だ

戰術上の決戰段階が戰略上の決戰段階に飛躍し質的轉化を遂げるためには、その間に媒介するものが必要だ、そして太平洋戰における兩段階の媒介はいふまでもなく陸上決戰であり、野戰軍主力の遭遇戰とその殲滅でなければならない

媒介の段階

近代戰において戰略爆撃と封鎖のみによつて敵の死命を制しその膝を屈せしめることが不可能なのは、遠くはいはゆる「英國の戰」(Battle of England)近くは「ドイツの戰」(Battle of Reich)で明瞭だ、「英國の戰」において、ドイツは實に一萬機といふ未曾有の航空兵力を有し、しかもその五十六%は爆撃機であつたが、連日英本土に大爆撃を敢行し、ロンドンの機能を麻痺せしめ「コヴエントリー化する」といふ新術語まで造つたにも拘らず、遂に英國をして白旗を揭げしめるに至らなかつた、また「大西洋の戰」(Battle of Atlantic)においてはドイツは無慮四千隻の「海の狼」を大西洋、特に英本土周邊水域に放ち、英國の原料及び食糧補給線を扼したが、これまた英國の膝を屈せしめることができなかつた更に昨年春から引續き行はれた反樞軸空軍のドイツ爆撃は「ハンブルグの慘劇」を惹起した以外殆んどさしたる效果を擧げることができず、むしろドイツ國民の戰意を昂揚せしめ、兵器增産に拍車をかけさせるといふ逆效果をすら生ぜしめたのである

さてここで太平洋戰における米國の戰略態勢に檢討を加へてみよう、米國の太平洋戰略は極めて常識的で眞向からの正攻法であるが、それだけに間髪の餘裕と油斷を許さない

昭和十九年 九 月十一日(月)
第 三 一 七 六 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ソロモン群島を基地として西南太平洋戰域を北上するマツカーサー攻撃も、ハワイを基地としてギルバート、マーシヤル諸島を經由して鋒先をマリアナ諸島へ伸ばしたニミツツの中央突破攻勢もアリユーシヤン列島を基地として千島列島をねらふフレツチヤー攻勢も、終極の目標が日本々土の侵攻にあるはいふまでもなく、且つ既に日本々土の内線防衛線に突入してをり、太平洋戰局は急角度に激化してゐるが、以上の段階は畢竟戰術上の決戰段階に外ならず、これが戰略上の決戰段階たる日本々土の侵攻といふ最後の目標を達成するためには、極めて重要な一段階を經ねばならない

以上の媒介となる段階はいふまでもなく比島乃至臺灣に對する上陸作戰であり、この兩者の廣闊な地域を利用する野戰軍の一大決戰であり、日本陸軍の主力殲滅である、卽ち太平洋戰域における米國の主要攻勢をみるに、ニミツツが既に度々言明してゐるやうに、中部太平洋水域の中央突破攻勢の目標が比島、臺灣を經由する支那大陸への到達にあるは縷說を要せず、サイパン、テニアン、大宮島等のマリアナ諸島に對する侵攻作戰は窮極の目標たる日本々土上陸を達成するため、まづその媒介たる足場を比島、臺灣乃至支那大陸に求めんとするにある、またマツカーサーが蘭領ニューギニアに作戰範圍を擴大したのも比島侵攻の足場を固めるにあり、更にニミツツ及びマツカーサーがヤツプ、パラオに空軍攻勢を强化してゐるのも兩島の作戰機能を麻痺せしめて迂回通過を可能ならしめるか、あるひは兩島に上陸して比島侵攻の足場を擴大するにあることは明瞭だ

野戰による決戰避け難し

以上述べてきたことを要約すれば次の通りだ、米國は

一、是が非でも日本々土に侵攻しない限り、日本を決定的に叩き潰すことが出來ぬことを知つてをり日本々土侵攻を最終の目標と定めてゐる

一、しかるに現在の基地群から長大な海洋を渡つて必要とする尨大な兵員資材を日本々土に上陸せしめることは不可能である

一、そのためには比島、臺灣あるひは支那大陸と足場を一つ一つ築いて行かねばならない

一、しかしながら比島、臺灣に上陸すれば兩島の廣大な地域で日本の野戰軍と一大遭遇戰を展開しなければならない

一、他方殆んど無疵の狀態にある日本の野戰軍主力を殲滅しない限り、日本々土上陸は到底不可能だ

といふ戰略上の立場に立つてゐるわけだ、從つて米國はニューギニア、マリアナで戰術上の決戰を展開して、日本々土侵攻といふ戰略上の決戰段階の準備を進めてゐるが、この戰術上の決戰段階が戰略上の決戰段階まで押し進められるためには、媒介の段階たる比島、臺灣乃至は支那大陸における野戰軍の遭遇決戰を避けることが出來ないのである、しかるに米國にとつて最も惧るべきことは兵力の消耗である、從來の作戰方式を檢討すれば米國が如何に物量攻勢によつて人的資源の消耗を避けようと努めたかは明瞭である、更に歐洲における獨ソ兩國と並んで東亞における最大の陸軍國たる日本が文字通り無限の可能人的資源を擁して米國侵攻の行く手に立つてゐるにおいておやだ

米國は比島攻勢の前夜においてここに至つてはたと詰まつた、恐らくはルーズヴエルトは地圖を睨んで Quo Vadis ? と呟いたことであらうサンデー・タイムズ紙のワシントン電報が去る八月二十七日太平洋戰に對する米國の態度を傳へて米國の消息筋は歐洲戰局の動向に鑑みて、反樞軸軍が日本に對して總力を結集できるのも、豫期以上に近いこととだらうとみてゐる、既に進捗をみてゐる太平洋戰がドイツの退陣の結果猶餘なく一層の進捗を示すやうに十分な作戰計畫がたてられてゐるが、米國海軍筋は日本を仆すためには海軍力と空軍力だけで十分であり、陸軍が日本々土を占領するために行動を起すまでに戰爭は大團圓を告げるであらうと豪語してゐるが、かかる空景氣をもつてしては現實を糊塗することは不可能だ

昭和十九年 九月十一日(月)
第 三 一 七 六 號

同盟通信

海外電報
(第三種郵便物認可)

ルーズヴエルトは最近突如太平洋戰域を訪れ、ハワイにおいてはニミツツ、マツカーサー、ハルゼーその他中部太平洋及び西南太平洋戰域の米軍首腦と會見した後、更に北方へ飛んでアリユーシヤンを訪れ、フレッチヤーその他北太平洋戰域の米軍首腦と會見した、ルーズヴエルトが太平洋戰域を初めて訪問した理由は陸軍參謀總長マーシヤル、海軍々令部長キングを帶同してゐないところからみて事實上の軍事作戰協議とはみずに大統領選擧前の示威運動と解する見解が本家本元の米國で有力だが、勿論選擧運動をかねてのことではあらうが、それだけが目的といふことは出來ない

米國の太平洋戰略はすでに決定してをり、今更どう變へるといふことは出來ないが、ルーズヴエルトは決戰前夜に當つて親しく現地を訪れ、現地の將領と一堂に會して、太平洋戰局の見透しに關する現地側の見透しを直接聽取しようと圖つたことはおよそ推察出來るところだ、その結果どう決定したかについてはルーズヴエルト歸還後の空疎な手前味噌演說では全然推測すべき手掛りはない僅かにニミツツがルーズヴエルトと會談後マリアナ戰域を訪れた後に記者團に語つたことが手掛りとなる、卽ちニミツツは八月十三日記者團に對して今後の作戰に關し

一、戰局の現狀がもつと明確になるまでは、日本本土に上陸を行ふ必要があるかどうかは確かなことがいへない

一、日本々土に對する攻勢は戰略爆擊だけでは不十分だ、海上艦艇の艦砲射擊が並行して行はれねばならない

一、日本々土に對する尨大な距離のため、歐洲戰におけると同じ爆彈量を投下することは不可能だ

一、日本々土の爆擊に呼應して、南方資源との連絡を遮斷し日本を原料・食糧攻めにすると言明した、以上のことをさらに要約すれば、對日反攻作戰は差し當り日本々土の戰略爆擊と南方資源の遮斷を行ふといふことになり、結局態のよい決戰回避を意味するものだ

米國は最近B29「超空の要塞」をもつて日本々土に數回爆擊を加へたが、徒らに犧牲のみ多く且つ燃料その他の補助資材の莫大な量を消費するばかりでなく、連續爆擊を行ふことが出來ぬといふB29攻勢の缺陷は米國内でも指摘されてゐるところだ、けだし戰略爆擊は連續して行はぬ限り、その限定された效果すら擧げえぬことは周知の事實である、また日本々土に對して最も接近してゐる戰略爆擊基地はマリアナ諸島と東南支那の米第十四航空部隊基地だが、以上の基地よりB29以外に爆擊を行ひえぬ狀態にありサイパンからはさらに硫黃諸島及び小笠原諸島を中繼基地にしなければ、B29以外の爆擊機を使用する日本々土の連續爆擊は不可能である、また在支米空軍基地にしても、日本軍の夏季攻勢によつて危殆に瀕してをり現在のところ同方面の基地をさらに東進して、日本々土の連爆を行ふことは到底實現困難だ

さらに日本に對する原料資材及び食糧の輸送を遮斷して日本々土に封鎖環を張り廻らすことも、東は比島、臺灣を經由して支那大陸に達し、マウントバツテンがビルマ攻勢を强化して支那大陸に楔を打ち込まぬ限り、完全な效果を擧げえない、從つて米國が決戰を出來るだけ回避するための中間作戰も、必然的に野戰軍による一大決戰へと導いて行くことになる、いづれにしても米國は現在の戰術上の決戰段階を戰略上の決戰段階に發展せしめるためには遲かれ早かれ野戰軍による決戰を回避出來ないわけだが、米國内では直接比島を衝けと主張する說と、比島を迂回し出來るだけ早く支那大陸に達し重慶軍の危機を救ふと同時にシエンノートの基地を確保强化せよとする二說がある

比島侵攻の要

ニユー・レパブリツク誌は七月三日號に太平洋戰局に關する社說を揭げ、比島侵攻の戰略的に有利な所以を强調して次の通り述べてゐる

昭和十九年九月十二日(月)
第三一七六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

サイパンおよび附近のグアムその他マリアナの諸島更に周邊の島嶼は日本々土に對する戰略爆撃にとり恰好の基地をなす、これらの諸基地はアリューシヤン列島の基地のやうに悪天候に妨げられる度合はすくなく、且つ油槽船や貨物船で容易に補給を受けることができるといふ利便がある、更に日本々土に向ふ北方には小笠原諸島や硫黄諸島のやうな飛石をなす一聯の島嶼線があり、補助基地乃至中繼空軍基地としての役割を十分に果し得る、また戰略爆撃以外にマリアナ諸島を基地とする空軍力は比島までの米軍作戰を掩護するに役立つであらう

米國にとつて特に必要なことは西南太平洋のビアク島と中部太平洋のマリアナ諸島から比島に侵攻することだ、マリアナ諸島その他周邊の島嶼群は日本々土に對する侵攻作戰基地としては不十分だ、比島と臺灣が日本々土に對して有する關係は英國と北阿が歐洲大陸に對して有する關係に等しい、比島も臺灣も面積が廣く、尨大なる兵員器材を收容できるばかりでなく、更に多くの良好な港灣を有してゐる、以上の兩島及び周邊の諸島を基地として作戰するならば、米國海軍及び航空部隊は日本々土と蘭印間の海上連絡を遮斷して、日本の戰力を麻痺させることができる、また比島、臺灣その他周邊の島嶼を基地とする米軍航空部隊は日本の工業心臟に爆撃を加へることもできよう、更に琉球列島は日本々土に對する戰略および戰術爆撃、最後には日本々土侵攻作戰の飛び石に利用することができる

次いで同誌は支那大陸に對する突破作戰が不必要なばかりでなく、戰略上不利な所以を指摘して次の通り論じてゐる

以上の經路によつて日本々土に侵攻するならば支那大陸で長期にわたる消耗戰を展開する必要は毫もなく、たとへ支那大陸に進出しても、最後にはやはり日本々土に侵攻しなければならない、重慶を東亞における戰後の安定勢力として確保することは重要だが、純軍事的觀點からみれば、日本本土侵攻作戰に先立つて支那大陸で大規模の陸上戰を展開することは、米國の人的物的資源を最も經濟的にかつ有效に使用することにならない、日本が太平洋戰域で喪つたものを償ふために、支那大陸へ野戰軍を集結すればするほど、日本々土に侵攻して、大陸の野戰軍の腹背を衝くことが容易になる筈だ、さうすれば支那大陸の日本軍は萎縮した四肢のやうなものだ、特に近代戰のやうな物量の戰ひにおいては、軍隊は補給が不斷に繼續され兵力の補充が斷え間なく行はれねばならないから、本土が征服された後に大陸の日本軍が戰ひを續け得るかどうかは大いに疑問だ、もしも工場の一部が空襲を避けるため勞働力と共に支那大陸に疎開したとしても原料資源の點でも、生産の點でも、工業勞働力の點でも支那大陸の軍隊を獨力で維持することは困難だ

以上のニユー・レパブリツク誌の主張は論旨整然として一見もつともな感を抱かせるが、一枚皮を剝ぐと、支那大陸への進出を否定してゐるのは日本軍との野戰による長期消耗戰を避けるにあるが、しからば比島においてはかかる可能性がないかどうかといふことには口を緘して語つてゐない

最後に太平洋戰の前途に對する米英兩國言論界の總括的な戰局觀を紹介しよう、代表的なものとして擧げ得るのはマンチエスター・ガーデイアン紙の八月十二日附の社說とニユーヨーク・タイムズ紙ワシントン記者シドニー・シヤレツトの六月二十五日附の論說だが、兩者とも支那戰線における現下の戰局を深刻に憂慮し、戰局の如何によつては支那大陸へ到達しようとする米軍の努力を水泡に歸せしめる惧れがあるといふ悲觀論を例外なしに吐いてゐる點で、いろんな意味から注目に値すると考へられる、マンチエスター・ガーデイアン紙社說の要旨を紹介すれば次の通りである

ルーズヴエルトは對日戰開始以來初めてホノルルを訪問して、太平洋戰域の各將領と會談したが、もしもこの會談が重要なものでないならば米國民を二週間もの間五里霧中に迷はせて遙々長途の旅に出る筈がないことは容易に想像出來るところだ、事實今次のホノルル會談は太平洋戰における轉換點だといつても過言ではない

大正十五年十月廿六日第三種郵便物認可　編輯發行人　萩野伊八　東京部麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和十九年　九　月十二日(火)
第　三　一　七　七　號

同盟通信
海外電報

(210)



チヤーチルは日本流にいふと七十一歳だがその頽齢にも拘らず、形影相隨ふ賢夫人を同伴十日ケベツクに乘込んだ、ルーズヴエルトも三軍の司令を帶同して、今明日中に乘込み愈々歐洲の政治的處理と太平洋反攻作戰とについて協議する段取だ、チヤーチルは八月二日英國下院における演說で「山狗が生きてゐる間に山狗の毛皮を賣つた男は狩の最中殺されてしまつた」といふ諺を引いて皮算用を誡めたが、恐らくはケベツク會談では夫子自身大いに皮算用に耽けるに違ひない、太平洋反攻作戰が會議の重要議題であることは、スチルウエルが急遽重慶から米國に向つたことに徵しても明瞭だ、しかしこれらの重要議題のほかに「二十世紀の怪物として歐洲を濶歩しようとするソヴエト聯邦との關係が、御兩人頭痛の種であることは疑ひない、ヘウム政權と亡命ポーランド政權との關係をどうするかバルカン地方に對するソヴエト政府の政治外交攻勢に對し米英兩國が如何なる手を打つか等、懸案はケベツク會談の卓上に堆高い、最後に米英兩國間に不愉快な論爭の的となつてゐる印度政策が控えてゐる、チヤンドラーのあげた火の手は仲々收りさうもなく、米國の印度聯盟首領シルダール・シングなどが米ソ兩國と重慶代表とから成る調停委員會を印度に派遣してもらひたいなどと、英國人が一番嫌がり、米國人が最も喜ぶやうな提案を持ち出して印度人が鮮血をもつて英國人から學んだ「分けて治める」政策を米英兩國に適用しようとしてゐる、大西洋憲章の羊頭を如何程高く揭げようとも印度政策の現實は狗肉といふにも値ひしない、大東亞宣言を着々實踐する帝國の施策とは極めて著しい對照を示してゐるではないか

【目　次】

英首相ケベツク到着……二〇七七
太平洋戰略を協議せん……〃
スチルウエル、米國へ……〃
調停委員會を提唱……〃
海軍兵力の增强を企圖……〃
西部獨軍司令官モーデル元帥……〃
ド・ゴール政權改造……〃
【東南歐】
東南歐洲の情勢緊迫……二〇七八
快速調のバルカン進出……二〇七八—二〇七九
勃內閣總辭職……二〇七九
勃新內閣成立……〃
勃攝政更迭……〃
フイロフ、攝政會議を辭す……〃
羅、休戰條件發表……〃
バルカンへの宣傳工作……〃
【ドイツ】
ボルシエヴイズムの脅威を說く……二〇八〇
バルカンの動きソ聯の筋書通り……〃
【米國】
デユウイ孤立主義淸算……二〇八一
大統領、首腦者會談續行……〃
國際カルテルを非難……〃
バーンズ再轉換聲明……〃
全地域に再び罷業の波……〃
軍部の內訌を暴露……二〇八二
前線復歸を嫌惡……〃
開戰以來の兵員損害……〃
重爆機生產高……〃
八月中飛行機生產高……〃
八月中造船高詳報……〃
米使節會談續行……〃
【反樞軸陣營】
小磯聲明一大痛擊を與ふ……二〇八三
對日短期作戰を豪語……〃
波亡命政權を繞る對立激化……〃
【米洲】
亞國米洲委員會脫退……〃
【英國】
イーデン、日本擊破を豪語……二〇八四
石炭飢饉深刻……〃
一週間の戰費一億一千萬磅……〃
【印度】
ガンジー、ジンナー會見……〃
【濠洲】
明年度の豫算案……〃
【聯ソ】
勃の休戰要請受諾……〃
停戰命令發令……〃
【北歐】
獨兵・軍需品の瑞典領通過停止……〃
【特輯】
世界戰局の現段階（續き）……二〇八五—二〇八六

昭和十九年 九月十二日(火)
第三一七(号外第七)號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

英首相ケベック到著

(リスボン十日發)ケベック來電=チヤーチルは陸海空三軍の司令、戰時運輸相レザース、科學顧問シヤーウエル等を帶同、十日ケベックに到着した、カナダ首相マツケンジー・キングも相前後してケベックに到着した

太平洋戰略を協議せん

(リスボン十日發)英國首相チヤーチルはケベックに到着、愈々ルーズヴエルトとの會談を開始するが、今回の會談では歐洲戰局の政治的處理並びに太平洋戰略が主として討議される見込みであるチヤーチルは陸海空三軍の最高司令の他に軍事顧問レーコツク少將、サー・ヘスチングス・イズメー大將などをも帶同してゐる

スチルウエル、米國へ

(リスボン十日發)重慶からのロイター電報によれば米軍司令スチルウエル大將は十日重慶を出發空路米國へ向つたと傳へられる、恐らくケベックにおける米英兩國代表の會談に參加し、太平洋反攻作戰につき現地の事情を具申するためとみられる

調停委員會を提唱

(リスボン十日發)米國上院議員アルバート・チヤンドラーが反樞軸軍司令部附外交顧問ウイリアム・フイリツプスの辭任に關聯し英國の印度政策を扱き下ろして以來、米國政界筋では印度問題の討議が頓に活潑化するに至つたが、ニューヨーク來電によれば米國における印度聯盟の首領シルダール・シングは十日聲明を發表し、卽時調停委員會を印度に派遣することを要請したと傳へられる右言明によれば委員會は米ソ兩國並びに重慶政權の代表をもつて組織、卽時印度に赴いて次の三點を調査することを提唱してゐる

一、英國との關係について印度土侯領の地位を徹底的に檢討すること

一、回教徒その他少數民族問題の檢討

一、英印兩國民間の調停、印度を國防團體の自由な成員とする實施項目の立案

フイリツプスが英國政府の印度政策を批判したのに對して、英國の情報省は「合衆國内における英人官吏の手びき」と題する小冊子を發行、印度政策を辯護してゐるが、シングは今回の聲明でこの小冊子を完膚なきまで扱き下し

七百哩のビルマ戰線なぞといふのは單なる神話に過ぎない、國境地帶數百哩は高峻な山岳地帶で斧鉞の入らぬ密林だ、英軍はこの戰線でたつた一度だけ日本軍に對し攻勢に出たが、これがアラカンの悲劇だ、日本軍が印度に對し攻勢をとらなかつたら、抑々ビルマ戰線なるものは現在存在してゐなかつただらう

と述べてゐる

海軍兵力の增强を企圖

(リスボン十日發)ワシントン來電=米國海軍長官フオレスタルは十日次の通り言明した

一九四五年六月三十日をもつて終了する現年度内に米國海軍は六十萬人の新人員を訓練しなければならない、日本軍に對する戰ひのために六月までに米海軍の兵力は三百三十八萬九千人に達しなければならぬ

西部獨軍司令官モーデル元帥

(ベルリン十日發)ドイツ軍當局筋の言明によれば、現在西部戰線においてはフオン・クルーゲ元帥に代り元東部戰線中部戰區司令官モーデル元帥がドイツ全軍の指揮に當つてゐるといはれる

ド・ゴール政權改造

(チユーリツヒ十日發)ロンドン來電=亡命フランス政權首班ド・ゴールは九日夜内閣を改造したが顏觸れ次の通り

外　相　ジョールジユ・ビドール
經濟相　ピエール・ラランス
財　相　ルペルク
農　相　ロベール・タングイ・プリジヤン

なほ新外相ビドールは「ロープ」紙の主筆でフランス國内叛軍の組織に重要な役割を演じ、ド・ゴールのパリ入城に際し首相の地位を要求した男である

昭和十九年 九 月十二日(火)
第 三 一 七 七 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

東南歐洲の情勢緊迫

(ブダペスト小田特派員六日發)東南歐洲を吹き荒ぶ嵐は今や最高潮に達し、獨ソ米英四國交錯しての政戰兩面に亘る攻防戰が酣だが、情報を綜合すれば現下の情勢は次の通り

一、ルーマニア方面

赤軍はルーマニア北部及びプラソフからドナウ河に達する線の東部全般の占據を終へ今後相當大規模な兵力によつてハンガリア領トランシルヴアニア山地を攻撃し、ドナウ河に沿つて西進する形勢を示してゐる、またソ羅兩國間における和平交涉の成立を待ち、近く米英兩國は西亞空軍をルーマニア國内に移駐させよう

二、ハンガリア

ドイツ軍の支持によつてソ羅兩國に對する防衛戰の覺悟を極めた樣子で、一日早朝ドイツ軍は逆に南方からルーマニア領に進撃、トランシルヴアニア南部を占領して赤軍の西進を阻まうとし目下ルーマニア軍との間に戰闘が展開されてゐる、ソヴエト政府從來の對ハンガリア態度及びモスクワ放送局が新首相ラカトス將軍をソヴエト聯邦攻撃の責任者として攻撃してゐる點からみても謀略によらず力で押潰さうとする赤軍の意圖は明瞭で、結局ハンガリア現内閣はあらゆる情勢から察して赤軍との一戰を決意、國力の許す限りの動員强化に努力してゐる、ドイツ軍もハンガリア防衛には力瘤を入れ、最近ドイツ軍參謀總長グーデリアン將軍がブダペストを訪問してハンガリア軍部と打合せを了し、以後ハンガリア駐在のドイツ軍兵力は急激に增大しつつあり、樞軸軍の第一線としてのハンガリア國内の色彩は日毎に濃厚となつてゐる更にドイツ軍當局は東南歐洲におけるドイツ軍の全組織の中樞機關をハンガリア國内に移す豫定ともいはれる

三、地中海方面

ドイツ軍當局はイタリア方面における反樞軸軍の動きから見てリミニ、ヴエネチア間またはイストリア半島方面へ反樞軸軍が上陸するかも知れぬと傳へてをり各種の情報も相當以前から右觀測を裏書してゐる、またイスタンブール電報によれば、ドイツ軍は既に多島海の諸島からの撤兵を完了、ギリシヤ領、舊ユーゴースラヴイア領一部からも撤兵するだらうと傳へてゐるが、この場合ドイツ軍はベルグラードからイタリア北部に亘つて新防衛線を布くこととならう

快速調のバルカン進出

(ブダペスト八日小田特派員發)ブルガリアに對するソヴエト政府の宣戰布告はルーマニア政府の離脱以來、各方面に露呈されたソヴエト聯邦全バルカン急速占據の意圖を愈々明瞭に示した

× ×

從來ソヴエト聯邦に對するブルガリア政府の媚態から押して一見奇異な感を與へるが、東南歐洲の現地では赤軍のブルガリア國侵入を必須と看做してゐたので宣戰布告の事實そのものには大した驚愕を示してゐないが、バルカン占據を狙ふソヴエト政府の猛烈な驀進振りと當然激化する米英ソ三國の紛爭及びトルコ政府の情勢が今後の問題だバクリアノフ將軍を首班とするブルガリア前内閣はあらゆる犧牲を拂つて赤軍並びに反樞軸軍の侵入を避けようとし、トルコ政府と共にいはゆる中立政策を採つて來たが、赤軍が勃羅兩國の國境に達し、ブルガリア國内の軍事基地提供を求めると共に紛爭を避けるためバクリアノフ將軍は辭職し人民戰線的色彩のムラヴイエフ氏が新内閣を組織し、極力ソヴエト政府の要求を緩和しようと企圖した

しかしソヴエト政府は新内閣によつて行動の自由を束縛されるのを迷惑視し、急遽宣戰布告の荒仕事により、ブルガリア政府が和平を乞ふのを待つて侵入、米英兩國に有無をいはせず、ブルガリア全土を自由に利用する狙ひと見られる、局面はソヴエト政府の筋書の通り進み、ブルガリア政府は宣戰後五時間にして和を乞ひ、國内には共產黨内閣出現の動きも增大し赤軍は八日朝來ドブルジヤ地方から續々ブルガリア國内に進駐を開始したB・B・Cが六日の放送でカイロにおけるブルガリア和平使節の存在が曖昧になつたと述べたのは米英兩國の困惑を語つて意味深長である

昭和十九年 九 月十二日(火)
第 三 一 七 七 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

現に赤軍がルーマニア國内に大軍を投じブカレストから西進既にセルビア國境數十粁に迫つてゐるが、惟ふに赤軍は西は舊ユーゴースラヴイア領全部に急速展開し、北はハンガリアを脅かすと同時に南トルコ、ギリシヤ兩國を窺ひ、事實によつて米英兩國を尻目にバルカン全土を占據する意圖と解される、ソヴエト政府を牽制しブルガリア國内侵入を狙つた米英兩國の目算はすつかりはずれてしまつた、しかも英國の自國勢力圈の最小限度としてゐるトルコ、ギリシヤ兩國の立場が頗る險悪となり、特にトルコ國會が非常な衝撃をうけ未曾有の緊張振りと傳へられる

ソヴエト聯邦の言論機關は最近執拗にブルガリア政府を論難した後宣戰を布告したのは、ドイツとの斷交後、「プラウダ」紙その他がトルコ政府を非難攻撃してゐる情勢と酷似してゐる、トルコ政府ではソヴエト政府の宣戰布告を極度に懸念し唯一の對策として自發的にドイツに宣戰を布告、反軸樞軍のトルコ進駐を誘致せねばならぬとの意見さへ擡頭してゐる、久しい以前からトルコ政府に對し海峽の非武裝、國際化を要求してゐるソヴエト政府は海峽問題解決にブルガリア國から南下する自國軍隊を廻はさぬはずはなく、假令トルコ政府が米英兩國と圖つて如何なる對策に出ても、ソヴエト政府がこの際極力要求貫徹に努めることは火を睹るよりも明らかだ、かくして英ソ兩國の關係は正面衝突まで行かなくともきはどい線を辿らう、東部戰線における赤軍の靜止狀態と睨み合はせ、ソヴエト政府最近の動向は刮目に値ひしよう

【東南歐】

勃内閣總辭職

(リスボン九日發)ソフイア來電によればコンスタンチン・ムラヴイエフを首班とするブルガリア内閣は成立以來一週間餘にして九日總辭職したといはれる

勃新内閣成立

(リスボン九日發)ソフイア來電=ムラヴイエフ内閣瓦壞の後を受けてブルガリア元首相キモン・ゲオルギエフが九日組閣の命を受けた現在までに決定せる顔觸れ次の通り

首　相　キモン・ゲオルギエフ
陸　相　陸軍大佐　ダミアン・ベレシエフ
外　相　スタイノフ
宣傳相　デイノ・カサロフ

勃攝政更迭

(リスボン九日發)ソフイア來電=新宣傳相カサロフは九日次の通り發表した

一、國王シメオン・ミハイ一世は布告をもつてキリル大公及びミチヨフ將軍を攝政會議から罷免代つてヴエネリン・ガーネフ敎授及びハヴロフ氏を攝政に任命した

一、一九四一年以來内閣に列した全閣僚及びブルガリアの危機招來に責任ある官僚はすべて逮捕され、財産は國庫に沒收される

一、ブルガリア内閣はミハイロフ敎授を首班とする代表團を派遣、ソ聯と和平交涉を行はしめる

フイロフ、攝政會議を辭す

(リスボン九日發)九日のソフイア放送によれば親獨派と目される元首相ボグダン・フイロフ氏はブルガリア攝政會議から退陣したといはれる

羅、休戰條件發表

(リスボン九日發)アンカラ來電によればルーマニア國務相マニウは八日ソ羅兩國間の休戰條件の内容を次の通り發表したといはれる

一、ベツサラビヤ及びブコヴイナをソ聯に割讓する

一、赤軍のルーマニア領内通過を許し一切の交通運輸機關を赤軍の使用に委ねる

一、ソ聯に對し戰爭による損害を賠償する

一、赤軍は軍事作戰期間中ルーマニアの被占領地域をも確保する

一、ソ聯はウイーン協定の不法を認めルーマニアのトランシルヴアニア要求を全幅的に支持する

バルカンへの宣傳工作

(リスボン八日發)「デーリー・スケツチ」紙の報道によれば英國の情報省は早くもバルカン地方に對する宣傳工作を考慮、ブカレストに大掛りな宣傳機關を設置する意圖といはれる

昭和十九年　九月十二日(火)
第三一七七號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

【ドイツ】

ボルシエヴイズムの脅威を說く

(ベルリン九日發)新聞長官ディートリツヒ博士は八日記者團との會見で次の如く述べた

ブルガリアに對するソヴエト政府の宣戰布告は別段驚くに當らない、殺人的な組織に對して武器をとつて對抗することの出來ない弱小國とみるとソヴエト聯邦は過去においても現在においても野獸的武力行爲を敢へてしてきたが、今回の「宣戰布告」もその繼續にほかならない、すでに一九一九年當時からソヴエト政府は皮肉な武力政策を續けてきたが、世界は今日初めてその苦しさを體驗した

次にソヴエト政府はブルガリア政府に對し皮肉な攻撃を加へたが、何か特に下心があつたのかといふ質問に答へて

テヘラン會談においてチヤーチルとルーズヴエルトはソヴエト政府が歐洲を支配し、歐洲がソヴエト聯邦の奴隷となることに同意した結果、スターリンは單にフインランド、ルーマニア兩國だけでなくブルガリアにまでボルシエヴイズムを擴めて指導階級を絶滅し、歐洲の傳統を一掃し、各國民を奴隷化しても反樞軸諸國は決して妨害しないと確信するに至つた、ソヴエト政府と同盟を結んでもソヴエト聯邦の攻撃を避けるといふことにはならず却つて攻撃を促進し自國への死刑宣告に署名するに等しいことが示された、以上はバルト諸國が均しく體驗したところである、ソヴエト政府と同盟及び不可侵條約を締結して僅かに數箇月でバルト諸國は獨立を奪はれ國土はゲー・ペー・ウーの支配するところとなつた、ポーランド人もソヴエト政府と交涉を開始するや否やソヴエト政府の手玉にとられ、ルーマニアでも宮廷の裏切り分子が赤軍にドナウ地區進駐を許すと共に全國土は不幸にも共產主義の脅威に曝されてしまつた、ブルガリア國民が弱味をみせ始め、戰ひ拔く氣力を喪失し、ブルガリア政府が卑怯にも中立を宣言するに決した時スターリンは逸早くブルガリア攻撃を開始した、しかもソヴエト政府は既に一九四〇年にこの侵略を豫言してゐた

と述べた後、更に歐洲の將來に言及次の通り結論した

獨り歐洲諸國だけでなく世界の文明國はブルガリアの二の舞を演じてはならない、今回の事件でスターリンの無法な武力政策は遺憾なく暴露されチヤーチル並びにルーズヴエルトも正體を暴露してしまつた、ドイツ軍と協力してボルシエヴイズム及びボルシエヴイズムの攻撃に對しあくまで闘ひ拔く國家だけが歐洲で獨立を維持できよう、武器を捨ててボルシエヴイズムの約束を信じこんだ國には滅亡の一途あるのみだ

バルカンの動きソ聯の筋書通り

(ベルリン九日發)ブルガリア政府の對獨宣戰布告に關し、ドイツ外務省は九日正午次の見解を發表した

歐洲において米英ソ及びドイツの四大強國を悉く敵に廻すに至つたのはブルガリア一國だけである、裏切りに始まつたブルガリア政局は遂に混沌たる狀態を呈するに至つたがドイツがバルカンに秩序を保ち、情勢安定の要素となつてゐた間はハンガリア、ルーマニア兩國積年の紛爭さへも解消されて、兩國の友好は漸く軌道に乘つた形だつた、しかし混沌は秩序を維持してゐた力が退場すると共に姿を現はした、今やソヴエト政府はブルガリア政府と交戰狀態に入るに及び同政府との交涉に反樞軸諸國の代表となることを望み、確報によれば米英兩國に對しても既に七日通達したといはれる、右要求はテヘラン會議の取極めに基づいてゐるブルガリア政府が今回の措置に出た裏にはトルコ政府の力が大きく動いてゐた、トルコ政府は絶えずブルガリア政府を壓迫して降伏を强ひた將來の土ソ關係を論ずるには一應一九四〇年モロトフがモスクワにおける聲明で「ソヴエト政府はトルコ政府と差向ひで話をつけなければならない問題がある」といつたことを想起しなければならない、しかも今や獅子の分前は先に手を出したものに有利に片づきさうだ

最後に一つ確かなのはバルカンの地盤がロンドンとは反對にモスクワに向つて滑り出さうとしてゐることで、その滑る地盤の上に果してトルコが乘つてゐるかどうかは遠からずして明らかとならう

昭和十九年 九 月十二日(火)
第三一七七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米 國】

デユウイ孤立主義清算

(リスボン九日發)ニユーヨーク來電=共和黨大統領候補デユウイは選擧運動のため目下各地を遊説中だが、八日ケンタツキー州ルイスヴイルで次の通り演説した

米國は再び孤立主義に復歸してはならない、將來の世界平和を維持するための國際機構を樹立するためには米國民は黨派を超越した一致の行動をとる必要がある、米國は第三次大戰を欲せずこれがためには戰爭が始まつてから米國が參戰するといふやうな方法はとらず戰爭が起る前にこれを防がなければならない、卽ち反樞軸國は日獨兩國を軍事的に粉碎すべく兩國の武裝を解除し戰爭犯罪者を處罰し、兩國の再軍備の如きは絶對に許すべきでない、ドイツに對してはルールの軍需産業地帶は國際管理の下におくべく、また相當長期に亘り航空機工業を禁止すべきである

大統領、首腦者會談續行

(リスボン九日發)ワシントン來電=ルーズヴエルトは八日陸海軍首腦と軍事會談を開催したが、引續き九日も外交、經濟の政府首腦を白堊館に召集して會談した、ルーズヴエルトは同日更にワシントン駐劄英國大使ハリフアツクスとも會見した

國際カルテルを非難

(リスボン八日發)ワシントン來電=大統領ルーズヴエルトは八日の新聞記者團會見の席上で、彼が最近國務長官ハルに送つた書翰を披露したがその要旨次の通り

國際間の自由通商に重大な支障を與へてきたものは國際カルテル組織だつた、されば戰後の國際貿易の再建に當つては、各國がかかるカルテル組織を經濟戰における武器として利用することを廢止しなければならぬ、その手はじめとしてドイツが戰前に張りめぐらしてゐたカルテルを根本的に破壞し去ることが必要だ

バーンズ再轉換聲明

(リスボン九日發)ワシントン來電=戰時動員局長官バーンズは九日歐洲戰終了後の米國軍需産業の再轉換計畫につき全文七千語に亘る長文の聲明を發表した、その要旨次の通り

歐洲戰の終了とともに政府は現在實施中の多くの戰時經濟統制措置を撤廢乃至緩和すべく、勞働者の勤務時間制も戰前の一週四十時間制に復歸することとならう、戰後の失業問題につき各方面で憂慮の聲がきかれるがこれはいづれも非常に誇張されてゐる、ただ政府としては萬全を期するため現在から周到な準備を整へて置くのである、戰爭終了と同時に戰時の爲に準備されてゐた約八百萬トンの食糧が一般に開放されるべく、一方食糧に對する需要の減少も豫想されるので議會は農産物價維持費として約二百萬ドルの豫算を計上する必要があらう

全地域に再び罷業の波

(リスボン八日發)ニユーヨーク來電=米國民の間に瀰漫する戰局樂觀論を反映して再び勞働罷業の波が押寄せた、八日にはリベレーター重爆撃機の製造に當つてゐるフオード會社のウイローラン大工場が罷業のため操業停止のやむなきに至つたが、その他にも大小規模の勞働罷業が全米各地を通じて續々發生してゐる、八日現在各地における主要罷業次の通り

一、東部炭田の罷業は漸次擴大して政府が大統領令によつて接收した炭坑の數は現在すでに三十三に達してゐるが、ペンシルヴアニア、ウエスト・ヴアージニア兩州に限られてゐた罷業は他の隣接各州の炭坑地帶にも波及せんとする形勢にあり、政府は今明日中にも更に多數の炭坑を接收すべく準備を進めてゐる

一、デトロイト地區ではウイローラン工場の罷業のほかにブリツグス製作會社工場でも二百四十名の職工の罷業により同工場一萬一千名の勞働者が作業不能に陷つた、同工場はB29爆撃機の部分品製作に當つてゐる

一、テキサス州においても重要三軍需會社工場に新たに罷業が發生した、第一はハンブル石油會社の經營するイングルサイド精油工場の罷業で第二はヒユーズ工作機械會社所屬の工場における罷業であるが、これは既に陸軍によつて接收された、第三の罷業はモシヤー鋼鐵會社で發生CIO系の合同鋼鐵勞働組合所屬職工約三百名が罷業中である

軍部の内訌を暴露

（リスボン九日發）ワシントン來電＝サイパン作戰の際米海軍海兵隊司令官として上陸軍の指揮に當つた海兵隊中將ホランド・スミスは九日新聞記者團會見の席上サイパン作戰の際の內訌を暴露して、次の通り述べた

サイパン作戰の眞最中に余は上陸軍の最高司令官として陸軍司令官少將ラルフ・スミスを罷免する事を餘儀なくされた、その事情の詳細を今發表する譯にはゆかぬが米國軍として頗る不幸な事件であつたことは否定出來ない

前線復歸を嫌惡

（リスボン九日發）ニユーヨーク來電＝週刊誌「タイム」の報道によれば太平洋戰域で負傷また罹病した約一萬七千名がフロリダ州マイアミ及びカリフオルニア州サンタ・バーバラの病院で加療中であるが、彼等に對して最近調査を行つた結果、そのうち一人として再び前線に復歸したいと望んでゐる者のないことが判明した、しかし彼等は傷病が治れば再び前線へ出て行かなければならないことを知つてゐるので、一日でも長く病院にとどまらうと故意に全快を遲らせてゐるといはれる

開戰以來の兵員損害

（リスボン七日發）ワシントン來電＝陸軍省並びに海軍省は開戰以來の陸海軍兵員損害に關し、七日次の通り發表した

陸軍（八月二十一日現在）

三〇五、七九五名

（八月三十一日の發表に比し、二〇、九五七名增加）

內譯

戰死	五七、六七七名
戰傷	一五六、九三三名
行方不明	四五、九六七名
俘虜	四五、二一八名

（但し戰傷者のうち六萬三千九百八十六名はすでに軍役に復歸してゐる）

海軍（九月九日現在）

六〇、五九九名

（八月三十一日の發表に比し二、二四六名增加）

內譯

戰死	二四、〇四四名
戰傷	二三、四二三名
行方不明	九、六六六名
俘虜	四、四六六名

陸海軍合計

三六五、七五九名

重爆機生産高

（リスボン六日發）ワシントン來電＝戰時生産局は六日次の通り發表した

米國の重爆擊機生産高は本年六月以降每月平均一千五百臺である、このうちでB29超空の要塞機の割合は急速に增加してゐる

八月中飛行機生産高

（リスボン六日發）ワシントン來電＝戰時生産局は六日次の通り發表した

八月中の軍用機生産高は七千九百三十九機だつた生産豫定八千二百二十八機に及ばなかつたが、これは飛行機の型に改良が加へられた結果である、B29をはじめ重爆擊機の生産に重點が移されると共に今後生産機數は減少に轉ずべく、九月の生産割當は七千九百三十四機と豫定され、それ以後每月五パーセント宛減少してゆく筈である

八月中造船高詳報

（リスボン六日發）ワシントン來電＝米國海事委員會の發表によると八月中の造船高は百十九隻、そのトン數合計は百十五萬七千六百二重量トンとなつた、年初來の造船高は總計一千百九隻そのトン數一千百五萬九千五百八十八トンに達した、進水船舶のうちリバテイ型船が依然として最大の隻數を占めたが、その數は五十隻に減少した、その他の主なるものは油槽船十六隻、ヴイクトリー型貨物船九隻、標準型貨物船七隻、コンクリート船十隻等だがこれらのうちには陸海軍の注文による特殊船舶二十八隻も含まれてゐる

昭和十九年 九 月十二日(火)
第 三 一 七 七 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

小磯聲明一大痛撃を與ふ

(チューリツヒ八日堀口特派員發)小磯首相が七日の帝國議會で行つた演説は歐洲各國に多大の反響を與へたが、特に東印度に獨立を與へる用意ありとの聲明は東印度の舊領主國たるオランダ國境に反樞軸軍の先鋒が迫らんとしてゐる際とてとりわけ重大視された、チューリツヒの國際消息筋、なかんづく東亞通の間では世界戰局の現段階において、日本の首相がかかる聲明を發したことは政治的にも戰略的にも近來にない大ヒツトだとの意見に一致してをり、その理由として次の見解を披瀝してゐる

小磯聲明の結果、太平洋戰爭における反樞軸陣營は極めて困難な地位に陷るに至つた、卽ち反樞軸側は對日戰においてその戰爭目的が日本の支配下にあるアジア民族を解放するにあると頻りに宣傳してゐるが、小磯首相が今回東印度獨立承認の約束を與へてしまつた以上この主張は最早やその根據を失つたわけである、さらに反樞軸軍がオランダ亡命軍をひき連れてアジアに攻め入り、日本によつて折角獨立を約束された東印度を再びオランダ帝國の桎梏下に編入せんとすれば、「解放者」を自稱する反樞軸軍が却つて侵略者の立場に置かれることとならう、英國はすでにビルマとの關係において同樣の窮境に追ひこまれてゐるが、オランダとしては過去久しきにわたり本國民の安樂を保障するために搾取し來つた東印度を放棄してこれに獨立を與へるか、乃至はアジアにおけるオランダ植民地帝國を依然として維持するためにその獨立を拒否するか、二途のうち一つを選ばなければなるまい

しかるにオランダが若し後者を選ぶ場合には舊蘭印の住民を悉くその敵にまはすことを意味し東印度民衆は日本の「大東亞共榮圈」こそ眞に彼等自身の自由を確保するのであることを今更の如く自覺して日本と共にアジアの解放、獨立のために飽くまでも戰ふだらう、小磯首相の聲明が急速に實現する場合には東亞における反樞軸軍の立場は益々困難を加へるに至らう

對日短期作戰を豪語

(リスボン九日發)ブレトリア來電=印緬支方面米陸軍輸送部隊司令官代將ハーデインは九日米本國へ歸還の途、ブレトリアに到着したが、反樞軸軍の對日作戰につき次の通り述べた

反樞軸軍は比較的短期間內に日本をやつつけてしまふだらう、反樞軸軍が直面する任務は日本に最後の攻撃を加へる態勢を整備するにある、この整備が完了された曉には東亞における反樞軸軍の兵力は日本軍の兵力に對し比較にならぬほど大きなものとなる

波亡命政權を繞る對立激化

(チューリツヒ九日發)ワルソー蜂起軍に對し、ソヴエト政府が軍事上の援助を拒否したばかりでなく、反樞軸空軍に對し空軍の基地使用を許さなかつたことは米英兩國間に深刻な不滿を與へた樣子で、スイス電報通信社のロンドン特電の如きは一九四一年六月以來初めてソヴエト政府が英國新聞界の不評を買つたと述べてゐる、ところがポーランド叛軍司令ソスンコフスキーが反樞軸軍の支援不充分を痛烈に論難した結果、事件は亡命政權と英國政府との紛議に發展し、亡命政權首相ミコライチクの如き、大統領がソスンコフスキーを馘首しない限り辭職するといひ出し、亡命政權は內外ともに重大危機に當面するに至つた尤も首相は八日遂に辭意を飜がへしたが、內訌は依然として解決されるに至らない、一方ヘウム政權はソスンコフスキーの放言を理由に亡命政權の和協覺書を拒否するに決定したと傳へられる

【米 洲】

亞國米洲委員會脫退

(リスボン九日發)ブエノスアイレス來電=アルゼンチン外務省は九日今回モンテヴイデオで開催されることとなつた米洲政治防衛委員會の緊急會議には代表を送らず同委員會から脫退する旨發表した、一方米國務長官ハルは八日の新聞記者團會見で米洲におけるフアシスト運動の本據がアルゼンチンにあると誹謗したが、これに對しアルゼンチン外相ペルーホはハルが何等の根據なきにも拘らずかかる言明を行つたことを痛烈に非難した

昭和十九年 九 月十二日(火)
第 三 一 七 七 號

同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【英 國】

イーデン日本撃破を豪語

(ストツクホルム九日發)ロンドン來電=外相イーデンは九日ウオーウイブシヤーのケニルワースで演説を行ひ次の通り述べた
反禍軸軍が勝利を收める時は間近に迫つた、しかし英國はたとへ歐洲戰爭が終つた曉にもその全力をあげて對日戰を繼續しよう、日本は現在なほ廣大な地域を占領してゐるのであり、その一部は英帝國の領土だつたことを忘れてはならない、英國は日本をもドイツと同樣徹底的に擊破すべく固く決意してゐる

石炭飢饉深刻

(リスボン七日發)ロンドン來電=「デーリー・メール」紙は英國の石炭飢饉につき七日次の通り報道してゐる
燃料相ロイドヂョーヂ少佐は國內產出の石炭では家庭用の割當にさへも不足だらうと述べてゐるが、實際二ケ月前に注文した冬季用の石炭が今日に至るも配達されてゐない、炭坑主が時間が少くて能率のあがる米國製の機械を礦山に取入れることを拒否してゐるのが一原因だが、更に米國の炭礦組合機關紙が米國の坑夫の稼行高は一日一人當り六トンだが、英國の坑夫はたつた一トンだと指摘してゐる通り採炭技術が低いことにも起因する、なほ約三百萬磅に上る米國製の機械が武器貸與法により英國に著いてゐるが、錆びついて役に立たない、スコツトランド炭坑夫組合の執行委員は最近組合員に對し、坑山主との間に賃金問題でケリがつくまで米國製の機械を使ふなと要求した事實あり國內の出炭高の增加は覺つかず、石炭飢饉は必定だ

一週間の戰費一億一千萬磅

(リスボン六日發)六日朝のB・B・C放送によれば大戰第五年を迎へた英國先週の戰費は一日一千六百萬磅を超へ、同週戰費總額は一億一千五百萬磅に達したといはれる

【印 度】

ガンジー・ジンナー會見

(リスボン九日發)ボンベイ來電=ガンジー翁と回教徒聯盟總裁ジンナーとの會見は九日に至り遂に實現し、兩者は同日午後ボンベイ郊外マラバール丘のジンナーの邸宅で第一回の會談を行つた、會談は三時間の長きにわたつたが、終了後兩者は
會談は友好的な雰圍氣に終始した、第二回會談は十一日行はれる豫定である
との簡單な共同聲明を發した、ジンナーの邸宅は兩者會談中警官隊により圍繞され許可のない者は何人も邸宅內へ入ることを許さない物々しい警戒ぶりである

【濠 洲】

明年度の豫算案

(リスボン七日發)キヤンベラ來電=濠洲藏相チーフレーは七日總額六億八千六百萬磅豫算を下院に提出した、內容次の通り
戰費五億五百萬磅
一般行政費一億四千八百萬磅
各州豫算三千三百萬磅

【ソ 聯】

勃の休戰要請受諾

(ストツクホルム八日發)八日のモスクワ・ラジオはブルガリアがドイツに對して宣戰を布告した結果、ソヴエト政府はブルガリア政府の要請を容れその休戰提案を考慮するに決定したと放送した

停戰命令發令

(モスクワ九日發)政府は九日夜次の聲明を發表した
ソヴエト政府は九日午前十時ブルガリアに對する戰鬪行爲を中止するやう命令を發し米英兩國政府と連絡し目下ブルガリアに對するソ聯側の和平條件を立案してゐる

【北 歐】

獨兵・軍需品の瑞典領通過停止

(ストツクホルム九日發)スエーデン政府は九日次の通り發表した
スエーデン領を通過してドイツからノルウエーへ、また反對にノルウエーからドイツに至るドイツ兵及び軍需品は今後一切停止されることとなつた、但し病人及び負傷兵に限り今後も依然その通過を認める

昭和十九年 九 月十二日(火)
第 三 一 七 七 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

世界戰局の現段階 (續き)

原子林二郎

支那への道閉ぐ

(マンチエスター・ガーデイアン紙より)

最近のテニヤン、グワム、サイパン侵攻をもつて「島傳ひ作戰」の段階は九分通り終了した、しかしながら日本軍守備隊の兵力が事前に判つてをり、かつ壓倒的な砲爆撃の掩護下に上陸作戰を行ふに先立つて日本軍の火砲陣地を組織的に麻痺せしめた環礁に上陸することと、日本軍の尨大な野戰軍に遭遇し、かつ日本軍が著しい行動の自由を確保してゐる比島、臺灣乃至は日本々土諸島に上陸することとは全然問題が違ふ

今日までの太平洋戰は空軍基地獲得のための戰ひであり、ある小島か人里離れた海岸に上陸して假設飛行場を急設し、そこから空軍力を活動させて、新しい空の屋根に掩護されながら更に空軍基地を推し進めるといふのが定石であつた、しかるにこれらの小島や熱帶の海岸は日本々土上陸に必要な作戰基地となる資格がなく、よしんば無理に作戰基地としても、米國水陸兩用軍は目標に達するためには數千哩の海上を渡洋しなければならない、しかもかかる長距離の渡洋作戰には自ら技術的限度といふものがあるから、日本々土に對して最後の侵攻作戰を開始するためには新たな基地を發見しなければならぬ、最近手に入れたサイパン島は勿論大いに利用價値があるが、しかしながら日本々土への侵攻基地としては比島、臺灣乃至支那海岸以外にない

從つて次の段階には最後の決定的な跳躍を行ふ前に足場を確保するため、以上の諸地域に對して新しい從來と比較にならぬほど大規模な攻勢作戰が展開されねばならぬ筈だ

太平洋の戰局が洋々たる前途を拓いてゐる現在あまりぱつとしない場面を描いてみせなければならぬことは誠に情ないことだが、支那における日本軍の夏季攻勢が大成功を收めてゐることを英國は忘れてはならない、日本軍は長い間北支の重要鐵道と運河を支配してゐたが、今年になつて北支の同樣重要な交通線を確保しようと決意した、しかも北支の重要交通線が日本軍の手中に收められてゐなかつたといふ大切な事實は從來反樞軸によつてあまり重視されてゐなかつたのだ、長沙から南下する日本軍と廣東から北上する日本軍は學漢鐵道に沿つて進擊して、在支米軍の空軍基地として使用されてゐた衡陽を占領した、重慶軍は食糧不足と武器裝備の缺乏に惱み、更に宿痾の國共相剋に妨げられて、再び太平洋岸から西方に驅逐されてゐる、以上の事態は支那海岸に反樞軸軍の基地を設置することを未曾有の困難に陷れるばかりでなく、太平洋戰域における米軍の重慶軍に對する協力を不可能とするものだ、事實重慶は極めて徐々にしかも確實に、反樞軸軍から助力を得る可能性を放棄してゐるやうなものである、七年間に亙る戰爭で疲弊の極に達し、國內分裂によつて弱められ、惡性インフレによつて苛まれてゐる重慶にとつては、日本が敗れる以外に救ひの道がないが、蔣介石政權が以上の事態によつて更生出來るほど民衆の支持を受けてゐるかどうかは大いに疑問だ

在支米軍基地の危機

次にすこし古いがニューヨーク・タイムズ紙のワシントン記者シドニー・シヤレツトは次の通り述べてゐる

× × ×

太平洋戰の急速な進展に伴ひ、日本の內線防衛線の內部にある主要基地に對して眞の決定的打擊を加ふべき秋が切迫してゐることは今や全く明瞭となつた、ワシントン軍事專門家筋の視線は依然として比島の一角に注がれてゐるが、もしも比島の基地が米軍の手中に歸したならば、蘭印における日本の重要石油補給線を遮斷し、待望の目標たる支那大陸への到達が可能となる、以上の戰略はあまりにも明瞭且つ常識的であるため、米國は他のどこかを陽動的に攻擊して、日本を欺くことが出來るかも知れない、併しながら太平洋戰における米軍の作戰が順調に進捗してゐるからといつて現在と同じ優位を確保しつつ太平洋並びに東亞戰において最後の決戰段階に突入することが出來るといふことにはならぬ

昭和十九年 九月十二日(火)
第三一七七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

對日戰が終了するのは日本々土乃至は日本帝國の心臟部に隣接する地域においてであることは如何なる場合にも忘れてはならない、米軍が今日まで贏ち得たものは、以上の目標への飛び石にほかならないが、日本は最後の決戰を挑むため內線防衛線の全域に亘つて防衛措置を完備するため孜々として努めてをり、現在の南支攻勢も以上の戰略を裏書する有力な證據だ、事實長沙南方における日本軍の着々たる戰果は太平洋全戰局における最も憂慮すべき一頁である、東南支の事態は現在のところ手の下しようがないために反樞軸軍將領にとつて極度に意氣沮喪せしめるものがある、ワシントン軍事專門家筋は東南支作戰を太平洋戰と一體のものとみてゐるが、日本軍は米國が日本々土への裏口を叩き破るために東支海岸へ上陸しようと意圖してゐることを察知し、更に過去の苦い經驗から出發して空軍基地が米軍の進出にとつて必要不可缺のものであることを理解してゐる、その結果日本軍は長沙から南下して、シエンノートの米國第十四航空部隊の前進基地として貴重な地域を奪ひとらうと掛つてゐるのだ

支那戰線における日本軍の成功は太平洋及び東亞における反樞軸軍にとつて三重の脅威を意味する、第一に米國の空軍作戰を一段と困難にし、第二にスチルウエルがビルマでほり出さうと試みてゐる重慶への裏口からの補給路を內側から閉塞するものであり、第三に疲勞困憊した重慶の軍事的經濟的情勢を危殆に瀕せしめるものである、シエンノート軍が必死で防禦に努めたのもそのためだしかしながら日本軍が以上の地域を入手するならば、第十四航空部隊の作戰地域は更に西方へ押しやられ、沿岸海運に對する攻擊を一層困難とすると同時に、米軍の目標たる支那海岸に對する到達作戰に協力することも困難とならう、米國の在支軍基地が奥地に追ひやられるのに對する對抗措置をなすものは「超空の要塞」だが、B二九は莫大な燃料を消費し、世界未踏の奥地でガソリンに不自由することは必然だ、世界のあらゆる戰線でここほど補給に困難なところはまたとない

「その前夜」

以上の論說にみられる如く、敵は太平洋戰局の前途を樂觀してゐない、といつても筆者は安價な樂觀論を釀成しようとするあまり、殊更に以上の悲觀的論說を選んだのではない、歐洲戰局の重大化を論外とするも、太平洋戰局は極めて緊迫してゐる、特にサイパン島が米國の手に移つたことB二九が日本々土に爆擊を加へ始めたことは、戰局を急角度に緊迫した雰圍氣に持つて行つてゐるかかる事態に際し、筆者がここで鹿爪らしく「もう一艦、もう一機」を叫ぶ必要は毫もない、現下の日本にとつて必要なのは、米軍に對抗し得る物量だ、人的資源においては支那大陸及び南方の諸地域を含めるならば、日本は文字通り無限を誇つてもよい、あとはこの人的資源を近代的な裝備で豐富に武裝せしめるための物量である

蓋し物量の戰ひに對抗するには物量をもつてする一途あるのみだ、豐富な人的資源に豐富な物量をもつてすれば、大東亞共榮圈の確立とアジア民衆の解放といふ至高至純の戰爭目的を有する日本が、東亞の帝國主義的支配を狙ふ米國の無名の師を壓服出來ぬ筈はない、また米國では「日本の戰ひ」を呼號して日本々土に對する戰略爆擊を强化しようと圖つてゐるが、ベルリン、ロンドンの例にみられるやうに十分な制空態勢を固めてゐる限り、戰力を削減される惧れはない、太平洋戰局は將に「その前夜」の樣相を呈してゐる、この前夜には悲觀も樂觀も許されない、全國民が總蹶起して「祖國防衛戰」を完遂する一途あるのみだ

『日本猿優勝』

(モスクワ八日發)最近モスクワの各映畫劇場に愉快な動物漫畫映畫が上場されてゐる、この映畫には日本が猿、ソ聯が熊、英國が獅子をもつて代表されて出場、この三者が競走するのだが、決勝點では日本猿がソ聯熊、英國獅子を斷然引離して優勝することとなつてゐる

大正十五年十月二日第三種郵便物認可
昭和十九年九月十二日(火)第三一七七號

同盟通信

東京都麹町區日比谷公園二番
發行所 社團法人 同盟通信社
發行編輯印刷人 萩野伊八

【海外電報】索引

(自八月十六日 至八月三十一日)

項目 | 號數 | 頁

【米國】

陸軍長官に說明を求む……一八七 一八四七
「掠奪部隊」の軍紀崩潰……〃 〃
尨大な爆彈の消費量……〃 一八四八
驅逐艦「フイステ」號喪失發表……〃 〃
ニミツツ豪語……〃 一八五〇
第二十航空隊司令更迭……〃 〃
ニューヨーク市連日火事……〃 〃
デユウイ通貨案排擊……一八八 一八六一
會社利潤減少……〃 〃
對日空襲用ガソリン製造……〃 〃
罐業工場をまた接收……〃 〃
國內の黑人をアフリカへ……〃 〃
ベイカー島に航空基地……〃 〃
眞珠灣基地擴張……〃 一八六七
在米亞國資金を凍結……一八九 一八六七
宋美齡動靜……〃 〃
日本の島嶼を領有せよ……〃 一八七〇
民需生產一部開始……〃 〃
上院「掠奪部隊」の調査を開始……〃 〃
米國船の缺陷暴露……〃 〃
潛水艦工場の罐業……〃 〃
米、印度直通電話……〃 〃
デユウイの聲明にハル狼狽す……一九〇 一八七八
ルーズヴエルト華府歸還……〃 〃
亞國資金凍結詳報……〃 一八八〇
共產主義系官吏激增……〃 〃
米兵戰時俘虜を虐殺……〃 〃
大陸決戰論有力化す……〃 〃
山中商會の骨董品寬出……〃 一八八六
大統領近く英首相と會談……一九一 一八八七
青年の强制軍事訓練を主張……〃 〃
對印支外交政策を非難……〃 一八九〇
日獨兩國を完全占領せん……〃 一八九一
海軍作戰水域……〃 〃
亞國資金凍結は第一步……〃 一八九二
兩黨候補の人氣……〃 〃
七月中戰費減少……〃 〃
兵員損害三十萬……〃 〃
ノルマンデイ戰線の死傷……〃 〃
魚雷製造も削減……〃 〃
大統領選擧前に會見か……一九二 一八九七
獨占領案決定を豪語……〃 一八九九
日本の精神的擊滅を主張……〃 〃
北島日本島嶼を領有すべし……〃 〃
ニミツツ、國共相剋に憂慮……〃 〃
生產局長官國民を慰撫……〃 一九〇〇
上院議員流星彈對策を建議……〃 〃

項目 | 號數 | 頁

將來の爆擊强化を宣傳……〃 〃
ロケツト砲大量增產……〃 〃
ハル、デユウイ代表者會談……〃 〃
ダレーズを國務長官に豫定……〃 〃
正副大統領候補近く會見……〃 一九〇一
開戰以來の人的損害……〃 〃
海軍の損害……〃 〃
新開用紙特配……〃 〃
氷島大統領華府着……〃 〃
バツチ、中將に昇進……〃 〃
代將戰死……〃 〃
米英石油協定に反對……一九三 〃
軍事、經濟兩使節を重慶に派遣……〃 〃
日獨國民を瞞着せよ……〃 一九〇八
無法、ココス島を狙ふ……〃 一九〇九
更に罐業工場を接收……〃 〃
軍需餘剩資產拂下法案……一九一四 一九一七
ネルソンの派遣政治問題化……〃 一九一八
眞珠灣事件また問題化……〃 一九一九
上院の島嶼橫取り論……〃 〃
日系市民の復歸を拒否……〃 一九二〇
海軍は日系市民を編入せず……〃 〃
宋美齡の容態……〃 〃
アイスランド大統領華府へ……〃 〃
NBC特派員味方の戰車で死亡……〃 〃
武器貸與二百八十億弗……一九五 一九二七
大統領二千萬弗大名旅行……〃 〃
マウントバツテン負傷……〃 〃
米空、巡洋艦三隻遣水……〃 一九二九
B29で日本本土空襲まで……〃 一九三二
對日樂觀論を戒む……〃 〃
デユウイ顧問ウイルキーと會談……〃 〃
サイパン戰の大損害を指摘……〃 一九三八
生產局次長辭職……一九六 一九四〇
「ビルマにおける大失敗」……〃 〃
强制移住は憲法違反……〃 〃
陸海軍損害二十七萬……〃 〃
武器貸與品內譯……〃 一九四一
對重慶武器貸與報告……〃 〃
軍需器材輸出量……〃 一九四二
鋼鐵生產高……〃 〃
工場事故數……〃 〃
戰時生產局次長後任……一九七 一九四八
ウイルソンの辭職書翰……〃 一九五一
デユウイ顧問ハルと會談……〃 〃
陸軍の死傷二十六萬餘……〃 〃
軍隊に事故頻發……〃 〃
商船沈沒……〃 〃

項目　號數　頁

日本の補給路を遮斷せん……一九八　一九六一
特殊船の不足に惱む……〃　〃
殿中騷動再燃……〃　〃
米印航空取極め成立……〃　〃
餘剩軍需品處分法案上院通過……〃　〃
海軍損害累計……〃　一九六二
氷島大統領ル大統領と會談……〃　〃
氷島大統領米軍の撤退を要求……〃　〃
ネルソン重慶に出發……〃　〃
顧維鈞紐育着……〃　〃
大統領に蔣介石親書……〃　〃
フイリツプス召還で一悶着……一九九　一九六八
國務省は否定……〃　〃
ソ聯休戰調印に參加……〃　〃
罷業炭坑を接收……〃　一九七〇
本年度上半期の對外空輸狀況……二〇〇　一九八〇
上院議員說明を求む……〃　〃
戰時生產局動搖續く……〃　〃
三十萬の勞働者を必要……〃　〃
海外航空統合案……〃　〃

【ソ　聯】

會談失敗の經緯を報告……一八七　一八四八
法王廳との交涉を否定……〃　一八五一
シベリア大移住を計畫……一八九　一八七一
「プラウダ」紙ワルソー暴動を非難……一九二　一九〇三
瑞蘭兩國を攻擊……一九五　一九二八
「戰爭と勞働階級誌」重慶を攻擊……〃　一九三三
新攻勢指揮官……〃　〃
波の利益代表を認めず……一九七　一九四八
休戰條件を發表……一九八　一九五九
休戰の經緯を發表……〃　〃
ブルガリアを威嚇……二〇〇　一九七九

【ド　イ　ツ】

農民の奮起を要望……一八七　一八四九
ナチ黨員前線に出動……〃　〃
十ケ月の臥薪嘗膽……一八八　一八五九
「一人乘魚雷」出擊體驗記……〃　一八五九
「一人乘魚雷」志願者殺到……〃　一八六〇
前駐土大使に騎士勳章……一八九　一八六七
ベルリン電車賃統制……〃　一八七二
總力戰のために……一九〇　一八七七
步兵大將に昇進……〃　〃
ワルソーの暴動鎭壓……〃　一八七九
外務省言明を避く……一九一　一八八八
すべての文化生活を戰爭努力に……〃　一八八九
根こそぎ動員の具體案……一九二　一八九八
保護領にも「根こそぎ動員」……〃　〃
陰謀援助者逮捕……〃　〃
空から資材の贈物……〃　〃
モーデル元帥に勳章授與……〃　〃
サン・マローの勇將に鐵十字章……〃　〃
七・二〇事件公判の實況……〃　一九一一
ヒ總統洪攝政に祝辭……〃　〃

項目　號數　頁

決戰非常措置五ケ條……一九六　一九三八
國家理念を守り拔け……〃　一九七
萬全の對策あり……一九八　一九五〇
政府俘虜待遇につき抗議……二〇〇　一九八一
駐勃公使急遽歸任……〃　〃
「一人乘魚雷」の戰果……〃　〃
生活は公明正大に……〃　〃

【イタリア】

黑シヤツ旅團の活躍……一八七　一八四九
ファシスト黨書記長負傷……〃　〃
統帥新編イタリア軍を視察……一九〇　一八七八
大審院長暗殺さる……一九二　一九二〇

【南　伊】

英國首相チトーと會見……一八七　一八四九
ローマ市の食糧事情深刻……〃　〃
傀儡政權再び改組か……一八八　一八六二
米軍首腦伊戰線に……〃　〃
フイレンツエ市に恐怖政治……一八九　一八七二
三州を傀儡政權へ……〃　〃
裏切り政權危機に瀕す……一九〇　一八八一
政界に兩黨對立か……一九一　一八九三
避難民にイタリア國籍……〃　〃
バドリオの休戰條件……一九五　一九三三
希亡命首相羅馬着……〃　〃
チヤーチル亡命兩首相と會見……一九六　一九四二
ボノミ政權ファシストを彈壓……一九八　一九六三

【英　國】

流星彈攻擊激化……一八七　一八五〇
巡洋艦等の喪失を認む……〃　〃
紙不足で磅紙幣も惡くなる……〃　〃
一時間に七百戶破損……一八九　一八七一
七月中の死傷九千五百餘……〃　〃
チヤーチル、チトー會見公表……〃　〃
バツキンガム宮殿破損……一九〇　一八七八
流星彈で市民生活癱瘓……〃　一八八一
チヤーチル上陸作戰を視察……〃　〃
爆擊に掠奪はつき物か……一九一　一八九三
佛壯丁を召集……一九二　一八九七
指揮者死去……〃　〃
ロンドンの病院悉く疎開……一九三　一九〇七
ロンドンの疎開者更に百萬……〃　一九一〇
熾烈な流星彈攻擊……一九五　一九二八
流星彈による英國の死傷……〃　〃
流星彈に取憑かれた英國人……一九六　一九三八
首相、法王を訪問……一九七　一九四七
東洋艦隊司令着任……〃　〃
流星彈七千二百五十個……〃　〃
墜落による死者增大……〃　一九五二
流星彈「危機」愈々深刻……一九八　一九六三
米國の宣傳を恐る……〃　〃
ロンドンの疎開やむ……二〇〇　一九七九
米の綿物使節到着……〃　〃

昭和十九年 九 月十二日(火)
第 三 一 七 七 號

同盟通信

海外電報

(第三種郵便物認可)

項目	號數	頁
【西亞】		
ソヴエト勢力西亞、バルカンへ……	一八七	一八五一
エルサレム政廳市民を彈壓……	〃	〃
米國大使テヘランへ……	一九二	一九〇三
五百磅の連帶罰金……	〃	〃
フレーザー、バクダット到着……	一九四	一九一八
イラク攝政訪米中止……	一九八	一九六〇
【トルコ】		
燈火管制擴大……	一八七	一八五一
前外相容態惡化……	一九六	一九四二
佛と國交斷絕……	一九八	一九五八
【軍事情報】		
B29の輕合金……	一八七	一八五六
列車發電所の性能……	一八八	一八六六
B29の最大生産工場……	一八九	一八七六
米軍落下傘兵增員……	〃	〃
投下用救助艇……	一九〇	一八八六
ドイツ空軍の新銳……	一九二	一〇九四
獨の大型無人戰車……	〃	〃
獨制空部隊に新戰術……	〃	〃
北佛揚陸作戰に防波堤基地……	〃	一九一一
「スピットファイア」戰鬪爆擊機……	一九三	一九二一
獨四發重爆發表……	一九四	〃
エアラコブラの新武裝……	〃	一九二一
ドイツの植物纖維……	〃	一九二二
磁流發動機の可能性……	一九八	一九六四
B32の名稱「ドミネーター」……	〃	〃
快速のMeロケット機……	一九九	一九七〇
米の止血航空服……	〃	〃
新種コンクリート……	〃	〃
【特輯】		
米國の大統領選擧……	一八七	一八五二
米國のアルゼンチン政策全く行き詰る……	〃	一八五五
印度を繞る諸問題……	一八八	一八五六
米國の物資需給近況……	一八九	一八六三
ルーズヴエルト演說の全貌……	一九〇	一八六六
大統領の更迭を繞りて……	一九一	一八七三
印度政局の轉機、兩巨頭の會見……	〃	一八七六
ソ聯の出産率增加對策……	一九二	一八八二
世界戰局の現段階(上)……	一九三	一八八六
國民の喇叭手……	一九四	一八九四
米國上陸用舟艇の流水生產……	〃	一八九五

項目	號數	頁
日本は政治戰に勝てり……	一九五	一九三四
大西洋憲章と小國……	一九六	一九三六
世界戰局の現段階(中)……	一九七	一九四三
數字から見た戰爭下の米國(上)……	一九八	一九四六
チヤーチル演說の解剖(上)……	一九九	一九五三
大統領選擧戰とルーズヴエルト……	〃	一九五六
チヤーチル演說の解剖(下)……	二〇〇	一九六五
バチエムニエート……	〃	一九六六
【米洲】		
亞國、新聞發禁を解く……	一八八	一八五八
南米のインフレ激化……	一九一	一八九三
アンデスの大降雪……	〃	一八九六
英國政府木材買付……	一九二	一九〇一
亞紙痛烈に米を攻擊……	一九三	一九〇八
爆藥類の民間輸入禁止……	一九四	一九二〇
ブラジル外相辭職……	一九六	一九四二
アルゼンチン商船沈沒……	〃	〃
亞法相辭職……	一九八	一九六二
伯前外相逮捕か……	〃	〃
亞政府共產黨員のデマを否定……	一九九	一九七〇
メキシコ外交使臣を交換……	〃	〃
ブラジル外相の後任決定……	〃	〃
【北阿】		
佛叛軍參謀長更迭……	一八八	一八五八
ド・ゴール佛本土乘込み……	一九二	一八九七
アトリー、アルジエーへ……	一九七	一九五二
ド・ゴール狙擊はフランス人……	一九九	一九七〇
【北歐】		
高すぎる米國の傭船料……	一八八	一八六〇
フインランド公使歸國……	〃	〃
芬全國的に燈管實施……	一九三	一九一〇
瑞典船のドイツ向け航海停止……	一九七	一九五二
瑞典代理公使引揚……	一九八	一九六三
【印度】		
兩巨頭愈々會見……	一八八	一八六〇
兩巨頭の會見延期……	一九〇	一八七七
ウエーヴエル、ガ翁の提案を拒否……	一九一	一八八七
ガ翁精神的抗爭を聲明……	一九二	一九〇二
國民會議派議員大會……	一九三	一九一〇
ベンガル州の疫病……	一九六	一九四二
【歐洲戰局】		
ツーロン・カンヌ間に上陸……	一八八	一八五七
ボルム附近の上陸企圖は失敗……	〃	〃
兩軍激戰を展開中……	〃	〃
未だ大兵力に非ず……	〃	〃

戰線を結成するには至らず……〃　一八五七
カンヌ地區を選んだ理由……〃　一八五八
地中海方面軍の司令……〃
米・第三軍司令官パットン……〃
決戰は艦砲の射程圈外で……一八九　一八六八
カンヌ・ツーロン間で上陸企圖を擊退〃
リヴイエラ方面軍司令……〃
上陸地點で激戰展開……〃
ドイツ軍猛反攻……〃
頑强な抗戰を認む……〃
デイナール陷落……〃　一八八八
バルカン新作戰の機運……一九一　一八八九
西部戰線本格的機動戰へ……〃
戰火全線に波及……一九三　一九〇七
南部地區激戰……〃
獨軍ツムスク占領……〃
ソ聯も確認……〃
獨軍轉進部隊連絡……〃
新攻勢の火蓋切らる……一九四　一九一七
豫備兵力を續々繰り出す……〃
脫出獨軍續々主力に合流……〃
獨羅軍ヤツスイ撤收……〃
貨物船七隻を擊沈……〃　一九一七
マキ匪團は作戰に關係なし……一九四　一九二八
スペイン國境近くに新上陸……一九五　一九四八
ルーマニア戰線緊迫……一九七　一九五七
ブカレスト近郊で激戰……一九八
獨、カルパチア方面へ後退……〃
血路を開き後方と連絡……〃
獨軍突破作戰を展開……一九九　一九六七
獨羅兩軍激戰を交ふ……〃
パリ遂に陷つ……二〇〇　一九七七
彈藥盡きて據點失ふ……〃
洪國境激鬪續く……〃
赤軍羅送油管に到達……〃
赤軍、ルーマニア軍を督戰……〃

【反樞軸陣營】

米ソ航空取極め……一八八　一八六二
第二戰線米軍總司令官……〃
米英の足並亂れん……一八九　一八六七
バルカン政戰兩略の狙ひ……〃　一八六九
侵攻軍の指揮系統變更……〃　一八七二
米英軍の首腦ローマに集まる……〃
歐洲戰線のラジオ謀略戰……一九〇　一八七九
アルジエー政權との交涉成立……一九一　一八八八
洪・ユダヤ人退却取極め……〃　一八九三
西部戰線軍の編成……一九二　一九〇三
奇襲部隊を編成……〃
ハル長官・四國會談における開會の辭一九三　一九一〇
ソ聯代表華府到着……〃
セイロン島の燈管撤廢……〃　一九二一
英ソ代表演說の要旨……一九四　一九三一
通貨政策の不一致……一九五

印度の通貨……〃　一九三一
滇洲磅……〃　一九三二
南佛上陸に六百四十隻動員……〃　一九三二
大國の協力を强調……一九六　一九四二
大國による世界支配を企圖……一九七　一九五二
英・佛傀儡政權と協定……一九八　一九六〇
米、佛本土との行政協定を發表……〃
ド・ゴール暗殺を免る……〃
米人幕僚印度問題で召還……一九九　一九六九
陸上軍總司令官更迭か……〃
アイゼンハウアー・パリへ……〃
空挺軍團正式呼稱……〃　一九七八
三國會談原則的意見一致……二〇〇　一九七九
第三戰術航空隊司令……〃

【イベリア】

須磨公使スペイン新外相と會談……一八八　一八六二
駐亞ドイツ外交官本國へ……〃
駐西米大使歸任……一九二　一九〇三
西、葡兩國協議……一九七　一九四七
ファランヘ黨幹事長、統領と會見……〃
西、佛との國交關係消滅……一九八　一九五八

【亡命政權】

ベネシユもモスクワ詣で……一八九　一八七一
攪亂部隊の支援を協議……一九四　一九一八
波政權屈從案を可決……一九八　一九五七
波亡命政權の提案內容……一九九　一九六八

【フランス】

政府ヴイシーに留まらん……一八九　一八七二
獨軍消燈令を布く……一九〇　一八七九
パリ市內の狀況……一九一　一八九三
政府東部に移る……一九四　一九一八
パリ市內で匪團蠢動……一九五　一九三〇
パリ市內戰場と化す……一九七　一九四七
パリ砲聲絶えず……一九八　一九五七

【東南歐】

ブルガリア臨時議會召集……一九〇　一八七八
新駐洪、羅大使着任……一九二　一九〇三
勃元首相軟論を攻擊……一九三　一九〇八
勃政府の外交方針……〃
勃首相、ソ聯大使會見……〃　一九一〇
ブルガリア外交政策不變……一九五　一九三三
羅國國民政府樹立……一九六　一九三七
國民政府の宣言成文……〃
無名な左傾分子の策動……〃
洪、一切の政黨を解消……一九六　一九三八
ハンガリア內閣改造……一九七　一九四七
ハンガリア首相手術を受く……〃
ブルガリア政府重大協議……〃　一九四八
ルーマニアの悲劇始まる……〃
洪、羅間の連絡杜絕……〃

昭和十九年九月十二日(火)
第三一七七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

標題 月日 頁

ブカレスト市に消燈令……〃 一九四九
ルーマニア政府休戰條件を受諾……〃 〃
ウイーン裁定を破棄……〃 〃
休戰の眞相……〃 〃
ドイツ軍統帥部萬全策……〃 〃
バルカン情勢急轉回の兆……一九八 一九五八
洪、領土を死守せん……〃 〃
ルーマニア新內閣の構成……〃 一九五九
羅裏切軍獨公館を包圍……〃 一九六〇
勃ソ聯との中立を確認……〃 〃
ミハイロヴイツチ軍に解散令……〃 〃
スロヴアキア戒嚴令……〃 〃
羅國內は內亂無政府狀態……一九九 一九六七
屈辱的な休戰條件……一九九 一九六六
ハンガリア新內閣成立……二〇〇 一九七八
羅國民政府近く發表……〃 〃
勃の中立宣言を受諾せず……〃 〃
赤色勢力勃に進出……〃 〃
勃、米英にも休戰申入れか……〃 一九七九
クロアチア郵便連絡を遮斷……〃 〃

【重慶取材】
宋美齡の近況……一九一 一八九六

【歐洲】
政府國民投票に慘敗……一九二 一八九七
空軍の前線司令……〃 一九〇二
爭議彈壓政策奏效せず……〃 〃
石炭不足で鐵道列車削減……一九四 一九二〇
炭坑爭議重大化……一九八 一九六二
石炭饑饉深刻……〃 〃
米國紙の歐洲版を發行……一九九 一九六九

【新西蘭】
空軍の人的損害……一九二 一九〇一
參謀長行方不明……〃 〃

【カナダ】
新空輸路開設案……一九二 一九〇二
コルヴエット艦の喪失を發表……〃 〃

【スイス】
獨瑞兩國の空路停止……一九二 一九〇四

【樞軸國】
ラトヴイア元大統領逝去……二〇〇 一九七九

桂林の危機

=「タイム」誌八月二十八日號=

「中國のパリ」と呼ばれる桂林はまたも混亂に襲はれようとしてゐる、人口十萬を擁するこの廣西省の都には、爆撃の慘害を他所に派手な空氣が漂ひ、お祭氣分と深切な女性の故に、桂林の名は前線へ行く途中の米空軍將兵の憧れの的であつた、桂林が最初に混亂に陷つたのは七週間前、日本軍が衡陽を包圍した後桂林に向ふやうに思はれた時であつた、當時桂林にある米第十四航空部隊の大基地の施設は一部は疎開し一部は焦土とされた、しかし重慶軍と米第十四航空部隊が衡陽で日本軍を喰止めたため、混亂は勝利を祝ふ爆竹の騷音の裡に消え去つた、今桂林は當時よりも更に重大な脅威に曝されてゐる、日本軍は激戰の後粵漢線の要衝衡陽を占領した、そして眞直ぐ廣東の方に南下する代りに西南桂林に向ふ湘桂鐵路に沿つて行動を起した、日本軍の行手を遮らうとしてゐる重慶軍は反樞軸陣營內で繼子扱ひにされて來たので食料も武器も衣服も非道いものしか與へられてゐない、ただ米空軍が必死になつて日本軍に攻撃を加へてゐるに過ぎない、重慶軍司令部は遙か北方揚子江岸の宜昌周邊で牽制作戰に出で日本軍の鉾先を鈍らさうとした、だが牽制作戰以上の何物かが必要なことは蔣介石自身知るところである

衡陽の將に陷ちんとする時、蔣介石は重慶軍改革案の最後の仕上げを行つた、改革案が既存の軍閥の反對に遭ふのは必定だが、その骨子は

一、政治的權力と軍事的權力の分離、戰區司令官は省政府主席を兼任し得ない
二、全軍の徹底的訓練
三、食糧と醫療の大改善
四、部隊數の減少と殘存部隊の定員までの充員
五、從來學校生徒及び卒業生の徵募を免除されてゐた中等學校生徒及び卒業生の徵集

以上の改革はもつとずつと早く實施すべきものだつた、一方日本側報道によれば數百名づつ空輸されてゐるといふ米軍砲兵隊將士もまた重慶軍を更生せしめ得よう、だがそれでもなほ重慶軍は西方からの補給を必要とするであらう、補給路の啓開を目指す重慶軍は甚大な打撃を蒙りながらも、密林で蔽はれた怒江沿岸の道なき山々を越えて、先週も戰ひ續けた目的はミイトキイナから東進せんとするスチルウエル軍との連絡に在り、その連絡に成功すれば重慶から印度へ廻廊が通じよう、さうなれば現在重慶が依存してゐる使ひ古しのボロ自動車の代りに立派なトラックが使へるやうになり米第十四航空隊に補給されるガソリンは油送管で送られることにならう、重慶の惱みはそれでも全部は解決されないが相當輕減されるであらう

大正十五年十月廿八第三種郵便物認可　昭和十九年九月十三日(水)　第三一七八號

編輯發行人　荻野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人同盟通信社

同盟通信 海外電報

米國共和黨大統領候補デユウイは從來から孤立主義的政治家と目されてゐた、彼の政治的活動の記錄を辿るならば、たしかに極く最近に至るまでは孤立主義陣營に屬すべき人物であつた、國內政策においてはニューデイール政策を非難すると共に、對外政策でもルーズヴエルト政權の干涉外交を攻擊してゐたのだ、しかるにこのデユウイが最近に至つてその態度を豹變し、極めて明確に干涉外交政策を支持するに至つた、その片鱗を示したのは本年四月、ニューヨークで行つた演說であるが、この時彼は旣に戰爭の完遂を說いたのは勿論のこと、戰後においても米國は世界平和維持のため各國と積極的に協力すべきことを主張した、その後共和黨候補受諾演說をはじめその他の言動で干涉主義支持の態度を益々明確にして來たが、更に今度彼が選擧運動のため全國遊說旅行に出るや、現在までにフイラデルフイヤとルイスヴイルで行つた二回の演說で極めて明確に彼の干涉主義的立場を發表してゐる、殊にルイスヴイル演說はデユウイがその對外政策を最も具體的に披露したものとして注目すべき演說だが彼はこの演說で日獨兩國處分及び戰後機構案につき、政府當局よりも更に積極的な主張を行つてゐる

デユウイのかくの如き態度の豹變が如何なる事情に起因するかはこれを明らかにすることはできない、ただ一つ明らかなことは彼が從來の如き孤立主義的外交理論をふりまはしては、今度の選擧には到底勝つことができないといふことだ、卽ちデユウイの豹變から引出される結論は米國の大勢が徹底的に日獨兩國の息の根をとめ、世界を力によつて支配せんとする方向に向つてゐることである

【目次】

米英泥試合續く……二〇八七
質の優位、劣勢を補ふ……〃
ドイツ公使銃殺さる……〃
ケベツク會談愈々始まる……二〇八八
モスクワで四國會談……〃
ハーレー、蔣介石と會見……〃
回印兩巨頭第二次會談……〃
【東南歐】
羅領赤化工作着々實施……二〇八九
勃新內閣の顏觸れ……〃
勃に親獨政府誕生……〃
ハンガリア國內は秩序整然……〃
洪も根こそぎ動員……〃
ユダヤ人をも徵用……〃
ドイツ公使と會見……〃
【トルコ】
英國大使アンカラ離任……〃
【反樞軸陣營】
米英兩國首腦續々ケベツクへ……二〇九〇
ド・ゴール政權新閣僚……〃
パリ反政府分子逮捕……〃
佛殘存艦隊勢力……〃
イラン經由對ソ援助狀況……〃
【亡命政權】
蘭艦隊長官倫敦訪問……〃
【米國】
デユウイ本格的選擧戰開始……二〇九一
勞力不足緩和せず……〃
B29工場の罷業騷ぎ……〃
【米洲】
ボリヴイアもソ聯と國交開始……〃
メキシコ大豪雨……〃
【北歐】
瑞芬兩國交涉を開始……〃
英人特派員に退去令……〃
瑞丁通商協定更改……〃
【ソ聯】
ソ芬兩國代表會見……二〇九二
マ將軍元帥に昇進……〃
【南伊】
將官七十五名を罷免……〃
三要人逮捕……〃
ファシスト領袖の財產沒收……〃
亡命希政權ナポリに移轉……〃
アメリー、ボノミと會見……〃
【西亞】
イラク、ソ聯と國交開始……〃
通信檢閱の撤廢を要求……〃
【軍事情報】
英軍の火焰放射器……〃
【特輯】
アジアにおける米國の將來……二〇九三—二〇九五
燃え上るアジア……二〇九五—二〇九六

昭和十九年 九月十三日(水)
第三一七八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米英泥試合續く

(リスボン十一日發)反樞軸軍外交顧問フイリツプス召還問題をめぐる米英兩國の葛藤は、依然として燻り續けてゐる模様で、ワシントン來電によると米國に駐在する英國官吏に毎週配布されてゐる「週間戰局記錄」の今週號はフイリツプス問題をとり上げて、フイリツプスが英國の印度政策を攻撃した主要點四つをあげて一々これに反駁を加へた、「戰局記錄」はフイリツプスの名前こそあげてゐないが、純然たる英國政府の機關誌であり、これが公然とフイリツプスを攻撃したことは注目される、その要旨次の通りである

× × ×

米國では英國の印度政策攻撃に四つの點をあげてゐるが、その一々を左に反駁しよう

第一は印緬戰線において、英國軍が殆んど戰果をあげてゐないといふ點にあるが、印緬戰線はその延長七百哩に達し東部戰線を除いては世界最長の戰線である、この戰線には米、英、重慶、印度軍が出動してゐるが、印度軍の數が斷然他を壓倒して多い、この方面で英國軍はフレーザー麾下の東洋艦隊の戰果は度外視しても、米國の主張する「象徴的戰果」以上に大きな戰果をあげたばかりでなく、米國軍は更に今後大規模作戰を敢行すべく着々準備を進めてゐる

第二に英國首相チヤーチルはいまだ一度も大西洋憲章が印度には適用されないなどと言明したことはない、却つてチヤーチルは英國が印度に對する約束を實行する上において大西洋憲章の制約は受けずと言明、同憲章以上のものを印度に與へることを示唆した位である

第三、米國では印度軍は軍で備はれた軍隊であつて一向に戰果をあげてゐないといはれてゐるが印度軍が印緬戰線ばかりでなくその他東阿、北阿イタリアの戰線で示した勇敢な戰闘ぶりは世界周知の事實であり印度軍を金で動く軍隊などといふのは正當でないばかりか印度軍に對する侮辱である、第四に英國は印度に對して一定の時期に自治制を認める約束を與へてゐるがクリツプスの提案はその時期は印度の指導者達自身が決定すべきものとさへしてゐるのだ

質の優位、劣勢を補ふ

(ベルリン十一日發)ドイツ空軍記者カール・ゼツペリン氏は十一日次の見解を表明した

× ×

反樞軸軍が空軍の優勢を背景としてドイツ本國の周邊に迫つてゐるとき、ドイツ空軍が必ず捲土重來するだらうなぞといへば全くの囈言ともみられよう、しかしドイツ空軍の將士技師連と話し合つてみれば、樂觀は確固たる事實の上に立つてゐることを知ることができよう、勿論反樞軸空軍の優勢を打破するドイツ軍の兵器については一切言明出來ないが、各新兵器が「主要な技術的進歩」を基礎としてゐることだけは示唆して差支へなからう、技術部面における改善では足りない、空軍戰術を革命する技術の成果が必要なのである、ドイツ空軍は新型機において遠からず以上の成果を實證するだらうが、以上技術的な優位には反樞軸軍も容易に追ひ付けまい、しかし問題は技術的進歩だけで數の優勢に對抗出來るか否かだ、しかし空軍の部面ほど技術が決定的にものをいふ分野はない、技術の劣等が如何なる結果を齎らすかは一九四一年の夏季作戰で赤軍が具に體驗したところである

ドイツ軍もまたアフリカ戰線並びにイタリア戰線において技術的均等と數的劣勢とをもつてしては苦戰を免れぬことを悟つたが、結局空軍の優勢を確保するには技術的均等と數的優勢か、或るひは數的には劣勢でも技術的に明確な優位を占める以外方途はない、要するに空軍の優勢を回復するためにはドイツ空軍の

一、戰闘機がスピツトフアイヤー、ムスタング、サンダーボルトよりも一階級優秀なこと

一、敵の戰闘機よりも速い爆撃機を製作することが必要だ、ドイツ航空界最近の發達に徴すれば恐らく以上のやうな事態の轉移が間近に迫つてゐると思ふ

ドイツ公使銃殺さる (チューリツヒ十一日發)「クーリエ・ド・ジユネーヴ」紙のイスタンブール特電によればブカレスト駐剳ドイツ公使フオン・キリンガー氏はルーマニア政府の裏切り當時ルーマニア兵のため銃殺されたと傳へられる

昭和十九年 九月十三日（水）
第 三 一 七 八 號

同盟通信 海外電報

（第三種郵便物認可）

ケベック會談愈々始まる

（リスボン十一日發）ケベック來電＝米國大統領ルーズヴエルトは夫人同伴十一日正午ケベックのリトル・ウオルフスコーヴ驛に到著、東岸のハリファックス港から到着した英國首相チヤーチルと驛頭で會つた後、大統領はカナダ總督アスローン卿と同乘、チヤーチルはカナダ首相マツケンジーキングと同乘し、自動車を驅つてフオンテナツクの古城に入つた、ロイター特派員の報道によれば兩人は到着後二時間で會議の議事日程について早くも協議を始めたと傳へられるが當局筋でも「各部分の討議が大綱に旨くはまるやう詳しい討議が必要で議題は仲々複雜だ」と洩らしてゐる

勿論會談の中心は歐洲の政治的處理に關する夢物語と、太平洋反攻作戰だが、ルーズヴエルトの祕書ステーヴン・アーリーは記者團との會見で次の通り述べた

眞珠灣並びにアリユーシヤン列島に對する大統領の旅行、ニミツツ、マツカーサーとの會談は今日ケベツクで開始される會議に極めて必要な準備措置であつた、ケベツク會談が太平洋作戰に重點を置くだらうといふが、大體そんなことになると思ふ、會談はまた全部といはぬまでも大半軍事に關係するので、軍機保護の見地よりニユースも少く記者諸君は失望するかも知れない

英軍の協働作戰本部長少將レーコツクが特に一枚英軍代表に入つてゐる事實に徵しても、太平洋作戰が會談の重點であることは疑ひない、一方スターリンはルーズヴエルト、チヤーチルの兩人から招請を受けたにも拘らず「ドイツ軍に對する作戰遂行のため赤軍最高司令部を離れてはならぬと同僚がいふから」との理由で參加を拒否したといはれる

英國外相イーデン、米國の國務長官コーデル・ハルも後半會談に參加する豫定だが既にケベツクに乘込んだ兩國代表の主な類觸れ次の通り

米國代表

參謀總長大將　ジョージ・マーシヤル
軍令部長大將　アーネスト・キング
統空本部長大將　ヘンリー・アーノルド
幕僚長大將　ウイリアム・リーイ
軍事祕書長少將　E・M・ワトソン
海軍副官少將　ウイルソン・ブラウン

英國代表

陸軍參謀總長大將　サー・アラン・F・ブルツク
軍令部長大將　サー・アンドリユー・カニンガム
空軍總司令官大將サー・チヤールス・ポータル
軍事顧問陸軍少將　R・E・レーコツク
陸軍大將　サー・ヘスチングス・イズメー
科學顧問　シヤーウエル
戰時運輸相　レザース

その他統合參謀本部から陸軍元帥サー・ジヨーンデイル、海軍大將サー・パーシー・ノーブル、陸軍中將ゴードン・マクレデイ、空軍中將サー・ウイリアム・エル・ウエルツシ等が參加してゐる

モスクワで四國會談

（モスクワ十日發）ソヴエト外務人民委員モロトフ、英國大使クラーク・カー、米國大使ハリマンは九日午後クレムリン宮においてルーマニア公使パトラシノを國王ミハイ一世の全權代表として引見、會談を遂げた、勿論米英ソ三國政府とルーマニア國王との休戰乃至和平について協議したと解されるが會談の內容については何らの發表がない

ハーレー、蔣介石と會見

（リスボン十一日發）重慶來電＝米國の軍事使節パトリツク・ハーレーは十一日午前、外交部長宋子文と會見、午後更に宋子文を交へて蔣介石と會見した、一方戰時生產局長ドナルド・ネルソンはスタンダード・ヴアキユーム社、アソシエーテツド・オイル社等の重慶支店長と協議した後國防最高會議兵器部長兪大維と會談を遂げた

囘印兩巨頭第二次會談

（リスボン十一日發）ボンベー來電＝ガンジー翁は十一日再びジンナーをマラバール丘の私邸に訪問、會談を遂げた、會談の內容については何等發表されないが、後二日位續行される見込みといはれる

【東南歐】

羅領赤化工作着々實施

(マドリード十日發)「ラ・ヴアンガルデイア・エスパノーラ」紙アンカラ電によればモルダヴイア地區に駐屯してゐる赤軍は同地を眞のソ聯領土化するため住民を次の三種に分類してそれぞれ異つた待遇を與へてゐるといはれる

一、親ソ派には軍事教育をほどこす

一、無關心派は抑留してソ聯的教育を與へる

一、反ソ派はいづれか遠地に追放する

かかる措置が全國的にとられるやうになればルーマニア國民もミハイ一世の裏切りが必然的にこの不幸を齎らしたことを悟るにちがひないと同紙は論じてゐる

勃新內閣の顏觸れ

(ストツクホルム十日發)ソフイヤからのタス電報によればブルガリア新內閣の顏觸れは次の通り決定したと傳へられる

首　相　キモン・ゲオルキエフ
外　相　ペトコ・スタイノフ
陸　相　ダミアン・ヴエルシエフ大佐
文　相　デイミトル・ミシヤルシエフ博士
無任相　ミコラ・ボボフ
公共事業相　ボリス・ステフアノフ
法　相　スリスト・ネイシエフ
藏　相　ペトコ・ストジヤノフ博士
商　相　デイミテル・ネイコフ
農　相　パシル・ボウロフ
交通相　デルシヤンスコ

なほ行政評議會の顏觸れは次の通り

ラジオ・ライシエフ博士(保健)
グリゴール・フエトフアドジエジエフ(公益)
デイモ・カサソフ(宣傳)

前陸相イヴアン・モリノフ大將はブルガリア軍最高司令に任命された

勃に親獨政府誕生

(ベルリン十日發)D・N・B通信社は十日次の通り報じてゐる

ゲオルギエフを首班とするブルガリア裏切り政權の樹立と共に、同國內には飽くまでもドイツと提携、更に堅い協力の下に戰爭を完遂しようとの信念を持つた人によつて國民政府が組織され、その首班にはアレキサンダー・ツアンコツフ氏が就任した、ツアンコツフ氏は今年六十五歲、ブルガリア「人民社會運動」派右翼の指導者である

ハンガリア國內は秩序整然

(ブダペスト十日發)ハンガリア政府は、スロヴアキアパルチザン軍がハンガリア國內に侵入したとの報道を否定し十日次の通り言明した

ハンガリア、スロヴアキア兩國間の國境は完全に秩序と靜穩を保つてゐる、いづれの側においても何らの軍事的行動は開始されてゐない、スロヴアキア國內のパルチザン軍蜂起のため數日前に布告された國境通過禁止令は解除され、プレスブルグとの間の鐵道交通も再び開通した

洪も根こそぎ動員

(ブダペスト九日發)ハンガリア內務省は勞働奉仕並びに國土防衞に當らせるため一九二六年生れの少年を徵用、更に將來の勞働奉仕に備へて十四歲から六十歲までの男子及び十六歲から五十歲までの女子に對しても九日附布告をもつて登錄を命じた

ユダヤ人をも徵用

(ブダペスト九日發)ハンガリア政府はユダヤ人徵用の方針のもとに十四歲から七十歲の男女ユダヤ人に對し、健康診斷を行ふ旨七日發表した

ドイツ公使と會見

(ベルリン八日發)プレスブルグ來電=スロヴアキア新首相ステフアン・テイソ博士は八日ドイツ公使ルデン氏と會見した

【トルコ】

英國大使アンカラ離任

(リスボン十日發)アンカラ來電=アンカラ駐劄英國大使ヒユーゲツセンは今回ブリユツセル駐劄大使に任命され、十日アンカラを出發ロンドンへ向け歸途に着いた

昭和十九年 九 月十三日(水)
第 三 一 七 八 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

米英兩國首腦續々ケベックへ

(リスボン十日發)ケベツク來電=英國代表陸軍元帥サー・ジョーン・デイル、海軍大將サー・パーシー・ノーブル、陸軍中將ゴードン・マクレデイ、空軍中將サー・ウイリアム・エル・ウエルツシは十日ワシントンからケベツクに到着したが、米國代表の內陸軍參謀總長大將ジョージ・マーシヤル、大統領附參謀長海軍大將ウイリアム・リーイ、陸軍航空本部長大將ヘンリー・アーノルド、軍令部長海軍大將アーネスト・キングも大統領ルーズヴエルトと同道今明日中にケベツクに到着する豫定と傳へられる

ド・ゴール政權新閣僚

(リスボン十日發)パリ來電=九日夜改造されたド・ゴール政權新閣僚全員の顏觸れは次の通り

首　相　シヤルル・ド・ゴール
外　相　ジョルジユ・ビドール
無任所相　ジユール・ジヤンスネー
法　相　フランソワー・ドマントン
國務相　アドリアン・テキシエ
陸　相　アンドレ・デイーテルム(留任)
海　相　ルイ・ジヤキノ(留任)
經濟相　ピエール・マンド
財政相　レペルク
生産相　ラコスト
農　相　ロベール・タングイ・プリジヤン
食糧相(新設)ポール・ジヤコビ
植民省　ルネ・プルヴアン(留任)

パリ反政府分子逮捕

(リスボン十日發)パリ來電=ド・ゴール政權はパリ歸還と共に親獨主義者を續々逮捕してゐるが、既に逮捕人員は七千名に達し、更に九月末までには二萬七千名が檢擧される見込みだ被逮捕者は特別裁判所または軍事裁判所に告發される筈である

逮捕された人々の中にはラヴアル氏の愛婿ルネ・ド・シヤンブルン伯夫妻も交つてゐる

佛殘存艦隊勢力

(リスボン九日發)パリ來電=ド・ゴール政權の海相ジヤキノは九日次の通り發表した

フランス海軍の現有軍艦數は三百隻で、うち一部は米國において近代裝備を施された、兵力としては將校三千名及び四年間の軍事訓練を終了した下士五萬名を有してゐる

イラン經由對ソ援助狀況

(ストツクホルム四日發)デーリー・テレグラフ紙八月二十四日報道=イラン、イラク方面反樞軸軍部隊がペルシヤ灣からソヴエト國境に至る輸送路を通じてソ聯へ引渡した軍需物資量は合計三百七十五萬トン以上に達したが、この尨大な對ソ物資援助に關し同方面の反樞軸軍司令部は二十三日次の通り言明した

一九四一年九月から同十二月まで輸送した最初の物資量は、僅か二萬五千トンであつたのに對し、一九四四年上半期にこれは百七十五萬トンとなつた、英國、カナダ、米國の對ソ物資援助の殆んど五十パーセントまでがイラン、イラク經由で送られた、一九四二年の第四半期における一ケ月の平均輸送量は四萬トンであつたが、一九四三年初頭にはこの數量は激增、更に同年七月には十五萬トン以上に達した、同年十二月には一ケ月の平均輸送量は二十五萬トン近くとなり、一九四四年七月にこれは三十萬トンとなつた

飛行機四千五百臺以上は主として米軍が組立ててソ聯飛行士によりソ聯へ空輸された、一九四三年六月から一九四四年六月までに對ソ向け車輛一萬三千二百四臺が英軍の組立工場で完成された、航空機燃料だけでも五千三百萬ガロンが輸送されたが、對ソ援助物資の輸送に使用した自動車燃料は八千萬ガロンであつた

【亡命政權】

蘭艦隊長官倫敦訪問

(リスボン九日發)ロンドン來電=亡命オランダ東亞艦隊司令長官ヘルフリツヒは作戰協議のため八日コロンボからロンドンに到着した

昭和十九年 九月十三日(水)
第三一七八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米 國】

デユウイ本格的選擧戰開始

(リスボン十日發)フイラデルフイア來電=大統領選擧戰を二ケ月の後に控え、共和黨候補トーマス・デユウイは愈々本格的選擧戰を開始、全國遊説の途についた、十日先づフイラデルフイアにおいて第一聲をあげ聽衆一萬二千名を前にしてルーズヴエルト政權攻擊演説を行つたデユウイは外交政策に就ては殆んど觸れず、僅かに米國が戰後當面する二大問題として平和の獲得と維持並びに國內經濟の重要性を指摘したに過ぎないが、內政問題に就ては痛烈に現政權を非難し次の通り述べたルーズヴエルト政權の國內問題に對する態度は敗北主義者のそれに等しく米國の將來に確信を有し、且つその信念に基いてどうすればよいかといふことを承知してゐる新鮮にして活氣溢るる政府を以て代へねばならない、もし余が大統領に選ばれるならば平和時の米國經濟に對する政府の干渉を少くするであらう

なほデユウイは今後の遊説において前後七回にわたつて演説をする豫定といはれる

勞力不足緩和せず

(リスボン九日發)ワシントン來電=戰時人的資源委員長ポール・マクナツトは六日次の通り述べた

米國內の勞力不足は依然深刻を極め、軍需生産の削減によるも緩和されるどころではない、アイゼンハワーが歐洲戰線に要求する生産を維持するためには、なほ二十萬人の勞働者が必要である、しかして現在ニューイングランド諸州を初め、中西部及び太平洋沿岸の諸州において男子勞働者が極度に不足してゐる

B29工場の罷業騷ぎ

(リスボン十日發)シカゴのドツヂ・モーター工場はB29の發動機製作に當つてゐるが工員の昇進から勞働爭議が持上り罷業に發展するに至つた、但し十日インターナショナル通信社のシカゴ電報によればドイツ本土爆擊に參加して片脚を失つたメルヴイン・ビーゲルといふ二十一歲の傷兵が罷業團の集會に臨んで前線の苛烈な戰ひについて實情を述べたところ、新罷業團は遂に復業を決議、罷業は簡單に片づいたといはれる

【米 洲】

ボリビアもソ聯と國交開始

(リスボン十日發)ラパス來電=ボリビア政府はソヴエト政府と國交を開始するに決定した旨十日發表した

メキシコ大豪雨

(リスボン十日發)メキシコ市來電=メキシコ灣沿岸から太平洋岸にかけ過去四日間大豪雨があり、沿岸一帶は洪水に襲はれ、家屋喪失數千戶に上り農作物も大損害を蒙り、パラル、チユアウア地方では死者百名、行方不明約百五十名を出したといはれる

【北 歐】

瑞芬兩國交涉を開始

(ストツクホルム十日發)スエーデン政府はフインランド向け食糧輸送に關し今週早々フインランド政府と協議するに決定したが、フインランド首相の令弟ハクゼル氏は代表として十日ストツクホルムに到着した

英人特派員に退去令

(ストツクホルム九日發)ヘルシンキ來電=フインランド政府は七日「デーリー・メール」のラルフ・ヒウイズおよび「デーリー・エキスプレス」のエドモンド・デメートル兩人をスエーデン領に立退かせた、兩人は報道の許可をえずにフインランド國內に入國したものである

瑞丁通商協定更改

(ストツクホルム九日發)スエーデン・デンマーク兩國代表は過般來ストツクホルムにおいて兩國間の貿易に關し交涉を重ねてゐたが、九日一九四四年末まで現行の通商協定に基いて貿易を繼續するに意見の一致をみた

昭和十九年 九月十三日(水)
第三一七八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【ソ 聯】

ソ芬兩國代表會見

(ストツクホルム十日發)「スヴェンスカ・ダーグブラデツト」紙の報道によればフインランド代表は八日夜ソヴエト外務人員委員モロトフ氏と會見したといはれるが、兩國政府の協議内容が休戰に關するか和平に關するかは明らかでない

マ將軍元帥に昇進

(モスクワ十日發)第二ウクライナ軍司令官ロデイオン・マリノフスキイは十日附でソ聯邦元帥に昇進した

【南 伊】

將官七十五名を罷免

(マドリード十日發)ローマ來電=イタリア傀儡政權の陸相アレツサンドロ・カサテイは十日フアシスト政權を支持したとの理由で陸軍將官七十五名並びに大佐級九十七名を罷免した

三要人逮捕

(リスボン九日發)ローマ來電=「ル・ナチオネ」「イル・ヌオヴオ・ジヨルナレ」兩紙の社主ジエラルドカシニ、フイレンツエ軍法會議議長ガルデイノ大將並びに前軍司令ボツオリニ大佐はボノミ政權の命令によりフイレンツエにおいて逮捕された

フアシスト領袖の財産沒收

(マドリード十日發)ミラノ來電=ボノミ政權の指令に基きローマ警視總監はロソーニ元農相、ボフタイ元文相「レジメ・フアシスタ」紙主幹フアリナチ氏、スタラチエ元フアシスト書記長など舊フアシスト政府要人の全財産を沒收した

亡命希政權ナポリに移轉

(リスボン九日發)ナポリ來電=亡命ギリシヤ政權はカイロからナポリに移轉するに決定、既に首相パパンドレオを初め閣僚の大半がナポリに到着した

アメリーボノミと會見

(マドリード九日發)ローマ來電によれば目下イタリア訪問中の英國印度事務相アメリーは八日傀儡政權首相ボノミを訪問、二時間に亘る會談を遂げたと傳へられる、この會談に先立ちアメリーは傀儡政權の陸相及び空相並びに法皇廳に對するルーズヴエルト特使のマイロン・テイラーと會見してゐる

【西 亞】

イラク ソ聯と國交開始

(リスボン十日發)バグダツド來電=ソヴエト政府は十日をもつてイラク政府との間に外交關係を確立した、ソヴエト外務人民委員モロトフ氏は十日イラク外相宛の通牒において ソヴエト政府は極めて近くイラク政府との間に公使を交換する旨を述べてゐる

通信檢閲の撤廢を要求

(リスボン八日發)ペイルート來電=レバノン議會は八日國内各紙に對する反樞軸軍の檢閲廢止を要求したが、同時に新聞社の從業員並びに雇人は反樞軸軍の進駐に伴ふ生活費增加を理由に賃金値上げを主張して罷業に入つたため新聞發行は停止されてゐる

【軍事情報】

英軍の火焰放射器

(チユーリツヒ五日發)ロンドン來電によれば英國陸軍は現在次の如き三種の火焰放射器を使用してゐるといはれる

浮袋型=主として落下傘兵が背中に背負ふもので燃料を容れた輪管と壓搾ガスを容れた彈丸型の容器とからなり、火焰は五十米先まで屆くといはれる

胡蜂型=正面と側面に裝甲を施した輕自動貨車で運搬され、火焰發射距離は百五十米に及ぶといはれる

鰐型=主として「チヤーチル」型戰車に裝備されてゐるが、防楯もついてゐて、火焰發射距離は百七十五米、この火焰放射器は戰車に搭載するばかりでなく單獨でも使用される、以上の各火焰放射器は火焰放射線が曲線を描き、曲射砲のやうに建物の反對側を攻撃することも可能で、使用燃料は特火點や家屋の壁に附着したまま長時間燃え續ける

昭和十九年 九月十三日(水)
第三一七八號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

特輯

アジアにおける米國の將來

「サタデー・イヴニング・ポスト」誌

東亞の安定勢力としての日本の地位が萬が一でも動搖するやうなことがあつたならば、東亞は勿論アジア全域が收拾すべからざる混亂に陷り東亞十億の民衆が再び歐米人の隷下に呻吟しなければならぬやうな事態に立入るだらうことは火を睹るよりも明らかである、わが國と米英兩國との戰ひが單に日本の興廢を決する戰ひであるばかりでなく、廣く東亞全民族の運命をも左右する大戰爭である所以がここに存する

米英兩國の指導者がこの餘りにも明らかな事實を認識しないはずはない、しかもなほ彼等は日本の無條件降伏、日本の抹殺を呼號してわれに挑戰し來つてゐる、その目的は明らかだ、卽ち彼等は東亞に舊秩序を恢復し、日本によつて一度解放されたアジア民族を再び彼等の支配下に縛りつけんとするにあるのだ、大東亞戰爭における米英兩國の戰爭宣傳と、その眞の戰爭目的との間の到底調和し難き矛盾がここに存する、彼等はこの矛盾をなんとかして覆ひかくさんがために米英一流の惡辣なあの手この手を打たうと大童である、瀕死の狀態にある重慶政權を少くとも表面的には一等國扱ひし反樞軸陣營における「四大强國」の一つに數へあげ、日本を徹底的に擊破した後は、ゆくゆく重慶政權を東亞の安定勢力に育てあげんとするかの態度を示してゐるのもこの手の一つである

しかしながら重慶政權に東亞安定の如き大業を果たし得る能力のないことは十目の一致するところである、米英兩國の不自然な戰爭宣傳がここにその馬脚を現はすのであつて、米英の內部においてすら屢々その矛盾が指摘されてゐる、左に紹介する論文もその一つである、卽ち、この論文は、頻りに重慶政權を一等國扱ひにせんとしてゐるルーズヴエルトの主張を現實から遊離した「進步主義」だと揶揄し、日本の安定勢力が失はれてしまつた後の東亞は結局混亂狀態に陷る他なきことを間接的に認めてゐる、しかしてこの混亂を救ふのが歐米列强の「力の政治」であるとなしてゐるが、これこそ東亞を再び歐米の植民地化し、アジア民衆を彼等の隷下に呻吟せしめようとしてゐる非望を率直に告白したものといはなければならない、かくてこの論文の筆者は米國が東亞に對する「責任」を果たすためには「米國の陸海軍兵力を無期限に東亞地域に駐屯せしめる必要がある」との結論に到達してゐるのである

米國の責任

米國はアジアにおいて旣に大變な仕事を引受けてしまつた、この大事業とは日本を擊破した後、アジアの戰後體制を樹立することであり、その責任は一時的でなく寧ろ恒久的である、カイロ會談では旣に日本の海外領土を悉く剝奪し、日本人を全部人口稠密な日本々土に追ひ込む話合がついた同時に支那の領土はそのまま殘るばかりか却つて擴張することになつてゐる、しかしながら、一體誰がこの支那の領土主權を確實に擁護維持せんとするのであらうか

右に關してはルーズヴエルトと極く親しい關係にある評論家アーネスト・リンドレーが最近次のやうな見解を發表してゐる

ルーズヴエルトは支那の將來について次の二點を强調してゐる、第一は太平洋戰爭が白色人種と有色人種との鬪爭となることを防ぐためには支那を一等國として扱ふことが絕對に必要である、第二は支那は一、二時代もたてば名實共に一等國になるだらうことこれである、ルーズヴエルトのかかる見解は、彼が進步的な政治家であることを立證してゐる

しかしながら余の意見ではルーズヴエルトのかかる見解は餘りにも進步的過ぎて、現實から遊離してゐると斷ぜざるを得ない、彼は簡單に「一、二時代」といふが、この期間にアジアにおいて如何なることが起るか知れたものではない

昭和十九年 九 月十三日(水)
第 三 一 七 八 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

アジアにおける現實の事態を僞裝しようとするのは大きな間違ひである、何故ならばかかるごまかしの態度は、米國民をして米國が現在東亞でなしつつあることは日本を擊破することだけでありこの事業をなし遂げてしまへば、米國は東亞のことはそつくり米國の友邦支那にまかせて引きさがるのだといふ間違つた考へを抱かせるに至るからだ、更に、米國が東亞において如何に重大な責任を引受けたかといふことを國民に認識させず、從つて米國が將來のアジアにおいて演ずべき役割に對し、十分な準備が出來ないこととならう

カによる政治

カイロ會談においてすでにその輪廓の描き出された太平洋における戰後體制において米國が引受けることとなつた責任は、結局力による政治にその基礎をおくこととならう、卽ち、米英兩國は將來いふに足るべき武力を有したいアジア諸國の運命を擁護することを誓つてゐるが、この責務を果たすものは米英兩國の軍事力である、ソ聯は現在のところ歐洲戰で手一杯であり、アジアに對する同國の態度は歐洲戰が終つた後でなければ明らかになるまい、米國としては英ソ兩國が米國と協力して、日本をその島國に閉ぢこめておくと共に、支那の領土主權を尊重するやう希望する

一九二二年ワシントン會議において、日本をも含んでの九ケ國條約が出來上つた時も、米國は東亞の將來が保障されたとの希望的觀測を抱いた、この時に米國が犯した錯誤は九ケ國條約を維持するために米國の武力などは行使する必要がないと考へたことで、この結果米國はそれまでさへ十分でなかつた太平洋水域における軍事力をさらに手薄にしてしまつた、戰爭の斷で日本人が支那人より優れてゐることは議論の餘地なく、たとへ今度の戰爭で如何に徹底的に日本を擊破し、これを武裝解除しようとも、米國は日本に對して再び前と同樣の誤を犯してはならない、今度の戰爭の終つた時支那の軍事力は殆んど零に近い狀態になつてゐるだらうから、米國の企圖する如き體制を東亞に建設、維持せんとするにはどうしても米英ソ三國の强い提携が必要である、これを更に具體的にいへば、米國民が有力なる米陸海軍兵力を無期限に太平洋地域に配備しておくことを支持する場合に、はじめて東亞の戰後體制を維持することが可能である

米國の對アジア關係

われわれがその履行を誓つた米國のアジアに對する義務なるものは、米國民の一部が考へるほどと新らしいものではない、これは決してカイロ會談以後のことではなく、遠く今世紀のはじめに遡る、卽ち米國が支那の門戶開放主義を提唱し、歐洲列强にこれが遵守を迫つて以來の古いものである、かくて米國は東亞において支那を對象とした勢力均衡政治における主要な役割をつとめる國家となつた

米國が東亞に對する義務を平和裡に果たすためには歐洲の帝國主義國、强大なソヴエト聯邦並びに支那民衆との間の極めて微妙なる關係を破壞することなく、これを維持することが必要だ、ソ聯はアジアにおいて長大な國境線を持ち、朝鮮、滿洲國、蒙古、支那領トルキスタン諸地域と境を接してゐるから從つてソ聯が東亞の各地域に勢力範圍を持つてゐることは當然といはなければならぬしかるにソ聯と境を接するこれら地域における支那の勢力は弱少でソ聯乃至日本のいづれかによつて支配されてきた

ところが反樞軸軍が日本を擊破すれば、日本の支配地區からその勢力が取去られてしまふので、そのあとには政治的に眞空狀態の廣大にして且つ資源多き地域が殘されることとなる、ソ聯は必ず東亞におけるその權益擁護のため、出來るだけ多くの勢力を扶殖せんと努力するに違ひない、英帝國もまたたしかに米國より遙かに具體的な權益を持つてゐる、英國が今次大戰終了後、再び昔の如く印度、ビルマ、マライ等の豐富な資源を確保せんとすることも當然豫期されるところである

昭和十九年九月十三日(水)
第三一七八號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

しかも英國のかかる努力は、英國と同樣アジアに權益を持つてゐる歐洲諸國、例へばオランダ、フランス、ポルトガル等の支持を受けるだらう、これ等の帝國主義的活動を前にして、米國民は米國が東亞に對して與へた誓約を果たすために敢て犧牲を拂ふことを甘受するであらうか

不安なる平和

この場合に、米國の拂ふべき犧牲がいかなるものであるかが國民に十分徹底されてゐなかつたならば、また米國の太平洋政策が徒らに國內政爭の具に供せられ、東亞における米國の主要目的がなんであるか、米國東亞政策の限界はどの點におかれなければならないか等について、明確な認識を持たない感情ばかりで動く國內の特殊團體によつて、恰も蹴球の球の如くあちらに動きこちらに動きしてゐたならば、いくら米國民でもその犧牲を唯々諾々として甘受する筈がない

米國の東亞政策にはたしかに限界があるのであつて、例へば米國が東亞に植民地を有する歐洲諸國の地位を覆がへすこととのみをその方針とし、しかもなほこれ等諸國に對して米國の東亞政策に協力することを要求したとてそれはできない相談だ更に米國は印度を英國から、東印度をオランダから解放することに努力しつつ、なほ且つアジアにおける勢力の均衡を維持するために英國人及びオランダ人の協力を期待することはできまい、同樣のことはソ聯に對してもいひ得るのであつて、支那の共產黨を徹底的に彈壓せんとしてゐる蔣介石政權を支持するようソ聯に要求することはできない

要するに日本を擊破した後に太平洋地域に平和が保たれるにしても、それは極めて不安定な平和に過ぎず、東亞に利害關係を有する諸國間に最大の諒解と互讓精神とがあつた場合にのみ、はじめてその維持が可能とならう、この平和維持に米國がその役割を果たすためには、極めて水準の高い政治力を必要とすると共に、どうしても米國の陸海軍兵力を無期限に東亞地域に駐屯せしめることが必要とならう

燃え上るアジア

「タイム」誌八月二十八日號

アジア大陸はその兩端——卽ち中支那、印度並びに西亞において燃え上つてゐる、この火事は數時代に亘つて燻つてゐたが、西亞並びに印度の場合においては歐洲戰局最近の推移に伴ひ、アラブ民族と印度人とが國家主義的目的を推進し、しかも彼等は政治的工作によつて、英國との間に駈引上幾多有利な條件を收めてゐる、アラブ民族は地中海の東端スエズ運河、紅海、バブ・エル・マンデブの外郭における戰略的地步を占めてをり、更にアジアの油田地帶を所有してゐるので、人口並びに政治の上からみて實力以上の力を持つてゐるまたアジア並びに英帝國內における印度の特殊な立場の關係上、印度問題はひとり英國の問題たるに止まらず世界的な問題となるに至つた、しかも支那の問題が他の總ての問題を壓倒してゐる、支那はアジアにおいて丁度ドイツが歐洲で占めてゐると同じやうな戰略的地步を占めてゐる、もしドイツを支配するものが歐洲を支配するといふことが事實であれば、支那を支配するものは卽ちアジアを支配するものである、しかし問題は一層大きい、もし支那の國內における共產黨の別個の國家が萬一支那を支配することとなれば、四億五千萬の共產支那と一億九千萬の共產ロシアとが單に人口と經濟的資源の上からいつても全世界を支配することとならう

西亞——アラブ民族主義

ムエジンの叫びの如くアラブ民族結集の叫びが西亞各國の埃だらけの空氣の中に震動してゐる、アラビヤ民族の結集は依然として蜃氣樓に過ぎない、會談は何遍も開かれたが具體的な處置は一分も講ぜられてゐない、民族の誇りを持つてゐるすべてのアラビヤ人種はアラビヤ民族が自らその將

昭和十九年 九月十三日(水)
第三一七八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

來を決定し、世界においてより大きな役割を果したいと希望してゐることを、全世界に闡明すべき時期が既に到來してゐるといふ考へだ、チグリス河からナイル河に至る沙漠の空は、夏よりも蒸暑い、拔目のない勘定高いアラビア人の代表は、既にアラビヤ民族結集の計畫を作り上げた、野心滿々たるエヂプト首相ムスタフ・エル・ナハス・パシヤ、男振りのよい有能なシリア大統領シユクリ・クワトリイ、深謀遠慮のイラク元首相ヌリー・パシヤ・エサイドなどが立案者だ、結局ナハス・パシヤは延び延びになつてゐたアラビア民族全體會議をアレキサンドリアで九月下旬開催するに決定しクワトリイとヌリー・パシヤとはアラビヤ民族結集の盛氣樓を現實化する共同提案を持出したナハス・パシヤはエヂプト政府の指導の下にイラク、サウスアラビア、パレスチナ、シリア、レバノン、トランスヨルダン等々を包含する大規模なしかし緩い聯邦案を考へてゐるさうだ、しかも前者の方が、もつと實際的で、成立する見込が多い、同案の内容はシリア、レバノン、パレスチナトランスヨルダンなど舊オツトマン帝國を形成した國々をもつて大シリア聯邦を結成しようとするにあり、實際には次の二つの段階を經て、右聯邦案を實現しようといふ譯だ、第一段には大シリア國の結成、第二段にはアラビヤ各國の聯盟の組織である、聯盟が出來上ると同時に大シリア國並びにイラク國は直ちに聯盟に參加するが、他のアラブ諸國もいつでも希望する場合に聯盟に參加するしかし、アラブ民族結集の建設に對する障碍が如何に大きいかといふことをこの三人位よく知つてゐる人達はない、西亞各國における王朝相互間の抗爭、封建的經濟、沙漠の人「ベドウイン」と街の人「エフエンデイ」との間における多年の對立その上ユダヤ人とキリスト教徒少數民族との不斷の對立抗爭だ、回教徒の間に呑み込まれてゐるレバノン地方三十五萬のキリスト教徒に對し、大シリア案は「特權階級」といふ扱ひを持出してゐる、またパレスチナ地方の六十萬のユダヤ人に對しては、より大きなアラビア民族の機構内において「半自治」を提案し、テル・アヴイーヴのやうなユダヤ人の壓倒的に多い地區においては、ユダヤ人の地方政權を認めてゐる、ドイツ軍最高司令ロメル將軍がエル・アラメインに迫つた當時においては、西亞に最大の權益を保有する英國政府は英國王の王冠に對する忠誠を確保するためにアラビヤ民族結集の構想を支持した、ところが最近の報道によれば、アラブ諸民族間の宗教的、文化的經濟的紐帶を承認するだけで政治的結合には反對してゐる

印度――紬ぐ人

躍起となつて紡車を廻す褐色の小人モハンダス・ケイ・ガンジー翁は當年七十四歲である、翁は印度を英國の統治から全面的に解放するために一生を捧げてゐる、歐洲戰爭の推移に鑑みてガンジー翁も急いで何等かの行動に出ねばならない、まづ回教聯盟と會議派との間における行詰りを打開しなければならない、結局回教聯盟の首領モハメツド・アリ・ジンナーに對し、パキスタンの原則卽ち回教徒の多數を占める地方においては回教徒の獨立國家を認めるといふ原則に同意する旨申入れたガンジー翁は、多年パキスタン政策に對しては、「母なる印度の生體分割」だと稱して反對してきたが、七月ガンジー翁はジンナーと會談の上一切を片づけようと申入れた、ジンナーは右申入れに對し躊躇してゐたが穩健で人氣がありかつ說得力を持つラジヤゴパラチヤリは自ら委員長を買つて出て、兩巨頭の會談を取り極め、アドラスの法律事務所から再三ジンナーに對し電報を打ち結局ジンナーも會見に同意した、ガンジー翁は更に總督ウエーベルに對しても會見を申込んだ、總督が卽時印度の獨立を約束すれば、國民會議派は全力をあげて反樞軸軍の戰爭努力に協力する旨申入れたのである、ところがウエーベルは會議派は印度三億九千萬の人口の僅か一部を代表してゐるに過ぎないとの見地から、今ガンジー翁と會見してもなん等の實益がない、しかし印度政廳は明確かつ建設的な提案に對しては欣然考慮する用意ありと回答した、ガンジー翁は愈々夢中になつて紡車を廻してゐる

印度の統一と自由との問題が解決されない限りアジアと世界の平和並びに安定は決して確保されないことを誰よりもよく知つてゐるからだ

大正十五年十月廿五日第三種郵便物認可　昭和十九年九月十四日(木)　第三一七九號

同盟通信　海外電報　(212)

東京都麹町區日比谷公園二番　株式會社同盟通信社

昭和發行人　萩野伊八

世界の焦點

ベルリンからの電報に「ドイツは新兵器の生産まで時を稼ぐ」といふ言葉をよく見受けるが、およそこれほど戰爭における時間の契機を無視したいひ方はない、大方新聞記者の安價な樂觀から割り出した「机仕事」だらうが、眞實ドイツ軍當局がさう考へてゐるなら大變だ、十二日朝のロンドン電報によると、米軍が獨白國境で四哩ドイツ領内に侵入したといふことだが、報道の眞僞は別として、以上のことがジーグフリード線を突破したものか、或ひは要塞線の内奥防衛線前面に達したかは判然としないとしても、もはや西部戰線は時間の上で一瞬の息繼ぎも許されない段階に達してゐるのだ、ジーグフリード線の固さは今次歐洲大戰前からドイツは勿論中立國や反樞軸側からも傳へられてゐるが「近代戰においては拔き得ぬ要塞線といふものはない」とヒトラー總統自身が喝破し、マジノ線やマンネルハイム線の例が實證してゐるやうに、ジーグフリード線の固さも絶對的なものでなく極めて不安定な相對的なものだ、安樂椅子の戰略家達は反樞軸軍のジーグフリード攻略方式をあれこれと並べ立ててゐるが最近反樞軸軍が手持の航空兵力を總動員して、要塞線後方の連絡機關を猛撃する半面、ジーグフリード線そのものの脆弱個所を模索し始めたところからみても、攻撃兵器を最大限に集結して正面突破を企圖してゐることは明瞭で、今次ジーグフリード線に對する反樞軸軍の攻撃方式にはマジノ線に對するドイツ軍の、マンネルハイム線に對する赤軍の攻撃方式の匂が濃厚に感じられる、かかる危急存亡の際ドイツを救ふ唯一のものは物質的な要塞線でもなければ新兵器でもなく前線銃後一丸となつて蹶起した魂のジーグフリード線でなければなるまい

【目　次】

米共和黨メイン州で大勝……二〇九七
ルーズヴエルトの落選を主張……〃
ケベック會談本筋に入る……〃
反樞軸空軍、獨西部を爆撃……二〇九八
連日獨逸本國を爆撃……〃
獨本土上空の一大空中戰……〃
未だ獨抵抗線に到達せず……〃
對日反攻は米國への義務……二〇九九
反樞軸軍の對獨謀略攻勢……二一〇〇

【米　國】
英炭坑業の内情暴露……〃
海軍百三十萬人を訓練……〃
戰後減稅案……〃
對重慶空輸狀況……二一〇一
宋美齡ニューヨーク到着……〃
眞珠灣事件調査開始……〃
驅逐艦ノックス號近く進水……〃

【米　洲】
米洲諸國の團結を提唱……〃
墨政府外國石油利權接收を發表……〃

【英　國】
ロンドン民心引締めに腐心……〃

【カナダ】
空軍濠洲へ……〃

【反樞軸陣營】
皮算用委員會設置を考慮……二一〇二
米國で航空會議……〃
ワルソー蜂起軍八割を失ふ……〃
マシグリを英國大使に任命……〃

【東南歐】
クロアチア首席逮捕か……〃

【トルコ】
避難民の入國禁止……〃

【イベリア】
フランコ將軍米國大使を引見……〃

【ドイツ】
更に七名に絞首刑……〃

【ソ聯】
勞働豫備軍動員計畫……二一〇三
學童に溫いランチを給食……〃

【印　度】
兩巨頭會見詳報……〃

【軍事情情】
獨「虎王」重戰車使用……〃

【特　輯】
勃のいかがはしい掛引……二一〇四
米國のヘリコプター……二一〇五―二一〇六

昭和十九年 九月十四日（木）
第三一七九號

同盟通信 海外電報

（第三種郵便物認可）

米共和黨メイン州で大勝

（リスボン十二日發）ポートランド來電＝メイン州の知事及び下院議員選擧は全國に魁けて十一日施行されたが、知事及び下院議員三名とも全部共和黨候補が當選して、同黨の一方的勝利となつた十二日午前までに判明した投票結果左の通り

△**知事選擧**

選擧區六百二十六區のうち五百九十二區判明、當選、共和黨候補ホレス・ヒルドレス（一〇八二一五票）落選、民主黨候補ポール・ジュリエン（三二、七三二票）

△**下院議員選擧**

第一選擧區

選擧地區百五十二區中百四十八區判明、當選共和黨候補ヘール（三七、八六一票）落選、民主黨候補ペツチス（一三、八六一票）

第二選擧區

選擧地區二百八區中百九十區判明、再選、共和黨候補マーガレツト・スミス（三三、六二八票）落選、民主黨候補ステープルス（一一六九〇票）

第三選擧區

選擧地區二百六十六區中二百五十四區判明、再選、共和黨候補フランク・フエロース（三二、四四七票）落選、民主黨候補グラハム（八、九五八票）

メイン州の各種選擧は常に全米各所に魁けて行はれ、殊に大統領選擧の年には同州の選擧結果が十一月の大統領選擧に至大な影響を與へるので、「メインの赴くところ全米これに從ふ」との言葉さへ生れてゐる位だが、本年の選擧では右の如く共和黨の壓倒的勝利、民主黨の大慘敗に終つた、もつともメイン州は大體共和黨の地盤と目される州で、同黨の勝利は大體豫想されてゐたところだが、なほ投票が共和黨候補に壓倒的に多く集まつたことは注目すべく、知事選擧においては一九四〇年は投票率二對一で共和黨候補が當選したのに對し、今度の選擧では差は更に擴大されて三對一で、ヒルドレスがジュリエンを破つてゐる、下院議員選擧ではその開きは一層著しく、平均四對一の率を示してゐる

ルーズヴェルトの落選を主張

（リスボン十二日發）シンシナチー（オハイオ州）來電＝米國炭坑夫組合は目下シンシナチーで大會を開催中だが、組合長ジョン・ルイスは十二日大會に臨み次の通り演說した

炭坑夫組合員は十一月の大統領選擧で是非ルーズヴェルトを落選せしめなければならぬ、もし彼が再び當選するならば諸君の地位の向上は望み難く、依然として罷業戰術を續けなければなるまい、ルーズヴェルトこそ勞働階級の裏切りものである

ケベック會談本筋に入る

（リスボン十二日發）ケベック來電によればルーズヴェルトは十二日午前チヤーチルと協議を遂げた後、午後は米英兩國の軍司令と會談を開始したと傳へられる、會談の內容については作戰に關聯するとの理由で、大統領祕書スチーヴン・アーリー、英國情報省のクルイシヤンクが記者團を引見する以外確報がないが、大體三部門に分れ、ルーズヴェルトとチヤーチルとがケベックのシタデル（古城）で政戰兩略に亘る最高方針を協議し兩軍代表がシヤトー・フオンテナツクにおいて主として太平洋反攻作戰の具體案を練つてゐることは間違ひない、特に太平洋反攻作戰については空軍力並びに艦隊勢力を如何に配備するか、英軍の攻擊如何などが中心議題だが、A・P電報は

太平洋作戰については日本軍の生命線を突破、東印度の寶庫に有力な兵力をもつて突き込み、英軍が東印度を奪回し、日本本土並びに前面の防衛線を米軍の攻擊に委ねるのが問題だ

と勝手な皮算用に耽つてゐる、スターリンが招請を受けながら軍務多端を理由に參加を拒否したことは、ケベックに參集した記者團を驚かした樣子だが、太平洋反攻作戰の檢討を看板にしてゐながら、重慶政權は初めから無視されてをり、アーリーも十二日記者團との會見で

今會談に重慶の代表を招請したかどうかは分らないが經緯は逐一重慶政權に通達されようとお茶を濁したに過ぎない、なほ米英兩國の宣傳機關は會談後スターリン乃至蔣介石を交へて三次會談が開催されるかも知れぬと述べてゐる

昭和十九年 九月十四日(木)
第三一七九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

反樞軸空軍、獨西部を爆撃

(ベルリン十二日發)米軍航空隊は十一日ドイツ中西部地區に來襲特にハイヴェル、マグデブルグアイゼナツハ等の諸都市を爆撃した、夜に入つて英軍爆撃機隊はダルムシュタツトに恐怖爆撃を加へたため、以上各都市の市民の間に死傷を出し建物その他に損害を蒙つたが、ドイツ軍制空部隊は反樞軸空軍を邀撃して、四發重爆百四機、その他合計百三十三機を撃墜した

連日獨本國を爆撃

(ベルリン十二日發)米軍爆撃機隊は十二日正午頃ベルリンの西部並びに西南部に來襲、ドイツ軍戰闘機隊は直に邀撃熾烈な空中戰を交へた、ドイツ軍は米軍航空隊の內四發重爆四十機その他合せて四十二機を撃墜したといはれる

獨本土上空の一大空中戰

(リスボン十二日發)反樞軸軍はジーグフリード要塞線に對する總攻撃と共に、十一日以來ドイツ本土に對する爆撃戰を開始、中將ドーリツトル麾下の米軍第八航空隊は重爆一千餘機に戰闘機七百五十餘機をもつて西北はキール軍港地帶から舊チエツコスロヴアキア領境のブルツクスに對し爆撃を加へた、爆撃目標はルーランド、ライプチツヒ附近のベーレン、マグデブルグ、ハノーフエル附近のミスブルグ等といはれるが、ドイツ空軍も蹶然起つて米軍を邀撃、澄み渡つた秋空に恐らく歐洲戰爭始つて以來の壯烈な空中戰を展開した、A・P電報によれば米軍航空隊司令部も右空中戰において重爆四十八機戰闘機二十九機を喪失した旨發表したが、敢然祖國防衛に起つた空の若人の健闘振りは反樞軸軍當局も均しく認めるところで、ロンドンからのU・P電報は空中戰の實狀を次の通り報道してゐる

米軍空の機動部隊は十一日キール軍港からブルツクスにわたつてドイツ本土に爆撃を加へたがドイツ軍は噴射推進戰闘機を交へフオケウルフ一九〇、メツサーシュミツト一〇九をもつて、米軍空の要塞リベレーター等の猛砲火をものともせず、八方から反撃を加へ、米軍が基地に引き上げるまで攻撃を強行した

更に英軍爆撃隊は夜に入つてラインランド北部のダルムシュタツトを爆撃したが、米軍航空隊は十二日白晝重ねてベルリン附近を攻撃、ドイツ本土の戰ひは刻々最高潮に近づいてゐる

未だ獨抵抗線に到達せず

‖獨軍當局十二日言明‖

一、西部戰線におけるドイツ軍の成功、例へばブルージュ、ガン、アントワープ各地における敵の攻撃の失敗、ハツセルト附近におけるアルベール運河北岸の橋頭堡の粉碎、ナンシー北方において捕虜を得たことなどは何れも決定的なものではないが、西部戰線における情勢の變化が始まつてゐることを示すものである、更にオイペン、マルメデイ、ルクセンブルグの後方へと向ふドイツ軍の移動は、明らかに不必要に兵力を分散せずに、新たに獲得した防禦力の全部をあげて決戰に注ぎ込まうといふ努力を示すものである

一、今や西部戰線の戰闘はドイツにとつて神聖な戰ひとなつた、防禦の新方法が常に現出される限り戰闘を無限に繼續することが出來る、過去五年にわたる戰爭において多數の戰闘の頂點がみられ、最近においてはアヴランシュ、カーンがさうであつたが、これらの時期に際しドイツ軍は何時でも抵抗力の增大を示してをり、敵の地上部隊は何れにしろ近く集結したドイツ軍の威力を感ずるであらう

一、さらに敵部隊はいまだ西部戰線におけるドイツ軍抵抗線のあらゆる地點には到達してゐない從つて敵はドイツ軍の抵抗線がどう動いてゐるかを未だ知らず、ドイツ軍防禦力の相違から僅かに以上のことを推測出來るに過ぎない

一、北方へ進撃する英、加軍は到るところでカレー、ダンケルク地區からアルベール運河の方向へ後退するドイツ軍の頑強な抵抗に遭遇してゐる、リエージュからメツツに至る地域の米軍戰車先鋒部隊もドイツ軍の抵抗をうけ、白蘭國境地區におけると同樣にいまだドイツ軍の抵抗線に到達してゐない、ベルフオール方面においてもドイツ軍の西部戰線はいまだはつきりした形をとるに至らず、ブラスコヴイツチ軍はドイツ軍左翼の定められた地點まで到達してゐない

昭和十九年 九月十四日(木)
第三一七九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

對日反攻は米國への義務

=ケベツク會談をめぐる米英の宣傳=

(ストツクホルム十一日發)各種情報を綜合すれば近くケベツクで開催されるルーズヴエルトとチヤーチルの會談において

一、ドイツ問題

一、對日總反攻問題

が主として協議されることは、もはや疑問の餘地がなく、米英報道機關は特に後者に重點をおいてここを先途と宣傳に努めてゐるが、同じ太平洋攻勢問題といつても、米英兩國の態度には自ら相違があるやうだ、卽ち米國側は第二次ケベツク會談においてルーズヴエルトが歐洲戰終了後英國が對日戰で米國を全面的に援助するやうチヤーチルから言質を採らうと宣傳に努め、太平洋戰に對して比較的氣乘り薄な英國の態度を危惧する米國民の感情を鎭靜しようと努めてゐるに對し、英國側は來るべきケベツク會談こそ歐洲戰終了後英國が太平洋戰に全力を傾注する熱意を示すものだと稱して、最後の土壇場で米國に見放されぬやうに努めてゐる、以上の消息を傳へるものとしてはニューズ・クロニクル紙の政治記者が十一日

チヤーチルはケベツク會談で今後一ケ年以內に日本を倒すため米國に全面的援助を與へることを誓約するであらう、そのため對日戰に對する英國の準備をルーズヴエルトに具體的に說明するため、關係將領を帶同してケベツクに乘り込むであらう

と報じてゐるほかロイターの重慶向け報道も同日思はせ振りに次の通り述べてゐる

マウントバツテンの軍事顧問レイコツク少將がチヤーチルと共にケベツクへ乘り込むとの報道は現在歐洲戰で使用されてゐる上陸用舟艇と過去四年間上陸作戰の體驗で鍛え上げた英軍特殊部隊の東亞戰域回送の報と共に愈々英國が對日戰に本腰を入れることを實證するものであり、ケベツク會談では對日戰略の最終檢討が行はれることは明瞭だ、米國は最近英國が太平洋戰に熱意を示してゐないといつて非難してゐるが、イーデン外相が九日聲明したことは、對日戰に全力を注ぐことは米國に對する義務であるばかりでなく、東亞の植民地に對する義務であることを英國民に想起させた點で警鐘の役目を果すものだ、併しながらこのことは政府の態度だけではない、新聞の社說や編輯局に當てた讀者の手紙も悉く英國民の神聖な義務を强調してゐる

對日反攻は具體的方策

以上ロイター電報は對日戰に對する英國一般國民の態度が米國に對する重苦しい義務觀に終始してゐることを問はず語りに告白してゐるが、さてケベツク會談における對日反攻の具體的方策について何が問題かといふことについてはオヴザーヴア紙の議會記者は去る三日次の通り論じてゐる

東亞戰局が異常に目眩しい進展を續けてゐるため、米英兩國とも必要とする兵力を補給する餘裕もないほどだからケベツク會談ではまづ第一にいかにして日本軍に對抗できる餘備兵力を確保するかといふことが問題とならう、第二は懸案の日本艦隊擊滅問題だ、對日戰は主として日本艦隊を戰鬪に誘ひ込むに成功するかどうかに懸つてゐるといはれてゐる、しかしながら米國の太平洋艦隊に加へるに歐洲から廻航する英海軍の綜合力をもつてすれば、日本海軍に決戰を强制し、遂には日本々土上陸も可能とならう、最後にチヤーチルは對日戰の要求に應ずるため既に實行に移した英國側の準備の具體的細目をルーズヴエルトに示すことにならうが、それは太平洋戰に必要とする特殊艦艇と裝備、航空機密林戰用の特殊兵器の生產狀況に關する數字だ他方チヤーチルは明年度の動員計畫をルーズヴエルトに提示する筈だが、嚴秘に付されてゐるため、どの程度に行はれるか全然わからない

以上のケベツク會談を契機とし米國は勿論英國の對日反攻宣傳も歐州戰の終了を前提としたものであるが、戰線がドイツ本土に近付いてゐる現在、對獨戰の最大難關は寧ろ今後にあるはいふまでもなく、よしんば英國が「義務感」に迫られて米國に協力して對日總反攻に乘り出すとしても、それは英帝國の崩潰を早めこそすれこれを堰き止めうるものではない

昭和十九年 九 月十四日(木)
第 三 一 七 九 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

反樞軸軍の對獨謀略攻勢

(ベルリン友枝特派員十一日發)歐洲戰局はその急テンポの進展と共に愈々決戰段階に到達したが戰略と平行する反樞軸軍謀略戰の樣相もまた末期的な徴候を呈するに至つた、殊に外部からドイツ國民に對する思想謀略を企圖せずに内部から湧き上るやうな樣式をとり現在ドイツ國内に居住する中立國人や盟邦國人乃至占領國人、それに加へて一千萬を越える外國人勞働者を利用しようとしてゐる、かかる多數の外國人の在住してゐることはドイツ國内における治安維持の癌であり、ヒムラー内相の惱みもここにあると思はれるが、米英兩國はこの急所を狙つて最近謀略宣傳を强化するに至つた

反樞軸軍が西部戰線でドイツ軍の抵抗線を突破してドイツ國境に肉薄するとともに七日アイゼンハウワーはラジオを通じてドイツ國内居住の外國人勞働者に呼びかけ蹶起を促したが、恐らく外國人勞働者による暴動よりも、むしろドイツ國内に不安と猜疑を呼び起すための謀略と見た方がよからう、ドイツ國内に外國人勞働者が多いことは、例へばベルリンでさへも或る區域はまるでウクライナかポーランドの街のやうな印象を與へる事實でも明らかだが、それだけにまた勞働者間に不穩な空氣が擴まつたらといふ不安はドイツ人の誰でもが抱いてゐる感じであり、この點を狙つてドイツ國民の間に不安の念を惹き起し、外國人勞働者に對する猜疑を增させようといふのが反樞軸軍の謀略戰術である

またヒトラー總統と大島大使との會談は六日のドイツ新聞紙上に大きく報道され、更に數日後には各新聞とも寫眞を揭載し大々的に報道したが、右會談を繞つてドイツ人の間にデマが流布され、異常な速さで傳はつてゐる、かかる風說がどこからともなく起り、强い傳播力を持つて擴がるのは矢張りその裏に巧妙な謀略の魔手が動いてゐるために違ひない

【米國】

英炭坑業の内情暴露

(リスボン十一日發)ワシントン來電=炭坑夫組合機關紙は英國の炭坑狀況に關し八月十七日の紙上に次の通り報じてゐる

英國政府は最近英國炭坑を視察した米國炭業使節の報告公開を差控へるやうに米國々務省に壓迫を加へてゐる、米國炭業使節は英國の炭田で驚くべき狀態を發見したが特に時代後れの採炭方法が現に採用されてゐることをみて驚駭した英國炭坑の採炭作業は殆んど例外なく繁雜且つ非經濟的方法で行はれてゐるが、その理由として次の三點が擧げられてゐる

一、炭坑主は機械に資本を投じたくないので炭坑の機械化を欲しない

一、炭坑夫は英國勞働黨の奴隷的存在と化してゐるが、失業を惧れてゐるので機械化を欲しない

一、勞働黨議員も炭坑の改善を欲しない、何故ならばそれは全國的な賃金協定に導き、炭坑夫が政黨に盲從してゐるよりも組合から一層有利な條件を得られることを教へるからである

海軍百三十萬人を訓練

(リスボン十一日發)ワシントン來電=海軍長官フオレスタルは海軍將兵訓練狀況に關して十一日次の通り言明した

一九四四年六月三十日をもつて終了する昨年度内に、米國海軍は一百三十萬三千人に上る將兵の訓練を完了した、右は各種艦艇四千六十三隻の乘組員並びに二萬人の上陸用舟艇乘組員及び航空隊員である

戰後減稅案

(リスボン十一日發)ワシントン來電=下院經濟計畫委員會は十一日要旨左の戰後減稅案を發表した

一、あらゆる稅項目に對する全面的大減稅、これにより企業心及び投資活動を刺戟す

一、尨大な貯蓄が開放されてインフレを招く惧れあるをもつて、適當な資本統制を加ふ

昭和十九年九月十四日(木)
第三一七九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

對重慶空輸狀況

(リスボン十一日發)ワシントン來電＝陸軍空輸部隊修理技術司令ルーサー・ハリスは十一日ラジオ放送で次の通り述べた

現在陸軍空輸部隊に屬する輸送機は平均一時間四十二分に一臺の割合で太平洋を橫斷してゐる印度及び重慶に對する補給は最も困難な事業だが、最近一月間にヒマラヤ越えの空輸路で四千五百回もの輸送が行はれた月さへある

宋美齡ニユーヨーク到着

(リスボン十一日發)ニユーヨーク來電＝ブラジルで病氣靜養中だつた宋美齡は十一日空路ニユーヨークに到着、病氣治療のため同市のプレスビテリアン病院に入院した

眞珠灣事件調査開始

(リスボン十一日發)パール・ハーバー來電＝陸海軍は議會の要求に屈して日本軍の眞珠灣空襲事件の眞相調査のためそれぞれ軍法會議を任命したが、太平洋艦隊司令部は十一日海軍軍法會議の法官一同が現地調査のためパール・ハーバーに乘込んだと發表した、海軍軍法會議は現役將官一名を議長としてこれに退役將官數名を配してゐる

驅逐艦ノツクス號近く進水

(リスボン十一日發)ワシントン來電＝海軍省は前海軍長官ノツクスに因んだ驅逐艦、「フランク・ノツクス」號(二千二百五十トン)が來る十七日東部某造船所で進水する旨十一日發表した

【米洲】

米洲諸國の團結を提唱

(リスボン十一日發)サンチヤゴ來電＝チリーの有力議員ゴンザレスは十一日の議會で次の通り演說した

小國が帝國主義的な強國によつて吸收合併されることを防ぐ唯一の方法は小國が團結して固い聯合を結成するにある、チリーとしてはまづその手はじめにアルゼンチンと政治的、精神的に固く手を握るべきである、その後この結合は全中南米諸國に擴大さるべく、これによつてわれわれがある國の帝國主義的野望の犧牲となることを防ぐべきだ

墨政府外國石油利權接收を發表

(リスボン十一日發)メキシコからのロイター電によればメキシコ政府は大審院を通じ戰後國內における燃料の需要を賄ふため國內にある外人所有の石油利權を接收する旨發表したといはれる、卽ち大審院は外人石油利權者に對し賠償金は支拂ふが、鑛區料は支辨しないとの條件で石油利權接收の判定を下したといはれる

【英國】

ロンドン民心引締めに腐心

(リスボン十一日發)ロンドン來電＝西部戰局の推移に安心してか最近ロンドン市民が續々疎開先から舞戻つてくるので、英國政府當局はドイツ軍流星彈の危險はいまだ去つてゐないと市民の反省を促してゐるが、十日の日曜の如き鐵道當局の言明によれば一日で少くとも四萬人が鮨詰でロンドンに歸つて來たといはれる

しかしロンドン市內には現在なほ修理、再建築を要する家屋が八十萬戶以上もあり、折角戻つても多くの者は住むに家なき有樣だ、中部國民防衛委員ダツドレーも十一日

ドイツ軍がV一號より航續距離の長い別な新兵器をもつて攻擊を開始することは可能なばかりでなく大いに考へられることだ

と警告を發した、本國防衛軍は高射砲並びにロケツト砲を撫して目下「ロンドンの戰ひ」の再開に備へ待機してゐる

【カナダ】

空軍濠洲へ

(リスボン十一日發)キヤンベラ來電＝カナダ空軍は今回西南太平洋水域にも出兵するに決定、少數の先遣部隊は十一日濠洲に到着した

【反樞軸陣營】

皮算用委員會設置を考慮

(チューリツヒ十一日發)エキスチエンヂ・テレグラフのロンドン電報によれば、ルーズヴエルトとチヤーチルはケベツク會談において歐洲侵攻反樞軸軍司令官アイゼンハウアー、イタリア戰線反樞軸軍司令官アレキサンダー、赤軍副司令官ジユーコフ元帥を主體とし、元イタリア諮問委員會英國代表ハロルド・マクミラン、地中海方面反樞軸軍司令部政治顧問ロバート・マーフイ、ソ聯外務人民委員部首席次長ヴイシンスキー氏を政治顧問としドイツ問題を處理する委員會を創設する件につき協議する豫定といはれる

米國で航空會議

(リスボン十一日發)ワシントン來電=米國務省は十一日反樞軸航空會議を本年十一月一日から米國で開催することとなり、反樞軸國及び中立國五十ケ國に會議參加の招請狀を發した旨發表した、米國政府は過般來英國、カナダ、ソ聯、重慶政權その他と個別的に航空會談を開いて來たが、今度の會議はこれ等會談の結果招集されることとなつたもので、會議では將來の國際民間航空問題を協議する筈である

ワルソー蜂起軍 八割を失ふ

(ストツクホルム十一日發)ロンドン來電=ワルソー蜂起軍司令官ボールはソヴエト政府によつて軍事上の援助を拒否され、ワルソー市內における攪亂行動が完全な失敗に終り、蜂起軍が事實上潰滅にひとしい打擊を蒙つた事實を認め十一日次のやうに發表したといはれる

ワルソー市內のポーランド軍は過去一ケ月間の戰鬪で兵員の八十パーセントを失つた、軍幹部の損害は更に夥しい

マシグリを英國大使に任命

(リスボン十一日發)パリー來電=ド・ゴール政權は十一日初閣議を開催、前外相委員ルネ・マシグリをロンドン駐劄大使に任命した

【東南歐】

クロアチア首席逮捕か

(リスボン十一日發)十日夜のアルジエー放送によればクロアチア國家主席アンテ・パヴエリツチは革命分子に逮捕され、チトーに引渡されたといはれる、但しまだ確報はない

【トルコ】

避難民の入國禁止

(リスボン十一日發)アンカラ來電=過般來エーゲ海、地中海からの樞軸系避難民、その他非戰鬪員、兵隊が續々國境を越へてトルコ領內に避難しようとしてゐるが、トルコ政府は右避難民に對し入國を禁止するに決定した旨十一日發表した

【イベリア】

フランコ將軍米國大使を引見

(マドリード十二日發)スペイン統領フランコ將軍は十一日米國大使ヘースを引見一時間十五分に亘り會談を遂げた、會談の內容については全然發表がないが、ヘースは先週末米國から歸任したばかりで本國政府との協議の結果に基き特に會談したとみられる

【ドイツ】

更に七名に絞首刑

(ベルリン十一日發)政府は七・二〇事件の人民裁判第二回公判において次の七名に絞首刑の判決言ひ渡しがあつた旨十一日發表した

前ライプチツヒ市長、元物價管理局長官 ギヨールデー博士
元國會議員 パウル・ユング
元ヘス州內相 ウイルヘルム・ロイシユナー
元辯護士 ヨーゼフ・ヴイルマー
元大使 エーリツヒ・フオン・ハツセル
元公使館參事官 トロツト・ツ・ゾルツ
元警視總監、國會議員 ヘルドルフ伯

昭和十九年 九 月十四日(木)
第 三 一 七 九 號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

【ソ 聯】

勞働豫備軍動員計畫

(モスクワ十一日坂田特派員發)聯邦人民委員會議は今年九月十五日から十月十五日までの一ケ月間に都市及び郡部の少年少女三十五萬名を動員、ソ聯技術學校、鐵道學校及び工場學校に收容する旨去る七日發表した

以上三十五萬名のうち二十八萬名は工場學校、七萬名は鐵道學校及び技術學校に收容する豫定で十五歳から十七歳までの少年と十六歳から十八歳までの少女は工場學校へ、十四、十五歳の少年と十五、十六歳の少女は鐵道學校と技術學校に振り向けられる豫定である、「イズヴエスチヤ」紙の報道によれば工場、鐵道、技術各學校の現數は千六百で昨年度には三十三萬二千名の少年少女が動員され、獨ソ開戰以來百八十萬名が右學校で訓練を受けたといはれる

學童に溫いランチを給食

(モスクワ十一日坂田特派員發)普通學校は一年級から四年級までの新學期を九月一日から始めたが、五年級から十年級までの學童は目下共營農場への勤勞奉仕に忙しいため十月一日から新學期を始める豫定となつてゐる

本年度に初めて滿七歳の兒童が一年級に入學したが聯邦勞働組合中央評議會機關紙「トルード」によれば、ロシア共和國における十萬六千八百三十六の普通學校が一年級から四年級までの學童一千五萬名を收容、授業を開始してゐるといはれ、昨年に比べ學校數において五千以上、學童數において二百萬以上の增加を示してゐる、また一年級入學者三百七十萬五千名の內百八十二萬七千名は滿七歳で、モスクワでは滿七歳の兒童四萬名が入學した、普通學校では從來全學級の學童に砂糖入紅茶と麵麭を給食してゐたが、新學期からは一年級の學童に溫いランチを支給するほか勤勞母性の便宜を圖つて種々の措置が講じられてゐる、たとへば母親は七時に工場へ出勤する、學校は九時に始まり、一年級の授業は午後一時に終るが、工場の交替時間は夕刻なので、母親の退け時まで學童を學校で遊ばせて置くため特別室を用意してゐる學校もある

一九四三年の新學期以來都市における男女共學制が廢止されてから一ケ年を經過するが、ロシア共和國教育人民委員ボチョームキン氏の報告によれば、男女分離教授制は二、三の困難に逢着してゐるが、學童間の關係が正常に復した點で共學制より優れてゐるといふことだ、本年には更に二十八都市が分離教授制を實施するが、從來教育における社會主義競爭が幾多の弊害を癒した實績に鑑み、本年からは普通學校の社會主義競爭は禁止されるものとみられてゐる

【印 度】

兩巨頭會見詳報

(リスボン十一日發)ボンベイ來電=ガンジー翁とジンナーとの第二次會見は十一日午後五時半から約二時間に亘つてマラバール丘のジンナー私邸で行はれ、會談終了後ジンナー氏は次の通り發表した

十二日午前十時半から會談を再開、午後一時まで繼續した上、更に同日再び會見、午後七時まで協議を續ける豫定である

一方バンジヤブ州の會議派領袖は十日ラホールに會合、ガンジー翁の指導權を完全に信賴し且つ宗派問題解決のためジンナーの企圖を支持する旨の決議を採擇した、右決議は更に回教徒その他少數派の自治を認め會議派と回教徒聯盟間の和協も以上の方式に基づかねばならぬと述べてをり、印回兩教徒の和協問題が兩巨頭によつて協議されてゐる際、會議派のうちでこのやうな決議が採擇されたことは注目に値しよう

【軍事情報】

獨「虎王」重戰車使用

(ストツクホルム九日發)モスクワ來電によればドイツ軍はワルソー南方のヴイスツラ戰線で赤軍を邀撃するため「虎王」(ロイヤル・タイガー)と呼ばれる六十七トンの新型戰車を使用してゐるといはれる

米國のヘリコプター

ヘリコプターは俗に「竹とんぼ飛行機」といはれ、回轉翼航空機などとも呼ばれてゐる、わが國でも秋空をふらふらと飛ぶ愛嬌のある姿にはふと足をとどめてみとれた經驗をもつ人々があるだらう、このヘリコプターがいま世界を蔽ふ苛烈な空中戰の舞臺に軍用機として登場し、米國では愈々その大量生産にかかつてゐるといふ

米國におけるヘリコプターの最新型はバークレーのスタンレー・ヒラーといふ十九歳の少年が發明した無尾翼ヘリコプターだ、ヒラーの父親は太平洋空路の開拓者であり、現在或る汽船會社の社長だが、ヒラー自身も大きな豆競走自動車製作所を經營してをり、開戰後は自ら發明した自動車製作用の鑄造設備を利用して航空機會社の下請仕事をしてゐる

ヒラーのヘリコプターは八月三十一日米國陸海軍當局並びに民間航空諮問委員會に對しサンフランシスコで公開された、ヘリコプターは補助反旋回轉翼を使つて垂直に上昇し、滑空し旋回し、微速前進したり後退したりした後に離陸點から一呎と離れない位置に着陸した、この飛行機は發明者自身の言によれば最高時速約百哩、巡航速度は一哩半乃至九十哩だといふ、最大の味噌は空中における安定性と低速度巡航にあるらしい

この新型ヘリコプターが將來どうなるかは未だ明らかでないが、十日の入電によるとこの特許權は早くも造船王ヘンリー・カイザーが買ひとつてしまつたといはれる、米國でいまヘリコプターの生産に先頭を切つてゐるのはユナイテツド航空機會社あたりだらう、といふのは六月十二日附「ニューヨーク・タイムズ」紙にこんな記事が出てゐるのだ

ヘリコプターの大量生産

世界で最初のヘリコプター流れ生産がコネチカツト州ブリツヂポートのユナイテツド航空機會社シコルスキー航空機工場で公開された、同社は陸軍航空隊にR四型ヘリコプターの試用機三十機の引渡しを終り、すでにR四Bと呼ばれる同型機の大量生産にあてる組立流れ作業方式を完成しつつある、シコルスキーのヘリコプターR五及びR六の二改良型試作機はすでに陸軍航空隊のために製作されてをり、さきにシコルスキー航空機が陸軍航空隊資材部との契約の下に製作したR四型ヘリコプターの方は早くも就役してゐて、ヘリコプターが作戰に參加した實例としてはビルマにおける米軍航空隊の報告がある、ビルマでは他の輸送機の到底近づき得ぬ地點から負傷兵を後送するのにヘリコプターを使用した、現在アラスカではヘリコプターの耐寒試驗を行ひ、救助作業に使用する用意も出來てゐる、陸軍は操縱士の訓練にR四型を使用し、英海軍沿岸警備隊に對しても訓練の爲と同時にどの程度までヘリコプターが實用に耐えるかの試驗のために數機を貸與配屬せしめた、R四の生産契約が完全に行はれた後は、シコルスキー航空機では流星型複座軍用機R五の大量生産に組立裝置を利用する筈で、このR五は操縱者以外の搭乘者の席を串型に設け、四百五十馬力プラット・アンド・ホイトニー空冷星型發動機を有する今一つの複座軍用機R六は二百四十五馬力フランクリン空冷發動機だ、これはユナイテツド航空機會社との特許權使用契約の下にミシガンのナツシユ・ケルヴイネーター會社工場で大量生産される豫定になつてゐる

このシコルスキーのヘリコプターについては、「タイム」誌の六月二十六日號にも紹介記事が出てゐるが、記事の內容は大たい同一で、ただその性能としてR五は時速百十哩以上、航續距離四百哩と述べてゐる、米國では軍用よりは寧ろ民間用特に自家用としてヘリコプターを使ひたいと望んでゐる人間も多いやうだが實際問題としては價格の點からみて一般用には當分無理で、幾ら安くなつても一機五千弗以下にはなかなかなるまいといはれてゐる

昭和十九年九月十四日(木)
第三一七九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

シコルスキーといふ設計者はヘリコプターを定期空路に使用することを主張してをり、有名なシカゴのバス會社グレイハウンド會社でヘリコプター空路の許可申請をした時には、自ら民間航空局の調査官の前で二時間にわたりヘリコプターの將來性を主張したこともある、彼の說明によると乘合用ヘリコプターは十四人乘りで、六百馬力の發動機二基を有し、操縱者は二名、搭載能力四千二百封度、全備重量は一萬一千二百封度を超えるが燃料消費は百五十哩につき百ガロンだといふ、離着陸に要する土地は十二米平方で十分だと稱してゐる、他に米國ではピアセツキーの設計したPV2ヘリコプターをフイラデルフイアのPVエンジニアリング・フオラム會社で製作し、或ひはランドグラフの設計した試驗機などもあると傳へられるが、注目されるのはP37「エアラコブラ」やP63「エアコメツト」で有名なベル航空機會社がヘリコプター製作に乘り出してゐる事實だ、「エアロプレーン」誌七月二十八日號の記事には同社のヘリコプターを初め各種のヘリコプターについて說明されてゐるから次にそれを全譯紹介しよう

各種のヘリコプター

ベル航空機のヘリコプターは過去一年以上祕密で上空を飛びまわつてゐた、その設計に加へられた主な改良は安定裝置で、これは現代の他のいかなるヘリコプターの安定裝置よりも進んでゐると稱される、回轉翼がその支持構造と無關係に平面を保つやうになつてゐるのだ、發動機は百六十馬力フランクリン水平對向列型發動機で、直徑三十三呎の二翅回轉翼を有し、尾部には從來と變らないプロペラーがある、搭乘者は二名で座席は横に並んでゐる

エアロノーテイカル・プロダクツ會社のヘリコプターも現在米國で使用されてゐるが、これは特に操作が簡易なるやう設計され、直徑三十呎の三翅回轉翼を驅動する百十五馬力空冷水平對向列型發動機を裝備してゐる、尾部には普通の調整プロペラがついてをり、巡航速度は百哩時程度とみられる、原型では發動機が尾部にあつたが、その後出來た試驗機においては操縱席背後の胴體内にある筈だ

今一つ米國のヘリコプターとして發表されてゐるのはH一〇〇型で、プロペラの位置が牽引式から推進式に變つてゐる以外はドイツのフオケウルフFW六一型とよく似てゐる、座席は横に二つ並び、高さ八呎六吋、全長十二呎八吋、回轉翼の直徑は二十四呎だ、回轉翼の翅は全く斬新な設計になつてをり、長さは各十呎である、H一〇〇型は全金屬製で、現在の大部分のヘリコプターより流線型が進歩してをり、複式操縱裝置にすることも出來る、動力源は百五馬力のコンチネンタル空冷四氣筒水平對置列型發動機で、經濟巡航速度は九十五哩時、最大時速百六十哩、實用上昇限度は約三千呎である

ヘリコプターの將來

以上に述べた性能並びに形狀によつてもわかる通り、ヘリコプターは殆んど攻擊的な意義をもたないが、操作の簡易な點と發着の容易なこと、或ひは低速巡航や垂直飛行の可能なことにより、惡地形における連絡乃至小規模輸送、沿岸哨戒、飛行士訓練等に獨自の分野を有する、しかして平時における用途は殆んど枚擧に遑がない、その發達は戰爭のために却つて遲れた觀があるが、各國とも決してこれを全然無視してゐるのではなく、ロンドンのシエルヴア・オートジヤイロ會社ではC・Gプリンをヘリコプター研究主任として迎へ、一九三七年から一九四〇年にかけて行はれた彼とグラスゴーのG・J・ワイア商會との共同研究を再開することになつたといはれ、フランスのブレゲー航空機會社でもGA一〇A型單座ヘリコプターやブルゲードラン三座双發ヘリコプターを製作中だと傳へられる

最後に調査が辛辣な上に口が惡いので有名な米國國防計畫調査特別委員會即ちトルーマン委員會の報告のうちからヘリコプターに關する部分を引用してこの稿を終ることにしよう

對潛哨戒用としてのヘリコプターの意義はもはや十分認識されてをり、高速機に對し低速機と稱すべき同機種の利點も確證された、海軍には落下傘、救命ボート、無電機等を備へた一人乘ヘリコプターの引渡しを受けることになつてゐるが、このヘリコプターは最高時速百哩、航續時間四時間で、計器飛行設備をも有する

大正十五年十月廿六日第三種郵便物認可　昭和十九年九月十五日(金)　第三一八〇號

同盟通信

海外電報

(213)

東京都麹町區日比谷公園二番　株式會社同盟通信社

發行人　長野伊八

「國破れて山河あり」といふが、無條件降伏の看板を掲げてゐる反樞軸軍の遣り口は降伏した國々に對してあくまで苛酷であり、一木一草の末に至るまで征服せずにはおかない、バドリオ政權との休戰内容は未だに發表されるに至らないが、米英ソ三國とルーマニア政府との休戰條件を見れば、降伏したルーマニア國民には自由も獨立もなく、唯一つミハイ一世が期待したであらう戰爭からの離脱もあり得ないことが昭々として明らかだ、三億ドルの現物賠償が抗戰五年疲弊し切つたルーマニア國民に何を意味するかは暫く措き、地方行政まで一々赤軍並びに反樞軸軍司令部の合意を必要とするに至つては獨立の名も實も全然存在しないといつて差支へあるまい、更に十二個師の兵力を獨洪兩國との戰ひに繰り出さねばならぬのだから結局ゲツベルス博士がいみじくも道破したとほり、今度の戰爭から中道で離脱するのは疾驅する急行列車から飛び降りるに等しい、ルーマニア代表が協定に調印してクレムリン宮から退去するに當り、ロイター特派員に對し「不滿足だといつても仕方がないではないか」と捨てぜりふを殘したといふが、自業自得とはいへあまりにも悲慘だ



要するに今回の戰ひにおいては勝利か滅亡かのほかはない、最早歐洲の諸小國の去就は極つて、交戰各國が今後戰營を變へる場合は想定出來ないが、安易な講和の小徑を想ふ小國が依然歐洲に殘つてゐるとすれば、股の鑑遠からず近くルーマニアにありと指摘せざるを得ない、ケベツク會談において太平洋反攻作戰の構想を練る米英兩國代表の狙ひも、要するに日本帝國と日本人との抹殺に違ひない和協の道は一切殘されてゐないことが今回の戰爭の最大の特質である

【目　次】

太平洋作戰最高司令任命せん……二一〇七
ル・アーヴル激收……〃
米、ジ線の外郭陣地占領……〃
獨軍、ロムザ放棄……〃
友樞軸ルーマニア休戰協定成立……二一〇八
印回兩巨頭第三次會談……〃
波亡命首相等イーデンと會見……〃
【東南歐】
洪國に對する赤軍の攻勢……二一〇九
洪國政府檢閲强化……〃
【米國】
英國の言質をとれ……二一一〇
對日作戰を攻撃……〃
世界の武力支配を示唆……二一一一
眞珠灣事件責任者追求……〃
潜水艦「ガドジョン」號沈沒……〃
輸送機墜落……〃
【英國】
流星彈による死傷發表……〃
【濠洲】
米兵永住を申出づ……〃
【友樞軸陣營】
續々名士を逮捕……二一一二
ダフ・クーパー、パリへ……〃
昔變らぬパリの町……〃
パリのないない物づくし……〃
【亡命政權】
希政權伊本土到着……〃
【イタリア】
外交中心地を移轉……〃
【ソ聯】
トルブーヒン、元帥に昇進……〃
【ドイツ】
宣傳班員も新兵器で奮戰……二一一三
セザンブル砲臺指揮官に勳章……〃
【北歐】
赤軍、獨軍の芬撤收を阻害……〃
【印度】
ガンジー翁會談續行……〃
ボンベイ埠頭の爆破事件調査……〃
【軍事情報】
米軍ロケットで離艦距離縮小……〃
【特輯】
强引なアルゼンチン壓迫（上）……二一一四―二一一六

昭和十九年 九 月十五日(金)
第 三 一 八 〇 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

太平洋作戰

反樞軸最高司令任命せん

(リスボン十三日發)ケベツク來電=ケベツク會談は十二日午後の米英軍首腦を交へての會談開始によつていよいよ本筋に入つたが、この軍事會談では太平洋戰域における反樞軸軍最高司令官の任命が中心議題となつてゐる模樣である、卽ち現在太平洋において對日反攻作戰に從つてゐる反樞軸軍には、東に米軍司令官ニミツツの指揮する米國太平洋艦隊、南にこれまた米軍司令官マツカーサー麾下の西南太平洋反樞軸軍あり、西に英軍司令官マウントバツテンの指揮下にある東南アジア反樞軸軍、更に重慶地區にはスチルウエル麾下の米國軍あり、これらの各軍司令部は相互に連絡はとつてはゐるものの現在までの對日反攻作戰が具體的に示した如く完全な共同作戰の遂行を殆んど不可能ならしめる如き狀態にあり、ケベツク會談においては今後對日戰を更に强化するために太平洋戰域における反樞軸軍各司令官を統監する太平洋最高司令官を任命せんとしてゐると解される

この最高司令官は丁度歐洲戰域におけるアイゼンハウアーの地位にほぼ匹敵するものだが、U・P通信の報道によれば、ルーズヴエルトは對日戰が專ら米國軍によつて擔當され且つ海上戰であるとの根據からこの司令官には米國海軍軍人をもつてあてんとし、その候補者として既に米國聯合艦隊司令長官兼海軍作戰部長キング乃至太平洋艦隊司令長官ニミツツを考慮してゐるといはれ、これと關聯してルーズヴエルトが今回ニミツツ及び米國大西洋艦隊司令長官インガソルをそれぞれ正式海軍大將に指名したことが注目され、この措置はニミツツを太平洋戰域最高司令官に任命し、その後にインガソルを太平洋艦隊司令長官に配せんとする前提とみられる、これに對しチヤーチル及び英國軍首腦は英國軍人による最高司令官の獲得はすでにあきらめてはゐるものの、ニミツツ乃至キングよりマツカーサーの方を希望してゐると傳へられる

右に關し會談參加者からは何等の發表も行はれてゐないが、ルーズヴエルト祕書スチーヴン・アーリーは十三日新聞記者團に對して次の通り言明した

ルーズヴエルトは會談を今週末までに終りたい意向である、會談は素晴らしい進行を示してをり、今次會談の目的は米英兩國の戰力を太平洋及び歐洲戰域において最もよく發揮する方法を協議するにある、これがため會談出席者は世界戰局の現段階を綜合的に見て、反樞軸諸國就中重慶軍及び赤軍との協力を一層强化すべく努力してゐる、會談には軍首腦のほか財務長官モーゲンソー、戰時海運長官ランドも參加することとなつたが、ランドの出席は太平洋戰域における輸送問題が今次會談の重要議題となつてゐるからだ

ル・アーヴル撤收

(ベルリン十三日發)總統大本營は十三日次の通り發表した

猛烈な砲擊と連續空襲の後敵戰車隊はル・アーヴルに突入、ドイツ軍守備隊は最後の瞬間まで最も勇敢に抵抗した

米、ジ線の外郭陣地占領

(ベルリン十三日發)前線報道によれば十二日ヴエルヴイエ東方の米軍は廣汎な線で攻勢に移り、ジーグフリード線の外郭要塞を占領したといはれる、米軍は尨大な物量をもつて攻勢に出たが、ドイツ軍戰車擲彈兵隊は敵の突破を防ぎ續いて反擊に出て、米軍が新陣地から東方へ進出するのを阻止したといはれる

獨軍、ロムザ放棄

(ベルリン十三日發)總統大本營は十三日の公報をもつてドイツ軍が東プロイセン國境東南方二十哩の要衝ロムザを放棄した旨發表した

反樞軸ルーマニア
休戰協定成立

(モスクワ十三日發)ルーマニア休戰委員長パトラスカノは八日以來クレムリン宮においてソヴエト代表モロトフ外務人民委員、米國代表ハリマン大使並びに英國代表クラーク・カー大使と連日會談を重ねてゐたが、十三日に至り休戰協定成立し即日調印を了した

協定要旨

一、ルーマニア軍は赤軍並びに反樞軸軍とともにドイツ、ハンガリア兩國に對して戰ひを宣し、少くとも歩兵十二個師を戰線に繰り出す、艦隊並びに空軍を含むルーマニア軍の作戰は赤軍並びに反樞軸軍最高司令部の全般的指導を受く

一、ルーマニア國内におけるドイツ、ハンガリア兩軍の武裝を解除し、國内在住の兩國人を抑留する

一、軍事上の必要ある場合、赤軍並びに反樞軸軍が自由にルーマニア領土内を通行することを認める、赤軍並びに反樞軸軍の動きに對しては、自國の出費において陸上、海上並びに空の交通機關を悉く提供して一切の便宜を圖る

一、一九四〇年六月二十八日にソヴエト、ルーマニア兩國政府間に畫定された國境線を復活する

一、國内における赤軍並びに反樞軸軍俘虜並びに抑留民を即時引渡す

一、ソヴエト聯邦並びに反樞軸各國のために活動した廉でルーマニア國内に監禁されてゐる人々は國籍の如何を問はず釋放する

一、ルーマニア水域におけるドイツ艦船その他ドイツ軍並びに同盟軍の軍事上の補强裝備を悉く引渡す

一、ドイツ、ハンガリア兩國政府または兩國民がルーマニア國内で保有する貴重品、通貨等は赤軍並びに反樞軸軍司令部の同意なしに引き出すことを禁止する

一、現在ルーマニア諸港に碇泊してゐるソヴエト聯邦並びに反樞軸各國所屬船舶を悉く引渡す

一、赤軍並びに反樞軸軍司令部が機能遂行のために必要とする資金は、ルーマニア政府において定期的にルーマニア貨をもつて同司令部に拂込み、更に同司令部の訓令に基き、工業施設、輸送機關、通信機關、發電所、燃料、食糧その他の物資勞務を提供する、船舶もまた赤軍並びに反樞軸軍司令部の作戰的統制を受ける

一、ルーマニア軍の作戰並びにソヴエト聯邦領土占領により、ソヴエト聯邦が蒙つた損害はルーマニア政府において賠償しなければならないが今回獨洪兩國に宣戰した事實に鑑み一部の支拂を認む、賠償額は米貨三億ドルとし六ケ年にわたり、石油、小麥、木材、船舶、各種機械等の現物をもつて年賦拂ひにする

一、ルーマニア國内における雜誌等の出版、輸入配給、劇映畫の上映、電信電話事業の遂行は赤軍並びに反樞軸軍司令部との協定に基づいて實施する

一、事情の許す限り國境線五十粁乃至百粁以外の地域においてはルーマニアの地方行政を復活するが、一切の行政機關は赤軍並びに反樞軸軍司令部が治安維持の見地から公布するすべての訓令を施行する

一、ソヴエト政府並びに反樞軸各國はウイーン裁定を有效と認めず、トランシルヴアニア地方の全部乃至大半はルーマニア政府に返還されねばならないことを認める、ソヴエト政府は以上の目的のために赤軍がルーマニア軍に協力することに同意する

一、以上の各條項は調印と同時に效力を發生する

囘印兩巨頭第三次會談

(リスボン十三日發)ボンベイ來電によればガンジー、ジンナー兩翁の第三次會談は十三日朝三時間にわたつて行はれたといはれる、會談の內容に關しては全然發表がないが兩翁は同日午後再び會見し、十四日は會談を行はない豫定といはれる

波亡命首相等イーデンと會見

(ストツクホルム十三日發)ロンドン來電=亡命ポーランド首相ミコライチクは十三日外相ロメールとともに英國外務省を訪問し外相イーデンと會見した、但し會見內容は一切嚴祕に付されてゐる

昭和十九年九月十五日(金)
第三一八〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【東南歐】

ハンガリアに對する赤軍の攻勢

(ブダペスト十二日小田特派員發)東南歐洲戰線における赤軍は目下

一、ハンガリア平原侵入

二、ユーゴースラヴイヤ領ギリシヤ方面のドイツ軍孤立化

を狙ひ、特にハンガリアに對するカルパチア山脈突破作戰は兩三日來東プロイセン、ワルソー方面の作戰と關聯して積極化するに至つた、カルパチア山脈はヴイスツラ河とともに現在ドイツ軍東部防衛に最も重要な自然の要塞であり、ドイツ軍は防備に全力を傾け、現在ハンガリア軍をも動員して防衛線の强化に力めてゐる、戰術的には大體一千米以上の峻嶮なこの山脈に大兵力を注ぎ込むことは赤軍としても難事業と目されてゐるが、情報によれば赤軍は特殊な山岳部隊及び落下傘部隊を準備して突破を目指し各方面から攻勢をとり始めた樣子である

カルパチア通路の內最も低く從つて最も重要視されてゐるのはサンボルの西約百粁、スロヴアキア東北國境のドクラであり、コーネフ元帥麾下の第一ウクライナ戰線軍は十日同方面に南下しスロヴアキア侵入の機會を窺つてゐる、更にハンガリア東北國境にはウソリ、ヴエレーツケ、タルターレンの三通路あり、いづれも前大戰にロシヤ軍がハンガリア平原目指して侵入した古戰場だが、コーネフ元帥麾下の赤軍は右三通路にも肉迫してゐる樣子だ、ルーマニア、ハンガリア兩國國境のヴアパラドレナ通路に對しては、ペトロフ軍大將麾下の第四ウクライナ戰線軍が十日から行動をおこし攻撃を開始、更に南部ではマリノフスキー元帥麾下の第二ウクライナ戰線軍がハンガリア領トランシルヴアニア北部の突出部の南に侵入、北上を狙ふと共にトランシルヴアニア・アルプスの二千米の峻嶮を越え北トランシルヴアニア盆地に入りムレズル河に沿ひ西進する動きをみせルーマニア領に出撃したドイツ軍、ハンガリア軍とムレズル河の線で對峙、近く同方面の激戰が豫想されてゐる、かくハンガリアを東北から半包圍する赤軍が最近全面的に動き始めた事實は警戒に値しよう

獨軍の防衛線

更にドナウ河に沿ひ西進セルビアから南部に入らんとするマリノフスキー元帥麾下赤軍の動きも重要で、目下鐵門附近の嶮によるドイツ軍が喰ひ止めてゐるが、もしこの線が破れた場合にはベルグラード以北に殆んど自然的障碍なくハンガリア平原は忽ち赤軍の脅威に曝らされることとならうしかし最近ドイツ軍は鐵門方面に防備兵力を集中し、またクロアチア北部のチトー軍邀撃隊掃蕩に努力してゐる點からみて鐵門からベルグラード、サヴエ河による防衛線を强化する意圖とみられるブルガリア領に入つたトルブーヒン元帥の第三ウクライナ戰線軍はソフイア方面からマケルニア進出を狙ひ、チトー軍はこれに呼應して同方面におけるブルガリア軍もこれに呼應し、同方面におけるブルガリア軍の混亂に乘じドイツ軍連絡線の攪亂を企ててゐる、ギリシヤ方面のドイツ軍はチトー軍を掃蕩しながら北上してゐると傳へられるがトルブーヒン元帥麾下の赤軍はギリシヤ國境に達し、ギリシヤパルチザンは北部國境附近で蠢動しつつあり、英國はこれに武器を投下して援助してゐるが、パルチザン部隊間の紛爭は一層深刻となつてをり、ツエルヴア大佐一派は英軍の急速な上陸を希望してゐるといはれる、ギリシヤ亡命政權のナポリ移轉に絡み英軍がギリシヤ南部に上陸するかも知れず、トルブーヒン元帥麾下赤軍のギリシヤに對する動きとともに東南歐洲の戰局は重大かつ多岐を極めてゐる

洪國政府 (ブダペスト十二日發)ハンガリア政府は十二日次の通り發令した

檢閱强化

一、九月十二日以後民間の電信及び電話の內容は遞信省の檢閱を受けること

二、公用及び商用以外の手紙は半頁に制限する

三、用語はハンガリア、ドイツ、ルーマニヤ、スロヴアキヤ、ルテニヤ、セルビヤ及びクロアチヤ七ケ國語に限る

昭和十九年 九 月十五日(金)
第 三 一 八 〇 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米 國】

英國の言質をとれ

リップマン、ケベック會談に要望

(リスボン十二日發)ケベック會談における中心議題が對日反攻問題とドイツ處理問題であることはもはや疑問の餘地はないが、對日反攻問題で米國が一番關心を持つてゐることは英國が對日戰にどれだけの野戰兵力と艦隊勢力を割くかといふことだ、特にロンドンからのロイター電報がチャーチルは英軍の何割かを復員させるためルーズヴェルトの承認を求める豫定だと報じてゐるだけに米國も以上のことが氣懸りだが、更に東亞の戰ひにソ聯を捲き込んで最も危險且つ犧牲多い野戰軍による遭遇戰の重荷をソ聯に押しつけやうと希望してゐるやうだ、ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙の論客ウオルター・リップマンはかうした米國輿論の氣分を反映して十二日の紙上で

英ソ重慶の三國が對日戰に全面的に參加しない限り、勝利は空ろとなり將來の平和は大いに阻害されよう、從つてケベック會談で決定さるべき主要問題は米國が中心となつて對日戰を遂行するのではなく反樞軸國が平等に協力していかに對日戰を遂行するかといふことでなければならない、ただ單に戰爭がどれだけ續きどれだけの戰費を要するかといふことばかりでなく、ダンバートン・オークス會談における決議の實現も太平洋戰略について米英ソ重慶四國の意見が纏まるかどうかに懸つてゐる、その意味でルーズヴェルトとチャーチルはケベック會談後スターリン議長と蔣介石に會ふ必要が大いにあると述べて第二次テヘラン、カイロ會談の開催を慫慂した後、對日戰における英國の協力問題については

英國が太平洋戰の重荷を米國に押しつけて單にビルマ、マライ、蘭印などにおける掃蕩作戰に終始するか、或ひは對日主力攻勢に全面的に參加するかをケベックにおいて最終的に決定しない限り、太平洋戰略の根本方針は成り立たないと論じ英國の逸を以て勞を俟つ態度を警戒、須らくチャーチルの言質を採つて米國民を安堵させよと要求、他方重慶については國共相剋こそ對日戰略の實現を妨げる最大の要因である事實を指摘

米國は支那大陸に上陸し重慶の空軍基地を徹底的に利用し、且つ北支において日本軍と野戰軍による一戰を交へようと意圖してゐるから、米國軍が支那大陸に上陸した場合、既に訓練は受けてゐるが米國の裝備を必要とする重慶の大軍と連絡をとることが絶對に必要だ、しかるに不幸にも重慶軍は廣大な地域で共產軍を封鎖し數十萬の精銳がなすこともなく手をつかねて互に睨み合つてゐる現狀だ、かかる破局的な袋小路は對日戰に重慶諸力を糾合するためばかりではなく、事態の一層の紛糾を避けるためにも、今すぐに解決しなければならない

と述べ、大戰爭の內部における「小競合」の齎す致命的危險を強調した後最後に「若しも」ソ聯が東亞戰に參加したならば、といふ前提で希望的見解を一くさり語つてゐるが、ケベック會談にスターリン議長が參加せぬことはソ聯不易の方針を示すもので、重慶向けのロイター電報も十二日

スターリン議長が參加招請を婉曲に斷つたのはまだ對日戰について話し合ふ用意が出來てゐないためだ

と勝手な理窟をつけて諦めてゐる

對日作戰を攻撃

(リスボン十二日發)ニューヨーク來電=ケベックに開催された米英首腦會談の最大協議事項は對日作戰の强化にあるとみられるが十二日の「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙は右ケベック會談と關聯し、反樞軸軍の對日作戰の拙劣さを攻撃して次の通り述べてゐる

反樞軸軍の對日作戰における特徵は各國軍が互ひに反目嫉視し團結力なく、その結果共同作戰がとり得ないといふ點にある、日本に對して有效な打擊を加へるためには反樞軸軍が從來の行きがかりを棄てて是非單一體として作戰する必要あり、しかも反樞軸軍が共同作戰を行はなければならぬ時期が既にやつてきてゐるのだ

昭和十九年 九月十五日(金)
第三一八〇號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

世界の武力支配を示唆

(リスボン十二日發)ニューヨーク來電=海軍長官フオレスタルは十一日夜ニューヨークにおける演說で次の通り述べた

戰後の世界平和維持機構として如何なるものが生れ出て來ようともその背景をなすのが米國の武力である時代が長く續くだらう、されば米國としては戰爭終了後も十八歲以上のあらゆる靑年に對して少くとも一年は强制的軍事訓練を施す必要あり、更に政府は軍事技術研究のため聯邦機關を創設すべきである

眞珠灣事件 責任者追及

(リスボン十二日發)ワシントン來電=共和黨下院議員ハーネスは十二日議會で眞珠灣事件に對する政府首腦部の責任を追及して次の通り述べた

余が信賴すべき筋からきいたところによると日本軍が眞珠灣に來襲する遙か以前に政府は日本軍の行動につき數々の情報を入手してゐた模樣だ、卽ち眞珠灣軍港に第一擊の加へられる實に七十二時間以前に、濠洲政府は濠洲海軍の偵察部隊が日本海軍空母機動艦隊が眞珠灣の方向に向つて航行中なるを認めたとの報告を米國政府に寄せたといはれる、更に四十八時間前にもこの日本空母艦隊が依然としてハワイに向つて航行中であると報ぜられ、續いて二十四時間前にも再三同樣の警告がワシントンに到着した筈である

しかるにワシントン當局は何故かこれを無視してこれら警告の一つも眞珠灣の陸海軍司令官の手許には傳達されなかつた、かくて眞珠灣事件の眞の責任者はキンメルやショートでなく、このワシントンで祕密な幕のうちにかくれてゐるといはざるを得ない、更にキンメルとショートとは相互の連絡が惡かつたとの責任も問はれてゐるが、余の知る範圍では當時の眞珠灣における陸海軍の連絡は滿足すべき狀態にあり、この點でも兩名は無實の罪を問はれてゐる

潛水艦「ガドジョン」號沈沒

(リスボン十二日發)ワシントン來電=海軍省は十二日潛水艦「ガドジョン」(一四七五トン)が偵察に出たまま歸還せず、沈沒したと目される旨發表した、同時に開戰以來の潛水艦喪失に關し三隻沈沒、二十五隻未歸還、一隻自沈と發表した

輸送機墜落

(リスボン十二日發)ワシントン來電=米軍の輸送機C—47は九日人員九名を搭乘してアリユーシヤン列島附近を飛翔中、季節風に遭ひ墜落した、過去二年間に「C—47」の墜落は三度目である

【英國】

流星彈による死傷發表

(ストツクホルム十二日發)ロンドン來電=內務省は八月における流星彈による死者並びに重傷者數を十二日次の通り發表した

合計	四、〇二四名
內・死者	一、一〇三名
重傷入院者	二、九二一名

【濠洲】

米兵永住を申出づ

(リスボン十二日發)キヤンベラ來電=內相ジョーン・シルヴアー・コリングスは十二日次の通り發表した

過般來濠洲駐屯の米國兵から、米國に歸國せず濠洲の土地に永住することが出來るかどうかとの問ひ合はせが殺到してゐる

米國兵は濠洲には未だ手を着けずに殘されてゐる富源があることを知つてをり、祖先が曾つて米國を開拓したやうに自分達も富源開發を試みようとしてゐる、原則として移民は上陸免狀を持つてゐなければならないのだが、濠洲政府は米國兵の申込に對し、個々に十分考慮を加へるであらう

昭和十九年 九月十五日(金)
第三一八〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

續々名士を逮捕

(ベルリン十二日發)パリ來電=ド・ゴール政權は過去二十四時間内にさらに「アクシヨン・フランセーズ」紙の社主シヤルルス・モーラス、ラヴアル政權の元海相ブラトン提督並びに歐洲航空組合長ガストン・リヴー、さらにリオンでは前農相ピエール・カジオ、前ユダヤ問題處理局長ヴアラ氏も逮捕したといはれる

ダフ・クーパーパリへ

(リスボン十二日發)アルジエーからのロイター電によれば、ド・ゴール政權のパリ歸還とともに英國大使ダフ・クーパーも十三日アルジエーからパリに赴き舊英國大使館に入る豫定といはれる

昔變らぬパリの町

(ストツクホルム十二日發)米國週間誌「タイム」は九月四日號に「パリ」と題する一文を掲載、次の通り報じてゐる

先週パリに入城した米軍將兵はパリがあまりに平常と變りがないのを見出して驚愕した、彼等はパリ市民がドイツ軍の抑壓をうけて感覺を失ひ、ぼろぼろの着物を着て飢餓に瀕してゐると豫想してゐたが、この豫想は全く裏切られパリ市民はドイツ軍占領前と殆んど何等變りのない生活を送つてゐた

パリ婦人はいつものやうに身なりの整つた衣服を着て化粧も美しく街頭を濶歩してゐる、子供も肥つて榮養は滿點である、ビール、葡萄酒はおろか、シヤムパンも豐富で、モンパルナスの三大カフエー、ドム、ロトンデ、クーポールは市街戰の時だけは流石に閉店したが今は縞の入つた日覆ひをだして平常通り營業を續けてゐるまた街の女も愛情に飢えた將兵の需要に十分のやうだつた、「アメリカン・エクスプレス」社の目慣れた大看板もそのまま屋上に殘つてゐたホテルは何不足なく設備が整つて寢床のリンネル敷布、毛布、繻子の掛蒲團までも十分備へてあつた、反樞軸軍は先週からパリへ食糧を空輸し始めたが、これはパリへの食糧供給が反樞軸軍の進擊とドイツ軍の撤退に伴つて一時中止されたためである

パリのない物づくし

(リスボン十日發)一米人報道員は反樞軸軍占領後におけるパリ市の狀況に關し次の通り報じてゐる

燃料不足のため電氣の使用は夜間二時間に限られてゐるので日沒と共に店はみんな閉店してしまふ、輸送機關杜絶のために夜の集會も、劇場も中止され、夜のパリはすつかり鳴りを靜めてしまつた、食堂も闇市場で買入れた得體の知れない食物のほかは何もなく、ガスもなく市營バスも動かず、木炭ガスの乘合自動車さへ殆んどない仕末である

【亡命政權】

希政權、伊本土到着

(リスボン十二日發)ロンドン來電=亡命ギリシヤ政權の情報局は十一日次の通り發表したギリシヤ政府はカイロよりナポリ附近のカセルタへ移り首相ゲオルギオス・パパンドレオ以下大半の閣僚は既に同地へ到着した

【イタリア】

外交中心地を移轉

(ベルリン十二日發)ミラノ來電=イタリア政府と外交關係を維持してゐる十一ケ國の外交使臣は過般來ヴエネチヤから新たに選定された外交中心地への移轉を完了した、移轉先は環境優美なる有名な健康地で、政府も近く外務省及び文化省の重要部分を同所へ移轉させるといはれる

【ソ 聯】

トルブーヒン元帥に昇進

(モスクワ十二日發)聯邦最高會議幹部會はトルブーヒン軍大將を聯邦元帥に昇進せしめた旨十二日發表した、トルブーヒン元帥は現在第三ウクライナ戰線軍司令官で今次夏季攻勢ではルーマニア、ブルガリア作戰を指揮した

昭和十九年 九 月十五日(金)
第三一八〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【ドイツ】

宣傳班員も新兵器で奮戰

(ベルリン十二日發)前線報道によれば「ドイツニュース映畫」の特派員一名は西部戰線の某地で數名から成る小部隊とともに從軍した折、擲彈兵を含む優勢な米軍部隊に遭遇、米軍の裝甲偵察車群が一面に無暗矢鱈と發砲してゐる國道傳ひにしか拔け出す術がなくなつた、しかし「永遠のワルツ」その他の監督として知られてゐる同報道員は逸早く道に攀ぢ上り四十碼ばかり前方の裝甲車に對し近距離ロケット彈「裝甲拳骨」を發射、裝甲車を炎上せしめ、乘組員を悉く葬り去つた、映畫監督は擲彈兵を從へ、道を横ぎり鬱蒼とした森を拔けて遂にドイツ軍陣地に歸り着いた、お蔭で映畫は撮れなかつたが、映畫を「ものす」のも面白いが戰車を「ものす」のもなかなか痛快だとはこの映畫監督の氣焰だつた

セザンブル砲臺指揮官に勳章

(ベルリン九日發)總統大本營發表、ヒトラー總統は三日セザンブル島海軍砲臺指揮官リヒアルト・ロイフ大尉に柏葉騎士鐵十字章を授與した、ロイフ大尉は少數の砲手を率ゐ、サン・マロー港沖セザンブル島の砲臺に立籠り、敵の降伏勸告を退けて數週間に亘り陸海空三方面からの敵砲爆撃に耐へつつサン・マロー港の出入口を扼し火砲全部を破壞されて戰鬪力を失ふまで任務を遂行し、戰略的に多大の貢獻をなした

【北歐】

赤軍、獨軍の芬撤收を阻害

(ベルリン十二日發)ソヴエト政府はフインランド政府に對する休戰條件において九月十五日までにドイツ軍を悉く國外に撤收させることを要求してゐるが、フインランド國内からの情報を綜合すれば赤軍は右條件を無視してフインランド領内、特に中央部の前線數ケ所で空軍までも動員してドイツ軍の撤收行動を阻止、ドイツ軍は右攻撃に對抗を餘儀なくされ離脱作戰に多大の支障を來してゐると傳へられる、赤軍がかかる行動により規定期間内におけるドイツ軍の撤收を妨げるとともに、フインランド政府に對し休戰條約の基礎條件の履行を阻まうとしてゐることは明らかで、フインランド全國を占領、ボルシエヴイズムで固める意圖と見られる

【印度】

ガンジー翁會談續行

(リスボン十二日發)ボンベイ來電=ガンジー翁は十二日午後五時半から重ねて回教聯盟の領袖ジンナー氏と會見、回印兩教徒の和協案について協議を遂げた、會談の内容は嚴祕に付されてゐるが印度A・P通信社の報道によれば毎月會談終了と共にジンナーが會談要旨を覺書としてガンジー翁に提出、翁は或ひはそのまま諒承し、或ひは適宜修正を申込み逐一會談の結果を確認してゐると傳へられる、何分にも數世紀に亘る回印兩教徒の對立抗爭を一氣に片付けようとする重大交涉だけに會談は週末まで續くのではないかと見られる

ボンベイ埠頭の爆破事件調査

(リスボン十二日發)ボンベイ來電=印度政廳は去る四月十四日のボンベイ埠頭爆發事件に關して調査委員會を任命、事件の原因並びに經過を調査してゐるが、同委員會は十二日次の通り發表した

事件發生に當つては何も破壞的策動があつたわけではない、うつかり投げ捨てた煙草の吸ひ殻か、何か一寸した油斷が原因で發火したのかもしれない

【軍事情報】

米軍ロケットで離艦距離縮少

(リスボン九日發)ワシントン來電=米國海軍省は九日次の通り發表した

海軍艦載機並びに飛行艇は兩翼に裝備せる噴射推進裝置の使用により、離水及び離艦の滑走距離を三十三乃至六十パーセント減じ積載量を非常に增大した

昭和十九年九月十五日(金)
第三一八〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

強引な
アルゼンチン壓迫 (上)

國家主義を提唱 (七月十七日附)
「タイムズ」紙所載

アルゼンチン法相兼文相アルベルト・バルドリツチ氏は七月十七日メンドーサ州の國立大學における演説で、アルゼンチン國内の自由主義的風潮を非難、往時米洲各地を征服したスペインの探險家達こそアルゼンチン國民がもつて範とするに足る好例であると稱揚し、次の通り述べた

アルゼンチンは今や個人主義的人世觀から脫却した、過去十年間自由主義がアルゼンチンの政界及び經濟界を支配し、國際主義的外國資本の精神は國民の心から自主獨立の觀念を奪ひ去つたが、アルゼンチン國内の諸大學はかかる自由主義の思想を根絶、國家本然の精神の發揚に努力することが肝要である、國民生活の本源、即ち往時英雄的な功業を誇つたスペイン系のクリオール人の姿に立ちかへることこそ、次の時代における文化計畫の基調でなければならない、青少年諸君は基督教的高邁な人生觀の實現に努め、如何なることがあつても國際主義にかぶれて全國の若人が懷いてゐる希望を根本から忘れ去るやうなことがあつてはならない

檢閲の廢止 (七月二十八日附)

アルゼンチン副大統領兼陸相ペロン大佐は去る二十二日アルゼンチン國内の檢閲制度廢止に同意したが、度重なる米國國務長官コーデル・ハルのアルゼンチン攻撃に答へて、ペルフオ外相は二十七日夜大統領フアーレル將軍、副大統領ペロン大佐はじめ全閣僚出席の下に、ラジオを通じていよいよ檢閲の廢止を實行するに決定した旨發表「今日から各紙は自由の自主的行使を願ふアルゼンチン國民の意見を思ふ存分報道してよいことになつた」と述べた、アルゼンチン政府はここにはじめて檢閲を實施してゐた事實を公にしたわけである

ついで外相は米國内で最近頓に活潑化するに至つたアルゼンチン非難の聲に對する論駁に移つたが、語調は概して一般の期待に外れ、遙かに和協的であつた、更に外相は次の三點を主張した

一、國際的公約に關する限り、アルゼンチン政府は字句並びに精神ともにこれを履行した

一、アルゼンチン政府は一度も米洲の連帶に背反する企圖を抱いたことはない

一、アルゼンチン政府は米國今回の外交關係斷絶をもつて、法律上からも政治上からも正當付けることができず全く誤解から生じた處置にほかならないと見做す

かつてアルゼンチンを孤立主義國と罵倒した諸國は今やアルゼンチン政府を孤立のほか道のない窮地に追ひこんでしまつた、ハルの糾彈を默過することのできないアルゼンチン政府は米洲各國の偕調と自國の獨立擁護とを希ふ以外他意はなく、できる限り各國と協力はしてきたが、自國の主權を制限するやうな政治的、軍事的同盟に參加することは拒否した、米國は新聞、ラジオ、映畫を通じて敵意ある宣傳を始めるに至つたのは遺憾である

更に外相はアルゼンチンが歐洲諸國とも經濟的、文化的、民族的に深い關係をもつてゐる實情を指摘、最後に「アルゼンチン國民の大多數が政府の政策を支持してゐる」と結んだ

ブラジル政府も文書を發行 (七月三十一日リオデジヤネイロ市において米亞兩國關係に關する文書の正文を發表した、要旨次の通り

ブラジル政府は終始一貫南アメリカ大陸諸國間の團結を自覺してあらゆる努力を惜しまなかつた、一方アルゼンチン政府は現在展開されてゐる自由と安全保障のための戰ひに對し何等誠意を示してゐないと認められる、ブラジル政府はここに、アルゼンチン政府に對し、全力を傾倒

昭和十九年 九 月十五日(金)
第 三 一 八 〇 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

して南北米洲の安定確保に努めるよう更めて注意を促す次第である

外交的字句を並べてはゐるが、ブラジル政府はアルゼンチン政府が少しも義務を履行してゐないと見做してゐることは、右文書からも容易に讀みとることが出來る、同時にブラジル外務省も聲明を發して、ブラジル政府は反樞軸諸國と共に戰時義務の負擔を全うして來た旨繰り返して確言してゐる

一方A・Pは、出所を明らかにしてゐないが、ワシントン電報としてハルの攻撃に對するアルゼンチン政府の回答と確認される記事を報道した、同回答は外國に駐在してゐるアルゼンチン大公使全部に宛て送られたと傳へられるが、骨子次の通り

一、アルゼンチン政府は形式においても精神においても米洲各國との協定を遵守して來た
一、アルゼンチン國内における樞軸系の會社十三に對し監督官を差し向けた
一、アルゼンチン國内における樞軸國の銀行業を制限した
一、他の米洲諸國向け輸出の自由に關してはリオデジヤネイロ會議で定められた協定を遵守してきた
一、アルゼンチンの港灣に碇泊してゐた船舶を動員、他の米洲諸國向け物資輸送に宛ててゐる
一、ギリシヤ本國並びに反樞軸救濟復興委員會に向け小麥を供給した
一、金剛石、雲母、キニーネが樞軸各國に流れ込むのを防止した
一、戰爭を利用してアルゼンチンが大儲けをしてゐるとの非難が出てゐるが、現にアルゼンチン政府はロンドンに約六千二百磅、ワシントンに同額或ひはそれ以上の金を保有してゐるが、いづれも封鎖されてゐるため何も買ふことが出來ず、從つて以上の非難は全く見込違ひである

西半球連帶のアルゼンチン壓迫

(七月二十五日附)

「デーリー・テレグラフ」紙所載

米國國務省は今回アルゼンチンを除く西半球の各共和國に向け覺書を通達、愈々西半球擧げてのアルゼンチン壓迫工作の第一歩を踏み出したが、國務長官コーデル・ハルは七月二十五日次の通り發表した

米國政府は今回アルゼンチンを除くラテン米洲諸國に駐劄してゐる大公使に宛てて覺書を打電夫々駐劄國政府と協議を遂げるよう要請した、各政府の見解に關する報告を全部入手するまでには相當の期間が必要と思ふが、終り次第共同の方針を發表する豫定である、米洲における他の政府がすべて協力的態度を示してきたにも拘はらず、獨りアルゼンチン政府はラテン米洲到るところに働きかけて混亂の惹起、破壞的な不逞分子の煽動を事としてきた、米國政府今回の處置は何事もラテン米洲諸政府との協議により決定するといふ政策の一つにほかならない

覺書とロンドンの反響

(七月二十九日附)

「マンチエスター・ガーデアン」紙所載

米國國務省は過般アルゼンチンを除く米洲各國に對しアルゼンチン問題に關する覺書を打電、各國政府に通達したが、二十九日はじめて右覺書の内容を公にした、元來國務省は公文書を起草するに當り、臆病な程用心深い態度をとる例であつたが、今回の覺書には全く型破りの手嚴しい言葉を用ひてゐる

即ち、國務省はアルゼンチン政府が終始一貫明らかに樞軸を支援してをり、嘗て民主主義諸國に對し有利な行動に協力するといふ約束までしておきながら、まるで履行してゐないと斷言、アルゼンチン政府並びにアルゼンチン國内にある各種の樞軸系會社が、今次の戰爭において尨大な利益を收めてゐる事實を指摘して、米洲各國に對し今後もアルゼンチン政府不承認の政策を堅持するよう要請してゐる

ブエノスアイレス駐劄米國外交官の總引揚げを計畫してゐるかどうかについては政府當局も言明を避けたが、米國内の輿論がアルゼンチン政府に對する最後的手段を全面的に支持してゐることは疑を容れない、アルゼンチン國内には十分成熟した侵略的ファシスト系政治があつて、今次大戰が

昭和十九年 九月十五日(金)
第三一八〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

終了した後々までも戰を續け、ラテン米洲を悉くファシスト主義で塗りつぶさうと計畫してゐるのだと思ひ込んでゐる米國民は、アルゼンチン政府とそスペイン國内のファシスト主義と密接な關聯を有してゐるに違ひないとみてゐる

米國と英國が共同してアルゼンチン政府に對し經濟制裁を斷行しさへすれば、アルゼンチン政府の徹底的改組は比較的容易なのではないかといふのが、米國人一般の見解である、しかしまた他方には英國政府はアルゼンチンに對し米國政府ほど强硬な手段を望んでゐないのではないかとの印象を受けてゐる向もある、一方ロンドン來電によれば、英國政府はアルゼンチン政府に對する態度を徹底させるといふ米國政府の決意は十分諒としてゐるが、事件が純粹に米洲連帶主義の問題だけに英國政府は何等特別の聲明を出さない方針と傳へられる、なんといつても熱意において多少の相違があるかも知れないことは爭へないが、大體からいつて米英政府の間にはこの問題に關する限り、別段著るしい意見の懸隔はない樣子である

ブエノスアイレスに駐劄してゐた英國大使デヴイツド・ケリーは目下ロンドンに召還されてゐる同大使のロンドン歸還により必らずや種々の—特に補給問題に關聯した—事態及び政策を檢討する機會が得られよう

强硬態度に對する批判

(七月三十日附「オブザーヴアー」紙所載)

米國國務長官コーデル・ハルが先週アルゼンチン政府を彈劾した結果、米亞兩國の關係は急角度に惡化するに至つた、米國内の輿論は成行きに激昂し、政府當局及び各紙も「危機が刻々增大してゐる」と傳へてをり、各方面においてアルゼンチン政府に對する經濟斷交が提唱されてゐる、今のところ問題は專ら米洲内に限られてゐるが、アルゼンチン政府に對する經濟封鎖その他の經濟制裁が加へられることになれば、當然英國も紛擾の渦中に捲き込まれるわけである、勿論英國政府とて米國政府と同樣アルゼンチン政府に對しては何等好意も寄せてゐない、しかし英國は米國の場合とは比べものにならないほど多量のアルゼンチン物資に依存してきてゐる、アルゼンチンが肉類、小麥を初め皮革その他の物資を用立てて反樞軸諸國殊に英國の戰爭努力に貢獻してゐる實情に鑑み、現に米軍主腦の一部にも右援助の重要性を認めてアルゼンチン政府に對する態度はよほど愼重にした方がよからうといつてゐる位である、アルゼンチン政府をボイコツトするといふやうな擧にでるならば、忽ちにして米國は勿論全反樞軸軍の船舶並びに補給計畫は大きな齟齬をきたし、反樞軸の共同陣營にとつて至難な問題が持上がることとならう、元國務次官サムナー・ウエルズも米國政府現在の政策が果して賢明かどうか大いに疑問だといつてゐるが、アルゼンチン政府に對するハルの正面からの攻擊は全然所期の目的を達しないばかりか、反つて專らアルゼンチン國民の感情を害し益々現内閣支援の結束を固める原因となつてゐるといふのがウエルズの主張してゐる骨子である、しかしハルの方では以上の議論をもつて、もとの下役による人身攻擊だとしかみてゐない

一方當のアルゼンチン國内においては、事態が米國人の目に映ずるよりも一層複雜且つ錯綜してゐるが、政府は次に擧げる二大要因を利用して輿論に對する把握を强めようとしてゐる、卽ち

一、ラテン米洲における米國の經濟力、政治力の增大に對する懸念

二、ブラジルにおける急激な軍事資源の增大に對する恐怖並びに嫉視

である

米國が米洲における支配權を果してどういふ風に行使するだらうかといふことは獨りアルゼンチンばかりではなく、ラテン米洲各國が總て懸念してゐるところだが、ウエルズも指摘してゐる通り米國政府がラテン米洲各國民の感情を害しないやうに十分注意を拂はなければそれら諸國は益々結束を固めて遂には米國の勢力牽制に乘り出す結果とならう

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年九月十六日(土)　第三一八一號

同盟通信 海外電報 (214)

編輯發行人　萩野伊八　東京芝區櫻田本郷町四番地　電話新橋(43)二番　編輯兼印刷人　同盟通信社

帝國大學 圖書之印

【目次】

太平洋反攻作戰の大綱……二一一七—二一一八
ソ波住民の交換に關する協定……二一一八
印度の實情を暴露……〃
【ドイツ】
最後の切札を示さん……二一一九
フオン・ザイドリツツに死刑の宣告……〃
リンドマン大將逮捕さる……〃
【米國】
炭坑罷業更に擴大……二一二〇
炭坑罷業の影響……〃
炭坑主は屠殺者……〃
支那人差別待遇問題……〃
陸軍將官一千三百名……〃
【米洲】
アルゼンチン文相更迭……〃
【濠洲】
米英兵の居坐り移住……〃
【亡命政權】
波政權危機切り拔けに必死……二一二二
【英國】
流星彈による小賣店の被害……〃
【ソ聯】
イラクと國交開始……〃
【北歐】
ソ芬兩國の休戰交涉……二一二三
【友邦軸陣營】
對羅休戰協定に赤軍司令官代表調印……〃
更にスターリンとも會談か……〃
滾、新西蘭代表も參加……〃
西部戰線の兵力百萬……〃
重慶で米使節頻りに動く……〃
【トルコ】
勃內相に國外退去令……〃
【東南歐】
前閣僚をも逮捕……二一二三
【スイス】
燈管を撤廢……〃
【印度】
ガンジー、ジンナー會談……〃
【軍事情報】
獨空軍の新銳ハインケル一七七……〃
獨、特殊戰車破壞部隊編成……〃
米軍の新式舟艇……〃
米陸軍新輸送機……〃
V二號近く出現か……〃
カナダ、コルヴエット艦の喪失を認む……〃
【特輯】
印回兩教徒の和協問題……二一二四—二一二五
米國選擧と黑人問題……二一二六

世界の焦点

北はアーヘンより南はスイス國境に至るジーグフリード線の前面に第十二集團軍を主力とする反樞軸軍がひしひしと押寄せた、ラインの流れを背にドイツ軍は祖國防衛の堅陣を布いて決戰の機を待つてゐる、だがドイツ本土を守るための戰ひはジーグフリード線だけではない、今なほブレストにダンケルクに孤城を死守して屈しないドイツ軍守備隊こそは張巡、楠公を思はせるドイツ魂の權化だ、しかして西南フランスより長驅難路を突破して祖國防衛の決戰場に赴かんとするドイツ第十九軍の離脫行軍の壯烈は戰史上稀にみる大敍事詩を生み出しつつある、行動開始以來三週間、南佛軍と西佛軍の合流には成功したものの、前途なほ遠く、しかも目指すベルフオール周邊には既に米軍三個師、外人部隊二個師よりなる米第七軍の大部隊が迫つてゐるのだ時と競ひ敵と戰ふこの難行軍にドイツ軍は幾多の新戰術を採用したある時は米軍の前衞部隊をやりすごして背後より猛攻を加へ、ある時は一中隊長が大本營よりの命を待たずに獨斷反擊を試みた、途上の捕捉に成功せず、スイス國境よりの迂回に失敗した米軍は今や西北方よりベルフオール關門を强攻奪取せんとしてゐる、離脫部隊の主力は正に包圍に落ちた、だが彼らは傍目もふらず祖國への道を急いでゐるのだ、この忠誠の前に拓かれぬ道はない筈である

ドイツ國民の戰意は固い、オイペンに闖入した米軍はドイツ人市民の固い表情に脅かされた、米國陸軍長官スチムソンは十四日の新聞會見で「オイペン市民のかかる態度は反樞軸軍今後の任務の明白なる性質を確信せしめる」と放言して民族抹殺の暴圖をあくまで捨てぬ不逞の決意を誇示したといはれる

昭和十九年 九月十六日(土)
第三一八一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ケベック會談の主題

太平洋反攻作戰の大綱

(リスボン十四日發)ケベック會談の經緯は極秘の煙幕に包まれて窺知出來ないが、諸般の情報を綜合すれば、週末十六日すでに太平洋反攻作戰に關する大綱を決定、會談終了後米國大統領ルーズヴエルト、英國首相チヤーチルの連名をもつてカイロ公報を敷衍したやうな皮算用宣言を出すのではないかと見られる

太平洋作戰の戰域分擔

ケベックからのロイター電報は十四日チヤーチルとルーズヴエルトが今週末會談を終へて別れるに先立ち日本に對する戰爭に關する反樞軸の目的を闡明する公式聲明が出る形勢だ、右目的をはつきりさせる言明を出す時期が熟した、と兩人が考へてゐると信じてよい理由がある、消息筋の洩らすところによれば反樞軸軍太平洋總司令問題はケベック會談開始に先立ち極つてゐたので今度の會談では議に上つてゐないといはれる、眞珠灣におけるルーズヴエルトの會議に出席した米國代表の傳へるところでは、差し當り比島戰線は西南太平洋司令マツカーサー大將に、日本本土に對する大膽な最初の一擊は太平洋艦隊司令ニミツツ大將に割當てられてゐると述べてゐる

惟ふにケベック會談の當局筋が沈默の掟を破つて太平洋反攻作戰の戰域分擔に言及したのは、今回の會談を契機として米國の政界、言論界に東南アジア軍司令マウントバツテン大將不信論が擡頭した結果とみられるが、A・Pのケベック電報も全く同樣の趣旨に基き次の通り報道してゐる

第二次ケベック會談が最終段階に入るとともに、ルーズヴエルトとチヤーチルとが週末袂を分つに先立ち日本に對する戰ひについての反樞軸陣營の目的の輪郭を示す公式聲明が出さうな形勢だ、當局がはつきり約束したわけではないが、B29の日本本土爆擊によつて片鱗を示した日本に對する反樞軸軍の目的を闡明する時機が熟したと反樞軸の首腦が考へてゐると信じて差支ない理由がある、日本を灰燼に歸せしめる陸軍並びに海軍の戰略はすでに大綱が出來てをり、更に米英兩國軍の參謀本部代表がシヤトー・フオンテナツクで現在細目に亘つて協議を進めてゐる、統合參謀本部の意向を反映する當局筋では

一、太平洋總司令の問題はケベック會談以前に決定されてゐた

一、太平洋全體の總司令の問題は差し當り考慮されない

一、しかし太平洋の戰ひにおける直接の諸段階については司令統帥の問題は既に米英兩國の承認を得た具體案が出來てゐると言明した、もつとも最終段階に入つて日本軍に對する全般的戰略司令が必要でないといふわけではない、しかし日本の島嶼防衛線に對する作戰の現段階においては、重慶軍が抗戰を繼續してゐる間にマツカーサー大將麾下の反樞軸軍が比島の奪回を策し、ニミツツ大將麾下の尨大な艦隊兵力が日本本土に對し大膽な出擊を企圖することは眞珠灣の作戰會議で決定してゐる

支那大陸作戰を誘導

以上の太平洋反攻作戰と關聯し印度、セーロン島を據點とする英軍の東亞反攻作戰が當然問題となる譯だが、差し當り綜合司令部を設置しないといふ以外兩軍の呼應乃至戰域分擔については事情が一向に明らかでない、しかし太平洋反攻作戰が窮局において支那大陸の戰ひを誘導することは疑問の餘地なく重慶通訊社の特派員もニユーヨークから次の通り報道してゐる

英軍の役割がどう極つても日本反攻戰略には支那に對する反樞軸軍の上陸、乃至少くとも空軍力を十分展開するための基地を支那本土に確立する必要あり、更に北支那、滿洲、日本本土における日本陸軍の不敗の大兵力と一戰を交へねばならない支那本土上陸に際しては重慶軍に依存するところが多きい

昭和十九年 九月十六日(土)
第三一八一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

重慶軍は充分訓練を受けてゐるし、裝備は米國が補給出來るわけだ、しかし不幸にして重慶軍が中共軍を包圍してゐるため支那軍數十萬の精銳がお互ひに監視し合つてゐる現狀だ

イーデンソ波問題を携行

以上太平洋戰略論と併行して歐洲の政治的處理案がケベック會談の重要議題であることはいふまでもなく、特にソ波兩國の紛爭に關聯して、ソヴエト政府との關係につき鳩首協議してゐると見られる、イーデンが亡命ポーランド首相ミコライチクと會見した後、急遽ケベックに赴いた事實に徵しても、這般の事情は想像に難くないが、特にヘウム政權がウクライナ白露兩共和國政府との間に住民交換協定を締結したため、ソ波兩國の紛爭は一段と惡化するに至つたと解される

更にケベック會談に關聯しド・ゴール政權が歐洲の處理案について發言權を主張してゐる事實あり、また「マンチエスター・ガーデアン」紙によればカナダ國內特にフランス系カナダ人の間には遠征作戰に對する反對少からずケベック會談は案外に複雜だ

結局チヤーチルがカナダ首相マツケンジー・キングと別個に會談を遂げてカナダ軍が「象徵的」に太平洋反攻作戰に參加するのが落ちだらうといはれる

ソ波住民の交換に關する協定

(ストツクホルム十四日發)モスクワ來電によれば、ヘウム政權は十四日ウクライナ、白ロシヤ兩共和國政府との間に、ポーランド人の「交換移住に關する」協定を締結したと傳へられる、A・P電報は右協定について特に次の三點を重視してゐる

一、西ウクライナ、西白ロシヤがソヴエト聯邦に編入されるとともに自動的にソヴエト國籍を取得したポーランド人が再びポーランド國籍を取得出來るやうになつたこと、尤も國籍の選擇は當該住民の自由意志に任かせてゐる

一、一九四四年一月ソヴエト政府が各共和國の外交自主權を認めて以來、初めてウクライナ白ロシア兩國政府が國際協定を締結したこと

一、今回の協定でヘウム政權が解放ポーランド領域で實際に行政權を行使してゐることが確認されたこと

印度の實情を暴露

(リスボン十三日發)ワシントン來電=最近在米中の一般印度人をもつて自由獲得國民委員會が結成され、委員長にはホセイン博士が就任したが、十三日同委員會は、過般フイリツプスがルーズヴエルトに對する報告書おいて印度軍は傭兵に過ぎないと述べたのに關聯して聲明書を發表、英國の搾取下にある印度の實情を遺憾なく暴露した

× × ×

印度では子供でさへも印度軍の將兵が自らをまた家族を貧窮と飢餓から救ふため徵兵に應じたことを知つてをり、われわれは彼らを「米の兵隊」と呼んでゐる、しかるに英國では彼らを世界最大の義勇軍と呼んでゐる

更に大西洋憲章の印度に對する適用について印度人はだれもがチヤーチルの聲明は大西洋憲章を否認したものと感じてゐる、ルーズヴエルトでさへも大西洋憲章は普遍的な性格を有するものだと繰り返して述べる必要を感じた位で、勿論チヤーチルは何時でも彼の欲する時にこの議論に終止符をうつことが出來るわけである、しかるに何故にチヤーチルは大西洋憲章を印度に適用するといはないのか、フイリツプスは大統領に對する報告において印度の實情についての現實的な、また正確な觀察によつて反樞軸諸國の戰爭目的に對して警告を發する役目を果したのである、またフイリツプスは印度に何時自由を與へるかはつきりせよと勸告してゐる、たれしも印度にゐるものは「米國にゐる英國の役人は余の意見から啓發されるところがある筈なのに逆に彼らは巧妙ではあるが淺薄な議論をもつて自分を論駁してゐる」といふフイリツプスの考へに同意する

昭和十九年 九 月十六日(土)
第 三 一 八 一 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【ドイツ】

最後の切札を示さん

(ベルリン十三日發)D・N・B軍事記者は歐州戰局を俯瞰して刻下におけるドイツ軍の戰略態勢を十二日次の通り論じてゐる

× × ×

現下の戰局は歐洲戰が最後の決戰段階に突入したとの感を愈々深からしめてゐる、卽ちドイツ軍は兵員器材における劣勢を餘儀なくされ甚大な打撃に次ぐ打撃を齒を喰ひしばつて堪へねばならず更に國外の陣地の殆んど全部を放棄するの已むなきに至つた、これに反し反樞軸軍は東部、西部兩戰線でドイツ國境の直ぐ前面に陣地を布かうとする態勢にあるが、唯だ一つ反樞軸軍の戰力を弱めドイツ軍を利する一要因が存在する

卽ち反樞軸軍の先鋒と主力との間に大きな距離が介在し、計畫通り作戰を遂行する自由を許さぬことだ、また各交戰國は旣に最後の切り札を出しきつてゐるが、ドイツはまだ切札を出してゐないドイツ軍當局は反樞軸軍に新たな兵器の出現をそれとなしに仄かしたが、ドイツの上にのしかかる現下の脅威に鑑みこの新兵器の出現が間近に迫つてゐると期待してもよいやうだ、以上の事實はわれわれをして次の二つの結論に達せしめる、一はドイツが新兵器の使用によつて野戰における反樞軸軍の兵力器材上の優位に十分對抵出來るであらうといふこと、第二はドイツが最後の切札の一たる尨大な兵力を歐洲要塞の中心に集結、その戰力の源泉から直接作戰するといふ極めて有利な態勢で、敵が決戰を挑まうとする瞬間を摑んで主動的にドイツの方から決戰を挑むであらうといふことである

ドイツ軍はフランスからドイツ本土に撤收したが、この點見逃すことの出來ぬのはドイツ軍が反樞軸軍の壓迫下に餘儀なく戰線を撤收したことであり、またドイツ軍があらゆる戰闘において支配的地位を占めることが出來ないといふ點だ、しかしながらドイツ軍が反樞軸軍に比して優れてゐるのは戰略上の優位であり、ドイツ軍が一度最後の切札を使ふに至つて、その戰略的優位は一目瞭然とならう、かうした觀點から出發するならば現下の戰闘は「時を稼ぐための戰ひ」といふことが出來よう、ドイツ軍にとつては都市や地域を喪つたことは時を稼ぐことに比較すれば何等の意義をも持たない、ドイツ軍は當初相當の速度をもつて離脫作戰を遂行したが、現在ではあらゆる戰線において離脫の速度は低下してをり、戰闘は再び熾烈且つ頑强な樣相を帶びるに至り、反樞軸軍がドイツ西部要塞に迫るにつれてドイツ軍の抵抗は益々激化してゐる、しかもドイツの要塞線が日毎に强化されてゐることは誇張なしにいひ切ることが出來よう

現在西部戰線には三條の要塞線がある、一はベルギー、オランダ國境百五十粁の線に沿ふもので中心はアントワープ—ハツセルト地區からエインドホーヴエンに至るものと、リエージュ—ヴエルヴイエ地區からエー・ラ・シヤペルに至るものだ第二はモーゼル地區に沿ふもので、約八十粁、ルクセンブルグからメツツ南方に延び、現在米軍が砲火を集中してゐるのはこの要塞線だ、第三はブルゴーニュ關門に構築されつつあるものだ

フオン・ザイドリツツに死刑の宣告

(ベルリン十三日發)宣傳省の機關紙「前線と銃後」は十三日次の通り報道してゐる

いはゆるモスクワにおける自由ドイツ國民委員會の指導者フオン・ザイドリツツ將軍は今回ドイツ軍から除名され叛逆罪の廉で缺席裁判により死刑の宣告を受けた、所謂國民委員會はソヴエト政府の完全な傀儡で、ボルシエヴイズムの勢力下にある全く無力な機關である、赤軍はモスクワにおけるドイツ人俘虜のナチズム反對示威なる寫眞入りのパンフレツトを撒布したが、ソヴエト各紙の報道に徵すれば、ドイツ人俘虜を大量にシベリア地方に流刑に處する場合の寫眞にほかならないことが判明した

リンドマン大將逮捕さる

(ベルリン十三日發)ヒトラー總統暗殺未遂事件の連累元砲兵大將フリツツ・リンドマンは十三日ベルリンにおいて逮捕された

昭和十九年 九月十六日(土)
第三一八一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米 國】

炭坑罷業更に擴大

(リスボン十三日發)ワシントン來電=大統領は十三日更に東部炭田の罷業炭坑十二を接收した、これで政府の接收した炭坑は既に四十五の多きに上つたが、かかる强壓にも拘らず罷業は漸次擴大しつつあり、炭坑夫の總罷業にまで擴大する氣配が愈々濃厚となつて來た

炭坑罷業の影響

(リスボン十三日發)ワシントン來電=東部炭田における炭坑夫の罷業は既に石炭需給の上に深刻な影響を與へつつあり、燃料長官イツキーズは右につき十三日次の通り言明した

本年の出炭計畫高は六億二千六百萬トンだが、炭坑夫の罷業によつてこの出炭計畫は非常な脅威を受けるに至つた、罷業の中心地たるウエスト・ヴアージニア及びケンタツキー兩州の出炭高は先週だけでも三十萬トン減小した、罷業によつて現在閉鎖を餘儀なくされてゐる炭坑は十九、罷業炭坑夫は一萬三千名と推定され、この結果一日平均七萬五千トンの出炭減少をみてゐる

炭坑主は屠殺者

(リスボン十三日發)シンシナチ來電=炭坑夫組合長ジョン・ルイスはシンシナチ市で開催中の組合大會で次の通り演說した

炭坑夫の事故死傷者が驚くべく激增してゐるにも拘らず、炭坑主は勞働者の安全を保障するやうな何らの措置をも講じない、換言すれば彼らは「屠殺者」であり、かかる事實は米國の恥辱である、炭坑主が何らかの對策を講じない限り勞働者は自分達の命を守るため罷業その他の非常手段に出なければならぬこととならう

支那人差別待遇問題

(リスボン十三日發)米國はその戰爭目的として世界人類の解放乃至民族の平等を頻りに宣傳してゐるにも拘らず、國內では黑人問題をはじめ少數民族に對して理不盡な壓迫を加へてゐるが、十三日のシカゴ來電によると先週シカゴ居住の一有力支那人が死亡、これを同市郊外のローズヒルにある彼の妻の墓地に早速埋葬しようとしたところ、同墓地の係員は白人以外は埋葬しないとの口實でこれを拒否したといはれる、右事件に關し、在米支那人が憤慨したのは勿論のこと白人宗教指導者なども人種的宗教的の差別待遇は反民主主義、反キリスト教的であると大いに非難した支那系米人は結束した抗議を申し込んだが、墓地管理者は頑としてその態度を改めず重大な社會問題となつてゐると傳へられる

陸軍將官一千三百名

(リスボン十三日發)ワシントン來電=陸軍省は本年九月一日現在の現役將官は總數一千三百名なる旨十三日發表した、その中に大將はジョージ・マーシヤル、マリン・クレイグ、ダグラス・マツカーサー、ドワイト・アイゼンハウアー、ヘンリー・アーノルド及びジョーゼフ・スチルウエルの六名で中將が三十四名、少將が三百四十三名、代將が九百十七名である

【米 洲】

アルゼンチン文相更迭

(リスボン十三日發)ブエノスアイレス來電=今回アルゼンチン法相兼文相グスタヴオ・ザアヴイリアの辭任に伴ひ、ブエノスアイレス大學法學部教授ロミユロ・エチエヴエルクが十三日後任に任命された

【濠 洲】

米英兵の居坐り移住

(リスボン十三日發)キヤンベラ來電=首相ジョン・ガーチンは十三日次の通り言明した

政廳は濠洲戰線の英軍のうち引續き濠洲居住を希望する將兵に對しては移住に要する制限手續を一切適用しない、政權としては引續き在住を希望する英國兵を濠洲で動員解除するため英本國と交涉する用意がある、米國兵に關しても同樣の措置が講ぜられるであらう

昭和十九年九月十六日(土)
第三一八一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【亡命政權】

波政權危機切り抜けに必死

(ストツクホルム十三日發)ポーランド軍總司令官ソスンコフスキーのワルソー蜂起に關する反英ソ的爆彈聲明を契機としてロンドンの亡命ポーランド政權は最後の賴みの綱たる英國政界の同情すら喪ひ、全く孤立無援の窮地に追ひやられ、早くも同政權の瓦壞すらとり沙汰されてゐるが、ロンドン來電によれば亡命政權は十二日特に聲明を發し、ポーランドは英國政府がポーランド政權と緊密に協力してワルソーに間斷なく軍需品を供給してゐることを衷心から感謝してゐると述べて英國に對する追從たらたらの媚態を示したといはれ、また亡命政權首相ミコライチクは依然一度失つた英國政界の同情をとり戻してソヴエト政府とルブリンのポーランド國民解放委員會に當らうと企圖してゐる模樣だ

以上のミコライチク政權の反間苦肉の策と英國側の態度に關し、ロンドンからのロイター電報は十二日次のやうな觀測を傳へ、亡命ポーランド政權の必死の努力をもつてしても危機は依然として去らないとみてゐる

亡命ポーランド政權の聲明はミコライチク等の穩健派がソスンコフスキー一味の反ソ極端分子とヘウム政權の親ソ派との間に楔さして米英兩國の同情をひかうと努めてゐることを示すものだが、ソスンコフスキーが自ら過般の聲明を撤回して英ソ兩國に頭を下げるか、或ひは大統領ラチキエヴイツがソスンコフスキーをポーランド軍總司令官の地位から追はぬ限り、根本的な困難が除去されたとみることは出來ない、しかるにソスンコフスキーが英ソ兩國の前に膝を屈することは全然考へられないし、ラチキエヴイツ自身ソスンコフスキーの反ソ態度に組する方だからソスンコフスキーの罷免も實現困難だ、いづれにしても生粹の共產主義者以外は英國の輿論は概してワルソー蜂起軍に同情を寄せソ聯の敵對的態度にも拘らず英國が援助の手を差し伸べてゐることを可としてゐる、ルブリンのポーランド國民解放委員會は一九三五年の反動的なピルスズキー憲法を復活せしめよと要求してゐるがラチキエヴイツやソスンコフスキーばかりでなく亡命ポーランド政權の總てが一九三五年の憲法を地盤としてゐるのだから、ミコライチク政權とルブリンの解放委員會との間には和解の道はない、ロンドンのポーランド穩健派も一九二二年の民主々義憲法の復活は歡迎するとみられるがソヴエト政府のお手盛り政權に對する完全屈伏を招來することを惧れてゐる

【英　國】

流星彈による小賣店の被害

(リスボン十三日發)ロンドン來電＝食糧省次官ウエリントン大佐は十三日ドイツ軍の流星彈攻擊によるロンドン地區の小賣店並びに問屋の被害についてつぎのやうに言明した

流星彈の攻擊により約一千二百軒の小賣店と二百軒の問屋が全壞或ひは大破し、營業不能に陷つた、ある大きな牛乳店の如きは所屬小賣店二百軒が四回乃至五回も攻擊を受け、また或る店は六回に亘つて流星彈に見舞はれた、しかし各小賣店への品物の配給は業界の相互扶助によりさしたる障害もなく繼續された、すでに一九四三年の夏流星彈攻擊の噂を耳にし緊急の事態に備へ物資移動の準備を開始し、ヨークシヤーに豫備人造バター製造工場として數工場を開設した、流星彈攻擊期間中も主要工場は操業を中止せずに濟んだが、八十日に亘る攻擊の間で一番重要な仕事は食糧の緊急補給網を組織するにあつた

ロンドンでは流星彈の攻擊開始以來四百七回の警報が發せられ、開戰以來實に千百四十一回の空襲警報が發せられてゐる

【ソ　聯】

イラクと國交開始

(モスクワ十三日發)政府は十三日イラク政府の申入れを受諾し、兩國間の外交關係を確立し外交代表者を交換するに決定した

昭和十九年 九月十六日(土)
第三一八一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【北 歐】

ソ芬兩國の休戰交渉

(ストツクホルム十二日發)ハクゼル首相を首班とするフインランド代表は一週間以前からモスクワに滯在してゐるがソヴエト政府との交渉經過については全然報道がない、一說によればフインランド代表はモスクワで三流のホテルに叩き込まれ唯二日目にモスクワの劇場でシルレルの「ウイルヘルム・テル」の劇を見物しただけで一向交渉は開始されるに至らないといはれるが、一方全く反對に交渉は既に成立し、フインランド首相などは二十四時間内にモスクワからフインランドに歸還協定の內容について國會の同意を求める段取だとも傳へられる、いづれにせよフインランド國會は十三日午前緊急會議を開催し、交渉の經過を聽取した樣子だが、更に十五日國會が開催される豫定である、問題は九月十五日の期限を前にしてフインランド北部における十數ケ師のドイツ軍が撤收を完了出來るかどうかで、現に一部では赤軍とドイツ軍とが衝突した樣子でベルリンからのD・N・B電報は十三日

赤軍はフインランド中部においてドイツ軍の離脫機動に楔を打込まうとしたがドイツ軍は甚大な打擊を與へて赤軍の企圖を粉碎したと報道してゐる

【反樞軸陣營】

對羅休戰協定に 赤軍司令官代表調印

(リスボン十三日發)モスクワ來電によれば、今回成立したルーマニア政府と米英ソ三國間の休戰協定にはルーマニア代表パトラスカノに對し赤軍の第二ウクライナ戰線軍司令マリノフスキー元帥が三國を代表調印したと傳へられる

更にスターリンとも會談か

(リスボン十三日發)ケベツク會談の主要議題が對日戰遂行にあることは既に疑問の餘地なしとされてゐるが、會談は同時に歐洲戰特にドイツ問題處理をも協議してゐると解される、しかして歐洲問題の協議がソ聯の參加なくしては無意味な事實に鑑み、チヤーチル、ルーズヴエルト兩者は依然スターリンとの會談を希望してゐる模樣で十三日ロイター通信のケベツク電は右に關し次の通り傳へてゐる

消息筋の意見では米英首腦は反樞軸國がドイツ擊破後にとるべき措置につきソ聯と諒解に達せんと希望してをり、ドイツ擊破後チヤーチル、ルーズヴエルトはスターリンを交へて新たな會談を開催することとなるかも知れない、既に三者の會談すべき場所の選定も考慮されてゐるといはれる

濠、新西蘭代表も參加

(リスボン十三日發)ケベツク來電=ケベツク會談當局は十三日カナダ駐劄の濠洲高等辨務官ウイリアム・グラスゴー、ニユージーランド代理高等辨務官R・フアースの兩名がそれぞれ兩自治領を代表して會談に出席することとなつたと發表した

西部戰線の兵力百萬

(リスボン十三日發)ロンドンからU・P電によれば今回シンプソン麾下の米第九軍がフランスで作戰中である旨發表された結果、西部戰線における反樞軸軍は米軍四軍團、英加軍それぞれ一軍團で總兵力は百萬以上に上るといはれる

重慶で米使節頻りに動く

(リスボン十三日發)重慶來電=ケベツク會談に呼應して重慶では米大統領ルーズヴエルト特使ネルソン、ハーレーの兩名は頻りに活躍を續け、重慶政權首腦との會談を續行してゐる、ネルソンは十三日には終日重慶の要人連と會談したが、一方軍事使節ハーレーはスチルウエルと共に再び蔣介石、宋子文兩名を訪問協議した

【トルコ】

勃內相に國外退去令

(ストツクホルム十三日發)アンカラ來電によればブルガリア元內相ペーター・ガブロフスキイ氏は國內の政變と相前後しトルコ領內に亡命したが、トルコ政府は同人に對し數日內に國外に退去するよう要求したと傳へられる

昭和十九年 九月十六日(土)
第三一八一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【東南歐】

前閣僚をも逮捕

(ストツクホルム十三日發)「アフトン・テイドニンゲン」紙の報道によれば、ブルガリア首相キモン・ゲオルギエフは十三日次の通り言明したと傳へられる

一九四一年一月以降ブルガリア內閣に入つた閣僚は既に國外に亡命した分子を除き、總べて逮捕された、各國駐在ブルガリア公使五名も歸國を命ぜられた

【スイス】

燈管を撤廢

(リスボン十二日發)ベルン來電=スイス政府は國內の燈火管制を全面的に廢止するに決定した旨十二日發表した

【印度】

ガンジー ジンナー會談

(リスボン十三日發)ボンベイ來電=ガンジー、ジンナー兩翁は十三日朝二時間に亘つて協議を遂げたが、更に午後五時再び會見七時まで會談を續けた、會談終了後、ジンナー翁は未だ協議すべきことがあるので次回は十四日午後五時から行ふ豫定だと發表した、兩翁の會見は九日以來既に七回に及び會談時間は十五時間に達してゐる

【軍事情報】

獨空軍の新銳ハインケル一七七

(ベルリン十二日發)「ベルリーナー・ナハツアウスガーベ」紙は十二日の紙上にドイツ空軍の新銳重直協機ハインケル一七七の寫眞を揭載してゐるが、機首の機關砲座はずつと前方へ突出して戰鬪或ひは航行のために操縱士、航空士に極めて有利な視界を與へてをり、發動機二基を備へ、着陸裝置の兩側に裝置されてゐる補助車輪は發着に際して一層の安定性を與へてゐる同機は主として攻擊偵察に使用されるが、ドイツ空軍に新たな威力を加へよう

獨、特殊戰車破壞部隊編成

(ベルリン十一日發)ドイツではこの數週間來幾多の新銳部隊が編成されたが、今回更に「特殊戰車破壞部隊」が編成され、ドイツ武裝軍に一威力を加へてゐる、同部隊は十七歲から三十九歲までの志願兵からなり、近接戰用の最新武器をも裝備してをり、部隊長は往訪のドイツ軍事記者に對し

このやうな部隊を指揮するのは樂しみだ、ゲツベルス博士の計畫は御覽の通り着々實を結んでゐる、この部隊は最新の武裝を有し、今回初めてお目見えした新兵器もあると語つた、同部隊は未だ曾てない程の速度をもつて編成され前線に繰り出されてゐるといはれる

米軍の新式舟艇

(ストツクホルム八日發)ロンドン來電によれば米軍は北フランスの侵入作戰において「海上驅馬」と稱する新舟艇を使用したといはれるが、これは曳舟の代りに使用され、曳船よりも縱舵性に富み建造費も極めて安い、この新舟艇は五つの部分に解體されて米國から輸送されるが、英國の諸港に到着すると同時に容易に組み立てられる、吃水は二呎で乘組員は五名だ

米陸軍の新輸送機出現か

(リスボン十三日發)ワシントン來電=陸軍省は今回開戰以來最初の軍需品輸送專用の輸送機C—82號がメリーランド州ヘイガースタウン所在のフエヤチヤイルド航空機工場で試驗飛行に成功した旨發表した、C—82號は機體が非常に大きいにも拘らず實に三千五百哩の航續力をもつてゐる

Vニ號近く

(チューリツヒ十三日發)「ガゼツト・ローザンヌ」紙ベルリン電は數日以內に重要な事件が期待されると報じ、これに附け加へて或ひはドイツ軍がVニ號による攻擊を開始するのではないかと述べてゐる

カナダ、コルヴエツト艦の喪失を認む

(リスボン十三日發)オツタワ來電=カナダ海軍省はコルヴエツト艦「アルバーニ」號が歐洲水域においてドイツ軍の攻擊をうけて沈沒、死者將校四名水兵五十五名を出した旨十三日發表した

昭和十九年 九 月十六日（土）
第 三 一 八 一 號
同盟通信 海外電報 （第三種郵便物認可）

特輯

印回兩教徒の和協問題

印度政界の注視の裡にガンジー、ジンナー第一次會談は九日午後四時から三時間に亘りマラバールのジンナーの私宅で行はれたが、率直且つ友好的に協議を遂げたといふ以外會談の内容については一切判明しない、過去五年來兩首腦の會見は今回で五度目といはれるが、從來と異なり印回兩教徒の和協問題についてガンジー翁が可成り積極的な動きをみせてゐる今日、會談の成果如何は多大の注目に値する

すでに公表されたやうにガンジー翁の抱く印回兩教徒和協案の骨子は

一、回教徒聯盟が新たに結成される印度國民政府に參加すること

一、戰後國民投票によつて回教徒の獨立國を建設すること

といふ點にあるが、これに對して回教徒聯盟總裁ジンナーはどういふ考へを有してゐるであらうか會談の成否の分れ目をなすこの點について「デイリー・メール」紙のボンベイ特派員は次の通り報じてゐる

ガンジー翁と會見した際ジンナーが提出するとみられる要求は次の四點にある、即ち第一はシンド、パンジヤブ、ベルチスタンの西北各州ベンゴール、アツサムの東北各州を含む回教徒自治國の設立でこれによつて回教徒はカラチ、カルカツタといふ二大港灣を得ることになる、第二はこれら各州を國民投票を俟たずに回教徒に委讓することでジンナーによれば印度教徒も回教徒も凡て自動的に自派に投票するだらうから國民投票は意味をなさないといふ、第三に臨時國民政府において回教徒も印度教徒も平等の基礎の上におかれねばならない、第四は兩派は長期に亘る英國との防衛協定を締結する必要がある

以上の報道からみると會談の難點が、國民投票を俟たずに回教徒の自治國を認めるかどうか、また臨時國民政府において印回兩教徒が平等の基礎の上に立つといふ要求をガンジー翁が認めるかどうかにあることが明らかとなる

和協案に對する反響

會談の成否はもとより豫測すべくもないが兩教徒の和協に關するガンジー翁の考への基礎をなしてゐる「ラジヤゴパラチヤリ案」については印度内部でも贊否兩論相半ばし、必ずしも各派の全的支持を得てゐないことは一應注目しておかねばなるまい、二億五千萬の印度教徒と九千二百萬の回教徒とによる「專制」を杞憂するシーク教徒、ヒンヅー・マハサバ派等の小數派は別としても印回兩教徒の中においてさへ幾多の議論はみられる、最近釋放された聯合州立法會議々長プルショツタムダス・タンドンは九月四日ガンジー翁がパキスタン問題について個人的にジンナーと會談することに反對して

國民會議派全印委員會に諮ることなくして、會議派のためにパキスタン問題を解決することは出來ない、ガンジー翁及び前マドラス州知事はこの問題について個人的努力はしたかも知れないが、會議派がこの問題についてどういふ決定をするかといふ點については何もしてゐないと述べ、ガンジー翁がジンナーと會見後、彼の提案を會議派運用委員會並びに全印委員會に提示するならばその時には問題の解決もあり得るとしてゐる、一方會議派のベンゴール支部ではラジヤゴパラチヤリ案による宗派問題の解決に贊成してをり、ベンゴール州立法會議々員アキル・チヤンドラ・ダタル以下十八名の會議派會員は「ガンジージンナー會談においてはいかなる犧牲を拂つても印回兩教徒の和協を達成しなければならない」との決議を採擇してゐるが、皮肉にもベンゴール州會議派議員會では、パキスタン問題について些かでも讓歩してはならぬと正反對の意見を發表し、また前ボンベイ州政府財務長官ジヤマンダス・メタその他印度政界の有力者も印度の分割に反對して、次の如き共同聲明を發表してゐる

昭和十九年 九月十六日(土)
第三一八一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

印度を全體にとつて死活的重要性を有する問題を處理する中央の統制組織を持たない二つ乃至それ以上の國に分割しまた武裝兵力を幾つかに分けることは極めて危險である、このやうな分割は小數派の問題を解決するものではなく、却つて問題を深刻化し、また回教徒自身にとつても有害であらう、問題解決の方途としては中央及び各州に聯立政府を樹立し、小數派の特別の權益に效果的保護を加へねばならない

以上印度の統一保持といふ觀點からする反對論は可成り廣範圍にわたり、小數派の抱く見解はほとんど右共同聲明と同樣だ、さらに印回兩教徒の和協問題は必然的にベンゴール、アツサム、パンジヤブ等回教徒の勢力強く內部的に複雜な問題を包藏する諸州の問題ともなるわけで、これら諸州におけるガンジー、ジンナー會談の反響を一瞥して見よう

八月末ベンゴール州立法會議員キフアン・サンカルはラジヤゴパラチヤリ方式についてガンジー翁と協議を遂げ、ベンゴール州民の同意を得ずに印回兩教徒の和協に關していかなる措置をとることにも反對だ、との意見を具申したのに對し、ガンジー翁も關係州民の同意を得るまでは最後的決定をするわけではないとの言質を與へたといはれ九月九日の第一次會談後、閨秀詩人として聞えるサロジニ・ナイヅ女史、東部印度棉業組合長パーショツタダムス・タクルダス、前ボンベイ州首相ケル博士等多數の知名士がガンジー翁と會見した際、翁はパンジヤブ州といふ特殊な州の利害が一切無視されるのではないかといふ話が出たのに對し「余はパンジヤブ州民が何を望んでゐるかよく承知してをりまた同州の事情にも精通してゐるから」と述べたと傳へられる

英國からの觀測

九月八日附の「ロンドン・タイムズ」紙は會談に關して

政治的手腕があればガンジー、ジンナーといふ二人の政界の指導者は、現在印度に見られる政治的行詰りを解決に導くことが出來よう、しかし以上の目的を達成するためには、双方において次の二つのことに對する明瞭な認識を有することが是非とも必要である、第一は全體としての印度の利害はあらゆる階級乃至は政治組織の利害に優先することであり、第二は印回兩教徒の間に永續的諒解をつけるためには、双方共に各々の主張が公益と一致しないことが判明した時それを犧牲にする用意をしておくことであると前提して次の通り述べてゐる

ボンベイ會談が會議派と回教徒聯盟との問題だけを解決すると思ふのは間違ひで、假令ガンジー、ジンナー兩者がそれぞれ自派にとつて滿足すべき協定に達しても、右の協定が廣汎な見解を含んでゐないならば事實上、印度における政治的進歩を促進するものではない、既にシーク族その他被抑壓階級の間では多分に不安の念が生じてをり、今回の政治的解決もこれらはすべての黨派階級の要求に對しても十分な考慮が拂はれねばならない、同時にまた王侯國の問題もある、ビカ・ネル王は最近「印度の王侯國はその他の印度から離脫しようとは思はない」と言明してゐるが、この聲明は明らかに英國並びに印度における政界の指導者達の考慮を求めてゐるものである、實際ボンベイ會談が成功するかどうかは、ガンジー、ジンナーの兩者が示す見解の廣さに懸つてゐるやうに見える

更に「グラスゴー・ヘラルド」紙はボンベイ會談の成果は期待することが出來ないと、露骨にガンジー、ジンナー兩翁に對する反感を見せて

アジアにおける戰爭は急速にその最後段階に近づいてをり、印度における政治的和平の必要は愈々焦眉の問題となつてゐる、從つて二大黨派の間に何らかの形で協定が出來ることは必要であるが今回の會談について唯一つ明瞭なことは妥協を肯んじない回教徒指導者と、最早政黨の黨首でもなくまたその遣り方は常に測ることの出來ない對立者間に事實上意見の一致があり得ないといふことである、印度における政治問題解決の爲の措置は必要であるが、これはあくまでも當局の方からとられねばならないであらうと述べてゐる

以上二つの英紙の報道によつて英國側が今回の會見をどう見てゐるかは明らかであらう

昭和十九年 九月十六日(土)
第三一八一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米國選擧と黑人

=リスボン本田特派員=

米國人口の一割近くを占める黑人は今度の戰爭では軍隊に、また國内の軍需産業に盛んに狩り出されて働かされてゐるが、その半面白人の黑人蔑視虐待は依然として止まず、黑人としては戰時に得た幾多の生活向上を戰後に忽ち切り下げられるのではないかとの不安もあり、米國にとつて依然深刻な社會問題を構成してゐる、しかも今秋の大統領選擧でも黑人の動向はルーズヴエルトの四選如何に大きな影響を及ぼさう

黑人總人口一千三百萬の内一千萬は南部の農業その他に從事してゐるが、南部では諸種の制限特に投票稅があり、黑人は實質的には選擧に參加出來ず、黑人有權者約二百萬は殆んど北部それも東北十七州の内ニューヨーク、イリノイ、ペンシルヴアニア、オハイオ、ニュージヤーシー、インデイアナ、ミズリー、ミシガンの八州に集中してゐる、ところが大統領選擧では以上の八州から選ばれる選擧人は二百二名で大統領當選に際し、選擧人の選擧數二百六十六名を確保すればよい、しかも八州の内最初の四州は殊に重要で多數の選擧人を出すのだが、そこに黑人がまた特に多いといふわけで黑人の票數を獲得することが當選の祕決といはれ今までも非常に重要な要因となつてゐる

ルーズヴエルトと黑人

黑人は一九三二年まではリンカーン大統領以來傳統的に共和黨に投票してゐたが一九三六、一九四〇年の選擧ではルーズヴエルトに投票した、今度の選擧ではどうなるかといふにニューヨークの「ハーパース・マガジーン」誌の調査によればこれら黑人は一九四〇年以來また共和黨に漸次復歸する徵候を示してゐる、黑人が共和黨に轉向したのはルーズヴエルトが民族平等黑人擁護の看板を徹底させえない爲だ、「ハーパース」誌によれば黑人の現政權に對する不滿は次の通りといはれる

第一　黑人兵に對し戰場でも内地南部諸州の訓練でも各種の不平等待遇が與へられてをり、しかも政府が有效に取締らない

第二　昨年夏デトロイトの民族爭鬪に對し、ビツトル司法長官がこの種民族爭鬪を防止するため南部から黑人の同市移民を禁止す可しとの暴論を吐き、しかもルーズヴエルトは黑人迫害反對の態度に出なかつた

第三　軍需産業、公共事業での黑人差別待遇を防止する大統領令の出ないこと、公正就業實施委員會は無力で、最近南部鐵道で機關手に黑人を傭はないことに對し、同委員會が干渉したが鐵道會社は干渉をはねつけ、ルーズヴエルトは事情調査をすると稱し、別の委員會をつくつてお茶を濁した

第四　ルーズヴエルトが口では立派なことをいふが、實際の政策では終始煮え切らぬ態度に出てゐるのは全く南部諸州の地主産業資本を代表する保守派黨員に對する氣兼ねからであり、民主黨の最も堅固な地盤南部の黨員達はルーズヴエルトのニューディール諸政策に對し、最近特に露骨な反感を表明してゐるからこの上黑人問題で彼等の機嫌を損ねたら大統領選擧にも由々しいこととならう

しかし餘り黑人を擁護しないと北部の黑人達、また黨内急進派の離反を招くことになるので、ここに彼のデイレンマがあり、諸派對立抗爭する民主黨をうまくあやつり、黑人層も引きつけておくにはルーズヴエルトの並々ならぬ綱渡り的政治手腕が要るわけだ

デユウイと黑人

これに對し共和黨は選擧綱領にも黑人擁護の一項を掲げ、その投票をかき集めようと努力してゐるが、黑人は果してデユウイを彼等の救世主として認めてゐるかといへば必ずしもさうではない、ルーズヴエルト政權に對する失望からして共和黨への黑人の投票は多くなつてゐるが、大統領としてのデユウイに對しては次のやうな不滿が擧げられてゐる

第一　ニューヨーク州で公正就業實施委員會設置の法案を通過させなかつた

第二　投票稅廢止法案に口では贊成といひながら共和黨上院議員をしてこれに投票させなかつた

第三　出征兵士投票に贊成してゐない

ルーズヴエルトは傾きかけた黑人間の人氣を大いに取戻すべく、盛に黑人に呼びかけてゐるが、果してどの程度まで效果を納めるか、社會問題としての黑人の將來と並んで興味ある點であらう

大正十五年十月廿五日第三種郵便物認可　編輯發行人　萩野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和十九年　九　月十八日(月)
第　三　一　八　三　號

同盟通信
海外電報
(215)



總統大本營は十五日の戰況公報において米軍がアーヘン南方および東南方において西部要塞の前哨陣地へ突入した事實を確認した、アーヘン東南方といへば明らかにドイツ領であり、ドイツ軍司令部のいふ「神聖な戰ひ」はすでに開始されたものとみてよからう

過去五年に亘る華々しいまた困難な戰鬪を通じて幾多貴重な教訓を體得したドイツ軍が眞價を發揮すべき秋は今だ、西部戰線の反樞軸軍はアイゼンハウアー總指揮の下に米英加軍併せて六ケ軍團總兵力百萬以上と稱せられ加ふるに一日に六千機を出擊させることが出來るといはれる大航空兵力をも擁してゐる、東西南の三正面で同時作戰を遂行してゐるドイツ軍にとつて、アイゼンハウアー軍のこの尨大な兵力は何といつても大きな負擔であらう、しかし戰爭は常に兵力と物量の差のみによつて決せられるものではない、東プロイセンに犇々とせまる赤軍百萬を邀へ軍民一體となつたドイツが過去四十日以上に亘つて赤軍を一歩も國境内へ入れてゐない事實は物量以外の何ものかを示唆してゐるではないか、反樞軸軍は目下アーヘン附近からスイス國境に近いベルフオール地區に至る三百七十哩の戰線でドイツ國境へ到達乃至接近してゐるが、諸情報を綜合するに作戰の重點がルクセンブルグ以北にあることは殆んど疑問の餘地がない、地形的にまた西部要塞の防禦力の强度からみて、ルクセンブルグ以南でドイツ國境内深く突入することは至難といはれ、中立國からの諸情報もケルン、エツセンからベルリンへの進擊路がアイゼンハウアーによつて選ばれるのではないかと傳へてゐる、右に關聯して過去一週間來ベルギー東北部戰線にこれまで一度も戰鬪に參加したことのないドイツ軍の精鋭が出動してゐると報ぜられてゐるのが注目される

【目　次】

アイゼンハウアー對日戰指揮か……二一二七
ケベツク會談十六日で終了……〃
亞國を敵國扱ひ……〃
芬首相腦溢血で交涉頓坐……〃
勃國民政府の顏觸れ……〃
米軍アーヘン東南方に進出……〃

【ド　イ　ツ】

萬全の用意と覺悟あり……二一二八―二一二九
テールマン爆死……二一二九
ベルリン警備隊司令……〃

【米　國】

眞珠灣事件で泥試合……〃
陸軍、海兵隊の對立……〃
重慶政權の窮狀を指摘……二一三〇
兵營で黑人兵の騷擾事件……〃
大西洋岸に大颱風……〃
潛水艦太平洋で沈沒……〃

【反樞軸陣營】

總司令の任命は考慮せず……〃
イーデン、ケベツク着……〃
モーゲンソー會談參加か……〃
勃の休戰條件審議……〃

【スイス】

嚴正中立と亡命外人の扱ひ……二一三一

【北　歐】

芬、苛酷な休戰條件を憂慮……〃
ソ芬休戰交涉五里霧中……〃
丁、各國向け電信停止……〃

【ソ　聯】

西亞駐劄公使任命……〃

【東　南　歐】

米英兩國記者に退去令……〃

【トルコ】

新外相任命……〃

【印　度】

兩翁第八次會談……〃

【特　輯】

大聖と總督……二一三二―二一三三
裏切り政權治下のイタリア……二一三四―二一三五
濠洲の人的資源……二一三六

昭和十九年九月十八日(月)
第三一八三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

アイゼンハウアー
對日戰指揮か

(リスボン十五日發)ケベツク會談の協議事項については各種の臆測があるが、ロンドン來電によれば十五日の「デイリー・メール」紙は次の通り報じてゐるといはれる

ケベツク會談では太平洋戰域における反樞軸軍最高司令部の設置案が協議されてゐるやうだが最高司令官としては現在の歐洲反樞軸軍最高司令官アイゼンハウアーが任命される見込みだ、歐洲戰はまだ終了してゐないが、最早や誰でも大過なく反樞軸軍の作戰を指揮し得られるやうな段階にまで到達してをり、從つてアイゼンハウアーは歐洲戰の終了を待たず極く最近のうちに太平洋戰線の指揮をとることとなるかも知れない

ケベツク會談十六日で終了

(リスボン十五日發)ケベツク來電=ルーズヴエルトの秘書スチーヴン・アーリーは十五日午後記者團會見で次の通り言明した

ルーズヴエルトとチヤーチルとの會談は十五日で最終段階に入り十六日正午をもつてケベツクでの兩人の會談は終りを告げよう、ただし軍代表はシヤトー・フオンテナツクで會議を續行するかも知れない

ルーズヴエルトとチヤーチルは十五日シタデルで英國外相イーデンを交へ協議を遂げた後、晩餐會に出席した

亞國を敵國扱ひ

(リスボン十五日發)ワシントン來電=米國務長官ハルは十四日の新聞記者團會見で、ダンバートン會談で決定さるべき反樞軸戰後國際安全機構には、アルゼンチンは參加せしめない方針であると言明した、米國政府は更に最近反樞軸國及び中立國五十ケ國に對して本年十一月米國に開催される反樞軸航空會議への招請狀を發したが日獨兩國と國交關係を維持してゐるスエーデン、ポルトガルなどの諸國に對しては招請を發したにも拘らず、アルゼンチンのみはこれから除外して同國を敵國扱ひしてゐる

芬首相腦溢血で交渉頓挫

(ストツクホルム十五日發)モスクワ來電によれば外務委員モロトフは十五日午後十一時ハクゼルを首班とするフインランド代表をクレムリン宮に招致し休戰協定案を手交したと傳へられるが、右報道と前後して首相が十四日夜腦溢血で倒れ、かなりの重態な旨モスクワ放送局が報道した、ワルデン國防相が直ちに首席代表の任務を代行、同時に本國政府に訓令を仰いだが、後任にはエンケル外相が有力視されてはゐる、ヘルシンキ來電によればヴオリー勞働組合の理事長乃至パーシキヴイ元首相が後繼內閣を組織するのではないかともいはれる、いづれにせよ國會は十四日僅か八分で散會、十五日午前十一時再開の豫定である

勃國民政府の顏觸れ

(ベルリン十四日發)ゲオルギエフを首班とするブルガリア裏切政權に對抗して、去る十日親獨分子よりなるブルガリア國民政府が誕生したが、その顏觸れが十四日次の通り發表された

首　相　アレクサンドル・ザンコフ教授
內相兼陸相　アンセ・カンタルジエフ教授
外相兼藏相　アセン・ザンコフ氏
勞　働　相　イヴアン・ロコサロフ大佐
文相兼宣傳相　クリスト・スタチエフ氏

米軍アーヘン東南方に進出
=總統大本營十五日發表=

アルベール並びにムーズ・シエルド運河上の反樞軸軍橋頭堡はドイツ軍の反擊によつてさらに縮少された、マーストリクト、アーヘン間では米軍は有力な戰車隊掩護の下に大規模な攻勢を繼續した、ドイツ軍はマーストリクトを喪失した、アーヘン南方及び東南方で反樞軸軍は西部要塞の前哨陣地への突入に成功した、十四日同方面でドイツ軍は敵戰車四十臺を擊破したが、目下なほ右地區では戰鬪は些かの衰へもみせず續けられてゐる

昭和十九年 九月十八日(月)
第三一八三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【ドイツ】

萬全の用意と覺悟あり

(ベルリン十四日發)總力動員統監ゲツベルス博士は週刊「グス・ライヒ」誌上で「萬全の用意と覺悟あり」と題し次の通り述べた

× × ×

今次大戰においては相繼ぐ成功に心を許し安全の境地に浸るほど大きな誤りはない、單に軍事上の蹉跌が續いたばかりに敗北し去るやうな國があらうか、一國の生命はさう易々とは消滅しない、意氣沮喪してなすところを知らず遂に匙を投げた時、初めて沒落するのだ、歷史上の一大革新期に生れ合はせ言語に絶する艱難に遭遇する場合には常に歷史の法則に從ふか、目前の强請に屈服するか、二つに一つを選ぶ他はない、周知の通りドイツ國民が今日人類が曾つて體驗した最も決定的な最も重要な一大變革に直面してゐる以上、勝利の高嶺に達するためには苦痛の谷間傳ひに紆餘曲折しながら登るほか道はない、現在の軍事的事態を觀測するに當つてはかかる觀點に立つことが必要である、ドイツ軍は今や三大强國を一手に引受けて守勢を保つてをり、しかも殆んど自力だけを賴みにこの尨大な鬪爭を戰ひ拔かなければならない曾つてドイツ軍が非常に廣汎な地域に作戰を展開し、後方連絡線が延びてゐた時にもそれ相當の不利がなかつたわけではない、當時ドイツ軍は占領地帶の隅々まで思ふ存分廣く人員を配置し、各地域を最大限に活用して戰爭努力に寄與させるに足る人的資源を持ち合はせなかつたばかりか、事實上歐洲全地域に兵力を分散することを餘儀なくされた結果、大規模な攻擊作戰を展開するに當つて十分な兵力を驅使できない羽目に陷つた

一九三九年、一九四〇年及び一九四一年においてドイツ軍が非常な戰果を收めたのは主として前線におけるドイツ軍の防衛地區が比較的狹く、後方連絡が短かかつたことに起因してゐる、地域の喪失がドイツ軍にとつて一大事であり、この損失を出來るだけ補ふために最善の努力が必要であることは全國民が自覺してゐるところであり、誰一人として無關心を裝はうとはしない、しかしかかる地域の喪失とても萬更不利な點ばかりではない、ドイツ國民が落膽しさへしなければ地域の喪失は却て貴重な敎訓とならう、ドイツ國民は更に緊褌一番せねばならない、往々にしてドイツ軍は兵員不足のためではなく裝備の不足のために前線に兵團を送ることが出來なかつたが、當時各盟邦軍に武器並びに軍需品を供給しなければならなかつたのが主な原因である

ドイツ自力の戰ひを自覺

しかも盟邦と呼んだ國々は一度か二度反樞軸軍と干戈を交へただけで降伏してしまふことも珍らしくなかつた、最早かかる事を繰り返す餘地はない、ドイツ國民は今や自己の立場をはつきりと自覺してゐる、ドイツ國民生活を全うするために何を護り、何處に兵力を集中しなければならないかをよく知り拔いてゐる、ドイツ軍は祖國を防衛しドイツ國民の生存を護らうとしてをり、そのためには如何なる犧牲も惜しまず、ありとあらゆる手段に訴へよう、心の奥底で祕かに降伏を願ふやうな臆病者は一人もゐない、過去數週間ドイツ國民は國力の一大結集に努めて來たが、果して如何なる結果が齎らされるか反樞軸諸國の想像も及ばぬところであらう、ドイツ軍は反樞軸軍が現在有利な情勢につけこんで收めてゐる成功に眩惑されるやうなことは斷じてない

ドイツ軍は武力には武力をもつて應へ方法にこそ變化はあつたが常に變らない目的の貫徹に眞の意味での國家總力戰を續けてきた、ドイツ國民があくまで自力を賴りに反樞軸軍に對しドイツ軍に致命的打擊は勿論一時的に不具にするやうな打擊さへ加へる隙を與へないといふ事實が實に今次大戰の決定的な要素である、軍需工場の勞働者は一段と勤勉に働き、農民は今までにも增して一生懸命仕事に勵み、將兵は更に全力を盡くして戰ひ續けよう、人間には生存し義務を果すために勝手な時代を選ぶことは許されてゐない、しかし宿命により今日のやうな時代を割り當てられた以上、ドイツ國民は熱烈な願望をもつて生存しつづけようとしてゐる

昭和十九年九月十八日(月)
第三一八三號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

上は總統から下は老若男女を問はず國民の一人一人に至る迄どんなことがあつても如何なることが起つてもびくともしない用意と覺悟が出來てゐる、ドイツ國民が夢みてゐた新らしい世界は決して失はれたのではない、新世界は大きな産みの惱みを經て初めて産まれて來よう、弱者は滅び强者は生き殘る、ドイツ國民は强者に屬するか弱者に屬するかを自ら決定しなければならない、この選擇を前に躊躇するやうなドイツ國民が一人でもあるだらうか

テールマン爆死

(ベルリン十四日發)元ドイツ共産黨首領エルンスト・テールマンは去る八月二十八日反樞軸空軍がワイマール近郊のブツヘンヴアルトを爆撃した際同地の强制收容所で爆死したことが判明した、彼と共に多數の政治犯人も死亡してゐるがその中には元ドイツ社會黨領袖ルドルフ・ブライトシヤイトも爆死してゐる、テールマンは一八八六年生れ、造船工から身を起してドイツ勞働運動の指導者となり、後共産黨の首領として前大戰後のドイツ政界に活躍、一九三二年の大統領選擧には共産黨候補として出馬、よく五百萬票の投票を得た、一九三三年ナチ政權の誕生と共に政治犯罪者として投獄され今日に至つた

ベルリン警備隊司令

(ベルリン十四日發)內相ハインリツヒ・ヒムラー氏はベルリン市內の治安强化のためクルトウ・ゲールム氏をベルリン警備隊最高司令に任命した

【米國】

眞珠灣事件で泥試合

(リスボン十四日發)ワシントン來電=本年の大統領選擧戰を巡り、眞珠灣事件が俄然民主、共和兩黨の主な爭點となる可能性が濃厚となつて來た、卽ち共和黨を主流とする反政府派議員は眞珠灣事件の眞の責任者はワシントンの陸海軍首腦乃至政府當局にありと主張してゐるのに對して、政府系の議員はかかる主張は全く根據なしとしてこれを反駁してゐる、十四日の下院本會議はこの問題をめぐつて兩派の間に激しい論戰が展開されたが、就中オトールは共和黨員の態度を攻擊して次の通り述べた

開戰當初マツカーサーは日本軍の比島攻擊が眞珠灣空襲のあとに行はれたにも拘はらず、比島駐屯米軍の七割五分を失つてしまつたではないか、しかるにマツカーサーは共和黨系と目されてゐる爲に、眞珠灣事件ではあれほど口喧しい共和黨員もマツカーサーの職務怠慢については一言もふれない、大統領選擧の七週間前になつて共和黨が思ひ出したかのやうに、キンメルやショートの辯護に乘出したことも奇怪千萬である、ショートが人名錄には明瞭に共和黨員となつてゐることも注目すべきである、眞珠灣事件に對してキンメルとショートとが責任を負はなければならぬことは當然で、これについては全く議論の餘地がない

陸軍、海兵隊の對立

(リスボン十四日發)ワシントン來電=サイパン上陸作戰の際海兵隊司令官が上陸部隊の最高指揮官として陸軍上陸部隊司令官を罷免した事件はワシントンに飛火して陸軍及び海兵隊の間に深刻な對立を生み出した模樣だ、卽ちこの事件は上陸作戰に對する陸軍及び海兵隊の戰術理論の根本的相違が偶々サイパン島上陸戰を契機として表面化したもので、陸軍の上陸戰術は橋頭堡を設定した後無茶な前進は行はず、後方から兵力及び軍需品、就中火砲の十分な補給を得た後に前進を開始すべきだとの頗る愼重な作戰を支持してゐるのに對して、海兵隊は橋頭堡の地固めは二の次として相當危險とみられても直ちに前進を開始すべきだとし、この作戰は最初は兵員の損耗が著しいかも知れないが遙かに早く敵軍を制壓し得るため收支決算では却つて損害が少くてすむと主張してゐる、サイパン作戰の際にはこの兩者の主張の相違が最も明瞭に現はれ、上陸地點の中央部は陸軍部隊が擔當しその兩翼に海兵隊が上陸したが、兩翼が著しい進出を示したにも拘らず中央の陸軍部隊のみは一向に前進せず、遂に戰鬪の眞最中に陸軍上陸部隊司令官の罷免となつたものである

昭和十九年 九月十八日(月)
第三一八三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

重慶政權の窮狀を指摘

(リスボン十三日發)ワシントン來電=「ワシントン・スター」紙は十二日の紙上に、「暗黑の支那」と題する社說を掲げ日本軍大攻勢の前に最後の足掻きを續ける重慶政權の苦境を指摘、次の通り述べてゐる

歐洲の西部、東部兩戰線並びにバルカン方面で勝利の潮が大きくうねつてゐても盟邦重慶政權が逐次深刻な窮狀に陷つてゆくことを見逃がすことが出來ない、就中支那中南部における日本軍の假借ない進擊の影響は甚大だ、日本軍司令部は依然優秀な兵員器材を注ぎ込んでをり裝備の悪い重慶軍は到底抗し得べくもない、日本軍は夏の初め南下攻勢を開始以來着々進擊を續け殊に長沙の陷落は更に大きな痛手となつた衡陽失陷の前奏曲であつた、衡陽方面には米軍航空隊の重要基地がいくつか存在してゐるが、うち零陵は數日前陷落し桂林の大基地は今や脅威を受けるに至つた、以上の諸基地なくしては反樞軸軍は支那南部で效果的に空中戰を繼續出來ぬかくて上海から廣東に至る孤立した沿岸諸港は瞬く間に日本軍の蹂躙するところとなり、かねて計畫された反樞軸軍の上陸作戰、物資補給、空軍基地の設立等は畫餅に歸してしまふだらうかくの如く日本軍の成功が豫想される現在反樞軸軍はその大戰略を轉換しなければなるまい、卽ち支那沿岸地帶に足場を狙ふ代りに反樞軸軍は日本軍の中心に直接攻擊を加へねばならぬ、かかる作戰は直接には一層大きな犧牲を伴ふであらう

兵營で黑人兵の騷擾事件

(リスボン十四日發)ワシントン來電=陸軍長官スチムソンは十四日の新聞記者團會見で、次の通り述べた

最近ルイジアナ州のクレアボーン兵營で騷擾事件があつた、しかしこの事件は一部に報道されたやうな大袈裟なものでなく、當局は既にその眞相を調査し責任者に對してはそれぞれ處罰手續をとつてゐる

右の騷擾事件は八月クレアボーン兵營で發生したもので、米國の新聞では數千名の黑人兵が反亂を起したと報道された

大西洋岸に大颱風

(リスボン十四日發)ボーツオルト(北カロライナ州)來電=一週間にわたり大西洋岸を荒した颱風は十四日夜に到り北カロライナ州の海岸をも襲ひチヤールストンからヴアージニアにかけて家屋、農作物は大損害を蒙り同海岸沖合を航行中の小汽船で難破したものは多數に上つた

潛水艦太平洋で沈沒

(リスボン十四日發)ワシントン來電=海軍省は一千四百五十トン級(乘組員六十五名)潛水艦一隻が太平洋水域において日本軍の攻擊を受け沈沒した旨十四日發表した、但し潛水艦の名前は發表しない

【反樞軸陣營】

總司令の任命は考慮せず

(リスボン十四日發)ケベック來電=米國大統領秘書スチーヴン・アーリーは十四日記者團との會見で次の通り述べた

日本軍に對する反攻作戰の準備として太平洋作戰最高司令を新に任命するかどうかの問題は既にケベック會談前に片付いてをり、今度の會談では總司令官任命に關する限り新しい問題は提出されてゐない

イーデンケベック着

(リスボン十四日發)モントリオール來電=英空軍輸送隊司令部は外相イーデンが米英會談參加のため十四日ケベックに到着した旨發表した

モーゲンソー會談參加か

(リスボン十四日發)ケベック來電によれば米國財務長官モーゲンソーもル・チ會談に參加することになつてゐるといはれる

ブルガリアの休戰條件審議

(リスボン十四日發)米、英、ソ三國代表からなる歐洲諸問委員會は目下ブルガリアに對する休戰條件について協議してゐるが、ワシントンからのAP電報によればブルガリア政府はルーマニアと異つてドイツに對する宣戰布告を澁つたため條件は一層苛酷だらうと傳へられる

昭和十九年九月十八日（月）
第三一八三號

同盟通信

海外電報（第三種郵便物認可）

【スイス】

嚴正中立と亡命外人の扱ひ

（チューリツヒ十四日發）ベルン來電＝ビレ・ゴラススイス外相は十四日下院外交委員會席上

スイス政府は微妙なる情勢に直面し、スイス國境防衛軍を强化するに至つた、外交政策についても日々新な問題が起つてゐるが、あくまで嚴正中立を維持するスイス政府の方針に變りはない

と述べたが、同外相は更にロザンヌ市秋季見本市において次の通り演說した

スイス政府の中立は單なる名目ではなく生ける現實である、歐洲戰局の推移に伴ひ各國からスイス國內に亡命する避難民の問題が現在發生するに至つたが、スイス政府は亡命を許可するに當つては諸外國との關係の保全と國內治安の維持とを最高の標準として個々に決定を下す次第である、スイス政府は戰爭終了後歐洲の復興事業に協力する用意あり、これには元大統領エルンスト・ウエツター博士を首班とする委員會が當る豫定である

【北歐】

芬、苛酷な休戰條件を憂慮

（ストツクホルム十四日發）ヘルシンキ來電＝ルーマニア政府に對する米英ソ三國の苛酷な休戰條件はフインランド國內に一大衝撃を與へた樣子で、フインランド政界筋ではモスクワにおけるソ芬兩國間の休戰交涉を極度に憂慮してゐる、フインランド外務省は十四日ハクゼル首相が近く休戰條件を携行してモスクワから歸國する豫定だとの報道を否定した、從つて十五日招集豫定のフインランド國會は休戰條件を協議することが出來ず、フインランド各新聞も休戰交涉には論及してゐないが、各紙ともルーマニアの國內事情を傳へて自國の前途多難なことを示唆してゐる

ソ芬休戰交涉五里霧中

（ストツクホルム十四日發）フインランド休戰使節が去る七日モスクワに乘り込んで以來、交涉の成行は全然明かにされてゐないがヘルシンキ來電によればフインランド外務省筋は十四日に至り

ハクゼル首相が八日モトロフ外務人民委員と會見して以來休戰交涉が進捗してゐるものやら暗礁に乘り上げてゐるものやら一切判らないと洩らしたといはれる

丁各國向け電信停止

（ベルリン十四日發）コペンハーゲン來電＝デンマークの遞信省當局はブルガリア、ルーマニア、フランス及びトルコ各國向けの電信、電話を中止する旨十四日發表した

【ソ聯】

西亞駐剳公使任命

（ベルリン十四日發）サロニカ來電＝聯邦最高會議は十四日ダニエル・セミノヴイツチ・ソロツド氏をシリア並びにレバノン駐在公使に任命した

【東南歐】

米英兩國記者に退去令

（ストツクホルム十四日發）ブカレスト來電＝赤軍司令部はルーマニアが既に赤軍の作戰地區に入つたとの理由で、新にトルコからブカレストに到着した米英兩國の從軍記者に對し退去を命じた

【トルコ】

新外相任命

（リスボン十四日發）アンカラ來電＝メネメンジョグル外相辭職後、外相の職はサラジョグル首相の兼任となつてゐたが、トルコ政府は今回トラブゾン州の代議士ハサンスカ氏を外相に任命した旨十三日夜發表した

【印度】

兩翁第八次會談

（リスボン十四日發）ボンベイ來電＝ガンジー、ジンナー兩翁は十四日夜三十分餘に亘つて第八次會談を遂げた、會談終了後ジンナー翁は「十五日以後この種の會見は午後五時から七時までの間に行はれる筈だ」と語つた

昭和十九年 九月十八日(月)
第三一八三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

大聖と總督

週刊「タイム」誌 五月四日號

「コンモンセンス」誌は素晴しい文獻即ちガンジー翁と印度總督ウエーヴエル卿との交換書翰を發表した、この書翰を素破抜いた新聞人フイツシアは序論において、印度獨立に關するガンジー翁最近の提案は翁と總督との書翰交換の結果だと述べてゐる、本當かも知れないし、本當でないかも知れない、しかし歴史的並びに人間的文獻としてこの書翰は全く獨特である、書いた兩人はいづれも典型的人物である、ガンジー翁は政治的十字軍の闘士に轉向した聖人であり、ウエーヴエル卿は世俗的ではあるが、よく訓練を受け教養の高い總督である、双方とも高邁な識見を抱き、各自が代表してゐるところの主張が絶對に正しいことを確信してゐる、書翰交換の結果は英印兩國關係の現狀を一言にして盡したといふことが出來よう、兩國の關係は全くの行詰りではあるが、ガンジー翁とウエーヴエル卿との深い人間性によつてこの行詰りは緩和されてゐる

ガンジー翁からウエーヴエル卿へ

親愛なる友よ、いまだ拜眉の機會を得ないが、特に親愛なる友と呼びたい、余は英國政府の代表から、最大といはないが英國の偉大な敵と看做されてゐる、しかしながら自分としては英國人を初め人類全體の友であり、公僕だと考へてゐるが故に、善意の表示として印度における英國の最高の代表たる貴下を余の友達と呼ばうと思ふ、假りに反樞軸軍が勝利を收めるとしても、眞の勝利は外國の桎梏から印度を解放することを意味しなければならない、印度の魂はすべての外國の支配からの完全な解放を要求する、全世界的な現在の抗爭により各國民の、從つて人類の運命が左右されるのだから、この抗爭を前にして英國政府が將來の約束を與へようとも全然無價値である、現在の戰爭が究極において世界平和を齎らし、現在の戰爭よりももつと血腥い新たな戰爭を用意する結果とならないためには、即時の實踐が刻下の急務である、英國の知己として本當に英國のためを考へるならば、心の奥底から自分が確信してゐるところを貴下に打明けることは當然のことと思ふ

ウエーヴエル卿からガンジー翁へ

親愛なるガンジー君、二月十七日附貴翰諒承、貴下が右書翰を認めた當日、余が中央立法會議で述べた演説については貴下も新聞で御覽のことと思ふが、余の見解は右演説で盡きてゐるので、再び絮説の必要はあるまい、御參考までに右演説の一部を同封する、この機會にガンジー夫人の逝去に對し余の妻並びに余の懇篤なる弔意を表明する多年の伴侶を喪はれた貴下の心情に對しては全幅の同情を禁じ得ない

ガンジー翁からウエーヴエル卿へ

先づ冒頭に余の妻の死去に際し、貴下並びにウエーヴエル夫人が懇篤な弔辭を寄せられたことに對し謝意を表明する、勿論余の妻が生の苦しみから脱却出來たのだから、妻のためにはその死を喜ぶわけではあるが、實際には豫想してゐた以上に余は妻の死を感じてゐる、余と余の妻とは世間一般の夫婦とは全然異ふ、一九〇六年相互の同意の下に且つ意識せずに暫く實行したあとでわれわれは自制を生活の原則としてはつきり採擇した、しかし非常にうれしかつたことは、その結果却つてわれわれは今まで曾てなかつた位お互ひに結びつけられるに至つたのである

さて中央立法會議での貴下の演説だが、御親切に演説の寫し一部惠送に預つて感謝に堪えない、貴下は右演説においてサー・スタフオード・クリツプスの提案を更に展開させた後

非協力いな更に攪亂政策が——「麻布を纏ひ灰を被る」式ではなく、本當に間違ひかつ無意味な政策であつたことを認めた上で、一九四二年八月八日の宣言が撤回されるに至らない限り、右宣言の起草に關係ある人々を釋放すべき理由を認めない

昭和十九年 九 月十八日(月)
第 三 一 八 三 號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

と述べてゐる、貴下のやうな立派な軍人で世間に通曉した人が、かかる意見を抱いてゐるのをみて余は吃驚した、數百人の人間が幾多の討議と愼重な考慮の後、共同で採擇した決議案を一個人の良心の問題として撤回することがどうして出來ようか、共同で採擇された決議案は共同の討議、審議の後に初めて名譽を損はず良心を傷けず、正しく撤回することが出來るであらう

ウエーヴエル卿からガンジー翁へ

細目に亘つて議論を上下しても何等得るところがないと思ふから、貴翰に提示された諸點については仔細に應酬はしない、サー・スタフオードが印度に齎した英國政府の宣言草案は明白な字句をもつて、印度は主要各分子間に意見一致して憲法を起草する場合に、右憲法の下において印度に自治を與へる英國政府の意圖を闡明してゐる、余は以上の目標に對して全面的に同意してゐることをここに述べる必要はあるまい、ただ余は印度を混亂と擾亂の渦中に投ずることなしに、以上の目標を具體化する最善の方法を求めてゐるに過ぎない印度にとつての最大の危機に方り、日本軍侵入の懸念濃厚な際に、會議派は英國人に印度から立去ることを要求する決議案を採擇した、右決議案が日本軍に對し印度國境線を防衞する英軍の戰略に極めて甚大な影響を與へることは火を睹るよりも明かである

余は貴下乃至會議派が故意に日本軍を援けようとしたと非難するわけではない、しかし右決議案の結果戰爭の遂行が阻害されることを賢明な貴下は十分に認識してゐたに違ひない、更に貴下が印度を防衞する英軍の能力に信を失ひ、一見英國の軍事上の難局を利用し、政治的な便宜を得ようとしたことは余からみれば極めて明瞭である、苟くも印度の治安に責任を擔ふ人々が印度政廳の現實にとつたと違ふ政策をとり、右決議案を支持した人々を逮捕せずに置くことが出來たとは到底考へることが出來ない、次いで起つた擾亂についての會議派の全般的な責任であるが、御承知の通り當時余は印度軍の最高司令官であつたが、ピルマ國境線への重要な交通線は會議派の名において屢々會議派の旗を使用する會議派の支持者によつて遮斷されたのである、從つてこの事態について會議派の責任を問はないわけにはいかない

明敏貴下の如き人生の體驗豐かな人士が貴下の政策に續いて起る事態に氣がついてゐなかつたとは信ずることが出來ない、この事件に關する會議派の行動が眞に印度の感情を代表してゐるとか乃至會議派の非協力態度が過半數の意見を代表してゐるとは信ずることが出來ない

ガンジー翁からウエーヴエル卿へ

親愛なる友よ、貴下は余に對し率直な回答を寄せられた、余もまた聊かも腹藏なく所信を開陳して貴下の厚誼に報ひたいと思ふ

貴下の書翰は要するに現在の政廳との協力、それが出來なければ將來への計畫に對する協力を會議派に要請するに外ならない、しかし余のみるところをもつてすれば、協力を實現するためには兩當局者が均等の地位に立ち、相互に信賴し合ふことが必要だと思ふ、しかしながら均等の地位はどこにも存せず、印度政廳に對する會議派の不信は至るところ屢々指摘することが出來るではないかその結果印度政廳に對する疑念は印度全般に行き亘つてゐる、加ふるに會議派は印度政廳に印度將來の福祉を保障する能力があるとは全然信じてゐない、以上信賴の缺如は印度における過去並びに現在に亘る英國の統治施策に對する苦い經驗に基いてゐる、徒らに印度人からの協力を期待せず却つて印度の選良を通じて貴下が印度人と協力すべき秋が到來したのではないか、周章會議派の領袖を逮捕した結果惹起した事態の責任は專ら印度政廳にあり、蓋し危機を誘致したのは政廳であつて決議案の起草者ではない

余の眼に映ずるところをもつてすれば印度は四億の民を收容する一大牢獄であり、貴下はこの牢獄の唯一人の管理人である、從つて印度政廳の刑務所はこの大きな牢獄における牢獄にほかならない、貴下が貴翰に表明された見解を棄てない限り余の如き人間にとつて恪好な住家は刑務所にほかならないといふ貴下の見解には全く同意である、印度政廳の心と見解と政策とに變更のない限り、余は永遠に貴下の囚人をもつて滿足しよう

昭和十九年 九月十八日(月)
第三一八三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

悲慘！

裏切り政權治下のイタリア

マドリード十五日小島特派員發

バドリオ政權の裏切り以來早くも一年を經過したが、この間反樞軸軍の占領下にイタリア國民は食糧難、政治不安を初め幾多の深刻な諸問題に當面した

食糧問題

食糧の不足は今や慢性飢饉の狀態を呈してゐる特にローマ、ナポリ、フイレンツエの様な大都市の慘狀は想像以上で、一例としてローマの現狀を記すと、まづ平時人口約百萬のところへ各地からの避難民で現在人口二百萬に達し、その上今まで食料の供給地であつたイタリア北部から切り離されたので、住民の營養維持に必要な每日の食料五萬トンに對し僅か二萬八千トンしか配給されてゐない、その上との僅かな食料品が大部分闇にまはり市民の大多數は必要量の半分の食料も得られない狀態だ、また人口の過剩と生産施設の破壞は失業を生み、失業數は二十萬と稱され、人口の一割は收入を得るに道なく餓死を待つばかりである、かかる大都市の慘狀を前にして農村は賣り惜しみ闇取引きで不當利得をむさぼつてゐる、反樞軸軍政委員の報告によれば、シチリヤ島では百姓九千名が供出を拒んだ廉で檢束されたといはれるが、一方アプリア地方では葡萄酒の豐作のため前年度の葡萄酒の處置に困り、三十萬トンの葡萄酒を捨ててしまつたといはれる、かうした食料の缺乏の結果衞生狀態は非常に惡化し、ナポリではチブス天然痘などが流行し、嬰兒死亡率は一年間に倍化して、出生百人に對し三十人といふ恐らく世界最高率を示してゐる

休戰條件を繞る諸問題

バドリオ政權の休戰がイタリア國民の政治的前途に何らかの希望をもたらしたか？ イタリア國民は未だに休戰條約の內容すら知らされず、表面獨立といふ建前のイタリア政府は事實上何らの自治權をも持つてゐない、最も端的な例は去る六月上旬民主々義六政黨の代表が當時の首相バドリオを排擊して純民主政權をつくり、その勢ひでサヴオイ王朝を廢止しようとした當時、民主々義派はかかる企圖に對し、豫て自由主義を振り廻す反樞軸國において何ら異議のあるはずがないと思つてゐたところ、案に相違して反樞軸諮問委員會から橫槍が入り、ボノミ政權は組閣發表と同時に立往生し、八日間幽靈的存在を續け王朝問題は戰爭終了まで現狀維持といふ條件の下に、漸く反樞軸國の同意を得て誕生出來た有樣だ、一體休戰條約により反樞軸國はどの程度まで內政に干涉する權利があるかとの疑義が出てゐるが、この問題を追及すると結局バトリオ政權の休戰條約は非常に漠然としてをり、反樞軸國の軍事抗爭に協力の實を示せば、反樞軸國はやがてイタリア政府を同盟國として取り扱ふであらうといふだけで、如何なることが協力なのか、また限界が何であるかは正確に示されてゐない、從つて反樞軸國は何時でも內政干涉が出來るわけである、かかる事實を知つた閣僚は憤激し、終に自由黨首領で無任所相の地位にあつたクローチエ敎授は遂に辭職するに至つたがバドリオ、ボノミに對する閣僚の反感はいつかな收まらず、共產黨社會黨はボノミに對し休戰條約の公表を迫り、聽かなければ內閣脫退をもつて威嚇した

ボノミ窮す

しかしかかる不利な休戰條約を公表すれば、ただでさへ不平な國民はなほさら收まらず如何なる反抗が起らぬとも限らぬため、ボノミも非常な窮地に立ち、一時は辭表まで提出したが、反樞軸國の干涉で思ひ止まり、左翼黨は肅正工作促進勵行といふことで妥協が出來、六政黨の首領はあらためてボノミ政權の支持を聲明した、かくの如く當局が何か企圖すると共產黨勢力が邪魔になり、政府が無力なため政黨間の閥爭が絕えず、この結果國民は食糧問題等重大懸案の解決に關する責任の歸屬が判らず、また將來に對しても何らの光明なく、文字通り歸趨に迷つてゐる有樣だ、殊に最近反樞軸事は食糧問題に手を燒いた揚句、イタリア傀儡政權の自治權擴張の名の下にイタリア中南部諸州の行政を傀儡政權に移管するとともに、食糧問題その他に關する責任を轉嫁した結果、ボノミ政權にはまた一つの大きな苦勞の種が殖えた

昭和十九年九月十八日(月)
第三一八三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

イタリア北部の重要性

かくのごとくイタリア南部の現狀は混沌としてをり、反樞軸軍としても手を燒いてゐるが、この事態のそもそもの原因は結局イタリア北部の攻略作戰がはかどらぬからで、イタリア北部は工業的農業的に寶庫であり、北部を持たないイタリアは經濟的に成り立たない、その上作戰が長引くため同方面の産物はいまだに全部軍事行動のため使用され、イタリア國民に對する一般政策は益々無視されてゐる、かく日常生活であらゆる制限を受けるイタリア國民の氣持は自然反樞軸的となり、これが反作用して反樞軸軍は休戰條約の緩和など思ひもよらぬこととなり、イタリア國民の反樞軸軍に對する感情は益々縺れてくる

共産黨の進出

以上國民の生活難に乘じて共産黨が著るしい進出振りを見せるに至り、さらにこれを繞り米英ソ三國間に隔りが生ずるに至つた、共産黨はバドリオ政權にも參加し、ボノミ政權には三人の閣僚を出してゐるが、首領エルコーリは直接モスクワと關係を持ち、生活難に惱む國民の支持を漸次擴大しつつある、殊に米國の態度が何處までもイタリアを仇敵として扱ふのに對し、ソヴエト政府は今までの行掛りを忘れた態度で好意をもつてイタリア國民に接し、赤軍の俘虜をかくまつた或る百姓に對しソヴエト代表が物を贈つて感謝の意を表するといふ有樣である

かかる政策は着々功を奏し今や米英兩國頼むべからずを知り、また前途に光明を失つたイタリア國民殊に青年層は共産思想並びに共産革命に共鳴し、共産的革命により八方塞りの現狀を打開しようといふ希望が強い、ソヴエト政府のかかる態度に呼應して共産黨も非常に妥協的で、反ファッショなら王系派とでもブルジョア黨とでも何でも協調するとの態度を採り、その結果最近社會革命に共鳴する一般のカトリック青年がカトリック共産黨といふ新黨をつくり法王廳で問題になつた位だまた共産黨と社會黨は共同して一種の人民戰線を結成し、勞働組合改組を叫んでゐる、そのほかフランス國内における同樣パルチザンを持ち、その行動力はあなどることが出來ない、またイタリア北部國境地帶は豫てから共産黨の地盤であり、若し反樞軸軍がイタリア北部をも占據すれば共産陣營はさらに强化されよう

以上共産黨の進出は事實上ソヴエト政府の地中海進出政策の先鋒となるので、地中海を生命線とする英國にとり實に容易ならぬ事態である、そこで英國は豫てからアルジエーでソヴエト代表との掛け引きに經驗あるマクミランを政治顧問とし政治工作に汲頭してゐる

チヤーチルの訪問

最近英國首相チヤーチルがローマを訪問した、最初の目的はリヴイエラ上陸軍の檢閲、イタリア北部作戰の打合せなど軍事要件であつたらうが、きてみて國内政情の意外の複雜さに驚き、結局滯在期間を延ばし、ロンドン歸任に際しては特にイタリア國民にメッセージを出してゐる、チヤーチル出發後數日して社會黨の首領ピエトロニンはボノミ政權のやうな寄合世帶はどうせ長續きしないから、總選擧をやるべきであると不貞腐れた聲明を出した、また少くとも公表された限りではチヤーチルはローマで米國代表とは往來したが、ソヴエト代表とは交渉があまりなかつたやうだ、裏切政權の左右兩翼の政爭の影に英ソ兩國地中海政策の對立が逐次表面化する傾向が强い、最近チヤーチルと入れ違ひに副首相アトリーがローマを訪問したが、英國政府が地中海の情勢を重大視し始めた證左といへよう

バドリオ政權裏切り後一年間、イタリア南部の情勢はイタリアにとつても反樞軸國にとつても慘憺たる實情にあり、反樞軸軍政の失敗の影に著しく進出してきた共産黨勢力は、現在の東地中海情勢と照し合せると、近い將來必らずトルコ國内にも及ぶであらう

最後に反樞軸軍軍政の失敗は、つまるところイタリア北部攻略作戰の蹉跌によるところ大であるから、この意味において寡兵よく優勢な反樞軸軍に對し、勇敢な抵抗を續けてゐるフオン・ケツセルリンク元帥麾下のドイツ軍の功績は特筆大書すべきであらう

昭和十九年　九月十八日(月)
第三一八三號
同盟通信　海外電報（第三種郵便物認可）

濠洲の人的資源

「タイムズ」紙キヤンベラ特派員
八月三十一日

カーチンは八月三十日聯邦議會の開會に當り、濠洲の人的資源再評價につき次の通り述べた

一九四五年六月三十日までに濠洲軍から人員四萬五千を解放するに決定した、右決定はマツカーサー將軍を初め各軍事顧問の同意を得てゐるが同時に濠洲政廳はより多數の人員を反樞軸陣營の共同のプールに注ぎ込む措置を講じてゐる、前回下院に報告した通りロンドン及びワシントンでチヤーチル、ルーズヴエルト並びに統合司令部と協議した際、日本軍に對し出來る限りの戰爭努力を傾倒する方途如何、從つて濠洲の戰爭努力の關する限り如何なる調整を必要とするかについて考慮した、戰鬪兵力、直接的戰爭努力の經濟的基礎、太平洋における兵力に對する兵站の補給並びに英本國に對する食糧供給等の形式で濠洲が擔當する戰爭努力の方式につき意見の一致をみるに至つた、歸任とともに余は國防委員會に對し、以上の協議で決つた戰力を維持しながら、しかも他の諸目的のために緊急に必要とする人的資源を十分考慮する場合の濠洲兵力量につき報告を求めた、その間戰爭施策委員會は人的資源の實情につき定期に報告を提出する任務に基き、一九四三年十月から一九四四年六月までの人的資源に關する全般的動向と、一九四四年十二月をもつて終る六ケ月間の人的資源について報告した、右報告により殆んど五ケ年に亘る戰爭が、濠洲の經濟に對し如何なる重壓を及ぼしたかが闡明された

食糧加工業においては時に勞働力が不足で、しかも食糧に關する要求は增加してゐる、更に濠洲政廳は英國に對し一定の言質を與へてをり、太平洋戰局における米軍の尨大且つ逐次增加する要求に應じなければならない、食糧生産計畫を實現するためには、農村産業に對する勞働力流入を大いに增加する必要あり、特に乳製品業の事態は危機的である、委員會は高度優先制度の見地より勞働力に關する諸般の要求をあくまで愼重に檢討した後、男子七萬八千六百人、女子一萬七千四百人、合計九萬六千人の勞働力を必要とする旨報告してゐる、しかし特に强調したいのは、以上

勞働力に關する要求は高度優先部門に限られ他にそれ程必須な産業部門ではないが、生産維持に重大な澁滯をきたしてゐる多數部面の要請を全然考慮してゐないことである、勿論これらの要求に悉く應ずることは出來ぬので、委員會では今後六ケ月間の男子勞働力に關する絕對最少限度の諸要請を檢討して報告してゐるが、右要求も五萬二千人以上である、差引きの自然增が防衞建設からの熟練勞働力の一部解放等を斟酌しても、委員會の計算では少くとも三萬九千人だけ勞働力が不足してゐるとの報告である、別に國防委員會からも兵力量に關する報告が提出されてゐるが、右報告を檢討し且つ濠洲軍の兵力につき米英兩國政府と協議した結果に基き、政廳は原則につき指令を與へたが、大綱は一九四五年六月三十日までに陸軍から三萬人、空軍から一萬五千人を解放することである、うち二萬人は一九四四年十二月三十一日までに解放されるが、さきに述べた高度優先産業において、少くとも三萬九千人の勞働力不足に對し差し當り振り向けることが出來るのはこれだけである、更に濠洲軍から人的資源を解放するに當つて尊重せねばならぬ指導的原則は、濠洲軍の出擊力を維持することである、世界戰爭の推移に徵すれば、政廳が常に主張した通り、太平洋戰爭は歐洲戰爭後も繼續されることは明らかであり、歐洲の戰局が片付いても濠洲の負擔は些かも輕減されぬことが同樣明らかである、否、反樞軸各國が全力を日本軍に對して傾倒するとともに、新たな諸要求が發生し、右要求に應ずるため人的資源の新たな配置を必要とするかも知れない

チヤーチルのいふ通り、歐洲の戰爭が終るのと太平洋戰爭が濟む幕合ひが、一時豫想されたよりも短いかも知れない、過去數週間における情勢の推移に徵すれば、希望が持てぬことはないが、日本軍が從來特徵としてゐた粘り强さと斷乎たる決意とをもつて戰爭を續けると想定せずに、種々起案することは愚の骨頂である、日本を完全に且つ悉く破つて了ふまでは、戰鬪員としてでも一般市民としてでも、出來る限りの努力を引續き傾倒することがすべての濠洲人の明白な義務である

大正十五年十月廿六日第三種郵便物認可　昭和十九年九月十九日(火)　第三一八四號

同盟通信

「海外電報」

(216)

發行人　荻野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人同盟通信社

天の時は地の利に如かずとは孟子の言葉だが西洋語では地の利のことを「ロジステックス」といふ、ケベック會談を終へてセント・ローレンス河を見下ろすシタデル（古城）の廣場に降り立つた英國首相チャーチル、米國大統領ルーズヴェルトが二百餘名の記者團を前に二十五分間に亘り縷々陳辯したところは要するに太平洋反攻作戰におけるロジステックスの困難だ、ルーズヴェルトはいはく「太平洋作戰は三千哩でなく六千哩乃至以上の距離に當面してゐる、食糧と燃料と彈藥の補給を維持するためには不斷の企畫が必要な所以だ」

以上ロジステックスの現實は、明らかに東亞は東亞諸民族の天地であり、懸軍萬里反攻作戰を無理押しする無名の師が、結局魯縞をも穿つ能はずして敗退するであらうことを端的に指示してゐる、一方チャーチルは東亞反攻作戰に英國民が本腰を入れないとの非難應酬に大童だ、「どうも米國は太平洋戰爭を獨占しようとしてゐるが萬事一手に引受けてもらつては却つて迷惑だ英國人は痛い仕事を避けようなぞと夢にも考へてゐない、各國の相對的國力に比例してあくまで東亞反攻作戰を遂行する決心だ」チャーチル得意の逆說法だが、前後五年戰ひに倦む英國人がシガーよりも戰爭の好きなウインストン君のやうに欣然として無名の師に赴くかどうかは疑問だ、チャーチルは更に「前回のケベック會議で秘密であつたことは今や周知の事實となつた、當時の卵は今脚を以て立つやうになり崩芽は今や森となり企圖に過ぎなかつたことはドイツ軍に對する致命傷となつた」と放言してゐるが、皆を決して祖國の防衛に當るドイツ軍をダンケルク敗戰以後の英軍と同一視するなら今に手荒い目に遭ふに違ひない



【目　次】

アーヘン周邊死鬪……二一三七
蘭獨國境に空挺部隊……〃
第一空挺軍團の初出動……〃
豫想された降下作戰……〃
ブ市内抵抗熄まず……〃
ホグランド島の奪回を策す……〃
ソ芬休戰の三條件……〃
兩巨頭更に會談を重ぬ……〃
友軸軸陣營の對立と獨軍の抗戰……二一三八—二一三九
亡命政權
波政權見苦しい讓歩……二一三九
【北　歐】
獨、行動の自由を聲明……〃
【友軸軸陣營】
ケベック會談終る……二一四〇
總力をあげて日本に當らん……〃
アラスカで三者會談か……〃
太平洋における英國の役割……二一四一
英海軍元帥ハワイ訪問……〃
米、歐洲占領炭坑管理……〃
米、各國に借款供與……〃
歐洲米軍再編成……〃
【南　伊】
ファシスト肅清に躍起……〃
【米　國】
三國會談延期……二一四二
印度の參加を拒否……〃
兵力の配分も協議か……〃
民主黨內訌……〃
ルーズヴェルト彈劾決議……〃
國際警察軍案に反對……〃
過剩軍需資産處分法案……〃
更に十九炭坑接收……二一四三
伊凍結資金を解放か……〃
賃金釘付け法則撤廢せん……〃
大西洋岸一帶の大暴風……〃
【米・洲】
伯首都に騷擾事件……〃
【英　國】
流星彈第二次攻擊始まる……〃
勞働黨十二月に大會開催……〃
【西　亞】
アラブ會議の各國代表……〃
【特　輯】
火藥庫支那……二一四四
治外法權……二一四五
徵兵制度……〃
米國戰時財政近況……二一四五—二一四六
フイリツプスを繞る旋風……二一四六
セーロン島の憲法……〃

昭和十九年 九 月十九日（火）
第 三 一 八 四 號
同盟通信 海外電報（第三種郵便物認可）

アーヘン周邊死闘

＝總統大本營十七日正午發表＝

アーヘン兩翼の敵はドイツ軍陣地突破の執拗なる企圖を續けたが、同市南面に對する數回の攻撃は挫折した、ストルベルク地區には特に凄慘なる戰鬪が行はれ、一方エヒテルナツハ西北方でザウエル河を渡河前進せる敵に對しては、ドイツ軍の反撃は順調に進んでゐる

蘭獨國境に空挺部隊

（ベルリン十七日發）ドイツ軍當局言明＝反樞軸軍空挺軍團の大部隊は十七日正午頃蘭獨國境西方に降下着陸した、着陸は大きな制空圈の傘の下にテイルブルク、アイントホーフエン、ニムウエーゲンなどの地點に行はれ落下傘部隊の降下に引續き多數滑空機が着陸した、所在ドイツ軍部隊は直ちにこれを邀撃、既に着陸部隊の多くを殲滅した

第一空挺軍團の初出動

（リスボン十七日發）歐洲侵攻反樞軸軍最高司令部は綜合第一空挺軍團の有力部隊が十七日午後オランダ領に着陸せる旨發表した

豫想された降下作戰

（リスボン十七日發）十七日午後蘭領東北部に降下着陸せる第一空挺軍團は八月上旬新たに編成された獨立綜合軍團で、前米軍第九航空隊司令ルイス・ブレアトンを司令官とする、前線の絨毯爆撃に敵味方の別なく粉砕し鑾名を謳はれたブレアトンの動向は各方面から注目されてゐたが、ジークフリード線の弱點と稱される北方を迂回せんとする英第二軍の意圖は既に明かであつた爲、空挺軍團のこの方面に協力することは決して豫想されなかつたことではない

ブ市內抵抗熄まず

（ベルリン十七日發）總統大本營發表＝完全に破壞せられたるブレスト市內に敵は突入せるも、ドイツ軍の多數據點並びに抵抗網は依然確保されてゐる

ホグランド島の奪回を策す

（ベルリン十七日發）ドイツ軍當局は十七日正午次の通り言明した

フインランド灣のホグランド島はソ芬兩國間の休戰條件に基きソヴエト政府に割讓されることとなつてゐるが、同島を押へれば何時でもフインランドを封鎖出來ることとなり、ソヴエト政府は殆んど絶對的な壓力を加へ得ることとならう、ドイツ軍は舊盟邦の利益を考慮し、かつエストニア國民保護の見地から九月十五日同島に近付いた、しかるに豫期に反しフインランド軍守備隊はドイツ軍に抗戰し、上陸を阻止した、フインランド政府はかくして自國並びにバルト諸國の利益を阻害したといはねばならない

ソ芬休戰の三條件

（リスボン十七日發）ロンドンからのロイター電報がストツクホルムの信ずべき筋からの情報として傳へるところによれば、十四日ソヴエト政府からフインランド休戰委員に手交された休戰條件には左の項目を含むといはれる

一、一九四〇年のソ芬國境の回復

一、フインランドは賠償金として米貨三億弗をソ聯に支拂ふ

一、フインランドはレニングラード及びクロンシユタツトに接近するフインランド灣內の一島をソ聯に割讓する

なほハクゼル代表の病勢は惡化してゐる模樣で、十六日モスクワに到着した外相エンケルが首席代表に任命された

兩巨頭更に會談を重ぬ

（リスボン十七日發）ボンベイ來電＝ガンジー翁は十七日午後印度聯盟のジンナー氏と前後四時間半に亘つて會談を遂げた、兩巨頭は九日以來殆ど連日數時間に亘つて協議を重ねてゐるが、會談は未だ終了せず、十八日月曜はガンジー翁の沈默日だから、更に十九日から續行される豫定である

昭和十九年 九 月十九日(火)
第 三 一 八 四 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

反樞軸陣營の對立と
獨軍の抗戰

(リスボン十六日佐藤特派員發)ケベツク會談と前後して歐洲戰局は最後の重大局面に入り、反樞軸各國の政治的協力は戰局の有利な展開と反比例し愈々混亂紛糾を重ねてゐるが、米英兩國政府筋には歐洲戰爭現段階において米英ソ三國間に戰略の緊密な協力が確保出來ぬ限り、却つて政治謀略の指導權をドイツ政府に握られるのではないかとの不安が濃化するに至つた

殊にドイツ軍事評論家デトマール中將が最近放送演說でドイツ國民は斷じて降伏せず、窮鼠却つて猫を噛む式の最後の鬪爭に出れば、反樞軸軍は却つて甚大な犧牲を恐れて事態を冷靜に判斷した擧句、徒らに戰爭を續ける事が果して軍事的政治的意義があるかと反問するに至らうと述べたことは、以上の見地から特に英國言論界に衝撃を與へドイツ軍が窮鼠戰術に出てゲリラ的抗爭を繼續する場合反樞軸軍には有效な對策が全く用意されてゐない事實を指摘する議論が多い、「タイムズ」紙の軍事記者シリスフオールスの如き「最近歐洲最後の段階」と題する論文で現戰局を分析、左の如く結論してゐる

補給の問題

現在ドイツ軍は一九一八年當時より遙かに劣惡な軍事情勢下にある、しかし現にドイツ軍が抗戰繼續を有利ならしめてゐる二要素を見落してはならぬ、その一は食糧が前大戰終末當時に比べて遙かに豐富なことであり、第二は嚴しい規律で上からの統制が徹底してゐることであり、反樞軸軍はフランスの戰ひに勝利を收めた現在第一にフランス沿岸の港からドイツ國境に通ずる補給線を出來るだけ急速に建設すると共に第二にはヒトラー總統が熱狂的な國內兵力を結集して窮鼠戰術に出る場合に備へて事前に對策を考究しておかねばならぬ

殊にこの際補給問題は現在戰爭遂行上最も由々しい問題でこれに比べればジーグフリード線を突破出來るか、どうかなどは全く問題にならない、事實補給戰の困難については現に反樞軸軍が使用できる近代的な港はシエルブール港だけでイギリス海峽に彼岸嵐が訪れる前にブレスト、ル・アーブルを完全に使用できるやうに手配せねばならない、たとへこれら兩港が直ぐ反樞軸軍の掌中に歸しても水雷の除去や修理に相當手間が要るとみねばならず、十月には西歐洲一帶は最も降雨の多い泥濘期に入るので、純軍事的にみても反樞軸軍がドイツ國境の前線突破に成功するかどうかは大いに疑問だ

無條件降伏固執の結果

しかし現在米英兩國政府の首腦にとつて最大の惱みの種が窮鼠戰術に對する對策の缺除とドイツ軍に對する勝利の困難に存することは明らかで、この觀點から無條件降伏の看板を固執するチヤーチル、ルーズヴエルトの政治的無力を攻撃する意見が米英兩國の言論界に根强い底流として潛在してゐる、例へば「エコノミスト」誌が「ドイツに對する救策無し」と題して米英兩國政府が無條件降伏を提唱して却つてドイツ國民の抗戰決意を固めさせてゐる、一方スターリンが自由ドイツ自治委員會を組織しドイツ軍部に呼びかけて、軍部方面からドイツの內部崩壞を企圖してゐる事實を嚴しく指摘した後左の如く結んでゐる

無條件降伏一本槍の態度は漸く政策としての意義を失つて急速に動脈硬化に轉化して行く危險が强い、いまや無條件降伏は消極的な成行き任せの政策と化したが、その結果は軍事的膠着乃至は長期戰を誘導し、ひいては反樞軸陣營の內部の意見分裂と抗爭を招來しよう

反樞軸陣營の大龜裂

現に反樞軸陣營の政治體制はソ波兩國の紛爭を繞つて大龜裂を生じ、ワルソー蜂起の例にみる如く歐洲戰爭の軍事的遂行そのものに支障をきたしてゐるが、ルーマニア政府の脫落の推移はバルカン地方における米英ソ三國角逐の眞相を明るみへ出したばかりでなく、歐洲戰後問題一般に對するソヴエト聯邦の傍若無盡な造り口を示唆してゐる點で、ソ波兩國間の紛爭に劣らず三國の戰爭協力に對する重大な試金石といへよう

昭和十九年 九月十九日(火)
第三一八四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

「デイリー・メール」紙のカイロ電報は、トルコブルガリア兩國の國境線に對する赤軍の進駐につき、トルコ政府はダーダネルス海峽に對する實質的支配の第一歩と解し、ブルガリアに對するソヴエト政府の宣戰布告の結果を危惧してゐると傳へてゐる

しかし事態の成行を深刻に危惧してゐるのはトルコ政府よりも寧ろ英國政府であり、英國内ではソヴエト政府今回の遣り口からみてバルカン問題を一擧に解決するため、ソヴエト政府は進んでトルコに宣戰するかも知れぬと憂慮してゐる向きもあるといはれる、事實少くもギリシヤ、トルコ兩國を確保して、バルカン一帶にソヴエト聯邦と勢力範圍分割線を引かうとしてゐた英政府の意圖はソヴエト政府今回の出方により根底から覆へされた譯で、「マンチエスター・ガーデイアン」紙は九日の社説で左の通り述べてゐる

ソヴエト政府はブルガリアに對する宣戰布告によつて東南歐洲に對する實力と關心を最も端的に示した、既に赤軍はルーマニアを占領舊ユーゴースラヴイア領に入つたが、更にブルガリアに進出、ギリシヤを解放しよう、かくてソヴエト政府はバルカン地方の處理に重大役割を演ずる權利を得たが、今後ブルガリア、ユーゴースラヴイア兩國はソヴエト政府に指導援助を仰ぎソヴエト政府もまた懸命にこれに應ずるであらう、ソヴエト政府は依然「プラウダ」紙を通じブルガリア君主制の退場を要求すると共にブルガリア國民に對し現在の支配層から脫却するやう執拗に呼びかけドミドロフを主班とする傀儡政權の組織も許さぬと威嚇してゐる

以上バルカン地方に對するソヴエトロシヤの急激な進出は米英兩國を極度に刺戟してをり、ケベック會談でもこの點が重大な議題の一つとなつてゐることは疑問の餘地がない

【亡命政權】

波政權見苦しい讓歩

(ストツクホルム十六日發)ロンドン來電によればワルソー蜂起軍司令ボールは十六日の公報でプラーガの赤軍とより緊密な連絡をとるべく努めてゐると發表、ミコライチク政權と歩調を合せたといはれるが、「スケツチ」紙によれば亡命ポーランド政權は、更に過般の爆彈聲明以來英ソ兩國の反感を買つてゐるポーランド軍總司令官ソスンコフスキーに對し二日間の猶豫を與へて辭職を要求、もし拒否した場合は大統領ラチキエヴイツチを動かして强權を發動、罷免を斷行する意向といはれる、一方ルブリンの國民解放委員會は依然强硬方針を持してゐるやうで、「エキスチエンヂ・テレグラフ」のモスクワ電報によれば、ポーランド國民解放委員會は十六日次の聲明を發したといはれる

ミコライチク政權はポーランド民衆に對し公然たる敵對行爲をとり、ポーランド國民戰爭をサボつてゐるばかりでなく、ポーランド軍の首腦は將來の内亂に備へて武器軍需品を蓄め込み、ポーランド農民の指導者を暗殺してゐる、ポーランド解放委員會はかかる亡命政權の略謀を斷乎粉碎し得る權限も力を有してゐることを彼等はいづれ知ることにならう

【北歐】

獨、行動の自由を聲明

(ベルリン十六日發)ソ芬間の休戰取極めによりフインランド軍司令部は北部に駐屯するドイツ軍に、十五日までフインランド領内から撤收するやう要求したが、ドイツ軍當局は以上の要求が實行不可能なゆゑんを指摘、十六日次の聲明を發表した

フインランドが去る九月二日ドイツ軍に對し九月十五日までにフインランドから引揚げるべしと拔打ち的に要求した際、それまでフインランド中部の防衛作戰に從事してゐたドイツ軍はボスニア灣の諸港から四百粁も離れた地點にあり且つ北部フインランドとノルウエー間の國境からは六百粁以上も離れてゐた、從つて敵の干渉を受けずに行軍しただけでもボスニア灣までは十二日を要し、ノルウエー國境までは三十日から三十五日を必要とする、以上の要求を敢てしたソ聯も受諾したフインランド軍も以上のことが實現不可能であることを明瞭に承知してゐたのである、よつてドイツ軍は九月十五日以降專ら一切の攻擊に對し自らの安全を保護する見地に基いて行動し必要とする措置をとるであらう

昭和十九年 九 月十九日(火)
第 三 一 八 四 號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

ケベツク會談終る

(リスボン十六日發)ケベツク來電=去る十二日から開始されたケベツク會談は十六日をもつて終了、ルーズヴエルト、チヤーチルは左の共同聲明を發表した

米國大統領及び英國首相は兩國の陸海軍首腦を交へて數次にわたる會談を遂げ、日獨兩國に對する作戰をあらゆる角度から檢討した結果、歐洲戰爭の完結ならびに日本擊破についてもあらゆる點で決定に達した、ただケベツク會談が直面した最も重大な困難は、太平洋戰爭に關係ある國家の總てが對日戰に動員すべき尨大な兵力の集結地點及び時期を如何にして發見するかの點にあつた

しかしてルーズヴエルト、チヤーチルは直ちに歸還の途につくはずだが、兩國軍首腦の一部はケベツクに殘留して、更に具體的な作戰問題の協議を續行するはずである

總力をあげて日本に當らん

=米英首腦部記者團會見=

(リスボン十六日發)ケベツク來電=ケベツク會談は十六日終了したがルーズヴエルト、チヤーチルの兩名は會談終了に關する共同聲明を發した後新聞記者團と會見し會談の經過を說明した、兩者ともに會談が極めて順調に運び多大の成果を擧げたことを强調したが、今次會談の主題が對日戰遂行におかれたことを物語つて兩者の言明は專ら太平洋戰域における作戰問題に集中された、兩者の言明要旨左の通り

ルーズヴエルト 今次會談の最大の特徵をあげるならば會談が極めて順調に進行して議論も少く從つて時間が短かかつたにも拘らず、多大の成果を得て兩國代表が完全な意見の一致をみたことにある、會談では日本擊破の大攻勢作戰が決定されたが、この作戰がいつ開始されるか具體的な日取を今云々するわけにはゆかない、何故ならばドイツがいつ崩壞するか豫言することが出來ないからだ

しかしいづれにせよ歐洲戰が終了次第反樞軸軍はその全力をあげて日本を擊破する大作戰に乘出すだらう、太平洋における戰ひが非常に困難であり、從つてその作戰も複雜を極めるだらうことは明らかだ、反樞軸軍が擁する尨大な兵力、資材を太平洋戰域の前線に集結することは非常な大事業である、しかしわれわれは對日作戰が如何に困難であらうともあくまで日本の息の根を止めようと決意してゐる、一部に傳へられたやうな太平洋戰域に反樞軸軍の最高司令官を任命する如きことは會談では一度も議に上らなかつた、太平洋戰域は非常に廣大であり各作戰區域は非常な距離をもつて相距つてゐるので單一司令部の設置の如きは實情に卽應しない、現在東南アジアにはマウントバツテン軍あり南太平洋にはマツカーサー軍あり、更に海上にはニミツツ麾下の米國太平洋艦隊があるが、この三者による作戰分擔が最も太平洋戰域の事情に適してゐる

チヤーチル 歐洲戰が終了次第英帝國の擁する陸海空三軍の兵力は太平洋における攻擊作戰に參加するであらう、英國が太平洋戰に本腰を入れないだらうとの說もあるが、英國を誹謗するも甚しく、英國はこの國力に應じて全力を日本擊破に傾注せんとしてゐる、萬事が順調に進んだ今度の會談で米英兩國代表の間に一度意見の不一致を來したことがあつたが、これは英國代表が太平洋戰爭は專ら米國軍ばかりで引受け、英國軍に餘り活動の餘地を與へてくれぬのではないかと心配したことから發生したのである

アラスカで三者會談か

(チユーリツヒ十五日發)チヤーチル、ルーズヴエルトの兩名はケベツク會談終了後、更にスターリンをも交へて米英ソ三國首腦會談を開催するだらうとの說が頻りに傳へられてゐるが、「エクスチエンジ・テレグラフ」通信社のワシントン電報はスターリン議長の要請によつて三國首腦はアラスカのフエアバンクスで會談することとなつた旨傳へてゐる

昭和十九年 九月十九日(火)
第三一八四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

太平洋における英國の役割

(リスボン十四日發)ニューヨーク來電=十四日の「ニューヨーク・タイムズ」紙は「太平洋における英國の役割」と題する社說を掲げ次の通り述べてゐる

チャーチル、ルーズヴエルトの間で行はれたケベツク會談の一つの有益な副産物は歐洲戰後英國が對日戰に全力を投入する意圖を有することを再び確認したことであらう、懷疑派は「恰度一年前しかもケベツクでマウントバツテンは東南アジアにおける素晴しい指揮權を持つことになつたが、いまだに大したことはしてゐない、何故彼は東南アジア軍の司令官になつてからビルマへ上陸しなかつたのであらうか」と指摘するが、マウントバツテン自身は上陸用舟艇や他の艦船がビルマ侵攻のため一旦彼に與へられた後直ぐにとり返へされ、アンチオ橋頭堡やフランス侵入に使用されたのだと述べてゐる、しかしマウントバツテンは再び上陸用舟艇を獲得してそれを使用することにならう

英國の尨大な利權や投資或ひは英國の東洋王國の安全性、並びに交通線の長さ、英帝國の完整などに對する考慮は英國を太平洋における全力をあげての戰ひに驅り立てるであらう、日本を徹底的に攻撃することは米國にとつても英國にとつても死活的問題である

英海軍元帥 ハワイ訪問

(リスボン十六日發)ホノルル來電=英國の海軍元帥サー・ロージヤー・キーズは十六日濠洲及びニユージーランドに向ふ途中ホノルルに立寄り次の通り述べた

英國の將兵は日本撃滅の決戰に參加したいとの熱望に燃えてゐる、それは東洋における米英兩國の利害が全く一致してゐることを意味する

米、歐洲占領炭坑管理

(リスボン十六日發)ロンドン來電=「ニユーズ・クロニクル」紙十六日の報道によれば、米國陸軍省は今後北佛並びにベルギーの炭坑事業を米國が管理することとなつたため、米國の炭坑專門技師二十名を同地に派遣したと傳へられる、同技師團は反樞軸占領炭坑の管理、炭坑夫の雇傭、經營者の任命、採掘された石炭の輸送等に當るだらうと豫想される

米、各國に借款供與

(リスボン十四日發)ニューヨーク來電=ニューヨークの金融業者は十四日オランダ亡命政權との間に戰後再建資金として總額一億弗の借款協定に調印した旨發表した、一方ベルギー政權も目下同樣の借款交涉を金融團との間に進めてゐる模樣である、更に重慶政權も米國から新たな借款を得んとしてゐると傳へられるが、この分はまだ具體的な交涉は開始されてゐない

歐洲米軍再編成

(リスボン十六日發)歐洲侵攻反樞軸軍最高司令部は十六日次の通り發表した

一、アイゼンハウアーは今後パツチ麾下米第七軍の指揮をとり、形式的にも西部戰線の反樞軸軍全部を指揮下に收める

一、最近佛軍部隊並びに米軍部隊をもつて編成された第六集團軍の司令官は前地中海方面軍副司令官中將ジエーコフ・L・デヴアースである

以上の發表によりアイゼンハウアー麾下の反樞軸軍は大別次の通りになる

第二十一集團軍(白蘭戰線)
　司令官　モントゴメリー
第十二集團軍(ジ線正面)
　司令官　ブラドレー
第六集團軍(ジ線兩端)
　司令官　デヴアース
獨立第一空挺軍團
　司令官　ブレアトン

米第七軍は第六集團軍に屬すると思はれるが米第九軍の所屬並びに戰區は依然不明である

【南伊】

フアシスト粛清に躍起

(リスボン十六日發)ローマ來電=ボノミ政權は過般來イタリア反樞軸占領地域のフアシスト分子掃蕩に懸命となつてゐるが、十六日元無任所相ランテイニ氏を逮捕更に海軍將官九名及び佐官二十九名がフアシスト系であるとの理由で罷免された

昭和十九年 九月十九日(火)
第三一八四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米國】

三國會談遲延

(リスボン十五日發)ワシントン來電=ワシントンのダンバートン・オークスで開催されてゐる米英ソ三國會談議長ステチニアスは十四日會議の經過につき次の通り發表した

世界安全保障に關する米英ソ三國共同案は完成に近づいてゐるが、なほ數日を必要とすべく、從つて米英重慶會談の開始は早くて來週半ば過ぎとならう

最初三週間の豫定で開かれた三國會談は豫定通りに進行すれば九日に終了する筈だつたが、會議が遷延するところから推して、三國代表間に何等か重大な問題が發生したのではないかとの觀測を生んでゐる、なほ英國代表カドガンは十四日午前チヤーチルと會見するためケベツクに急行した

印度の參加を拒否

(リスボン十五日發)ワシントン來電=在米印度人聯盟總裁シングは目下ダンバートンで開催されてゐる反樞軸戰後國際安全保障會議に印度代表の參加を要求したが、同會議の議長たる米國務次官ステチニアスはこの印度の要求を峻拒したといはれる

兵力の配分も協議か

(リスボン十五日發)ケベツクにおける米英會談では對日戰の强化につきあらゆる角度から檢討が加へられてゐる模樣だが、太平洋戰域に動員さるべき米英兩國兵員の配分についても協議されてゐるといはれる、ケベツク來電によれば會談には英國勞働省のゴドフレイ・イングも參加してをり、彼は米英軍首腦に對しきたるべき對日大攻勢に英國が動員し得る人的資源量につき報告を提示したと傳へられる

民主黨內訌

(リスボン十六日發)グラス(テキサス州)來電=テキサス州の民主黨はルーズヴエルト派とその反對派とに分れて過般來內訌を續けてゐたが、十六日開かれた同黨州大會ではルーズヴエルト派が勝ちを占め、去る五月の州大會で選出された大統領選擧人二十三名のうちルーズヴエルト反對派十五名を追ひ出し、選擧人を全部ルーズヴエルト派をもつて固めるに成功した、しかし反對派はこれに承服せず、州大會の決定は違法なりとして州大審院に提訴するといきまいてゐる

ルーズヴエルト彈劾決議

(リスボン十五日發)ニユーヨーク來電=オハイオ州シンシナチ市で開催中の炭坑夫組合大會は十五日ルーズヴエルト彈劾、デユウイ支持の決議案を採擇した、但し右決議案採擇にあたつては一部ルーズヴエルト支持派の反對あり會場は相當の沸騰をみせた

國際警察軍案に反對

(リスボン十五日發)ニユーヨーク來電=十一月の大統領選擧に社會黨候補として名乘りをあげてゐる同黨々首ノーマン・トーマスは十五日の選擧演說で民主、共和兩黨の干涉主義外交政策を攻擊して次の通り述べた

戰後の平和保障手段として國際警察軍設置案が傳へられるが、余は民主、共和兩院首領に對して、彼等が果してかかる案を支持してゐるかどうか照會を發してゐる、米國が萬一かかる案に同意を與へるならば、米國は如何なる犧牲を拂つてもスターリンとチヤーチルの平和を確保してやるに等しい立場に追こまれることとならう卽ち東亞では英、佛、蘭の植民帝國を、東歐ではソ聯の覇權を米國の犧牲によつて支持してやる結果を招來しよう

過剩軍需資產處分法案

(リスボン十五日發)ワシントン來電=上下兩院協議會は十五日懸案の過剩軍需資產處分法案を可決した、協議會で成立した法案は過剩資產の處分を大統領の任命する一人の長官の手に委ねるか乃至は處分機關を委員會制とするかの兩案の妥協案で、處分機關は三名から成る委員會だが、委員は全部大統領により任命されることとなつてゐる

更に十九炭坑接收

(リスボン十五日發)ワシントン來電=ルーズヴエルトは十五日更にウエスト・ヴアージニア、ケンタツキー兩州の炭坑十九を政府の手で接收した、これで罷業のため政府の管理下に移された炭坑の數は六十四の多きに達した

伊凍結資金を解放か

(リスボン十五日發)ニューヨーク來電=「ニューヨークポスト」紙の報道によれば、政府はイタリアのボノミ政權に對して米國内で凍結されてゐるイタリアの資金解放を考慮してゐるといはれる、在米イタリア資金は米國の參戰前、一九四一年初頭ドイツ資金と同樣凍結されたものでその額は大體一億弗と推定されるが、この資金はイタリアに對する食糧供給に流用されるとみられる

賃金釘付け法則撤廢せん

(リスボン十五日發)ワシントン來電=戰時勞働局は十五日次の報告を發表した
勞働局は過去數ケ月にわたり賃金及び物價の動向に關し調査を行つた結果、小鐵鋼樣式の基準がおかれた一九四二年一月以來、一般生計費は二十五パーセント乃至四十三パーセントの昂騰を示したことが明らかとなつた、よつて勞働局は小鐵鋼樣式が既に賃金釘付け方則としては不適當だとの結論に達し、多分十一月七日の大統領選擧以前にルーズヴエルトに對し同樣式を撤廢し賃金基準の引上げを勸告することとならう
一方勞働局長官ウイリアム・デーヴイスも同日の記者團會見で「國内における經濟狀態の變化により賃金政策の變更は不可避となつた」と言明した

大西洋岸一帶の大暴風

(リスボン十五日發)ニューヨーク來電=大西洋岸ではヴアージニヤ州からメイン州にかけて百哩に近い海岸一帶に十四日夜時速八十乃至百哩の大暴風雨が荒れ狂ひニューヨーク、フイラデルフイア、ボストンの三主要都市を初め、ヴアージニア州のノーフオーク、コネテイカツト州ニューロンドン、ロードアイランド州プロヴイデンス、マサチユーセツツ州ブロツクトン等の損害は甚大である
颱風は十五日午後に至りボストン南部から東北方へ進行、大西洋上へ拔けて更にノヴア・スコチヤ方面へ向つたが、ニューヨーク州の十二人を筆頭に總計二十一名の死者と百五十名の負傷者を出し、建物は壞れ、屋根は飛び電信電話線は到るところで不通となり、殊に避暑地として名高いアトランテイツク・シテイーでは有名な「百萬弗の鋼鐵棧橋」が眞二つに割れて了つた、實に一九三八年九月二十一日以來の暴風雨で諸州の損害は合計三千萬弗を下らないと推定されてゐる

【米 洲】

伯首都に騷擾事件

(リスボン十六日發)ワシントン來電=十六日ワシントンとリオデジヤネイロ間の有線電信が突如杜絶したが、國際消息筋は「リオデジヤネイロに異常なる事態が發生したとの情報がある」と言明した、一方モンテヴイデオからの情報も「未だ確認はされないが、ブラジルの首都で政治的騷擾事件が發生したやうだ」と傳へてゐる

【英 國】

流星彈第二次攻撃始まる

(リスボン十六日發)ロンドン來電=十六日未明開始されたロンドンに對する流星彈攻撃は、九月五日北佛基地からの最後の攻撃以來十日に亘る休止を破りロンドン市民の夢を驚かしたが、その攻撃がオランダ方面の遠隔基地から行はれたものか、或ひは爆撃機による近距離からの攻撃かは未だ明らかになつてゐない

勞働黨十二月に大會開催

(ストツクホルム十五日發)ロンドン來電=勞働黨大會は歐洲侵攻作戰の關係で延期されてゐたが、きたる十二月十一日から十五日まで開催されることに決定した、勞働黨は近く聲明を發表、きたるべき總選擧では「政治休戰」協定を遵守しない旨闡明するとみられる

【西 亞】

アラブ會議の各國代表

(ブダペスト十五日發)サロニカ來電=アラブ聯盟會議は九月二十五日カイロで開催されるが、右會議に出席する西亞各國代表の顏觸れは次の通り
△イラク=首席代表前首相ヌリ・サイード △シリア=首席代表首相アラー・アルジヤビリ、外相ジヤマール・マルダン・ベイ △レバノン=首席代表首相リアド・エス・サル、外相セルム・タクラ

昭和十九年 九月十九日(火)
第三一八四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

資料

火藥庫支那

「タイム」誌八月廿八日號

國民黨と共産黨との久しい間燻つてゐた喧嘩はいよいよ火花を散らして表面化するに至つた、中國共産黨の祕書長周恩來は「内亂の危險が到來した」と叫んでゐる、重慶では情報部長梁寒操は「内亂の危險などはない」とやり返した、前後五ケ年にわたる武裝封鎖逆封鎖の後國民黨と共産黨とは休戰協定の字句について論爭を始めた、重慶政權は共産黨を合法的な政黨と認める、ただし國民黨の宗主權を認めねばならないといふ和協案を出したが延安――共産黨の首都――は思ひ切つた政治經濟改革案をもつて應酬した、交涉は繼續してゐるが重慶代言人は「恰度ホツテントツトがエスキモーに話してゐるにひとしい」といつてゐるところへ重慶政權が動搖してゐるとの報道が流布され危機乃至政治的な再出發が近付いてゐると傳へられる、その場合、蔣介石は果たして如何なる役割を演ずるのだらうか、中國共産黨の役割は如何、これらの問題については今後數週間乃至數ケ月以内に解答が與へられよう、重慶政權の嚴重な檢閱官が先週に至つて共産地區が着々增强されてゐるとの新聞電報を打たせたなぞは意味深長だ、共産地區は現在八千萬の人口と百萬方哩の地域を擁してゐる、過去五ケ年間外部に對しては神祕の國であつたが去る五月重慶政權は陝西甘肅寧夏の邊疆共産地區に對する「封鎖」を解き、外人特派員の入ることを許可した、漸く先週になつて延安からの諸報道が共産地區の實情を傳へた、大黃土の曠野で、所々河川の流れと谿谷と森林とで中斷されてゐるが概して豐沃だ、ただし雨量は少い

共産黨は「不毛」の土地を逐次變更して行く、土壤が耕作に適するところでは穀類を植付け聚落は至るところ鷄や豚を飼つてゐる、住民は一般にいつてがつちりして食べ物もよく着物もさつぱりしてゐる、典型的な村といへばアーチ型のロス黃土の洞穴で、表にはしつくひを塗り前面には林がある、延安は人口二萬五千、ロス黃土の丘陵にZ型に掘つた洞穴の町だ、延安大學は二千の人員を擁してゐるが、教室や寄宿舍の迷路だ、至るところ石の塀や崖の側面に「汝自らの手を動かせ」といふ四字から成る有能な主席毛澤東のスローガンが揭げられてゐる、「働かぬ者は食ふべからず」といふ意味だ

共産黨のいふところによれば、邊疆地區で曾つては浮浪人七萬を數へたが今は僅か數百人に過ぎないといふ、共産黨は四百七十萬の正規軍と二千三百萬の民軍を整備してゐると稱してゐるが、正規軍は遊擊隊で訓練もよく後方攪亂や浸透作戰はお手のものだ、例へば第三百五十九旅團の一萬人は各々五エーカーの土地を耕し、兵十人毎に牛一頭、兵二人毎に豚一頭を持つてゐる、一人當りの食糧配給は毎日小麥二ポンド、野菜二ポンド他に一ケ月に肉六ポンドだ、重慶軍の食糧配給はそんなによくない、共産政權は土を耕がやさすと同樣熱心に民を牧する、增産に拔群の功績をあげれば農民でも勞務員でも新聞に大々的に揭載される、石油、銑鐵、工作機械、輕兵器、紙類、織物など原始的で小規模だが工業もあり、勞働者は組合組織に入つて相當な賃金を保障されてをり、缺勤や怠慢に對しては處罰を受ける、一般の商賣も廣く行はれ特に危險ではあるが儲の多い密輸出入が盛だ、合法的な商賣は大半生産消費組合が擔當してゐるが、國境地帶では地主制度が多少の修正を受けて存續してゐる、地代並びに利子は平均二五%切り下げられた、地主は小作人を追出すことが出來ない、小作人は期限に地代を拂はねばならないが凶作の場合は損失は双方の分擔だ、何故共産政權が地主を廢止して土地を分割しないのか? 共産政權はいはく

戰時においては領内の治安が必要だ、さもなければ、一切の階級は敵陣營に投じよう、戰後初めて中國の封建制度を撤廢出來よう、差し當つては中國の經濟的進度低く社會主義を實施出來ぬから、資本主義企業を比較的進步的な段階として奬勵してゐるわけだ

昭和十九年 九月十九日(火)
第三一八四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

治外法權

「デーリー・メール」紙八月卅一日

重慶外交部の發言人徐謨は次の通り言明したオランダ、スエーデン、スイス、及びポルトガル四國政府は、まだ中國における治外法權を撤廢してゐない、目下ロンドンで亡命オランダ政權との間に交渉が進捗してゐる、同政權との間に交渉が妥結すれば殘りの三國も條約の明文に基き自動的に特權を抛棄することとならう

徵兵制度

「タイム」誌八月廿一號

或る日の午下り蔣介石は夏の別墅を出て郊外散策に赴いた、道を曲つたところで突然止まつたが前面には便服の華人が鐵砲を持つて三人の人間を繩につないで狩り出してゐる、蔣介石は「やめろ一體何をしてゐるのか、一般人が鐵砲を持つて歩くことは禁制ではないか」と叫んだ、ところがこの男は縣の役人で縣に割當てられた人員を滿たすため徵兵に三人引張つて行くところだと說明した蔣介石は今までも徵兵制度の弊害をきかされてゐたし、今年の春徵兵のため繩で一般人を縛り上げることを禁止したばかりだ、そこで今度は縛られてゐる連中を訊問した、一人はいふ、自分は行商人で道端で商賣をしてゐたところ武裝した一團に襲はれ引つ張り出された、これをきき蔣介石は烈火の如く怒つた、縣の役人は蔣介石の有名な舌鋒に縮み上つて了つた、結局蔣介石は三人の繩目をほどくことを命じて引上げたが、直に實狀の調査を命じた、數日後重慶の新聞には次のやうな簡單な布告が出た

徵兵制度は缺陷を暴露したので、重慶ならびに附近一帶では一時停止する

米國戰時財政近況

「フアイナンシヤル・タイムズ紙」八月廿八日

本年度赤字額　聯邦準備局八月の月報によれば本年七月一日をもつて開始された新會計年度において米國政府の借入額は大體五百億弗と推定される、依然として巨大な赤字だが、なほ前會計年度の赤字額六百二十億弗に比較すれば相當の減少である、膨脹の一途を辿つてゐた米國の戰時財政も最近に至るや流石に支出、收入共に減少しないまでも急速な增大傾向を停止するやうになつた、政府が今後借入金を減少し得るだらうとの見透しは一つは現在財務省が巨大な現金の手持を持つてゐるからでもあり、戰局が急速な展開を示してゐる今日世界戰線の一部で戰爭が終るやうなことがあれば借入金は更に少くてすむこととならう

月報は更に米國の國民所得が今後も大體現在の水準に維持されるだらうとみ、この場合に一般國民の懷には稅金を支拂ひ、且つ入手可能な商品及び勞務に支拂ひをとつた後も、なほ相當額の餘剩金が殘るだらうと豫想してゐる、事業資本及び個人資本の流動資金も增加すべく、この結果國債の消化も順調に進むだらう、聯邦準備局の方針は依然として政府證券市場の安定を期するにあり一方加盟銀行に對しては相當潤澤な預金準備を維持させて、政府の戰費調達に積極的に參加させるにある、政府の發行した巨大な證券類が銀行以外の一般投資家によつて大いに消化されたことは勿論だが、銀行もこれに重大役割を果たし去る六月三十日までの過去四會計年度において、政府の發行した國債額一千五百三十億弗のうちその半額に近い六百四十億弗までが銀行によつて消化された、聯邦準備局は公債市場の安定を期し、更に政府の戰時財政々策に支障を與へる惧れある如き政府證券類價格の投機的變動を最少限度にとどめるため、各銀行に預金準備を供給すると共に、一方では各種證券類の利廻りを一九四二年初頭の水準にほぼ安定させるに努めた

聯邦準備局の協力　聯邦準備局は全般的な金利水準を維持すると共に、公債市場を安定、確保し財務省が前古未曾有の巨額な公債の賣出しを行ふのを援助した

この協力工作として一九四二年に準備局の行つた操作は、政府新規發行の公債、證券類の巨額の買入れであつた、しかるに一九四三年に入ると、一般投資も漸く公債市場安定の前途に信賴感を抱くに至り、財務省からは依然として巨額の新規公債の發行があつたにも拘らず、市場のこれに對する需要が非常な額に上つたため、準備銀行は却つて政府證券類の手持を放出し、その額は一九四二年に準備銀行が買付けた額と殆んど同額に達するといふ有樣だつた、一九四四年上半期における準備銀行の政府證券手持高は若干の增加を示したに過ぎない、一九四三年及び一九四四年上半期にわたり聯邦準備銀行は主として財務省證券の買入れによつて諸銀行に預金準備を供給したが、この操作において聯銀は一定の率をもつて證券を購入、賣却者の要求あり次第これを再轉賣する方法をとつた

第五回戰時公債の賣出しによつて國庫に入つた現金は二百十億弗である、更にこの他にも銀行及び政府機關に對する公債の特別賣却により十億弗の入金あり、また財務省は每日相當額の公債を賣却してゐるので、あれやこれやで國庫内にある現金は相當に潤澤であり、大體今年中は何等特別の手當を行はなくても十分に戰費その他の支出を賄つてゆくことが出來よう

フイリツプスを繞る旋風

「タイムズ」紙 ワシントン特派員九月二日

今から大統領選擧の日まで米國では政治工作の晴雨計が上る一方だ、民主黨と共和黨の指導層はちやんと節度を守るだらうが、双方の遊擊隊に節度を期待することは出來ない、ウイリアム・フイリツプスは不同意人物(ペルソナ・ノン・グラタ)だからと英國政府が申入れたので、同人が反樞軸軍司令アイゼンハウアー將軍の政治顧問を止めたといふ根據のない主張が正に適例だ、國務省の否定に續いて、英國大使ハリフアツクス卿が、一日夜A・Pに對し聲明を出し「責任ある筋で事實も確める措置もとらずに」言明したところは全く事實相違なる旨を述べ、次いで下院外交委員長ソール・ブルークも二日に至り「英國政府も印度政廳もフイリツプス召還を要請したことはない」旨聲明した、ところが上院議員チヤンドラーは二日朝再び米國外交に對する英國政府の干渉を持出し眞相調査を要求した、今後二ケ月間この種のデマに對し一々否定して應酬することは出來ぬかも知れない、今度はチヤンドラーはフイリツプスの問題に觸れず、ただ「米國政府はパリのド・ゴール政權に新しい代表を派遣することを考慮してゐるがこれによつてド・ゴール政權を事實上の政權として認めてゐるに過ぎぬ、米國政府の立場に變りはない」と述べたに止まる

同ニユー・デーリー特派員九月二日

印度派遣米國使節祕書長ジョージ・メレルはウイリアム・フイリツプスがロンバンにおける地位を辭任しても、印度における大統領の特使としての立場には些の變化もないと言明した

セーロン島の憲法

「タイムズ」紙コロンボ特派員九月二日

セーロン島の内閣は英國植民相の要請に基き同島の憲法草案を提出したが、英國政府が七月五日特別委員會を任命し同島の少數民族その他各方面と協議をさせる旨發表した結果、内閣は植民相當初の公約に反するとの理由で右草案を撤回して了つた、關係の交換公文が一日セーロン島で發表されたが、右公文の内で植民相は次の通り内閣の主張を反駁してゐる

目下檢討してゐる憲法上の非常に重大な決定を下だすに當り、關係方面の意見を十分承知せずに濟まさうなぞとは、英國政府としては今まで片時たりとも考へたことなく、今後もかかることを豫想してゐないことを特に力强く斷言する

一九四三年英國政府はセーロン島の内閣に對し、憲法改正案の提出を要請し、將來同案を委員會または會議で檢討する旨發表した、その結果内閣は憲法草案を起草したが、英國政府は今年末特別委員會を任命してセーロン島に派遣し、少數民族その他關係各方面と協議させる旨發表した、内閣は以上の決定をもつて一九四三年の公約違反だと主張し「七月五日植民相の言明により内閣が用意して草案を起草した基礎が變つたと思惟する」との理由で草案を撤回した

大正十五年十月廿六日第三種郵便物認可　昭和十九年九月二十日(水)　第三一八五號

同盟通信 海外電報 (217)

發行人　鈴野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

豫想されてゐた反樞軸軍の空挺部隊大攻勢はいよいよ十七日正午オランダ領東南部において開始された、降下地點はドイツ側の發表によればニムウエーゲンを中心とし、アルンハイム、ネールペルト等にも續々降下してゐるといはれる、アイゼンハウアー司令部は降下作戰について一切報道を禁止し、ただ作戰部隊が第一空挺軍團なること、十八日にも兵力資材の增援が續けられてゐること、着陸部隊の作戰が順調なることを發表してゐるにすぎない、第一空挺軍團が編成されたのは八月十日だつた、同軍團は從來の空挺師團を集めた他、輸送機隊滑空機隊等をも綜合した獨立大軍團で、その司令官は米軍第九航空隊司令として有名だつた陸軍中將ルイス・ブレアトンだ、連日ドイツ本土を白晝强襲せる戰略爆撃はいふまでもないことながら、大西洋防壁を一擧に粉碎してドイツ總退却の因をなしたアヴランシュ突破の空の總指揮者は彼ルイス・ブレアトンである、

敵味方の別なく絨毯爆撃の下瓦礫の突破路と化した彼の蠻勇は世の人道主義者を戰慄せしめた、しかして彼の空挺軍團司令就任は當然大規模空挺作戰の實現を豫想させたのであるニムウエーゲンはジークフリード線北端を去る十二哩、もしこの方面に第二十一集團軍を誘導するを得ばドイツ軍の西部防衛線が危殆に瀕するのは言を俟たない

ドイツ軍當局は降下部隊の大半を殲滅したと言明した、だが打たれても叩かれても地歩を確保するまでは物量を注入して斷念しないのが敵の戰法であり、ブレアトンを起用した邊りにも敵の空挺軍團にかけた期待がうかがはれる、いかに出血は多くともこの作戰が何の影響も齎らさぬとは考へられないのである

世界の焦点

【目次】

微妙な米英兩國關係……二一四七
空挺部隊殆んど殲滅の運命……〃
ソ芬兩國の交涉續く……〃
獨、蟲きぬ戰力に必勝の氣魄……二一四八—二一四九

【東南歐】
勃休戰代表歸國……二一四九
バグリアノフ將軍等を逮捕……〃
洪議會召集……〃
駐羅獨公使殺害さる……〃
獨公使館との連絡絶ゆ……〃

【米國】
大西洋岸颱風の被害……二一五〇
軍の配備狀況……〃
航空隊の損害……〃
軍の損害三十九萬……〃

【米洲】
ブラジル國內に事件勃發か……〃
米國大使急遽歸國……〃

【亡命政權】
西歐三國通貨協定……〃

【友樞軸陣營】
波蜂起軍漸く連絡……二一五一
ド・ゴール政權要人を逮捕……〃
ド・ゴール政權新聞界を彈壓……〃
アイスランド內閣總辭職……〃
ソ聯大使パリへ移駐……〃

【ソ聯】
チモシエンコ元帥健在……〃
大學も閉鎖か……〃

【英國】
ロンドンの復興につき協議……〃
マルタ島總督更迭……〃

【印度】
總督、王侯會議代表を引見……〃

【特輯】
リスボンだより……二一五二—二一五六

昭和十九年 九月二十日(水)
第三一八五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

微妙な米英兩國關係

(リスボン十八日發)ケベック會談一段落とともに英國外相イーデンは空路直にロンドンに歸還し首相チャーチルは十八日汽車でケベックを出發したが、チャーチルの行先きは嚴祕に付されてゐるロイター特派員ロバート・ヴイヴイアンはチャーチルの行衞に關聯し

チャーチルは釣の旅に上つたのかも知れないが消息筋の間では公式且つ大いに宣傳された會談から、どこか別な地點における極祕の新發展に移るのだといふ意見が有力だ

と報道してゐる

今回の會談で太平洋反攻作戰を決定するに當り一番問題になつたのは米英兩國軍の戰域乃至負擔分擔だが、ロイター電報は會談後の新聞會見におけるチャーチルの言葉を取上げ

米軍特に米國海軍は獨力で太平洋と東亞の覇權を奪回出來る主張し、戰ひに疲れた英國艦隊の協力を必要としないと主張してゐるとの噂が專らだが、チャーチル今回の言明はこの噂を確認したにほかならない、米英が太平洋と西南アジアとを支配する宿命を擔ふとは、過去二ケ年間雜誌に、論文に帝國主義的米人の常に主張してゐるところであり、これらの手合は東亞反攻作戰に對する英國軍の寄與を過少評價するのが例であつた、しかし英國人は太平洋における自國の權益が米國に劣らないとの見地から、絕對にかかる主張に同意しない、但しビーヴアブルツク卿の「デーリー・エキスプレス」紙だけは十八日の紙上において、英國人が英帝國主義を主張するなら、米國人が米帝國主義を主張するのは當然ではないか、若し帝國主義が米國人一般の政策ならば、英國人はこの政策を支持し援助しなければならぬと異說を唱へてゐる、しかし「デーリー・エキスプレス」は太平洋における米帝國主義の要求は英國の舊根據地をも含んでゐることを看却してゐる、英國新聞界は英國が自力で大東亞戰の緒戰において喪失した領土を回復せねばならぬことを强調してゐるが、特に週刊「エコノミスト」誌の如き「英國は獨り東亞反攻作戰に十分寄與するばかりでなく斷乎として寄與する決心だ」と述べてゐる

以上「エコノミスト」誌の主張は文意必ずしも明かでないが、假りに米軍が獨力で太平洋反攻作戰を遂行すると主張しても英國政府としては「斷乎反攻作戰に一役買ふ決心だ」との趣旨と解されるロイター電報はかかる報道によつて、英國が東亞反攻作戰に本腰を入れないとの米國內の非難に應酬する底意だらうが、現實においては英軍による印度洋からの東亞反攻作戰が相當手間取る樣子で「マンチエスター・ガーデアン」紙の如き十八日の紙上で

東亞における英國の權益は決して米國のそれに劣らない、しかし英國が全力を太平洋戰線に注ぎ込むのにはなほ數ケ月を必要としよう、その前にマツカーサーは比島をニミツツは日本諸島に對する攻擊を開始するだらう

と本音を吐き、苦しい英國の立場を認めてゐる

空挺部隊殆んど殲滅の運命

(ベルリン十八日發)ドイツ軍當局十八日言明=オランダ東南部に降下着陸せる敵第一空挺軍團の落下傘部隊並びに空挺部隊は殆んど掃蕩された、オランダでも同地方は運河や河川が多いため降下地點すべての掃蕩が終るまでには相當時間を要するであらうが、七ケ所の降下地點では地上に達した部隊を一兵も殘さず殲滅、特に東方に降下した敵部隊の剿滅は迅速に行はれた

この殲滅戰は二段階にわたり行はれた、まづ上地のドイツ軍治安部隊が即座に邀擊し、續いてドイツ軍機械化部隊が降下地點に驅けつけて攻擊した、これはすべて以前からの計畫で、かかる降下作戰を豫想して訓練してゐたため、包圍殲滅作戰は極めて容易に行はれた

ソ芬兩國の交涉續く

(ストツクホルム十八日發)ヘルシンキ來電=フインランド外務省の公電によれば休戰使節は十六日クレムリン宮においてソヴエト代表モロトフ外務人民委員、英國大使クラーク・カー等と長時間にわたつて會談を遂げたと傳へられる、フインランド國會は十八日緊急會議を開催、右會談で提出されたソヴエト政府の休戰條件に檢討を加へた

昭和十九年 九月二十日(水)
第三一八五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

獨、盡きぬ戰力に必勝の氣魄

(ベルリン十六日發)今やドイツの敵は西はジーグフリード線、東はボーランドの兩面からドイツ本土に進擊の態勢をとり、最近二箇年ドイツ軍がとつてきた戰線短縮戰法は愈々最後の段階に入つたが、ドイツ軍がこの戰法で浮きだした兵力の餘剩を活用し、思ひ切つた逆襲にでるのはこれからだと軍事消息筋の間では今後の作戰に大いに注目してゐる

肅正工作後の獨國防軍

本年度の戰爭經過がドイツにとつて豫想以上に不利な發展を示したことは事實だ、卽ち東部戰線では赤軍がヴイテブスク、モギレフ方面に攻勢をとつて以來、ドイツ軍の後退速度は頓に加はり、二箇月餘に七百粁以上に及んだ、卽ち赤軍の進擊速度は東部戰線第一年のドイツ軍夏季攻勢にも匹敵するほどであつた、またフランスでは上陸當初約一箇月間はドイツ軍も頑強に抵抗したが、アヴランシュを突破されて後は西部要塞線まで一氣に後退するのやむなきに至つた、しかし全面的に後退したのではなく、最近の總統暗殺未遂事件の裁判によつて明らかにされたところによると戰線崩壞の原因は同事件の中心人物となつてゐたドイツ軍司令部關係者の反ナチ的サボタージュにある、卽ち東部戰線では中部軍參謀長の重任にあり、暗殺事件に關聯したフオン・トシスコフ少將が赤軍正面の最も重要なドイツ軍戰車兵團に對し、總統大本營の命令もなく獨斷で後退命令を出したため戰線の維持が困難となつて全面的退却になつた

また西部戰線においても、アヴランシュの突破後期待されてゐたドイツ軍の反擊は全然威力を發揮せず、これが反樞軸軍をして大機動戰を展開せしめる原因となつたが、これもドイツ軍最高當局の豫想してゐた突破地點遮斷作戰が陰謀に加擔せる一部高級將校のサボタージュにより、全然期待に添はなかつたことに起因してゐるといはれる、個々の兵團や個々の將兵が極めて頑強に巧妙な戰鬪を續けてゐることは、サン・マローその他の要塞の奮戰振りや、敵に包圍された場合の巧みな突破作戰からも明らかだし、この點は反樞軸軍も十分に認めてゐる、したがつてドイツ軍の參謀部に巢喰つてゐた一部の不平分子を取除けば戰力は大いに上るわけで、これはトハチエフスキー事件をきつかけに實施された肅正工作後に赤軍の戰力が昂まつたのと同樣である、ドイツとしてこれを戰爭中に遂行しなければならなかつたことは不幸であつたが、現在までにこれらの分子は除かれ、國民軍としての再編成が強行され、國防軍は內容的に面目を一新してゐるから、その效果は間もなく現實に示されるにちがひない、從つてドイツ軍最高司令部目下の意圖は、かうした情勢を利用し、再建した國防軍の全勢力を東西の防衛線に集中して一大反擊を試みんとするにある

國民戰爭を展開

次に東西兩戰線においてその發展をみると、西部戰線の敵はその作戰を頻りにあせつてゐるやうだが、ドイツ本土總攻擊の準備が完成してゐるかどうかは疑問だ、今その配置をみると、海峽寄りの左翼にモントゴメリーの第二十一集團軍(英第二軍、カナダ第一軍)が配置されアーヘン、ルクセンブルグ方面はブラドレーの第九二集團軍(米第一軍、米第三軍)が擔當し、ローヌ谿谷に沿つて北上せるパツチの米第七軍もアイゼンハウアー麾下に入り、米第六集團軍が編成されて、その全勢力は七、八十軍團に達したものと推定される、しかして米英軍今後の作戰としては西部要塞の正面攻擊を行ふか、シユリーフエン作戰の逆を行きオランダから大きく迂回して北ドイツから侵入するか、或ひはドイツの北海沿岸乃至デンマーク寄に大規模な上陸作戰を試み、ドイツ防衛線の背後を衝いて一擧に中樞を狙ふかの三途があるわけだもつとも北方迂回作戰はオランダに運河が多く機甲作戰が不可能なことと、海を背面にして大軍を動かすことの不利より見て、第二、第三兩案の一方乃至は兩者の綜合作戰によるのではないかとみられてゐる、ドイツ本土に決戰を挑むには相當な準備を必要とするが、輸送の關係上これには多少の時間がかかるものと見られる、もつとも第三軍はアーヘン正面で強硬な突破作戰を試みてをり、西部要塞の第一線にとりついた形だが、ドイツ軍當局は十六日の新聞會見において

昭和十九年 九月二十日（水）
第三一八五號
同盟通信 海外電報（第三種郵便物認可）

西部要塞は一九三九年以前の武器の發達に卽應して築城されたものであるが、その後各兵器就中戰車と空軍が極度に發達したため、現在ではその意義を喪失したといつてよい、ドイツ軍の防備線は更にその後方にある

と言明し、必ずしも西部要塞線を死守する意圖のないことを明らかにした、この場合、自然の障碍としてはライン河があり、その他密集した工業都市もスターリングラード同樣、强固な要塞線を形成してゐるので、これにより赤軍同樣の戰法をとり、米英軍に對し一大反擊を試みることも可能だ恐らくゲツベルス博士が斷言したごとくゲリラ戰法を採用し、全國を打つて一丸とした國民戰爭を展開することこそドイツ政府の意圖であらう、他方東部戰線を見るに赤軍はワルソー正面及びハンガリア方面からドイツ本土侵入を企てゐる、就中その主力はハンガリアの方面からウイーンを迂回し、ドイツ中部軍の背後を衝かんとの態勢を示してゐる、卽ちドイツ軍がコーカサス進出に當りスターリングラード方面からの側面攻擊のため苦杯を喫した前例に鑑み、赤軍はユーゴー、ギリシヤ方面への進出に先立ち、ドイツ軍を北に壓迫、側面を安泰にして置かうとの企みだ、東部戰線はヴイスツラ河及びカルパチア山脈を除けば自然の障碍こそ少いが、ドイツ當局は十六歳以上六十五歳までの男子を根こそぎに動員し、夜を日に繼いで本土の奥深く防衞線を築き、國土死守の覺悟を固めてゐるので、ドイツ軍のモスクワ進擊當時と同樣、機械化兵團の威力をもつてしても進擊は次第に困難となるであらう

ドイツ國民の意氣に驚嘆

これに對しドイツ軍はここ一二ケ月中に完了する總動員から得た全兵力をあげて兩戰線にぶち込み、目下必死に生産中の新兵器を全面的に發動して總反擊を試みよう、これには國民及びドイツ軍の士氣が決定的な役割を果すわけだが、「ニユース・ウイーク」などの報道によると反樞軸側でもドイツ國民が豫想に反し、一向に意氣沮喪の兆をみせないのに驚いてゐるやうで、「タイム」誌九月初旬號の如き「英國民は戰爭五年を經てドイツ國民以上に戰爭に疲れてゐる」と自認してゐるほどである、また「ベルリーナー・ターゲブラット」紙等も「ドイツの最後の切札はまだ出てゐない」と觀測「タイム・アンド・タイド」等も英國の樂觀論の尙早を戒めてゐる

最後の五分間におけるドイツ軍當局の祕策を知らずして、輕々に戰局を判斷することは間違ひだ

英國が既に終了したと發表したV一號攻擊も十六日拂曉からまたまた開始され、一方最近一週間來ドイツ新銳戰鬪機が大量に出動して、米英空軍に甚大なる損害を與へ始めてゐること等にもドイツの盡きぬ戰力はみられるのである

【東南歐】

勃牙利休戰代表歸國

（リスボン十六日發）ソフイヤ來電によればブルガリア代表は休戰に關するソヴエト政府との打合はせを終了、ソヴエト專門委員七名と共に十六日ソフイアに歸還したと傳へられる

バグリアノフ將軍等を逮捕

（ベルリン十六日發）サロニカ來電によればゲオルギエフを首班とするブルガリア內閣は元首相バグリアノフ將軍、元外相ドラカノフ氏等を逮捕、抵抗した兵、閣僚等は銃殺されたと傳へられる

洪牙利議會召集

（ブダペスト十六日發）ハンガリア上院は來る二十一日午後六時、下院は五時にそれぞれ召集されることとなつた、ラカトス首相は新閣僚と共に議會に臨み現下の情勢に關し報告する筈である

駐羅獨公使殺害さる

（ベルリン十五日發）ドイツ外務省當局は十五日次の通り言明した

フオン・ケリンガー公使は、ルーマニア軍が公使館を襲擊し、公使並びに公使館員を逮捕、ソヴエト政府に引渡さうとした折殺害された

獨公使館との連絡絕ゆ

（ベルリン十六日發）ドイツ外務省は十五日次の通り發表した

ベケレー公使を首班とするソフイア駐劄ドイツ公使館員はトルコに引揚げようとしたがトルコ政府が入國を拒否したため再びソフイアに歸つたと傳へられる、爾後ドイツ政府との連絡は全く斷たれてゐる

昭和十九年　九月二十日(水)
第三一八五號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

【米　國】

大西洋岸颱風の被害　(リスボン十七日發)ニューヨーク來電＝米國の大西洋岸を一週間に亘り吹き荒した颱風により沿岸十一州が甚大な損害を蒙り、死者三十九名を出し港灣施設も多數破壞、損害は約五千萬ドルに上つた、更に海軍省の發表によれば颱風圈内の水域で驅逐艦「ウオリングトン」(一八五〇トン)が沈沒、乘組員二百三十名が死亡したほか沿岸警備隊の哨戒艇「ジヤクソン」並びに「ペツドロウ」(それぞれ二二〇トン)も沈沒したといはれる

軍の配備狀況　(リスボン十五日發)ワシントンからのA・P電報は陸軍省從來の公報に基き、米軍現在の配備狀況につき次の通り報道してゐる

第一、三、七、九軍　フランス
第五軍　イタリア
第六軍　西南太平洋
第二軍　テネシー州メンフイス
第四軍　テキサス州サン・アントニオ

航空隊の損害　(リスボン十五日發)ワシントン來電＝陸軍航空隊副司令バーネイ・ジヤイルスは六月六日反樞軸軍が北佛に上陸して以來九月十一日までに陸軍航空隊が受けた損害は飛行機喪失二千八百七十機、兵員損害(戰死及び行方不明)一萬二百八十四名に達したと十五日發表した、更にジヤイルスはこの間陸軍航空隊の活動は地上部隊掩護のための戰術出擊十八萬七千餘回、戰略爆擊八萬六千餘回に達したと發表した

軍の損害　(リスボン十四日發)ワシントン來電＝陸軍長官スチムソンは開戰以來の陸軍、海軍、海兵隊、並びに沿岸警備隊の損害が三十八萬九千百二十五人に達した旨十四日發表した、內譯次の通り

△陸軍(八月二十九日現在)
合計　三二七、六一六名
內譯　戰死六二、三五七名、戰傷一七二、〇四二名、行方不明四五、〇三六名、俘虜四八、一八一名

△海軍、海兵隊、沿岸警備隊(九月十四日現在)
合計　六一、五〇九名
內譯　戰死二四、四五〇名、戰傷二三、〇六四名、行方不明九、五二九名、俘虜四、四六六名

【米　洲】

ブラジル國內に事件勃發か　(マドリード十七日發)ワシントンとリオデジヤネイロ間の電信連絡が十七日突如杜絶したと傳へられるが「インフオルマシオーネス」紙のブエノスアイレス特電は次のやうに報道してゐる

ブラジル政府は一切の新聞報道を許可しないので、ブラジル國內の情勢は判明しないが、電話電信は過去四十八時間杜絶し、更にある軍事行動が起り、政府は將官及び要人數名を逮捕したといはれる、同時に軍隊は兵營內に閉ぢ込められ、ブラジル國際日に擧行される豫定の閱兵式も中止されるに至つた、右報道に關聯しワシントン駐劄ブラジル大使館參事官フエルナンド・ロボは「十六日リオデジヤネイロと數回に亘り電信電話で連絡をとつてゐるがリオデジヤネイロは平穩だと確信する」旨言明した

米國大使急遽歸國　(リスボン十七日發)ワシントン來電＝米國國務省は十七日ブラジル駐劄大使ジエファーソン・カフアリーが報告のため十七日朝海軍機でリオデジヤネイロを出發した旨發表した

【亡命政權】

西歐三國通貨協定　(ストツクホルム十六日發)英紙サンデー・タイムズの報道によれば、ベルギー、オランダ、ルクセンブルグ三亡命政權は今回三國通貨協定を締結することとなつたといはれる、この協定は爲替決濟規定をその主體とし三國を結合した一つの經濟圈を樹立せんとするにあるといはれるが、英國及びド・ゴール政權も右協定に參加する模樣と傳へられる

昭和十九年 九月二十日(水)
第三一八五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

波蘭起軍漸く連絡

(ストツクホルム十七日發) U・P前線報道によればポル麾下のワルソー蜂起軍は十六日同市郊外に接近したロコソフスキー第一白露戰線軍と漸く連絡を果したと傳へられる、八日以來四十七日間にわたる凄慘な市街戰に同蜂起軍はドイツ軍のため殆んど潰滅に瀕したが、その後增援部隊を得てワルソー西北方の據點で辛うじて抗戰を續けてゐた、赤軍は空軍によつてワルソー市内の蜂起軍に食糧彈藥を投下する一方、ヴイスツラ河西岸のドイツ軍陣地を砲爆撃して蜂起軍への壓迫を緩和せんとしてゐるが、これに應酬してドイツ軍も同市西北郊及びプラガに猛砲撃を加へてゐるといはれる

ド・ゴール政權要人を逮捕

(リスボン十七日發)パリ來電=ド・ゴール政權は十七日更に元法相ジョセフ・バートレミーを逮捕、近く起訴するが、元治安維持局長ジョセフ・ダルランに對しても逮捕令を出した、一方數箇月以前アルジエーにおいて捕縛した元内相マーセル・ペイルートン及び元首相ピエール・フランダンも近くパリに護送、特別法廷に付される豫定と傳へられる

ド・ゴール政權新聞界を彈壓

(マドリード十六日發)ド・ゴール政權は愈々國内新聞界の手入れを開始、先づアヴアス通信社をフランス新聞通信社(アジヤンス・フランセーズ・ド・ラ・プレス)と改稱、他の各紙は同じ名稱を續けるが、いはゆる獨、佛兩國間の「協力派」は一齊に罷免された

アイスランド内閣總辭職

(ストツクホルム十七日發)フイキヤヴイク來電=ビオエルン・トルダルセンを首班とするアイスランド内閣は十六日總辭職した

ソ聯大使バリへ移駐

(ストツクホルム十六日發)モスクワ來電によればアルジエー駐劄ソヴエト大使アレクサンダー・ボゴモロフ氏は近くパリに移るに決定したといはれる、大使館員の大半は大使と共にフランスへ渡るが、アルジエーの大使館は依然存置されるはずである

【ソ聯】

チモシエンコ元帥健在

(モスクワ十六日坂田特派員發)ソヴエト聯邦最高會議幹部會はチモシエンコ元帥にスヴオロフ一級勳章を授與した旨十三日發表した、チモシエンコ元帥は昨年クバン橋頭堡に對する攻勢作戰でスターリン大本營代表としてコーカサス戰線軍司令官ペトロフ大將と協力して以來長らく消息を斷つてゐたが、今回の發表によればチモシエンコ元帥はスターリン大本營代表として八月二十四日から九月三日までヤツスイ、キシネフ地區における第二、第三ウクライナ兩戰線軍の作戰調整の任に當つてゐたといはれる

大學も閉鎖か

(ストツクホルム十七日發)モスクワ來電によればソヴエト政府は今回人的資源を擧げて工場、鐵道その他に振向けるため國内の大學、高等學校並びに科學研究機關を全面的に閉鎖したと傳へられる

【英國】

ロンドンの復興につき協議

(ストツクホルム十六日發)ロンドン來電=復興省當局は十五日次の通り言明した
復興相ウールトン卿は十五日フオータル卿並びにウイリンク卿と共にロンドン再建工作に關し協議する、倒壞家屋九十萬棟を修繕するだけでも十萬人の勞働者を雇ふ豫定である

マルタ島總督更迭

(リスボン十六日發)ロンドン來電=マルタ島總督陸軍元帥ジョン・ゴートは今回ハロルド・マイケルの後任としてパレスチナ高等辨務官及び最高司令並びにトランスヨルダン高等辨務官に任命され、マルタ島總督には陸軍中將エドモンド・シエライバーが就任した

【印度】

總督、王侯會議代表を引見

(リスボン十六日發)ニユーデリー來電=インド總督ウエーヴエルは十五日インド王侯會議の代表を引見した

昭和十九年 九月二十日(水)
第三一八五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

リスボンだより

英國人の心境を探る

佐藤本田特派員 九月十七日發

現在の英國人の心境は可成り複雜なのではないかと思ふ、バルカン地方にたいするソヴエト政府の自主的進出、印度政策にたいする米國政界の辛辣な批判等、一、二の事實を取上げても臥薪嘗膽五年有餘の戰爭で何事も解決しなかつたことを、今更のやうに英國人は悟つてゐるのではなからうか、フランス本國を奪回して流星彈の攻撃が緩和したといつても、ドイツ軍との決戰は依然殘されてをり、更に懸軍萬里東亞反攻の師に少くとも一役は買はねばならない、しかも國民は戰ひに倦み疲れてゐるところに英國政府にとつてはダンケルク以後の情勢よりも一層扱ひ難い事態が持ち上つてゐるのではあるまいか

水飢饉

先づ具體的な市民生活の實情を檢討すれば水飢饉だ、八月十九日の「ニューズ・クロニクル」紙はつぎの通り報道してゐる

英國はこの夏曾つてなかつた位ひどい水飢饉に見舞はれた、ミドランド、イースト・アングリア並びにイングランド南部で手押車やバケツで水を運んでゐる話は最早ニュースではない、今まで水の絶えたこともない、何世紀を經た古い泉は涸れて了ひ、流れは絶え、テームズ河を初め各河川は記錄破りの低い水位を示してゐる、牛乳を冷やす水もないし、悪くなつて了ふといふので、各地方で牛乳の生産が打撃を受けてゐる、農場では牛に飲ませる水に困つてゐる、水のない都市聚落では住民の衞生狀態が危い、原因は去年の秋から今年の夏まで降雨量が前例のない位少かつたことだ、早くも十月までは、事態は悪くなるといつてもよくなる見込みはない、先週の月曜日に中央水道局ではつぎの聲明を發表した

水道局では毎日五千萬ガロン以上手持ち貯水から水を引き出してゐる、戰爭で新しい貯水池三ケ所の建設を中止しなければ貯水量は現在よりも六割多かつたのだが、すべて水を使用する向きが嚴重に節水し、且つ水の使用に關する制限が嚴守されねば、夏の間における水の供給に困難を來たさう

燃料不足

つぎに燃料だ、少し古いが七月八日の「タイムズ」紙によれば、燃料相ロイド・ジョージ少佐はウエルズ地方のランデヴイでつぎの通り述べてゐる

去年英國の石炭産出高は一億九千五百萬トンであつた、ところが國内消費と輸出で一億九千八百萬トンを必要としたから、極度に制限されてゐる貯藏量から三百萬トン引き出さねばならなかつたウエルズ地方は率先して石炭使用の能率を增進して呉れた

ウエルズ北部では各地の工場を總計一千六十七回査察し、その結果七月までに十三萬四千八トンの石炭が節約された、第一に各工場における技術改善で石炭の節約が出來、第二に偶然の無駄を省くため燃料見張りの勇士制度を實施したのが效果を收めたわけだ、家庭の消費も石炭節約に大きな役割を演じ、過去一ケ年間に家庭消費用の配給は前年に比べ三百萬トン少くなつてゐる、しかし固型燃料については素晴らしい效果があがつてゐるのに、家庭におけるガス、電氣の使用量もあがつてゐるのは寒心に堪えない、西部戰線における戰局の進展とともに、この弊害を矯めることがますます必要とならう

食糧難

最後に食糧だ、同じく八月十七日附の「タイムズ」紙によればハドソン農相はベルフアストにおけるアルスター農民組合でつぎの通り述べてゐる

過去五ケ年間に英國が自國の土から生産する食糧は値段にして七〇%增加した、他の角度即ち船腹の節約量からみれば增産の數字は一二〇%に達してゐる、一九三九年には英國内の可耕地は一千三百萬エーカーに僅かに足りぬ位で他に牧草地が約一千九百萬エーカーであつた

昭和十九年 九月二十日(水)
第三一八五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

しかるに一九四四年までに可耕地は一千九百二十萬エーカーに達し、牧草地は一千二百萬エーカー以下に減少した、同時に現實の耕作面積は約六百萬エーカーだけ增加した、牛乳の生産は出來るだけ維持して行かねばならない、そこで一番打撃を受けたのは他の種類の家畜、特に養豚養鷄業だその結果小農諸君が可成り困つたことを承知してゐる、諸君の場合では特に豚の減少だ、しかしこれは總力戰に必然的に由來する避け難い苦難の一つではないかと思ふ、反對に牛乳については優先第一位の待遇を與へた、イングランドおよびウエルズ兩地方で牛乳の賣り上げ乃至消費量は、一九三九年三月までの一ケ年間には七億六千三百萬ガロンであつたのが、一九四四年三月をもつて終る一ケ年間に十億四千萬ガロンに增加した、ところが歐洲戰爭が片付けば、過去數ケ年間大いに努力したのを緩めてもいいだらうとの考へが一般に行き渡つてゐるが、食糧生産に關する限り、努力を緩めることは絶對に出來ない、今後何年間も苟くも國內で出來る食糧は全部國內で生産しなければならない、殊に戰爭前のやうに大規模に外國から食糧を輸入することは、少くとも何年かの間經濟的に見ても出來ないことを記憶せねばならない、イングランド、ウエルズ兩地方で、一九四七年の夏までを目指して去年農業四ケ年計畫を立案したのはそのためだ、四年の間耕作地を維持し、出來れば增加し、且つ牛乳の生産を維持し、出來れば增加し、更に牧畜業を再建し、改善しなければならない

生活費指數

現在既に三十億磅の外貨を背負込んだ英國としては、將來においても食糧を輸入に仰ぐことが出來ないといふところに、無名の師を起こした應報を感ずるであらう、そこで八月十九日附の「タイムズ」紙によつて英國人の生活費指數を見よう

一ケ月前には一九一四年七月の水準に比べて、英國の生活費指數は一〇一ポイント上であつたが八月一日現在では一〇二ポイント上となつてゐる食糧だけについていへば、七月一日現在は一九一四年七月の水準に比べて六九ポイント高であつたが、八月一日現在では七〇ポイント高だ、換言すれば、一九三一年九月の水準に比べれば約三〇%餘の增加である、生活費指數が上つたのは主として八月一日實施された石炭の小賣値段增加に基くが、

結婚統計

もう一つ英國の社會層を反映する數字として八月十五日附の「タイムズ」紙に基き出生と結婚の統計を揭げよう

一九四四年三月三十一日までの四半期間に、登錄總局に屆出た出生數は十八萬四千百十四人だ、一千人について一七・九の割合で、一九二六年以來四半期の數字としては最高だ、一九四三年の第一四半期には出生の割合は一六・九で、今回の出生數は前年同期に比べて一萬一千八百七十四人の增加である、男兒の出生數は九萬四千九百六十四人で、女兒千人について一千六十五人の割合だ、過去十ケ年間每年の第一四半期の平均は、從來一千六十人であつた、死亡を差し引けば純出生數は三萬七千九百四十一人である、死亡率は前年同期の一三・五に對し一四・二で一九三八年から一九四二年までの平均は一六・二だ、結婚數は六萬二千五百九十九件で、開戰以來四半期間としては前年同期に次で第二の最低數字である、前年同期は開戰以來の最低數字であつたが、この數字に比べても僅かに二百六十二件多いだけに過ぎない、結婚數は一九四三年をもつて終る五ケ年間の第一四半期の平均數字に比べて、一萬二千九百七十二件だけ少いが、開戰直前五ケ年間の第一四半期の平均に比べれば八千三百三十八件だけ多い

開戰記念日を迎へる日の心境

以上のやうな情勢のもとに英國は九月三日五回目の開戰記念日を迎へたのだが、ロイター電報は當日の狀況について次の通り報道してゐる

記念日を迎へて英國民は半ば戰爭に勝つた氣持ちだ、ロンドン各紙の見出しを拾つてみれば「反樞軸軍ベルギー領內に侵入」とか「ドイツ本國まで僅か三十哩」とか「ドイツ本國の戰ひ始まる」とか「ドイツ本土侵入迫る」とか、「ニューヨーク電報によれば、最初の戰車隊ドイツ國境線を過る」とかいふ文句ばかりだ

すべてこれらの大袈裟な報道は當局の確認を待たねばならず、時には大分先走つてゐるかも知れないが、結局ジーグフリード線でドイツ軍が遷延作戰をとるのが關の山だといふのが一般の信念だ同時に街の人々にとつて一番身近に戰爭を感じさせるドイツ軍の流星彈も、金曜日の午後からイングランド南部を惱まさなくなつたし、ドイツ軍は二ケ月半にわたつて英國民を攻擊し續けたフランス北部の基地から撤收したとみられてゐる、また街の人々は今日の新聞で、ドイツ軍の新兵器「往復飛行機」(ピツクアバツク)が既に英本國に對して試みられたが、先輩の流星彈程の損害を與へなかつたことを知つた、古い飛行機に爆彈を積んで戰鬪機により曳航する仕掛だが、一般にはこれがV二號だとみられてゐる、しかし本當のV二號はロケツト爆彈で、ドイツ本國から發射出來るといふ說も依然有力だから、ロンドン子は今後更に多數の死傷と損害を出さねばなるまいとの覺悟もちやんと出來てゐる、歐洲の戰局についてはこんな風で勝つた氣持だが、まだ同樣な大仕事が東亞戰線で待ち構へてゐるのだから、勝利の氣構へもかなり控へ目だ、カンタベリー大僧正も記念日の放送演說で、特に英國民は日本軍に對する戰ひについて公約を果たさねばならぬことを强調してゐる、新聞も英國の各工場が—兵器の內容には觸れてゐないが—日本軍との戰爭のための特殊兵器の製作に切り替へてゐると報道してゐる、もう一つ今日の新聞で目星しい記事は英軍爆擊隊司令サー・アーサー・ハリスが近く東亞戰線に到着するといふ記事だ、しかし不思議なことに戰ひに疲れた一般市民の間ではこの記事も當り前のやうにみられてゐる、記念日を迎へての英國人の心境は大體次のやうに要約出來よう

一、歐洲戰爭はおよそ片付きかけてゐるが、五年に亘る總力戰で嘗つて經驗したことのないやうな苦難を、今後もドイツ軍から受けることを覺悟してゐる

一、日本軍に對する戰ひについては、從來の公約に基き米軍と協力し全力をあげねばならない妻や家族と別れて長年戰爭を續けてきた將兵の間には、今後更に遠征の師を續けることに多少不滿と不安とがあるかも知れないが、日常の會話では英國人が東亞反攻作戰で歐洲戰爭に比例するやうな犧牲を出し惜しみする傾向は見出せない

御用通信社が米國の空氣や重慶の反響を考慮して打つた電信同報だといふことを頭に入れてこの記事を讀めば、五ケ年間の戰ひに疲れた英國人の氣持ちがかなりよく汲みとれるのではなからうか、しかも彼らの皮算用に反して「タイムズ」紙の軍事記者が指摘してゐるとほり、西部戰線の戰ひは補給の部面においてさへも仲々容易な仕事ではないのだから、勝利の氣構へは全く砂上の樓閣に過ぎない

復員問題

モリソン內相など「ドイツ軍に對する戰ひと、日本軍に對する戰には基本的な區別がない」と頻りに强がつてゐるが、最近英國內で前線將兵の除隊復員がやかましい問題となつてゐることは、最も雄辯に民心の動向を示唆してゐるといへよう

復員に關しては「デーリー・エキスプレス」紙は最近の紙上で次の通り述べてゐる

當局では軍務から一般生活への切り替へについて、大規模な復員の豫行演習に着手した、すでに十五萬人が、主として健康上の理由で除隊となつてゐるが大半は戰前の仕事に立ちかへつた殘りの人々のためには養成所が出來てゐて、煉瓦積みとか機械仕事とか一般事務その他を教へてくれる、今までのところ萬事順調に運んでゐるので、當局では全般的復員も同樣圓滑に運ぶだらうと言明してゐる

空軍要員を陸軍へ振り替へ

更に不思議なことは東亞反攻作戰に一役買ふと頻りに宣傳してゐる英國政府が、空軍の人員を陸軍その他に振り向けたことだ、七月二十七日附の「フライト」誌は次の通り報道してゐる

昭和十九年九月二十日(水)
第三一八五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

英國政府は、空軍の乘組員任務を引受け現在訓練編入を待つてゐる壯丁の一部を陸軍および戰爭の遂行に關聯するその他の任務に振り向けるため勞働省に引き渡すに決定した、英空軍の死傷が豫想よりも少いので、可能乘組員數は目前の必要を凌駕するに至つたので、空軍最高會議では數ケ月前、乘組任務の人員受入れを減少した、現在の戰局においては英國の人的資源の一番優秀な部分を漸次多く陸軍に振り向ける必要を認めた、西部戰線における作戰の進展と共に陸軍兵力の負擔は益々增大するであらう、以上の理由に基き、且つ陸軍の任務遂行を支援するため、政府は空軍乘組員で現在全面服務を待つてゐる壯丁の一部を他の諸任務に振り向けるに決定した、壯丁の內何人が引續き空軍の訓練を受けるかどうかを決定するためには、特別委員會で個別的に檢査面談し、遲くも爾後十四日以內に引續き空軍に留まるか或ひは他の任務に服するか通告を受けよう、英空軍としては空軍志願者を失ふことは最も好まないところだが、最高の戰略上の要求の前には他の一切の考慮を棄てねばならぬことはいふまでもない、關係の壯丁諸君が以上の精神に基いて今回の新たな事態を受け容れることを要望する、更に相當數の空軍地上勤務員も今後數ケ月內に陸軍に振り向けられようが、主として最近空軍の訓練を承諾した壯丁から選ばれよう、但し空軍の擴張計畫は進捗し、人員は減少し標準は高くなるだらうが、空軍乘組員の受入れは今後も引續き行はれる

「エコノミスト」誌の七月二十九日號によれば空軍だけでなく海軍からも要員の切り替へが行はれたやうだが、色々もつともらしい理窟を並べても結局人的資源の不足が最大の原因らしい、「エコノミスト」誌の主張を次に揭げよう

戰局の現段階においては、陸軍が人的資源の割當てについて最高の優先權を受けるのだが、當然のことだが大分前から當局は必須產業並びに勞務の勞働力を損なはずに、どうしたら陸軍の兵力を增強できるかについて苦心してゐる、空軍並びに海軍から陸軍に人員を振り向けることを閣議で決定したのは、ドイツ空軍並びに潛水艦による死傷が低率な證左だ、疎開や休暇で軍事輸送に困難を來たしてゐる地域では、空軍の人員が鐵道の任務に從事し、空軍、海軍並びに陸戰隊員はイングランド南部で流星彈攻擊のため壞れた住宅の修理を手傳つてゐる、人的資源の計畫は相當量にできてをり陸海空三軍並びに軍需工業に對する割當ても極つてゐるのだが、高度に彈力性あり時々の必要に應じて迅速に適應出來る仕組みだ

護國民軍の一部解體

人的資源の不足を補ふためもう一つ英國で問題になつてゐるのは、護國民軍(ホーム・カード)の一部解體だ、「デーリー・メール」紙は八月十七日附の紙上で次の通り報道してゐる

護國民軍が部分的に解散するといふ報道があるが解散しても別段危險のない時期が確かに到來した、そもそも護國民軍はドイツ軍の上陸作戰に備へるために組織されたが、高射砲隊に勤務してゐる以外、二百萬の隊員が何年間も專ら待機してゐたことは周知の事實だ、護國民軍が實際の戰鬪に當る最後の機會が一度あつたが、それは反樞軸軍の歐洲侵攻作戰に對して、ドイツ軍が決死隊によつて英本國に逆上陸を企圖し、反樞軸軍の補給線を攪亂し、計畫を阻害しやうとする場合だが、この機會も最早起らぬやうだ、その結果護國民軍の多數は民防護團の任務に當り、當初の企圖とは全く違ひ爆擊を受けた資產の保護とか、その他有意義だが、種々雜多の仕事に服するに至つた、護國民軍の任務がなければ、重要な仕事に手が一ぱいの人々が何千人も貴重な時間を全く無駄とは知りながら、處罰を受けるので、護國民軍の任務に服さねばならない、最近では護國民軍の仕事も大分少くなつたが、これ等の人々は依然として待機しいつでも集合出來るよう用意してゐねばならない戰局の推移に伴ひ民防護團の各任務相互間の重要さは必然的に變化するに至つた、ロンドン並びにイングランド南部では民防護團が、依然嚴戒を必要とするが、英國の他の部分では空襲の危險は少くなり、專任の防護班長その他は鑛業、運輸業、看護隊、軍需工場等の戰時任務に振り向けられるに至つた、この過程を續け、且つ押し擴げて行くのが國のためだと思ふ

ATS（女子陸軍補助隊）は、陸軍の仕事が愈最高潮に近付いてゐるので、依然として女子を募集してゐるが、WAAF（女子空軍補助隊）やWRNS（女子海軍補助隊）が尨大な組織を維持する必要があるだらうか、勿論現在では戰爭から平和への切替へを考へるのは、遼遠な希望以上の儚ない夢だが、緊急に必要な物資の民需生産を小規模に開始することを提唱しても差支へないのでばなからうか、何れにせよ民需に應ずることが現在のやうに出來ない際に、何れの部面たるを問はず、政府乃至軍が不必要な過剰人員を擁することは許されない

燈火管制の緩和

結局護國民軍は九月十一日から志願制に變つた

英國内至るところで燈火管制を實質的に緩和しかつ英國の大部分で消防並びに民防空の任務を緩和することが今後十日以内に實施されよう、内閣における協議の結果モリソン内相が以上の趣旨を發表した、陸軍省でも來週の月曜日から民防護團に對する協力その他護國民軍の强制演習並びに訓練を取止める旨發表した、從がつて護國民軍に必要な軍事上の任務は、自發的基礎に立つて實施されよう、また事情の許す限り全國を通じて燈火管制を徹廢し、消防の任務をも中止する豫定である、來週の火曜日からは全國何處でも消防勤務は必要がなくなり、差し當りロンドンとイングランド南部と東部の一部を除き、夜間の消防任務も停止されよう、專任の民防護團も英本國の大半で近くやめになり、全部時間勤務とならう、時間勤務からも多數の市民が解放されようが、全國消防隊乃至警察補助隊については差し當り非常勤務がつづき、民防護團に對する任務の緩和は適用されない、夜間消防勤務を中止する地域でも地方自治體の消防組織は依然存續される、消防並びは民防護團の任務緩和は差し當りロンドン並びにイングランド東部、南部に全的には適用されないが、出來る限り早くこれらの地域にも適用される見込みである

燈火管制（Black out）は九月十七日、英國の二重夏季時間が普通の夏季時間に變るのと一緒に全國的に緩和されて、燈火遮蔽制度（Dim out）に移る豫定だ、ロイター電報によれば九月六日の夜ロンドンの中心ピカデリー・サーカスで新制度の試驗をやつたところ、滿五年振りの光明に道行く人々も、繰るやうに通るバスの乘客も、みんな目をみはつたといふ、今まではカーテンだけでは足らずに、黑い布で少しでも燈火が漏れると、初犯一磅の罰金をとられる例であつたが、今度はカーテンだけで直接燈火が漏れなければいいし、街頭も今までの螢の光りのやうな薄明りとは違つて大分明るくなり、造船所や停車場などの燈火も改善されるらしい、「デーリー・メール」紙の報道によれば今までは天氣に關する報道は利敵行爲として嚴禁されてゐたが、各紙とも英國内各地よりの簡單な天氣報道は一日か二日遲れて揭載出來るやうになる見込みだと傳へられる

九月八日流星彈對策委員次長ダンカン・サンデース――下院議員でチヤーチル首相女婿――が流星彈による被害の總決算を發表してゐる位だから先づドイツ軍報復の第一章は終つたと高を括つてゐるのだらう、しかし「ニューズ・クロニクル」紙や「デーリー・スケッチ」紙などは特に社說を揭げ、近代戰には意想外の事件が付きものだし、ドイツ軍が如何なる新兵器を繰り出すかも知れぬから、疎開人口が急にロンドンに歸るのは危險だと頻りに警告してゐる、もつとも全壞乃至修理出來ぬ位大破した家屋二萬三千戶、依然修理を要する家屋八十七萬戶といふのだから、住宅も足りず交通機關も十分動かず、疎開人口の流入はロンドン都廳としては迷惑千萬なのであらう、ロンドンの株式市場が歐洲の戰局とは別に軟調を呈してゐるのは、英國民現在の心境を如實に反映してゐるのではなからうか？

大正十五年十月廿八日第三種郵便物認可　昭和十九年九月廿一日(木)　第三一八六號

同盟通信

海外電報　918

編輯發行人　淺野伊八　東京都澁谷區神山町一番地　社團法人　同盟通信社

世界の焦点

複雑怪奇といふ言葉を濫用するのは一寸差障りがあるが、ポーランドの事態ほど複雑怪奇なものはない、國交斷絶關係にある亡命ポーランド政權首相ミコライチクがのこのこクレムリンを訪問したのからして奇怪といふほかはないが、ポーランドにはロンドンのミコライチク政權のほかにルブリンにポーランド國民解放委員會といふ政權があつて、いづれも臨時政府としての存在を主張して讓らない更に奇怪なのは二つのポーランド軍が並立し一はロンドン政權側の反ソ派の驍將カジミエルツ・ソスンコウスキーが率ゐ、他は覆面將軍ローリヤ＝ジミエルスキーが統帥、兩軍共ドイツ軍との戰ひはそつちのけで同志討に寧日なしといふ有樣だ

ソ聯の息のかかつたジグムンド・ベルリング少將麾下のタデウシヤ・コスチユーシコ師團がワルシヤワ地區で攻撃すれば、遨へ討つのはドイツ軍ならずしてソスンコウスキー軍だといはれるが、ボール麾下のワルシヤワ蜂起軍にソ聯が援助の手を差し延べたがらぬのもそのためだ、ミコライチク、モラウスキー兩政權の懸爭點は一九二二年の民主々義憲法を復活するか一九三五年のピウスズキー憲法を認めるかにあるやうだが、クレムリンの狙ひは一片の憲法問題にあるのではなく、ポーランドをフインランドやルーマニア、ブルガリアと同樣に扱ふことだ

ミコライチクはイーデンやハルに泣きついてポーランドの片隅に獨立國家の畸型兒をでつち上げようといふのだが、ポーランドの運命はすでにテヘラン會議の俎上で料理濟みであり、英國がロンドンにミコライチク政權の存在を許してゐるのも鰐の涙に類しよう

【目　次】

ソ芬兩國間の休戰協定成立……二一五七
休戰協定の要旨……〃
芬國會休戰條件を可決……〃
ソヴエト特使イラン國王と會見……〃
赤軍橋頭堡を芟除……〃
赤軍新型戰車出現……〃
ユトレヒトにまた空挺隊……二一五八
獨プレストから撤收……〃
大陸作戰機構大改組か……〃
米大統領動員解除指令……〃
デユウイ命拾ひ……〃
【米　國】
眞珠灣事件を議會も調査……二一五九
國債三千億弗に達せん……〃
作戰中の兵力四百萬……〃
七月現在の官吏員數……〃
駐コスタリカ大使死亡……〃
大型驅逐艦進水……〃
重巡洋艦進水……〃
【反樞軸陣營】
ル・チ極祕裡に會談續行か……二一六〇
アイゼンハウアー軍政方針を放送……〃
ニミツツ重大放送……〃
アンラ第二回總會……〃
伊處分案で米英また對立か……〃
南佛作戰の敵軍勢力……〃
早くも公使を派遣……〃
【北　歐】
ソ芬休戰協定締結か……二一六一
芬國民の生命財産を保障……〃
カストレン氏後繼首相か……〃
瑞選擧で共產黨進出……〃
【東南歐】
勃、前首相等を逮捕……〃
前羅首相等赤軍に引渡さる……〃
ミハイロヴイツチ子息を逮捕……〃
【ソ　聯】
ダ海峽の開放を要求か……二一六二
【亡命政權】
羅國王パリ移住を要請……〃
ローマ市民公判廷に殺到……〃
【英　國】
ケベツク會談の經過を報告……〃
エチオピアと新協定……〃
【スイス】
羅國内の利益代表……〃
【軍事情報】
ソ聯軍陣醫學、死者蘇生に成功……〃
【特　輯】
獨軍の對英報復第一次攻勢終る……二一六三―二一六七
英國海軍の科學陣……二一六七

昭和十九年九月廿一日(木)
第三一八六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ソ芬兩國間の休戰協定成立

(モスクワ十九日發)ソヴエト情報局は十九日夜次の通り發表した

九月十四日から十九日まで、モスクワにおいて一方にはすべての反樞軸各國を代表してソヴエト聯邦並びに英國代表、他方にはフインランド政府代表との間にソ芬兩國間の休戰協定締結につき交渉が行はれた、ソヴエト政府を代表して交渉に參加したのはモロトフ外務人民委員、ウオロシロフ元帥、ジユダノフ軍大將、デカノーゾフ、リトヴイーノフ兩外務人民次長、英國代表は大使クラーク・カー、公使バルフオア、フインランド代表はエンケル外相、ウオルデン、ヘンリツク並びにエンケル各將軍である、その結果ソ芬兩國間の休戰に關する協定が締結された、協定內容は後刻發表されよう

右休戰協定にはジユダノフ軍大將が反樞軸各國を代表し、エンケル外相、ウオルデン、ヘンリツクエンケル三將軍がフインランド政府を代表して調印した

休戰協定の要旨

(ストツクホルム十九日發)ヘルシンキ來電=フインランド首相代理フオン・ボルン氏は十九日午後十時放送演說で、ソ芬兩國間の休戰條件につき次の通り發表した

一、フインランド軍は即時一九四〇年の國境線まで撤收する

一、ソヴエト政府はポルカラ半島その他相當廣汎な地域並びに海域を五十年間租借する

一、フインランド政府はペツアモを割讓する

一、フインランド南部並びに西南部の空軍基地及びフインランド商船隊を赤軍その他反樞軸軍に提供する

一、フインランド軍は平時編制に改む

一、フインランド國內におけるドイツ軍の武裝を解除す

一、フインランド政府は六ケ年にわたり三億弗の賠償金をソヴエト聯邦に支拂ふ

芬國會休戰條件を可決

(ストツクホルム十九日發)ヘルシンキ來電によればフインランド國會は十九日午前の祕密會においてソ芬兩國間の休戰協定案を可決したと傳へられる

ソヴエト特使イラン國王と會見

(リスボン十九日發)テヘラン來電=モハメド・サイドを首班とするイラン內閣は十九日國會において七十八票對十六票、棄權十六票で國會の信任を受けた、一方ソヴエト外務人民次長カフタラーゼ氏はモキモフ大使と同道イラン國王と會見した

赤軍橋頭堡を芟除

(ベルリン十九日發)ドイツ軍當局十九日言明=ドイツ三個軍團はヴイスツラ西岸のザンドミエルツ橋頭堡によるコーネフ麾下第一ウクライナ戰線軍を猛攻、四日間に亘る激戰を經て同橋頭堡を完全に芟除し、更に赤軍增援二個師團の主力を擊破、捕虜千以上、重砲百六十一門、火焰放射器九十一、各種小銃二百八十挺を鹵獲した

赤軍新型戰車出現

(ベルリン十九日發)D・N・B軍事記者エルンスト・フオン・ハンメル大佐報道=

赤軍は十八日ヴイスツラ、ブグ河間の三角地帶でドイツ軍陣地の突破を企圖、戰車集團を先頭として猛攻を加へ來つたが、ドイツ軍は反擊に出て擊退した、以上の作戰において赤軍は初めて最新型の「スターリン」重戰車を戰場に投じたが、ドイツ對戰車砲隊はドイツ軍陣地に突入したスターリン戰車群を邀擊して斷乎進出を阻止した

昭和十九年 九月廿一日(木)
第三一八六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ユトレヒトに又空挺隊

(ベルリン十九日發)前線報道によれば反樞軸軍はユトレヒト、ゲルダーランド地方に新たに空挺隊を着陸させ目下戰闘はライン河北方で展開されてゐるといはれる

獨、ブレストから撤收

(ベルリン十九日發)總統大本營は十九日次の通り發表した

空軍並びに砲兵隊掩護の下に反樞軸軍は十八日もまた、ブーロニュ、ブレストに攻撃を加へた激戰の後敵はブーロニュに突入したが再び數ケ所の砲臺陣地から撃退された、ブレストの市街と港はすでに瓦礫の堆積と化し、ドイツ軍守備隊はル・クロゾン半島に後退、同所で抗戰を繼續してゐる、またロリアン、サン・ナゼールに對する敵の攻撃は失敗した

大陸作戰機構大改組か

(リスボン十八日發)十八日のA・Pワシントン電は次の通り報じてゐる

米國は支那大陸における反樞軸軍の作戰機構を全面的に改組せんとしてゐるやうだ、これは重慶を現狀のままで放置するならば反樞軸軍が太平洋及びビルマの兩方面から日本に對して大攻勢を開始せんとしてゐる時に重慶が抗戰力を失つて對日大攻勢作戰の側面に大穴のあくのを防ぐためだ、米國政府要人の一部はスチルウエルに大陸作戰における最高司令官の地位を與へ、彼の手によつて重慶軍を近代化し、その戰力を增強させよと主張してゐる

支那大陸における反樞軸軍の最近の敗北、米國軍の重要な戰略前進航空基地の失陷などは重慶政權部内における政治的紛糾と相俟つて重慶問題が再び反樞軸陣營内における重大問題と化するに至つた、卽ち支那大陸における反樞軸軍の危機は軍事的敗北ばかりで招來されたものではなく、延安との政治問題もその事態を益々困難複雜なものとしてゐる

米大統領動員解除指令

(リスボン十九日發)ワシントン來電=米國大統領ルーズヴエルトは十九日聯邦豫算局長ハロルド・スミスに書翰を送り、戰爭終了に備へて政府各機關の平時態勢復歸の準備を進めるやう次の指令を發した

聯邦豫算局は尨大な政府の戰時各機關を整理して、これを平時態勢に復歸せしむべく、今からその準備を進めておく必要がある、歐洲における戰爭も終らず、また對日戰に至つては何時終るか見當もつかないが、政府機關調整の準備を開始すべき時期は既に到來したと信ずる、勿論平時態勢復歸工作の大部分は對日戰が終了してから實行に移さるべきものではあるが、その準備を進めるにあたつて最大の考慮を加ふべきは次の三點であらう

一、戰時非常機關の整理及び恒久的機關内部における戰時事務の整理

一、戰爭のため異常に膨脹した政府官吏の人員削減

一、行政機構の簡易化

デユウイ命拾ひ

(リスボン十九日發)シヤトル來電=米國共和黨大統領候補デユウイは十八日夜シヤトルで選擧演説の後オレゴン州のポートランドに向ふ途中十九日正午直前彼の特別列車がワシントン州キヤツスル・ロツク附近で先行の旅客列車に追突、特別列車は大破したが彼は危蹟的に微傷も負はず命拾ひした、この衝突事件では現在までのところまだ死亡者は一名も出てゐない模樣だが、彼に從つた新聞記者團のうちからも數名の重輕傷者を出してゐる、原因は前夜同地點で貨物列車の衝突があり、鐵道不通のため一旅客列車が停車中デユウイの列車がこれに追突したもので、貨物列車の事故は十時間以上も前に起つてゐたところから一部にはデユウイの身邊に危害を加へんとしたサボタージュ行爲ではないかとの嫌疑も起つてゐるこの列車事故のため、デユウイのポートランドにおける選擧演説は無期延期となつた

昭和十九年九月廿一日(木)
第三一八六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米國】

眞珠灣事件を議會も調査

(リスボン十八日發)ワシントン來電=眞珠灣事件に對しては陸海軍は既に特別軍法會議を任命してその眞相調査を開始してゐるが、下院陸軍委員會の共和黨議員ハークネスは十八日議會も陸海軍とは別個に獨自の調査を行ふべきであるとの決議案を上程した、右決議案によれば議會は五名から成る調査委員會を任命して三十日以内にその報告を發表することになつてゐるが、ハークネスは上程に當り提案理由を次の通り說明した眞珠灣事件の眞相は是非十一月の大統領選擧前に米國民に知らしておく必要がある、ルーズヴエルトがもしこの事件に對し眞に責任がないとするならば彼に對する根據なき非難は卽刻取除かなければならぬ、これに反しルーズヴエルトが陸海軍總司令官として眞珠灣の慘劇に責任ありとするならば、この事實は米國民が大統領選擧に當り彼に對する判斷を下す前に一般に明らかにしておかねばならぬ

國債三千億弗に達せん

いづれにせよ對日戰が非常に遲れてゐることは事實であり、米國が今後太平洋戰域で如何に甚大な兵員と資材とを犧牲としなければならぬか未だ推測さへ出來ぬ狀態におかれてゐるが、かかる事態を招來した一つの原因が眞珠灣事件にあることは確かであり、そしてこの眞珠灣事件が政府乃至軍の要職にある人の職務怠慢によつて招來されたことも明らかである

(リスボン十八日發)ワシントン來電=民主黨上院議員ラツセルは十八日米國が戰後において恐るべき巨大な國債の負擔に惱まなければならぬことを警告次の通り述べた

現在の調子で國債が增加してゆくと米國の國債高は遂には三千億弗といふ恐るべき額に達しよう、かかる國債を抱へて戰後に大幅減稅を行ふごときは到底望み得ない、現在の稅收額は年四百二十億弗だが、戰後に減稅を行ふとしてもこの額はせいぜい百二十億弗程度に止める必要がある、卽ち國債を幾分宛でも減らしてゆくためには巨額の稅收入を維持すると共に政府支出を低減しなければならぬが、更に弗價切下げのごとき非常手段にも訴へなければならぬかも知れない

作戰中の兵力四百萬

(リスボン十八日發)シカゴ來電=陸軍參謀總長マーシヤルは十八日シカゴで開催された在鄕軍人大會の席上で次の通り演說した

目下世界各戰線で作戰中の陸軍並びに航空隊の總兵力は四百萬に達し、しかもこの兵員數はなほ增大しつつある、戰鬪に參加してゐる部隊は六十個師團に及び、今月には更に八個師團が戰地に向け出帆する豫定だが、近いうちに海外における米軍の兵力は合計八十八個師團となるだらう

陸軍航空本部長アーノルドも同席上で次の通り述べた

航空部隊は五月以來一千中隊及び飛行員百萬名を戰鬪に參加させ、樞軸國に對する投下爆彈量は近く百萬トンに達するだらう

七月現在の官吏員數

(リスボン發)ワシントン來電=政府は官吏數につき次の通り發表した

七月二日現在までの軍人以外の官吏數は本國内で二百九十三萬八千六百二名に達し、本國外では三十八萬四千名に達した

駐コスタリカ大使死亡

(リスボン十八日發)ワシントン來電=國務省はコスタリカ駐劄大使アレン・デ・ポルトが死去した旨十八日發表した、享年五十

大型驅逐艦進水

(リスボン十八日發)ワシントン來電=米軍の大型驅逐艦「フランダ・ノツクス」(二、二五〇トン、建造費一千萬弗)は十八日メイン州パースの造船所で進水した

重巡洋艦進水

(リスボン十六日發)ボストン來電=一萬三千トンの重巡「セント・ポール」は十六日クインシーで進水した、同艦は八吋砲三聯裝砲搭三基のほか高射砲多數を裝備してゐる

昭和十九年 九月廿一日(木)
第三一八六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

ル、チ極秘裡に會談續行か

（リスボン十八日發）ケベツク來電＝ケベツク會談の終了とともに米英軍代表も十八日までに悉くケベツク出發歸還の途に着いたが、ルーズヴエルトとチヤーチルの動靜については、ケベツクを出發したといふ以外何ら報道されてゐない、但し十七日チヤーチル夫人がカナダ總督アスロン夫妻、カナダ首相マツケンジー・キング等と共にケベツク教會堂に赴き禮拜に出席した事實からみても、ルーズヴエルトとチヤーチルは引續きいづれかで祕密裡に會談を續けてゐると解される

アイゼンハウアー軍政方針を放送

（リスボン十八日發）前線報道によればアイゼンハウアー司令部は十八日ドイツ向け放送においてアイゼンハウアーの軍政方針を發表、西部戰線の決戰が始まらぬ前から內政を云云し常套的な宣傳謀略戰を行つた、放送內容次の通り

侵攻軍がドイツ領內に入ると同時にアイゼンハウアーは軍政府を通じて立法、司法、行政の三最高權を行使する、その最大の目的はナチズムを打倒し、ナチ黨、親衛隊その他のヒトラーの下に活動せる組織の成員を悉く責任ある地位から驅逐するにある、軍政府當面の任務は交通線を確保し、占領地域において戰爭終結を妨げるごとき一切の活動を抑壓することであらう、一般市民はなるべく日常の業務を續けて貰ひたい

ニミツツ重大放送

（リスボン十八日發）パール・ハーバー來電＝米國太平洋艦隊司令部はニミツツが十八日午後五時十五分（米國東部戰時時間）から重大な放送を行ふ旨發表した、ニミツツは太平洋の某地點からこの放送を行ふといはれる

アンラ第二回總會

（リスボン十八日發）モントリオール來電＝アンラ（反樞軸救濟復興會議）第二回總會は十六日から反樞軸四十四ケ國代表出席の下にモントリオールで開催され議長にワシントン駐劄カナダ公使ピアソンを選出した、開會に當りアンラ事務總長リーマンは戰局の進展に伴ひアンラが本格的活動を開始すべき時が到來したと演說した

伊處分案で米英また對立か

（リスボン十八日發）インド問題を繞る米英兩國の醜い紛爭が未だ事新しい折柄、ワシントンからのU・P電報によれば、イタリア問題を中心に兩國が再び啀み合ふに至つたといはれる卽ち「今後イタリアを弱體化したままの狀態におくべきか、乃至は少くともイタリアの經濟的再興を許すべきか」との問題に關し、英國がその地中海政策の見地から前者を希望するに對し、米國は市場確保のため後者を主張し、兩國利害關係の衝突がまたしても表面化するに至つた

しかして右に關聯し反樞軸イタリア經濟統制委員長ウイリアム・オドワイアーは過般ケベツクへ出發前のルーズヴエルトと協議を遂げるため急遽ワシントンに歸還した事實あり、一方チヤーチルもイタリア訪問の際、英國の立場につき種々畫策した樣子だ

南佛作戰の敵軍勢力

（リスボン十八日發）ワシントン來電＝米國陸軍省は十八日南フランス上陸作戰における反樞軸空軍の優勢を誇示次の通り發表したフランス南部侵入作戰における反樞軸空軍勢力は約五千また空輸部隊は兵員九千名、ジープ二百臺以上、砲二百門及び裝備百七十五萬封度を輸送した

【カナダ】

早くも公使を派遣

（リスボン十七日發）オツタワ來電によれば政廳は今回ピエル・デウブイをブリユツセル駐劄代理公使にアルジエー駐劄カナダ代表ダニエルをパリ駐劄代表に任命、兩氏はそれぞれ既に赴任の途に着いたと傳へられる

コルヴエツト艦爆沈

（リスボン十八日發）オツタワ來電＝海軍省は十八日海軍のコルヴエツト艦「エルベーン」號が英佛海峽で沈沒した旨發表した、同艦沈沒の原因が觸雷か魚雷攻擊によるか不明だが、一大爆發と共に瞬時にして轟沈したため乘組員九十名のうち救助されたのは三十名に過ぎなかつた

昭和十九年九月廿一日(木)
第三一八六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【北　歐】

ソ芬休戰協定締結か

（ストツクホルム十九日發）ヘルシンキ來電によればソヴエトとフインランドの休戰協定は十九日中に締結される見込みといはれる、更にフインランド國會は十九日午前十一時祕密會を開催する豫定である

芬國民の生命財産を保障

（ベルリン十八日發）ドイツ軍當局は十八日次のやうに言明した

赤軍は離脫するドイツ軍に追躡を續けるためフインランドの村落を戰火に曝すに至つたが、ドイツ軍司令部はフインランド國民を戰禍から救ふために一切の手段を講じ、ドイツ軍の車輛は事情の許す限りフインランド人に提供され、財産の持出しのために使用された、このことはフインランド軍連絡將校の親しく目擊したところであるにも拘らず、ドイツ軍が離脫するに際し、フインランドの部落を完全に破壞し去るといふごとき噂が流布されてゐることは遺憾に堪へない

過去三年間フインランドの國土と國民と財産とを守り、そのために崇高な犧牲まで拂つたドイツ將兵が、今そのすべてを破壞すると想像するごときは全く馬鹿げたことである、フインランド軍とドイツ軍との間の忠實且つ眞摯な協力關係は依然消滅してはゐない、しかし赤軍の手に落ち、ドイツ軍山嶽部隊に對して使用される處れあるものを破壞することは已むをえない、これとてもボルシエヴイズムに對抗するための破壞であつて、フインランド國民に對するものでないことは勿論である

カストレン氏後繼首相か

（ストツクホルム十七日發）「スヴエンスカ・ダグブラデツト」紙のヘルシンキ特電によればフインランド首相ハクゼル氏が腦溢血で倒れた結果、フインランド大審院長ウロー・カストレン氏が十八日首相に任命される豫定と傳へられる

形式的には全閣僚が一應辭表を提出するが大半は留任するとみられる、カストレン氏は現在、保守黨、農民黨、社會民主黨及びスエーデン人民黨の支持を得てゐる

瑞選擧で共産黨進出

（ストツクホルム十八日發）スエーデン下院の總選擧は十七日擧行されたが、現在までに判明したところによれば共産黨の著しい進出と多數黨たる社會民主黨の不振が注目される、未だ最終結果は明らかでないが、既に共産黨は三名から十五名に、農民黨は二十八名から三十六名に、人民黨は二十三名から二十五名にとそれぞれ進出し、一方社會民主黨は百三十四名から百十五名に保守黨は四十二名から三十九名にとそれぞれ減少する見込みといはれる

【東　南　歐】

勃、前首相等を逮捕

（リスボン十八日發）イスタンブール來電によればブルガリアでは目下反政府派の要人を續々逮捕中といはれ、既に前首相ムラヴイエフをはじめ前外相シシユマノフ、前運輸相ワシレフも逮捕、また攝政府に連なつてゐたフイロフも外國公館内で逮捕されたといはれる、更に逮捕に先立つて自殺する知名の士も多く、この中にはバグリアノフ内閣の内相を務めたスタニツシエフ教授スタイモフ將軍夫妻、前公共事業相ラドスラモフ等が含まれてゐると傳へられる

前羅首相等赤軍に引渡さる

（モスクワ十八日發）前ルーマニア首相イアレ・アントネスコ將軍は國王ミハイ一世の裏切りと同時に赤軍に逮捕されオデツサに拉致されたが、十八日夜赤軍最高司令部は公報をもつて正式に同將軍の引渡しを受けた旨發表した、更に將軍と共に四名のルーマニア軍要人等が赤軍の手に抑留されてゐる旨發表された

ミハイロヴイツチ子息を逮捕

（リスボン十八日發）A・P電報によれば、チトー麾下のパルチザン軍はミハイロヴイツチの子息を逮捕したと傳へられる

昭和十九年九月廿一日(木)
第三一八六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【ソ　聯】

ダ海峽の開放を要求か

(ストツクホルム十八日發)「スプエンスカ・ダグブラデツト」紙がロンドンからのA・P電報として報ずるところによれば、ロンドン外交界ではソヴエト政府が近くトルコ政府に對しダーダネルス海峽の非武裝化並びに反樞軸諸國船舶に對する同海峽の開放を要求するものと觀測してゐるといはれる

【亡命政權】

羅國王パリ移住を要請

(リスボン十八日發)ロンドン來電=「デイリー・スケツチ」紙十六日の報道によればメキシコに亡命中のルーマニア前國王カロル三世はド・ゴール政權に對し政治問題に一切關與せぬとの條件の下に、パリ移住を要請したと傳へられる、ド・ゴール政權はこの問題をソヴエト政府及びルーマニア新政府に移牒するものと豫想されるデ・ラ・ワー卿は十六日アジス・アベバに向けて出發したが、エチオピア皇帝ハイレ・シエラシユ一世と會見、一九四二年兩國政府の間に締結された協定並びに軍事協定を廢棄して新規の暫定協定締結に關し協議する豫定である

【南　伊】

ローマ市民公判廷に殺到

(リスボン十八日發)ローマからのA・P電報によればボノミ政權のファシスト分子掃蕩に憤激したローマ市民數千名は、十八日ピエトロ・カルソ氏の最初の公判廷に押しかけ、レギナ・コエリ刑務所の副監督を捕えて毆打した擧句、チベル河に投げ込み、溺死させたと傳へられる、更に群衆はカルソ氏を助け出さうと司法省になだれこんだが、警官隊のため彈壓され、市内の秩序は漸く回復したといはれる

【英　國】

ケベツク會談の經過を報告

(ストツクホルム十八日發)ロンドン來電=英國外相イーデンは十八日午後空路ケベツクからロンドンに歸任、卽夜緊急閣議の席上ケベツク會談における協議内容並びに決定事項に關し詳細報告した

エチオピアと新協定

(ストツクホルム十八日發)ロンドン來電=政府は十六日次の通り發表した

【スイス】

羅國内の利益代表

(ブダペスト十八日發)ブダペスト駐劄スイス公使館はルーマニア政府の要請に基き、今回ハンガリア國内におけるルーマニア國の利益を代表する事となつた

【軍事情報】

ソ聯軍陣醫學死者蘇生に成功

(モスクワ十七日發)十一日の「プラウダ」紙によればソ聯軍陣醫學の權威ネゴフスキー博士と數名の助手は戰線における數ケ月間の實驗の結果、遂に死者を蘇生させる方法に成功したといはれる、「プラウダ」紙はどんな處置か具體的に述べてゐないが、手術は極く簡單なもので、輸血と人口呼吸の兩者の併用につきる、しかしこの場合輸血は直接心臟部に對して行はれ、人口呼吸も特殊の器具を使つて直接肺臟に空氣を注入しながら行はれる、ネゴフスキー博士によれば「處置は非常に簡單で、どの醫者も容易に出來るし、器具も簡單で自由に持ち運ぶことが出來る」といふことだ

「プラウダ」紙によれば、重傷を負つた一兵士が出血多量のため死亡、軍醫が死亡を確認してから三分三十秒後にネゴフスキー博士と助手は輸血と人口呼吸を始め、一分間の後心臟が動き出し、三分間の後に呼吸を始め、一時間の後には意識を回復したといふことだ、もつともそれから數時間は重態だつたが、一日後には視力を回復し、遂に健康をとり戻したといはれる、「プラヴダ」紙によればネゴフスキー博士は實際に五十一回試みたうち十二回は完全に成功、他の三十九回は一旦蘇生したが、數時間乃至數日間生きながらへた後結局死亡したといはれ、百發百中の日も遠い將來ではないとみられてゐる

昭和十九年九月廿一日(木)
第三一八六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

獨軍の對英報復

第一次攻勢終る

武井武夫

報復兵器第一號即ちV一號によるドイツ軍の對英報復攻撃は九月一日をもつて一應終了した、ドイツ軍當局では第一次攻勢の終了に關して改めて發表はしてゐないが、六月十七日以來毎日の總統大本營公報に必らずつけ加へられてゐた

ロンドン地區に對する報復攻撃は依然繼續されてゐる

旨の發表は九月三日の公報以來その影を斷ち、一方英國空軍省並びに內務省が連日習慣的に發表してきた

ロンドン地區を含む南イングランド一帶に對する流星彈攻撃は〇日も依然行はれ、死傷並びに損害を生じた

との報告も三日からみられなくなつた、英國側はこれを北フランスの基地地域における戰況の進展の結果、流星彈の使用が不可能になつたためだとして、ロンドン地區の疎開もとりやめになつた、但し大型流星彈(或ひはV二號)による新攻勢の可能性も考へられ、「ロンドンの戰ひ」は未だ完全には終了してゐないと政府當局も警告してゐるが、被爆地區の疎開住民は早くも樂觀的な氣分に浸つて歸京を急ぎ、住むに家なきロンドンへ、南イングランドへと殺到してゐる

さて七十八日間に亘る流星彈攻撃はいかなる戰果を擧げ得たか、それにはいかなる意義があつたか、以下簡單にこの問題を綜合考察し、この新兵器の將來についても考へてみたい

攻撃の經過と戰果

流星彈攻撃の第一報として日本に傳へられたのは六月十七日英國下院における內相ハーバート・モリソンの報告だつた、この報告はフランス方面より飛來せるドイツ軍の「無人飛行機」が南イングランドに着陸爆發して、死傷並びに損害を生じた旨を述べたにすぎず、詳細は一切判明しなかつた、以後數日間、英國側報道はこの無人機の形狀並びに性能に關し實見談や臆測を傳へ、ドイツ側は海峽の反對側から認められる黑煙、偵察機により觀察される火災などのほか、敵側各紙の記事にみられる混亂狀態を報じてゐたが、新兵器そのものについては沈默の數日が過ぎた、正體がわからないのだから名稱も一定せず「無人機 Pilotless-plane」「ロケット流星 Rocket-meteor」「神祕の飛道具 Mystical missile」「飛行爆彈 Flying Bomb」「ロケット爆彈 Rocket Bomb」等々勝手な呼び方をしてゐたが總統大本營が攻撃開始の發表において「最大口徑炸裂兵器」なる表現を用ひたところから、飛行機でもなく爆彈でもないといふ意味で、日本では「流星彈」が通稱になつた但し「流星爆彈」と呼んでゐる新聞もあるが爆彈を飛行機から落すものと考へる必要はないのだから、これでも別に大した變りはないわけだ、英國側では Flying Bomb が通稱になり、他の名稱は殆んど使用されなくなつた、正式の呼稱は六月二十三日附「前線と銃後」紙にV一號と發表され、その後は正俗双方の名稱が混用されてゐる、このV一號といふ呼稱は極めて重大な意味をもつてゐる、即ちVは Vergeltungswaffe (報復兵器)を示し、一號といふことは今後報復兵器を續續使ふぞといふドイツ軍當局の決意を示してゐると考へられるのである

構造並びに性能については攻撃開始の數日後に英國空軍省から發表され、發射基地についてはシエルブール要塞攻略戰に際し、米軍の手に落ちた未完成の基地を基礎に二十六日空軍省から發表された、その後ドイツ軍當局から發表されたところも殆んど英國當局の發表の範圍をでてゐない

構造や性能、英國內の混亂狼狽については耳にたこができる位聞かされてゐるからここには繰り返さない、問題は流星彈が齎した被害だが、これ

は英國政府當局の發表が唯一の資料である、他は傍觀者の感じや想像であつて、決して正確だとはいへない、英國政府の發表を最低に作つた數字とみて被害狀況を推定すべきであらう、第一回の數字の發表は七月六日午前英國下院におけるチヤーチルの報告演說だ、かなり長く詳細に亘つて流星彈攻撃の重大性を强調した彼の演說の中から數字だけを拾つてみると、六日午前六時までに

飛來彈數　二、七五四箇
死者　二、七五二名

といはれ、他に入院重傷者約八千名といふから輕傷者の數はよほど多かつたと思はれる、この時の報告では家屋の倒壞には觸れてゐない

かうした頬被りもいつまで續くものではなく、英國民の間に政府の祕密主義に對する不平が高まつた結果、チヤーチルは八月二日下院において次のごとき數字を發表した、六月十五日より七月三十一日に至る合計である

落下流星彈　五、三四〇箇
同重量(推定)　四、五〇〇噸
死者　四、七三五名
重傷者　一四、〇〇〇名
全壞家屋　一七、〇〇〇戸
破損家屋　八〇〇、〇〇〇戸
公式疎開人口　一、〇〇〇、〇〇〇人
內・母子　二二五、〇〇〇人

八月中の死傷者の數は

死者　一、一〇三名
入院重傷者　二、九二一名

と發表されてゐるから、攻撃開始以來の總計は

死者　五、八三八名
重傷者　約一七、〇〇〇名

となる、卽ち死傷合計二萬三千に近いのである、家屋の倒壞は八月中旬駐米大使ハリファックスが百萬八千戸と述べてゐるから、九月一日までにはもつと多くなつてゐるわけだ

英軍の防衛策

かかる攻撃に對し英國軍當局はいかなる對策をとつたか、最初英空軍當局が發表したところでは英國側ではドイツ軍の攻撃を豫想して基地、工場補給線等を空中から攻撃してゐたといふが、モリソンが無人機といふ表現を用ひたことでも明らかなやうに、兵器の正體が判つてゐたのではない、既にチヤーチルが七月六日の演說でちよつと觸れてゐるが、最近發表されたところではその眞相は次の通りだといはれる

一九四三年の春頃から英國當局はスパイを通じてドイツ軍がなにか長距離兵器の準備中だといふことを知り、特に寫眞偵察機をだして調査を進めてゐた、第一回の攻撃は英空軍によつてバルト海岸ペーネムントの試驗基地に對して加へられた、當時の寫眞には確かに流星彈と思はれるものが點點と散つてゐたといふ、やがてペーネムントでみたのと同じやうなコンクリート建造物がフランス海岸に出現したことを發見、英米聯合の航空兵力をもつて十二月から基地攻撃が開始された、流星彈攻撃の開始期を遲らせ、發射基地の建造を不完全ならしめるのが目的だ、一方ドイツ軍の攻撃開始に備へて戰鬪機、高射砲、氣球等の準備も進められてゐた、六月中旬に流星彈が飛び初めた時には、米軍戰鬪機隊並びに高射砲隊を含む凡ゆる防空隊は一應準備を完了して、いつでも流星彈攻撃に對抗出來ることになつてゐたが、いざ始まつてみるといろいろ勝手が違つてゐて防空陣の再編成とか科學者の新工夫なども必要だつた

とにかくこれだけの努力の結果、フランス侵攻作戰が一段落つくまで流星彈の出現を喰ひ止め、遂に出現してからも防空陣並びに英米航空隊の基地爆撃によつてかなりV一號の效果を減ずることが出來たのである、それにも拘らずロンドン並びに南イングランドの住民で直接間接に流星彈の被害を蒙らない者は一人もなく、間斷ない警報と流星彈の唸りは全住民を神經衰弱に近い狀態に陷れた、流星彈による死亡率は周圍の閉つた場所で炸烈した場合の外は大したものではなかつたが、爆風による負傷は多く、特に高性能爆藥を用ひた時は甚かつた

勿論ドイツ軍としては遙かに大規模な攻撃をも

つて有利な影響を齎したかつたにちがひない、しかも他の目標に向ふべき爆撃機を引きつけ、他の任務につくべき戰闘機や火砲を釘づけにしたといひうる事實も認められないから、その效果はドイツが一切の勞働力や物資を流星彈製作に集中したことにより相殺された程度のものだつたと考へられる、流星彈攻撃が殘した痕跡といへば、第一に流星彈の被害者が心理的にドイツに對する憎惡を深めたこと、第二には物質的に被爆地區、特にロンドンにおいて約百萬の家屋を倒壞し、或ひは居住不可能の狀態にして、たださへ困難だつたロンドンの住宅問題を一層深刻にしたといふことだ

以上が英國側の事後のいひ分だが、それでは彼らの防空對策は數字的にどれだけの效果を示し得たか、恐らく當局者の言明だらうと思ふが、ロイター通信の航空記者が要約した報告を次に示さう

總落下彈數約八千個のうち、ロンドン地區に落ちたのは二千三百個で、しかもかなりの數が空地で爆發してゐる、目標地區に達する前に撃破されたのは三千七百三十九個、他に技術上その他の理由から防衛地區以外に落下したものが二千個ある、撃破の内譯は戰闘機千九百、高射砲千五百六十、氣球二百七十九個だ、最初ロンドン周緣には輕高射砲二千門、重高射砲八百門が配置されてゐたが、後にはもつと遠い地域に移され、米軍高射砲隊も參加した、火砲による戰果の大部分は四〇粍自動砲の威力による、反軸樞軍は發射基地の攻撃と偵察に航空機四百十九機及び二千九百機を失ひ、地上防空に從事した人員は六萬人に上り、高射砲及び彈藥の製造に一千人、氣球製造に二千人の人手が費された

流星彈の今後

既に現在の發射基地よりする攻撃が終つた以上敵方が何といはうと勝手でありひたいことをいはせておくほかはないが、問題は今後の流星彈攻撃である、まづ英國筋の豫想を掲げよう、九月二日附「デーリー・メール」紙の記事だから流星彈攻撃が終る直前に書かれたものだ

ロンドン地區を含む南イングランドに對する流星彈攻撃は二三日中に終るだらう、ドイツ軍は主要補給地の全部及びフランスの發射基地の四分の三を失つてしまつたからだ、來週に入れば殘る四分の一も失ふにちがひない、一時ドイツ軍はベルギーやオランダ(フリジアン諸島が絶好の基地となつてゐるかもしれない)の發射基地を試用した數日來その方面よりの飛來が明白に認められたのだ、しかしドイツ軍が今後その基地を大いに使用する可能性は餘りない、第一にドイツ軍にとつてどこの基地にも多數の流星彈を貯へるといふことは無理な話だ、基地は英空軍の爆撃を喰ふ危險性が多分にある、發射基地を變へるとすれば流星彈の彈道を變へ距離を延ばすことになるが、それも攻撃を中斷する原因になるだらう

そこでV一號の飛距離を增す必要を生ずるが、そのためには燃料搭載量を增すか、燃料消費を切下げるために噴射推進發動機を改良するか、兩者のいづれかによらなければならない、標準型のV一號は頭部炸裂體と胴體内の壓搾空氣管の間に百三十ガロン入の燃料油槽がキチンと嵌つてゐるがそれ以上のガソリンを積むとなると構造をかなり變へることが必要だ、從つて設計を變へるとしても流星彈攻撃は當分中止しなければなるまい

殘る可能性はドイツ空軍が飛行機から流星彈を發射するかもしれないといふことだ、だがどんな飛行機でもそんな大きな荷物を背負ひ込んでは絶好の攻撃目標になつて了ふ、モントゴメリー軍が流星彈基地を悉く占領しようとしてゐる現在となつては、南イングランドの大工業を移轉する計畫も恐らく取り消しになるだらう

右の豫想記事は確かに當つた、當るのが當然だからだ、ドイツ軍も既に貯藏流星彈や發射基地の破壞にかかつてゐたといふ位だ、今後の流星彈攻撃についても「デーリー・メール」紙の所說は大體正しいだらう、ドイツは決して今更流星彈に未練を持つてゐない筈だ、流星彈攻撃開始當時にも言明された通り、V一號とは比べものにならないほど大規模なV二號の猛威こそ流星彈に代つて登場する新兵器だらう、正直にいへば、北フランスの戰局があまりにも早く動いたため、或ひはドイツにとつてV二號を十分に準備する時間が得られ

なかつたのではないかといふ懸念もある

とにかくV一號攻撃は終つたとみて、それは歐洲戰史にいかなる役割を果したか、勿論それが反樞軸軍の攻撃速度を早めたか遲らせたか、或ひはドイツ航空機工業に對し流星彈生産がどの程度影響を與へたかなどについては、正確な推定は下し得ない、ただ北フランスにおける反樞軸軍の大攻勢をみれば、流星彈攻撃が戰略攻撃として決して大成功でなかつたといふことは遺憾ながら認めざるを得ない、英國民に與へた人的損害は反樞軸空軍の絨毯爆撃には遙かに及ばない、家屋破壞百萬戶の大戰果も重爆大編隊のテロ爆撃より特に優つてゐるとはいへないだらう、確かにロンドン市民の神經生活を攪亂したといふ事實は痛快であり、報復兵器としての役割だけは果した形だが、流星彈における最大の意義は、それが畫期的新兵器だつたといふことである

物量を誇る反樞軸軍が十八ケ月前からこのことあるを察知して萬全の防衛對策を施しても、ロンドンの家屋の大部分が瓦礫と化することを防ぎ得なかつたのである、制空權がなくとも攻撃を加へ得るといふことは確かに戰爭の方式に大きな變化を齎すにちがひない、卽ち戰略兵器として流星彈の價値は、攻撃側の人的損害が減ずるといふ點、前述の制空權を必要としない點、矢張り精密兵器でないといふ點が擧げられる、第三の點では高々度爆撃もそれから防禦し得ないといふ意味では同一なのであつて、目標物を破壞するのには地域爆撃は如何なる精密照準器よりも優れてゐるといはなければならない

流星彈の齎した戰術的革命は今次大戰にいかに影響するか、チューリツヒの堀口特派員は反樞軸軍が或ひは日本攻撃にV一號を使用する氣なのではないかといつて次のやうな事實を打電して來た

東亞の戰爭にV一號を

スイス各紙に掲載された英國からの電送寫眞をみると、英國軍當局が前からフランス海岸で占領したと稱してゐる發射基地において、V一號發射裝置と覺しきものを英國の專門家が檢討してゐるまた米國人はフロリダに歐洲で占領したV一號またはロケツト爆彈の未完成發射基地と全く同じものを建造中だとの情報もある、一九〇七年以來ロケツト研究を續けてゐるクラーク大學敎授ロバート・H・ゴダードはロケツト兵器の特殊研究を援助するためにとワシントンに呼び出された、ゴダードはニューメキシコの荒野で實驗した時からロケツト專門家の間で「不思議な男 Mystery Man」と呼ばれてゐるが「タイム」誌の報道では最近七百哩時の速度でロケツトを打上げたといふ、またドイツのV一號の發明者ヘルマン・オーベルト敎授と曾つて同僚の間柄だつたウイリー・レイも現在米國に住んでゐる、反樞軸側にいはせると、V一號は特に東亞の戰爭に適してゐるといふ、東洋の都會には火災を起し易い地域が多く、V一號のやうな噴射推進爆彈は正確さがなくとも十分その缺點を補へるからだ、米軍は補助空母の場合と同じやうに貨物船を水上流星彈發射基地に改造する可能性をも研究してゐるらしい、ロケツト彈には殆んど反動がないから、戰艦の砲撃のやうに補强工作を必要とすることもない、更に流星彈は非精密兵器として一目標だけでなく廣い地域を對象とするから、夜間哨戒機の眼を避けて日本本土沿岸の沖合から攻撃を加へるには好都合だ、一方對日流星彈は炸藥より燒夷劑を充塡することになるから、重量が少くなり、飛距離が延びる、從來試驗されたロケツト燃料では液體酸素とガソリンまたはアルコールを混合したものが最良で、理論的には秒速二哩までは行くはずだが、この速度はまだ出たことがない、ドイツ軍當局はまだ反樞軸軍にV一號の祕密が判るわけはないと主張してゐるが米軍は殆んど完全なV一號を手に入れたといふ情報があるから米國のV一號使用は必らずしも夢物語だとはいへないやうである

昭和十九年 九月廿一日(木)
第三一八六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

V二號の出現近し

反樞軸軍が東亞の戰場で流星彈を使用するとすれば、超重爆をもつて海岸から百哩位離れた上空まで運び、そこから發して歸るとか、大型軍艦に發射裝置を設けて發射することが考へられる、この可能性は多分にあると考へなければなるまいしかしV一號の歐洲における役割が一應終つたとして、ドイツ軍の豫告するV二號とは如何なる兵器だらうか、ドイツ軍當局は苟くも內容を示唆するごとき言葉は少しももらしてゐない、そこで反樞軸國乃至中立國の無責任な觀測だけが頻りに行はれてゐる、ここにそれを繰り返し紹介しても仕方ないと思ふが、今までに敵側新聞や通信社が擧げてゐるものを列擧すると次の通りだ

一、九十トン以上の超大型ロケツト彈
二、航空發動機を停止させる電波兵器
三、あらゆる物を凍らせる寒波兵器
四、新種の毒ガス

以上四種のほかに親子飛行機や一人乘魚雷まで入れてV三號だV四號だと騷いでゐる新聞もあるがいづれも報復兵器の名に相當しなかつたり、新兵器としての價値を持たなかつたりで問題にはならない、右四種のうちでは第一に擧げたものが一番可能性がある、しかし好い加減な臆測は愼しまう現在V二號が豫定通りに準備されてゐるにしてもゐないにしても、愈々使はなければならない時期は迫つてゐる、その戰略的な影響如何は他に種々の要素が加つて來るから想像の限りでないが、少くとも戰場或ひは敵銃後におけるその猛威だけは十分期待していいのではなからうか

英國海軍の科學陣

「マンチエスター・ガーデイアン」紙九月八日

今次大戰において英國海軍の科學者並びに工學專門家の研究、實驗、設計、新發明等における協力は極めて重要となり、この方面における陣容は完全な再編成を必要とするに至つた、今やあらゆる科學者及び技術者が網羅され、從來軍令部科學技術化學各部に屬してゐた人々もすべて英海軍科學部(RNSS)なる新組織に包容されたのである、海軍には前大戰まで全く科學的組織がなかつたのだが、一九一四年乃至一九一八年の技術的發達の結果、各大學並びに產業界から多數科學者が動員されてゐた、それが今次大戰の勃發に際しては科學者の數は約三千名の臨時所員を加へて非常に增大した、特に顯著な活動分野としてはラジオ部門がある、これは現代の科學者並びに技術者を多數吸收し、その人々が陸軍及び空軍の專門家とも緊密な連繫を保つて研究を續けてゐる

今までのところでは見張人とか距離測定者の眼が海軍艦船の行動並びに戰鬪活動を制約してゐた卽ち一切が人間の肉眼に依存してゐたのだが、ラジオ部はこの障碍を新しい方式によつて乘越えたこの方式は暗夜でも霧中でも作用し、完全に海戰の樣相を變じたのである、各船舶の凡ゆる施設はこれによつて革命を來たした、ラジオ(或ひは無線)においては戰時の影響が殆んど驚異的だ、平時における海軍當局の潛水艦探知方式が一九三九年の事態に對して十分應じ得るものであつたことは事實だが、現在の施設は全然異つてゐて偉大なる進步を示してゐる、防火設備とか、船舶のローリングを調整するといふ面倒な問題においても大きな進步が見られる、航空機によつて敷設する機雷も前大戰に生れた困難な問題の一つだが特にわれわれは最初の磁氣機雷を敷設して休戰條約直後に問題を起したものだ、その後改良型も生れたが現大戰が始まつた時には未だ準備されてゐた譯ではなかつた、これに對しドイツ軍は英軍が一九一八年に使用したものと殆んど同一の磁氣機雷を使用してゐる、またドイツ軍は音響機雷を發明したが、これも英國海軍の科學組織によつて忽ち克服された、魚雷においても英國海軍は戰爭勃發當時から一步先んじてゐた、當初ドイツ軍の音響魚雷はかなり危介であつたが直接の敵手は矢張りイタリア海軍だつた、英國科學技術陣の進步の一例をあげると、現在鐵類の分析が僅か二人の娘の手で一日一千種の速度で處理されてゐる、前大戰においてはこの種の仕事は恐らく五千人位の人手を要したに違ひないのだ

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年九月廿二日(金)　第三一八七號

同盟通信 海外電報 (219)

編輯發行人　鈴木卓爾　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

【目　次】

必勝の信念搖がず……二一六八
空挺部隊の兵力三ケ師……〃
フインランド戰場と化せん……二一六九
完全に外部と遮斷……〃
三國と國交斷絶……〃
赤軍バルト大攻勢を發表……〃
赤軍エストニアでも新攻勢……〃
エストニア攻勢の目的……〃
【反樞軸陣營】
米、英、ソ三國會談流産か……二一七〇
米英、瑞典をまたも壓迫……〃
フランス叛軍の海軍力……〃
赤軍、油田地帶を遮斷……〃
【英　國】
綿業再建計畫を發表……〃
オースチン工場罷業……〃
【米　洲】
パナマ、コスタリカ國境紛爭解決……〃
【米　國】
デユウイ勞働政策を攻撃……二一七一
南部民主黨動搖……〃
反樞軸通商會議招請……〃
在鄉軍人會決議……〃
空路整備計畫……〃
ベイルート駐劄公使任命……〃
八月中戰費七十八億弗……二一七二
二船艇の喪失を認む……〃
【南　伊】
ファシスト系空軍將校を罷免……〃
【イタリア】
「サン・マルコ」號を盲爆……〃
【重慶政權】
メキシコ公使を兼任……〃
【スイス】
亞國駐劄公使急逝……〃
【軍事情報】
獨軍の新兵器「爆破艇」……〃
獨軍のロケット戰鬪機……〃
【資　料】
強引なアルゼンチン壓迫(下)……二一七三—二一七六
【特　輯】
フランス國內通貨の危機……二一七七—二一七八

世界の焦点

ソ芬兩國の休戰交涉にモスクワ駐劄英大使が參加しただけで米大使が入つてをらず、休戰監察委員團にもソヴエト委員の他に英國委員が加はるだけで米國代表は與らないといふのは如何なる事情に基くのだらうか、協定內容が發表された際にハルは事前に相談はうけなかつたと述べてゐる、米芬兩國の國交は斷絶してゐるからだといふことで一應の說明はつきさうだが、ソヴエト委員團が二十日夜豫告もなしに空路ヘルシンキに乘込み、今後二ケ月フインランド國を鎖國狀態に陷れるとあつてはフインランド國を典型的民主主義國と考へ込んでゐる米國內の一部輿論が收るまい以上は單に一例に過ぎないが、世界戰爭が決戰段階に入るとともに反樞軸陣營が寄合世帶の弱體振りを暴露する契機は至るところに潛んでゐるやうに思はれる、亡命ポーランド政權の處分、ボノミ政權に對する施策等々はいふまでもないが、ケベツク會談でもチヤーチルが端的に指摘してゐる通り西南太平洋と東亞とを獨りで切り廻はさうとするヤンキー帝國主義に對しては英國人も少からず不滿を抱いてゐる樣子だ、ところがデ・マーレ・ベスといふ米人特派員が「十年支那に在勤した」體驗を基礎に「リーダース・ダイジエスト」誌に所見を開陳してゐるのによれば、支那が統一國家となるのに少くとも今後二、三十年はかかる、その間東亞の安定を維持するには米英ソ三國の協力が必要だ——日本抹殺を前提としての議論なのは附言する必要があるまい——米國人が印度に獨立を與へよなどと主張しては、東亞における米英兩國の協力は旨くゆくまいといふのである、取越苦勞も程々にして貰ひ度いが、以上の主張からだけでも反樞軸陣營の複雜な內部事情を窺ふことが出來よう

昭和十九年 九月廿二日(金)
第三一八七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

必勝の信念搖がず

―總統大本營意氣軒昂―

(ベルリン二十發)ドイツ外務省のスポークスマン、ポール・シユミツト博士は二日間に亘り總統大本營を訪問し、二十日ベルリンに歸任したが、正午の記者團會見において、外人記者團の間から「中立國筋ではドイツ軍はもう戰爭に負けたも同樣だとの見方が強いやうだが」との質問が出たのに對し、次の通り所信を開陳した

古い觀念は通用せず

一、今回の戰爭は精神的、政治的、社會的、經濟的革命を伴ふ革命戰爭である、古い帝國主義的資本主義的諸原則はその價値を失つたから新秩序が確立されねばならない

一、果してしかりとすれば、今回の戰爭を十九世紀の尺度によつて測定し、休戰協定、媾和條約賠償金等々の舊套によつて戰ひを終結させようとすることは絶對に誤である

一、以上舊式の手法によつて戰爭から離脫しようとした國々はいづれも窮境に陷つてゐるではないか、飛び降りは一切出來ない、イタリア、ブルガリア、ルーマニア各國次いでフインランドなど殷鑑は近くにあり

一、卽ちこれ等各國の實例に徵しても、今回の戰爭の結果は勝利か沒落の他途がなく、交戰國一方の破滅のほかには戰爭を終結させることが出來ない、革命的諸原則が障碍を打破して前進し歐洲に新秩序が確立されるか、革命の旗幟を高く揭げた人々が巖に乘り上げるか何れかだ

一、戰局の判斷に當つても古い軍事上の觀念は通用しない、中立國の所謂專門家連はダンケルクの敗退後、乃至シンガポール軍港の失陷後、英國は敗れたりと言明し、ドイツ軍がウクライナドネツ盆地を占領して、モスクワの都門に迫るとともに、ソヴエト聯邦は負けたと言明した、しかるに今日反樞軸軍がライン河畔に迫り、あるひはまたバイエルン、東プロイセンを占領すれば、ドイツ軍は既に戰ひを失つたといふであらう、しかし前者が誤りであると同樣、後者も また誤謬である

一、ドイツ軍は反樞軸軍が息を切らし、消耗して腕をだらりと下げるのを片唾を呑んで見守つてゐる所だ、戰力を消耗して了へば、領土の占領は遂に何等の役にも立たない

漲る勝利の確信

以上ドイツ軍の態度は滅亡の宿命觀ではなく、勝利の狂信主義である、死なんがために死ぬ人はない、勝たうがために死ぬのである、勝利を確信して疑はないと余がここに言明しても、これは決して神祕主義ではない、總統大本營に漲る勝利の確信は神祕的信念ではなく、過去二ケ年間の推移を決定した諸要素、並びにドイツ國内の政治的、經濟的、人的諸元をあくまで正確に、あくまで冷靜に大局から判斷した上での結論である、以上諸般の事情を檢討した結果

今回の戰爭においては勝利かしからずんば死のみ、しかも曾つては指導階層だけであつたが、今度は全國民が運命を共にする

との政治的認識に到達した、以上の全般的考察の軍事的結論は「ドイツ軍は勝つことが出來る」といふことである、指導層は時が極めて重要であり戰局の前途多難なことを十分承知してゐるがドイツ軍の新兵團と新兵器と新戰法とに順番が廻つて來る時期の到來を確信してゐる、その秋こそドイツ軍は再び敵軍に「王手」をかけて攻めに轉ずる時だ

空挺隊の兵力三ケ師

(ベルリン二十日發)D・N・Bは二十日オランダの戰況について次の通り報じてゐる

西部戰線の重點は十九日も依然オランダにありこれまで着陸した敵空挺部隊の兵力約三ケ師とみられる、英第一空輸師團はアルンハイムにおいて空陸からするドイツ軍の反擊に依り甚大な損害を蒙つた、英第二軍及び米第一軍はオランダの空挺部隊との連絡を焦つてゐるが、敵の空挺隊はドイツ軍に壓倒され、捕虜千七百名を出した

昭和十九年 九 月廿二日(金)
第 三 一 八 七 號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

フインランド戰場と化せん

(ベルリン二十日發)最北部方面ドイツ山嶽軍司令部はフインランド國土が戰場と化す事態に對し責任を負ふべき筋合はないと二十日次の通り言明した

× × ×

最北方地域のドイツ軍はソ芬間の休戰成立に基き、過去三ケ年にわたつて東方からの一切の攻撃に對して保護を加へてゐたフインランド國境を越えるの已むなきに至り、ここに歐洲全土のみならずフインランド國民の宿敵に對する戰鬪は遂にフインランドの國土内に移つた、國民の一部は赤軍がフインランド國境線で停止することを希望してゐたが、この希望は無慘にも覆へされたのであるその結果フインランドの國土、その村落は戰爭地域となつたが、ドイツ軍は以上の事態に對して責任を負ふべきではない

ドイツ軍は自己の安全が危殆に瀕してをり、且つフインランドがソ聯の戰爭遂行に利便を圖つてゐる現在、フインランド軍司令部がソ聯から期待した一切の事柄を尊重することは出來ないのである、フインランド軍司令部は曾つて冬の戰ひにおいて赤軍の進擊を困難ならしめるため同樣のことを行つたし、更に一九三九年秋には西部要塞線の前線地帶にあつたフインランド軍部隊は、自己の安全を確保するためドイツの村落を破壞しなければならなかつたことを想起するがよい、ドイツ軍司令部はかかる措置はドイツの盟邦乃至は今日まで戰友として肩を並べて戰つてきた國に對する對抗措置と見做さるべきではなく、專ら苛烈な軍事上の必要に基くものである

完全に外部と遮斷

(ストツクホルム二十日發)ソ芬兩國間の休戰協定締結とともにソヴエト政府の監察委員團は二十日夜突如ヘルシンキに乘込んだが、ユーピー電報は、前後の事情につき二十日次の通り報道してゐる

フインランド政府はボルカラ地區を海軍根據地として五十年間ソヴエト政府に提供した、同地區から早くもフインランド軍が撤收を開始した同時にソヴエト政府監察委員團が二十日夜突如飛行機でヘルシンキに乘込み、首都中央のホテルを完全に占領して了つた、委員團はフインランド全國に監察分局を設置するだらう、委員團には英國委員も入るだらうが米人は入つてゐない、當局筋の言明するところによれば委員團は少くとも二ケ月間フインランド全國と外界との聯絡を一切遮斷し、孤立させる措置に出よう、既にフインランド、スエーデン兩國間の船舶連絡は遮斷されたと傳へられるし、フインランドから國外への旅行は嚴重な統制をうけてゐる

三國と國交斷絶

(ストツクホルム二十日發)ヘルシンキ來電=フインランド政府はソヴエト政府との休戰協定に基き二十日ハンガリア、クロアチア、スロヴアキア三國と國交を斷絶した

赤軍バルト大攻勢を發表

(ストツクホルム十九日發)モスクワ來電=ソ聯情報局は十九日深更の公報において作戰開始後七日目に至つて初めて赤軍のバルト大攻勢の開始を發表、リガ及びバルト海到達によつてバルト戰線のドイツ軍を兩斷し懸案のバルト三國を完全奪回せんとする意圖を明らかにした

赤軍エストニアでも新攻勢

(ストツクホルム二十日發)モスクワ來電=赤軍最高司令官スターリン元帥はラトヴイア戰線の赤軍大攻勢に續いてゴヴオロフ元帥麾下のレニングラード戰線軍もエストニア戰線において大規模の新攻勢を開始した旨二十日發表した

エストニア攻勢の目的

(ストツクホルム二十日發)モスクワ來電によればエストニア戰線における赤軍の攻勢地點はタルツ(ドルパート)北方とナルヴア西方の二個所で、タルツ北方においては巾百二十粁の戰線でドイツ軍縱深陣地を七十二粁突破したといはれるが、以上の作戰開始によつて赤軍がバルト最終奪回に重點を移したことは今や全く明瞭となつた

昭和十九年九月廿二日(金)
第三一八七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

米、英、ソ三國會談流産か

(リスボン十九日發)ワシントン來電=ワシントンのダンバートン・オークスで開催されてゐる米英、ソ三國會談は豫定通りに進めば去る九日をもつて終了、引續き米、英、重慶會談に移る筈であつたが、今に至るも終了せず、特に最近は英國代表カドガンのカナダ行きなどによつて殆んど議事は進められてゐない模樣だ、この結果ワシントン政界の一部では三國代表の間に重大な意見の相違を來し結局米、英、ソ戰後安全保障會議は具體的な結論を得ずお流れに終るのではないかとの觀測が有力となつてきた、會議がいかなる點で暗礁に乘りあげたかは不明だが、國務長官ハルも十九日の新聞記者團會見でこの問題につき記者團から執拗な質問が出てやむなく

あまり重要でない問題をめぐつて意見の相違を來すこともかかる會議ではあり得ることで、しかもこれが調整のためには相當の時日を必要とする、從つて會議が何時終るか豫想することは全然出來ない

と苦しい答辯をした

米英、瑞典をまたも壓迫

(リスボン十九日發)ワシントン來電によれば米國務長官ハルは十八日、米英兩國がドイツに對する物資提供に關聯しスエーデンに對し強硬な抗議を行つた旨言明したといはれ、スペインも依然ドイツの物資供給を續けてゐるとスペインを非難したといはれる

フランス叛軍の海軍力

(チューリツヒ十九日發)ド・ゴール政權はフランス叛軍は艦船三百隻以上、乘組員將校三千名、船員五萬名を擁し、東亞反攻作戰に參加する用意ある旨十九日發表した

赤軍、油田地帶を遮斷

(リスボン十九日發)ワシントン來電=米英兩國技術家、新聞記者からなる使節團は本國政府の訓令を受けてプロエスチ油田地帶の空襲被害を調査し、石油生産再開のために助言を行ふことをルーマニア駐屯赤軍當局に申出たが、赤軍當局は以上の申入れを峻拒したばかりでなく、油田地帶に立ち入ることを嚴禁したといはれる

【英國】

綿業再建計畫を發表

(ストツクホルム十九日發)ロンドン來電=商相ヒユー・ダルトンは今次大戰を通じ、極度に衰退した綿業の再建を計り、かつ今後世界市場における競爭に備へる目的をもつて、十九日次のごとき五項目からなる綿業再建計畫を發表した

一、生産能率向上と財政狀態改善のため企業合同を促進する
一、機械据ゑつけその他工場設備の改善を計る
一、綿製品販賣機構をも改善し、生産活動の安定を助長せしめる
一、勞働者の賃金制度を改善する
一、勞働二交替制を全面的に採用する

ダルトンは右計畫發表に當り、もし綿業界が右計畫を大膽に實施して行かないならば英國經濟は戰後も到底立直り得ないだらうと言明した

オースチン工場罷業

(ストツクホルム十九日發)ロンドン來電=バーミンガムにあるオースチン自動車工場の工員二萬人は新工員の賃金が安いのに同情し、十九日一齊に罷業に入つた、新工員は戰前の率で賃金を支拂はれてをり、工員達は七十五%方の賃金値上げを要求してゐる、一方工場主達は二十五%から五〇%の範圍以上の讓歩を肯んぜず現在のところ妥協の途はない

【米洲】

パナマ、コスタリカ國境紛爭解決

(リスボン十九日發)サンチヤゴ來電=中米のパナマ、コスタリカ兩國は久しき以前から國境問題で紛爭を續けてゐたが、今回チリ政府の斡旋により和解成立、兩國の國境が畫定した、兩國大統領は十八日國境附近において會見國境畫定の祝辭を交換した

昭和十九年九月廿二日(金)
第三一八七號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

【米國】

デユウイ勞働政策を攻撃　(リスボン十九日發)シヤトル來電＝共和黨大統領候補デユウイは目下選擧運動のため全米にわたり遊說旅行中だが、十八日夜太平洋岸でその第一聲を放ち、シヤトルにおいてルーズヴエルト政權の勞働政策を攻擊して次の通り述べた戰時にも拘らず幾多の重大な勞働罷業が相次いで起つてゐるがこれは現政權の勞働政策失敗の結果である、現政權は特定の階級或ひは特殊の團體を不當に優遇し、この結果階級鬪爭を激化し、社會不安を招來した、余は既に共和黨政權下における五項目から成る勞働政策を樹立してゐるが、特に勞働長官には勞働階級出身の有能な人物を任命して勞働者が眞にその機能を果たし得るやう取計ふであらう、ルーズヴエルト政權下においては多數の勞働關係機關が設立されこれら各機關が權限爭ひのため相互に鬪爭をことゝしてゐる、かかる有害無益の機關は斷然整理されなければならない

南部民主黨動搖　(リスボン十九日發)ワシントン來電＝南部の民主黨員はルーズヴエルト四期支持派と反對派とに分れて內訌を續けテキサスの民主黨の如きは黨が事實上二分するといふやうな激しい爭鬪を行つてゐるが、久しい以前から反ニューデイール派として知られるサウス・カロライナ州選出民主黨上院議員スミスは十九日民主黨保守派によるルーズヴエルト四選反對運動組織の計畫を發表二十二、三の兩日にわたりワシントンのメイフラワー・ホテルで同志の會合を催すこととなつたと言明した、南部地方は從來から民主黨の地盤と目されてゐる地方だが右の如き內訌の激化によつて本年の大統領選擧では南部民主黨の選擧團が果してルーズヴエルトに一致して投票するか頗る疑はしいものとなつてきた

反樞軸通商會議招請　(リスボン十九日發)ニューヨーク來電＝商業會議所會頭ジョンストンは十九日次の通り發表した

米國商業會議所は反樞軸及び中立諸國四十ケ國の民間經濟機關に對して戰後世界通商會議への參加招請を發した、この會議は本年十一月十日から十五日までニューヨーク州ライで開催する豫定だが、既に二十八ケ國から招請受諾の回答に接してゐる

在鄉軍人會決議　(リスボン十九日發)シカゴ來電＝在鄉軍人會は目下シカゴで年次大會を開催中だが、十九日次の決議を採擇した、在鄉軍人會は國內でも最も反動的、排他的とされてゐる團體だが、この決議も頗る反動的で且つ第一の決議は在米日本人いぢめを目的としたものである

一、在米日本人の監督權は現在民政機關が握つてゐるが、これを陸軍の管轄下に移すべし

一、非合法的活動の記錄ある在米外人は戰爭終了後すべてその本國に追放すべし

一、戰爭終了後米國內の失業者數が百萬以下となるまで諸外國からの移民を全的に停止すべし

空路整備計畫　(リスボン十九日發)ワシントン來電＝下院航空調査委員會は米本土及びアラスカにわたる航空路の調査を行つてゐたが、十九日その調査の結果に基づき次の報告を發表した

政府は直ちに全國にわたる航空路及びその施設の近代化に乘出すべきである、この事業に要する費用は今後數ケ年間に二千五百萬弗に達するだらうが、うち二千萬弗は米本土に五百萬弗はアラスカに割當てらるべきである、特に今後アラスカ方面で最も主要な交通機關となるのは飛行機であらう

ベイルート駐剳公使任命　(リスボン十九日發)ワシントン來電＝國務省は十九日シリア並びにレバノン政廳の獨立を承認した旨發表した、これに伴ひ大統領ルーズヴエルトはジョージ・ワヅワースをダマスカス並びにベイルート駐剳米國公使に任命した

昭和十九年 九 月廿二日(金)
第 三 一 八 七 號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

八月中戰費七十八億弗

(リスボン十九日發)ワシントン來電＝戰時生産局は十九日次の通り發表した

八月中の戰費は合計七十七億九千八百萬弗即ち一日の平均支出額は二億八千八百八十萬弗に達し七月の戰費より二・一%の增加を示した、一九四〇年七月一日以來の戰費は二千五百億弗に達する

二船艇の喪失を認む

(リスボン十九日發)ワシントン來電＝海軍省は掃海艇「ペリー」號がパラオ島沖海戰で日本軍の攻撃を受けて沈沒、更に補助輸送船「ノア」號が同じく太平洋上において米軍驅逐艦と衝突沈沒した旨十九日發表した、乘員は合計百二十名だが「ペリー」號の死傷は輕微で「ノア」號乘組員全員は救助されたと稱してゐる

【南 伊】

ファシスト系空軍將校を罷免

(ベルリン十九日發)ミラノ來電＝ボノミ政權はファシスト系空軍將校の肅正に着手、將官十六名、佐官三十九名、高級將校百二十二名中堅將校七十七名、事務官百二十二名、更に司令官二名、元空軍省次官一名を罷免した

【イタリア】

「サン・マルコ」號を盲爆

(ベルリン十九日發)ミラノ來電＝軍司令部の發表によれば商船「サン・マルコ」號は十九日イストリア海岸沖合で反樞軸爆撃機隊の襲撃をうけ炎上し、死者百二十名、重傷者六十名を出したといはれる

【重慶政權】

メキシコ公使を兼任

(リスボン十九日發)リオ・デ・ジヤネイロ來電によればリオ・デ・ジヤネイロ駐剳重慶大使陳濟成は今後メキシコ駐剳公使をも兼任することとなつたといはれる、なほ陳は目下ニューヨーク訪問の途上にあるといはれる

【スイス】

亞國駐剳公使急逝

(リスボン十九日發)ブエノスアイレス來電＝ブエノスアイレス駐剳公使コンラツド・カスパー・ジエニー博士は十八日夜急逝した

【軍事情報】

獨軍の新兵器「爆破艇」

(ベルリン十七日發)ドイツ軍當局は十五日、遠距離から無線操縱によつて敵船舶に肉薄する「爆破艇」と稱する新兵器を使用してゐる旨言明した、右新兵器は今まで嚴祕に附されてゐたが、ドイツ軍は既にこの新兵器によつてイギリス海峽で反樞軸輸送船三十五隻二十二萬五千トンを撃沈してゐるといはれる

新兵器は着想の點で「一人乘り魚雷」に類似してをり、乘組員各一名の二隻の舟艇からなりうち一隻が「爆破艇」で平底の競走用小型モーターボートに類似して高速度を出し、他の一隻は「司令艇」で敵船舶を偵察し「爆破艇」を誘導する任務に當る、「司令艇」は、梯子型で同時に數隻の「爆破艇」を誘導出來る、乘組員は武裝せず救命帶をつけゴム製の服を着用してゐる、「爆破艇」が目標二百米まで接近した時スイツチを切りボタンを押すと乘員は艇外へはじき出される裝置になつてをり「爆破艇」はこの瞬間から無線操縱に切替へられ「司令艇」の乘員が「爆破艇」を敵艦に向けて操縱する、「爆破艇」の外へはじき出された乘員がどのやうな方法で救助されるかは明らかでないが「司令艇」によつて救上げられることもあるといはれる

獨軍のロケツト戰闘機

(リスボン十八日發)ロンドンからのU・P電報によればドイツ空軍はいよいよ新型のロケツト噴射推進戰闘機を西部戰線に使用し始めたと傳へられる、米軍第十九攻撃部隊飛行士の陳述によれば、同機はメツサーシユミツト一六三型で蝙蝠の翼に類似し、物凄い速度を有してゐるといはれる

昭和十九年 九 月廿二日(金)
第 三 一 八 七 號

同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

資料

強引なアルゼンチン壓迫 (下)

倭若無人の政策を痛撃

「タイム」誌八月七日

米國國務長官コーデル・ハルは先週アルゼンチン政府に宛て嚴重抗議を提出したが、非交戰國に對しかかる罵倒を浴びせたことは未だ曾つてなかつた、卽ち國務省は米國政府の立場を手短かに述べた後次の通り言明した

アルゼンチン政府は一九四二年リオ・デ・ジヤネイロ會議において他の西半球諸國と共同、樞軸國に對抗する旨約束したにも拘はらず、故意に右公約に違反し、周知の通り過去二年半に亘つて公然と樞軸各國に對し援助と慰安を惜しまなかつたばかりか、政府の主權も從來通り依然樞軸最員の分子の掌中にある、以上の情勢に鑑み、米國政府は次の結論に達した、卽ち米洲諸國を初め反樞軸各國はアルゼンチン政府が歷然とした行動をもつて政策の變更を實證しない限り、嚴として從來通りアルゼンチン政府不承認政策を押し通さなければならない

首都ブエノスアイレスにおいては過激な國家主義の團體が、千載一遇の機會が訪づれたとばかりにいはゆる「ヤンキーの弱者いぢめ」に對して路上で示威運動を決行、更にナチ系の「エル・フエデラル」「カビルド」及び「ラ・フロンダ」の各紙も齊しく聲を高くして米國を攻撃してゐる

一方ペルフオ外相も就任後三箇月、初めての演說において米國の善隣主義的政策に對する攻撃と尊大な自主獨立の宣言を巧みに織り合はせてゐる曾つては軍國主義的政府をいかがはしい眼でみてゐたアルゼンチン國民の多くも、今ではかかる政府こそ祖國の主權を擁護すると信じ切つて支持するに至つた

ハルが放つた彈丸のうち果して的に命中したのがあつただらうか、的の中心に近くヒユアン・ドミンゴ・ペロン大佐がゐる、ペロン大佐は副大統領、陸相、勞働相、保健相を兼任、フアーレル大統領の先輩に當り軍閥政府きつての勢力家である國家主義者として極端派から穩健派に移つたらしく忠誠なアルゼンチン國内の第一人者たるペロン大佐は、最早以前のやうに米國人に對する憎惡や樞軸國に對する追從をもつて自己の人生行路に缺くことの出來ない行爲とは考へてゐない、ハルが今回の攻撃で當然アルゼンチン政府に對し樞軸國に好意を持つ要路の一掃及びドイツ系企業者の國外追放を要求してゐることは容易に推察出來ようペロン大佐は一ケ月ばかり前、樞軸最員の要人を一部政府から締め出したが、自國の主權を極度に尊重するアルゼンチン國民はペロン大佐がかかる政策を遂行するのに對し逸早く反對したため、大部分は依然政府内に殘留してゐる

しかしペロン大佐は別の方面でさらに評判のよい賢明な、そしてアルゼンチンと他の反樞軸國間の友好促進に役立つやうな措置をとつた、卽ち國内の各紙に對する束縛を緩め、今まで一切發言を禁じてゐた民主主義系諸新聞に對しても萬事好き勝手に報道してよいといひ渡した、俄然反樞軸系の「ラ・プレンサ」「ラ・ナシオン」その他の各紙は一齊にハルの攻撃全文を發表、或ひは概略を記載し、次いでロンドン、ワシントン、ニユーヨークその他からの辛辣な批判を掲載した、例へば有力な新聞「ラ・プレンサ」紙は社說のトツプにおいて次の通り言明した

反米國主義を奉じた元アルゼンチン大統領ラモン・カステイヨの最大、且つ最も慨歎に堪へない誤謬は、一九四一年十二月實施された新聞界に對する箝口令であつた、大統領と國内輿論との聯絡は全く斷たれ、かくて生じた不幸な結果によりアルゼンチン國民は今なほ憂き目をみてゐる、今や各紙は發言權を取戻すに至つたので長く西半球の連帶を妨げてゐた種々の誤解もやがて一掃されることとならう

昭和十九年九月廿二日(金)
第三一八七號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

更に七月二十九日夜には大勢の示威運動者が、「アルゼンチン萬歳、ヤンキーの腰抜け」と叫びながらブエノスアイレスの街々を練り歩き、米國大使館の門前を行進、チヤーリース、アメリカン・バーでは英國人が經營してゐる藥屋に對し石塊を投げつけたりした

ハルの攻撃に對する反撃

「タイム」誌八月十四日

英國における一部の新聞は過般米國國務省が發表したアルゼンチン政府攻撃に對し反撃を試みてゐるが例を擧げると次の通り

アルゼンチン軍閥内閣に對する迫害は反つて同内閣の人氣をいやが上にも昂め、アルゼンチン政府に對する制裁は反つて反樞軸各國の連帶を損ふ結果とならう(デイリー・メール紙)

英國人の眼からみると、アルゼンチン政府に對する米國政府の政策は、米國の勢力をラテン米洲の北半からホーン岬にまで延長したいといふ願望の表はれではないかと疑はれる(エコノミスト紙)

アルゼンチン各紙は大喜びで、以上の反撃を掲載し、論より證據、經濟制裁に關する限り米英兩國の意見は一致しないだらうと報じてゐる、一方米國政府は、依然英國政府も必要とあれば、いつでも協力するだらうと信じて疑はず、以上の批判を「アルゼンチン國内に保有する財産の保管に汲々としてゐる英國資本家の悲鳴に過ぎない」と高を括つてゐる、國務次官ステチニアスもチヤーチルが先週の演説で述べた「アルゼンチン政府は自ら惡魔、否、惡魔どころか敗殘者の側と手を結ぶに至つた」といふ文句を引用してゐる、しかしチヤーチルは問題の中心たる米英兩國共同の經濟壓迫には一言も觸れなかつた、アルゼンチンを貿易相手として重視してゐる英國にとつて、アルゼンチンが米國の勢力圈内に捲き込まれるのは好ましからぬことで「エコノミスト」誌もこの邊の消息を次の通り傳へてゐる

利益を論じるに當つては、必ずそれに伴ふ損失を差引いて考へなければならない、この問題に關する限り、利益は頗る疑はしく、それに反し損失は莫大であらう

一方別段ナチ最負とも目されてゐない米洲諸國においても同樣な意見がでてゐる、或るラテン米洲人は

米國政府に反抗したからといつて、アルゼンチン政府に制裁を加へるなどといふことは果して成り立つだらうか

と反問し長く米國に好意を寄せてきたラテン米洲の著名な外交官は

過去二年間に米國は三つの奇蹟を成し遂げた、卽ち、戰時經濟體制を確立し、平和を愛好する國家から一大軍國に急轉回したが、最大の奇蹟はアルゼンチンを一躍ラテン米洲諸國間の人氣者にしてしまつたことだ

と述べてゐる

兵力を增强

「タイムズ」紙八月二十八日

アルゼンチン政府は國内の兵力を增强するに決定、再訓練の爲三十五歳以下の豫備將校に對し過般召集令を發した、副大統領兼陸相ペロン大佐の言明によればアルゼンチンの兵力は一九四三年六月の革命當時に比し倍加されたといはれるが、ブエノスアイレス市内到るところにアルゼンチン空軍の航空兵募集に關するポスターが眼につくやうになつた、兵力の增强に關聯し政府は次の通り述べてゐる

ラテン米洲諸國の内一部はすでに戰時體制を確立、その他の各國もそれぞれ部分的動員を實施してをり、更にアルゼンチン以外の國々は悉く武器貸與法に基づいて物資の援助を受けてゐる有樣で、軍備の點でアルゼンチンは隣接諸國に比し遙かにたち後れてゐる、軍當局はアルゼンチン國内に戰爭準備が全くできてゐなかつたことが、一九四三年の革命を惹起した主要原因の一つであつたとさへ考へてゐる

昭和十九年九月廿二日(金)
第三一八七號

同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

物資購入も見合はせか

「フアイナンシヤル・タイムズ」紙
七月三十一日

・確報によれば米國政府は七月二十七日夜までにアルゼンチン政府から次の物資を購入したといはれる

亞麻仁　一五、〇〇〇噸
落花生　一〇、〇〇〇〃
棉實油　一、〇〇〇〃

周知の通り、アルゼンチン政府との取引に關しては米國政府筋でも意見が一致してゐない、しかし國務省が三十日夜かかる物資の買入れ停止を提案した事實に徴しても、政府は今後暫らく短期購入を見合はせることとなる樣子である

樞軸國の間諜を檢擧

「デーリー・テレグラフ」紙八月四日

ドイツ間諜及び後方攪亂者を檢擧し、無電發信器その他の設備を沒收した結果、ラテン米洲におけるナチ系組織は崩壞するに至つたが、右に關しエドガー・フーヴアーは米國の某雜誌に寄稿、次の通り述べてゐる

米洲諸國は七千名以上にのぼる樞軸國の探偵及び同志を追放したり、抑留したり、或ひは奥地の建物に移したりして危險の防止に努め、老練な間諜や後方攪亂者二百五十名以上を檢擧したほか、更に米洲に關する情報を內證でドイツに向けて放送してゐた短波無電發信所二十九個所を沒收した、同時に危險のおそれある在留樞軸國人一千名內外も警察の監視下におかれるに至つた

肉類の契約を中止

「デーリー・ヘラルド」紙八月十四日

外交界、實業界で既に傳へられてゐる通り、米英兩國政府は九月三十日をもつて滿期となるアルゼンチン政府との肉類契約を更新しない旨決定したが、兩國のアルゼンチン政府に對する斷交以來最も意味深長な取極めだといはれてゐる、ブエノスアイレスの米英兩國大使館は現在アルゼンチンからの輸出肉類全部をとり扱つてゐる兩國系の肉類荷造り所に對し、外交關係斷絶に鑑み、目下のところ契約更新の談判は全く望み薄となつたと通告した、肉類契約には英國政府が反樞軸各國を代表して調印し、アルゼンチン政府は滿二年に亘り輸出向け肉類の剩餘を悉く供給することとなつたが、右契約はアルゼンチン政府にとり最大且つ最も有利な取極めであつた、かくて過去二年間にアルゼンチン政府が反樞軸國に送つた總量は約百二十萬トンに達してゐるが、一九四三年には六十五萬トンを一九三八年當時より八パーセント近く高い値段で輸出してゐる

十月以降肉類購入はその時々の必要に應じ續けられることとならうといはれるが、果して反樞軸各國が過去と同じ位の量を、しかも同樣の高値で買つてくれるかどうか、アルゼンチン政府の大いに懸念するところだ

亞國資金を凍結

「デイリー・メール」紙八月十七日

米國政府は八月十六日に至り、遂にニューヨーク準備銀行に保管されてゐるアルゼンチン金勘定を凍結、アルゼンチン中央銀行は右處置の撤回を懇請したが應ぜず、愈々經濟制裁の第一步を踏み出した、ハルが明らかにアルゼンチン政策には强硬手段の必要を痛感しながらも今日までその願望を抑制してゐたのは、主として英國政府が最後的手段の回避を切望してゐたためである、アルゼンチン政府は資材並びに食糧を供給して反樞軸の戰爭努力に緊要な貢獻をしてゐるので、戰爭が決戰段階に入つた今日、アルゼンチンを失へば歐洲における反樞軸共同陣營はとり返しのつかないハンディキヤップを受けることとならうといふのが英國政府の主張であつた

一方米國政府は今回の措置に關し次の通り說明してゐる

資金凍結は「必然的な措置」であり、アルゼンチンは今後、反樞軸國の戰爭努力に何も貢獻し

昭和十九年 九 月廿二日(金)
第 三 一 八 七 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

てゐないところから中立國と呼ばれてをりスエーデン、スペイン、ポルトガル等の中立諸國と同樣のとり扱ひをうけることとなつた、米英兩國は依然アルゼンチン政府から物資を購入弗及び磅クレヂットを與へてゐるのだから、實際において今回の處置はたいした影響を齎さない譯である、そればかりか凍結に先き立ち既にアルゼンチンの金は相當ブエノスアイレスに移されてゐた

凍結の眞意義は寧ろ心理的方面にある、卽ち今回の措置は、米國政府が依然アルゼンチン政府の政策に對し不滿をもつてゐる事實の表はれで、不滿が募れば今後更に嚴しい經濟制裁にまで發展するかもしれないことを示唆してゐるからである

米洲會談には反對

「ニューヨーク・タイムズ」紙

米國の元國務次官サムナー・ウエルズは過般、近い內にもう一度米洲會議を開催してアルゼンチン代表にも參加を願つてはどうかといひ出したがブエノスアイレス來電によれば「ラ・フロンダ」紙は右提案を一蹴、次の通り述べたといはれる

アルゼンチン政府は、斷じてかかる提案に騙されてはならない、他の米洲諸國に勸辨して貰ふ代償として、アルゼンチンの兩足には足枷が掛けられ、結局またもとの憐れな罪人の姿に立ち歸へるであらうことは明らかで、單にその點だけを考へても米洲會議など思ひも及ばない、一度かかる會談に參加すれば、アルゼンチン政府は否應なしに次のやうな羽目に陷ることとならう

一、大西洋憲章を謳歌する天使の合唱團に加はらなければならない

二、反樞軸救濟復興委員會に參加する結果、アルゼンチンに對する食糧配給に當つてはアルゼンチン政府の希望など容れず他の國々による勝手な割り當てを甘受しなければならない

三、アルゼンチン政府は過去において事實をもつて證明してきたやうに、外國の援助なしで通貨の均衡を圖つていくことが出來るが、會談に參加すれば國際金融資金に對し二億ペソに當る金塊を支拂はなければならない

四、反樞軸勞働委員會に入る結果、アルゼンチンは社會問題、勞働問題の解決にあたり全くソヴエト政府の意のままに行動しなければならない

五、反樞軸教育會議の命令に從ふ結果、國內の學校に有毒なフリーメーソン思想が透滲してくる

六、反樞軸共同銀行は本店が米國にあり、反樞軸各國の通貨政策を掌つてゐるが、アルゼンチン政府も同銀行に參加しなければならない

しかし右六箇條はアルゼンチン政府が極力避けなければならない事態だ、萬一、會談に參加するやうなことがあれば、アルゼンチン代表は持物のすべてを奪はれ、手枷、足枷を掛けられて歸國する結果となることは明らかで、米洲會議等全く御免だ

米英兩國、互に猜疑

「デーリー・エキスプレス」紙

八月二十六日

アルゼンチン政府に對する政策に關し米英兩國政府が意見を異にしてゐることは日を追つて益々明らかになつた、卽ち米國の實業家達は廣汎な權限を付與された英國商業使節がラテン米洲に派遣されてゐるのを懸念の眼をもつて眺めてゐるが、一方英國政府の方では米國政府が戰爭努力に對する好ましからぬ影響をも顧みずに、アルゼンチン政府に對する經濟制裁を強要するのは、英國政府に對し長年勢力を張つてきたアルゼンチン市場から手を引くやう要求する口實にほかならないと思つてゐる

フランスへ肉、小麥を供給

「デイリー・ヘラルド」紙八月二十六日

アルゼンチン政府は二十五日フランスへ向け小麥十萬トン並びに肉類五千トンを送るに決定したが、同日ブエノスアイレスにおいてはパリの陷落當日國家主義者と反樞軸最員の人々の間に小競合ひが起り、激昂した群集に秩序を守らせるため遂に警官隊が出動した

昭和十九年九月廿二日(金)
第三一八七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

フランス國內通貨の危機

小島マドリード特派員九月廿日發

ノルマンデイ海岸に反樞軸軍が上陸してからすでに百日を經過した、その間戰況は西から東へ急速度に發展して反樞軸軍の先鋒は今やドイツ國境のケルンに突入せんとする態勢をも示してゐるが飜つて反樞軸軍上陸後のフランス國內情勢殊に國民經濟生活は如何なる情勢にあるかを檢討してみよう

最大問題は通貨政策

反樞軸軍の上陸に伴つて米英兩國政府とド・ゴール政權との間に一番問題になつたのは通貨問題で米英兩國の通貨對フラン貨の換算率をどう決定するか、また上陸後フランス國內において誰が通貨統制權を持つかの問題を續り主として議論が展開された、換算率の問題は去る二月アルジエーで極められ米英兩國政府は最初一磅三百フランを主張したが、ド・ゴールはこれに反對して結局一磅二百フラン、一弗五十フラン、といふことに決定した

次に通貨發行權に關し、米國政府は軍票發行が軍司令官の權限に屬し反樞軸軍が上陸して作戰する以上フランス國內でもどこでも地方政權は軍票の發行に介入すべき筋合でないと主張した、米國政府が長い間ド・ゴール政權を承認しなかつた理由の一つはこのためであつた、ところがアルジエー政權は米國政府の主張するやり方は同盟軍のやり方でなく、單なる占領軍のやり方でフランス國の主權に對する重大な毀損である、また事實問題としてもヴイシー政權の崩壞後のフランス國內で行政權を行使出來るのはアルジエー政權以外になく、通貨の統制權も當然同政權に委ねられねばならぬ、殊に噂によれば米國政府は既に總額八千億法にのぼるフラン貨軍票を印刷したと傳へられるが、たださへインフレーションのフランス國內に八千億フランもの軍票を撒かれたのでは治安維持も何もあつたものではない、この意味からいつても通貨はたとへ軍票でもド・ゴール政權の統制に服さねばならぬ旨を主張した

英國政府調停に乘り出す

かく相反した主張が互に一歩も讓らず悶着を重ねてゐたが、そのうち反樞軸軍の上陸が始まるとどうしてもこの問題をこのままに放つて置く譯にゆかなくなり丁度ド・ゴールが獨斷で置いたフランス行政官と反樞軸軍との間が思つたより圓滿にいつてゐるのを見て、英國政府が調停に乘出し米佛兩國に對し通貨問題を法律的に見ず事實問題として取扱ひド・ゴール政權には事實上の承認を與へ、これに基き通貨統制權も認めることを提言し八月二十五日英米佛三國間にフランス內政に關する協定が調印された、通貨に關する協定の詳細は發表されてゐないが、大體情報を綜合するに反樞軸軍當局はド・ゴール政權に對し磅または弗資金を渡しこれに對しド・ゴール政權は公定相場によりフラン貨を交付し、これをもつて反樞軸軍はフランス本國における各軍（フランス軍を除く）の費用を賄ふ、六月六日上陸當時から八月二十五日協定調印まで反樞軸軍が發行したフランス銀行券または軍票の統制は早急にド・ゴール政權の手に屬することとなり、右通貨及びこれらフランス軍以外の反樞軸軍の軍費支出のために發行される通貨の總額は米英兩國のフランスに對する債券となりこれ以外の取引は去る二月調印された財政相互扶助條約によつて決濟されるといふことらしい

闇取引の橫行

ではこの通貨協定が現在及び今後のフランス國民生活に如何なる影響を及ぼすであらうか、この點で注目に値するのは上陸當時と違つて米英兩國新聞界のフランスに對する記事が非常に悲觀的になつて來たことである、先づ米英兩國を惱ましてゐるのは全國的な闇取引の問題で、上陸當時は場所も豐穰なノルマンデイ地方なので反樞軸軍の食糧補給も比較的容易であつたが、だんだん內地に入るに從ひ農民は公定値段での買上げに應じようとしない

昭和十九年九月廿二日(金)
第三一八七號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

また例へば「エコノミスト」誌などは、二百フラン、一磅換算率はフラン貨の過剰評價で、そのため食糧などたとへ反樞軸軍が公定値段で買ひ上げても高くつくといひ出した

また交通系統の全然破壞されてゐる今日大都市やフランス南部、東部地方では事實物資不足なのだから闇以外には絶對に食糧入手の道なく、また商人も農民も今まで闇値段に馴れてゐるからたとへ反樞軸軍でも公定値で品物を賣渡すことはあり得ない、そればかりでなく最近の「タイムズ」紙は反樞軸軍がパリーへ送つた食糧品が知らぬ間に闇に廻つてゐることを報じてゐる

通貨協定全く無力

かかる事情から反樞軸軍としては無理に公定價格を強制し、きかなければ徴發で行くか若しくは自國からの補給に俟つほかないわけだが、前者は政治的に、後者は軍事的に種々の不都合を生ずるまた社會的にもこの問題は重大である、即ちドイツ軍占領下のフランスで金を儲けた階級と目されてゐる分子に二種あり一つは闇取引きで儲けた農民で他はドイツ軍の注文を受け仕事をした實業家である、就中、農民の收入は過去四年間に十倍に增加したといはれてゐる、そのため農民と一部の實業家は都會人、勞働者から非常な反感を買つてゐる、しかしまたフラン貨の平價引上げにより以上兩階級の利得の價値が更に增大したといふので彼らに對する一般の反感は益々增大することとなる

結局この問題をつき詰めると大體ドイツ軍占領當時既に最低五百フランはしてゐた磅を二百フランとした換算率が無謀なので、この結果戰亂、占領、物資不足で大混亂を呈してゐるフランス國内に何の準備もなくデフレーションを引き起したのだから、この結果は想像に難くない、即ちあらゆる意味で物價騰貴の客觀的條件のあるところへ急に人爲的に通貨の價値を引上げたのであり、そこでこの政策を客觀情勢と合致させたのでは物資の大量補給の道がない、現狀では大至急に膨脹してゐる通貨を吸收するか或ひは平價の切下げを斷行し換算率、物價騰貴を抑へねばならない、しかし先きに二百フランの換算率を主張したド・ゴール政權としては、面目上第一の解決を希望するわけでその方法として先にチュニジア地方、コルシカ島で實行された遣り方を主張してゐる、即ちド・ゴール政權が新紙幣を發行し强制的に舊紙幣と交換する、その際各個人の財産がドイツ軍占領期間中如何なる徑路で出來たかを調査し、不當利得はこれを沒收する、かくして通貨統制と肅淸工作の一石二鳥を狙つたのである、しかしこんな方法はチュニジア地方、コルシカ島のやうな人口の少いところならとも角、フランス本國で實施するためには準備だけでも數ケ月を要する

これに反し反樞軸軍が稍々違つた方法の通貨統制策をシエルブールで實施した、即ちシエルブール市民は特に銀行預金の五分の一を反樞軸軍當局の諒解を得て引きだすことができるだけで、後の預金は全部凍結されてゐる、そして引きだし得る預金も全額を米國で印刷された軍票に引き換えなければならない、現在この方法が他の地方にも實施されてゐるが、まだどの程度に實行されてゐるかは一切分らないが、いづれにしてもかうした政策は全國的に一齊に實施されなければ、反つて非常な困難を惹き起さう

ドイツ軍抵抗の意義重大

結局ド・ゴール政權としては面目を投げ打つて平價切下げを斷行せざるを得ぬこととなるだらうし、また英國もそれを希望してゐるが、さうなるとそれだけでまた勞働階級層に賃金値上げの口實を與へることとなり、もしド・ゴール政權がかかる社會不安を鎭靜することが出來なければ八月二十五日の協定で反樞軸軍は何時でもド・ゴール政權を否認することが出來ることとなつてゐるから今度はド・ゴール政權そのものの存立が問題となつて來る、また反樞軸軍としてもそんな事態になれば軍の後方が非常に不安となる譯で、勢の赴くところ全く收拾すべからざることになるかも知れない

そこで結局唯一の活路は早くドイツ軍の抵抗を擊破して戰爭を片付けることで、ここに彼らにとつて大きな危機があり、またドイツ軍抵抗の重大な意義が存する

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十九年九月廿五日(月)　第三一九〇號

同盟通信

海外電報

(220)

編輯發行人　鈴木勇伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

世界の焦点

最近米國は再び勞働罷業に惱まされはじめたやうだ、東部炭田における炭坑夫の罷業は、政府が早速接收令を發動して彈壓を加へてゐるにも拘らず漸次擴大して、次第に總罷業に發展する形勢を濃くしてゐる、その他各地の軍需工場で大小規模の罷業の發生が頻々として報ぜられ、たしかに全米は再び恒例の罷業の波に見舞はれた形である、かかる罷業頻發の一原因が勞働契約の更改期に入つたことによるのは事實だが、しかしその最大の原因は一般勞働者の戰局樂觀及び米國戰時經濟の矛盾激化の二つに求めらるべきであらう、第一の戰局樂觀はあまり說明を必要としまい、本年の罷業件數が反樞軸軍の歐洲侵攻作戰開始の直前を最低として、その後侵攻作戰が順調に展開するのに比例して漸增の步調を辿つてきた一事がこれを雄辯に物語つてゐる、われわれの特に關心を惹くのは米國戰時經濟の矛盾激化が勞働罷業頻發の形をとつて現はれはじめたことである

戰時勞働局長官デーヴイスは最近經濟事情の變化に伴ひ小鐵鋼樣式の廢棄を考慮してゐる旨の言明を行つたが、これは米國戰時勞働政策の百八十度の廻轉を示すものとして注目すべき言明である、卽ち、政府は一九四二年一月の物價指數を基準とした小鐵鋼樣式を戰時賃金政策決定の鐵則として勞働階級の猛烈な賃金引上げ要求を原則的に斷乎として拒否してきた、しかるにデーヴイス今次の聲明は政府が勞働者の壓迫に屈したことを意味するばかりでなく政府自らが戰時經濟の矛盾激化を認めざるを得なくなつたことを示すものである、かくて戰爭の長期化に伴ふ米國の國內不安は今後いよいよ激化すべく、最近の勞働不安は單にその一つの現はれに過ぎない

【目　次】

フインランド新內閣成立……二一七九
ドイツ人等を抑留……〃
ソヴエト各紙フインランド攻撃……〃
大西洋憲章を無視……〃
休戰協定は解釋次第……二一八〇
ルーズヴエルト華府歸還……〃
米國議會休會……〃
チヤチーチル、モスクワ行きか……〃
ボンベイ會談來月まで續行……〃
英軍空挺部隊の危機……〃
オランダ戰線最高潮……〃
リユーヌヴイル撤收……〃

【北　歐】

ソ芬休戰協定は死刑の宣告……二一八一
フインランド慘として聲なし……二一八一―二一八二
ボルカラの引揚げ開始……二一八二
ハクゼル容態惡化……〃
米英ソ對瑞壓迫……〃
デンマーク國內の騷擾鎭壓……〃

【友樞軸陣營】

重慶戰力增强案を勸告……二一八三
支那戰線の緊迫化を認む……〃
三國會談來週には終了……〃
獨參事官抑留……〃

【西　亞】

アラブ會議の準備進捗……二一八四

【ドイツ】

ヒ總統、クロアチア主席と會談……〃

【特　輯】

バーンズ再轉換報告……二一八五―二一八七

【資　料】

ルーマニア政府の休戰條約正文……二一八七―二一八九

フアシスト要人に死刑を求刑

（リスボン二十一日發）ローマ來電によれば反樞軸軍がローマへ進駐した際、ドイツ軍に協力スパイ的行動を示したとの廉で逮捕された元ローマ警視總監ピエートル・カルソー並びに彼の祕書ロベルト・オチエツト兩氏に對する公判は二十一日開始されたが、檢事はカルソーに對して死刑、オチエツトには懲役三十年を求刑したといはれる

昭和十九年 九 月廿五日 月曜
第 三一九〇 號

同盟通信

海外電報（第三種郵便物認可）

フインランド新内閣成立

（ベルリン二十一日發）ヘルシンキ來電＝フインランド大統領マンネルハイム將軍はハクゼル首相がモスクワにおいて腦溢血で重態に陷つた結果二十一日最高行政裁判所長ウルホ・ヨーナス・カストレド氏に對し後繼內閣の組織を委囑したがカストレド新首相は卽日次の閣員表を捧呈した

首　相　ウルホ・カストレド
外　相　カルル・エンケル（留）
同　次官　マルトーラ少將
法　相　フオン・ボルン（留）
內　相　カルロ・ヒリレエ（留）
同　次官　エミール・ヴイクトリ・ルーカ
國防相　R・ウオルデン將軍（留）
藏　相　オンニ・アルフレド・ヒルトーネン（留）
文　相　カルレ・カウピ教授（留）
農　相　ヴイルヤミ・カリオコスキー（留）
運輸相　ヴエルノ・サロヴアラ（留）
同　次官　ヴオーリ
商工相　クリスチヤン・タキー（留）
厚生相　フアゲルホーム
食糧相　K・Jエレレー（留）
同　次官　ヤロ・オーラ

ドイツ人等を抑留

（ストツクホルム二十一日發）ヘルシンキ來電＝フインランド政府は二十一日夜次の通り發表した

今回フインランド國內在留ドイツ人並びにハンガリア人を悉く抑留するに決定した、在留兩國人は二十二日午前十一時までに最寄り警察署に出頭すること

ソヴエト各紙フインランドを攻撃

（モスクワ二十一日發）ソ芬兩國間の休戰協定につき「プラウダ」紙は二十日の紙上において全面的支持を表明

今回の條項は反樞軸各國の期待に副ひ反樞軸團結の新たな證左を提供した、フインランド政府は二十五ケ年に亘り反ボルシエヴイーキ政策を遂行して來たが、ソヴエト政府は今回の戰爭の經驗に鑑み、ソヴエト聯邦西北國境、特にレニングラード市の安全を保障するであらうと述べたが二十二日に至り「イズヴエスチヤ」紙その他の各紙は一齊に「フインランド政府の休戰協定違反」を痛烈に論難してゐる、各紙の論旨次の通り

「赤い艦隊」紙＝フインランド政府は休戰條件を無視して、フインランド領土からドイツ軍の撤收を援助した、かかる事態は到底容認出來ない、ソヴエト政府としては一切の休戰條項の嚴重かつ無條件な履行を要求する

「イズヴエスチヤ」紙＝每日否每時間が貴重である、フインランド政府はドイツ軍が悠々フインランド領土から撤收するのに協力した、ソヴエト國民としてはフインランド政府が多年に亘りその地理的地位を利用し、不斷にソヴエト聯邦の西北國境線を脅威したことを忘れることは出來ない

「プラウダ」紙＝ベルリンよりの放送によれば、ドイツ軍はフインランド政府當局の協力のもとにフインランド領土から撤收したといふが、ソヴエト政府は卽時遲滯なく休戰條項を履行するやうフインランド政府に要求する

大西洋憲章を無視

（リスボン二十一日發）ニユーヨーク來電＝ソ芬兩國間の休戰條項は、北歐系の米國市民殊にノース・ダコタ、サウス・ダコタ兩州の州民に少からぬ衝撃を與へカレリア、ペツサモ、ポルカラ等フインランド國內の要衝が事實上ソヴエト聯邦に割讓されるに至つた事實に深甚な懸念を示してゐるさらに休戰協定第十三條によりフインランド軍並びに政府の要人がいはゆる戰爭犯罪人として引渡される旨規定されてゐるのに對しては大西洋憲章の自己否認だとの意見強く、特にフインランド系米國市民は近くルーズヴエルトに對し

米國大統領としての勢力を活用し大西洋憲章の精神を尊重、愛國心から祖國を防衛したフインランド市民を戰爭犯罪人として處斷することがないやう配慮願ひ度い

旨要請するとみられる

昭和十九年 九月廿五日(月)
第三一九〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

休戰協定は解釋次第

(ベルリン二十一日發)ドイツ外務省當局は二十一日正午記者團との會見でソ芬兩國間の休戰協定につき次の通り言明した

今回の休戰協定は各條項とも頗る彈力性あり、如何なる解釋でも下だすことが出來よう、たとへば戰爭犯罪人の引渡しといふことになれば、犯罪人のなかに大統領マンネルハイム將軍を入れることも出來ようし、殊に休戰條項の履行を監視する委員會の權限には實際上何等の制限がなく、ソヴエト政府が同委員會を通じてフインランド內政に相當干涉するだらうことは想像に難くない、フインランド全國民が悉く今回の協定に贊成してゐるとは絶對に考へられないが、ドイツ政府としてはドイツ國內に亡命しようとするフインランド國民を何時でも歡迎する用意がある

ルーズヴエルト華府歸還

(リスボン二十一日發)ワシントン來電=米國大統領ルーズヴエルトはケベツクにおける英國首相チヤーチルとの會談を終へて二十一日ワシントンに歸還した、彼は二十三日夜ワシントンから最初の選擧演說を全米に放送する筈である

米國議會休會

(リスボン二十一日發)ワシントン來電=米國上下兩院は十一月の大統領及び議員選擧のため二十一日から休會に入つた、議會は選擧終了後十一月十四日に再開するが、それ以前でも緊急事態が發生した場合には直ちに召集し得ることとなつてゐる

チヤーチル、モスクワ行きか

(リスボン二十一日發)英國首相チヤーチルはケベツクにおける米國大統領ルーズヴエルトとの會談を終つた後杳としてその消息を絶つたが、一情報によると彼はスターリン議長と會見のため目下モスクワへの途次にあるといはれる、右に關聯してはチヤーチル、ルーズヴエルト、スターリンの三頭會談說が依然として國際消息筋の間に傳へられてゐる

ボンベイ會談來月まで續行

(リスボン二十一日發)ボンベイ來電によれば目下マラバール丘のジンナー邸で行はれてゐるガンジー、ジンナー會談は來月まで續行される見込みといはれる、會談の最大難點となつてゐるのは所謂パキスタン原則を國民投票を俟つて行ふか否かにある樣子で、ガンジー翁が國民投票を行つた後回敎徒の獨立國建設を認めようといふのに對し、ジンナー翁はあくまで國民投票に俟つまでもなく當然回敎徒の獨立國建設を認めねばならないとの見解を固執してゐるといはれる

英軍空挺部隊の危機

(リスボン二十一日發)ドイツ軍當局の言明によれば、アルンヘム地區に降下せる英第一空挺師團はワール橋頭堡に壓迫されて殲滅に瀕してをり、新たに降下した增援部隊も大半は失はれたといはれるが、これに對し反樞軸第一空挺軍團の主力は救援を焦つてゐる模樣で前線からのU・P電報によればニムウエーゲン地區で英第二軍と合流した米軍空挺部隊はライン橋梁を無疵のまま占領せる後、アルンヘムの英空挺部隊を救援すべく一路北進を續けてゐるといはれる、ドイツへの進擊路たるアルンヘムの渡河點を支へる英軍空挺部隊の運命こそ西部戰線北段の戰鬪を決する鍵であり、戰局の焦點はこの一點に集められた感がある

オランダ戰線最高潮

(ベルリン二十一日發)DNB前線報道=オランダ中部の戰鬪は晝夜間斷なく續けられ、明かに最高潮に近づきつつある模樣だ

リユーヌヴイル撤收

(ベルリン二十一日發)總統大本營は二十一日次の通り發表した

リユーヌヴイル地區におけるドイツ軍の攻勢は有力な敵戰車部隊に遭遇、激戰の後ドイツ軍はリユーヌヴイルより東方郊外に撤退した

昭和十九年 九月廿五日（月）
第三一九〇號
同盟通信 海外電報（第三種郵便物認可）

【北 歐】

ソ芬休戰協定は死刑の宣告

（ストツクホルム二十日發）ジユダノフ軍大將を首班とするソヴエト政府のフインランド監察委員團は二十日ヘルシンキに到着するとともに直ちに外部との電信電話郵便連絡を統制、フインランド孤立化の工作を開始したが、確聞するにソ芬兩國間の休戰協定にはフインランド首相代理フオン・ボルンが十九日夜放送演説で發表した以外、次の諸條項が含まれてゐると傳へられる

一、フインランド政府が支拂ふ賠償金は三億弗に限定されず、ソヴエト聯邦その他反樞軸各國がフインランド軍の作戰行動によつて蒙つた損害をも賠償する、總額は追つて協定する

一、フインランド水域におけるドイツ軍艦船その他樞軸軍がフインランド國内に殘した軍需資材を戰利品として赤軍司令部に提供する

一、フインランド政府は反樞軸軍が戰爭遂行に必要とする一切の資材、生産品を供出する

一、フインランド政府は歐洲におけるドイツの同盟各國と國交を斷絶する

一、一九四〇年十月十一日のソ芬兩國間の條約を復活しオーランド島の武裝を解く

一、調印後二ケ月半の間にフインランド軍を平時兵力にかへす

ベルリン來電によれば、ドイツ外務省當局は今回の休戰條件をもつてフインランドに對する死刑の宣告と斷定したが、例へば「ウーン・スウオミ」紙の如きも

今回の協定にはフインランド國民が期待した考慮と和協の精神を全然見出すことが出來ないと述べフアゲルホルム社會相も「アルバイター・プラデツト」紙上で

フインランド國民は史上空前の難局に當面しようと述べてゐる

フインランド慘として聲なし

（ストツクホルム二十日齋藤特派員發）小國の身をもつて五ケ年間にわたりソ聯に對して續けられたフインランドの英雄的抗戰は遂に悲慘極みなき結末をもつて幕を閉ぢた、フインランド首相代理ボルン氏は十九日夜、休戰條件を發表するに當り「一九四四年九月十九日こそはフインランドの歷史に新たな苦い一頁を畫する日である」と悲痛な言葉で結んだが、ヘルシンキからの報道によれば十九日夜ボルン首相代理がソ聯の條件を發表した瞬間、首都の市民は聲をのんで暫したたずみ、わつと泣きふす者もあつたといふことだ

蓋しフインランドは文字通り最後の一彈を擊ち盡し最後の一兵に至るまで戰ひ抜き、國民は食ふ物も食はずに堪へ忍んだのだが、冬季戰の輝しい勝利も火の如き愛國心も愼重な和平交涉も今日の悲慘な境遇の前提に過ぎなかつたのだ、休戰條件の發表後ヘルシンキは軒並みに半旗を揭げ、新聞の號外も黑枠で緣どられ、料理店は大戶を下し街街は深い喪に沈んでゐたといふ、二十日のスエーデン紙朝刊もフインランドを憐れむと同時にスエーデン自身の新事態を憂慮、「スヴエンスカ・ダグブラデツド」紙は

條件は豫期したよりも遙かに苛酷で、まるでソ聯はフインランド灣の北岸に新たな衞星國を建設したやうなものだ

と述べ、「ダーゲンス・ニヘター」紙はソ聯のボルカラ半島領有はフインランドにとつて致命的打擊だと前提し「英雄的抗戰も愼重な和平交涉も眞の平和には似ても似つかぬ平和を齎した」と長嘆し、更に「ダーグスポステン」紙は社說でスエーデンの危險な地位を警告して次の通り論じてゐる

今回の休戰協定によりフインランドは共產主義ソ聯の屬國となる運命に陷つたが、同國は近く國家としての獨立すら喪ふことにならう、フインランドは實際には平和を得たのでもなければ戰鬪場裡から引揚げることが出來たのでもない赤軍はフインランドばかりでなく、ノルウエーの北部すら占領することにならうが、さうなればスエーデンは危險極まりなき立場に追ひやられるであらうから政府は最惡の事態に備へねばならない

他方英國の反響はスエーデンと多少異つてをり「デーリー・テレグラフ」紙や「モーニングポスト」紙は「穩健な條件」だと稱し、タイムズ紙は「フインランドは困難な事態から間もなく回復しよう」と述べてソ聯の遣り口を合理化しようと努めてゐるほか、英國がソ聯側の休戰條件を事前に承認したやうな態を裝つてゐるが、十九日の發表まで英國紙が休戰條件は豫期以上に寬大なものだらうと希望的觀測に耽つてゐたところからみても條件の詳細を事前に知らなかつたことは明瞭だ、いづれにしても英國はスカンヂナヴイア半島に對するソ聯勢力を不安がり、不快視してゐることは疑問の餘地がなく、「タイムズ」紙は二十日の社說で歐洲全土を蔽ふ强國の存在と盟邦としてのソ聯の地位との間に板挟みとなつてゐる英國の姿を極力隱蔽しようと努めて次の通り述べてゐる

ソ聯の政策は決して固定したものでなく極めて彈力性に富んでをり、フインランドやルーマニア、ブルガリア等との協定からみても、ソ聯が最も利害關係を有する歐洲の一部に對するスターリンの政策は融通無碍で著しく見透しの利いたものだ

最後に今回のソ芬休戰協定の齎らす實際上の結果についてはストツクホルム消息筋は次のやうな觀測を行つてゐる

一、ソ聯はドイツに對する戰爭遂行に有利なフインランドの重要戰略地域を悉く占領することにならう

一、ドイツ軍の武裝解除が完了するまでは、フインランド軍を武裝解除することは不可能だから結局ドイツ軍に對する戰爭に利用されよう

一、ポルカラ地方及びフインランド南部の重要飛行場の占領によりフインランド灣の制海空權は全くソ聯の手中に歸する

一、ドイツ軍は既にフインランド北部の戰略陣地を强化してゐるから獨ソ兩軍の戰鬪は一段と激化し遂にはスエーデンをも戰爭に捲き込むことにならう

またヘルシンキからの最新情報によればソ聯は二十一日ボルカラに機甲兵力を入れる豫定でヘルシンキの大旅館は十九日夜から赤軍本部に當てられるため宿泊人の立退きが行はれてゐる模樣だ、フインランド北部の戰況は混沌としてゐるが、フインランド軍の一部はドイツ軍に合流してゐると傳へられる

ポルカラの引揚げ開始　（ストツクホルム二十日發）ヘルシンキ來電＝ソ芬休戰條約に基きソ聯の租借地と決定したポルカラ地方におけるフインランド住民の引揚げは二十日から開始された、租借地域の境界はまだ明らかにされてゐないが、東部境界はエシオー灣と傳へられる

ハクゼル容態惡化　（ストツクホルム二十日發）モスクワ來電＝休戰協定締結のためモスクワに滯在中去る十四日、腦溢血に倒れたフインランド首相ハクゼルは十九日夜意識を失ひ、容態は惡化の一途を辿つてゐる旨二十日ソヴエト政府より發表された

米英ソ對瑞壓迫　（ストツクホルム十九日發）米國務長官ハルは十八日の新聞記者團會見で米國がスエーデンに對して壓迫を加へてゐる旨言明したが、スエーデン外務省當局も米英ソ三國から去る八月二十四日、ドイツとの通商關係を斷絶するやう要求した通牒を受けたつたとこの事實を認めた

デンマーク國内の騷擾鎭壓　（ストツクホルム二十日發）コペンハーゲン來電＝デンマーク駐屯ドイツ軍當局は同國内に頻發する攪亂行爲がデンマーク警察隊の積極的幇助を受けてゐる事實に鑑み、同警察隊の再組織を企圖したところ、武裝解除に向つたドイツ軍とデンマーク警察隊と衝突し、コペンハーゲン市内では王宮附近で前後七時間に亘つて市街戰が演ぜられ、同市は一時戒嚴狀態におかれたが、ドイツ軍守備兵の出動によつて騷擾は鎭壓され現地ドイツ軍當局はラジオを通じ「デンマーク國内の法と秩序を維持するため一時デンマークの警察權を停止する」旨言明した

昭和十九年 九 月廿五日(月)
第 三 一 九 〇 號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

重慶戰力增強案を勸告

＝ネルソン、ハーレー共同聲明＝

(リスボン二十日發)重慶來電＝米國大統領特使ネルソン及びハーレーは過般重慶到着以來蔣介石をはじめ重慶政權並びに在重慶米軍首腦と屢次にわたる會談を行つてゐたが、二十日兩名は要旨次の共同聲明を發表した

一、われわれは重慶到着以來重慶政權の要人及び米軍幹部と隔意なき意見の交換を遂げた結果、蔣介石に對して次の各項目を含む勸告を行ひ蔣介石はこれを受領した

一、日本を最短期間に擊破するため現在重慶地區內において利用し得る資源工業施設を總動員して重慶戰力の增强をはかる

一、重慶地區內で生產し得ない物資の供給を更に增加する

重慶はその主要工業地區を失ひ更に久しきに亘り日本軍の封鎖をうけてゐるにも拘らず、對日戰にできるだけ寄與せんと固く決意してゐる、この戰爭努力は同時に戰後における支那の工業化の基礎ともなるであらう

ネルソンはルーズヴエルトに報告のため近く米國に歸還するが、今次勸告に基く各種の工作が實施の段階に移るころ、多分本年末には再び重慶を訪れることとならう、一方ハーレーは依然として重慶にとどまり軍事使節としての任務を遂行する筈である

支那戰線の緊迫化を認む

(リスボン二十日發)支那戰線における皇軍の確實な進擊により重慶の戰略的地位は益々危急を告げるに至つた模樣だが、重慶來電によれば重慶政權の代言人張平群も二十日に至り遂に次のごとき言明を行つたといはれる

大陸における現在の戰況が重慶にとつて極めて重大化したことを否定するわけにはゆかない、重慶軍の重要軍事據點たる桂林の地位も急を告げるに至つたが、しかし重慶軍としては桂林の防備を十分固めてをり日本軍が同市に迫つたときれに大きな打擊を與へよう、一方重慶はネルソン、ハーレー兩米國使節の來訪の結果今後米國から益々積極的な援助を期待出來よう

支那大陸における重慶軍の地位が極度に惡化してゐることは、反樞軸陣營でも等しくこれを認めてをり、敵側は對日大攻勢作戰の開始を頻りに宣傳するだけに、この大攻勢の重要な一環をなす重慶が抗戰力を失つて對日戰線から脫落することを極度に恐れてゐる模樣だ、重慶訪問中のネルソンが意外に早く米國に歸還することとなつたのも重慶の事態が意外に急を告げてゐることを物語る一證左ともみられ、彼は急遽歸國後ルーズヴエルトをはじめ政府首腦部に對し、重慶の地位がすでに一刻も猶豫ならぬ點にまで追ひ込まれてゐることを報告し、對蔣援助の積極化が焦眉の急務であることを勸告するとみられる

重慶軍の戰力增强については各種の案が傳へられてゐるが、在支米軍の作戰指導權を更に擴大して重慶軍を事實上米軍の指揮下におかんとする案までも報ぜられる

三國會談 來週には終了

(リスボン二十日發)ワシントン來電＝米國務省當局は二十日次の通り發表した

ダンバートン・オークスの米英ソ三國會談は多分來る二十六日乃至二十七日をもつて終了する見込みである、米英重慶會談はこれに引續いて開催されるが、この會談は大體一週間で終ることとならう

獨參事官抑留

(ベルリン二十日發)ドイツ政府當局發表＝去る六月初旬ドイツ軍がローマを撤收した折、米軍の一將校は外交特權を犯してヴアチカン駐劄ドイツ大使館參事官ヴエムマー氏を反樞軸軍營に引致、その後某ホテルに移し、次いで六月中旬シチリヤ島タオルミナに抑留した、この國際的な慣習を無視した行動に對し、ドイツ政府は法王廳を通じて直ちに反樞軸軍司令部に抗議を申込んだが、拒否され、再三嚴重抗議を繰返した結果、反樞軸軍は同氏の釋放を約束するに至つたが、期日が來ても履行せず國際法に反して依然抑留してゐる

昭和十九年 九月廿五日(月)
第三一九〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【西 亞】

アラブ會議の準備進捗

‖波瀾萬丈を早くも豫想‖

(リスボン二十日發)アラビア民族の結集を目指すアラブ聯盟會議は愈々二十五日からカイロのエジプト王宮内で開催されることになり既に決定濟みの各國代表も三、四日中にカイロに乘込む豫定といはれる、會議にはイラク前首相ヌリ・サイドシリア首相アラー・アルビジヤリ、同外相ジヤマール・マルダン・ベイ、レバノン首相リアド・エス・サル、外相セルム・タクラ、トランスヨルダン首相タウフイク・ベイ・アブドル・フダ等を首席代表とするアラブ各國代表が出席する豫定で、目下エジプト政府はこれら代表の宿舍割當てその他會議の準備に忙殺されてゐる樣子だ

元來アラブ聯盟の結成についてはエジプト首相ナハス・パシヤ案とイラク元首相ヌリ・パシヤ・サイドならびにシリア大統領シユクリ・クワトリイの共同提案の二つがあり、前者はエジプト政府指導の下にイラク、サウジ・アラビア、パレスチナ、シリア、レバノン、トランスヨルダンの各國を含む大規模なもので、ナハス・パシヤは過去數ケ月來シリア、レバノン兩國首相及び外相と密接な連絡を保つて兩國をエジプト側に抱込まうと努めてをり、或ひは既に抱込みに成功したのではないかとみられる、これに對してイラク元首相ヌリ・パシヤの提案はシリア、レバノン、パレスチナトランスヨルダンなど舊オツトマン帝國を形成した國々をもつて大シリア國を建設し、しかる後アラビア各國の聯盟を結成しようといふのでありこの場合イラクが主導的役割を演ずるのはいふまでもない、カイロ情報によればイラク首席代表のヌリ・サイドとトランスヨルダン代表である同國首相タウフイク・アブドル・フダは既にトランスヨルダンのアマンで協議を遂げ、今回のアラブ聯盟會議で共同歩調をとるやう申し合はせてゐるといはれる

かくて來るべき會議においてエジプトを指導者とするシリア、レバノン等とイラクを指導者とするトランスヨルダンその他との二陣營が對立するのは必至とみられる、更にアラブ民族の結集については西亞各國王朝の間の抗爭或ひは宗教上の複雜微妙な關係等も考慮しなければならず、會談は極めて複雜な經過を辿るものと豫想される

一方獨自の立場をとるサウジ・アラビヤでは依然傍觀的態度をとる樣子で、イエーメンからは代表コブシが出席する豫定といはれる、アラブ諸民族の宗教的、文化的、經濟的紐帶の强化には贊成しながら反英氣運の濃化を惧れ、政治的結合には反對してゐる英國が今回の會議にどういふ態度をとるかは各方面の注目的となつてゐるが、現在までに判明したところでは英國はカイロ駐劄大使館の書記官でエジプト人を妻とするスマートを公式代表とするほか、多數の西亞專門家をカイロに派遣してゐるといはれ、また西亞進出に虎視眈々たるソヴエトはカイロ駐劄大使館一等書記官のラシユマン・サルタノフをオヴザーバーとして今回の會議に陪席せしめる豫定といはれる

【ド イ ツ】

ヒ總統、クロアチア主席と會談

ヒトラー總統は大本營においてクロアチア國家主席アンテ・パヴエリツチ博士と會見、ソ聯並びにこれを支援する米英兩國に對する兩國共同の戰爭遂行並びにクロアチア領土の保障問題に關し、長時間に亘つて懇談を遂げた、三國同盟に基きドイツ軍はクロアチア軍將兵並びにウスタシヤ黨と共にクロアチアの自由と獨立を守り拔くであらう會見の席上にはフオン・リツベントロツプ外相、カイテル元帥並びにクロアチア側からはアライペコヴイツチ外相、グルイチ將軍が列席、會談はドイツ、クロアチア兩國間の友好精神の下に行はれた、總統との會談終了後リツベントロツプ外相はパヴエリツチ主席並びに隨員と長時間に亘つて隔意なき意見の交換を行つた

昭和十九年九月廿五日（月）
第三一九〇號
同盟通信 海外電報（第三種郵便物認可）

特輯

バーンズ再轉換報告

米國戰時動員局長官ジエームズ・バーンズは九月九日、大統領ルーズヴエルトに對して軍需産業再轉換に關する長文の報告を提出した、左は白堊館から發表された右報告の大要である

政府各機關は過去久しきにわたつて、歐洲戰の終結を待ち、民需生産を開始すべく各種の案を練つてゐた、最近各機關は右に關して會議を開催した結果、再轉換問題に直接關係ある政府機關は緊密な連絡を保ち、各機關の再轉換計畫を調整、統合することとなつた、本報告はこれ等計畫の現狀を說明し、あはせて將來實施すべき措置に對する勸告を含んだものである

軍需生産削減を規定する標準

歐洲戰が終了した場合、對日戰のために生産を續行すべき軍需工場の選擇に當り考慮さるべき要素

（イ）政府の資材入手機關は過去の經驗に徵し、必要とする軍需品を注文通りの質において豫定の期日までに製造し得る如き軍需會社に對しては、戰爭が最終的に終了するまで依然としてその發注を繼續する、卽ち戰爭終結まで軍需生産を續ける會社は最も優秀な會社たるべく、その他の選擇に關する規準はすべてこれ等の優秀會社の間においてのみ適用さるるものとする、以上の認定に當つては軍需會社の規模の大小は何等その考慮の對象たらず

（ロ）戰爭終了まで軍需生産を續け得ると認定された會社に對しても、必要な生産の調整、削減はうけるべく、この場合には次の諸要素を考慮することとならう

一、軍需生産から開放する場合、第一の優先權は平常時には軍需生産に從事してゐなかつた民間會社に與へらるべくこれによつてこれ等會社の再轉換工作に便宜を與ふ、この場合にも勿論民間會社の意志は十分尊重されよう

二、政府所有軍需工場は、軍事的必要が全くなくなるまで操業を繼續すべく、操業停止の政府工場も豫備工場として留置す、但し工場が僻遠の地にあり、政府工場から解放された勞働者が直ちにその他の工場に就業し得る如き機會のない場合には、政府は臨機應變適宜の措置をとる

三、實行可能なる限り、同一産業において競爭的立場にある工場の民需生産への開放は、これを同時に行ふ

四、軍需工場乃至軍需産業の再轉換にあたつては失業者の發生を防止するために、出來るだけの考慮を拂ふ

五、さらに次の各項目に對しても適當な考慮を拂ふであらう

（A）安全の保障（B）勞働力、原料物資、一部分品、貯藏設備等の見地からする輸送問題（C）政府の負擔すべき費用（D）中小企業家の利益

六、歐洲戰の終了が發表されるや否や、政府は電報をもつて各軍需工場に對してその生産の削減額を通知すべく、業者はこれによつて遲滯なく軍需生産に最早や不必要となつた工場の一部を平常の民需生産に轉換せしめる

再轉換期における就業の援助

戰時生産から平和生産に移行する計畫を樹てる場合に、この計畫が果たして成功するか否かは、戰時生産の削減によつて解放される勞働者に適當な職業を與へ得るか否かによつて決定されよう、歐洲戰終了後長期にわたり失業者の洪水に惱まされるだらうとの杞憂はたしかに誇張されてゐる、何故なら米國は依然として日本に對する戰を繼續しなければならぬのであり、これがためには多量の軍需品を必要とするからである

戰後の失業を考慮する場合鐵鋼とか纖維工業とかいふ如き基礎産業のことはあまり憂慮する必要はあるまい、これ等は急速に民需産業に轉換し得

昭和十九年九月廿五日(月)
第三一九〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

べく、一方戰爭中抑制されてゐた一般市民の購買力が解放されて、民需生産に轉換したこれら産業の製品を購入するだらうからである、しかしある特殊の軍需産業においては、戰後ある程度の失業者を出すことはまづ不可避である

更に政府所有軍需工場の處分問題もある、政府はこれら官有工場の委託經營者に對してはそれぞれ産業再轉換計畫の樹立を要請し、大部分の者は既に具體的再轉換案を持つてゐるが、なかには未だ何ら將來の計畫を樹ててゐない者もある、この狀態に對處するため余は戰時生産局、戰時人的資源委員會、國防工場會社、過剩軍需資産局の四代表からなる特別委員會を任命した、この委員會は既に活動を開始して、各經營者と個々に面接してゐるが、その目的は經營者が政府工場を買收するか、乃至はこれを賃借して營業を繼續せんとするかその意志をたしかめんとするにある、委託經營者が將來政府工場を繼續經營する意志なき時は、委員會は右工場が如何なる民需生産に最も適するかを決定した上、同地方の法人乃至個人企業でその政府工場を買收或ひは賃借する意志ある者を發見すべく努力しよう、勿論、委員會のこれら事業は法律によつて規定された方針に從つて行はれるが、その第一の目的とするところは軍需生産が終了した場合に失業者の發生を出來るだけ防止するにある、政府工場の民間への賣却乃至賃貸に關して、民需生産への轉換を遲延させるやうな制限的規定を設ける時は、この結果失業を發生せしめることは議論の餘地がない、政府所有工場のうちでは現に數百萬の勞働者が働いてゐる、もし彼らが新たな工場が設立され或ひは新機械が裝備されるまで放置されるならば、長期にわたつて失業することは當然である、されば政府工場の機械設備はこれらを運轉する勞働力のある限り、再轉換の過渡期にあたつても操業を中止することなく、出來るだけその生産を繼續し得るやうな措置が講ぜられなければならない

戰時勞働力統制の撤廢

歐洲戰の終結と共に、現在實施中の戰時勞働力の統制諸規定がその必要性を大部分喪失するだらうことは明らかである、從つてこれらの諸統制措置は軍需生産が削減されるに伴ひ、勞働者の民需生産への轉業を促進する見地から撤廢されなければならない、この場合に、戰時人的資源委員會並びに聯邦職業紹介所は寧ろ積極的に活動すべく、また緊急生産委員會および勞働力優先委員會も依然その活動を續けることとならうが、但しこの兩委員會の機能は、多分に諮問的性質のものとならう

食糧計畫

歐洲戰の終結は軍需工業に對すると同樣、農業に對しても再檢討を加へることを要求しよう、戰時食糧長官ジョーンズは最近のうちに一九四五年度の農産計畫の目標を發表しなければならない、食糧の供給について問題となるのは次の點である卽ち、反樞軸國の勢力範圍にある地域を通じて、ソ聯の場合のみは除き、その食糧生産額は平常時の生産額を凌ぐこと約三分の一であるといふことこれである、しかのみならず、戰時の食糧豫備として蓄積された額も巨額に上つてゐる事情も考慮しなければならない、平和が訪れた時、作戰地域における豫備食糧は過剩食糧とならう、たとへば英國においては、潛水艦の活躍、空襲、不規則な海運輸送等の事情を考慮して一般市民の需要に對する豫備食糧貯藏高は、平常時の百五十萬トンに對して五百五十萬トンに增加した、この尨大な貯藏額は英本國で生産されたもの、外國市場で購入されたもの、或ひは武器貸與で輸入されたもの等等である、歐洲における戰爭が終了した時、この非常食糧貯藏額を三百五十萬トンに切り下げるとしても、なほ且つ二百萬トンが解放されることとならう

一方米國においては歐洲戰が終了した次の一年間の陸海軍食糧需要額は大體半減して四百萬トンになることが推定される、これに加へて歐洲戰域に前線豫備として相當巨額の食糧を蓄積してゐる更に戰時食糧局も武器貸與のためにこれまた相當額の食糧を貯へてをりかくてあれやこれやを合計すると約八百萬トンといふ軍需食糧が開放されることとならう、このうち小麥以外の食糧額は六百

昭和十九年 九 月廿五日(月)
第 三 一 九 〇 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

萬トンである、これに對して需要狀況は如何といふに、歐洲戰終了後の六ケ月間に陸海軍の食糧需要額は小麥を除き百二十萬トンと推定される、また救濟、復興局はこの期間に必要とする食糧の額として二百七十萬トンを豫定してゐる、かくて一九四五年の上半期においては、三百九十萬トンの需要に對して六百萬トンの供給しうべき食糧を持つといふ勘定になる、されば明年に入れば、歐洲における食糧の需要は米國の農産にあまり依存せずに十分賄ひうるやうな狀態とならう

このことは米國政府が農産物價維持のために如何なる措置を講じなければならぬかといふ問題を提起する、農産物に對する需要の減退に伴ひ、農産物の市價が政府保障價格を下廻るやうな場合には、政府はこの保障價格を維持しようとする以上過剩農産物を買上げなければなるまい、勿論、戰時食糧割當制の撤廢によつて、國內の食糧需要は增加しよう、その他學校給食或ひは各種の救濟事業に消費される食糧の額も相當量に達するだらうしかしながら、たとへこれらの事情を考慮するとしても、農産物の國內市價を維持するほど多量の食糧を消費するだらうとは考へられない、かくて米國は食糧の輸出を增加しなければならないといふことになるが、この輸出增加には多くの困難のあることを認識する必要がある、たとへば、米國における農産物價は海外の農産國における市價よりも高いのである、英國は勿論多量の食糧を輸入しなければなるまいが、米國よりも先にカナダ、濠洲、ニュージーランド、南阿聯邦など各自治領から食糧を輸入することとならう、さらにソ聯は米國から多量の機械、器具などを輸入する意向は示してゐるが、農産物その他の消費物資を輸入するやうな意向は見せてゐない

勿論諸外國における一般市民の物資消費高は米國民の消費高よりは遙かに少ない、これら諸國が十分な生產活動を開始し、同時に完全雇傭の狀態が達成されると共に、米國農産物に對する海外からの需要も增加するだらう

しかしながら遠き將來はいざ知らず、米國の直面する具體的な問題は、戰後に豫想される食糧過剩に如何に對處するかである、議會はすでに政府に農産物價維持の權限を與へ、これに關する法律を制定した、しかるにこの法律を實施するに必要な豫算の支出はいまだこれを認めてゐない、以上述べた食糧事情に鑑み、政府が農産物價維持政策を實行するためには、一九四五年において少くとも二十億弗の費用を必要としよう、よつて余は議會が食糧維持の具體的政策を決定し、これと同時にこれに必要な豫算を計上するやう希望する、戰時食糧局が明年度の各種農産物の生產割當を決定し、農産物價維持策を樹立しうるためには、今直ちに具體的措置を講じておかなければならない

資料

ルーマニア政府の休戰條件正文

ソヴエト代表モロトフ外務人民委員、ヴイシンスキー同次長、マイスキー同次長、ウクライナ外務人民委員マヌエルスキー氏、外務人民委員部第二歐洲局長ノヴイコフ氏、ヴイノグラドフ將軍、ボグジエレコ海軍少將、英國代表サー・アーチボルト、クラーク・カー、米國代表アヴリル・ハリマンは、九月十日から十二日までクレムリン宮において、ルーマニア代表パトラシュカヌ法相、內務次官ダマチヤヌ將軍、ステイルベイ公使と休戰協定について協議したが十二日交涉成立、第二ウクライナ戰線軍最高司令マリノフスキー聯邦元帥が米英ソ三國の委任に基き、右協定に調印した、協定正文次の通り

一方はアメリカ合衆國、ソヴエト聯邦、並びに聯合王國各政府、他方はルーマニア政府との間における休戰に關する協定

ルーマニア並びに軍司令部はソヴエト社會主義共和國聯邦、アメリカ合衆國並びに聯合王國その他反樞軸各國に對する戰ひにおいて自國が敗北した事實を認め、上述三同盟國各政府が反樞軸各國すべての利益を代表提示した休戰條項を受諾す、上述の基礎に基き反樞軸(赤軍を含む)最高司令部代表ソヴエト聯邦元帥R・Y・マリノフスキーは

昭和十九年九月廿五日(月)
第三一九〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

一方において反樞軸各國すべての利益を代表するアメリカ合衆國、ソヴエト聯邦、並びに聯合王國各政府によつて十分な權限を付與され、他方ルーマニア政府並びに軍司令部代表、法相L・パトラスカヌ、內務次官兼ルーマニア國王侍從D・ダマチヤヌ、スチルベイ公並びにG・ポツプは正當な全權を保持し次の條件に調印した

一、 一九四四年八月二十四日午前四時以降ルーマニア軍は一切の戰場においてソヴエト社會主義共和國聯邦に對する軍事行動を全く停止し、反樞軸各國に對する戰爭から脫退し、ドイツ國並びに衞星各國との關係を斷絶し、ルーマニア國の獨立と主權とを恢復する目的のために反樞軸各國に味方しドイツ、ハンガリア兩國に對する戰爭に參加し且つ戰爭を遂行する、以上の目的のためにルーマニア政府は少くとも歩兵十二箇師並びに附屬兵團を提供する、海軍力並びに空軍力を含むルーマニア武裝兵力がドイツ、ハンガリア兩國に對して作戰行動を遂行するに當つては反樞軸（赤軍を含む）最高司令部の全般的指導を受く

二、 ルーマニア政府並びに軍司令部はルーマニア領土におけるドイツ、ハンガリア兩國の武裝兵力を武裝解除し、且つ抑留し、更に上述兩國の市民でルーマニア領內に在留するものを抑留するための手段を講ずることを公約する（第二條附屬文書參照）

三、 ルーマニア政府並びに軍司令部は軍事情勢に基き必要とする場合、赤軍その他反樞軸各國に對し何れの方向たるとを問はず、ルーマニア領土內において自由に移動する便宜を保證する、ルーマニア政府並びに軍司令部は右移動に對し、陸上水上、並びに空中における自國の交通機關を以て且つ自らの經費において出來る限りの援助を與へる（第三條附屬文書參照）

四、 一九四〇年六月八日、ソヴエト、ルーマニア兩國政府間の協定によつて確立されたソヴエト社會主義共和國聯邦並びにルーマニア國間の國境を回復する

五、 ルーマニア政府並びに軍司令部は掌中にある一切の赤軍並びに反樞軸軍俘虜、抑留市民並びに強制的にルーマニア國內に拉致された市民をそれぞれ自國に歸還出來るやう反樞軸軍（赤軍を含む）司令部に即時引渡す、本條項調印の瞬間から歸國に至るまでルーマニア政府並びに軍司令部は自身の經費においてすべての赤軍並びに反樞軸軍俘虜、强制拉致された市民並びに抑留市民及び罷免された人々、及び避難民に對し十分な食糧、衣服、衞生上の諸要求に合致する醫療並びにこれらの人々がそれぞれ自國に歸還するための輸送上の便宜を提供する

六、 ルーマニア政府は市民權並びに國籍に關係なく、反樞軸各國のためにする諸活動乃至反樞軸各國の主張に對する同情、または人種的起源の故に監禁されてゐる一切の人々を即時釋放し、以上の理由に基くすべての差別的法制並びに諸制限を撤廢する

七、 ルーマニア政府並びに軍司令部はルーマニア水域に碇泊するドイツ並びに衞星各國の艦船その他ルーマニア領內に存在するドイツ並びに衞星各國の一切の軍需器材を反樞軸軍（赤軍を含む）軍司令部に鹵獲品として提供する

八、 ルーマニア政府並びにルーマニア軍司令部は、ドイツ、ハンガリア兩國に所屬し、乃至兩國人もしくは兩國の領土內または兩國によつて占領されてゐる地域內に居住する人々に所屬する貴重品、その他いかなる形式の財產の輸出または沒收も反樞軸軍（赤軍を含む）司令部の許可なくしては、これをしないことを公約する

九、 ルーマニア政府並びにルーマニア軍司令部は、現在何人の處分權限に屬するとを問はず、反樞軸各國に現在または嘗つて所屬し、現在ルーマニア諸港灣に所在する船舶を、ドイツ、ハンガリア兩國に對する戰爭期間中、反樞軸各國の全般的利益のために、反樞軸軍（赤軍を含む）司令部の使用に供する、爾後これらの船舶はそれぞれ所有主に返還するものとす、右資產を反樞軸軍（赤軍を含む）司令部に引渡す瞬間まで、資產に對するあらゆる損害並びに破壞に關しては、ルーマニア政府が全面的に實質的責任を負ふ

昭和十九年 九 月廿五日(月)
第 三 一 九 〇 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

十 ルーマニア政府は反樞軸軍（赤軍を含む）司令部がその機能を遂行するにあたつて必要とするルーマニア通貨を定期的に支拂ひ、必要ある場合、反樞軸軍（赤軍を含む）司令部の發令する指令に基きルーマニア領土内における工業上、輸送上の諸機關、通信機關、發電所、公共事業並びに同施設、燃料、食料その他の有價物件及び勞務の使用を保障する、ルーマニア商船はルーマニア水域におけると外國水域におけるとを問はず反樞軸各國の全般的利益に使用するため、反樞軸軍（赤軍を含む）司令部の運營支配をうけるものとす

十一 ルーマニア軍の軍事行動により、並びにルーマニア軍のソヴエト聯邦領土占領により、ソヴエト聯邦の蒙つた損害は、ルーマニア政府においてソヴエト聯邦に賠償するものとす、しかしルーマニア政府が單に戰爭から脫退したばかりでなく、宣戰を布告し現にドイツ、ハンガリア兩國に對し、戰爭を遂行してゐる事實に鑑み、各當事國は上述の損害に對する賠償に當つてルーマニア政府が全額を支拂はず、一部即ち六ケ年に亘り物資（石油製品、小麥、木材、船舶、各種機械類等）をもつて總額三億弗を支拂ふことに同意する、更にルーマニア政府は戰時中、他の反樞軸各國並びに各國人の財産、資産が蒙つた損害について賠償金を支拂ふが右金額は後日決定する

十二 ルーマニア政府は反樞軸軍（赤軍を含む）司令部の指示する期間内に、戰爭中ソヴエト領土内から撤去した國家、公共並びに協同組合各組織企業團體乃至個人市民等に所屬する一切の有價物件並びに資材、例へば工場並びに工場施設、機關車、鐵道の車輛、トラクター、自動車、歷史的記念物、博物館内の貴重品その他の物資は完全に良好な狀態においてソヴエト聯邦に返還することに同意する

十三 ルーマニア政府はルーマニア領土における反樞軸各國並びに反樞軸各國人のすべての法律上の權利並びに利益を、戰前に存在した通りの狀態に回復し、完全に良好な狀態において彼等の資産を返還することを公約する

十四 ルーマニア政府並びに軍司令部は戰爭犯罪人の逮捕、審問につき反樞軸軍（赤軍を含む）司令部と協力することを公約する

十五 ルーマニア政府は政治的たると軍事的たると反軍事的たるとを問はず、すべてルーマニア領土内におけるファシスト的形態のヒトラー總統支持の諸組織並びに反樞軸各國、特にソヴエト聯邦に對する敵對宣傳を遂行するその他の機關を即時解散することを公約する

十六 定期並びに不定期文獻のルーマニア國内における印刷、輸入、配布、演劇並びに映畫の上映、放送局、郵便、電信、電話の運營はすべて反樞軸軍（赤軍を含む）司令部の合意に基いて遂行する

十七 ルーマニア國内の民政は國境線から、各地形に應じ異るが、五十粁から百粁以上離れたすべての地域において復活される、但しルーマニア各行政機關は平和と安全を再び確立する見地から反樞軸軍（赤軍を含む）司令部が今回の休戰諸條項の實施を確保する目的をもつて公布する訓令を遂行することを公約する

十八 媾和條約の締結まで反樞軸軍（赤軍を含む）司令部の全般指導と命令との下に、反樞軸各國を代表して今回の條項の履行を統制しかつ管理するために反樞軸管理委員會を設置する

十九 反樞軸各國政府はトランシルバニア地方に關するウイーン裁定を無效と見做し、トランシルバニア乃至その大半はルーマニア政府に返還し追つて媾和實現の確認をまつべきものとする、ソヴエト政府は赤軍が以上の目的のためにドイツ、ハンガリア兩國に對し、ルーマニア軍との共同軍事行動に參加することに同意する

二十 本條項は署名の瞬間より效力を發生する各ロシア語、英語、ルーマニア語をもつて四通を作製し、ロシア語並びに英語を正文とす、一九四四年九月十二日アメリカ合衆國、ソヴエト社會主義共和國聯邦、聯合王國各政府の權威により並びにルーマニア政府及び軍司令部の權威によつてモスクワにおいて調印する

大正十五年十月廿七日第三種郵便物認可　昭和十五年十月廿六日印刷納本　昭和十九年九月廿六日發行　昭和十九年九月廿六日(火)　第三一九一號

同盟通信

海外電報

(221)

編輯發行人　岩淵辰雄　東京都麹町區日比谷公園二番地　社團法人同盟通信社

世界の焦点

ケベック會談で太平洋反攻作戰に關する如何なる戰略が極つたかは勿論秘中の秘だが、比島に對する米軍艦爆機隊の爆撃により本格的な反攻作戰がいよいよ開始されたことは儼然たる事實だ、ガダルカナル島に橋頭堡を確立してから玆に二年、米軍は大東亞の内郭線に突込んで來たわけだ、中部太平洋からのニミッツ麾下の攻勢、比島方面に對するマッカーサーの進撃に呼應し年末頃からマウントバッテンの東南アジア軍もビルマ、マライ半島東印度地區に對して反攻作戰を開始するであらう

しかし今度のケベック會談を契機として、東亞反攻作戰に對する米英兩國の立場が可成り際どく對立してゐることが端なくも暴露された、米國では上院議院チヤンドラーやアイゼンハウアーの政治顧問ウイリアム・フイリップス等が英國政府は東亞反攻作戰に本腰を入れてゐないと非難してゐるのに對し、英國では「タイムズ」紙や「デーリー・テレグラフ」紙など、米軍特に米國海軍部内では眞珠灣の報復は一手に引受け、他國のお節介は御免蒙るとの意向が强いではないかと指摘してゐる、そこでチヤーチルが「日本軍に對する反攻作戰の面白い仕事を米軍だけに任せるわけには參らぬ」と逆説法で口を滑らしたから耐らない、英國人は一時わきかへり、ロイター電報によれば首相の放言は怪しからぬ、そんなに米軍が東亞反攻を一手に引受け度いならやらせてみたらよからうと、いふ投書が續々新聞社に舞込んでゐるといふ、下院議員のスチーヴン・キング・ホール中佐も例の「ニューズ・レター」誌上で重慶軍や重慶政權を當てにして大陸から日本反攻を企圖する「暴擧」を取上げ、スチルウエルを扱き下ろしてゐる

【目　次】

米朝野支那戰況を深憂……二一九〇
チヤーチル、カナダで休養か……〃
【米　國】
ルーズヴエルト新聞會見……二一九一
對日戰輕視を憤慨……二一九一―二一九二
日獨國民に憐憫は不要……二一九二
兩洋の島嶼を領有せよ……〃
共産黨ルーズヴエルト支持……〃
兵員損害四十萬を突破……〃
軍需工場にまた罷業……〃
【反樞軸陣營】
フランスを繞り米英また相剋……二一九三
英のビルマ作戰を攻撃……〃
ネルソン華府に歸還……〃
ソマヴイル華府へ……〃
反樞軸軍海軍勢力……〃
【東　南　歐】
ハンガリア平原の決戰近づく……二一九四
希臘で勃軍を利用……〃
英軍事使節ソフイアへ……二一九五
ルーマニア全權代表を任命……〃
赤軍勃要人を逮捕……〃
【北　　歐】
芬、帝國との國交を斷絶……〃
獨、芬からの引上げ中止か……二一九五
ソ聯休戰委員團到着……〃
芬、外國公館を壓迫……〃
洪公使館員、芬から引上げ……〃
スエーデン國王は健在……〃
【イベリア】
米國バルセロナ使用か……〃
スペインの自殺政策……二一九六
葡首相共産黨勢力に宣戰……〃
【亡命政權】
ベルギー内閣總辭職……〃
【英　　國】
爆撃による損害百十二萬戸……二一九七
流星彈攻撃續く……〃
【ド　イ　ツ】
國内の食糧狀況……〃
【樞　軸　國】
スロヴアキア臨時外相……〃
【軍事情報】
スピットフアイアー12……〃
【資　　料】
米國陸軍の一部復員案……二〇九八―二〇九九
米國兵士の憂鬱……二〇九九

昭和十九年 九 月廿六日(火)
第 三 一 九 一 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米朝野支那戰況を深憂

＝打擊蒙むるニミツツ攻勢＝

(ストツクホルム二十二日發)太平洋戰が決戰段階に入つた今日、支那大陸の戰況が重慶軍並びに米軍にとつて著しく惡化してゐる事實は米國朝野の至大の關心を蒐めてゐるといはれる

米軍の損害を憂慮

現在米國が最も憂慮してゐるのは桂林地區からの米空軍基地の後退がニミツツ攻勢に及ぼす影響で、ニューヨーク來電によれば重慶中央通訊社の特派員は米國内では桂林からの撤退が支那東海岸への到達を狙ふニミツツの作戰に直接惡影響を與へると共に、シエンノート麾下の第十四航空部隊による東支那海日本の船舶に對する攻擊を著るしく阻害するものとして極度に憂慮してゐる旨報じてをり、さらに軍事情勢の惡化に伴ふ米國内の反響を次の通り傳へてゐる

大半の米國人は重慶の抗戰力强化のためには先づ内部相剋を解決しなければならぬとの見解を抱いてをり「ニューヨーク・タイムズ」或ひは「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙のごときは、一は重慶のために他は米國のために何よりも重慶の統一を圖るべきだとの見解を屢次にわたつて發表し重慶の統一こそ對日戰の終了を早め、また米軍の損害を減少せしめるであらうと述べてゐる、重慶の軍事力についても悲觀派はすでに重慶軍は戰爭圈外にあるとしてゐるが、支那問題に通曉してゐる論者は若し重慶軍が適當に裝備され且つ訓練され、しかも政治的改革が行はれるならば、依然重慶はアジアの反攻において當然擔はねばならない役割を演ずることができようと述べてゐる

更に對重慶援助問題に關しては、海港のないこと或ひはビルマ公路再開の遲延等の事實はあるにしても、米國は可能な一切の手段を盡して即時重慶援助を增大すべきであるといふのが米國輿論の支配的傾向で、ただ「ニューヨーク・ポスト」紙の如き左翼的色彩の濃厚な一派は重慶だけでなく中共にも援助を與へねばならぬとの意見を吐いてゐる

傀儡化を企圖

以上の報道にみられる如き米國民の憂慮は同時に米國政府並びに軍部でも抱かれてをり、スウエーデン紙「ニアー・ダグリヒト・アレハンダ」の報道によれば米軍の首腦部は重慶軍の裝備改善と再訓練を直接米軍によつて行はうと計畫してゐるといはれ、更にこれがため重慶軍の「顧問」の位置にあるスチルウエルをして重慶軍の强化に當らせようと企圖してゐると傳へられる

以上要するに米國の眞の狙ひは直接には重慶の人的資源利用による米軍の損害輕減並びにニミツツの中央突破作戰に呼應する支那大陸の航空基地の推進にあるが、間接には重慶を米國の完全な傀儡と化せしめた上で東亞の安定勢力に仕立て上げようと狙つてをり、この點からも重慶の内部的統一の實現を焦つてゐることは明らかだ、米國の憂慮がいかに深刻であるかは二十二日發表された米國外交協會の左の會報によつても明らかに看取される

現在日本軍は南支における米軍の航空前進基地に對して着々と進擊してゐる、桂林が實際に陷ちた場合には支那東海岸の沖を航行する日本の船舶は恐らく第十四航空部隊による攻擊を免かれることになり、また支那奥地に基地を有するB29機隊は日本々土爆擊の中繼基地を喪失することにならう、しかし最も重要なことは今回の日本軍の進擊が重慶の軍事力に與へる影響であらう、もし日本軍が海岸地區から組織化された重慶軍を奥地へ追ひ込むのに成功すれば、重慶軍は米國侵攻軍を援助するための效果的な牽制作戰を展開出來なくなるであらう

チヤーチル カナダで休養か

(ストツクホルム二十四日發)ルーズヴエルトがケベツク會談を終へてワシントンに歸任したのにチヤーチルだけは未だロンドンに歸還しないためモスクワに赴いたのではないかとの報道さへ流布されてゐるが「サンデー・ピクトリアル」紙は二十四日次の通り報道してゐる

チヤーチルは兎角健康勝れず側近は可成り心配してゐる樣子だ、餘り仕事が忙がしくその上ケベツクへの途中大西洋が荒れたため疲れが出て目下カナダで休養してゐる、數日休養すれば歸國の旅程に上ることが出來よう

昭和十九年九月廿六日(火)
第三一九一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米國】

ルーズヴエルト新聞會見

(リスボン二十二日發)ワシントン來電=大統領ルーズヴエルトは二十二日ワシントン歸還以來、初の新聞記者團會見を行つたが支那問題、國際安全機構問題をはじめ當面の內外問題につき見解を發表した、記者團との一問一答內容左の如し

△支那問題

問　支那大陸戰線の狀況は眞に絶望的と思ふが如何

答　軍事的見地から大陸戰線の戰況は滿足であるといふことは出來ない

問　大統領特使ネルソンが旣に重慶を出發して米國に向つてゐるが、歸米の用件は何か

答　ネルソンの歸米は新聞でみただけで、彼から直接まだ報告に接してゐない、ただネルソン及び軍事使節ハーレーは蔣介石と數次にわたる會談を遂げ、しかもこの會談は順調に進んでゐた

△眞珠灣事件

問　最近眞珠灣事件が蒸し返されて各方面で種種論議の的となつてゐるが、キンメル、ショート兩名に對する軍法會議を至急開く意向はないか

答　旣に陸海軍が特別委員會を任命して事件の眞相を調査中だから、この委員會の報告を待つて態度をきめたいと思ふ

問　眞珠灣攻擊の初まる前に米國政府は日本艦隊の行動について報告をうけてゐたとの報道があるが事實か

答　かかる報道は總べて調査委員會に移牒してその眞僞をたしかむべきである、今後もかうした報道は數多く現はれることと思ふ

△イタリア救濟問題

問　イタリアの現狀に對する所見如何

答　イタリア國民を私刑にするといふやうなことは望ましくない、余はケベツクでチヤーチルとの間に今後漸進的にボノミ政權に各種の權限を與へてゆかうと話合つた、これによつてボノミ政權にイタリア國民の福祉をはかる責任を與ふべく、またイタリアの向上發展にもボノミ政權の乘出すことが望ましい、一方イタリア國民が餓死するのを放任しておくわけにもゆくまい、余はイタリア救濟については近くなんらかの發表を行ふ筈である

△ドイツ處分問題

問　ケベツク會談ではドイツ處分問題も協議したか

答　勿論大いに協議した、しかし協議の內容はまだ發表出來ない

△戰後安全機構問題

問　ダンバートン・オークスで開かれてゐる米英ソ三國の戰後安全機構會議は遲延に遲延を重ねてゐるが、重大な暗礁に乘あげたのではないか

答　かうした會議は午前十一時に召集して午後四時には圓滿な結果を得て終了するといふわけにはゆかない

對日戰輕視を憤慨

(リスボン二十二日發)歐洲における最近の戰局の展開に伴ひ、國民の大多數が戰爭は最早や大體終つたかのごとき態度をとつてゐることに對しては、太平洋戰域において日本軍との間に苦しい戰を續けてゐる前線將兵の上に相當の影響を與へてゐるもののごとく、最近太平洋の前線を視察したU・P通信社特派員は二十二日パール・ハーバーからの要旨次のやうな電報を打つてゐる

現在ペリリユー島では言語に絶する激戰が續けられ、米國海兵隊は全く一吋の土地を得るためにも血を流してゐる、しかるに米國の本土では太平洋の戰がいかに苦しいかは全く顧慮しないものの如く、これが太平洋戰線の將兵の氣持にどんな影響を與へるかは容易に想像がつくだらう

昭和十九年九月廿六日(火)
第三一九一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

太平洋戰域における戰ひが上陸作戰にせよ或は機動艦隊による砲爆撃にせよ、米國軍の受けた損害は大きかつたが、幸ひに今までのところでは失敗に終つたことがないので、米國民の間に日本撃破の如きは全く容易なことだとの誤つた氣持を植つけるに至つたやうだ

しかるに太平洋の戰の眞相をよく知つてゐる者はタラワ、サイパン、更に今度のペリリユーにおける戰闘が明らかに示した如く日本軍は文字通り最後の一人まで頑張る軍隊であり、しかも米國軍はいまだ日本軍主力とは一度も接觸してゐないのであつて、かかる軍隊を相手とした今後の太平洋戰がいかに困難なものであるかを頻りに強調してゐる、即ち彼等はたとへ歐洲戰が終了しようとも、米國としては決してその戰爭努力を緩めるべきでないと主張し、米國にとつての脅威はドイツより寧ろ日本であることを指摘してゐる、太平洋前線の將兵も歐洲戰爭の終了を慶祝せんとしてゐる本土の國民の態度に憤慨してをり、歐洲における戰局の展開にばかり心を奪はれて太平洋戰を等閑視勝ちな銃後の國民の態度を物足りなく思つてゐる、更にドイツをやつつけてしまひさへすれば日本撃破の如きは朝食前の仕事だと考へる態度に最も憤慨してゐるのだ

日獨國民に憐憫は不要

(リスボン二十一日發)ボルチモア來電=陸軍次官パターソンは二十一日ボルチモアで次の通り演説した

日獨兩國に對する和平條件に感傷主義は禁物である、戰爭が彼らの敗北に終つた時、日獨兩國民は戰爭の罪を少數の指導者に轉嫁しようとするかも知れないが、戰爭の責任は兩國民の全部が負ふべきであつて、彼らに憐憫の情を垂れるやうなことがあつてはならない

兩洋の島嶼を領有せよ

(リスボン二十二日發)シカゴ來電=上院外交委員長コナリーはシカゴにおける在鄕軍人大會に臨み次の通り演説した

米國は今次大戰中に米國軍が占領したあらゆる島嶼を戰後も領有すべきである、これは敵國の領土は勿論、反樞軸國の領有する島嶼にも適用さるべく、米國は各國に對して將來の平和を維持するために太平、大西兩洋に海、空軍基地を獲得する決意であることを通達すべきである

共産黨ルーズヴエルト支持

(リスボン二十二日發)ニューヨーク來電=共産主義政治教育聯盟會長ブラウダーは二十二日同聯盟が十一月の大統領選擧でルーズヴエルトの四選を支持する旨發表した

兵員損害四十萬突破

(リスボン二十一日發)ワシントン來電=陸軍長官スチムソンは開戰以來の陸海軍兵員損害が四十萬一千七百六十人に達した旨二十一日發表した、內譯は次の通り

△陸軍(九月六日現在)

合計	三三八、七四三名
內譯	
戰死	六四、四六八名
戰傷	一七七、二三五名
俘虜	四八、七二五名
行方不明	四八、三一五名

△海軍(九月二十一日現在)

合計	六三、〇一七名
內譯	
戰死	二五、一五二名
戰傷	二三、八六七名
俘虜	四、四六六名
行方不明	九、五三一名

軍需工場に又罷業

(リスボン二十二日發)フイラデルフイア來電=有數の球軸承け工場スエーデン系S・K・F社の産業別組織會議所屬勞働者約三千五百名は賃金契約問題で二十一日から工場內に坐り込み罷業を開始し、同工場の作業はほとんど完全に停止された

昭和十九年 九月廿六日(火)
第三一九一號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

フランスを繞り米英又相剋

(リスボン二十一日發)ロンドン來電によると、二十日の「デイリー・メール」紙はフランスにおける米國商業資本の暗躍を攻撃した要旨左の論文を掲げたといはれる

米國資本は反樞軸がフランスの占領地域を擴大してゆくや、そのすぐ後に從つて權益の扶殖に躍起となり、しかもこれは大部分英國の犧牲において行はれ、たとへば英國が純粹に軍事的必要から起した事業も米國の資本家によつて忽ち私益機關に變へられてしまふ、米國軍がフランスに上陸した時これと共に米國の有力會社の代表が赤十字の制服で從軍し、反樞軸軍がパリに入城するや彼等は忽ちその制服をぬぎ棄てて商賣人に戻り、パリに支店を設置するといふ有樣だつた、かくの如き事態が招來された一つの原因は反樞軸軍司令部の不公平な態度である、卽ち司令部は米國人に對してはどしどしフランス入國の許可證を發給するのに、英國人に對しては何故かこの發給を手控へてゐる、かかる事態が放置されれば米英兩國の親善關係にも重大な惡影響を及ぼすべく政府は直ちに眞相を調査して適當な措置を講ずべきである

「デイリー・メール」紙の右論文は果然米國に大きな反響を與へた模樣で、ワシントン來電によれば國務省當局は「デイリー・メール」紙の主張する如き事態なしと言明、また米國赤十字社支配人ギブソンと米國の實業家が赤十字社員に變裝してフランスに乘込んだとの說は全く事實無根だと聲明した

英のビルマ作戰を攻撃

(リスボン二十一日發)ワシントン來電=共和黨下院議員カルヴイン・ジョンソンは二十一日下院において英國軍がビルマ戰線でも徒らに自國の利益のみを追求し米、重慶軍と協力しない事實を指摘し、次の通り攻撃した

英國軍は東亞の大作戰において重慶軍の協力を拒否したが、理由は重慶政權が英帝國の機構に一大脅威を與へるやうになりはしないかと恐れたためである、東亞の戰局が反樞軸軍にとり極めて惡化した當時、英軍當局は東南アジア軍副司令官スチルウエルの追出しを企圖したほどであつたといはれる、蔣介石は英軍に對し重慶軍二ケ軍團の提供を申入れたにも拘らず、英軍はこれを拒絶したためにビルマは僅かの兵力の日本軍により脆くも陷落し、援蔣路は完封されるに至つた、蓋し英軍はビルマを重慶軍に防禦させるよりはむしろ日本軍に占領させてしまつた方がいいと考へてゐたに相違ない

ネルソン華府歸還

(リスボン二十四日發)ニューヨーク來電によればルーズヴエルトの特使として重慶を訪問してゐた米戰時生産局長官ドナルド・ネルソンはルーズヴエルトに報告のため重慶を出發、ワシントンに歸還したといはれるがネルソンと行を共にした少將ハーレーは重慶に留つてゐるものの如くである

ソマヴイル華府へ

(リスボン二十二日發)ロンドン來電=英國海軍省は前東洋艦隊司令長官海軍大將ジエームス・ソマヴイルが今回パーシー・ノーブルの後任としてワシントン駐劄英國海軍省首席代表に任命された旨二十二日發表した

反樞軸海軍勢力

(リスボン二十三日發)ロンドン來電=「ジエーン海軍年鑑」の一九四三—四年版は反樞軸海軍の勢力について次の通り述べてゐる

一、目下就役中の米國海軍空母は百隻以上、英國海軍の空母勢力は四十隻である

一、四萬五千トン級戰艦二隻は本年中に進水すべく、これにより米國海軍の戰艦勢力は二十四隻とならう

一、反樞軸海軍は全部で八千隻以上の上陸用舟艇を持ち、このうち米國海軍の舟艇は本年一月現在で四千百六十七隻であつた

一、フランス海軍の戰艦リシユリエー、ジヤン・バール兩號は目下米國で改裝中であり、米英兩國は更にこの他にも數隻の軍艦をフランス海軍のために建造中である

昭和十九年 九月廿六日(火)
第三一九一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【東南歐】

ハンガリア平原の決戰近づく

(ブダペスト二十二日小田特派員發)赤軍の包圍圈壓縮とともにハンガリアは現在祖國防衞の最大危機に直面してゐるが、同時にこれは直接ドイツ本國防衞戰の危機である、赤軍現在の狙ひは東北からカルパチヤ山脈を攻撃すると共に、最も自然障碍の少ない地點からハンガリア大平原に達して戰車戰を展開し、最少の犧牲でカルパチア山脈の自然障碍を突破するにあり、この點から最も重要視されてゐるのは南部正面の防衞である、卽ちトランシルヴアニア南部におけるマリノフスキー軍大將麾下の赤軍約三十個師團はコロイフアルを攻撃すると共に山地を避け、ムレスル河溪谷に沿つて西進し、アラド前面に至り、同方面に進撃したドイツ軍、ハンガリア軍と對峙二十日アラド南方の要衝テメソアラに達したと傳へられるが、ここからブダペストまで二百八十キロは坦々たる平原で、自然の要塞としてはテイツサ河があるだけで防衞には非常な苦心を必要とする、ドイツのラジオ解說者デイツマール將軍も同方面に對する赤軍の攻撃が近いとみてゐるが、赤軍は同方面に戰車部隊の集結を急いでゐる樣子で、結局數日以內に同戰線にハンガリア平原の運命を賭する決戰が展開されよう、更にこの作戰に關聯し鐵門附近で北進及び西進の機會を窺ふマリノフスキー將軍麾下の赤軍とハンガリア、クロアチア國境に蠢動してゐるチトー軍があり、兩軍は鐵門附近の基地で連絡したと傳へられる、これ等の存在はまたマケドニア方面に進出態勢を示すトルブーヒン元帥麾下の赤軍及びブルガリア軍と共に、ギリシヤ方面のドイツ軍北上作戰に相當な困難を與へよう

この情勢に鑑みハンガリア政府はドイツ軍の援助增强を要請したといはれるが、ドイツ政府としては當然出來る限りの兵力を割くだらうし、ハンガリア軍の士氣は旺盛だと傳へられるが結局の勝敗は同方面にドイツ軍が集結出來る兵力にかかるとみるべきであらう、更に注目すべきはハンガリアに對する作戰の準備として、またハンガリア政府の戰線離脫を促進させるため、ソヴエト空軍が一週間前から國內の重要都市交通線の爆撃を開始したことである、反樞軸空軍もこれに呼應しイタリア本土と赤軍前線の基地を往復する追羽子爆撃を始めてをりブダペスト爆撃も次第にソフイア、ブカレストを屈伏させた恐怖爆撃の性質を帶び始めた、ベルリンの如く堅固な防空施設のない東南歐洲の都市に對しては、かかる爆撃が民心に大きく影響することは已むを得ないが、ブダペスト市民はなほ懸命に頑張り續けてゐる

希臘で勃軍を利用

(リスボン二十二日發)ルーマニア及びブルガリアのドイツ陣營からの離反の後、ユーゴー南部、ギリシヤ及びエーゲ海方面に駐屯するドイツ軍の歸趨が注目されてゐたが、この方面のドイツ軍は着々撤收計畫を進め、ロンドンからのU・P電報によればドイツ軍は既にペロポネスス半島並びにイオニア諸島から撤退を完了したといはれる、一方現在なほギリシヤ本土並びに隣接島嶼にドイツ軍守備兵が駐屯してゐる模樣だがこれに對し英國艦隊はエーゲ海中部を制壓、クレタ島のドイツ軍の孤立を策すると同時に赤軍はユーゴー領內のチトー軍と連絡してドイツ軍の退路遮斷を企圖、更にドイツ軍當局筋の指摘するところによれば、ブルガリア軍はソ勃休戰條約通りにエーゲ海方面のギリシヤの占領地域から引揚げてをらず、却つてブルガリア軍の增援軍がエーゲ海沿岸のカヴアラ港に到着、ブルガリア軍の撤收したのは僅かにマケドニアの西部からだけで、しかも撤收に際してはギリシアの共產匪に武器を提供してゐるといはれ、ドイツ軍當局筋は以上の事實をもつて赤軍がギリシヤ攻勢開始に際しブルガリア軍を利用せんとする下心を示すものだとしてゐる

昭和十九年 九月廿六日(火)
第三一九一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

英軍事使節 ソフイアへ

(リスボン二十二日發)ロンドン來電によれば英國陸軍省は二十一日夜「軍事使節をソフイアへ派遣し一行は既に同地へ到着した」旨發表したといはれる、更に米英兩國の軍事使節は既に數日前から東トラキアで活動を開始したと傳へられる

ルーマニア 全權代表を任命

(リスボン二十一日發)ブカレスト來電=ルーマニア政府は二十一日首相サナテスコ將軍司會の下に閣議を開催、ソヴエト政府との休戰協定締結後の諸情勢につき協議した後、赤軍代表マリノフスキー元帥と交渉するため陸軍大將ボトペアス及び内務次官ダマシアヌを全權代表に任命した

赤軍勃要人を逮捕

(ストツクホルム二十二日發)モスクワ來電=ソヴエト政府はブルガリア駐屯赤軍最高司令部が前ブルガリア攝政ボグダン・フイロフ、キリル大公及び元首相ドブリ・ボジロフの三名を逮捕した旨二十二日正式に發表した

【北 歐】

芬、帝國との國交を斷絶

(ベルリン二日發)D・N・Bのストツクホルム電報は二十二日次の通り報道してゐる

フインランド政府は二十二日日本政府との外交領事關係を斷絶した

獨、芬からの引揚中止か

(ストツクホルム二十二日發)「ストツクホルムス・チドニンゲン」紙の報道によればドイツ軍は突如北部フインランドからの引揚げを中止したばかりか逆にペツアモ地區に增援軍と重裝備を續々派遣、新たな戰略態勢を整へてゐると傳へられる

ソ聯休戰委員團到著

(ストツクホルム二十二日發)ソ聯休戰委員團は二十二日中にヘルシンキに到着する筈だが、委員長は一般の豫期したやうにジユダノフ軍大將でなく、元ヘルシンキ駐剳公使オルロフ氏といはれ「ダゲンス・ニユヘター」紙のヘルシンキ電報によれば、フインランド側は「よい前兆」とみて樂觀してゐると傳へられる

芬、外國公館を壓迫

(ストツクホルム二十二日發)フインランド政府は二十二日ヘルシンキ駐剳各國公使館と本國との連絡を遮斷する旨發表した、しかしてスウエーデン政府は以上の外交特權侵犯措置に對し近く嚴重抗議を提出するはずである

洪公使館員芬から引揚げ

(ストツクホルム二十二日發)フインランド、ハンガリア兩國斷交に伴ひヘルシンキ駐在ハンガリア公使館員は本國へ引揚げることとなり二十一日夜同公使館員十一名は空路ストツクホルムに到着した

スエーデン國王は健在

(ストツクホルム二十二日發)コペンハーゲン來電=スエーデン政府は二十一日次の通り言明した

過般來國王クリスチアン十世が逮捕されたとの噂が流布されてゐるが、國王はアマリエンブルグ城に滯在してゐる

【イベリア】

米國バルセロナ使用か

(リスボン二十二日發)九月五日附「デーリー・メール」紙マドリード電によれば、リスボン外交界の關心を集めたフランコ統領と米國大使カールトン・ヘイズ四日の懇談の内容は次の諸問題だつたといはれる

一、マドリードに至る米國の大西洋空路

一、フランスその他占領地に對する食糧及び醫療品の供給のためのバルセロナ使用に關するスペインの協力

スペインの自殺政策

(ベルリン二十二日發)「ドイツチエ・アルゲマイネ・ツアイトウング」紙は最近のスペイン外交政策並びにスペイン各紙の論調を批判して次の通り論じてゐる

スペインの指導層にとつて英國の色眼鏡を外し自分の眼で世界をみることは益々困難になつてくるやうだ、スペイン紙の中には歐洲におけるボルシエヴイズムの危險を直視するを欲せず、フランコ治下のスペインがピレネー方面でも北阿でも赤化の脅威に曝されてゐるといふ事實を看過する傾向のものがある、彼らが欲するところはトルコと同樣英國の驥尾に附して、戰爭終結の曉には金權主義者の傍にささやかな席を占めるため一切を犧牲に供するといふことに盡きるらしい、半官の一紙は內亂當時ドイツの援助がなかつたら自分の新聞さへ存在し得なかつたのだといふ事實を忘れて、ドイツに疑惑の眼を向け、東歐洲にボルシエヴイズムを引き入れたのはドイツの責任だといふ奇怪な言葉を吐いてゐる、それに對する答は斷じて否だ、ドイツはスペインのごとき自殺的政策を模倣するつもりは少しもない、英國はスペインに英國支配下の地中海における役割を與へると約束しようとしてゐるが、この地中海も既にボルシエヴイストの海である、ただボルシエヴイストの地中海における英國の番犬として(しかも極めて短期間)勤め得るにすぎない、極めて短期間——卽ちピレネーから、北阿から、地中海沿岸から來るボルシエヴイストがモスクワの指令を實踐に移しフランコとフアランヘ黨とスペインの甦生とを沒し去らうとする時までのことである

葡首相共産黨勢力に宣戰

(リスボン二十二日發)ソ聯のバルカン中歐への進出はイベリア半島にも相當な波紋を投じて、ポルトガル內でも共產黨の活動が最近目立つて活潑になつたが、これに對するポルトガル政府の態度は極めて明白で、今回の內閣改造にもそれが十分窺はれる、サラザール首相にとつてはポルトガルの憲法及び政治組織は殆んど自らの手で作つたも同樣で、これを守り拔かうといふ氣持ちは當然であり、共產主義のポルトガル侵入に對しては假令軍隊を動かすともこれを防遏せんとの決意固きものがある、再組閣完了に際して首相は「ポルトガルの主權と名譽とを賭けて、權益擁護のために、われわれが決意を固むべき日が刻々に近づきつつある」との意味の聲明を發したが、これには單に國際關係のみならず、內政的意味が多分に含まれてゐると解される

同時にサントス・コスタ陸相は「陸軍は國家の權益と主權を守るためには如何なる使命をも完遂する用意がある」といひモニス內相もまた政府の「主要目標は政治運動の鎭壓にある」と單刀直入的に赤化分子に對する挑戰聲明を行つてゐる、內相のこの方針は直ちに實行に移されて、すでに多數の煽動家や共產系指導者が逮捕されてゐるが、これはサラザール政權の誕生過程からみても當然の措置といへよう、共產主義者どもは外國勢力に依存して現政權の崩壞を企圖してゐるが、現狀では殆んど成功の餘地はない

彼等はまた陸軍を手中のものとしてサラザールと軍部との離間を策してゐる樣子で、最近「米國將校有志」の署名ある怪文書を流布して暗躍してゐるが、この有志とは最近軍を追はれた不平分子であり、國民にも軍隊にも全く信用なく、共產黨のこの作戰は今のところ成功してゐないやうである、しかして新內閣は國內肅淸の目的を達成すれば前內閣の穩健政策に復歸することを聲明してゐる點からみて一種の過渡的內閣であるが、この內閣が多くの積極政策を抱いてゐる點からみて、戰局及び國際情勢とは別箇にポルトガルの政情の今後には幾多の興味ある發展が期待される

【亡命政權】

ベルギー內閣總辭職

(リスボン二十二日發)ブリユツセル來電=去る八日ロンドンからブリユツセルに移つた亡命ベルギー政權首相ユーベール・ピエルロ及び全閣僚は二十二日總辭職した

昭和十九年九月廿六日(火)
第三一九一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【英　國】

爆撃による損害百十二萬戸　(ストックホルム二十二日發)「タイムズ」紙の報道によれば復興相ウールトンは十六日初めて開戰以來爆撃或ひは流星彈攻撃によるロンドンの家屋損害の總數を發表、次の通り述べた

復興省はこの冬二萬名を徴發或ひは修理した家屋に住まはせ、さらに同數以上を一萬棟の小家屋に收容する計畫を進めてゐるが、ロンドンから疎開した市民は政府が「警報解除」を確認するまで疎開地域に留まつてもらひたい、開戰以來ロンドンの建物が蒙つた損害は次の通り

一、爆撃による損害(一九四〇—四四年)
全壞　八四、〇〇〇棟、破損　一四二、〇〇〇棟(內四二、〇〇〇棟は住宅として使用出來ない)

一、流星彈による損害、全壞　二三、〇〇〇棟、破損　一、一〇四、〇〇〇棟(內大半は損害輕徴)

一、合計、全壞　一〇七、〇〇〇棟、破損一〇七、〇〇〇棟、修理完成七〇〇、〇〇〇棟、家屋修理に當つてゐる勞働者數は九月十二日現在で六萬二千名、その他の建物の修理には一萬五千人更に六千人が家屋取除き作業に從事してゐる

流星彈攻撃續く　(リスボン二十三日發)ロンドン來電によればドイツ軍は二十二日夕刻からロンドン地區及びイングランド南部に流星彈攻撃を開始したと傳へられる

【ドイツ】

國內の食糧狀況　(ベルリン二十一日發)週刊「ダス・ライヒ」誌は二十一日の誌上で開戰以來六箇年の國內における食糧狀態に關し次の通り述べてゐる

政府は食糧計畫を立てるに當り、ドイツ軍の占領下にあつた廣大な地域は單に附隨的資源と考へ、大體において國內生產を基調とした、新たに獲得した地域を食糧難に對する保障と考へてならないことは政府當局も屢々警告したところである、原住民及び占領軍の需要並びに交通狀態を考へると、かかる廣大な地域も單に未來の食糧庫としての意味しか持たない、フランス並びにウクライナ地方など食糧の過剰な土地があつた代りにフインランド、ベルギー、ギリシヤなどでは食糧が不足してゐたが、最近これらの國々へドイツから供給する必要はなくなつた、ドイツ軍占領下のバルカン地方及びイタリア北部は過剩地域で、單に駐屯ドイツ軍だけでなく遙かドイツ本國にも食糧を供給し、一方ノルウエー政府はドイツ政府から食糧を輸入し、代償としてドイツ政府に魚類を輸出してゐた、ドイツ政府は戰局の起伏を考慮し、ドイツ本國の土地をドイツ國民の榮養の基とするといふ賢明な策をとつて來た、開戰以來六年目の今日國民は困難な事情と重い負擔に當面してゐるが、榮養といふ點ではさして大きな犧牲を必要としないドイツ軍は今や戰局を一變しようと努力してゐるが食糧難によりこの努力に支障を來すやうなことは斷じてあるまい

【樞軸國】

スロヴアキア臨時外相　(リスボン二十二日發)ブラテイスラーヴア來電＝スロヴアキア藏相ニコラス・プリンツインスキーは今回臨時外相を兼攝するに決定した

【軍事情報】

スピットファイアー12　(チューリツヒ二十二日發)「エキスチエンジ・テレグラフ」紙のロンドン特派員はスピットファイアー12に關し次の通り報道してゐるスピットファイアー12は上昇率高く一萬二千米上昇する、その二段過給器附ロールスロイス・グリフオン發動機は最高出力二千馬力、プロペラーは五翅、武裝としては二十粍加農砲四門、または加農砲二門と十二・七粍機關砲二門、或ひは加農砲二門と七・五粍機關銃四挺を裝備してをり、戰鬪爆撃機としては二百五十瓩の爆彈を携行する

昭和十九年 九 月廿六日(火)
第 三 一 九 一 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

資料

米國陸軍の一部復員案

「デイリー・テレグラフ」紙九月七日

米國陸軍省は九月七日將來對獨戰終了後實施さるべき陸軍一部復員案を發表した、これによつて觀るに歐洲戰爭終了後陸軍航空隊の大半を含む數百萬の兵士と數百萬トンの武器裝備を東亞に移す手筈は整つてゐるやうだ、すなはち一部復員案發表に際しての陸軍省聲明は目下太平洋で戰はれてゐる種類の戰爭に適した將兵を十分な數だけ陸軍に殘留せしめるのは軍事的にどうしても必要だと述べてゐる、この案によると除隊は最初小規模且つ徐々に行はれ、特に航空兵及び特務兵は太平洋戰線に廻すため餘り多數動員を解除されないが、その後地上部隊及び新規徵集兵から交代兵員が得られるやうになるにつれて、相當數を復員出來るやうになる、更に聲明は最も公平な復員の方法は部隊單位でなく個人單位とし妥當な基準によつて選擇を行ふにあると述べてゐる

勤務成績による除隊順

將來對獨戰が終了した場合綜合勤務成績等が陸軍兵士全員に配布されるが、それには復員の優先順位を決定すべき次の四點を書込むやうになつてゐる、(一)一九四〇年九月十六日以後の勤務月數を基礎とする勤務成績、(二)海外勤務月數を基礎とする海外勤務成績、(三)論功行賞を基礎とする戰鬪成績、(四)家庭事情(十八歲以下の子女三人までを考慮する)

各點の價値を如何に定めるかは歐洲における戰鬪停止後發表されるが、勤務成績票によつて過剩人員と決められた兵士は米國に集められ、全國十八箇所の陸軍復員事務所を通じて除隊されるが自分の家に一番近い地點で除隊されるやう十八箇所のうち一を選ばせるのである

普通の米國兵が除隊になる可能性はどの位あるか?極く少い、陸軍兵力の大半は太平洋に廻されるであらうし、歐洲においても大規模な占領軍を要する、歐洲戰線の兵士は太平洋戰線の兵士よりも復員の可能性が多いか? 否、全復員者はあらゆる戰線から公平に選ばれるであらう、海外では「過剩兵員」の資格を獲得した兵士は直ちに歸國除隊し得るか? それは恐らく困難であらう、船舶は太平洋戰線への補給に廻されるから、船舶がきて有資格兵士を米國に運ぶまでには數箇月待たされるであらう、假りに陸軍から二十萬人が動員解除になるとして、勤務成績と家庭事情を基礎として最も資格のあるものから順番に二十萬人除隊するのか? 否、特に太平洋戰線に必要な兵士は勤務期間が如何に長くとも動員解除にはならない陸軍各兵科のうち一が他よりも多くの人員を復員することがあるか? まづ最初に一番多くの減員を行ふのは步兵、砲兵等の地上部隊であらうが、そのうち若干は航空部隊その他に廻され、他のもつと勤務成績のよい兵士の交代兵として訓練されよう、なんらかの特別成績によつて兵士が自動的に除隊の資格を得ることがあるか? 否、太平洋戰線の必要が先づ第一に考慮され、成績は個々の兵士が太平洋で必要とされてゐないと決つた後に始めて問題となる

樂觀論を戒む

一方、米國海軍は前途に最大の困難が橫はつてゐることを認めてゐるから、少しも緊張を解かずに大擴張計畫の實施に邁進するであらう、フオレスタル海軍長官は本日このことを明確に述べ、更に進んで對日戰の山は見えたと信ずる樂觀論者に冷水を浴せた、曰く「明年米國海軍は量質共に從來よりもずつと強力な日本空軍と戰はねばならぬであらう」この主張を裏書きするものとして海軍長官は次の三點を擧げた、(一)日本は今や狹い戰線へ航空兵力を集中し得る、(二)日本は明かに航空兵力を貯へてゐるから、將來の戰鬪にはこれまでよりも多數の航空機を使用し得るであらう、(三)日本の航空工業は廣範圍の技術的進步を遂げたから、今後日本軍飛行機の火力、武裝、速力航續距離、搭載量等は著しく改善されるだらう

昭和十九年九月廿六日(火)
第三一九一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

フオレスタルはさらに次のやうに述べた
米國海軍機も勿論改良されたが、今日われわれは一年前ほどの技術的優位を日本に對して持つてゐない、日本は從來のものより遙かに優れた艦載機を三種類使つてゐる、日本の基地飛行機特に双發飛行機も改良され、陸軍戰鬪機は設計上著しい進歩を見せてゐる、さらに反樞軸軍が日本々土に接近するに從つて日本側の基地の防備も嚴重になるであらう

米軍兵士の憂鬱

「タイム」誌九月十一日號

アトランチツク・シチーの砂濱の散歩道を幾人かのがつしりした兵士がむづかしい顏をして默々と歩む、市民が向ふからきても眼を逸せてしまふ同じ兵隊でもまだ前線に出たことがないと見るとなるべく顏を合せない
彼等は陸軍航空隊の操縱士と乘員でもう何度も戰爭をした古强者だ、丁度三週間の休暇を終へ、新しい部署につくためアトランチツク・シチーの再動員事務所にやつてきたところだ、だが彼等はそんなことで思ひに沈んでゐるのではない、彼等の一人はいふ「わしらは軍隊へ歸るのを何とも思つちやゐません、むしろもう一度前線へ行くのをとても喜んでゐる位ですよ、今度休暇で歸つたお蔭で除隊になつた時驚かなくて濟みます」
陸軍では何とかして彼等に合理的な說明を與へようとした、彼等と同じやうに前線に行つてきた將校達は、銃後國民が多少だらけてゐるやうに見えることがあつても、それを餘り嚴しく責めてはならぬといつて聞かした、米國國民は戰時生産の偉大な記錄を作つたではないか？ それに人間は結局人間だといふことを忘れてはいけない
だが、彼等歸休兵の眼にはやはり苦惱の色が消えない、とりわけ若い兵士ほどさうだ

キスカへの手紙

陸軍牧師は若い兵士の話を何でも聞いてやるのが役目だ、その一人が歸休兵の憂鬱の謎を解き明したやうに思つた、若い兵士達が何故彼等の結婚は破綻したかを話すのを聞いて驚いたさうだ、牧師はかういつた「米國の女性は前線の將兵を裏切つたのです、くる兵隊もくる兵隊も女房を離緣するといひます、何とか繕を戻せないものかといつても先づ駄目です、歐洲で八十回も九十回も命がけの爆擊に參加した人達が、自分の家庭が不貞のため滅茶苦茶になつたのを知つた時どんな氣がするかを考へれば、私などがいくらすべてを許せといつても聞かないのは當り前でせう」
彼の聞いたのでは前線に出掛ける前に考へなしにした結婚が駄目になつたといふ場合が多い、しかし皆が皆さういふわけではない、「キスカにゐたある兵士は十年も連れ添つた女房から離婚して呉れといふ手紙を受取つたのです、またガダルカナルの第十三航空隊の操縱士などは、一年半も會はない女房から突然手紙がきたので開けて見ると妾はお腹が大きくなりました、わけはお歸りになつてからお話しします、と書いてあつたといふのです、これも長い間連れ添つた女房ださうです」

幾萬里の彼方

以上は恐らく歸休兵のうちでも割合に少數の者の抱く惱みかも知れない、だが若い兵士のよそよそしい滿ち足らぬ眼差しの蔭には、牧師に打明けても仕方のないやうな他の不滿も潛んでゐた、シエンノート麾下の在支重爆隊に二十一ケ月勤務したといふある爆擊手は語る「ニユーヨークへ歸るとマンハツタンは本當と思へない位綺麗だつた、初めの數日は素晴しかつた、大勢の人が集つてきて取卷く、どこの戰線へ行つてたのですか？ 支那です、話を聞かせて下さい、俺は話してやつただが皆兵隊の苦勞話なんか聞きたがらない、皆の聞きたいのは三文小說のやうな冒險談なんだ、奴等には俺のいはうとすることがわかりもしない、何とかしてわからせようとしたが駄目だつた、戰爭に行つたことがないんだから、痛くも痒くもないのは當り前さ」
「人は酒場や盛り場や活動寫眞にたかつてる、奴等の生活は本當にこれつぱかしも變つちやゐない、戰爭の苦勞なんざあ幾萬里も先のこつた、ところで或る日俺が地下鐵に乘つてると何處かの野郎が隣の野郎に、もう二年も戰爭が續いたら參つちまいますなアといつてゐた」
アトランチツク・シチーの海岸通りのうららかな陽光の下で、國民は前線將兵が歸國した時彼等との間にどんなに深い溝が出來るかをみたのであつた

大正十五年十月二十日第三種郵便物認可
昭和十九年九月廿六日(火)第三一九一號

同盟通信

海外電報索引

(自九月一日 至九月十五日)

東京都麹町區日比谷公園二番
發行所 株式會社 同盟通信社
發行編輯印刷人 萩野伊八

項目	號數	頁
【反樞軸陣營】		
米英泥試合再開	二〇一	一九八七
對印度皮革輸出でも悶着	〃	〃
反樞軸陣容整備	二〇二	一九九八
モントゴメリー元帥に上る	〃	〃
プラドレー昇格	〃	〃
歐津反樞軸軍新政治顧問	〃	〃
ネルソン、モスクワ着	〃	〃
米英首腦近く會談せん	二〇〇一	〃
ワルソー蜂起問題紛糾	二〇〇六	〃
フイリツプス問題重大化	二〇〇七	〃
英國公使の引揚げを要求	〃	〃
米軍軍需品の莫大なる損耗	二〇一一	〃
戰後機構案を解剖す	二〇一八—一九	〃
ソ聯の歐洲支配を恐る	二〇一九	〃
ル・チ會談の中心議題は對日戰	〃	〃
勃との休戰交涉中止	〃	〃
東南アジア軍の內訌を暴露	二〇二〇	〃
英の機密電報を米暴露	〃	〃
フイリツプス問題重大化	二〇二八	〃
在英國民會議派も參加	〃	〃
難問山積の米英首腦會談	二〇三〇	〃
對日戰が首題か	〃	〃
ネルソン重慶へ向ふ	〃	〃
白國內軍總指揮官任命	二〇五	〃
亡命關軍司令安任命	〃	〃
國際的反響を憂慮	二〇六	〃
波首相と數次の會見	二〇三八	〃
ワルソー蜂起軍降伏	二〇三九	〃
蜂起軍見殺しはソ聯の意圖	二〇四〇	〃
ソ聯、飽くまで抗辯	〃	〃
印度政策で米英對立	二〇四七	〃
米英首腦會談ケベツクで	〃	〃
米使節、蔣介石と會談	二〇四八	〃
駐英米大使館員のスパイ事件	二〇五〇	〃
ド・ゴールの前途多難	〃	〃
ド・ゴール政府の初閣議	〃	〃
日本撃破を協議せん	二〇五八	〃
四國會談を開催	〃	〃
第三戰術航空部長更迭	〃	〃
モスクワで四國會談開く	二〇六七	〃
反樞軸軍和蘭に入らず	〃	〃
米英首腦會談の議題	二〇七二	〃
スエズ管理横問題化	〃	〃
英首相ケベツク到着	二〇七七	〃
大平洋戰略を協議せん	〃	〃
スチルウエル、米國へ	〃	〃

項目	號數	頁
調停委員會を提唱	二一〇	二〇七七
ド・ゴール政權改造	〃	〃
小磯聲明一大痛棒を與ふ	〃	二〇八五
對日短期作戰を豪語	〃	〃
波亡命政權を繞る對立激化	〃	〃
米英泥試會續く	二一一	二〇八七
ケベツク會談愈々始まる	〃	二〇八八
ハーレー、蔣介石と會見	〃	〃
米英兩國首腦續々ケベツクへ	〃	二〇九〇
ド・ゴール政權新閣僚	〃	〃
パリ反政府分子逮捕	〃	〃
佛殘存艦隊勢力	〃	〃
イラン經由對ソ援助狀況	〃	〃
ケベツク會談本筋に入る	二一二	二〇九七
對日反攻は米國への義務	〃	二〇九九
反樞軸軍の對獨謀略攻勢	〃	二一〇〇
皮算用委員會設置を考慮	〃	二一〇二
米國で航空會議	〃	〃
ワルソー蜂起軍八割を失ふ	〃	〃
マシグリを英國大使に任命	〃	〃
大平洋作戰最高司令任命せん	二一三	二一〇七
反樞軸ルーマニア休戰協定成立	〃	二一〇六
波亡命首相等イーデンと會見	〃	〃
續々名士を逮捕	二一三	二一一二
ダフ・クーパー、パリへ	〃	〃
昔變らぬパリの町	〃	〃
パリのないない物づくし	〃	〃
【東南歐】		
ハンガリア內閣の性格	二〇一	一九八八
ルーアニア裏切の內幕	〃	一九九二
祖國を防衛せん	二〇二	一九九七
ドイツ公使館を占領	〃	〃
ソ聯再び洪を恫喝	〃	一九九八
ソヴエト公使勃首相と會見	〃	〃
洪新內閣の戰爭施策	二〇〇二	〃
勃軍占領地域から引揚げ	〃	〃
勃內閣總辭職	二〇〇三	〃
勃首相桂冠の辯	二〇〇六	〃
米英兩國との交涉も中斷	〃	〃
勃軍占領地域から引揚げ	〃	〃
戰局と政局今まさに重大	二〇〇九	二〇〇一〇
クロアチア內閣改造	〃	二〇一〇
土勃兩國間の國境閉鎖	〃	二一一〇
勃內閣の顏觸れ	二〇一四	二〇一七
勃新內閣成立	〃	二〇二三
セルビア、獨との協力を强調	〃	二〇三一
洪政府も娛樂禁止	二〇三五	〃

洪新首相盟邦に親電……〃
和協的演説も水泡……二〇六
勃新首相の外交政策……〃
スロヴァキア内閣更迭……〃
羅、洪との斷交……二〇六
赤軍東南歐洲の制壓を急ぐ……二〇六
勃、ソ聯に和議申入れ……二〇七
羅前副首相をオデツキへ護送……〃
ソ聯の威嚇から對獨斷行……二〇八
勃、政府各國と斷交……〃
羅要人悉くオデツサへ……〃
勃、米英との休戰を焦る……〃
勃ラジオ聽取禁止……〃
遂に宣戰を布告……二〇九
宣戰布告の要旨……〃
赤軍勃領土に入る……〃
ブルガリア進駐を發表……〃
ブルガリア政府とも交渉開始……〃
ソヴエト代理公使歸く……〃
ソヴエト政治委員羅國へ……〃
ソ聯更に强硬要求か……二一〇
勃内閣總辭職……〃
勃新内閣成立……〃
勃攝政更迭……〃
フイロフ、攝政會議を辭す……〃
羅、休戰條件發表……〃
バルカンへの宣傳工作……〃
ドイツ公使銃殺さる……二一一
羅領赤化工作着々實施……〃
勃新内閣の顔觸れ……〃
勃に親獨政府誕生……〃
ハンガリア國内は秩序整然……〃
洪も根こそぎ動員……〃
ユダヤ人をも徵用……〃
ドイツ公使と會見……〃
クロアチア首席逮補か……二一二
洪國に對する赤軍の攻勢……二一三
洪國政府檢閲强化……〃

【ドイツ】

新たな革命的活力……二〇一
われ等飽くまで戰ひ拔かん……〃
戰ひ拔け、そして待て……〃
一切の劇場を閉鎖……二〇二
「B・B・Z」紙戰時停刊……〃
持て！　磐石の信念……〃
スロヴアキア國内の叛亂鎭定……〃
ナチ黨に防空の任務……〃
殺人的電波兵器出現か……〃
撤收の用意あり……二〇四
國内の地下軍需工場……二〇五
ライン地方疎開……〃
瑞典が利益代表……二〇六
芬の前途暗澹……〃
ゲーリング元帥、ム統帥と會見……二〇七
西部戰線の戰果……〃
根こそぎ動員更に徹底……二〇八
勃と斷交……〃
大使急遽歸國……二〇八
獨芬兩國公使夫々歸國……〃
國民試練の秋至る……二〇九
九發明家を表彰……〃
西部獨軍司令官モーデル元帥……二一〇
ボルシエヴイズムの脅威を說く……〃
バルカンの動きソ聯の筋書通り……〃
質の優位劣勢を補ふ……二一一
更に八名に絞首刑……二一二
宣傳班員も新兵器で奮戰……〃
セザンブル砲臺指揮官に勳章……〃

【米國】

「重慶をいぴる者」……二一〇
衡陽失陷の影響を認む……〃
海軍長官歸國……〃
日本の抵抗增大せん……〃
空母の現勢力を誇稱……〃
戰時動員長官辭職か……〃
アルミニウム生産削減……〃
大統領選擧演說……〃
英軍の印緬作戰を攻擊……二一二
海軍の現有勢力……〃
勃の休戰申入れを發表……〃
軍需勞働者の離業激增……〃
對中南米貿易制限緩和……〃
動員解除法案下院通過……〃
炭坑罷業擴大……〃
軍需生産の遲滯を警告……〃
在米印度人の反英運動……二一四
陸軍の死傷……〃
海軍の損害……〃
盛世才の罷免を重視……〃
大統領勞働祭布告……〃
對外貿易制限緩和……〃
ゴム生産局廢止……〃
政府軍需工場を處分……〃
軍需工場でまた罷業……〃
軍需産業勞働力依然不足……〃
勞働罷業件數激增……〃
海軍戰艦建造再開……二一六
對ソ屈從外交を攻擊……二一七
フイリツプス問題を更に論攻……〃
炭坑罷業擴大……〃
第二十航空隊參謀長更迭……〃
早くもパリ駐劄大使を選任……〃
八月中造船高……〃
上半期經濟活動……〃
大型輸送船進水……〃
陸軍一部復員計畫發表……二一八
海軍は復員せず……〃
眞珠灣事件に重ねて駁言……〃
フイリツプス問題で米英對立か……〃
大統領特使を辭任か……〃

昭和十九年 九月廿六日(火)
第三一九一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

戰後機構問題は政爭外……〃
食糧割當一部緩和……〃
大統領重要軍事會談召集……二〇九
三長官と最後の打合……〃
フォード爆撃機工場に大罷業……〃
デユウイ第一回選擧演説……二〇七〇
ウイルキーの國際機構論……〃
民需生産制限撤廢せん……〃
國際報導自由交換決議案……二〇七一
罷業各地に蔓延……〃
海軍兵力の增强を企圖……二一〇
デユウイ孤立主義清算……〃
大統領首腦者會談續行……〃
國際カルテルを非難……〃
バーンズ再轉換聲明……〃
全地域に及ぶ罷業の波……〃
軍部の內訌を暴露……二〇八二
前線復歸を嫌惡……〃
開戰以來の兵員損害……〃
重爆機生産高……〃
八月中飛行機生産高……〃
八月中造船高詳報……〃
米使節會談續行……〃
デユウイ本格的選擧戰開始……二一一
勞力不足緩和せず……〃
B29工場の罷業騷ぎ……〃
共和黨メイン洲で大勝……二一一
ルーズヴエルトの落選を主張……〃
英炭坑業の內情暴露……〃
海軍百三十萬人を訓練……〃
戰後減稅案……〃
對重慶空輸狀況……〃
宋美齡ニューヨーク到着……〃
眞珠灣事件調査開始……〃
龜遂艦ノックス號近く進水……二一一〇
英國の言質をとれ……二一一三
對日作戰を攻撃……〃
世界の武力支配を示唆……二一三
眞珠灣事件責任者追求……〃
潛水艦「ガドジョン」號沈沒……〃
輸送機墜落……〃

【米洲】

タイムズ特派員を取調べ……二〇一
亞國前大統領軟禁さる……二〇二
エ國、フアラン(黨員彈壓……二〇四
エ國、米との電信協定廢棄……〃
墨、英蘭會社接收問題解決か……〃
亞首相重大演說……二〇七
亞陸相失業問題を憂慮……〃
亞國を再び誹謗……二〇九
亞國、攪亂分子を彈壓……〃
亞國米洲委員會脫退……二一〇
ボリヴイアもソ聯と國交開始……二一一
メキシコ大豪雨……〃
米洲諸國の團結を提唱……二一二

〃
墨政府外國石油利權接收を發表……〃

【英國】

チヤーチル歸還……二〇一
流星彈に對策なし……二〇二
政界、ソ波紛爭憂慮……二〇四
大戰以來の人的損害百萬突破……〃
空軍少將成都へ……〃
トルコ駐獨大使更迭……二〇六
流星彈攻撃再開……二〇七
米國への逆貸與狀況……〃
流星彈に關する決算報告……二〇八
ロンドンの疎開取止め……〃
軍首腦協議……二〇九
下院任期延長……〃
イーデン、日本擊破を豪語……二一〇
石炭飢饉深刻……〃
一週間の戰費一億一千萬磅……〃
ロンドン民心引締めに腐心……二一二
流星彈による死傷發表……二一三

【濠洲】

國民投票の結果……二〇一
首相對日戰强化を豪語……二〇二
明年度の豫算案……二一〇
米兵永住を申出づ……二一三

【北歐】

英軍の連絡機墜落……二〇一
芬、羅土兩國との連絡停止……二〇二
芬前藏相外交委員に……〃
瑞典海軍明年度豫算案……二〇三
芬遂に休戰、首相釋明に努む……二〇四
重大な犧牲を要求……〃
洪新首相戰爭完遂を强調……〃
洪供給相死去……二〇五
芬政界緊張す……〃
芬首相重大演說……〃
フインランド國會の表決……二〇六
芬政府に通牒を手交……〃
停戰命令を公布……二〇七
洪、武力防衛を決意……〃
芬國會和平交涉につき審議……〃
芬和平使節六日出發……〃
芬國會、政府を信任……〃
赤軍停戰協定を無視……〃
瑞典國會、十月開催の豫定……〃
カレリア芬住民引揚げ……二〇八
瑞典中立維持……〃
獨兵・軍需品の瑞典領通過停止……二一〇
瑞芬兩國交涉を開始……二一一
英人特派員に退去令……〃
瑞丁通商協定更改……〃
赤軍、獨軍芬撤收を阻害……二一五

【西亞】

イラン內閣總辭職……二〇一

一九九〇
二〇〇一
〃
二〇〇四
〃
二〇二一
〃
二〇六
二〇五二
〃
二〇五七
二〇五八
二〇七二
〃
二〇八四
〃
一九九〇
二〇〇一
二〇八四
二一一一
〃
一九九一
二〇〇二
〃
二〇〇三
二〇〇一七
〃
二〇二四
〃
〃
二〇二八
二〇二九
二〇四一
二〇四七
二〇四九
〃
二〇八
二〇六一
二〇八四
二〇九一
〃
二一一五
〃
一九九二

イラク内閣改造……二〇二　一九九七
イラク、ソ聯と國交開始……二一一　二〇九二
通信檢閲の撤廢を要求……〃　〃

【軍事情報】
獨の新ロケット機ME二六一……二〇一　一九九二
ドイツ空軍の新銳機……二〇二　二〇〇二
P47「サンダーボルト」の武裝……〃　〃
P61「闇夜の寢婦」……二〇三　二〇一三
V一號は取外し自在……〃　〃
反樞軸軍の新燒夷彈……二〇五　二〇三一
ドイツ軍のコンクリート船……〃　〃
双子飛行機南英攻撃……〃　〃
マラリヤ豫防劑DDT……〃　〃
英軍の火焰放射器……二一一　二〇九二
獨「虎王」重戰車使用……二一二　二一〇三
米軍ロケットで離艦距離縮少……二一三　二一一五

【特　輯】
近代戰の花形ロケット兵器……二〇一　一九九三
米國軍需生産の轉換（上）……二〇二　二〇〇三
米國軍需生産の轉換（中）……二〇三　二〇〇五
數字からみた戰時下の米國（中）……二〇四　二〇〇六
米國軍需産業の轉換（下）……二〇五　二〇〇七
米英兩國の戰費の源泉……〃　二〇三六
コンクリート艀舟の大量生産……〃　二〇四二
米英兩國の戰爭目的とソ聯……二〇六　二〇四五
米國官有軍需工場の處分……〃　二〇四六
反樞軸軍の空中攻勢……二〇七　二〇五三
リスボンだより……二〇八　二〇六二
世界戰局の現段階（下）……二〇九　二〇六六
世界戰局の現段階（續き）……二一〇　二〇八五
アジアにおける米國の將來……二一一　二〇九三
燃え上るアジア……〃　二〇九五
勃のいかがはしい掛引……二一二　二〇九六
米國のヘリコプター……〃　二一〇四
強引なアルゼンチン壓迫（上）……二一三　二一一四

【亡命政權】
希政權また改造……二〇二　一九九七
希副首相辭職……〃　〃
波政權の和協覺書を發表……二〇三　二〇〇七
スロヴアキア軍司令罷免……二〇四　二〇一七
波政權八方塞がり……二〇七　二〇四八
對英ソ關係惡化に波政權狼狽……二〇八　二〇五九
ワルシヤワ蜂起軍を繞る紛擾……〃　〃
白政權プラツセルに還る……二〇九　二〇六八
蘭艦隊長官倫敦訪問……二一一　二〇九〇
希政權伊本土到着……二一二　二一一二

【重慶政權】
ソ聯への友交的意思表示……二〇二　二〇〇〇
ベルートの公館昇格……二〇三　二〇一三

【北　阿】
ブルガリア代表カイロに到着……二〇一　二〇〇一

【印　度】
ガンジー、ジンナー近く會見……二〇二　二〇〇一
ガ翁ジンナー會談九日から……二〇三　二〇〇七
ガンジー翁を見張り……二〇九　二〇六八
ガンジー、ジンナー會見……二一〇　二〇八四
回印兩巨頭第二次會談……二一一　二〇八八
兩巨頭會見詳報……二一二　二一〇三
印回兩巨頭第三次會談……二一三　二一〇八
ガンジー翁會談續行……〃　二一一三
ボンベイ埠頭の爆破事件調査……〃　〃

【イベリア】
葡國政府閣議を開く……二〇三　二〇〇七
ポルトガル內閣一部改造か……二〇五　二〇三一
葡新內閣顏觸れ……二〇七　二〇四九
葡首相主權の確保を聲明……二〇九　二〇六七
フランコ將軍米國大使を引見……二一〇　二一〇二

【歐洲戰局】
ヴェルダン撤收……二〇三　二〇〇八
ドイツ軍新兵器か……〃　〃
獨長距離砲猛威を振ふ……〃　〃
ドイツ軍の綜合戰果……〃　〃
ポーランド叛軍の處分……〃　〃
反樞軸軍大規模作戰失敗……二〇五　二〇二七
國境線に敵を邀ふ……〃　〃
白國境全線激闘……〃　〃
西部戰線で獨軍の抗戰强化……二〇八　二〇五七
パ・ド・カレー激戰……〃　〃
シエルド河口獨軍反擊……〃　〃
ミューズ河畔決戰……〃　〃
西部戰線、決戰目睫の間……二〇九　二〇六八
ジークフリート線總攻擊……〃　〃
東南歐洲の情勢緊迫……二一〇　二〇七八
快速調のバルカン進出……〃　二〇七九
反樞軸空軍、獨西部を爆擊……二一二　二〇九八
連日獨逸本國を爆擊……〃　〃
獨本土上空の一大空中戰……〃　〃
未だ獨抵抗線に到達せず……〃　〃
ル・アーヴル撤收……二一三　二一〇七
米・ジ線の外郭陣地占領……〃　〃
獨軍、ロムザ放棄……〃　〃

【フランス】
勃も公使引揚げ……二〇三　二一〇
傀儡政權代表事務を引繼ぐ……二〇四　二〇二三

昭和十九年 九 月廿六日(火)
第 三 一 九 一 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【ソ 聯】
モロトフ、羅代表と會見……二〇三
芬政府との交渉經過を公表……二〇五
遂にブルガリアに宣戰を布告……二〇六
宣戰の通牒を手交……〃
芬首相の演說に不滿……〃
休戰申入れを默殺か……二〇七
アゼルバイジャン外相任命……〃
芬和平使節モスクワ着……二〇八
勃の休戰要請受諾……二一〇
停戰命令發令……〃
芬代表と會見……二一一
マ將軍元帥に昇進……〃
勞働豫備軍動員計畫……二一二
學童に溫いランチを給食……〃
トルブーヒン、元帥に昇進……二一三
【ヴアチカン】
アトリーも法王に謁見……二〇三
法王の記念演說……二〇四
【カ ナ ダ】
國民黨ケベック州內閣を組織……二〇四
空軍濠洲へ……二一〇一
【トル コ】
獨外交官を軟禁……二〇四
人民黨大會……二〇六
英國大使アンカラ離任……二一一
避難民の入國禁止……二一二
【イタリア】
裏切り將官を裁判……二〇四
閣議を開催……〃
空軍參謀長罷免……二〇六
外交中心地を移轉……二一三
【樞 軸 國】
スロヴアキア「旋風」の經緯……二〇五
大島大使總統と會見……二〇六
クロアチア參謀總長任命……〃
オランダ統監對策を協議……二〇九
【南 伊】
傀儡政權ベルン公使召還……二〇七
將官七十五名を罷免……二一一
三要人逮捕……〃
フアシスト領袖の財產沒收……〃
亡命希政權ナポリに移轉……〃
アメリー、ボノミと會見……〃
【スイ ス】
國防軍を動員……二〇七

三一三
二〇二九
二〇三七
〃
二〇四一
二〇四八
二〇五二
二〇五八
二〇八四
〃
二〇九二
〃
二一〇三
〃
二一一二

二〇二三
二〇三八
二〇八九
二一〇二

二〇二四
〃
二一〇二
二一一二

二〇二八
二〇三八
〃
二〇六七

二〇四七
二〇九二
〃
〃
〃
二〇五〇

「のび行くペニシリン」

(ストツクホルム十九日發)「タイム」誌の九月十一日號は醫學欄に「のび行くペニシリン」なる表題の下に次の通り述べてゐる

萬能藥ペニシリンについて一つの難點は、それが循環系統內に一時間かそこいら存在するだけで後は殆んど無駄になつて了ふことだ、ところがこの貴重藥を愈々完全無缺ならしめる次の二つの方法が最近發表された

一、ペニシリンの約三割は簡單な抽出法によつて尿から回收することが出來る、ニューヨークのスタトン・アイランドにある米國海員病院のローレンス・ヘンリー・ソフイアン博士は回收ペニシリンを淋病患者に與へ、どんな方法で回收したかを「研究臨床醫學雜誌」に發表してゐる

二、血液中の滯留時間を延ばす方法としては陸軍大尉モンロー・ジエームズ・ロマンスキー並びに技師ジョージ・リツトマンが蜜蠟と落花生油の混合液中に藥劑を懸濁し、それを皮下注射に用ひた、これにより發見されたことは懸濁液が注射後優に六時間乃至七時間血液中に殘り、三十二時間後にも尿中に檢出されるといふ事實だ

ペニシリンはまた尿中からパナナ油によつて抽出され、パナナ油からは特殊燐酸溶液によつて抽出される

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和十九年九月廿七日(水)　第三一九二號

同盟通信　海外電報　(222)

發行人　萩野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

【目　次】

米第一軍總攻撃開始か……二一〇〇
アルンヘム地區の激戰……〃
ブーローニュ遂に陷つ……〃
獨軍リミニを撤收……〃
東部戰線北段の戰況……〃
米選擧戰泥試合と化す……二一〇一
スチルウエルの戰略を扱き下す……〃
英、社會保險法案を提出……〃
チヤーチル、ロンドンに歸る……〃
【米　國】
ルーズヴエルトの第一回選擧演說……二一〇二
獨處分案で內閣分裂……〃
對日戰には多大な船舶が必要……〃
兵站補給の困難を强調……〃
罷業狙獗全國的……二一〇三
駐英特使を任命……〃
パリ駐劄大使を任命……〃
各亡命政權に大公使を任命……〃
武器貸與食糧輸出高……〃
輕巡ボートツマス進水……〃
【亡命政權】
チエツコ政權改造……〃
【重慶政權】
新疆省の首腦更迭……〃
【友樞軸陣營】
反對派要人を續々逮捕……二一〇四
戰後ゴム問題研究……〃
【英　國】
「コルヴエツト」艦の喪失を認む……〃
【樞軸國】
クロアチア壯丁を動員……〃
【西　亞】
ユダヤ人軍團を結成……〃
イラン政府レバノンを承認……〃
【南　伊】
カルソー遂に處刑……〃
【北　歐】
スエーデン國會の新分野……〃
スエーデン各港灣を閉鎖……〃
芬國會休戰協定案可決……二一〇五
對日斷交は英の强要……〃
ベルシンキの各國公使退去……〃
【ドイツ】
ロメル元帥殆んど全快……〃
【東南歐】
勃元內相自殺……〃
【ソ　聯】
ス議長に會談內容を報告……〃
【軍事情報】
「空飛ぶゴミ箱」……〃
米國もロボツト飛行機……〃
【特　輯】
ケベツク會談を繞りて……二一〇六—二一一〇
【資　料】
米英石油協定の反響……二一一〇

世界の焦点

米國海事委員長エモリー・ランドは「反樞軸軍が日本に對してドイツに對すると同程度の攻撃を加へるためには三倍乃至四倍の輸送力を必要としよう」と言明、更に太平洋岸の米國第十二海軍司令官も最近「歐洲戰が終つても對日戰が續く限り米國の造船計畫には殆んど削減を加へることは出來ない」と述べて太平洋作戰における兵站補給が如何に困難且つ大きな事業であるかを强調した

近代戰は物量の戰ひであることが指摘される、物量の戰ひは換言すれば補給の戰ひである、何故ならば如何に尨大な物量を擁してゐようとも、これが前線から離れた後方に蓄積されてゐただけでは無用の長物以外の何物でもないからである、如何に夥しい彈藥を山のやうに積み重ねたところで、これが前線に補給されて現實に敵陣に擊ちこまれない限り物量の戰力化にはなり得ないからである、近代戰において兵站補給が如何に戰局全體の上に大きな影響を與へるかは歐洲戰局の推移がこれを最も雄辯に物語つてゐる、卽ち大西洋におけるドイツ潛水艦隊が未だ猛威を揮つてゐた間はたとへ物量の國米國の參戰があつたにも拘らず歐洲の戰局には何等の變化がなかつたばかりか、補給の遮斷によつて反樞軸軍が却つて危機一髮のところまで追つめられた、歐洲戰局が敵にとつて順調な展開を示しはじめたのはドイツ潛水艦隊の活動が衰へ反樞軸軍が大西洋橫斷の兵站線を確保し得るに至つてからのことである

敵側の言明にまつまでもなく太平洋における彼らの最大の弱點は補給の困難にある、しかもこの困難は敵が前進するに從つて益々增大する關係におかれてゐる、かくて前線に戰力となつて現はれる彼我物量の相違が零となつた時こそわが反攻轉移の時である

昭和十九年 九 月廿七日(水)
第 三 一 九 二 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米第一軍總攻撃開始か

(リスボン二十五日發)アルンヘム周邊における激戰に呼應して、英第二軍の右翼にある米第一軍戰區は全線にわたり總攻撃開始の兆を示してゐる

前線からのAP電報によればラインランド一帶に對しては二十五日猛烈な砲爆撃が加へられ、米軍の八吋ならびに十吋重砲はアーヘン東方のドイツ軍弧狀陣地に對して熾烈な彈幕砲火を浴せてゐるといはれ、爆撃は二十四日夜より二十五日午前にかけて續けられ、ケルン西方十九哩のデュレン市には特に猛烈な爆撃が加へられたといふ、英第二軍の一隊がアルンヘム橋頭堡の南岸に集結して「失はれた空挺師團」の救援のため大突破渡河作戰を準備してゐる一方、米第一軍は英第二軍の別動隊と協力してベーク市を越えてドイツ領内に雪崩れ込み、ベーク南方四哩の森林ライヒスワルトに突入したといはれる、他の一部隊も南方に三十哩進出、ドイツ國境より十八哩を隔るオランダ領の都市デュルヌに到達した模様でUPの從軍記者ヘンリー・ゴレルも、今や全線に亘り大攻勢の迫つた兆候が認められるが、ドイツ軍最高司令部が祖國防衛の最後の決戰を決意してゐることは明かであると報じてゐるごとく、全線のドイツ軍の反撃は熾烈を極めてゐるが、米第一軍は二十四糎の巨砲をもつて應酬、ぢりぢりと進出して大攻撃の機を窺つてゐると傳へられる

米第三軍もナンシーから二十八哩、ストラスブルクまで四十五哩のバツカラまで進出したがドイツ軍の抵抗に阻まれ、ただエピナール方面のみドイツ軍の撤收により相當進撃して北方よりベルフオール關門を脅してゐる模様である

アルンヘム地區の激戰

(ベルリン二十五日發)D・N・Bの軍事記者マツクス・クルール博士は二十五日アルンヘム地區の戰鬪について次の通り述べてゐる

フランドル南部の激戰は反樞軸軍がノルマンデイ平原に上陸して以來の決戰である、英軍の空挺數ケ師團は一週間にわたりドイツ軍の包圍環内でもがいてゐるが、包圍環は逐次壓縮されてゐる、英軍は再三增援をえたが反撃に轉ずることは思ひも及ばない、過去四十八時間天候不良で反樞軸軍は空軍の優勢を發揮出來ず、英軍の大半は最早脫出の途なく四分五裂に陷る徴候が早くもみえ出してゐる、アインドホーフエンからニムウエーゲンに至る廻廊地帶の內部並びに周邊においては、目下戰車隊及び步兵部隊の一大混戰が展開され、北方でドイツ軍の壓迫をうける友軍に對し、右廻廊地區から北進して救援を企圖するとか乃至東進してドイツ北部平原地帶に突破進撃することは到底出來ない、反樞軸軍は好んで戰場を運河と水路の錯綜する地帶に選んだが、今や以上の地形は却つて反樞軸軍の行動を阻害するに至つた

フランス戰線においてドイツ軍は兵員器材の兩面に亘り少からぬ打撃を受けたが、ドイツ軍の戰力と裝備とが未だ決して消耗するに至つてゐないことはアルンヘム地區の戰鬪で實證された特に空軍兵力においてしかりだ、反樞軸軍の戰略企圖如何に拘らず作戰の現段階において反樞軸軍が作戰の出發點で停頓狀態に陷つてゐるのは正に敗北に等しい

ブーローニユ遂に陷つ

(ベルリン二十五日發)ブーローニユ地區のドイツ軍は英雄的抗戰の後最後の一彈まで打ち盡くした後遂に優勢な反樞軸軍に降つた

獨軍リミニを撤收

(ベルリン二十五日發)イタリア戰線のドイツ軍は頑强な防衛戰の後リミニ地區から撤收し、同市の東北に新陣地を構築して抗戰を繼續してゐる

東部戰線北段の戰況

═總統大本營廿五日公報═

一、リガ南方地區においては陸軍部隊及び親衛隊は反撃に成功して赤軍を撃退した

一、その他の北部地區ではドイツ軍の離脫行動は計畫通り進行してゐる、赤軍は數地區でドイツ軍に追蹤して壓迫を加へてゐるがドイツ軍の行動を攪亂するに至つてゐない

一、ドイツ軍は一切の重要軍事施設を破壞した後數日前タリンを撤收した

一、フインランド北部へのドイツ軍の離脫行動は豫定通り進行してゐる

昭和十九年 九月廿七日(水)
第三一九二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米選擧戰泥試合と化す

(リスボン二十五日發)ニューヨーク來電=米國大統領ルーズヴェルトは二十三日第一回の選擧演說を行つたが調子に乘りすぎて共和黨候補デユウイの人身攻擊に脫線し

デユウイは現政權の政策攻擊に當りナチの宣傳にみられるやうな嘘をついてゐると述べた、この言明は俄然共和黨側に大反響を與へ特に當のデユウイはかんかんになつて激怒し、二十五日遊說旅行の汽車中から次の聲明を發表した

ルーズヴェルトは今度の選擧戰では政治的な選擧運動はやらないと聲明したにも拘らず、今やその假面をかなぐり棄てた、よつて余は今後全く自由率直な態度をもつてルーズヴェルトの過去の政治的經歷に假借なき批判を加へるであらう、ルーズヴェルトが余に加へた人身攻擊に對する余の第一回の回答は二十五日夜のオクラホマ・シテイにおける演說においてなされるであらう

かくて選擧を約一ケ月半に控へた大統領選擧戰は俄然兩黨候補間の醜い泥試合の樣相を呈するに至つたがU・P通信のごときもルーズヴェルト、デユウイ兩者が今後その態度を變へない限り本年の大統領選擧戰は「憎惡の政爭」としてながく記憶されるやうな悲しむべき選擧戰に墮する恐れがあると報道してゐる

スチルウエルの戰略を扱き下す

(ストツクホルム二十四日發)ロンドン來電=英週刊誌「ニューズレター」は二十四日號で東亞反攻作戰を檢討、反攻作戰には海上封鎖派、戰略爆擊派及びスチルウエルの主張する陸上進擊派の三案が鼎立してゐるが、三案何れも妥當を缺くと斷定し、ラングーン、シンガポール、さらにスマトラ、ジヤワ兩島を奪回して漸次基地を日本本土に近づけ、最後に臺灣及び支那大陸に基地を確保して海空兩面から日本本土を攻擊する兩面作戰を提唱してゐる、特に陸上進擊案に對しては重慶政權の弱體を指摘し、次の通り辛辣な批判を加へてゐる

支那の現狀は國內經濟の均衡を失ひ重大な脅威に當面してゐるばかりか、國民黨と共產黨の二大陣營に分裂してをり現代戰に必要な重火器並びに裝備を生產出來ない、かかる經濟上、政治上の弱體の結果重慶政權は軍事的にいよいよ弱體である、從つて萬一反樞軸軍が重慶軍に武器を提供するだけで、主として重慶軍を賴りとして日本軍擊滅を企圖するならばひどく失望するに違ひない

その上重慶政權に對するソヴエト政府の態度も頗る疑問だ、ソヴエト政府は外蒙古並びに新疆省に對する重慶政權の領土擴張政策の徵候を嫌ひ、重慶政權が同地方を反樞軸諸國から送られた武器並びに補給品の置場に使用してゐるのを快く思つてゐない、更にレド公路が開通しても僅かに極限された物量が輸送されるに過ぎないレド公路開通に伴ふ反樞軸軍の利益は單に支那人に對する心理的影響だけに過ぎない

以上の諸理由に徵してもスチルウエルの戰略を採用するのは全く愚の骨頂なことがわからう、ましてスチルウエルが東南アジア軍副司令の地位にありながら、米軍並びに英軍代表の殆んど全面的な反對を押し切つて遮二無二自己の戰略を主張してゐるのは全く茶番狂言だ

英社會保險法案を提出

(ストツクホルム二十五日發)ロンドン來電=英國下院は二十六日七週間に亘る休會後再開されるが、英國政府は再開劈頭下院に白書の形式で「繁榮と幸福」案と銘打つた國民社會保險法案を提出する豫定である、同案はビヴアリツヂ案を修正所謂「搖籃から墓場」に至る全國民の「人間的要求」を悉く滿たすと稱してゐるが、實施第一年度において六億五千萬磅の經費を必要とするといふから五ケ年に亘る戰ひに國力を消耗した英國人がその負擔に堪えることは出來さうもなく要するにチヤーチルの人氣取り策を出でないとみられる

チヤーチル、ロンドンに歸る

(ストツクホルム二十五日發)ロンドン來電=英國首相チヤーチルは夫人同伴クイーン・メリー號で二十五日ロンドンに歸任した

昭和十九年 九月廿七日(水)
第三一九二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米國】

ルーズヴエルトの第一回選擧演說

(リスボン二十三日發)ワシントン來電=ルーズヴエルトは二十三日夜ワシントンで開かれた「國際交通勞働組合」晩餐會の席上で選擧演說を行ひその演說はラジオを通じ全米に放送された、今次大統領選擧におけるルーズヴエルトの第一回選擧演說の事とて右は大いに注目されたが、彼は具體的政策問題に入ることを避け、抽象的な言辭を弄したに過ぎなかつた、要旨次の通り

共和黨は共和黨政權時代の一九二九年に發生した經濟不況が民主黨の責任であると主張し、更にニューデイルの下における社會政策の發展が共和黨のお蔭であると全く理窟に合はぬ事をいつてゐる、共和黨の政治家達は戰爭の起る前に米國の國防計畫に反對したにも拘らず、そんなことは全く忘れ去つたかのごとくに今では外交軍事政策の衝に當らせて貰ひ度いといつてゐる共和黨の主張はかくの如く全く前後撞着し矛盾を極めたものである、民主黨政權の軍需産業再轉換計畫は完全操業、完全雇傭を目標に産業を民間企業の下に置きこれに對して政府が適當な援助を行はんとするにある、かかる將來の大事業の遂行は死せる過去のことばかり問題としてゐる人々には到底不可能であらう

現在米國陸海軍首腦が戰爭の理論を實地に應用してゐるごとく現政權は平和の理論の實地適用を研究してゐる、今次大戰における米國及びその盟邦諸國の勝利はファシズム及び獨裁政治に對する勝利のみに止まらず實に民主主義の勝利を意味し民主主義政權の力と生存力の强さを確認するものとならう

獨處分案で內閣分裂

(リスボン二十三日發)二十三日のA・Pワシントン電報はドイツの戰後處分案を繞り政府の重要閣僚の間に正面衝突を來してゐる事實を暴露して次の通り報道してゐる

ルーズヴエルトはドイツ處分案を研究するため國務長官ハル、陸軍長官スチムソン、財務長官モーゲンソーの三閣僚から成る委員會を任命したが、モーゲンソーの餘りに過酷な處分案に對してハルとスチムソンが眞向から反對したためルーズヴエルトは非常な窮地に陷つた模樣だ、ルーズヴエルトはモーゲンソー案を支持し、ケベツク會談にもこの案を携行してチヤーチル、イーデンにもこれを提示したといはれるが一方ダンバートン・オークスで開催されてゐる米英ソ三國會談が行詰り狀態に陷つてゐるのはドイツ處分案をめぐる米國政府部內の對立と密接な關係があるやうだ

對日戰には尨大な船舶が必要

(リスボン二十三日發)ワシントン來電=海事委員長ランドは二十三日ルーズヴエルトに要旨左の報告を送つた

米國の商船隊は本年六月現在において三千五百萬トンといふ尨大なるものとなつた、實に史上空前の大商船隊であるが、しかもなほ對日戰を續行するためには今後一層多くの輸送力を必要としよう、卽ち現在反樞軸軍がドイツに對して加へると同程度の攻撃力を、太平洋並びに東亞の大陸に散在してゐる日本軍に加へるためには二倍乃至三倍の輸送力を必要とするだらう

兵站補給の困難を强調

(リスボン二十三日發)サンフランシスコ來電=米國第十二海軍區司令官カールトン・ライトは二十三日太平洋戰域における反樞軸軍兵站補給の負擔の大なることを强調して次の通り述べた

現在太平洋水域には每日平均二百隻の船舶が前線の陸海軍部隊に對する軍需補給品を滿載して西航してゐる、一方補給を終へて空船となつた後ほぼ同數の船舶が東に向つて歸航の途にあり更に太平洋岸で貨物積載中の船舶も大體同じ隻數と推定し得るので、米國は太平洋作戰のために每日少くとも六百隻の船舶を用意しておかなければならぬこととなる、從つてたとへ歐洲戰が終了しようと日本に對する總攻撃作戰が繼續される限り、米國の戰時輸送負擔は殆んど輕減されずまして太平洋岸の負擔は却つて增加することとならう、余の推定によれば歐洲戰の終了で米國が若干その造船計畫に削減を加へ得るとしてもその量は僅々三パーセントに過ぎないであらう

昭和十九年九月廿七日(水)
第三一九二號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

罷業猖獗

(リスボン二十三日發)ニューヨーク來電＝再び罷業季節が訪れ、全國に亘つて大小規模の勞働爭議が頻發してゐるが、U・P通信社は二十三日現在米國で發生してゐる主な罷業を次の通り報じてゐる

全國的

一、シカゴの「リヴイア銅、眞鍮會社」勞働者約二千五百名は勞働者一名の解雇に抗議して罷業を開始、同會社所屬の二工場は完全に操業停止の已むなきに至つた

一、デトロイトの「ブリッグス製造會社」のマツケーヴ工場勞働者約五千名も勞働者の解雇問題で罷業を開始した

一、シカゴの「ナショナル製藥會社」所屬販賣店從業員四百五十名も罷業中で從業員側の推定によれば、全米に散在する五百以上の販賣店の中九十パーセント以上が罷業のため閉鎖されたといはれる

一、その他「リパブリツク鋼鐵會社」及びクリーヴランドの造船所でも罷業が起つてゐる

駐英特使を任命

(リスボン二十四日發)ワシントン來電＝政府當局は二十四日ハミルトン・アームストロングをロンドン駐劄特使に任命した旨發表したアームストロングは公使の資格で駐英米國大使ワイナントを補佐する豫定といはれる

パリ駐劄大使を任命

(リスボン二十二日發)ワシントン來電＝國務省はブラジル駐劄大使ジェファーソン・カフアリーがパリ駐劄大使に任命された旨二十一日發表した

各亡命政權に大公使を任命

(リスボン二十一日發)ワシントン來電＝大統領ルーズヴエルトは歐洲亡命諸政權駐劄大使を二十日次の通り任命した

コロンビア駐劄大使
アーサー・ブリスレーン

任亡命ポーランド政權駐劄大使
チヤールズ・ソーヤー

任ベルギー政權駐劄大使兼亡命ルクセンブルグ駐劄公使
國務長官附特別顧問
スタンレー・ホーンベツク

任亡命オランダ政權駐劄大使
リチヤード・パターソン

任亡命ユーゴスラヴイア政權駐劄大使
リスゴー・オスボーン

任亡命ノルウエー政權駐劄大使
なほオランダ大使に決定したホーンベツクは前國務省極東部長で日本通として知られる男である

武器貸與食糧輸出高

(リスボン二十一日發)ワシントン來電＝戰時食糧局は武器貸與法に基く八月中の反樞軸諸國向け食糧供給額が前年同期に比し激減した旨二十日次の通り發表した

本年八月中に反樞軸諸國向け輸送した食糧總額は五億五千八百五十七萬六百九十五封度に達したが、前年同期の十億七千六百六十一萬一千五百四十四封度に比し約半減に近い、但し本年七月の五億二千二百八十五萬千九百六十四封度に比すれば若干の增加である、八月中の輸出量中五十%は英本國並びにその屬領向けで、四十一%がソヴエト聯邦、殘り九%がギリシヤ、北阿西阿、フランス解放委員會並びにオランダ、ポーランド、ユーゴースラヴイアの各亡命政權に向けられた

輕巡「ボーツマス」進水

(リスボン二十一日發)ワシントン來電＝海軍省は「ボーツマス」がニューポート港において進水した旨二十日發表した

【亡命政權】

チエツコ政權改造

(ベルリン二十四日發)ロンドン來電＝過般來チエツコスロヴアキア大統領ベネシユと無任所相オススキーは對ソ政策を繞り紛爭を續けてゐたが、今回內閣の一部を改造、國防相大將セルゲイ・イングル並びに國務相大將ルドルフ・ヴイテストは辭職し、後任國防相には元ロンドン駐劄公使ヤン・マサリクが就任した

【重慶政權】

新疆省の首腦更迭

(リスボン二十五日發)重慶政權はソヴエト聯邦との關係調整のため新疆省政府主席盛世才を罷免して吳忠信を後任に据えたが、重慶來電によれば、今回更に外交部の新疆特派員吳澤湘を重慶に召還し、後任として元モスクワの重慶參事官劉澤榮を起用したといはれる

昭和十九年 九月廿七日(水)
第三一九二號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

反對派要人を續々逮捕

(リスボン二十四日發)パリ來電=ド・ゴール政權は二十日、前チユニジア總督エステヴア提督、前アルジエリア總督ジエーン・アブリアル提督、同じくマルチニク總督、ジョルジユ・ロベール提督、前祕書長レーン・プラトンの四名を逮捕した

二十二日には前チユニジア地方總督エステヴア將軍がパリで逮捕され、ジョルジユ・ボンネ、アナトール・ド・モンジー等元閣僚連が續々審問を受けてゐる、更に二十三日には小說家として名高いフランス學士會會員ピエル・ブノワも逮捕された、二十日にいたり前マルチニク島總督ロベール提督、元外相ポール・ボータン、ヴイシー政府主務付國務長官ジヤック・ブノア・メシヤン、作家マルセル・ブーレ「パリ・ソアール」紙社主ジョルヂ・ドスーレなど逮捕された

戰後ゴム問題研究

(リスボン二十三日發)ワシントン來電=米國務省は二十三日次の通り發表した

米英蘭三國政府は專門家をして戰爭終了後のゴム生產並びに製造の問題に關し、非公式の研究を行はしめることとなつた

【英國】

「コルヴエツト」艦の喪失を認む

(ストツクホルム二十四日發)ロンドン來電=英國海軍省は二十三日夜コルヴエツト艦「ハースト・カスル」號の沈沒を發表した

【樞軸國】

クロアチア壯丁を動員

(ベルリン二十一日發)アグラム來電=クロアチア政府は來る二十八日一九二七年生れ十七歲の壯丁を動員するに決定した

【西亞】

ユダヤ人軍團を結成

(リスボン二十三日發)ロンドン來電=英國陸軍省の發表によれば從來パレスチナ駐屯英軍の間に混入されてゐたユダヤ兵は、今回特別に「ユダヤ人軍團」を編成することとなつたと傳へられる、同軍團は步兵、砲兵及び工兵部隊から成り近く前線に出動する豫定といはれる

イラン政府レバノンを承認

(リスボン二十二日發)テヘラン來電=イラン政府はレバノン政府を承認した旨二十二日發表した

【南伊】

カルソー遂に處刑

(リスボン二十二日發)ローマ來電=ボノミ傀儡政權はファシスト黨の元ローマ警視總監ビエトロ・カルソー氏をドイツ軍に協力したとの廉により逮捕、二十一日の公判で死刑を宣告したが、同氏は遂に二十二日銃殺された

【北歐】

スエーデン國會の新分野

(ストツクホルム二十日發)スエーデン下院の總選擧は十七日擧行されたが最終結果は次の通り

	議席	增減	得票總數
社會民主黨	一一五	三名減	一、四一三、六九八
農民黨	三六	八名增	四一六、一二一
自由黨	二五	二名增	三八八、八三三
共產黨	一五	十二名增	三一三、三五三
保守黨	無	無	三、六八五
左翼社會黨	無	無	一、六六六
その他	無	無	二二
合計	一九一		二、五三四、五二三

スエーデン各港灣を閉鎖

(ストツクホルム二十四日發)スエーデン外務省は二十四日公報を以て二十七日以後北部ハバランダから南部ファルステルボにいたるスエーデン各港灣並びにスエーデン水域の外國船立入りを禁止する旨發表した、その結果ドイツはスエーデン西岸を除き、同國から鐵鑛、紙類、木材、鐵製品を輸入する途を全く斷たれることとならう

昭和十九年 九月廿七日(水)
第三一九二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

芬國會休戰協定案可決

(ストツクホルム二十三日發)ヘルシンキ來電＝フインランド國會は二十三日滿場一致、ソ芬兩國並びにソ英芬三國間の休戰協定案を可決政府に休戰協定に關する一切の處置を講ずる權限を付與した

對日斷交は英の强要

(ベルリン二十三日發)ヘルシンキ來電＝フインランド政府がソ聯と休戰協定を締結すると共に日本との外交關係を斷絶したことに關しフインランド政府筋の漏らすところによればフインランドの斷交措置は全く英國政府の强要によつたものといはれる、卽ちフインランド代表がモスクワでソヴエト政府と休戰交涉を行つてゐる際、モスクワ駐劄英國大使クラーク・カーはフインランドが戰線を離脫して反樞軸國と和議を結ぶ爲には、ドイツのみでなく日本とも斷交してその誠意を示す必要があると脅迫、フインランド政府も遂に英國の脅迫に屈服、對日斷交を決意するに至つたと傳へられる

ヘルシンキの各國公使退去

(ストツクホルム二十四日發)「スヴエンスカ・ダグブラデツト」紙の報道によれば、ヘルシンキ駐劄スペイン公使館は閉鎖、館員は二十三日フインランドを退去したといはれる、但し國交斷絶の意味ではないとみられる、同時にヘルシンキ駐劄アルゼンチン總領事館員もスエーデンに向け出發した

【ドイツ】

ロメル元帥殆んど全快

(ベルリン二十四日發)D・N・B報道によれば過般西部戰線で負傷したロメル元帥は殆ど全快し、近く戰線に復歸しドイツ軍を指揮するだらうといはれる

【東南歐】

勃元內相自殺

(ストツクホルム二十三日發)ベルグラード來電＝先般トルコへの亡命を企圖して入國を禁止されたブルガリア元內相ペーター・ガブロフスキイは再びトルコ國內へ潛入しようとして逮捕されたと傳へられる、またポジロフ內閣當時の內相クリストフもトルコへの亡命を企てたが、果さず遂に自殺を遂げたと報ぜられる

【ソ聯】

ス議長に會談內容を報告

(ストツクホルム二十四日發)モスクワ駐劄米英兩國大使は二十三日スターリン議長を訪問、ケベツク會談における決定の內容を報告したといはれる

【軍事情報】

空飛ぶゴミ箱

(リスボン二十四日發)ロンドン來電＝陸軍省は歐洲侵攻作戰を開始した時ドイツ軍の沿岸要塞攻撃のために使用した「空飛ぶ塵芥箱」と稱する新兵器の詳細を次のごとく發表した

新兵器はチヤーチル戰車に類似の裝甲車に裝備せる特に砲身の短い臼砲から發射されジーグフリード線のごとき堅固なコンクリート要塞を粉碎するため特別に製作されたもので、使用の裝甲車は砂濱、濕地帶などで後續車輛の行動を容易ならしめるために柔軟軌板を運搬敷設し、或ひは束柴を對戰車壕に投じて戰車の通過を容易ならしめる

米にもロボツト飛行機

(リスボン二十五日發)ワシントン來電＝米國陸軍航空隊副司令ジヤイルスは十五日の記者團會見で次の通り言明した

陸軍航空隊は目下ロボット飛行機に銳意改良を加へてゐる、既に現在でもドイツのV一號の性能を凌駕するほどだが、陸軍では不動目標に對する攻撃ではこれが將來最も重要な武器になるだらうと考へてゐる、但し戰線が現在の如く流動狀態にある時にはこの武器を使用する機會はあまりない、B29重爆撃機の姉妹機とも稱すべきB32重爆機は目下試驗飛行中だが愈々近く第一線に出動することとならう

昭和十九年九月廿七日(水)
第三一九二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

ケベック會談を繞りて

長谷川才次

龍頭翻つて蛇尾を成すといふが、今度のケベック會談は前觸ればかり賑かで、會談の日數も少く會談後の公報も實に貧弱だ、英國首相チヤーチルが夫人同伴でケベックに乘込んだのが九月十一日會談が終つてシタデル前の廣場でチヤーチルとルーズヴエルトがカナダ首相マツケンジー・キングを交へ記者團を引見したのが九月十六日、公報としては會談當時每日大統領祕書のスチーヴン・アーリー、英國情報省のクルイシヤンクが記者團と會見したのと、會談後の共同會見、それから九月二十二日ルーズヴエルトが白堊館で記者團に話しただけだ、勿論會談の主要議題が太平洋反攻作戰と歐洲の政治的處理——ドイツの處分に關する皮算用とかド・ゴール政權との關係、イタリア南部に對する食糧供給、ソ波兩國間の紛爭等——だらうが、政略の面においても戰略の分野においても會談に參加しなかつたスターリンが結局キヤステング・ヴオートを隱然として握つてゐたのではなからうか、會談が僅か一週間で卒然として終了を告げた所以であり、チヤーチルがモスクワに赴いたとの觀測がリスボン駐劄米國大使館筋の情報として、ロイター電報で傳へられる所以ではなからうか

茶番に終つた會談

ストツクホルムの齋藤特派員は十八日次の通り報道してゐる

「ケベツク會談は唐突として幕を下した、チヤーチルとルーズヴエルトとが新聞會見で、太平洋反攻作戰と歐洲戰爭の終結とに關し漠然たる企圖を洩らした以外會談の結果については公報さへ出ない、今まで兩人の會談がこんなに慌しい空氣の裡に終了した例はない、會談後兩人がこんなにジエスチユアを示さずに分れたこともない、ケベツク來電によれば今度はチヤーチルは隨分老けて見え、新聞會見でも好きな葉卷を燃えるままに灰皿の上に放置して何んだか放心の態であつたといふイーデンが倉皇としてケベツクに乘込んだのは電話や電報では傳へることが出來ぬ重大な情報を傳へるためで、會談が卒然として終了したのもその結果ではなからうか、イーデンが如何なる情報を齎らしたかは祕中の祕だが「モルゲン・テドニンゲン」紙などは十七日の紙上で獨ソ兩國の關係について穿つた觀測を下してゐる」

チユーリヒアー・ツアイツング紙のロンドン特電は更に次の通り傳へてゐる

「ケベツク會談の聲明は內容極めて貧弱でしかもルーズヴエルト、チヤーチルの追加說明では閉ぢた扉の裏で討議された內容は殆ど分らない、そこで兩人がケベツクを立ち去つた後もどこかで極祕の帳のうちに打合せが續けられたのではないかとの觀測が有力だ、イーデン、次官サー・アレクサンダー・カドガンがケベツク會談の後半に參加したところから、依然として政治上の諸懸案が檢討されたのではないかとの印象が有力だ、聲明では戰略上の諸問題が重視されてゐるがチヤーチルとルーズヴエルトとが會談の機會に政治上の諸懸案を檢討しなかつたとは考へられない、會談後兩人の聲明では英本國並びに各自治領がそれぞれの國力に應じ太平洋反攻作戰に參加するし、統合最高司令部の設置は延期されたと解釋されるが、「タイムズ」紙は米軍が獨力で日本軍と戰はねばなるまいとの愚劣な懸念を一掃したとみてゐるのに對し英國政界の一部では太平洋戰爭を米國の一手に任せないといふ決意を示したと解してゐる」

對日戰の主體

以上はケベツク會談の「蛇尾」だ、新聞會見についてはその都度報道してゐるので、次に「龍頭」を示すために九月十一日以降「タイムズ」紙その他の報道を揭げよう

昭和十九年 九 月廿七日(水)
第 三 一 九 二 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

「タイムズ」紙外交記者 九月十一日 チヤーチルとルーズヴエルトとが西方からの一大攻勢計畫を確認するために、各軍事顧問を帶同してケベツクで會見したのは去年の八月のことであつた、一年前の決定が輝しい成果を收めてゐる際、今再び同じケベツクで會談が開催されることとなつた、一ケ年間各戰線における戰況の推移によつて今や違つた種類の諸懸案について緊急に決斷を下さねばならないこととなつた、ドイツ軍の敗北が絕對的となつた後、ドイツ國民に適用さるべき休戰條項は既に歐洲諮問委員會で立案され米英ソ三國政府の同意を得た、右條件一切は三國間の取極めで今決定されねばならぬ幾多の措置の第一步であり、ドイツ國民に對する長期待遇案に關しても同樣の取極めを達成せねばならぬ時期が近づいてゐる、チヤーチルとルーズヴエルトとは反樞軸各國のより廣汎な會議への準備として、米英兩國政府が樹てた計畫並びに見解について先づかれこれ照合することから今度の會談にとりかからう

次にポーランド問題の失敗以外殆んど至るところ反樞軸陣營にとつて好轉してゐる、去年のケベツク會談では西歐洲並びに南歐洲の作戰を企畫すると同時に太平洋作戰を決定したが、今度の會談では右決定がいちじるしい戰力の增强に照應して一段と推進されねばならない、東亞の兵力轉用についても會談で詳細な計畫が樹てられることは疑ひない、去年のケベツク會談並びにより廣範圍のテヘラン、カイロ兩會談は一大攻勢の會議であつたが、今や反樞軸陣營の不一致以外戰勢逆轉の懸念がなくなつたといふ際に、チヤーチルとルーズヴエルトとは一切の戰力と速度とをもつて作戰任務を遂行し、反樞軸各國の統一を確保するため會談を遂げる譯である、ワシントンからの報道によれば、高い水準の一層廣汎な會議が極めて近いうちに求められようと傳へられる

「タイムズ」紙ワシントン特派員九月十一日 ここ數日間におけるルーズヴエルトの日程をみれば、チヤーチルとの會見を前に色々準備を進めてゐたことが明らかだ、ルーズヴエルトは顧問連とドイツ占領後の諸問題、過渡期間における歐洲の經濟情勢對策を檢討したと傳へられるが、昨日はロバートマーフイーと會見してゐる、マーフイーは近く政治顧問としてアイゼンハウアー附となるが、同人は大統領との會見後「ドイツ國の降伏が漸進的に實現されるのは非常に結構なことだ、反樞軸各國はドイツ國民の代表と自ら名乘る手合との交涉を避けよう、これ等の人々は要するに敗北の裡から何かを政治的に拾ひださうといふに過ぎぬからだ」と述べてゐる、勿論今度の會談では歐洲における諸般の問題が檢討されようが、決してこれだけではない、既に全般的に承認されてゐる日本軍に對する反攻作戰を最近の戰況に應じて修正せねばならず、特に東亞の陸軍並びに海軍の諸活動における英國の役割に關する部分を新事態に卽應させることとならう

しかし主題は表面に現れてゐるよりはずつとずつと複雜だ、久しい以前チヤーチルが歐洲戰局一段落後英軍の一部除隊に言及した際、首相の言葉が誤解され、東亞反攻作戰に對する英軍の參畫が同盟關係の要求するところに忠實に從はぬのではないかとみられたことがある、現在米國內で米軍の復員計畫について論議を加へる場合でも、米國政府の遣り口を引き合ひに以上チヤーチルの言明を正しく評價する意見はでてゐないが、更に印度英軍及び英國の東洋艦隊の業績については一層正しい理解が缺けてゐると思ふ、東亞反攻作戰について英國政府は「おしるし」ばかりの援助を與へるに過ぎまいとの疑念が解消するには相當の時日を要するし、特にウイリアム・フイリツプスがこの問題を蒸し返へして以來なん等かの理由でかく信じようとし乃至かく宣傳しようとしてゐる手合に新たな刺戟を與へるに至つた

しかしこの際どうしてもいつて置かねばならぬもつと大事な問題がある、否問題を提起して回答を與へねばならぬ懸案が控えてゐる、ぶしつけにいふと「米國海軍は英國艦隊から海上の抗爭において果して「おしるし」ばかりの援助以上に、どれだけのことを本當に望んでゐるか?」だ、普通米國の提督連は海戰に關する限り、尨大な自國の艦隊が獨力でやつてのける(go it alone)と强く信じてゐるのは確だ

昭和十九年　九月廿七日(水)
第三一九二號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

眞珠灣以來米國の海軍部内は日本艦隊に對する報復の念に燃えてをり、しかも自分の打棒だけでやれると確信してゐるから、この仕事をやり遂げるのに、苟くも大半の役割と思はれさうな分擔を他人に委ねることは一向氣が向かない、あらゆる情報を綜合して今度のケベック會談では、どうしてもこの問題を扱はねばならぬと確信する、恐らく表面的にではないが、いづれにせよ扱はねばならない

「タイムズ」紙九月十二日社說「最高潮」　歐洲戰略に關する任務は今や殆んど果たされたから、今度のケベック會談では前回と違つて先づ歐洲の戰略を討議する間があるまい、しかし歐洲の統制復興についてすでに出來た計畫を强化完成するためにはまだまだ澤山仕事が殘つてゐる、休戰條件は出來上つてをり治安の維持と共同の施策とについては歐洲諮問委員會で米英ソ三國の責任分擔が極つてゐると解されるが一部計畫の修正が必要らしい、スターリンが參加してゐないので歐洲のことに關する原則について、ケベック會談で新らしい決定が下されることは期待出來ないが、具體的組織の補足的爭點をはつきりさせることが有意義だらう戰禍の巷と化し過去四ケ年間荒廢に歸した歐洲諸國の實體的復興を迅速且つ豐に實施するためにはまだなすべきことが多く、殊に米英ソ三國間に誤解を起させる危險な惧れをすでに著しく展開させたポーランド問題も、一層廣汎な機構の上からの再檢討を必要とする、全體は部分より大きく歐洲と世界將來の平和と安定とは、他の如何なる要因よりも三大國の利害と政策との全面的調整に依存することが最も大きいといつても、決して誇張ではない、更にチヤーチルとルーズヴエルトとが安全保障體制の根柢に關するダンバートン・オークスでの會議の計畫に觸れるのを避けようとは考へられない、久しい間戰禍の巷と化してゐた歐洲は今や漸く平和と安全保障と豐富とを再建する困難且つ遲々たる過程に入らうとしてゐる

しかしルーズヴエルトとチヤーチルとは歐洲の平和組織と平行して、太平洋における勝利を組織せねばならない、太平洋戰線においては依然として最も苛烈な幾多の戰鬪が前面に控えてゐる、眞珠灣に對する日本軍の攻擊以來、米國民は日本軍に對する戰爭に最も重點をおき「日の出」を「日沒」にさせることを胸中深く期してゐる、英國が他の戰線に忙殺されて今まで太平洋に全力を傾倒出來なかつた結果非友好的な米人達は英國が日本軍に對する反攻作戰に全面的に協力する意圖はないとの噂を流布してゐる、眞相を去ることより甚しきはない、ニユーギニア戰線における濠洲軍の行動をすら過少評價する傾向さへ米國で見受けられる、その上英帝國としても米國に賴らず日本軍に復讐しなければならぬことを米國人が看却する傾向が强い、シンガポール基地の失陷は眞珠灣の米國人に對すると同樣英國人にとつては痛恨事だ米國が太平洋において利害と責任とを持つてゐるといふが、英帝國内四單位が太平洋國家であり、從つて米國と同樣太平洋の安全保障に深く且つ本質的な利害關係をもつてゐる事實を否定できまい東亞の戰線に兵力を轉用する軍事上、技術上の準備は英國内で既に著しく進んでゐる

ケベック會談で決定を要するのは米英兩國の作戰努力の調整である、歐洲における作戰が圓滑に遂行されたところからみて、太平洋における協同作戰も懸念を要しまい、今米國における黨派的感情と偏見とが四年目毎の頂點に達してゐる際、以上の問題を初め他の諸問題について米國と反樞軸各國との間に協定が必要となつたわけだ、いかに執拗にルーズヴエルトが政治的小細工の非難を受けてゐるかは、今度の會談自體に對してさへ十一月の選擧に民主黨が何か利益を受けるのではないかといふので、共和黨が楊子でほじくるやうに穿鑿してゐることで明らかだ、既にルーズヴエルトが三期出馬を受諾し三選されたこと自體が米國の傳統に對しては重大な違反なのだが、米國では何時でも黨派感情が强い共和黨が、ルーズヴエルトの四期出馬を慘たる諦めに近い氣持で見てゐるとしても、だからといつて黨派感情がいささかでも減退してゐるわけではない、殊に今が黨派根性の最も露骨に働き出す時期なのだから、ルーズヴエルトが米國の最高代表として諸外國に對して行動する場合にも自由は極度に制限される筈だ

昭和十九年 九月廿七日(水)
第三一九二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

しかし幸ひにして數週間前、國際政策に關する重大爭點は內政上の紛爭の圈外におくといふ非公式な取極めが出來た、もつとも民主、共和兩黨間の壞れ易い暫定的取極めですべての特殊な困難を取除くことは出來ない、外交政策に關する米國上院の深い意識のために、ウイルソンの意圖は畫餠に歸したが、上院には依然として「退位」する氣配なく、殊に今回は諸小國の權利について特に敏感だ、大統領選擧の機構の重要點に位する多數の少數民族の投票を掻き集めようといふ政黨人は、決してこの事實を看却しない

「タイムズ」紙ケベック特派員九月十二日 チャーチルとルーズヴエルトとが今回の會談にスターリンを招請したのに對し、スターリンから次の回答を接受した旨發表さた

現在赤軍が非常に廣汎な戰線に亘つて戰鬪を展開し逐次攻勢を增强してゐる際、ソヴエト聯邦外に旅行し極く短期間でも作戰指導を他に委ねることは出來ない、僚友は悉くそれは出來ぬことだといふに意見一致してゐる

更に米國の戰時情報局代表は今度の會談は、悉くと行かぬまでも大半軍事的で、ルーズヴエルトが最近太平洋領域を査閱したのは今度の會議への豫備工作であつたと言明した

「タイムズ」紙ケベック特派員九月十三日 當局は會談の軍事的性格を强調し太平洋戰線が主要議題だといつてゐるが、チヤーチルとルーズヴエルトとの會談が經濟、政治上の諸懸案に及んでゐることは既定の事實だ、歐洲戰局の推移に鑑み、反樞軸各國は間もなく獨佛兩國の新たな問題に當面することは間違ひなく、この討議には辛抱强くかからねばならないし且つフランス代表を除外することは出來ない、チヤーチルが下院における過般の戰況報告で述べた通り「友好的なフランス國が大國の間に地步を回復するのは英國の主要な利益の一つである」しかも最近米國政府とド・ゴール政權との關係が著しく好轉した結果、早くフランス國が復興する見込みが强くなつた、今日の會議が示す通りケベツク會談は構成の上からみて主として米英兩國代表からなつてゐるが、カナダ政府も單に主人役としてでなく、歐洲に對する軍事上の役割並びに日本軍に對するこれからの役割に鑑み、今回の會談には深い利害を持つてゐる、カナダ首相マツケンジー・キングはチヤーチルや英軍代表と會談を遂げてゐるだらうし、英加兩國の軍事代表の間にも協議が遂げられよう、新たに首相附幕僚長に任命されたモーリス・ポープ少將、外交次官ノーマン・ロバートソン、書記官長アーノルド・ヒーネーもケベツクに滯在してゐる

「デーリー・テレグラフ」紙ケベック特派員九月十二日 會談に關聯して目下一番論議の的になつてゐるのは、スターリンに對する米英兩國政府の招請並びに歐洲戰爭の最終的軍事上の段階に忙しいとの理由でスターリンが右招請を拒否した意義如何だ、三つの違つた解釋が提示されてゐる

最も廣く行はれてゐる解釋はケベツク會談が主として日本軍に對する戰ひに關すると公表されてゐるのだから、スターリン今回の回答は要するにソヴエト政府は日本軍に對する戰爭に參加しない意味だといふ見方だ、第二の解釋によれば米英兩國政府はスターリンが拒否するのを豫見してゐたが、前回ケベツク會談にソヴエト代表を招請しないためひどく非難されたので、今度は當初からスターリンが何とか都合して參加してくれれば、ルーズヴエルトもチヤーチルも大いに喜ぶだらうことを完全に明確にさせたのだといふ、第三の解釋はルーズヴエルトとチヤーチルとがスターリンの會談參加を希望し、かくして歐洲に起る政治上外交上の諸問題を取上げやうとした、もつとも東亞の反攻作戰に關する純粹に軍事上の討議に、赤軍代表が參加出來ぬことは認めてはゐるがといふ考へ方だ、ところがスターリンが參加しなかつたため第一回のケベツク會談と同樣引續きテヘラン會談のやうな三國會談を開催し、ルーズヴエルトとチヤーチル並びに米英兩國代表が現在協議してゐる歐洲の諸懸案を取上げることにしなければならない、勿論日本軍に對する作戰計畫は公表できぬが、全般的な戰略の筋道については當局が示唆を與へてゐる

昭和十九年 九月廿七日(水)
第三一九二號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

大統領秘書スチーヴン・アーリーは太平洋方面への大統領最近の旅程が今度の會談への「必要な前提」だと述べてゐる、右旅程で大統領はマッカーサーと會見した、日本軍に對する如何なる作戰にしても「必要な前提」として、米國の兩太平洋司令官の果たすべきそれぞれの役割を決定することを必要としよう、ルーズヴェルトはこの點について可成りはつきりした態度を示してゐる、「僚友」マッカーサーに二次的役割を與へようとする提案を却下し、同將軍に比島反攻軍を指揮させるとの公約を繰り返へしてゐる、そこで殘つてゐるのはマウントバッテンと麾下の大多數英軍から成る兵力が果たすべき廣汎な戰略的役割を極める問題が殘つてゐる、萬一マウントバッテンの司令部が第二義的な地位に落とされるなら、米國の言論界は英國政府が全的に東亞反攻作戰に參加したがらないためだとケチをつけるに違ひないから寔に不幸なこととならう、上院議員チヤンドラーやウイリアム・フイリツプスは再三米國内で英國政府は東亞反攻作戰に〝おしるし〟ばかりの寄與を企圖してゐるに過ぎぬと述べてゐる、第二に考へねばならない要因はニミツツ麾下の中部太平洋司令部が全部米軍から成立つてゐることだ、米國の海軍部内には同司令部を全部米軍だけで占めておかうといふ極めて強い好みが見受けられる、米英兩國の艦隊を合流させようといふ提案は必ず反對に遭ふ、そこで歐洲戰局一段落後、英軍、カナダ軍英帝國軍を主として東南アジア軍の强化に振り向け、マッカーサー麾下には多少の兵力增强で止めれば、米國内の批判に應へることが出來よう、日本軍に對する大攻勢の第一段階が中部太平洋、西南太平洋並びに東南アジアからの三叉進擊とすれば、重慶軍との協力は第二段階の問題となり差し當つて重要な問題ではなくならう、重慶軍代表がケベツク會談に參加しない所以だ、しかし日本軍に對する最後の攻勢に當つて支那の基地並びに空軍を活用することは最も重要なこととならう

「デーリー・スケツチ」紙ケベツク特派員 十二日發

米軍の最高司令部が東亞反攻作戰を報復の戰ひと考へてゐることは周知の事實だ、かれ等は全然何等の援助をも望んでゐない、米軍は獨力で日本軍をやつつけようとしてゐるばかりでなく、眞珠灣で一番被害を受けた米國海軍部内では獨力でこの仕事を片付け度いのだ、勿論英國としても日本軍に占領されてゐるビルマ、シンガポールその他の舊英領を面目にかけても取り戻し度い意圖だ

資料

米英石油協定の反響

「フアイナンシヤル・タイムズ」紙
ニユーヨーク特派員八月十日發

ワシントンでは米英石油協定の成立を歡迎し、石油の自由な流通によつて反樞軸國の需要を確保する途が拓けたと解してゐる、一般に戰爭終了後に前大戰後のやうな石油爭奪戰は起らぬであらうと考へる向が多い、新協定は更に今後他の重要原料品につき締結さるべき類似の協定の雛型になると信ぜられてゐる、本協定の規定する制裁方法については未だはつきりしたことは判つてゐないが恐らくソ聯が協定に參加した後に發表されるであらう、協定の内容は未だ十分咀嚼されてゐないが石油長官イツクスの表明した見解は一般の空氣を反映してゐるやうだ、イツクス長官は「本協定では長い間苦勞をしたが結局苦勞の仕甲斐があつた本協定は國際石油界の偉大な進歩で世界の石油問題處理方法としては新規軸である、更に本協定は將來の時代に安定と秩序の光を投ずる」といつた本協定に關する國務省の發表はサウヂ・アラビアの送油管に言及してゐない、協定の前書きは世界の石油生産は「現在豫見し得る限りの期間」は不足せぬと述べ、「この生産は大西洋憲章の原則に從ひ集團安全保障機構の必要を充すために利用されねばならぬ」と述べてゐる

上院外交委員會は祕密會を開き本協定を上院に上程するか否かを討議した、結局協定の「内容を咀嚼する」ため決定を一週間延期したが、コナリー委員長は「委員會は本協定を實施に關する取極め通りに實施せしめるやう決定するかも知れない米國にとつて有利と思はれる一つの點は、英國がサウヂ・アラビアその他にある米國の利權に手を出さぬ約束をしたことである」と語つた

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和十九年九月廿八日(木)　第三一九三號

印刷發行人　萩野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人同盟通信社

同盟通信 海外電報 (223)

【目次】

西部戰線は建設された……二二一一
アラブ會議開く……二二一二
ラムゼー議員を釋放……〃
ケベック會談の結果を報告せん……〃
米國の戰費增加……〃
米船の亞國寄港停止……〃
アンラ事務次長辭職……〃
八月中軍需生產高……〃
【米國】
日本の態勢不敗……二二一三
スエーデン壓迫……〃
六百萬の婦人動員……〃
商船隊現勢力……〃
【ソ聯】
「赤い星」紙太平洋戰を論ず……二二一四
獨抗戰力を正當に評價……〃
リトアニア新軍隊編成……〃
【英國】
對米逆貸與……〃
【東南歐】
羅元首相等を逮捕……二二一五
【反樞軸陣營】
リーマン訪ソ……〃
【南伊】
前大評議會議員を逮捕……〃
ラガージア、司政長官へ……〃
【軍事情報】
米國の新疲勞恢復劑……〃
【重慶政權】
國共の和協は絕望……二二一五—二二一六
【特輯】
ケベック會談を繞りて(續)……二二一七—二二二〇

世界の焦点

ソ聯の「赤い星」紙であつたと思ふが、米英新聞界は赤軍がヴイスツラ河畔でうろうろしてゐるのを揶揄したのにむきになつて立ち向ひ、ドイツ國境の反樞軸軍戰線からベルリンまでの距離よりも、ワルシヤワからベルリンまでの距離の方が十何哩かそこいら近いと手酷く竹篦返しをしてゐるが、土臺スターリンの念頭にはベルリンまでの距離など全然ないのだ、二週間ばかり前から開始された赤軍のバルト攻勢が裏書してゐるやうに、ソ聯は依然として「自分だけの戰爭」をやつてゐるこれが米英言論界の氣に喰はぬ點で、ヴイスツラ河畔の散歩などと皮肉つたのであらうがソ聯は反樞軸軍がどんなに齷齪しようと、彼等のいふ「ベルリンへのマラソン競走」に參加する氣は毛頭ない

東部戰線がバルカンに移動するにつれて、ソ聯の祖國戰爭といふスローガンはいつの間にか影を潛め、代つて「ピヨートル戰爭」の色を次第に濃くしてきたが、ルーマニア、ブルガリア、チエツコスロヴアキア、ユーゴースラヴイアを狙つてゐるのもピヨートル以來のバルカン制壓の宿望達成にほかならず、ソ聯がブルガリアを押へ更にギリシヤへ觸手を伸ばせば、ダーダネルス、ボスフオロス兩海峽は既にソ聯の藥籠中のものだ、更にソ聯がフインランドの背にのつかかつてポルカラ地方を手に入れたならば、スカンヂナヴイア半島も自由になるわけだ、ソ聯の作戰計畫は米英兩國のそれと同樣、一定の目標を追及してゐるが、兩者の目標の喰ひ違ひが明瞭となつた秋に戰略經營の皮算用に耽る米英兩國は一體どうする積りなのだらうか

昭和十九年 九 月廿八日(木)
第 三 一 九 三 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

西部戰線は再建された

＝デイトマール中將の戰局放送＝

(ベルリン二十六日發)ドイツのラジオ軍事評論家クルト・デイトマール中將は二十六日夕の週間戰局放送において西部戰線が再建された事實を強調し、安價な勝利を狙ふ反樞軸軍の前途に横たはる克服し難い困難を指摘した、要旨次の通り

× × ×

一、八月中の有望にみえた戰局の進展にも拘らず反樞軸軍司令部はドイツ軍の戰線を分斷することが出來なかつた、このことは特にオランダにおける戰況が明確に裏書してゐる

オランダにおいては攻撃軍はどんな程度のものにせよ戰術上の成果を收めるため極めて險惡な防禦戰を遂行するの已むなきに至り、しかも攻撃軍殲滅の機は刻々に增大してゐる、このことはまたドイツ軍の抗戰力とドイツ軍司令部の斷乎たる意力が過去數週間の不調によつて些かも影響されてゐないことを實證するものだ、事實、反樞軸陣營の勝誇つた軍事評論家が反樞軸軍の勝利目前に迫ると稱し、戰爭の早期終結を豫言したことも、當時の戰況をもつてすれば必ずしも不當とはいへなかつた、しかしながら今日これらの評論家は戰局の相貌が一變してゐることを認めねばならぬ立場に追ひ込まれてゐるのだ

一、ミューズ、シエルド兩河中間で攻撃する反樞軸軍と協同してアルンヘム、ニムウエーゲン、アインドホーフエン地區に降下した强力な空挺部隊はドイツ軍陣地の分斷を所期の目的とし同時にワール、レク兩河を渡つてオランダ要塞の關門を確保する作戰であつた、然るに現在反樞軸軍がニムウエーゲン周邊の空挺部隊降下地區中央に兵力を增强しようと努めてゐることは空挺部隊の作戰が著しく制限されてゐることを示すものだ、ニムウエーゲン地區の戰鬪はまだ終つてゐないが以上の作戰の齎す結果については反樞軸軍は痛く失望を禁じ得ぬであらう、ドイツ軍の戰線は未だ如何なる地點においても突破されてゐないのである

一、最南翼においてはドイツ軍はフランス東南部から安全に撤收してドウーブ上流地區を經てスイスのユラに流れるモーゼル河上流に新たな戰線を形成したが、この新戰線は地形によつて非常に有利とされてゐる、極く最近までドイツ軍の憂慮の的となつてゐた戰線はドイツ古代都市のアーヘンと隣接地區、更に南方のアイフエル西部からモーゼルに達する地區とメツツ地區であつた

アーヘン及びアイフエル戰線はジーグフリード線の一部だが、このドイツ國境地區に對し米軍はルーヴアン、ナミール、セダンから突出して迅速に進出を遂げた、廣汎な戰線にわたつて劣勢な兵力で作戰しなければならぬ必要上ドイツ軍の戰術は專ら時を稼ぐことに力を注がれたが、一時にせよ米軍の進出を喰ひ止めることが出來た、その後新兵力が增派されるに至つて、ドイツ軍は攻守兩面の作戰を採り、エヒターナツハ西北方のザウアーを拔いて進擊した反樞軸軍を殲滅するといふ輝しい戰果を收めたのである、シヤトー・サラン、リユーヌヴイルにおける戰鬪は反樞軸軍の攻撃に對するにドイツ軍の强力な逆襲によつて特徵づけられる、以上のことは總て西部戰線のドイツ軍陣地が全く再建されたことを示すものだ

一、ドイツ軍の主要目的は遂に達成された、西部戰線の戰局は曾つてのフランス東部やベルギー戰線の如く反樞軸軍の攻勢によつて一方的に決定され得なくなつた、米軍の「容易い勝利」の時はすでに過去のものとなつた、ドイツ國境地區の縱深に亘る巧緻な陣地線が時を稼いだお蔭で愈々强化されてゐることを知るに至つて反樞軸軍は最終的に「容易い勝利」といふ安價な觀點を棄てねばなるまい、勿論ドイツ軍は反樞軸軍の物量における優位を否定しないが、戰車は攻撃兵器であるばかりでなく、防衞線の縱深から反撃を展開するための恰好の兵器であることを忘れてはならない、また航空兵力も攻撃軍の一方的兵器ではない

更にドイツの技術力は新兵器の創造を十分可能とすることに思ひを至すならば、大勢は既にドイツ軍の側にあることを斷言出來よう

昭和十九年 九 月廿八日(木)
第三一九三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

アラブ會議開く

(リスボン二十六日發)カイロ來電=アラビア民族の結集を目指すアラブ聯盟會議は二十五日アレキサンドリアで開幕した、開會に當りエジプト首相ナハス・パシヤは次の通り述べた

アラビア民族からなる西亞各國は將來相互間の善隣關係を强化するであらうが、この善隣關係こそ國際平和の重要な基底をなすものである、民主々義的な西亞は今次大戰により著るしくその重要性を增すに至つた、アラビア各國が悉く豫備會談に代表を派遣しなかつたことは遺憾であるが、他日必ずや全アラビア各國は共同の運命について共に協議を遂げることであらう、今回の會議においては討議は一切公開されない豫定である、エジプト國王ファルーク一世は都合により開會式臨席をとり止め、代つて王位繼承者である一族のモハメッド・アリが出席した

ラムゼー議員を釋放

(ストツクホルム二十六日發)ロンドン來電=保守黨下院議員ラムゼー大尉は國防保安法第十八條B項により「公安乃至國防に有害な行動に關係し若しくはかかる行爲を準備乃至使嗾した」との嫌疑で一九四〇年五月以來ブリツクストン刑務所に拘禁されてゐたが、內相モリソンは二十六日休會開けの下院において同人が今回釋放された旨言明した、以上の發表に對し、共產黨議員ガラカーが「ラムゼーは反ユダヤ主義者だ」と野次つたため議場は一時大騷ぎとなり議長は失言取消しを要求したが、ガラカーは右の要求に應ぜず結局當日限り登院停止を命ぜられた

ケベツク會談の結果に言及せん

(ストツクホルム二十六日發)ロンドン來電=英國首相チヤーチルは二十六日休會開けの下院においていはゆる戰爭犯罪人の處分、國際安全保障案等に關する質疑に應答したが、外相イーデンの言明によれば二十八日下院における討議開始に當り「戰況並びに國際情勢」につきチヤーチルが下院に報告するといはれる、恐らく右報告においてチヤーチルはケベツク會談の結果に關聯し太平洋反攻作戰に言及するとみられる

米國の戰費增加

(リスボン二十六日發)ワシントン來電=米國財務省は二十六日本年七月一日本會計年度開始以來二十三日までの戰費は二百十億九千百萬弗に達したと發表した、前年同期の百九十億七千八百萬弗に比較すれば二十億弗以上の增加である

米船の亞國寄港禁止

(リスボン二十六日發)ワシントン來電=米國のアルゼンチンに對する經濟壓迫は漸次露骨且つ積極化してゐるが、國務省は二十六日更に對亞壓迫の新措置を次の通り發表した

十月一日以降南米各地から北航の米國船舶に對してアルゼンチン諸港に寄港することを禁止する、この措置は戰爭の必要によつたものであるが、反樞軸國の戰爭努力に寄與してゐるその他諸國の海運問題についてはあらゆる考慮を拂ふであらう

アンラ事務次長辭職

(リスボン二十六日發)モントリオール來電=アンラ(反樞軸救濟復興會議)事務總長リーマンは二十六日事務次長アーサー・ソルター(英國人)が辭職した旨發表した、辭職の理由は明らかでない

八月中軍需生產高

(リスボン二十五日發)ワシントン來電=戰時生產局は八月中の軍需生產狀況に關し二十五日次の通り發表した

八月中の米國軍需生產は五十四億三千萬弗に達した、これは目標額の九十七パーセントに當り七月中の生產に比し二パーセントの增加となつてゐる、しかしてタイヤ、トラツク、超重爆撃機、大口徑砲彈等最も重要な數種目については最高記錄が樹立された、八月中に引渡された飛行機の數は約八千、所期の計畫を割ること六パーセントである、九月に入れば海軍關係の軍需生產は一段と增加する見込で、八月に比し四十五パーセント方增加することとならう

昭和十九年 九 月廿八日(木)
第三一九三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米 國】

日本の態勢不敗

(リスボン二十五日發)ワシントン來電によれば戰時情報局は二十五日太平洋戰局に關する報告の中で對日戰の現段階に言及し、米國陸海軍、國務省、經濟關係者の意見として太平洋戰爭が極めて困難な作戰であり、將來とも尨大な犧牲を要求する點を率直に認め、以て國民に對する警告としてゐる、要旨左の通り

太平洋戰爭において米國がとつてゐる作戰計畫の現狀からみれば、日本を敗るには數ケ月どころか數年の歲月を要するであらう、これは陸海軍、國務省、經濟關係者の一致した意見であり正確な數字を基礎とした見解だ、假りにドイツが敗れた後で日本に對し全面的な攻擊を加へても日本を完全に打倒するには少くとも數年を要するだらう、日本の國內崩壞などはあり得ず、またこれを期待することは出來ぬのだ、日本の國內崩壞といふ點については、前駐日大使グルーがすでに再三再四米國民に警告してゐるやうに、日本人の志氣が凋落するやうなことはない戰局が愈々險惡になつても日本人は心理的にも經濟的にも參るやうなことは考へられぬ、一杯の飯を半杯にしても、日本人は最後まで頑張るのだ、日本を完全に打ちのめすためにはその人的資源と資材の完全な破壞を圖らねばならぬ、この點がドイツ人と日本人の相違だ、故に國民はこの點を十分考へて對日戰を行はねばならぬ日本は長期戰によつて反樞軸國が疲勞その極に達することを期待してをり、日本の指導者も戰爭をながびかせて、反樞軸國の消耗を圖り、戰局の頓挫を圖らうとしてゐる

反樞軸國の有する軍事力、資源乃至戰鬪力はなるほど日本より優れてゐるが反樞軸陣營內で資源、軍事力、生產力が日本に比較して優勢なのは米國だけだ、日本は米國海軍の空母の活動により太平洋島嶼に配備された航空機を喪失したが、これによつて米國本土西海岸方面への日本航空部隊出擊の可能性が消滅したと考へてはならぬ、一方日本將兵の志氣が如何に旺盛であるかはマツカーサーが既に言明してをり、さらに日本は今次大戰勃發以來未だその占領地の資源を全面的に開發してゐる譯ではない、日本の現在の生產力は大戰勃發以前とほとんど同樣であり、占領地の資源を活用するならばその生產力は更に增大するであらう、これらの點から見ると日本の全面的勝利がまだ約束されるわけだ

スエーデン壓迫

(リスボン二十五日發)ワシントン來電=ワシントン駐劄スエーデン公使ボストレーム氏は二十五日國務長官ハルを訪問會談したが、會談後ハルは新聞記者團に對し今回スエーデン政府が實施した外國船舶に對するスエーデン諸港の閉鎖措置につき次の通り述べた

米國政府はスエーデン政府今次の措置を滿足に思つてゐる、余はスエーデン公使と本日の會談で同國の外國貿易問題につき話合つた

六百萬の婦人動員

(リスボン二十四日發)ワシントン來電=勞働省婦人局は米國の婦人動員狀況につき二十四日次の通り發表した

一九四一年十二月七日以來六百五十萬以上の婦人が就業した、內半數以上は家庭からきたもので、大部分は工場乃至事務關係の仕事に從事してゐる

商船隊現勢力

(リスボン二十五日發)ワシントン來電=戰時海運局長官エモリー・ランドは二十五日大統領ルーズヴエルトに對する非公式報告において海運界の現狀を次の通り說明した

米國の商船數は開戰當時の千三百四十隻、總重量トン一千百八十五萬トンから三千四百隻、總重量トン三千五百萬トン以上に增加した、昨年中米國諸港から積出された雜貨は四千六百九十七萬一千トンであり一九四二年度に比し四十二%以上の增加である、商船乘組員の數は戰前七萬にも滿たなかつたが、今年までに十萬ほど增加し、更に今後六萬五千が新たに加はる豫定である

昭和十九年 九月廿八日(木)
第三一九三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【ソ 聯】

「赤い星」紙、太平洋戰を論ず

(モスクワ二十二日坂田特派員發)軍事評論家エルマショフ氏は二十二日の赤軍機關紙「赤い星」に長文の戰局評論を發表
米軍がサイパン、グワム兩島を占領して以來三ケ月を經過するが、ニミツツは未だに日本本土を目指す北上作戰の火蓋を切つてゐない、恐らくニミツツは日本本土と南方との間の重要連絡線を攻撃するためサイパン、グワム兩島を強力な空軍基地と化する積りであらう
と前提、米軍が比島侵攻作戰に重點を置いてゐるとするソ聯側の見解を明かにした後、パラオ、ハルマヘラ上陸作戰とそれに續くべき比島作戰の意義を詳細に解明した後、日本が決戰準備を着々進めてゐる事實を指摘
日米兩軍主力の決戰は既に時間の問題となつてをり、この決戰は太平洋戰の運命を最終的に決することとならう
と結んで、來るべき米軍の比島作戰に對する注意を喚起してゐる

獨抗戰力を正當に評價

(ストツクホルム二十五日發)歐洲戰局の急展開に伴ひ、米英兩國では對獨戰はこの冬を越さずに終るだらうといふ甚だ身勝手な觀測が有力化してゐるが、ソ聯のみは依然ドイツに對する長期且つ困難な消耗戰を豫想して國民の士氣昂揚に努め、米英兩國の意識的な樂觀氣分と鋭い對照をなしてゐる「ストツクホルムス・チドニンゲン」紙のロンドン電報も歐洲戰に對する米英とソ聯の見透しの齟齬を指摘して去る二十二日次の通り報じてゐる
ソヴエト政府は歐洲戰が今年中に終るとする米英兩國政府の浮はついた樂觀論を不快視し、殊更に全力を擧げて來るべき冬季戰の準備を進めてゐるやうだ、ソ聯側の見解を綜合すると次の通りである
ドイツは依然イタリアに二十個師、ノルウエーに十個師の兵力を擁してゐるが、このことはドイツが長期間抗戰を續ける餘力を有することを實證するものだ、反樞軸軍の兵站線は伸びきつてゐるが、ドイツ軍の兵站線は著しく短縮されドイツ國内に防衛力を集結してゐるばかりでなく、兵力そのものも依然として極めて強力である、反樞軸軍は今日まで遊撃活動によつて大いに利してきたが、戰線がドイツ國内に移ればさうはゆかない、アイゼンハウアー軍はまだ利用出來る大港灣を持つてをらずドイツ國内を縱横に流れる諸河川は有力な自然障壁として役立つことにならう、更にドイツ軍はルール地方の戰略的重要性に鑑み、同地方の諸都市を焦土と化してまで抗戰するは必然である
以上のソ聯の見解はナチ體制が軍隊に大きな影響力を持つてをり、ドイツ國民は最後の一人となるまで戰ひ抜くであらうといふ軍事條件に基くものだが、米英兩國の樂觀論は一九一八年當時のドイツ國内情勢に類似した偶然の僥倖に立脚してゐるいづれにしてもソ聯の見方が正しいか、あるひは米英兩國の情勢判斷が正鵠を射てゐるかは時が決定すべき問題だ

リトアニア新軍隊編成

(モスクワ二十五日坂田特派員發)ヴイルノからのタス電報によればリトアニア共和國では目下新リトアニア軍を編成中といはれ、數日前にリトアニア共和國最高會議幹部會議長パレツキスは新リトアニア軍將兵に向つて挨拶を述べたと傳へられる

【英 國】

對米逆貸與

(ストツクホルム二十五日發)ロンドン來電=政府は米軍に對する武器逆貸與の狀況に關し二十五日次の通り發表した
英國は武器逆貸與に基き、歐洲侵攻軍の編成期間中、價格にして約二億弗に達する建物その他を米軍のため建築、提供した、以上の内には鐵道百七十五哩、道路二百哩、野營陣地、貯藏庫十萬人を收容し得る病院並びに補助的武器、彈藥なども含まれてゐる

昭和十九年 九月廿八日(木)
第三一九三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【東南歐】

羅元首相等を逮捕

(リスボン二十五日發)ブカレスト來電=ルーマニア政府は二十五日次の通り發表した一九四〇年當時のルーマニア首相イオン、ギグルツ、外相ミハイル、マノイレスコ及び法相ヴアレル、ポツプは同年ドイツ政府に對しルーマニア軍を教育するため軍隊を送るやう依頼し、更にトランシルヴアニア北部をハンガリー政府に讓渡したとの廉で二十五日逮捕されたなほギグルツ、マノイレスコの兩名は一九四〇年八月ウイーン裁定に調印した

【反樞軸陣營】

リーマン訪ソ

(リスボン二十五日發)モントリオール來電によれば反樞軸救濟復興會議事務總長ハーバート・リーマンは近くモスクワ及び他の歐洲諸都市を訪問する豫定といはれる

【南伊】

前大評議會議員を逮捕

(リスボン二十四日發)キヤツソー來電=イタリア傀儡政權の肅清委員長スフオルツアは前ファシズム大評議會議員ボツタイ、ロツソニ兩氏に對し二十四日逮捕狀を發した、一方前イタリア銀行總裁マツツイリーニ氏も近くローマで公判に付される豫定といはれる

ラガージア、司政長官へ

(リスボン二十五日發)ワシントン來電によればニューヨーク市長ラガージアは今回イタリア中南部地域を管轄する司政長官に任命されたといはれる

【軍事情報】

米國の新疲勞恢復劑

(ベルリン二十四日佐々木特派員發)産業戰士や飛行士の疲勞防止、疲勞の早期恢復によつて增產戰における能率向上を圖らんとする新發明がこのほど米國の科學雜誌「サイエンス」に發表された
發明者はウオースター生物學研究所のハドソン・ホークランド、グレゴリー・ピンカスの兩博士で、新疲勞防止劑の名はピレグネノロネといふ、發明の契機となつたのは、人間の尿中に副腎腺外皮より排泄される一七ケトステロイドなる炭酸化合物(比率は酸素一對炭素一七)が含まれてゐるといふ事實で、その含有量が疲勞度に正比例してゐるといふ點に着眼、これを補へば疲勞の恢復も豫防も可能だと考へた譯である、ホークランド並びにピンカスの發見は一七ケトステロイドに代るべきステロイドを人工的に合成し得たことでありこのプレグネノロネを每日五〇瓲づつ與へると目立つて能率が上り、しかも他の昂奮劑のごとく惡影響や副作用がないといはれる

【重慶政權】

國共の和協は絶望

(リスボン二十五日發)去る十八日終了した重慶國民參政會議は國共和協策として黨派的色彩の少い委員五名から成る調査團を任命、調査團は近く延安に乘込み共產地區の實情を調査した上重慶政權に建議案を提出する段取りだが、ニューヨークの週刊「タイムス」誌の重慶特派員は參政會議における國共兩代表の報告を基礎に國共交涉の經緯を明かにするとともに、交涉の前途につき次のやうな見透しを下してゐる

× × ×

國民參政會委員二百四十三名のうち五十パーセント以上は國民黨員であり、殘りのうち十八名が中共及び各小政黨に所屬し更に殘りは政黨に所屬してゐない、國民參政會の提案は上程に先立ち委員二十五名の署名を必要とするから、實際は國民黨が參政會を支配してゐる、成都の「ウエスト・チヤイナデーリー」紙の八月十七日附及び二十日附報道によれば四川省代表二名は周省主席張焱が「貴下等は何故參政會議に出席しないのか」と尋ねた際「參政會は國民的な公平な機關ではなく國民黨員でない委員の數があまりにも少なすぎる」と答へ、或る委員はさらに「重慶政權はいまだに民主主義の實現に對する余の一九四一年の提案を討議することを許容してゐない」と附言したといはれる

九月五日から十八日まで十四日間の第三次參政會議で五日間が當局の報告並びに討議に費され、次の四日間は諸提案の討議だ、第一日目は中共問題に當てられたが、朝の會議は僅か一時間で中共代表林祖涵の報告に當てられ、林代表は七十分間演說した、午後は重慶代表の張治中が二時から四時まで演說してゐる、その後商務印書館の總經理王雲五及び他の二名が演說し、國共兩黨は問題を圓滿に解決するため互ひに讓歩しなくてはならぬと述べた、その後參政會は調査團を延安に派遣することを決議した、殘りの會期は各決議の可決を總會に諮るに費され、中共問題に當てられた一日を除いては討議は重慶政權の腐敗及び徵兵の恐るべき狀態に向けられた、主な攻擊は財政部に集中され、その結果可決された決議は財政部長が官營銀行の頭取を兼務することを禁止すると共に、かかる兼任は類例のないことだと指摘してゐる、參政會はまた米國における重慶要人の預金を引き戻して、將兵の生活狀態の改善に活用すべきことを要求した、重慶は現在最も重大な軍事的、經濟的政治的情勢に直面してゐるため、これらの諸情勢が現在各種の非難を起してゐるのは避け難いことであり、しかも一部の國民黨員が或る一部長を攻擊した事實によつて明らかな通り、黨内にも不滿が少くない

國共對立は遂に宿命的

重慶政權が參政會員に公然と特定の事柄について批判を許したのは、以上の情勢の壓力の現れだが、その結果として第一に米國に凍結されてゐる三百萬弗を回收して、將兵生活狀態改善に資し、第二にはソヴエト聯邦との關係を改善せねばならぬ旨の決議案が可決された、しかしながらこれらの決議としても日本軍の攻勢を如何にして阻止するか、日本軍を擊退するため反樞軸軍と呼應して攻勢をとる方策、特に如何にして重慶軍を强化するかといふ刻下急務の核心を衝いてはゐない、蔣介石は參政會において軍紀の嚴正と軍令に對する服從の必要を述べ、併せて重慶治下の政治的軍事的統率の必要を强調した、中共代表林祖涵も參政會に對する報告で同じく統一の必要を說いた、大公報も次の通り述べてゐる

重慶政權は民主々義政治の樹立に向つてなんらかの前進を遂げただらうか、國民政府は國民に政治的自由を與へ、言論の自由に對する制限を緩和し、國民の自由と權利を保護し國民代表諸機關の義務と權能を擴大せねばならぬ、國民議會を召集し、立憲制度を採用する前に、以上の實現を期するために協議し計畫を樹てねばならない

蔣介石は參政會の演說で「當局は戰爭の條件が許す限り、國民の自由保護を保障、例へば個人の自由を保護するため檢閱規定の標準を變更した」と述べ、宣傳部長梁寒操は四月の記者團會見で檢閱が不行屆であることを認め、廣い基準の適用を約束してゐる、この林祖涵の報告によれば八月一日の人力保護令發布以來公判もなく、新四軍司令官葉挺上將その他政治犯人は釋放されてゐない、林祖涵は今度の報告で第一に民主々義を全國的に實施する必要を强調し、第二には民主々義政權即ち共產政權を八千八百萬の民衆と共に承認し、中共その他の諸政黨の合法性を認め、西北地區の封鎖を撤去することを要求してゐる、中共と重慶との交涉は主として軍事問題だが、中共は日本軍と戰ふ部隊として四十七萬の正規軍即ち十六ケ師からなる六個軍を持つてゐると主張してゐるが、重慶はこの數字を問題とし、十ケ師からなる四個軍以上は認めない、且つ公認された部隊が特定の期間内に特定の場所に集結し、その他の部隊は解散することを要求してゐる、中共は組織された地方各政權の承認を要求してゐるが、重慶は同意を與へない、國共の對立につき蔣介石は參政會の演說で

中共が軍事的及び政治的命令に服從しさへすれば、重慶政權は第十八路軍を十二個師に改編すること及び給料並びに武器、醫療品の供給に關し重慶軍と對等の取扱ひを認めること等を含む中共の要求に對して最大の讓歩をなすであらうと述べてゐる、林祖涵は

中共は國民黨が一黨專制を今直ちに終熄させ、一切の政黨政派、地方諸政權、民間代表を招集して國内問題の會議を開き、且つ聯合政權を組織することを要求する

と主張してゐるが、參政會で任命された調査團が各種の必要な準備を整へるには恐らく一ケ月以上を要し更に交涉が終結するまでに一ケ月以上、現地調査の結果が取纒められるまでにも一ケ月以上は必要であらうから以上最少限度三ケ月の間には別の重大な變化が起りさうだ

昭和十九年 九 月廿八日(木)
第 三 一 九 三 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

ケベック會談を繞りて (續)

長谷川才次

ソ聯の不參加で龍頭蛇尾に終る

以上ロンドン各紙の報道からかなり明確に歸納出來ることはスターリンの不參加で折角のケベック會談が歐洲の善後策に關する限り、懸案は懸案の儘で殘り、畫龍遂に點睛を缺いて蛇尾に墮したといふことだ、勿論ド・ゴール政權との關係、イタリア南部の難民救濟等については種々具體案も出來たであらうが、モスクワが反樞軸陣營のメッカに昇格した現狀において、スターリンの加はらぬ會議で亡命ポーランド政權とヘウム政權との關係にしても、彼らが烏滸がましくも論議するドイツ處分の皮算用にしても、これら一切の重要懸案が片付くわけはない、イーデンが如何なる機密の情報を齎らしたか知らぬが、會談が僅か一週間で倉皇として閉會した所以だ、この點について「デイリー・テレグラフ」紙のケベック特派員は十四日更に次の通り報道してゐる

「アーリーはもしスターリンが會談に參加すれば會談はケベック以外の地點で開催されたらうと洩らした、テヘラン會談についても同人は面白い側面史を洩らしたが、スターリンを交へての鼎談はケベック會談の直前一九四三年の夏に初めて議に上つたといふ、當時はアラスカ地方のフェアバンクスで會議を開いてはどうかといふことであつたところがスターリンは赤軍の夏季攻勢を控へて本國を離れることが出來ぬといふので、十一月テヘランで會議を開くことになつたといふことだ」

もうひとつ同特派員の傳へるところによれば、日本軍に對する反攻作戰を協議する會議に重慶代表が何故招請されないかといふ、形式論としては一應もつともな疑問が記者團の間に出たらしい、九月十三日の會見で

「蔣介石がスターリンと同樣招請を受けたのか調べて欲しい」

といふ質問が出たのに對し、アーリーはルーズヴエルトの聲明と稱して次の文句を取次いでゐる

「今回の會議は太平洋並びに歐洲における米英兩國の戰爭努力を打つて一丸とし最善を期することを目的としてゐる、會議では支那、太平洋並びに歐洲情勢に順應して審議を進め、兩國の努力と盟邦各國、殊に重慶とソヴエト聯邦との努力調整に力めてゐる」

かかる、顧みて他をいふ聲明が答辯の態をなしてゐないことはいふまでもないが、現實には重慶政權に發言權がないことははつきりしてゐるのだから、重慶代表が參加するかどうかは議論のための議論といふことに止まらう

緊急解決を要するソ波問題

しからばスターリン不參加のまま歐洲については如何なる論議が重ねられたのだらうか?「チユーリヒア・ツアイツング」紙のロンドン特派員は九月十五日の紙上でこの點について次のやうな解答を與へてゐる

「外交界筋ではドイツ問題とポーランド問題とが主要政治問題だと信じてゐる、英國政府筋ではソ波兩國の紛爭について裏切られたといふ感じを隱さうとせず重大な懸念を示してゐる、亡命ポーランド政權筋では頻りに參謀總長ソスンコウスキーの進退について論議してゐるが、亡命政權がソヴエト政府並びにヘウム政權と話合ひをつけるには同人の辭任は避け難いところだらう、ソスンコウスキーが過般ソヴエト政府並びに反樞軸陣營全體に對し、非友誼的な軍命令を出したので辭任は必至だが、ポーランド叛軍の軍人達以外に亡命ポーランド人の間では、ワルシヤワ蜂起軍に對する反樞軸軍の援助が足りなかつたといふ同人の非難を支持する意見が有力だ、赤軍がポール麾下のワルシヤワ蜂起軍に對して如何なる態度に出るかはわからないが、ヘウム政權は右不正規軍の合法性を認めてゐない、ところが米英兩國政府は同軍を反樞軸軍の一部と認めてゐるから赤軍が不承認政策に出る場合、反樞軸軍にとつては極度に困つた事態が持ち上らう」

昭和十九年 九月廿八日(木)
第三一九三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ケベックからのロイター電報は同日次の通り報道してゐる

「カナデアン・プレス」社の報道によれば、イーデンの到著によつて協議は次の要點について進められよう

一、無條件方式の修正案

一、ポーランドに關するソヴエト政府の强硬態度と戰爭目的に關する討議にソヴエト政府が參加しないことの對策

一、ダンバートン・オークス會議からの提案に關する意見の交換

カサブランカ宣言はソヴエト政府の參加を得なければ反樞軸陣營全體の政策の基礎とはなり得ない、ドイツ軍が必要とあれば最後の一兵まで戰ふ決意を持つてゐることは疑ひないが、米英兩國も出來るだけ早く休戰を實現して反樞軸兵力の消耗を阻止しようといふ態度だ、ポーランドについてソヴエト政府と米英兩國の見解が相違してゐることがもう一つ緊急解決を要する問題だ、或ひはイーデンが外相としての見地よりこの問題を檢討しモスクワに赴いてスターリンと會談を遂げるやう要請されるかも知れない、しかし無條件降伏方式の修正案に對してはケベック會談の當局筋は冷眼視し、ルーズヴエルト大統領は絕對的勝利を確保する決心で他の如何なる結果にも滿足しない、英國首相の側近もチヤーチルはあくまでドイツ政府の無條件降伏を主張してゐると言明してゐる

疑義おこる對獨無條件降伏方式

米英兩國がカサブランカ方式を修正しようが、しまいが、歐洲の新秩序建設のため民族興亡の戰ひを賭するヒトラー總統とドイツ國民の決意に些かの變りもあり得ないが英國内に無條件降伏方式に對する疑義が出てゐることは事實らしい、「チユーリヒア・ツアイツング」紙のロンドン特派員は九月十六日に至つて更に次の通り報道してゐる

「米英兩國が久しい以前からドイツ國民に對する降伏勸告の宣言文を用意してゐることは明らかでチヤーチルもイーデンも下院で適當な機會にかかる宣言を出す方針と述べてゐる、宣言の時機が到來したと考へてゐる英國人を代表し週刊「スペクテーター」誌は、反樞軸軍がドイツ領土内に侵入する場合に一番利き目があると論じてゐる、しかし宣言を出すにはソヴエト政府の合意、乃至少くとも諒解が必要だ、しかしドイツ人に對し、戰爭が割に合はないことを事實によつて示さずに、最後の瞬間に宣言を出すことには米英兩國政府自身もまだ決心が出來てゐないらしい」、最近ギヤラツプ輿論調査所が英國内の一般人について「貫下はドイツに對し無條件降伏を要求することを主張するか乃至豫め特定の和平條件を公表することに贊成か」との質問を出したが、「ニユーズ・クロニクル」紙は九月十六日の紙上で調査の結果について次の通り報道してゐる

無條件降伏　七六パーセント
和平條件の豫告　一八パーセント
未　定　六パーセント

無條件降伏と和平條件の提示とを見比べて、後者が多少でも穩かなのかと思ふと大變な誤解だ、フランク・マーフイがルーズヴエルト大統領との會見後洩らしたと傳へられる通り、反樞軸軍がドイツ國民の漸進的降伏を期待してゐるといふのはとりも直さずドイツ領土の保障占領を夢みてゐるといふ意味にほかならない、ルーマニア、フインランド兩國に對する休戰條件も寔に苛酷でドイツ外務省當局が斷案を下してゐる通り「死刑の宣告」にほかならないが、ドイツ國に對しては反樞軸軍はさらに一歩を進め——ガンジー翁が印度について、屢々使用する言葉を借りれば、——活體解剖（Vivisection）を企圖してゐるのだ、ドイツ本國を分割することによつて、歐洲の安定を期待しようといふアングロサクソンの妄想を世界史の流れにおいて論難することは容易だが、論議は暫く措き、かれらの不逞な意圖を各紙の報道に基いて暴露しよう

「デイリー・メール」紙ケベック特派員九月十四日

ドイツ軍打倒の最終計畫乃至ナチ黨が窮境に陷つた場合打つ手に對し、あらゆる場合を想定して對策を練ることがルーズヴエルトとチヤーチルとがケベック到著以來主力を注いだところだ

昭和十九年 九 月廿八日(木)
第 三 一 九 三 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

但しドイツ本土の地域分擔が決つたといふ徵候は全然ない、米國政府の執拗な主張に鑑み歐洲諸問委員會の勸告案について何等かの妥協が必要だらう、委員會ではドイツ中部並びに南部を米國に北部並びに西部を英國に、ソヴエト聯邦はドイツ東部を支配するといふ案だ、しかし英國政府の方針は單刀直截だ、將來の支配行政も成程大事だが刻下の最大急務に比べれば依然として二の次だ、スターリンもチヤーチルと同意見で歐洲戰爭は如何なる代償を拂はうとも年內に片付けねばならないと主張してゐる、したがつて右目的貫徹の邪魔をなすことは何事にせよ、傍へのけておかねばならない、政治上の諸考慮は大半このうちに入る

「スヴエンスカ・ダグブラデツド」紙ニユーヨーク特派員九月二十二日 チヤーチルとルーズヴエルトとはケベツク會談でドイツ本國の占領について次の通り決定した

一、ドイツ本國を三地區に分つ、東部をソヴエト聯邦に、南部を米國に、北部を英國に委ねる

一、各地區に高等辨務官を置く、高等辨務官は軍事占領の完了とともに就任する

辨務官の任務＝イ、ドイツ工業の復員指導 ロ 食料の配給 ハ、正常產業生活への復歸 ニ、賠償金の徵收 ホ、敎育管理

ところが英國代表がドイツ北西部諸港の管理權を要求したために、米英兩國間にドイツ西部の分擔について激論が闘はされたと傳へられる

以上の報道に徵しても今回の戰爭には妥協の餘地なく、勝利か滅亡かだと道破したヒトラー總統の見解は全くの卓見だ、しかしかかる夢物語についても結局決定權を握つてゐるのはソヴエト政府だ、ハウム政權を繞る意見の對立以外ブルガリア、ルーマニア、フインランド三國との休戰に關しても、米英兩國とソヴエト政府との關係が決して圓滿無碍といふことは出來ず、イーデンが急遽ケベツクに乘込んだ事情についても種々の臆測が流布されてゐるわけだが、同外相を交へてのケベツク會談の政治的決定については結局ニユーヨークからの九月十九日ロイター電報が次の五項目を上げてゐる

一、ドイツ本國に關する反樞軸軍事委員會の結成
ド・ゴール政權も參加する

一、歐洲諮問委員會の權限擴大

一、世界安定機構の組織

一、ソ波兩國間の紛爭に關する取極め

一、フランス叛軍の東亞反攻作戰參畫

太平洋作戰の戰略と分擔

最後に太平洋反攻作戰に關するケベツク會談の決定である、第一に戰略、第二に戰區の分擔乃至最高司令官の任命、第三に英軍の分野等に分けることが出來るが實際にはこれらの諸決定が互に相關聯してゐるので別々に叙述することは出來ない先づ作戰計畫だが勿論祕中の祕で米英兩國の報道機關から適確な情報を見つけだすことはできないしかし「デイリー・スケツチ」紙のケベツク特派員は九月十五日次の通り報道してゐる

「ルーズヴエルトとチヤーチル並びに軍事顧問連が太平洋反攻作戰について兩樣の作戰計畫を檢討してゐるといふのが專らの噂だ、第一案は直接日本本土に進擊して艦隊決戰を挑む計畫だ、第二案は愼重な計畫で日本本土に對する海上封鎖、比島に對する侵攻作戰並びに支那における廣汎な陸上作戰の後兩路から日本本土に進擊する案だ、第一案はあくまで海上作戰で、第二案は主として陸上作戰とならう、兩案のうちいづれが採擇されたのか、いづれにせよ太平洋作戰が現實に展開されるまで全然發表がないことだけは確だ

昭和十九年　九月廿八日(木)
第三一九三號

同盟通信

海外電報（第三種郵便物認可）

同時に日本軍との決戰に先立ち支那滿洲における日本軍の精銳と一大會戰を交へねばならぬことも專門家の等しく豫想してゐる所である

會談の眞最中「ヘラルド・トリビューン」紙その他米國の新聞界が太平洋反攻作戰の總司令部設置案を報道し、卽時祕書スチーヴン・アーリーが取消すといふ挿話まで演じたが、結局「スヴエンスカ・ダグブラデツド」紙のニューヨーク特電、乃至「チューリツヒア・ツアイツング」紙のワシントン特電に徵しても

一、比島以西、マウントバツテン麾下の英軍
一、比島、ニューギニア、マツクアーサー將軍麾下の米軍を主體とする混合軍
一、中部太平洋、ニミツツ提督麾下の米軍

といふ風に分擔が極つたことは明らかだ

好戰首相に非難の色

英軍は要するに水陸兩樣作戰で東印度の側面を衝くのだらうが、英軍が東亞反攻作戰に本腰を入れるのは特に歐洲戰局の推移によつて影響されることが大きいとみられる、チヤーチルが會談後の新聞會見で米軍が獨力で太平洋反攻作戰を引受けようとするのを押へようとして、一寸交涉が揉めたと洩らしてゐるが、この邊の駈引は仲々微妙だ英國人の一部が五ケ年に亘る惡戰苦鬪の後、懸軍萬里東亞反攻に赴くことに可成難色を示してゐることは事實らしい、ケベツク會談の終了を俟つて英國政府は九月二十二日英軍の復員に關する計畫を發表したが、右內容を傳へると同時に當日のロイター電報は次の通り述べてゐる

「チヤーチルが東亞反攻作戰に英軍の果たす役割に關聯し、大いに乘氣になつたと述べたのに對し英國內には個人々々の間に強い反對意見が起つてをり、各紙にも首相の言辭を非難した寄書が多數舞込んでゐる、東亞反攻作戰に英國政府が全力を傾到しようといふのに對しては世人の人情に基く困難の徵候が目につく、東亞には英國民の回避してはならぬ仕事が控えてゐるといふのが一般的な見解だが、過去五ケ年間中東において、歐洲において戰つた英國人がさらに遠方の戰線へ喜んで赴かねばならないといふチヤーチル首相の公然たる態度に對しては強い一般の憎惡が起つてゐる、一部では「若し米國人が獨りで全部やり遂げようといふなら米國人にやらせたらよからう」とまでいつてゐる位だ、他方少くとも英國民が全力を擧げて東亞反攻作戰に參畫しなければならないとの決心が鈍つた樣子はみえず、新聞とか政黨人とかが奇貨措くべしとして利用しさうなのに、首相の言明に對する不滿が新聞や政黨人の公けの聲明にでてきてはゐない」

「デイリー・ヘラルド」紙にでた「戰爭のための未亡人」からの手紙には

チヤーチル首相は英國も東亞反攻作戰といふ面白い仕事に一役買ひたいし、甘い汁（all good things）を悉く米國人に任かすわけには參らぬと述べたといふことですが、夫を失つた數萬の未亡人や息子をなくした母親達は、これまでの首相の言葉を讀んで一體何と感じるでせうと痛いところを突いてをり、同紙は社說において日本軍との戰ひをうまい仕事だなどと放言するのは、英國兵が依然當面しなければならぬ苦難を全く看過してゐる證據だ

と好戰首相の頂門に一箴を打ち込んでゐる

ロイター電報がこの程度に報道してゐるのだからチヤーチルの言明は可成り深刻な反響を米國人の間に捲き起してゐるとみて差支へあるまいが、同時に「タイムズ」紙その他が頻りに論議してゐる通り、太平洋反攻作戰を獨力で押し切らうとする米國人殊に米國海軍部內の意向に對しては英國の帝國主義分子が少からぬ焦躁を禁じ得ないと思ふ、否獨り英國だけではない、亡命オランダ政權のはてに至るまで東亞反攻作戰に一役買はうとしてゐると「ブンド」紙のロンドン特派員は報道してゐる位だ

反攻作戰の先陣を爭つてゐるわけでもあるまいが、米軍は早くも比島に對する總攻擊を開始したケベツク會談の決定は早くもその鋒鋩を現はしたといへよう

大正十五年十月廿八日第三種郵便物認可　昭和十九年九月廿九日(金)　第三一九四號

同盟通信

海外電報

(224)

編輯發行人　萩野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　電話(代)人同盟通信社

【目　次】

ボンベイ會談決裂……二二二一
ジンナー聲明を發表……〃
自由は空しき言葉のみ……〃
傳はらぬ英軍の戰果……〃
アラブ會議開會演說……〃
ダルマチヤ島嶼を攻撃……二二二二
海空兩面から上陸……〃
三島に上陸……〃
フイリツプス事件議會で問題化……〃
今度はインフルエンザ危機……〃
更に對亞壓迫措置……〃
【米　國】
デマの張本人はルーズヴエルト……二二二三
米紙ソ聯を攻撃……〃
武器貸與の實績……〃
通商黑表を更に追加……二二二四
米、埃通商協定……〃
勞働罷業新記錄か……〃
シヤーウツド辭職……〃
【反樞軸陣營】
伊傀儡政權を事實上承認……〃
ボール假面をとる……〃
【英　國】
動員解除白書……二二二五
ヘス副總統は英國で俘虜……〃
國際通貨會議妨害は英國の急務……〃
【ソ　聯】
早手廻しの對勃措置……〃
【東南歐】
亡命ギリシヤ政權の要求……〃
【北　歐】
瑞誌の正論……二二二六
【ドイツ】
處分案を繞る獨紙の論調……〃
ウエゲネル大將戰死……〃
【樞軸國】
洪「護國軍」を編成……〃
【トルコ】
米大使、首相と會見……〃
【特　輯】
石油問題と米國民間業者の抗爭……二二二七—二二二八
【資　料】
印度の經濟問題……二二二九—二二三一

世界の焦点

回教徒聯盟總裁ジンナーが二十六日ガンジー翁を「改宗」させるのに失敗したことを認めねばならないとの聲明を發表するに及び歷史的ボンベイ會談が遂に決裂したことが明らかとなつた、會談が難航を續けてゐることはボンベイからの乏しい報道によつても容易に推測され得たのであるが何分ガンジー翁が從來一顧だに與へなかつたパキスタン案を原則的に承認するといふ非常な意氣込みで乘り出した會談だけにやや意外の感がないでもない

交涉決裂の原因が奈邊にあるか未だ明らかではないが、これまでの報道に徵して見るに難點がパキスタン案の實施に先立ち、國民投票を行ふかどうか、また臨時國民政府において國民會議派と回教徒聯盟とが平等の立場に立つことをガンジー翁が認めるかどうかの二點にあつたことは疑問の餘地がない、パキスタン案の無條件承認と印回兩教徒の平等の權利を主張するジンナーに對し恐らくガンジー翁としては二億五千萬の印度教徒を考慮して直ちにこれを容認し得なかつたのであらう、しかし會談失敗の他の重要な原因が印度內部における微妙な空氣にあつたことも容易に想像される、この空氣といふのはガンジー翁が七月中旬パキスタン案を基礎とする交涉をジンナーに申込みながら同月末には總督に對し印度の卽時獨立を宣言するならば會議派は全面的協力を惜しまないとの書翰を送附した爲に生じたもので、總督に對する提案は考へやうによれば依然會議派による印度の支配を意圖してゐるとも解されるのである、英紙の報道によればガンジー翁は二兎を追つてゐるとの印象を印度民衆に與へてゐるといはれるが、かうした空氣が會談を意外な結果に導いたといへないこともあるまい

昭和十九年 九月廿九日（金）
第三一九四號
同盟通信 海外電報
（第三種郵便物認可）

ボンベイ會談決裂

（リスボン二十七日發）ボンベイからのロイター電報によればガンジー翁とジンナーとの會談は遂に決裂したと傳へられる

ジンナー聲明を發表

（リスボン二十七日發）印度國民運動の指導者ガンジー翁は印度獨立への第一歩として數世紀に亘る回印兩教徒の對立打開に乘出し、パキスタン案を基調とする建設的提案を提示して、九月九日以來ボンベイにおいて回教聯盟の首領ジンナーと前後十數日に亘り連日會談を重ねて來たが、交渉は一應不調に終つた樣子で、ボンベイからのロイター電報によればジンナーは二十七日次の通り言明したと傳へられる

ガンジー翁を「改宗」させる仕事に失敗したことを認めねばならぬのは遺憾である、從つて兩人間に交換された文書を新聞に發表するに決定したが、世人がこのために感情を惡化せぬやう切望する、且つまた今回の會談がわれらの努力の最終結末でないことを期待する

自由は空しき言葉のみ

（ストツクホルム二十七日發）ロンドン來電＝デーリー・ワーカー紙は二十七日の紙上でガンジー翁との會見談を載せてゐるが、翁は右會見で反樞軸陣營の空念佛を扱き下ろし次の通り述べてゐる

× × ×

反樞軸陣營は頻りに自由と民主主義とを喋々してゐるがこれらはすべて空疎な物語に過ぎず、かかる口頭禪を多とするのは未だ曾つて反樞軸各國の桎梏に苦んだことのない人々だけであらう、反樞軸各國のため搾取されてゐる人々はかかる空疎な言葉で何等うるところがないことを百も承知だから反樞軸の標語を問題としてゐない、米英兩國民自身が決してこれらの理想のために戰つてゐるのではないことを實證してゐるではないか

すべての印度人は一人の例外もなく自國が從來よりも更に甚しく外國の桎梏に惱んでゐると判つきり述べてゐる、從つて英人に對し「印度から立ち去れ」といふ言葉は從來以上に正當である、印度人はあくまで以上の要求が貫徹されることを主張するとともに戰爭が繼續してゐる間に英國の桎梏から取除かれねばならぬことを要求する

傳はらぬ 英軍の戰果

（ストツクホルム二十七日發）米國人が世界戰爭を一手に引受けてゐるやうな顏をしてゐるのに對し、英國人は內心少からず不滿だがロンドン來電によれば、二十七日の下院で議員の間から全世界を通じての英軍の「戰果」が米國の新聞界に十分認識されてゐるかとの質問が出たが情報省代表は苦しい答辯でお茶を濁したと傳へられる

先づ勞働黨のアルフレツド・エドワーヅは「情報省の檢閱が不必要に嚴重なため米人特派員が英軍の働き振りを十分報道出來ぬのではないか」と質問したところ情報省次官アーネスト・サートルは「そんなことは一向聞いてゐない」と逃げ更に保守黨のトーマス・モアが「米國の新聞をみてゐると、まるで英軍が戰場に出てゐないやうに思はれるのは如何なる事情か」と質問、サートルは、「特派員は必要な資料を本社に提供するのだらうが紙面がないのかも知れない」と逃げを打つた

アラブ會議 開會演說

（ストツクホルム二十六日發）カイロ來電＝第一回アラブ聯盟會議は二十五日アレキサンドリアで開催されたが各國首席代表は開會に當り次の通り演說を行つた

△シリア代表 アラー・アルピジヤリ首相

シリアは他のアラブ民族諸國の利益を毀損するやうな條約は斷じて締結しない、シリア國內に他國の國旗を揭揚することは斷乎として反對するがアラブ聯盟旗に限り許されよう

△トランスヨルダン代表 カトール・フダ首相

エミール・アブズラー大統領はアラブ聯盟結成の具體化についてはあらゆる努力を惜しまない

△イラク代表 ヌリ・サイド前首相

イラク國王ファイサル二世はアラブ聯盟結成のために努力した最初の一人である

△レバノン代表 セリム・テクラ外相

レバノン國內は宗教的な平和に充たされてゐるレバノンは斷じて「外國の野心の道具」とはならないであらう

昭和十九年 九月廿九日(金)
第三一九四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ダルマチヤ島嶼を攻撃

=獨軍猛反撃戰を展開=

(ベルリン二十七日發)ドイツ軍當局は二十七日次の通り發表した

反樞軸軍は二十七日朝强力な海軍並びに空軍部隊を繰り出して廣汎な戰線にわたりダルマチヤ海岸水域の島嶼群に攻撃を加へた、反樞軸軍はドイツ軍の强烈な抵抗に遭遇してゐるドイツ軍部筋の見解によれば、以上のアドリア水域における反樞軸軍の作戰行動は上陸企圖と必然的に結びつくものとみられる

海空兩面から上陸

(リスボン二十七日發)地中海方面反樞軸軍司令部二十七日の公報によれば特別に編成されたアドリア上陸軍麾下空挺部隊並びに海上輸送部隊はアルバニア本土並びにユーゴースラヴイア西岸沖合の島嶼群に上陸、所在のドイツ軍守備隊との間に激戰を展開してゐるといはれるが、ベルリン放送によれば上陸地域はアルバニア本土北方からダルマチア海岸全域にわたる極めて廣範圍且つ大規模のものと傳へられる

從來地中海反樞軸軍はアドリア海岸のチトー軍とユーゴースラヴイア國境から西進する赤軍との間隙を埋めるため、數回に亘つて小規模の奇襲上陸を繰り返して來たが、その他數ケ月に亘る地均し爆撃を續けた結果遂に今回の上陸に及んだものだ、反樞軸軍の上陸した地名並びに兵力その他についてはまだ全然報道がないが、二十七日の公報によればドイツ軍の抵抗は極めて熾烈といはれる

三島に上陸

(リスボン二十七日發)ローマからのUP電報によれば反樞軸軍が二十七日朝上陸した島嶼はダルマチア海岸のヅアラ、ドウブロブニク中間沖合のメレダ、クルヅオラ、ブラツアの各島といはれ、いづれもダルマチア水域における大島である

フイリツプス事件議會で問題化

(リスボン二十七日發)英國の對印度政策を攻撃したフイリツプスの米本國召還問題は米英兩國間の泥試合に迄發展したが、この事件は英國議會でも問題となりロンドン來電によれば勞働黨下院議員ワードロー・ミルンは政府に對し次の通り質問したといはれる

米國大統領の印度特派大使が大統領に送つた報告書は印度軍を輕侮する文句を含んでをり、これが局外者の手中に入つたのは英國側の情報漏洩または英國政府の暗號の缺陷でないことに英國政府は確信を持ち得るか

これに對して外務次官ジョージ・ホールは文書を以て次の通り答辯した

英國政府としては米國大統領宛のフイリツプス報告書の眞僞を確證する地位に置かれてゐない同報告書は勿論英國機關の手を經てゐないので英國側から漏洩したといふやうな事實はありえないし、またこれに關して英國の暗號に缺陷があつたといふこともない

今度はインフル エンザ危機

(ストツクホルム二十七日發)流星彈その他によるロンドン地區の住宅破損は無慮百萬戶以上に達してゐるが、ロンドン來電によれば勞働相アーネスト・ベヴインは二十七日下院で次の通り言明したと傳へられる

流星彈のため住むに家ないロンドン都民數萬に對し住宅を提供出來なければロンドン都はこの冬には流行性感冒に見舞はれ、戰爭による被害以上の慘害を蒙むる惧がある

更に對亞壓迫措置

(リスボン二十七日發)ワシントン來電=米國政府はアルゼンチンに對する經濟壓迫手段として二十六日南米航路就航の米國船舶がその復航においてアルゼンチン諸港に寄港することを禁止し、同國からの對米輸出妨害の擧に出たが、二十七日AP通信社の報道によれば米國政府はアルゼンチンの米國商品輸入をも妨害するため對亞輸出許可證の發給に嚴重な統制を加へ、今後アルゼンチン向け輸出商品は完全に民需必需品にのみ限定することとなつたといはれる、米國貿易業者の言明によればアルゼンチン寄港を禁止された船舶は米國船のみに限られず米國が傭船中のスエーデン、ノルウエー、パナマなど諸國籍の船舶をも含み、アルゼンチンの對米貿易に從事する船舶量のほぼ三分の一にわたるといはれる

昭和十九年 九月廿九日(金)
第三一九四號

同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米國】

デマの張本人はルーズヴエルト

(リスボン二十六日發)オクラホマ・シテイ來電=大統領ルーズヴエルトの共和黨大統領候補デユウイに對する人身攻撃によつて大統領選擧戰は俄然泥試合と化するに至つたが、デユウイは二十五日夜オクラホマ・シテイにおける演説でルーズヴエルトの挑戰に應酬して彼を徹底的に罵詈し、泥試合選擧戰は愈々本舞臺に移つた感を深めてゐる演説要旨次の通り

ルーズヴエルトが二十三日夜行つた選擧演説は嘲笑と野卑な警句、詐欺と虚構以外の何物でもなく正に泥を相手の顔になげつける下品な典型的人身攻撃とも評すべきである、彼は自分を攻撃するためにヒトラーやゲツベルスの名前までかつぎ出したが、デマもこれに至つては正に極まれりといふべく、ルーズヴエルトこそデマの張本人である、戰爭遂行と平和確保によつて米國の運命を決すべきこの重大時局にあつて、大統領たる彼が、かかる言葉をもつて個人攻撃にうき身をやつすことを悲しむ

ルーズヴエルトは米國の國防計畫を立派にやつてのけたと自慢したが、開戰當時の米國の軍備が如何に不完全であつたかはアーノルド、マーシヤルなど軍首腦の言明に俟つまでもなく、現にルーズヴエルトと共に民主黨副大統領候補として出馬してゐるトルーマンが議會で最も明瞭にこのことを主張したではないか、ルーズヴエルトが米國大統領として不可缺な人物だなどといふ考へは棄て去らう、彼を不可缺な人間としてゐるのは勞働界のだら幹シドニー・ヒルマン前科者の共産主義者アール・ブラウダーその他彼のおかげで公的生活を送つてゐる一連の取卷連中にしか過ぎない

米紙ソ聯を攻撃

(リスボン二十六日發)ニユーヨーク來電=ソヴエト勞働組合の機關雜誌「戰爭と勞働階級」は最近共和黨大統領デユウイを非難した論文を掲載したが、この論文は米國政界に相當の反響を與へ、特に共和黨系及び孤立主義系諸新聞はこれを機會として再び相當激しいソ聯攻撃の筆陣を張り出したが二十五日の「デンヴア・ポスト」紙も次の通り述べてゐる

ソ聯の共産主義者達がデユウイを攻撃しルーズヴエルトを支持するその魂膽は明らかだ、これはスターリン議長が相手がルーズヴエルトなら平和會議で彼を完全にまるめこんでしまふことが出來ると思つてゐるからに他ならない

武器貸與の實績

(リスボン二十五日發)ワシントン來電=外國經濟院總裁レオ・クロリーは二十五日議會に對し最初の年次報告を送つたが、右報告の中においてクローリーは武器貸與法成立以來本年六月一日に至るまでの貸與實績を明かにして次の通り述べてゐる

一、ドイツが敗れた後經濟戰爭は日本に對して集中され、日本に對する最終の勝利を獲得するに必要な限度まで武器貸與法は繼續されよう、反樞軸各國は今や、ドイツに對する最終の勝利に近づくに至つてゐるが、來るべき日本に對する最終の攻勢もまた反樞軸國の聯合といふ基礎の上に展開されることにならう

一、米國は本年六月一日までに武器貸與法によつて飛行機約三萬一千機、戰車二萬六千九百輛、軍用自動車六十二萬七千六百臺その他夥しい額に上る軍需資材を反樞軸軍に供給したが、これは同期間米國で生産された軍需品の十五パーセントに過ぎず、八十二パーセントは米軍自身が使用してをり、殘り三パーセントだけが現金で反樞軸國に賣却された

一、しかしながら英ソ兩國をはじめ他の與國は主として自國において生産された資材と裝備とを以て戰爭を遂行して來てゐる、例へば英國は戰爭開始以來本年初頭までに英國の工場において飛行機九萬臺、戰車八萬三千輛、貨物自動車百萬臺を生産してをり、英空軍に供給された飛行機の四分の三以上は英國自身で製作したものである、またソヴエト聯邦の工場は赤軍の使用してゐる裝備の大半を提供してゐる

昭和十九年 九 月廿九日(金)
第 三 一 九 四 號

同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

通商黒表を更に追加

(リスボン二十五日發)ワシントン來電＝國務省は二十五日、日獨兩國と關係があるとの理由で中南米諸國五十三社並びに歐洲のスペイン、スエーデン、ポルトガル、スイス各中立國の八十二商社を新たに通商黒表に追加した旨發表した、國務省は同時に樞軸國に對する經濟壓迫のためこの通商黒表制度は戰後も繼續する旨併せて發表した

米埃通商協定

(リスボン二十五日發)ワシントン來電によれば、政府は今回エジプト政府との間に戰時中における兩國間の物資輸送に關する通商協定を締結したといはれる

勞働罷業新記錄か

(リスボン二十五日發)ニューヨーク來電＝勞働者の戰局樂觀機運と共に勞働罷業は益益增加の傾向にあるが、週刊誌「タイム」は罷業の猖獗ぶりにつき次の通り報じてゐる

罷業が現在の如き狀態で年末まで續くとすれば罷業による喪失勞働時間の點において本年は過去二十五年間の最高記錄の年とならう、卽ち一九二七年乃至三二年の六ケ年平均の罷業件數は四千五百だつたのに對し、今年は五千二百にも達する見込みである、また喪失勞働時間數では昨年の四百八十五萬時間に對し今年はその二倍にも近い八百二十七萬時間に上ることとならう一方各地の罷業は一向に衰へる氣配なく、ここ一兩日中に更に次の新罷業が發生してゐる

一、アラバマ州カドセンのレパブリカン製鋼會社煉瓦工罷業により同地の平爐八基が操業停止の危機に直面、これが操業停止となれば更に三千五百名の勞働者が休業のやむなきに至るだらう
一、オハイオ州サンダスキー所在のフアレル・クリーク製鋼會社職工六百名も罷業を開始、ルーズヴエルトは二十五日陸軍長官スチムソンに命じて罷業工場を接收せしめた
一、ナショナル鐵道會社の從業員もオハイオ州クリーヴランドで罷業を開始した
一、ニューヨーク市埠頭人夫も二十三日から罷業を開始、一部の埠頭では英國兵が荷役に從事してゐる

シャーウッド辭職

(リスボン二十六日發)ワシントン來電＝戰時情報局海外部長ロバート・シヤーウッドは二十五日辭職した、シヤーウッドは著名の作家劇作家であり、またルーズヴエルト側近者の一人でもあるが、今回の辭職は彼がルーズヴエルトの選擧運動に專心するためといはれる

【反樞軸陣營】

伊傀儡政權を事實上承認

(リスボン二十六日發)ワシントン來電＝白堊館當局は二十六日要旨左のルーズヴエルト、チヤーチル兩名の共同聲明を發表した

米國大統領及び英國首相はイタリアに對し自治政府組織の機會を與へるに決定した、更に米英兩國はイタリア政府がワシントン及びロンドンにその代表を派遣するやう要請し、またイタリアにある英國高等辨務官には大使の資格が與へられることとなつた、ローマにある米國外交代表には既に大使の資格が與へられてゐる

今回の聲明は米英兩國政府によるボノミ政權の事實上の承認だが、なほ白堊館はこの決定は一週間前チヤーチルがルーズヴエルトのハイドパーク私邸を訪れた時になされたと發表、ケベック會談以後一時消息を絶つてゐたチヤーチルがハイドパークに滯在してゐたことをはじめて明らかにした

ボール假面をとる

(ストックホルム二十六日發)覆面のワルソー蜂起軍司令官ボールが何者であるかについては去る八月一日の蜂起開始以來嚴祕に附されてきたが、ロンドンからのU・P電報がミコライチク政權筋から得た情報として傳へるところによれば、ボールの本名はタデウス・コモロフスキー中將で、一九一四年士官に任命、一九三九年九月の歐洲戰勃發當時は騎兵隊を指揮してヴイスツラ河防衞に當つてゐたが、ポーランドの崩壞後は地下に潛つてクラカウ地區でポーランド地下軍を組織一九四三年夏以來ポーランド地下軍總司令官の職にあるといはれる、なほボールといふ假名は最初に本部をおいたワルソー近郊の森の名からとつたものである

昭和十九年九月廿九日(金)
第三一九四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【英國】

動員解除白書

(ストツクホルム二十六日發)ロンドン來電＝政府は二十三日對日戰爭終熄後における動員解除に關し白書を發表したがその要旨次の通り

歐洲戰の終了から對日戰終熄までの期間中英國は陸軍と產業との間に全勞働力の新規配分を實施するが、これは單に動員の一部解除を意味するに過ぎない、兵員は年齡及び服役年限の長短によつて除隊さるべく、服役二ケ月は年齡一ケ年に相當する、例へば年齡二十四歲で五ケ年間服役した兵隊は年齡四十八歲で一ケ年間服役した兵隊と同等の除隊優先權を有する、但し五十歲以上の兵隊だけは特別扱ひとして服役年限は考慮されない

動員解除は決して强制的ではなく、服役繼續を希望する兵隊はそのまま軍隊に留まり得る、以上は女子隊員にも適用するが、既婚者は除隊の優先權を有する、英國政府は對日戰に參加する兵隊及び長期服役した兵隊に特別手當を支拂ふことに決定した、卽ち兵役年限三ケ年間の普通の兵隊の給料は一日一シリングで三ケ年後には一日六ペンスを增給をされる、對日戰に參加する兵隊は從來東亞方面に作戰する兵隊に與へた種々な植民地特別手當の代りに、一日一シリング增給される

ヘス副總統は英國で俘虜

(ストツクホルム二十七日發)ロンドン來電＝陸相ジエームズ・グリツグは二十六日下院で次の通り言明した

ヘス副總統は現在俘虜として英國の收容所にあり、ラジオの受信器を使つて英國並びに外國のニユースを聽くことを許されてゐる、食事は守衞と同じである

國際通貨會議妨害は英國の急務

(リスボン二十五日發)ロンドン來電＝國會貨幣政策委員會議長下院議員ロバート・ブースビーはブレトンウツヅの「馬鹿騷ぎ」を止めさせることこそ英國現在の急務であると次の通り言明した

余は政府當局から、下院が十分な討議の機會をうるまで決して最後的な決定はしないとの言質をえた

この會合は英國の金本位制復歸に反對し、金本位でなく物資を基準とする各種世界貿易方式を社會に公開檢討せしめることを要求する目的で開催されたものである

また元ビルマ政廳總務長官たりし金本位制の權威者サー・ノーマンウエブは金本位制復歸の問題を論じ次の通り述べた

米國が世界の金の九十%を占める現狀においてもし英國が金本位制に復歸するとすれば、英國は米國の奴僕となる他はあるまい、米國は英國を經濟的臣從者の地位に落すために富と地位と莫大なる金の貯藏量を使用せんとしてゐる、ブレトンウツヅにおける國際通貨案の唯一の目的は英國に金本位を押つけることである、特に警戒すべきは、これによりドルが最高國際通貨となるといふことだ、國際通貨會議は英國から自己の貨幣を動かす自由さへ奪ひ去ることになるだらう

【ソ聯】

早手廻しの對勃措置

(ストツクホルム二十六日發)エクスチエンジ・テレグラフ二十六日のイスタンブール電報によればソヴエト政府は今回ソ勃休戰條約の實行を監察するため軍事、經濟、政治三部門の監察委員會を早手廻しにソフイアに設置したと傳へられる、但しソ勃兩國間には未だ休戰條約の調印をみてゐない

【東南歐】

亡命ギリシヤ政權の要求

(リスボン二十五日發)ローマ來電＝亡命ギリシヤ情報相ジヨージ・エイ・カータリスは二十五日次の通り言明した

ギリシヤ政權はブルガリヤ政府に對し、現在ブルガリヤ軍が占領してゐるマケドニヤ並びにトラキヤのギリシヤ領土を新に交涉を經ずに無條件で返還するやう要求する、更にギリシヤ政權はブルガリヤ人がギリシヤ領內に入る通路に當る諸々の峠をギリシヤ政權の支配下に置くやう要請する方針である

【北 歐】

瑞誌の正論

（ストツクホルム二十五日發）スエーデンの宗教雜誌「われらの教會」は次のやうな論文を掲載してゐる

かつて「黃禍」に關して多くのことが書かれたが、今日われわれの世界はより危險な「白禍」に當面してゐるといふ意見の方が更に正當であらう卽ち利己的國家主義、相手を殲滅しなければ已まない國家間の憎惡、他國民が日當りのよい場所で生活することを喜ばない感情等がこれだ、アングロサクソン民族の政策は世界支配を目標とし、他の有能な國民を抑壓しかれらと競爭せんとするものは手段を選ばず抹殺せんとする、この故に日本とドイツは殲滅目標の對象となつたのである、日獨兩國はアングロサクソンの金權の支配する世界に對する脅威であり、他國民、他人種に對する彼らの搾取機構の脅威であつた

このやうな政策は宗教的美辭麗句によつて粉飾されてはゐるが、そのために魅力のあるものとはならなかつた、しかもなほこの政策は民主主義國家のなかでは容認されてをり、ルーズヴエルトはこの標語を揭げて四選するだらうし、大小の國家はこの標語の下に抹殺され或ひは奴隷化されるであらう、フインランド問題についても「フインランドに對する休戰條件は寬大だ」と先日英國の一新聞は書いてゐる程である

【ド イ ツ】

處分案を續る獨紙の論調

（ベルリン二十六日發）米國財務長官モーゲンソーの苛酷なドイツ處分案を續り米國閣僚間に意見の衝突を來したと傳へられるが、以上に關聯しベルリン各紙は二十六日次の如き見解を發表してゐる、その代表的なもの次の如し「フエルキツシヤー・ベオバハター」紙＝モーゲンソー案は結局米英兩國の經濟學者が豫て主張してゐた事柄の要約に過ぎない、卽ちドイツの工業を破壞することによつてドイツ國民の生存能力を制限し全ドイツ人口の半分が餓死するか乃至國外に逃避せざるを得ないやうに仕向けるにある、モーゲンソーは目下ドイツ民族の處分案を細目に亘り準備してゐるが、ドイツ國民は反樞軸國の卑劣な態度を十分承知してゐる、「ドイチエ・アルゲマイネ・ツアイツング」紙＝今回のモーゲンソー案は單なる一閣僚の私案ではない、蓋し彼は閣僚中最高位にあり、歐洲における戰後諸問題の處理をルーズヴエルトから公然と任命されてゐるからだ、モーゲンソー案はルーズヴエルト、チヤーチル兩者の贊同を得、かつケベック會談でも贊成されたものだが、これによるといやしくもドイツ國民なら如何なる階級、團體に所屬しようと、すべてにこのドイツ破壞案が適用されるのだ、既に前大戰當時にもドイツの諸工業都市は破壞され、國民は失業と闘はねばならなかつたが、今日では反樞軸國の計畫は一層惡辣となつてをり、彼等はドイツからその技術家及び熟練工を奪はうとしてゐる、以上の如き反樞軸國の企みに對し、ドイツ國民は如何なることがあらうとも、また如何なる犧牲を拂つても祖國を護るべく最大の決意を固めてゐる

ウエグネル大將戰死

（ベルリン二十六日發）ドイツ軍當局はドイツ軍步兵大將ウエグネル將軍が最前線において戰死を遂げた旨二十六日言明した

【樞 軸 國】

洪「護國軍」を編成

（ブダペスト二十六日發）ハンガリア政府は二十六日、國內の安寧秩序を維持するため「護國軍」を編成するに決定した、右により未召集の凡そ働ける男子はすべて年齡の如何を問はず護國軍として召集され、パルチザン、落下傘部隊の掃蕩並びに擾亂行動の防止にあたることとなつた

【トルコ】

米大使、首相と會見

（リスボン二十六日發）アンカラ來電＝アンカラ駐劄米國大使スタインハートは二十五日首相サラジョグルと長時間に亘つて會談した

昭和十九年九月廿九日(金)
第三一九四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

石油問題と米國民間業者の抗爭

三輪武久

七月下旬ワシントンにおいて開催された米英兩國政府の石油問題會議は米國政府の近東諸地域における石油資源開發に關する提案によつて紛爭を惹起し、英國側はこれをもつて米國の英國經濟圈に對する一大脅威を構成するものとして英國各紙を動員し、米國の非望を論難、反樞軸國間の相剋を暴露したが、七月二十六日附「マンチエスターガーデイアン」紙は、米國の近東諸國における石油利權獲得の提案が米國內における政府と石油業者間の抗爭の結果として生れたものである點を指摘して次の如く論じてゐる

米英石油會談は業者抗爭の結果

目下ワシントンにおいて開催中の石油資源並びにこれが市場に關する米英兩國政府の會談は、近東諸地域において米國が石油資源の開發を行はんとする提案を出したために開催されるに至つたものである、元來右提案は米國內における政府對石油業者の抗爭の結果として生れたものである、從來とも石油問題の國際的處理は一般民間側によつて行はれて來たのであるが、今回初めてこの問題が政府間によつて審議されることとなつたわけである、しかして米國石油業者の意向並びに利害關係は米國政府のそれと一致してをらず、この結果兩者の間に意見の衝突をみるに至り、今回米國政府が英國側に對して近東における石油利權の獲得に關する提案を出すに至つたのである、米國政府と民間側の抗爭は今に始つたわけではなく、一九四二年には業者は旣に政府に對して勞働賃金並びに資材問題を楯にとつて原油價格の引上げを要求してゐるが、政府は石油業者の潤澤な利益を口實にこれを拒否した事實がある、よつて石油業者は政府に對して猛烈な反對運動を展開し、政府の政策が將來における米國の石油の供給を危殆に瀕せしめるものであると主張して退かず、この業者の叫びは一般民衆の支持を受けるに至つた、かくて業者側の石油價格引上げ要求に對する對策として政府は業者に對し補助金を交付する旨の提案を行つたが、同提案は民間石油關係者に對する統制を强化するものとして拒否されたのであつた

暫定協定をめぐる兩者の軋轢

しかし米國政府としては、これより更に重大な問題を解決しなければならなかつた、卽ち米國は他の反樞軸國に對して供給する石油資源に對してどの程度の賠償を得られるかといふ問題である、この問題は民間業者によつて提示されたものであり、業者の言をもつてすれば「米國にして近代的技術を採用して全石油資源を開發するならば、現在の消費率をもつてしても、今後一千年間は石油に事を缺くことはない」といふわけであつた、政府は石油貯藏會社を設立し、更に最近に至り、サウヂ・アラビアにおける米國の石油利權を擴張し且つ地中海へ給油管を敷設する旨を發表するに至つた譯である

次いでこの線に沿つて、政府はアラビア地方に石油權利を有する民間二石油會社と暫定協定を結んだのであるが、この一はガルフ石油會社である同會社は英國・イラン石油會社と協同しクワット地區における石油開發權を保有してゐるのであるが、米國政府の發表は同會社と英國政府並びに英國・イラン石油會社との契約に抵觸するものであるとの理由で、その後これに難色を示した、しかして同會社は政府の提案は民間石油業者の企業を彈壓するものなりとして政府を攻擊し、英國政府との闇取引によつて前記協定を業者側と結んだものであると非難した、政府はこれに對して「ペルシヤ灣地域が米英兩國の勢力範圍內にあり且つ米國外の最大の石油資源地である事は專門家の一人一人が確めてゐるところだ、今次大戰の結果として米國內の石油資源が枯渴する危險がある現狀に鑑み、政府としては國民のために新しい石油資源を獲得することが當然の義務であると思ふ」と應酬した

昭和十九年 九 月廿九日(金)
第三一九四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

しかして海軍長官ノックスは「今回の政府業者間の協定はもともと民間側の要請によつて結ばれたものであり、兩會社はアラビア産石油を自由市場で賣却することを英國政府が妨害してゐるから、政府の保護を得たい旨を申出てゐる」と逃げたのである、政府はここにおいて顧問並びに各省間の協議を開催した後兩會社の買收を提案したが失敗した、それのみか兩會社に更に一社を加へるといふ逆の結果を生むに至つたのである

米英の紛爭問題、石油資源獲得

かくの如く、米國の近東における石油資源獲得問題は米國政府對民間業者の摩擦たるに止らず、米英兩國間の利害關係にまで進展してゐるのである、事實、米英兩國の石油關係に關する文獻は極めて豐富で、米國政府並びに議會もこの問題に關する公式書類を多數有してゐる、これらの文獻乃至書類はいづれも英國側の行動を論難してゐるがその主流をなすものは「米國は英帝國並びに英國勢力下にある地域、特に近東諸地域における石油資源の開發や獲得から排除されてゐる」といふ主張である、しかし少くとも一九三〇年時代には米國の民間石油會社は自由にアラビア地方に進出し英國側もこれを諒としてゐた

米國側の今一つの非難は「世界各國は米國の犧牲において石油資源を蓄積してゐる」といふことである、しかるに事實はこれに反し、世界全域に分布されてゐる油田五十萬のうちの四十萬以上は米國内に存在してをり、米國の日産は二トン半であるのに比較し、他の國々の綜合日産は三十トンであるといはれてをり、近東地方の日産は勿論米國の日産に比較すべくもない、しかも米國の過去十年間における石油並びに石油製品の輸入量は輸出量を遙かに凌駕してゐるのだ、これはルーズヴエルトのいはゆる「外國市場には外國産石油を」といふ政策に沿つてゐるものである

國際市場に乘出す民間業者

現在米國政府對民間業者の抗爭並びに新舊石油會社間の鬪爭の結果を豫言するのは尙早のそしりを受けるかも知れぬが、米國石油業者の審議機關である「全國政策委員會」は、業者の一般目的が「有害な輸入を排除した健全石油經濟」にある點を指摘してをり更に「友邦において米國民の所有し操業してゐる外國石油を容易に獲得する」ことにある旨を明らかにしてゐる、要するに同委員會の目的は外國石油資源並びに市場を統制して、資源の剩餘を自由に輸出するといふ「外國市場には外國産の石油を」との政策を具現するにあるといへよう、委員會は「全世界における石油資源の開發は米國の指導の下に行はれ、これが實行は國際法規に基き、關係政府並びに民間代表者の協議と協力に據るべき」ことを示唆してゐるが、現在外國市場に直接關係してゐる米國の十乃至十二の大會社はかかる抽象的な政策に不滿の意向を表明してゐる、卽ちこれらの業者は米國の石油業界は外國のそれと比較して生産力において優つてゐる上に、極端な關稅率によつて外國産石油を米國に輸入することは困難であり、結局「外國市場へは外國産石油を」との政策は議論にあらずして絶對の必要となつてゐると確信してゐるのだ

かくて、外國における米國石油業者と外國業者との間には利害の摩擦が生ずる、米國石油業者は尨大な經費をかけて、過去半世紀に亘り歐洲、アジア、アフリカに石油供給機關を整理してきた、しかるに現在においては、米國産石油の輸入によつて事業を侵害されるに至つた、この結果として業者は近東における石油資源の全面的開發に乘り出さざるを得なかつたわけである、業者は右問題に關し英國政府側と直接交涉して妥結に到達せんとの用意を示してゐる模樣で、カリフオルニアのスタンダード・オイル會社並びにテキサス石油會社の參加を慫慂してゐるといはれるが、政府が參加することには猛烈な反對態度を示してゐる

以上の如く米國政府と民間業者の意見の對立の結果として生れたのが今回のワシントンにおける米英石油會議で政府は結局米國業者の壓力に屈して、近東石油資源開發問題を提案するに至つたものである

(本社歐米部部長)

昭和十九年 九月廿九日(金)
第三一九四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

資料

印度の經濟問題

エコノミスト誌
一九四三年十二月十八日

政治的要求と經濟的要求の矛盾

刻下の印度に課せられた緊急問題は、國土防衛飢饉對策及び疫病防止の三項目である、憲政問題解決のためにはいまだ新しい政治交渉は開始されてゐないが、この事實から印度においてなん等政治的進捗が行はれてゐないと判斷するのは誤である、印度における或る評者は、スタツフオード・クリツプスが無意味な印度訪問を行つた頃に比べれば、現在の方が印回兩派妥協に一歩近寄つた態勢にあると斷言してゐるし、英本國においても最近、印回妥協案の可能性についての論議が再燃し政治經濟兩問題が盛に討議されてゐる

しかしどんな印度通でも國民會議派領袖に對する裁判またはその釋放の結果、或ひはまた英國政府當局のなん等かの新しい政治的行動の開始によつて印度問題がいかなる形式で解決されることとなるかを差當り豫想することはできない、だが、印度の前途に深い關聯を持つ政治經濟問題の概觀を述べることは可能である、右に關しては大きく分けて三つの問題を擧げることができよう

一、印度人の貧困救濟のためにいかなる再建計畫が必要であるか

一、再建計畫實施のためにはいかなる政治組織が必要であるか

一、現在結成されようとしてゐる印度國民政府に果してその實行能力があるや否や

この論文はこれ等諸問題にたいする若干の解答を示さんとしたものである、今までのところではこれ等諸問題に關する討議は調和し難い矛盾の前で足踏してゐるやうだ、即ち經濟的見地に立てば、印度は印度各州及び藩王國が主要經濟統一體として認めるやうな強力な中央政府を必要とするに對し、一方政治的には各州、藩王國その他地域單位のそれぞれの要求を充して呉れる權力の弱い政體を望んでゐるのである、かかる矛盾は今に始つたことではない、飢饉の結果印度の貧困問題が最も緊急なこととして討議されるに至るまでの印度問題の顯著な特色は印度の獨立を欲するといふ點では全印度人の意見が全く一致してゐるにも拘らず獨立後の政體がいかなる形式をとるべきかの點になると、今度は全印度人が完全に意見を異にするといふ矛盾であつた

飢饉の原因—農業の不振

最近の印度一年間の國民所得は二百五十億ルピー(十八億七千五百萬磅)と算定され、その中五分の一は工業、五分の四は農業による收入である印度四億の民の一人當りの年收は僅か四磅餘に過ぎない、印度には世界第一の富者と貧者が混住してゐるといはれるが、印度人勞働者の年收はわずかに英國人勞働者の煙草錢程度のものである、今回の飢饉によつて明らかにされた通り、印度現在の急務は全印度の耕地を更に增加して食物の增産を圖り、窮境に沈淪してゐる幾百萬の印度民衆に農耕の機會を與へ乃至は食糧品を買ひ得る購買力を與へるにある、印度農業の開發は農耕設備及び生産、市場販賣並びに配給機構の大々的改善にかかつてゐる、更に農業發達のためには農業從事者及び勞働者が季節の良否を問はず、一年中生活を保つために餘儀なくされた莫大な借金の負擔を除いてやらなければならない、即ち融資制度が必要となつてくる、今次大戰は印度の農業を助けるどころでなく却つて印度を食糧缺乏の狀態から遂に飢饉狀態にまで追ひ込んだ、しかし印度工業は多くの分野において發達を促進され、軍需生産の要求に應じて大擴張が行はれたのである、しかるに農産物の增産は工業生産に比して等閑視され勝ちで、戰爭勃發以來「食糧增産」のために費された國費は二千萬ルピー(百五十萬磅)に充たなかつた、食糧不足と一方ではインフレーションのため食物の値段は暴騰し、大部分の印度人にとつては到底支拂ひ不可能な程度にまで昂騰した、例へば或る州では牛の値段が戰前の五倍に昇つてゐる

昭和十九年九月廿九日(金)
第三一九四號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

印度における農業が如何に滅茶苦茶な狀態にあるかは肥料の消費量の僅少であることによつても說明されよう、戰爭勃發當時における各國の農地一平方哩についての人造肥料消費量は次の通りだつた

デンマーク	二二六 封度
英國	一七八 〃〃
印度	〇・〇六〃〃

かくの如く肥料の消費量が少いにも拘らずしかもなほ印度における人造肥料の生產量は一年中の消費量の十分の一弱に過ぎなかつた、かくして各地で土地荒廢の危險が見られる一方ではまた戰爭の需要に應じて、戰前からも餘り多くなかつた牛や木材の供出を行はなければならなかつたのであり、これらの事情を考慮すれば、印度が何故現在のやうな窮乏狀態に陷つたかが容易に判明しよう

工業の發達

しかし今次大戰によつて印度が經濟的になんら得る處がなかつたといふことは出來ない、實際印度の工業生產は戰爭の結果大いに增加したのであつて、勞働者の雇傭も賃金も非常に增加した、即ち印度は主として英國資本によつて軍需品製作に從事し、これによつて多額の公債を辨濟した許りでなく巨額の磅資金を蓄積するに至つたが英本國の對外債務の最大のものは實にこの印度に對する負債である、勿論これは印度に利益許りを齎らしたわけではなく一方では相當の迷惑を與へてゐることも事實である、たとへば民衆の日常消耗品は全く使用され盡くすかまたは極度に減少してゐるのに購買力だけは非常な勢ひで膨脹した、一九三九年八月の通貨流通高は六億ルピーであつたがこれは一九四三年十一月には八十億ルピーにまで增加した、この數字は經濟活動が戰前に比して非常に活潑になつたことを示してゐるが、また一方危險なインフレーションの傾向をも物語つてゐる、しかしながら印度が新たに獲得した磅資金は全く戰爭の賜物である、換言すれば印度が英國から融資を受けて生產した軍需品を賣りつける事によつて得た資金だが、これは戰爭が終つて印度が再建工作に乘出す時に貴重な財源となるであらう

印度再建十年計畫

印度再建問題について印度人は種々論議してゐるが、要約すれば今までより少い勞働力によつて一層多い生產を圖らなければならないといふ點である、現在印度の就業人口の五分の三は全く農業に依存して僅かに糊口を繋いでゐるが、再建計畫は第一期の十年間に農耕地及び農產物を現在の四分の一增加し、農業從事者を四分の一減じようといふのである、かうして生じた農業從事者の過剩人員の爲めには工業生產の仕事が用意されなければならない、印度における貧困救濟の第一步は農業並びに生產力を同時に增進させる事である、最も多く論議の中心となるこの最初の十年計畫の事業は誠に大變な仕事だといはねばならぬ、過去十年間の大きな問題は印度人の人口が國民所得の增加に比例しない激增振りを示して來たことであつたとへ十年間に國民所得を二倍にする計畫をたてるとしても、出產率の激增によつてこれは大體帳消しにされてしまふ、かかる急激な人口增加はそのまま放置しておいても自然にその增加を停止せしめるやうな新要素を發生させるかも知れない、しかし十年計畫の如き大事業を企畫する場合には是非とも次のことを認識しておく必要があらう、即ちマルサスの人口增加公式が必ず打破られるといふ保障は決して存在しないこと、また人口の增加傾向が衰へるのでなければ生產力の增加が人口の增加を凌駕する保障も得られないといふこと等である

農工兩業の振興策

結局目的は農產物及び工業製品の同一比率の增產にある、即ち簡單にいへば、印度經濟界における農工兩分野に働く一人當りの生產工率を急速に增加することである、農業界は最新式の農作機械器具を整へ、最新式の耕作法を取入れなければならない、一方工業界においては重工業の擴張を繼續するのみならず、輸送機關及び市場を考慮して印度各州に化學、電氣、金屬及び自動車工業を分布發達せしめる必要がある、印度經濟學者は工業生產高を十年間に五十億ルピーから二百億ルピーに引上げるのを一目標としてゐるが、かかる目標が餘りに野心的で非現實的だとの非難に對しては一九三三年に共營產業だけでも印度の通貨にして二百億ルピーの額を投資したソ聯の例を擧げて辨明するのを常としてゐる

昭和十九年 九 月廿九日(公)
第 三 一 九 四 號

同盟通信

海外電報
(第三種郵便物認可)

印度人はよくこのソ聯の先例を持出したがるが誠にもつともな主張である、貧困の泥濘から脫するためには印度人は曾てのロシア人と同樣、極めて短期間内に農工兩分野における革命的發達を成就しなければならない、彼らの考へる十年計畫は次の諸事項を含んでゐる

一、印度における道路延長の倍加及び鐵道の三分の一の增加

一、動力及び電力の發達

一、波止場、港の建設、灌漑並びに水路工事

かかる計畫遂行のための費用は、農工業合はせて六十億ルピー(四億五千萬磅)と算定され、印度人はこの費用の大部分はソ聯が强制貯蓄政策によつて行つたやうに國内で捻出することが出來ると信じ且つ望んでゐる、卽ち印度再建計畫者は多分に保護貿易主義、孤立主義的色調を帶びてゐるのであつて、彼らは高率の關稅を課して自國の工業發達を圖り、一方國際收支は常に黑字の狀態に保たんとしてゐるのである

再建計畫の直面する困難

勿論かかる計畫が果して成功するかどうかは疑問であつて、再建計畫が戰後の磅資金の使用をその基礎としてゐるのであれば當然大量の輸入が必要となる、印度は曾てのソ聯と同樣外國の原料と外國の機械に依存しなければならなくなるだらうソ聯の例と同じく印度再建工作によくあてはめ得るもう一つの先例は十九世紀における米國である米國は外國資本の輸入によつて工業生產力を增大することが出來た、ソ聯の場合にはその資本を國民の生活を切詰めることによつて捻出しなければならなかつた、この點では印度の事情は遙かに好都合で英國から損をしないで資本を得ることが出來る、もしも印度が自給自足の路を辿るならば、ソ聯が獨力でその農工業改革を行つた時に國民が食物の不足に苦しんだ先例は、印度貧困者にとつて決して良い刺戟は與へないだらう、再建計畫者でさへも關稅政策は投資を促進させ得るやうに行はなければならぬといつてゐる位である

かかる印度再建計畫の遂行は、印度のために企畫し且つ十分な實行力を持つ政府の樹立なくしては絕對に不可能である、實に印度の經濟と政治とが決定的に相接觸するのがこの點である、印度再建を企圖する者は經濟專門家及び實業家をもつて構成される全印經濟評議會の設立を提案、これと密接不離な活動をなす機關として印度經濟參謀本部ともいふべき經濟開發部をおき、同樣の主旨によつて各州に經濟評議會を設置する、更に各地方及び各都市にもこの統一機關の下部機構として地方經濟評議會を設けるといふ案を提唱してゐる、果して印度は國内の政治、民族、宗教、階級等による分裂を解決してかかる機構を役立たせ得るであらうか、更にかかる機構は當然印度全土及び印度人の全生活面に亙る絕大の權力を必要とするがこのやうな權力を果して與へることが可能となるであらうか、印度人の多くは理論としては强力な中央政權の樹立の必要を肯定してゐるが、實際問題となつた時に果してこれを承認するだらうか

豆 ニュース

ノルウエーの百六媼

(ストツクホルム二十六日發)
オスロー來電=ノルウエー第一の高齡者アネウランド媼は二十五日百六歲の誕生日を迎へたが彼女の住んでゐるヴオルダ村では一村を擧げての大饗宴をはつて長壽を祝つた、彼女はなほ矍鑠たるもので、誕生日には散步に出かけたさうである

ソ聯福券當籤に物資交付

(モスクワ二十二日坂田特派員發)ソヴエト財務人民委員部はきたる十月二十五日から第四次福券を發行する旨二十二日決定發表したが今回の福券で注目すべきことは、現金ばかりでなく品物の當り籤があることだ、品物の主なものは婦人用毛皮外套、婦人用毛皮襟付毛糸外套、男子用毛皮襟付冬外套、男女春外套、男女衣服下着類金銀側時計、絨氈、靴、ズボン、ジヤケツ等で發行總額は五十億ルーブル、二十五ルーブル券と五十ルーブル券の二種類があり、抽籤發表は明年五月十五日に行はれる、正金當り籤の數は四百八十七萬四千九百、金額は百ルーブルから五萬ルーブルまでで、總額八億四千六百二十萬ルーブル、品物當り籤の數は十二萬五千百、總額一億五千三百八十萬ルーブルである

大正十五年十月廿八日第三種郵便物認可　昭和十九年九月三十日(土)　第三一九五號

編輯發行人　秩野伊八　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人同盟通信社

同盟通信

海外電報

(225)

反樞軸軍が虎の子第一空挺軍團を出動せしめてのライン防衞線突破作戰は完全な失敗に終つた、英一個師、米二個師の空挺師團のほか波、佛、白各叛軍の落下傘部隊を加へ、砲兵、工兵その他各種特科部隊を綜合せる獨立空挺軍團は堂々一個の機動部隊たる能力を備へてをり、反樞軸軍としてはこの精銳の活躍によりライン突破とオランダ方面ドイツ軍の捕捉殲滅とを狙つたわけであらうが、アルンヘムにおける英第一空挺師團の潰滅は二目標のいづれをも失はしめた、アルンヘム地獄の悲劇は實質的には僅か一個師の喪失にすぎなかつたが、敵作戰の企圖を破摧せる點においてはその意義洵に大なりといはなければならない、それではオランダの空挺作戰は敵に一物をも齎さなかつたといふべきだらうか、ドイツ軍はこれによつて戰局を好轉する機會をつかみうるだらうか、否、かかる樂觀的な見方は斷じて許されない



長い間白蘭國境アルベール運河の橋頭堡に釘づけになつてゐた英第二軍は空挺作戰に呼應して、忽ちオランダ中部に突入し、ライン下流諸河川中最大のワール河を越えて下ラインの線まで進出した、下ラインは地形的にはワール河ほど堅固な防壁ではなく、その意味で反樞軸軍は一個師の代償により相當大きな戰果を擧げ得たと自ら慰めてゐる

西部戰線の機動戰はこれで一應終り、陣地戰に轉換したといふ者がある、だが近代戰に平面的な陣地戰なるものは存在し得ない、ドイツ軍が待望の新兵器を發動し、或ひは航空機增產による「空のジークフリード線」を構築しない限り、戰線激動の可能性は常にある現に砲爆擊熾烈を極める米第三軍正面の動きのごとき大いに注目さるべきであらう

【目　次】

チヤーチル戰況を報告……二二三二―二二三三
米英兩國の將校に羅國退去令……二二三三
モーゲンソー案を批判……〃
米國はファシスト國家と化さん……〃
【反樞軸陣營】
米英ソ三國會談流産……二二三四
伊監理委員會改名……〃
元閣僚等を逮捕……〃
【ソ　聯】
長期戰を覺悟……〃
アーランドへも軍事使節……〃
【米　國】
空母百隻太平洋を遊戈せん……二二三五
新空母進水……〃
ネルソン大統領に報告……〃
勞働力統制措置撤廢せん……〃
【ド イ ツ】
記念日各紙の論調……二二三六
【東 南 歐】
勃洪國交斷交……〃
在外使臣を召還……〃
【北　歐】
芬瑞兩國間の通商交涉……〃
芬政府政治犯釋放……〃
【亡命政權】
ベルギー新政權……〃
【重　慶】
ソ聯極東部長重慶訪問……〃
【濠　洲】
カナダ派遣軍到着……〃
日本の態勢不敗……二二三七
【特　輯】
英國の印度政策を繞りて……二二三八―二二四〇
【資　料】
米英の對ソ援助……二二四一

昭和十九年 九月三十日(土)
第三一九五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

チヤーチル戰況を報告

＝英國の戰爭努力を強調＝

(ストツクホルム二十八日發)英國首相チヤーチルは二十八日午前十一時から下院において戰況並びに國際情勢について報告したが、正午をもつて一旦休憩午餐の後更に四十五分間に亘り縷々陳辯した、ロンドンからのロイター電報によれば英國首相は先づ歐洲の戰局について自讃した後、特に米國内において英軍の戰爭努力が蔑視されてゐるのに一矢を酬ひ次の通り述べたと傳へられる

有史以來の大戰

過去七週間に歐洲における戰ひの相は全く一變するに至つた、佛白兩國及びオランダ領土の一斑は反樞軸軍の掌中に歸したがこれは今回の戰爭における單一の戰ひとしては最大の決戰といふべきノルマンデイの戰ひの結果である、英軍の第一空挺師團はオランダ戰線において奮戰したが、同師團の奮闘は英軍の戰史に不滅の地位を占め、後世英國の子弟に對して義務と勇敢との最高の理想を吹き込むであらう

現在のフランス戰線における反樞軸軍の兵力は二百萬乃至三百萬だが現在太平洋において偉大な戰ひが繼續されてゐる際米國が歐洲戰爭に甚大な援助を與へてくれることに對しては深甚な謝意を表明する、姉妹國米國は今や力の絶頂にあり深く敬意を表明するが同時に英國もまた戰爭の遂行に有意義な貢獻を致し得ることは予の欣快とするところである

米國に比して劣らぬ動員兵力

歐洲侵攻作戰開始以來ここに百二十日英軍は依然としてイギリス海峽の彼方に米軍に比し人數において二對三の割合をもつて兵力を出し戰闘師團數においては四對五半の割合を維持してゐる、戰死傷數もほぼ以上戰闘兵員の割合に比例してゐるが英軍の戰死戰傷並びに行衞不明は約九萬、米軍の損害は十四萬五千である、開戰以來ここに五ケ年英國は佛伊兩國の戰線に米軍が歐洲に派遣したとほとんど全く同數の師團數を維持してゐる、英帝國を通じ英國人の全人口が七千萬を出でない實狀に徵すれば以上の數字は英國として少からぬ努力を傾到してゐることを示すといへよう

戰局の前途多難

次いでチヤーチルは歐洲戰局の前途に關する根據のない樂觀を戒め更に東南アジア軍の無爲無能に對する米國内の非難に應酬して曰く

戰局の好轉に有頂天になり歐洲における戰ひが間もなく終了を告げることを期待するのは全く尚早であり、絶對同意できない、歐洲の戰ひが果して何時終焉を告げるかについては臆測しない、最高の技術と認識と責任とを持つ人々の間に一九四四年末までに歐洲の戰ひが終つてしまふだらうとの希望を抱く人が多いが、何人も戰ひが一九四五年に持ち越し數ケ月を必要とするやうなことはないと斷定する人は一人もゐない、勿論予は決してかかる保障を與へないであらう

出來れば獨力で對日決戰を

東亞の戰線においては米軍が最大の精力を傾けて日本軍と密林の疾病に對する戰ひを推進することをここに保障する、ケベック會談においては太平洋東亞の戰域に關し軍司令官を一切變更しないことを取極めた、英國政府としては日本軍に對する大作戰について英國艦隊を提供したが米國政府は右申入れを鄭重に受入れた、既に英國艦隊の大きな部分が印度洋にあり日本軍に對する英國の戰爭努力の規模を制約するのは動かし得る船腹の限度だけである、英國軍としては獨力で日本艦隊と全般的交戰に堪へる艦隊を太平洋に出動させることを希望してゐるが、さらに著しく優勢な米國の海軍力とを合せれば反樞軸軍はかの廣汎な大洋の空間と水面とにおいて最も完全且つ決定的性格の制海權を掌握できよう、英國空軍もまた日本本土に對する苛烈な爆撃に協力する豫定である

米國民一般並びに重要な言論機關の一部にマウントバッテン麾下東南アジア軍の戰爭努力並びに戰果の規模について誤つた批判が横行してゐるが印緬國境線における戰闘は日本軍を相手とする陸上戰闘としては、今まで曾つてなかつた最大且つ最も重要な戰ひである、右戰闘において第十四軍は二十五萬から三十萬の犧牲を出した、即ち一九四四年六月までの戰死傷は四萬、他に病氣に罹つた兵士無慮二十三萬七千人、內多數を後送しなければならなかつた

昭和十九年 九月三十日(土)
第三一九五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

戰ひはインパール郊外に迫り、さらに東北インド鐵道線上のマニプールに及んだが、この戰ひによつて重慶への米軍の空路は擁護され、印度は日本軍の進撃を免れたのである、米國新聞界が印緬作戰について英軍の技巧と努力とを正しく理解してゐないのは寔に寒心に堪えない

多事多難の歐洲政局

以上で休憩、午後は主として國際情勢に言及したが要點次の通り

一、ドイツに對する米英ソ三國の同盟が今日ほど緊密且つ效果的なことは嘗つてなかつた、ドイツの衞星各國は相結び戰線から離脫した

一、ソ波兩國の關係についてはソヴエト聯邦が當然同國の「兩國境線において確保する權利をもつてゐる安全保障」を得るよう英國政府は最善を盡くすであらう、舊ポーランド領土を奪回出きたのは全く赤軍の力であり、ポーランド國境線は變更されねばならない、同時にポーランドもまた獨立を享受せねばならぬので、近く亡命大統領等がモスクワに赴きソヴエト政府と交渉を再開する豫定である

一、ダンバートン・オークスの會議で國際安全保障體制について審議を加へてゐるが、米英ソ三國の首班が、必要の場合三國外相を伴つて新に會議を遂げぬ限り滿足な協定に到達することは出來ないと思ふ、年末までにスターリン議長を交へた會談が開催されるに至るのを希望する

米英兩國の將校に羅國退去令

(ストツクホルム二十八日發)ソヴエト政府が主導的地位に立つてルーマニア政府との間に休戰協定を締結して以來、バルカン地方特にルーマニア國を繞る米英ソ三國の關係は微妙な動きを示してゐるが、ロイター電報によればソフイヤに駐在してゐた英人並びに米人の將校二十餘名が、今回ルーマニア駐屯赤軍司令官から退去命令を受け、イスタンブールに立ち退いたと傳へられる、ロイター電報はこれらの將校が何ら公式の任務を帶びてゐなかつたと稱してゐるが、休戰協定の成立に先立ち特務機關としてルーマニア國内に乘込んでゐたことは蔽ひ難い、一方モスクワ放送局は二十八日正午に至つて以上の事實を確認「退去命令を出したのは正當の權限を持つてゐない機關である」と釋明してゐる、ソヴエト政府は既に米英兩國に陳謝し事件の調査と責任者の處罰を約束したと傳へられるが、退去を命ぜられた將校連が再び入國を許されたとの報道はない

モーゲンソー案を批判

(ベルリン二十八日發)ドイツ外務省當局は二十八日米國財務長官モーゲンソーのドイツ抹殺案に對し次の見解を發表した

ドイツ工業の完全破壞を提唱するモーゲンソー案は同時に國家社會主義理論を政治的に抹殺せんとするに等しい、われわれは彼がユダヤ人であることを改めて想起せざるを得ない、モーゲンソー案の一例をみただけでもユダヤ人種には建設的政策を推進する能力なく、この種族に屬する人間を政治的に責任ある地位につけることが如何に危險であるかが容易にわかるだらう

米國はファシスト國家に化さん

(リスボン二十八日發)ロサンジエルス來電=米國社會黨主ノーマン・トーマスは二十八日ロサンジエルスにおける演說で次の通り述べた

米國は戰爭に勝つかも知れないが、戰後には米國がいまだ嘗て經驗したこともないやうな恐るべき且つ長期にわたる經濟不況にたたきこまれるだらう、米國は戰爭目的として民主主義擁護を揭げてゐるが、民主主義體制は到底かかる不況に堪えることは出來まい、結局不況後の米國はファシスト國家乃至社會主義的民主主義國家として更生すべく、この更生した米國は忽ちにして第三次の世界大戰に突入するだらう、しかもこの戰爭は「一時代」のうちに必ず起つて來るだらう、政府當局が戰後の徵兵計畫を頻りに云々してゐるのは、政府自身が永續的な平和を期待してゐない最もいい證據ではないか、民主共和兩黨ともに戰後の長期計畫は何等持ち合せがない、ルーズヴエルト、デユウイ兩名の演說には全く主張點なく賞金目あての演說商賣屋のそれとなんの相違もない

昭和十九年 九 月三十日(土)
第 三 一 九 五 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

米英ソ三國會談流産

(リスボン二十七日發)ワシントン來電=ワシントンのダンバートン・オークスに去る八月二十一日から開催されてゐた米英ソ三國會談は、米英兩國代表とソヴエト代表との間に深刻な意見の對立を來し、行詰り狀態に陷つてゐたが、遂に二十八日をもつて一應閉幕することとなつた、米國首席代表たる國務次官ステチニアスは二十七日會談の流産につき次の通り發表した

國際機構に關する米英ソ三國會談は滿足な進行を示したが、なほ全般の問題につき完全な意見の一致をみず、二十八日をもつて一應打切ることとなつた、米英兩國代表は二十九日から重慶代表との會談を開始する豫定である

會談流産の原因となつた意見の對立につき消息筋の漏らすところでは、米英ソ三國及び重慶の關係した國際紛爭の調停に當り、當事國が投票權を行使し得るか否かの點にあるといはれる、しかして米英ソ三國會談がお流れに終つてしまつた以上、これに引續き開催される米英重慶會談、或ひは本年中に開催を豫定されてゐる反樞軸全體會議も殆んど無意味となるわけだが、外交消息筋の觀測では米英兩國は飽くまでもソ聯との間に圓滿な妥協に達することを希望し、三國會談をモスクワに移して協議のやり直しを企圖してゐるといはれる

伊監理委員會改名

(リスボン二十七日發)ワシントン來電=米國大統領ルーズヴエルト、英國首相チヤーチルの兩名は二十六日イタリアのボノミ政權を事實上承認する措置をとつたが、その共同聲明において更に現在の「反樞軸イタリア監理委員會」を「反樞軸イタリア委員會」に改稱する旨發表した

元閣僚等を逮捕

(リスボン二十六日發)パリ來電=ド・ゴール政權は二十三日夜ドイツ軍に協力したとの廉で元閣僚ブノワ・メシヤン以下五百名を更に逮捕した

【ソ 聯】

長期戰を覺悟

(ストツクホルム二十七日發)ロンドン來電によればモスクワ、ロンドン間の國際電話は二十七日初めて開通したといはれるが、ロンドンのロイター本社は早速モスクワ特派員のダンカン・フーパーを呼び出して次のやうな一問一答を行つたと傳へられる

問 ソ聯國民は戰爭をどうみてゐるか

答 ロシア人は非常に樂觀的だが、戰爭が今後數週間乃至數ケ月間で終るとはみてゐない、その證據にソ聯はもう一度冬季戰をやる覺悟を固めてゐるやうだ

問 西部戰線の戰局に對する反響は

答 ロシア人は西部戰線の戰局を非常に重要視し毎日の新聞に揭載される戰況報道を貪るやうに讀んでゐる、新聞もまた戰況報道を大きく取扱つてゐる

問 ドイツに對する感情はどうか

答 ロシア人は初めドイツ人は必要に迫られて戰つてゐるのだと思つてゐたやうだが、今日では「善良なドイツ人」などといふ感傷的な氣持は全然ない

問 米英兩國の戰後平和機構案に對するソ聯の態度は

答 ソ聯は戰後平和を大國の力で維持しなければならぬと考へてゐるが、それだからといつて各國を參加させる集團安全保障機構に反對してゐるのではない、つまり全部の國を參加させると詰らぬことで意見の衝突を來たし、全體の福祉を目指す行動を妨げられると考へてゐるからだ

アーランドへも軍事使節

(ストツクホルム二十六日發)「ストツクホルムス・チドニンゲン」紙二十六日の報道によればソ聯政府は今回芬領アーランド諸島へも軍事使節團を派遣することに決定、同使節團の團長にはマリーハム島駐在ソ聯領事オルレンコが任命される豫定と傳へられる

昭和十九年 九 月三十日(土)
第 三 一 九 五 號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

【米 國】

空母百隻太平洋を遊戈せん

(ストツクホルム二十六日發)太平洋戰の重心は航空戰にありとする米國は、過去二ケ年間にわたつて空母と飛行機の建造に躍起となつてきたが、英國の「オブザーヴア」紙は去る七日の紙上で米國の現有空母勢力と今日までの建造狀況につき次の通り報じてゐる

× × ×

米國は今年末までに各種空母約百隻を對日戰に使用出來ることにならう、米國は一九四三年末に空母五十隻以上を有し、さらに海軍建艦計畫において優先權を與へて數十隻を建造中であつたが、同年初めには太平洋戰の激化に伴ひサラトガ、エンタープライズ、レンヂヤーの三隻を喪つてゐたのだ

一年間で米國空母勢力が驚くべき增强を遂げた所以は、太平洋の如き廣大な水域では戰艦の作戰能力をもつてしては不十分だといふ眞珠灣事件の第一の教訓を身につけた結果である、尨大な空母勢力には强力な戰鬪艦艇の協同作戰を必要とするその意味で米國がいかにして以上の空母勢力を確保するかと同時に、世界最大であるばかりでなく最もよく均衡のとれた他の各種艦艇の建造を續けることが出來たかといふことを知ることは極めて重要だ、日米開戰當時米國はモンタナ級として知られる五萬八千トンの超弩級戰艦五隻の建造を計畫してゐた

しかるに眞珠灣において主力艦勢力に致命的打擊を蒙つたにも拘らず、以上の巨人戰艦の建造は一九四二年に全面的に中止され、フイラデルフイア、ニユーヨーク、ノーフオーク海軍工廠に割當てられた資材と造船施設は、エセツクス級二萬トン乃至二萬七千トンの空母建造に振り變へられたのである、その結果本年末には十二隻全部が就役し、更にクリーヴランド級一萬トンの巡洋艦を改裝した小型空母九隻が就役する豫定である

以上は太平洋戰の教訓に對する差し當つての回答だが、長期の狙ひは四萬五千トン級の「戰鬪航空母艦」三隻の建造で、うち二隻は一九四三年遲ぐ龍骨を据ゑられた、多くの新しい觀念を綜合して生れたこれらの空母は、海軍史上最大且つ如何なる種類の艦艇よりも速く、裝甲も非常に厚く、今日まで空母の甲板から作戰した飛行機よりも遙かに多數の飛行機の作戰基地たるべきものである更に顯著なことは米國海軍に引渡される飛行機と種類だ、海軍に引渡される飛行機の數は最近二千機を優に越してゐるが、海軍長官フオレスタルの言によれば今後一ケ年間に三萬機に達し、內九十三パーセントは戰鬪用だといふことである

新空母水進 (リスボン二十六日發)ワシントン來電=海軍省はエセツクス級(二萬五千トン)の新航空母艦「サレルノ・ビーチ」が二十六日ワシントン州タコマにおいて進水した旨發表した

ネルソン、大統領に報告 (リスボン二十七日發)ワシントン來電=最近重慶から歸還した大統領特使ネルソンは二十七日白堊館にルーズヴェルトを訪問、一時間以上にわたり重慶訪問の使命を復命し、白堊館退出に當り新聞記者團に對して次の通り述べた

大統領に對する今日の報告はその一部で一兩日中に再び大統領を訪問するはずである、報告の內容は言明の限りでない、予は本年中に再び重慶に赴くこととならう

勞働力統制措置撤廢せん (リスボン二十七日發)ワシントン來電=戰時人的資源委員長マクナツトは二十七日次の通り發表した

歐洲戰が終了すれば現在實施してゐる全國的な勞働力統制措置は不必要とならう、卽ち米國の軍需生產は大體四十パーセント方削減し得べくこの結果約四百萬の軍需勞働者が解放されることとならう

一方、人的資源委員會は二十六日今次大戰の歸還將兵のみに對し勞働力統制規定の撤廢を發表、これにより約百五十萬の歸還將兵は今後自由に自己の欲する職業に從事し得るやうになつた

昭和十九年 九月三十日(土)
第三一九五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【ドイツ】

記念日

（ベルリン二十七日發）日獨伊三國同盟第四周年を迎へて

各紙の論調

ベルリン各紙は一齊に「秩序への道」「秩序か混沌か」「敵の連帶は敗れん」等の見出しを掲げて、三國同盟こそ眞の永遠平和を齎らすものなることを强調した、新聞論調の主なるもの次の通り

「フエルキツシヤー・ベオバハター」＝日獨伊三國は三國同盟において從來常に戰爭の原因たりし飽くことなき帝國主義を斷乎排擊して、各國がその自然的に畫する圈内に止るといふ原理を提唱した、三國同盟の調印國は樞軸國の主要戰闘目的たるべきこの原理を忠實に遵守してゐるのである

「ドイツチエ・アルゲマイネ・ツアイツング」紙＝同盟條約は三國間に從來その比を見ぬ、極めて密接な紐帶を齎らした、調印國は三國のいづれかが歐洲または東亞の戰爭に加入しをらざる一國から攻擊を受けた場合には相互に援助することを誓約した、このことは米國に對する明瞭な警告であつた、歐洲の新秩序と東亞の新秩序とは三國を結びつけた共通の目的である、この三國同盟の目的に反し民主主義諸國はその目的が如何なるものなるかを現にイタリア占領地において示してゐる

【東南歐】

勃洪國交斷絶

（チューリツヒ二十七日發）ソフイアよりのラジオ放送によればブダペスト駐劄ブルガリア公使ナウモフは二十六日ハンガリア政府に對し「ブルガリア國は九月二十六日午後十二時をもつてハンガリア國との國交を斷絶する」旨通達したといはれる

在外使臣を召還

（ストツクホルム二十七日發）「ストツクホルムス・チドニンゲン」紙の報道によればスウエーデン駐劄ルーマニア公使ナニユーは二十七日、本國政府から歸國命令を受けたといはれる、後任の決定する迄同公使館參事官ドユカが代理公使に就任する豫定である、またスウエーデン駐劄ブルガリア公使ニコラエフも最近本國政府の命令により歸國した

【北歐】

芬瑞兩國間の通商交涉

（ストツクホルム二十七日發）外務省通商局長フイルクーネンを首班とするフインランド代表團は二十七日ストツクホルムに到着、スウエーデン、フインランド兩國間の通商問題に關しスウエーデン政府當局と協議するが、特にスウエーデンのフインランド向け食糧輸出問題が審議されよう

芬政府政治犯釋放

（ストツクホルム二十六日發）ヘルシンキ來電＝フインランド政府は二十六日政治犯を釋放したがその中にはルース・ウオリヨキその他親ソ分子多數が含まれ、また政府は愛國團體を悉く解散させた

【亡命政權】

ベルギー新政權

（ストツクホルム二十七日發）ブラツセル放送によればベルギー新政權は前亡命政權首相ユーベール・ピエルロを首班として二十七日成立その構成はカソリツク黨七名、社會民主黨五名、自由黨三名、共產黨二名、その他二名から成るといはれる

【重慶】

ソ聯極東部長重慶訪問

（リスボン二十七日發）重慶來電によれば重慶政權外交部次長吳國楨は二十七日の外人記者團會見で、ソヴエト聯邦外務人民委員部極東部長ニコライ・リフアノフが近く重慶を訪問する旨發表したといはれる、訪問の目的は共產黨領袖周恩來の爆彈聲明にもみられる如く重慶政權が口先だけで延安側の要求に誠意を示さぬため、直接强硬申入れを行ふためとみられてゐる

【濠洲】

カナダ派遣軍到着

（リスボン二十七日發）メルボルン來電＝濠洲派遣最初のカナダ軍は二十七日メルボルンに到着した、濠洲駐劄カナダ高等辨務官ジヤステイス・デーヴイスは同部隊を歡迎して「カナダ太平洋軍」の前衞部隊であると述べた

昭和十九年 九月三十日(土)
第三一九五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

日本の態勢不敗 (續)

海外電報九月二十八日附の「日本の態勢不敗」と題する米國戰時情報局の發表は、編輯者の手落により中斷されました、よつて遲蒔ながら再びその續きを掲載し、讀者の便に供する次第であります

更に心理的には歐洲戰の終了は反樞軸軍に利益をもたらすどころか却つて日本の立場を有利にする可能性がある、卽ち米國にとつては歐洲戰の終了はその戰時經濟の上に廣汎な變化をもたらすべくこれによつて國家の戰爭努力、國民の戰意に弛緩を招來する恐れがあるからである、しかるに日本にとつては歐洲戰の終了は眞の戰爭の開始を意味し日本國民の戰意を益々燃え上らせるであらう太平洋戰爭における日本の主要特典をあぐれば次の通り

一、 外國經濟院の推定によれば日本は今後殆んど總ゆる軍需品の生產を增加し得る

二、 地理的條件も日本に有利である、卽ち反樞軸軍は日本本土に對する直接攻擊を加へ得るが近距離に迫らなければ本格的攻勢をとり得ない

三、 反樞軸軍は日本に對して本格的上陸作戰を開始する前に先づ重大な輸送問題を解決しなければならない、勿論歐洲戰の終了によつて反樞軸軍は多量の餘剩船腹を得るだらうが、これを太平洋に廻航してこれを對日戰に有效に使用するまでには數ヶ月を必要としよう

四、 反樞軸軍の作戰の一目標は支那大陸への安全な海上輸送路を開くにある、しかるに現在支那大陸における戰況は日本に有利であり、反樞軸軍は最近支那において數箇の航空基地を喪失した

五、 日本の人的資源は決して潤澤とはいへないが日本陸軍の兵力は未だ最大限には達してゐない、現在直ちに召集可能な壯丁が多數あるに加へて戰爭による日本軍の損耗は未だ年々の補充兵力量に達してゐない

六、 日本の工業は空襲から安全である、B29は辛うじて日本の工業地區に對し爆擊を加へ得たが、その支那における基地は未だ東京を去る一千二百哩の遠方にあり、反樞軸軍が日本の沿岸から五百哩以內に航空基地を設定するまでは、日本に對して本格的空爆は加へ得ないであらう

七、 日本はその本土において多くの戰略的資材を生產し得る

八、 日本陸海軍の空軍勢力は相當の損耗をうけてゐるにも拘らず、日本の飛行機生產力はこの損耗をつぐなつて餘りある程度にまで增大してゐる、海軍長官フオレスタルは更に日本は昨年まで廣汎な地域に亘つて飛行機を配備しなければならなかつたが、今後は戰線縮少に伴ひその空軍兵力を狹小な戰域に集結し得ると述べ、一方日本軍の飛行機は最近著しく改善され、米空軍將士も日本空軍との戰ひでは困難を感ずるやうになつたことを指摘してゐる

九、 日本艦隊勢力は多數の戰艦、空母その他補助艦艇を含み依然として强大である、この「保全主義艦隊」は現在陸上に基地を有する空軍によつて保護された水域に作戰中であり、この結果反樞軸艦隊が弱小艦隊をもつて無謀な出擊を行ふ時は日本艦隊によつて捕捉殲滅される恐れがあるので、常に强大な艦隊をもつて行動しなければならない立場に置かれてゐる

十、 日本は內線作戰の特典を持ち、これがため日本艦隊並びに商船隊の補給負擔は大いに輕減されてゐる、これに反し反樞軸軍は前進する毎に補給線が延びるといふ不利な立場にある、フオレスタルによれば、歐洲戰と對日戰との場合における反樞軸軍の補給線の長さは大體三對一であり、この補給の點だけでも反樞軸軍の前途に橫はる仕事は決して單純なものでない

十一、 外國農事關係局の調査によれば日本は本土北支、朝鮮、滿洲で十分食糧の自給を確保し得る

十二、 日本はニューギニアを除いてはその占領地域の大部分を依然として確保してゐる、これに對し反樞軸軍は長距離潛水艦による攪亂作戰を除いては、日本々土と南方とを結ぶ補給線に對して未だ攻擊を加へ得ない、更に最近支那大陸における日本軍の成功によつて日本軍は海路によらず支那大陸經由の補給路を確保し得る立場になつた

十三、 反樞軸軍は例へビルマ公路を再開し得たとしても、現在ヒマラヤ越え空路によつて輸送してゐる以上の物資を支那大陸に運び込み得るや否やは大いに疑問である

昭和十九年 九 月三十日(土)
第 三 一 九 五 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

英國の印度政策を繞つて

奥畑 稔

去る八月十七日英國政府はガンジー翁と印度總督ウェーヴェルとの間に最も新らしく交換された書翰を發表したが、その意圖が奈邊にあるにせよ英國の印度政策に一つの重要な示唆を與へるものとしてこの書翰内容を檢討しておく必要があらう

ガンジー翁から總督へ

七月二十七日附の貴下の書翰については失望を禁じ得なかつた、しかし予は失望裡に働くことには慣れてゐる、以下予の抱懷する具體案を述べよう、もし印度の即時獨立が宣言され且つ中央立法會議に責任を負ふ國民政府が戰爭繼續中は軍事作戰は現在通りとするが財政的負擔は一切印度に課せないといふ條件の下に組織されるならば、予は運用委員會に對し、情勢の變化に鑑み一九四二年八月の決議によつて生じた非軍事集團不服從を行つてはならないし、また國民會議派は戰爭努力に完全な協力をしなければならないと勸告する用意がある、英國政府の方で解決を欲するならば書翰をもつて友好的討議を行はう、予は貴下の手中にあるが名譽ある解決に對する些かの希望でもある限り予はノツクし續けるであらう、以上のことを書いた後予は下院におけるムンスター卿の演說をみたが、この演說の要旨は予の提案をいひ現はしてをり、これはお互の友好的討議の基礎とすることが出來よう

ウエーヴエルの返書

英國政府は今なほ印度問題が解決されることを非常に望んでゐる、しかし貴下が提示したやうな提案は英國政府にとつて討議の基礎としてうけとることは出來ない、七月二十八日英國下院において印度相アメリーが行つた聲明を一讀すれば以上のことはお解りと思ふ、貴下の提案は一九四二年四月マウラナ・アブドル・カラム・アザツドがサー・スタツフオード・クリツプスに提示したものと實によく似てゐる、英國政府が今回の提案を拒否する理由は後者の場合と同樣である、これらの理由を詳細に亘つて述べずに予は當時英國政府が明らかにした次の點について貴下の關心を促さう即ち戰爭終了後無制限の自由は印度主要各派の同意した憲法の制定並びに英國政府との必要な協定締結についての交涉を條件として與へられること戰爭繼續中憲法に如何なる變化を齎らすことも不可能であること——貴下の提示してゐる國民政府は憲法の改訂によつてのみ中央立法會議に責任を持ち得ることにならう——以上の條件の目的とするところは種族的宗教的少數派並びに被抑壓階級の權利を護るためまた印度諸王國に對する義務を主要各派が履行するのを確實ならしめようとする點にあつた、英國政府が現行憲法の下に運營される臨時政府に印度の指導者達の參加を要請したのも以上の條件に基くものであつた、更に予は戰爭が終るまで防衛と軍事作戰に關する權限が政府の他の權限から分離出來ないこと及び戰爭が終り新憲法が效力を持つまでは、英國政府並びに總督は全分野に亘るその權限を保持しなければならないことを明らかにしておかなくてはならない、印度の戰費負擔の問題は本質的に英國政府と印度政廳との間で解決すべきことで現行の財政協定は以上のうちのいづれかの要求によつてのみ改訂交涉を開始出來るものである

以上の情勢の下においては貴下の示唆する基礎の上に立つての討議によつてはいかなる目的も達せられないことが明らかである、しかし印度教徒回教徒、その他重要な少數派が現行憲法の範圍内で樹立され、且つ運營される過渡的政府への協力を肯んじるならば進步がみられると確信する、このやうな政府を首尾よくやつて行くためにはこれが組織される前の新憲法の制定方法について印回兩教徒その他すべての重要各派間に原則的意見の一致がなければならない、この意見の一致はほかならぬ印度自身のためなのである、印度の指導者達が現在以上に緊密な關係を有するに至るまでは予自身何らかの援助をなし得るかどうかは疑はしい

昭和十九年 九月三十日(土)
第三一九五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

更にまた少數派の問題も容易でないことについて貴下の注意を喚起したい、この問題は相互の妥協と寛容とによつてのみ解決することが出來る、戰爭終了後このやうな過渡的政府がどの位續くかは一に懸つて新憲法が作られる速度にある、印度の指導者達が以上の目的に對して協力する用意があるならば何故に新憲法に關する豫備工作を直ちに開始しないのか理由が解らない、憲法制定の方法について本當に意見の一致をみることが出來るならば、戰後最終的決定に到達し英國政府と協定を締結するのに時間はかからないであらう、重要な責任が印度の指導者に懸つてゐることをここに再び見出し得るのである

兩書翰に對する批判

「タイムズ」紙のデリー特派員は八月十九日の紙上において右の書翰に關聯し、次の通り報じてゐる

總督の返書は政廳の立場を明瞭ならしめてをり少くもガンジー、ジンナー會談を現實的計畫に基かせようとするものである、政界にこれがどういふ反響を與へたかといふことを說明するのは困難である、しかし翁がパキスタン方式に基づくジンナーとの會談に同意すると同時に、事實上パキスタンを否定する提案を基礎として總督とも接觸しようとしたことはむしろ奇異の感を與へてゐる、印度に財政的負擔をかけなければ、戰爭努力に完全な協力をしようといふ提案の如きは翁が釋放されて以來屢々みせてゐる言行不一致の一例である、しかも翁の矛盾と言行不一致とから自然に生ずる不信は翁が一般に親しまれてゐるといふ事實をもつてしても緩和出來ない、翁の意圖についての廣範圍に亘る疑念は恐らく印回兩教徒及び他の少數派の間における更にまた會議派と政廳との間における交涉の成功に對して、かくれた障碍となるものとみられる

同樣の見解は英誌「大英帝國と東亞」にもみられる、卽ち同誌は次の如く述べてゐる

翁が骨抜きにされたパキスタンを基礎としてジンナーと話合ひをつけようとする時に際し、翁が總督に宛てた最近の書翰で明らかにした會議派による印度支配の要求は多くの翁支持者達に對して卑怯な企圖であるとの感を抱かせてゐるやうにみえる、翁は漸く印度においてさへ根本的に對立する二つの政策を同時にとることは出來ないことを知り、更にジンナーが難しい交涉相手であることを發見するに違ひない

「タイムズ」紙のいふ如く回教徒聯盟がガンジー翁の提案した中央立法會議に責任を負ふ國民政府の樹立をも包含する憲法の改訂を總督が拒否したことに、多少とも滿足感を抱いてゐるかどうかは暫く別として、會議派の專制を絕對に認めない回教徒聯盟がジンナーを通じてガンジー翁に對しかなり强硬な主張をしてゐることは容易に想像される、從つてまた二兎を追ふとも解される翁の言動が目下繼續されてゐるボンベイ會談において重要な難點となつてゐるのではないかとみられる、一方英國內においても、九月上旬の英週刊誌「大英帝國と東亞」でシラーフレツド・ワトソンが述べてゐるやうに印度に對して何らかの措置をとるべき時期は旣にきてゐるとの見解を抱く向きはかなり廣範圍に亘つてゐる樣子で、九月五日附の「ニユーズ・クロニクル」紙の報道によれば「貴下は印度政界の領袖との間に交涉を再開する爲、英國政府が何らかの手段をとる必要があると思ふか」との質問に對して答の六十三パーセントは贊成し十五パーセントは反對で殘りは解らないといふ結果を示したといふ、しかしながら以上はただ漠然たる英國の輿論に過ぎず、しからば問題をどういふ方向から解決に導くかといふ點については尙ほり具體的な意見はでてゐないやうである

印度軍は傭兵なりや

英國の印度政策と關聯して最近印度軍の地位が問題になつてゐるのが注目される、この問題が大寫しにされるに至つた契機はルーズヴエルトの印度派遣特使ウイリアム・フイリツプスの報告にあるが、フイリツプスが反樞軸軍の對日反攻において重要な役割を擔ふべき印度軍の實體は傭兵に過ぎないと述べたため、米英兩國の朝野はこの問題を繞つて一時に沸騰するに至つたのである

傳へられるところによればフイリツプスは大統領宛報告書において印度軍は單に傭兵であるのみならず、印緬支派遣米軍司令官スチルウエルの言明に徴しても印度軍の士氣は非常に振はないと述べてゐるといはれるが、更に米國に在住する民間印度人をもつて組織される自由獲得國民委員會はより痛烈に印度軍は食はんがための兵隊に過ぎないとの暴露聲明を發表してゐる、オーヒンレツク麾下二百萬の印度軍が傭兵に過ぎないとすれば、これは對日決戰を焦る反樞軸軍にとつて由々しき問題でなければならない、九月上旬來印度事務相アメリーがわざわざイタリア戰線に赴き印度軍將兵の實情視察を行つた事實は、何よりもこの問題の重大性を示唆するものであらう、九月二十六日イタリア戰線の視察から歸つたばかりのアメリーは記者團と會見して友邦米國内における印度軍に對する痛烈な批判に反駁してゐるが以下彼のいふところを聞かう

米國内には印度軍が傭兵でありその士氣は振はないとの意見が出てゐるが、余の見聞して來たところでは印度軍の將兵は單に戰場における勇氣だけでなく、前線後方における賞讃すべき規律と行動とによつて廣く賞讃を得てゐる、印度軍には二百萬の義勇兵がゐるが彼らは印度が壓制下にあるとか不當にとり扱はれてゐるとか思つてはゐないやうに見受けられる、既に一部では印度人義勇軍は全く傭兵に過ぎないといはれてゐたが、印度ではこの種の批評は政治的論爭において普通に見られるものだとして無視されてゐる、しかし不幸なことには印度軍及びその質に對する特殊の誹謗が素破抜き記者ドルー・ピアソンによつて、しかも明らかに米國内における選擧運動に關聯した目的の下に加へられ、これが廣く受け容れられてゐることである、しかもこの誹謗にはウイリアム・フイリツプスが大統領の特使としてデリーに滯在してゐた時に書かれたと稱せられる書翰及び印度軍についてスチルウエルが行つたと稱する言明を引用されてゐるが、このやうな言明が實際になされたものかどうかまたこれがどこまで誤つた引用乃至不正確な引用に基いてゐるのか明らかにすることは出來ない

印度軍の負ふところ

しかし、けしからぬことにはこれらの誹謗が英帝國特に印度による偉大な勢力を傷ける目的の下に作り出されてゐることである、兵卒及び下士官が報酬をうけてゐることは事實であるが、彼らのもらつてゐるのは米軍の將兵のそれに比して極めて微々たるものである、若し印度軍が傭兵なりとすれば徴兵制が布かれる前に前大戰において英雄的に戰つた英軍もまた傭兵であつたといはねばならない、予は敢て第一の非難が印度軍の將兵自身によつて躊躇するところなく否定されるだらうといふことが出來る、第二の非難は印度兵の質と士氣に關するものであるがスチルウエルがなしたといはれる言明は既に十八ケ月以前のことであるが、當時最もよく訓練されてゐた印度軍は西亞において英雄的戰鬪を行つてゐたのである、印度軍は裝備、訓練等を含む新らしい軍事的努力を心懸け、沙漠戰或ひはアラカンにおける密林戰の經驗をも得てをりこのやうにして得た教訓は印度軍をして昨年度の戰鬪において大いに役立たせてゐるのである今日對日戰において印度軍に負ふところがいかに大きいかは誰よりもスチルウエルが熟知してゐるはずである

アメリーは米國からの非難に應酬するのに汲々として肝腎な印度軍の實情については多くを語つてゐないが、最近英國内では印度に派遣されてゐる英人將兵の福祉について漸く議論が昂まり、印度駐屯英兵をして忘れられた兵隊たらしめるなとの意見が英國議會にも出てゐると傳へられる折柄、果して同樣の配慮が印度人將兵に加へられてゐるかどうか疑問といはねばならない

アマゾンの水源を探る

(リスボン二十五日發)リマ來電=フランスの探檢家バートランド・フローニー、フレツド・マタイ、ジーン・ド・ギブリアンの三人は一九四一年以來アマゾン河の水源を探求してゐたが、この程リマ北部アンデス山脈中のニナ・コンカといふ湖から發してゐるのを發見した、更に同地方でインカ族以前の文明遺蹟も澤山見つかつたといはれる

昭和十九年 九月三十日(土)
第三一九五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

資料

米英の對ソ援助

スエーデン誌「ニア・ミリテール・テイドスクリフト」

食糧品

米國は昨年中に千百萬の軍隊に一年間補給を續けられるだけの砂糖、脂肪、肉をソ聯に供給したものとみられてゐるが、これによつても分るやうに一體に米國の對ソ援助はスウエーデンで考へられてゐるより遙かに多量なのである、獨ソ開戰直後の後退期にソ聯は自國の最も肥沃な農業地帶の約四割を喪つた、從つて多量の貯藏があり一方では嚴格な配給制度が實施されてゐたにも拘らず、やがては重大な食糧不足は免れ難い狀況にあつた假りに食糧の貯藏が十分あるか、或ひはソ聯の他の地域での食糧生産を急速に增大せしめ得たとしても、必要な地域へ食糧を運ぶ困難は大變なものであつたらう、これに對して米國は貴重な食糧を相當多量にソ聯におくつたと思はれる、特に一九四三年には價格にして前年の三倍の食糧がソ聯に供給された、食糧の種類は肉、脂肪、砂糖、野菜鷄卵を主とし、穀類や馬鈴薯は送られなかつた

軍需品

軍需品についていへば、一九四四年五月までにソ聯が米英加三國から受取つた軍需品は次のやうになる、但しこれはソ聯側の報道による

	米國	英國及びカナダ
飛行機	六、四三〇	五、八二六
戰車	三、七三四	五、四八〇
高射砲	三、一七八	五七二
對戰車砲	一、一一一	—
掃海艇	一〇	一二
驅潛艇	一二	—
小型驅潛艇その他	八二	—
砲彈	二二、四〇〇	一七、八二七
その他彈藥	九九一、四〇〇	三二四、八〇〇

(砲彈彈藥の單位千發とす)

英國がソ聯に供給した飛行機のうち二千機以上は米國から送られたが、これば恐らく獨ソ開戰前英國が米國に注文してゐたものであらう、英國の對ソ援助が米國のに較べても相當といへる量になつてゐるのは、英國の軍需生産機構が米國のより も早く完成してゐたのである、もつとも車輛その他については米國が殆んど唯一の對ソ供給國であつた、卽ち本年四月までに米國がソ聯に供給した車輛その他は次の如くである

裝甲自動車及び裝甲兵員輸送車 二一二、一六八
自動自轉車 一七、〇〇〇
機關車 二四一
無蓋貨車 一、一五四
電話器 二四五、〇〇〇
電話線 赤道を三十卷する長さ

更にその他、米國の對ソ援助物資の中には原料、半製品、機械、工業施設等も入つてゐる、米國側の報道によれば一九四三年末までに次の物資が米國からソ聯に送られた

	(單位千トンとす)
鋼鐵	約一、三五〇
爆藥	一七七
アルミ、銅その他金屬	三八四
石油、航空用ガソリン、潤滑油	七四〇
自動車用タイヤ	二〇〇〇

その他靴數百萬足及び多量の皮革

一方ソ聯側報道によるとソ聯は本年五月までに米國及び英帝國から次の物資を受取つた

	(單位千トンとす)
航空用ガソリン	四七六
鋼鐵	一、一七三
ジユート及びシザル麻	九三

その他多量の金屬

なほ「エコノミスト」によるとソ聯に送られた輕金屬の總量は、ソ聯の戰前最後の年卽ち一九四〇年におけるソ聯の生産高の一倍半乃至二倍に相當するといはれる